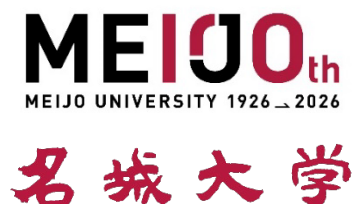


令和5年度
文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業

文化統計の体系化に関する
調査・研究

報告書



令和6年3月

はじめに

本報告書は、「令和5年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」における「文化統計の体系化に関する調査・研究」という研究テーマの委託先に、名城大学が選定されたことを受けて、その研究成果を公表するものである。本共同研究事業に先立って、「令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」における同名の研究テーマ「文化統計の体系化に関する調査・研究」が採択されており、本年度は、昨年度の研究内容を引き継ぎつつ、積み残した課題について、できる限り解決しようと試みた。

また、昨年度の研究成果は、報告書にまとめるとともに、文化経済学会<日本>2023年度研究大会における会員企画セッション（「文化統計の体系化に関する調査・研究」－文化統計の体系化およびマイクロデータ分析に向けて－）などで研究報告を行った。そうした機会を通じて頂戴した質問やコメントは、非常に有益なものばかりであり、本年度の成果に反映するように心掛けた。

本年度の共同研究事業で実施したのは、①文化庁「文化に関する世論調査」の詳細分析及び時系列分析、②公的統計の公表データや調査票情報（マイクロデータ）を用いた文化の需要・供給などに関する実証分析、③文化統計を体系化するための文化に関する統計分類についての検討、などである。特に新たなチャレンジとして取り組んだのは、「文化に関する世論調査」について令和4年度の結果を含めた分析を行うとともに、近年の時系列的な変化に注目してコロナ禍の影響を検証すること、個別の文化的活動への参加に影響する要因分析を行うとともに新たな分析手法の適用を試みることで、昨年度の共同研究事業の期間ではリリースされていなかった公的統計の調査票情報（マイクロデータ）のうち利用可能になった情報を利用し、コロナ禍の影響を含めて実証的に分析したこと、文化の提供者（芸術家）の所得などに関する分析を行ったこと等々である。

なお、本事業は文化庁から名城大学が委託を受けたものであるが、実際の研究は、文化に関する統計・実証分析の専門家で組織した『文化統計の体系化に関する調査・研究』推進委員会」の6名のメンバー（執筆者一覧参照）で進めていった。

文化政策を客観的なエビデンスに基づいて立案・検証する、すなわち Evidence Based Policy Making の実現には、文化統計が体系的に整備されることに加えて、様々な手法によって統計データを実証的に分析し、政策的な観点から有益な示唆を得ることが重要である。今後の文化に関する統計データの整備や分析に、本報告書が役に立つことを期待している。

令和6年3月

荒木 孝治／有馬 昌宏／西郷 浩／高良 佑樹
橋本 紀子／勝浦 正樹（名城大学）

* 本報告書の内容は文化庁の公式見解を示すものではない。

※「令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」における「文化統計の体系化に関する調査・研究」の成果報告書は、以下の URL からダウンロード可能である。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

※ 令和5年度のこの報告書についても、文化庁のウェブサイトにある「文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」のページ

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/93726901.html

の令和5年度のページのリンク先に、掲載される予定である。

※ 文化庁のウェブサイトに掲載予定の本報告書は、カラーで閲覧し、ダウンロードすることが可能である。モノクロで印刷された冊子版では、グラフなどの色分けが見にくくなっているが、その場合はウェブサイトにあるカラー版の pdf ファイルを参照されたい。

執筆者一覧（五十音順）

- 荒木 孝治* 関西大学 商学部 教授
〔第2章〕
- 有馬 昌宏* 兵庫県立大学 名誉教授
〔第2章〕
- 勝浦 正樹* 名城大学 経済学部 教授／共同研究事業責任者
〔第1章・第2章・第3章・第4章〕
- 西郷 浩* 早稲田大学 政治経済学術院 教授
〔第4章〕
- 高良 佑樹* 千葉経済大学 経済学部 准教授
〔第2章〕
- 橋本 紀子* 関西大学 経済学部 教授
〔第1章・第2章・第3章〕

* 「文化統計の体系化に関する調査・研究」推進委員会委員
所属は2024年3月現在

令和5年度
文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業
文化統計の体系化に関する調査・研究
報告書

目次

はじめに	i
執筆者一覧	iii
目次	iv
第1章 文化統計の重要性	1
1.1 文化と統計	1
1.2 EBPM と文化統計	2
第2章 「文化に関する世論調査」の統計分析	7
2.1 調査の概要	7
2.2 文化的活動の関連性の分析：クロス集計	10
2.3 文化的活動への参加の有無に及ぼす影響に関する分析：ロジットモデル	17
2.4 文化的活動の関連性の可視化	54
2.5 ゼロ過剰順序プロビットモデルによる文化的活動の参加頻度に関する分析	69
2.6 新型コロナウイルス感染拡大の文化的活動への参加に対する影響 ①	94
2.7 新型コロナウイルス感染拡大の文化的活動への参加に対する影響 ②	103
参考資料 ① 文化に関する世論調査（令和3年度調査）調査票	117
参考資料 ② 文化に関する世論調査（令和4年度調査）調査票	131

第3章 公的統計を利用した文化の需要及び供給者の統計分析	145
3.1 公的統計におけるマイクロデータの利用	146
3.2 就業構造基本調査の公表データによる文化関係就業者に関する分析	150
3.3 就業構造基本調査のマイクロデータによる文化関係就業者に関する分析	177
3.4 社会生活基本調査による文化人口の推計	187
3.5 社会生活基本調査における学歴と所得水準に関する集計	199
第4章 わが国の文化統計の体系化に向けて	205
4.1 文化統計の体系化の必要性	205
4.2 文化的財及びサービスに関する統計分類の再検討	213
付表1 文化的活動のクロス集計表	223
付表2 就業構造基本調査の職業小分類を用いた集計結果	229
付表3 都道府県別文化人口・文化人口比率の推移	237
付表4 教育と世帯の年間収入による文化的活動の行動者率のクロス集計表	243
付表5 令和3・4年度調査 ロジスティック回帰分析結果表	246
おわりに	291

第1章 文化統計の重要性

1.1 文化と統計

現代社会において、文化の重要性は高まっている。1960年代の高度経済成長を経て、物質的な満足度から、精神的な満足度がより重視されるようになり、仕事と個人の生活のバランスを重視するいわゆる働き方改革なども、そうした流れを反映し、ワークライフバランス、そしてウェルビーイングの向上が目的とされている。個人の生活を充実させる方法は多様であるが、文化的な活動を行うことによって、充実した生活を送ることができる人々も少なくないと思われる。提供される文化をより充実させること、文化を振興することがより幸福な生活につながると考えることも可能である。そして、65歳以上の高齢者の割合が30%に近付いている¹高齢化社会、あるいは超高齢社会に足を踏み入れているわが国において、高齢者の労働問題とともに余暇活動の過ごし方は重要な課題であり、文化の果たす役割は大きい。

このように文化あるいは芸術に対する国民の関心の高まりも反映し、政府は2001年に「文化芸術振興基本法」を成立させ、2017年にはそれを改正した「文化芸術基本法」が施行された。文化芸術基本法は、文化や芸術の振興を目指すだけでなく、観光やまちづくり、国際交流といった関連分野も対象とするとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことの重要性が謳われている²。さらに、文化芸術基本法に基づき、文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」が策定されている。

このように文化芸術の振興が国の施策として確立している現在であるが、文化を振興させるためには、どのような分野で、どの程度のリソースを投入すればよいか、また、その結果どの程度文化が振興したのかといったことを検証する必要がある。そのためには、文化に関して客観的に把握することが重要となる。

しかし、文化とは抽象的で多様な要素から成り立つため、それを客観的な数値で表すことは困難であると考えられることが、これまでは少なくなかった。たとえば、歌舞伎の面白さを客観的なデータで説明することは難しい。しかし、だからといって、文化政策を考える際に客観的なデータに基づくことなく、過去の経験や直感に頼ったり（エピソード・ベース）、文化を実証的に分析することをあきらめたりすることは、適切ではない。もちろん、文化について数字で表すことのできない部分も少なからず存在するであろうが、客観的なデータによって表現することが可能な部分も多い。たとえば、歌舞伎の観客数やその増減、

¹ 総務省「人口推計」によれば、2022年9月で29.1%となっている。

² https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/kihon/geijutsu_shinko/index.html

歌舞伎俳優の数、上演された演目数など、数値で表現できる部分もあり、データも入手可能である場合が少なくない。

もちろん、文化をデータによって客観的に把握する必要性は文化政策という目的だけでなく、研究者やその業界に属する人々、ひいては広く国民が、客観的に文化の概要を知りたいというニーズもあるだろう。たとえば、美術館の学芸員は、自分の属する館の入場者数などは把握できるだろうが、日本全体の美術館の入場者数の動向を知りたいというのは当然であるし、コロナ禍で劇場などに足を運ぶ人が激減したという話は聞くが、どのくらい減ったのかということを知りたいということもあるだろう。

いずれの目的にせよ、文化を客観的な統計データによって把握することが重要であることは言うまでもない。上でも述べたように文化は多様であるから、どのような文化について、どのような側面で捉えたデータを利用したいのか、あるいはどのようなデータが存在するのかを、ある程度体系的に取りまとめることが必要である。様々な文化の分野で共通する側面として、国民の文化への参加・鑑賞の程度、文化的活動に対する支出（国民による支出だけでなく、政府による補助金や予算、企業による寄付なども含む）、文化の提供者（文化関係の就業者）の数やその就業状況（所得や労働環境など）、文化に関連する生産の状況、さらには貿易等々をあげることができる。もちろん、音楽、演劇などの舞台芸術、美術、映画、博物館、文学、伝統芸能等々の文化の部門別にみることも必要である。

しかし、文化に特化してそうした各側面（あるいは各分野）を調査するような統計調査は存在しないため、既存の統計調査から必要な情報を抽出して、文化に関する統計を作成する必要がある。残念ながら、そうした作業はこれまで十分に行われておらず、部分的なデータが分散して存在していることがほとんどである。他方、諸外国において、文化の各側面や各分野をある程度整理した上で、統計データを収集・公表している例は少なくない。

このような観点・問題意識に立って、本報告書は作成されている。第4章及び文化庁・名城大学（2023）の第5・6章では、文化統計を体系的に収集することの重要性やその方法論について考察している。また、第2章の文化庁「文化に関する世論調査」の詳細な分析を通じて、文化統計を分析することによって、文化政策に有用な示唆が得られることが示されている。さらに、第3章では、公的統計の中から文化に関する部分を抽出し、有用な情報を抽出できることが、総務省「就業構造基本調査」・「社会生活基本調査」を用いた文化の提供者の特性と国民の文化的活動への参加についての分析を通じて、明らかにされている。

1. 2 EBPM と文化統計

わが国の政府において、近年、EBPM（Evidence Based Policy Making; 証拠に基づく政策立案）が推進されている。政府においてその推進役を担う内閣府によれば、「政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠

（エビデンス）に基づくものとする」とであり、「政策効果の測定に重要な関連を持つ情報や統計等のデータを活用した EBPM の推進は、政策の有効性を高め、国民の行政への信頼確保に資する」としている³。

EBPM がいう「根拠に基づく政策立案」を行っていくためには、まず、データに基づいた現状の把握が必要となる。そして、現状を踏まえた上で、様々な目的に合わせてデータを分析することが要求される。問題の状況を把握し、その背景に潜む因果関係を洗い出してモデル化する一方、原因や結果の動きをデータで把握し、さまざまな分析を行うことができれば、その問題の現状把握・予測・制御（政策策定）を行うことができるのである⁴。

EBPM は、アメリカやイギリスなどで先進的な取組みが行われてきたが、わが国における EBPM はまだ緒についたばかりである。わが国で EBPM という概念が普及し始めるようになった時期や経緯に関しては、いくつかの見解がある。田中（2020）では、EBPM が普及し始めたのは、2016 年 8 月に発足した第 3 次安倍内閣における第 2 次改造内閣のころからであり、同年 10 月に発足した「EBPM のニーズに対応する経済統計の諸課題に関する研究会」や同年 12 月に経済財政諮問会議で示された「統計改革の基本方針」などが、EBPM の推進のきっかけとなったという見方をしている⁵。つまり、EBPM と統計改革がセットになっており、EBPM を定着させるためには統計改革が必要であり、統計改革を進めることが EBPM を推進することにつながるという考え方である。別の言い方をすると、統計改革を進めるために、EBPM という概念が持ち出されたのである⁶。

杉谷（2022）ではさらに遡って、2009 年の統計法の全面改正にわが国の EBPM の緒をみることができると述べている。2009 年の統計法では、公的統計の総合的・計画的整備の推進、公的統計の司令塔としての統計委員会の設置、調査票情報の二次利用など統計の利用の促進、行政記録の活用、秘密保護の強化など、それまでの統計法から大きく改正されたが、そうした改正の必要性が、EBPM を推進することと関連させて論じられており、そこがわが国の EBPM 推進のきっかけとなったという見方である。2012 年以降に行われた統計改革でも、改革が EBPM のために必要であるという考えのもとに進められている。

わが国においては、統計改革のために EBPM という概念が利用されたという見方が正しいかどうかは別としても、統計改革、すなわち統計の充実と、EBPM とが密接な関係にあるというのは確かであろうし、両者の関係は興味深い。

³ <https://www.cao.go.jp/others/kichou/ebpm/ebpm.html>

⁴ 文化庁・名城大学（2023）、1-2 ページ。

⁵ 同論文では、第 2 次改造内閣で行政改革担当大臣の補佐官に任命された三輪芳朗氏が経済統計の整備をかねてから主張していたことを重要視している。三輪氏の主張と EBPM については、三輪（2020）なども参照されたい。

⁶ 小野（2024）、田中（2020）。

もちろん、統計が充実しただけでは、EBPM は実現しない。統計データによって現状を記述するだけでなく、データを用いて因果関係などを慎重に検討しながら政策の効果を数量的に明らかにするためには、因果推論をはじめとする統計的な手法による分析が必須となる。大橋（2020）では、医療・介護政策、教育政策、電力政策などいくつかの例を取り上げて、EBPM による政策立案の可能性について経済学の立場から考察されている。残念ながら、文化政策については取り上げられていない。

文化庁（1972）のような例外はあるものの、最初にも述べたように文化に関しては、統計データによる把握はなじまないものと考えられてきた向きがある。その意味で、政策立案も、エビデンス・ベースではなく、過去の成功事例や経験などに基づいたエピソード・ベースが中心であったといえるかもしれない。もちろん、政府全体としても EBPM がまだ端緒についたばかりであるから、これは文化行政に限ったことではない。しかし、文化行政においても今後は、エビデンス・ベースを意識して、少しずつでも変わっていくことが重要である。

そのためには、文化統計の充実と、客観的な政策立案・評価を行っていくための分析の蓄積が必要である。しかしながら、新たな文化統計を作成するための統計調査を新規に実施することは、予算や人的制約などから、非常に難しい。とはいえ、文化庁が実施する「文化に関する世論調査」を充実させていくことは可能であるし、様々な省庁や民間に分散している既存の公的・民間統計の中から、文化に関連する統計データを一定の枠組みのもとで収集し、公表していくことは、まさに文化統計の充実に他ならない。EBPM が統計改革によって推進されるという側面をもっていることを考えれば、そうした方向で、これまでとは違った文化統計に対するアプローチを行っていくことが、文化行政における EBPM につながっていく可能性がある。本報告書の第2章では、「文化に関する世論調査」のマイクロデータをモデル分析やデータマイニングの手法で分析し、政策に役立つインプリケーションを導出しているし、第3章では、公的統計の公表データならびにマイクロデータを用いて、文化に関する有用な情報を抽出している。こうした成果が、今後の文化行政において EBPM を推進するきっかけとなることを期待している。

参考文献

文化庁（1972）『日本の文化統計』。

文化庁・名城大学（2023）『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

三輪芳朗（2020）「日本政府の EBPM 推進の取り組み、その開始から現状に至る過程 — 大橋弘編 [2020]『EBPM の経済学：エビデンスを重視した政策立案』（東京大学出版会）の刊行を契機に —」『経済学論集』83-1, 55-122 ページ。

小野達也（2024）「統計が政策のエビデンスになる条件 — 遥かなる EBPM の呼び声 —」

『統計』2024年1月号，4-12 ページ。

大橋弘編（2020）『EBPM の経済学－ エビデンスを重視した政策立案－』東京大学出版会。

杉谷和哉（2022）『政策にエビデンスは必要なのか － EBPM と政治のあいだ －』ミネル
ヴァ書房。

田中啓（2020）「「霞ヶ関改革運動」としての政府の EBPM 推進 － その意義・課題と今後の展望 －」『季刊行政管理研究』No.191，21-39 ページ。

第2章 「文化に関する世論調査」の統計分析

2.1 調査の概要

文化庁は、多様で広範囲にわたる文化芸術の領域について、さまざまな形でその動きを捉えようとしている。その試みの中でも中核をなすのが、文化芸術というサービスの受け手である国民が日頃文化芸術をどのようにとらえているのかを知り、今後の文化振興を図る施策の参考とするために、文化に関する国民の意識を調査している世論調査である。

「文化に関する世論調査」は、「文化に関する国民の意識を調査し、今後の文化振興を図る施策の参考とする」ための調査である。当初は内閣府により7年程度の間隔で¹、平成30（2018）年度以降は文化庁により、毎年、調査されている。

本章では、文化庁が行った「文化に関する世論調査」の、主に2022年の行動を尋ねた令和4年度版についてさまざまな手法を用いて分析した結果を紹介していくが、この節では、まず、「文化に関する世論調査」の概要について見ておく。

「文化に関する世論調査」は、全国18歳以上の日本国籍を有する者を対象として、毎年おおむね1月下旬から2月中旬頃に行われている。令和4年度版調査については1月27日（金）から31日（火）に調査が行われた。従来と同じくサンプルサイズは3,000人²で、令和5年1月1日の住民基本台帳と性・年代別比率が地域別³に同様となるようサンプリングが行われている。回答者は、17問にわたる調査項目とともに、自身の属性（性別、年齢、居住地、職業、家族形態、年収など）も回答している⁴。調査方法は、ウェブ・パネルを用いたインターネット・アンケートである。

令和4年度調査では、参考資料の「調査票」に示すように、10分野⁵にわたり、大問で

¹ 1987年7月、1996年11月、2003年11月、2009年11月、2016年9月に調査が行われている。

なお、同名の調査ではあるが、実施時期が異なること（文化庁は1月末から2月上旬）、サンプル回収方法が大きく異なること（文化庁では国勢調査に基づき性年齢別に回収数が設定されており、サンプルが不足した場合には補填が行われている）から、経年比較の際には注意が必要である。

² 令和3年度調査は、コロナ禍の影響を調べることを目的にサンプルサイズを20,006人としている。

³ 地域区分には内閣府の地域区分Cが用いられ、47都道府県を11の地域（北海道、東北、北関東、南関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄）に分けて考えている。

⁴ 詳細は、章末の参考資料の「調査票」で確認できる。回答者に問う属性の数や属性の分類は、コロナ禍の影響を調べるために令和3年度調査でより詳細なものとされ、今回分析対象とする令和4年度調査でもそれらの数や分類が引き継がれている。

⁵ 令和3年度調査で拡充されたウェルビーイングに関する質問分野はなくなっている。10の分野は、1. 文化芸術の鑑賞行動、2. 鑑賞以外の文化芸術活動、3. 文化芸術活動の頻度、4. 文化芸術活動における著作権に関する意識、5. 地域の文化的環境、6. 自身を取り巻く文化的環境、7. 文化芸術振興に対する寄付に関する意識、8. 文化芸術の国際交流・発信、9. 障害者の文化芸術活動、10. 文化芸術全般に関するこ

全 17 問の設問が行われている。概ね例年通りの設問が並ぶが、令和 3 年度調査では削除されていた、文化芸術体験について重要だと思うこと、期待することに関する設問が「10. 文化芸術全般に関すること」に復活している⁶。

令和 4 年度調査の 10 分野 17 問のうち、昨年に引き続き、本章では、「1. 文化芸術の鑑賞活動」および「2. 鑑賞以外の文化芸術活動」の、以下の主要設問 4 つについて詳細な検討を行っていく⁷。

Q1 あなたは、この 1 年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか⁸。

Q2 あなたは、この 1 年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により鑑賞したものはありますか。

Q3 あなたは、この 1 年間にインターネットによる有料（月額又はチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。

Q4 あなたは、この 1 年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したことはありますか⁹。

本報告書では以下、これらの活動を順に、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援と略して呼ぶことにする。

2.2 節では、4 つの文化芸術に関する鑑賞・行動率が互いにどのように関連しているか、クロス表を用いて検討を行っていく。なお、2.3 節以降ではさまざまな推測統計の手法を用いて、これらの活動の参加の有無や頻度がどのような属性とどのように関連してい

と、である。

⁶文化芸術全般に関する意識についての設問は、令和 3 年度調査ではウェルビーイングに関する質問項目を拡充するため、Q14（あなたは「文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強く感じますか。）のみが問われていたが、令和 4 年度調査では Q15 から Q17 の設問が復活している。

Q15 文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。

Q16 あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。

Q17 子どもの文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。

⁷ 令和 3 年度調査で冒頭に設定されたウェルビーイングに関する設問がなくなったため、令和 3 年度調査と令和 4 年度調査では、同じ設問であっても設問番号が変わっていることがあり、注意が必要である。令和 3 年度調査でのこれらの内容の設問番号は、順に Q6, Q7, Q8, Q9 である。

⁸ Q1 から Q3 について、ジャンルとして映画（アニメを除く）、アニメ映画、歴史的な建物や遺跡、美術、博物館、ポップスなど、オーケストラなど、ミュージカル、伝統芸能、民俗文化、演芸、華道・茶道など、演劇など、ストリートダンスなど、バレエなど、日本舞踊など、詳細な項目が設定されている。

⁹ Q4 について、文学・音楽・美術等々の創作、演奏や出演など、習い事の受講、伝統に関わるイベントや祭等への参加、文化芸術体験・鑑賞のための支援活動、など、多岐にわたる選択肢が準備されている。

るかについて解析した結果を示す。また、2.6 節と 2.7 節で、令和 4 年度調査が対象とした 2022 年に、2020 年に起きたコロナ禍により大きく下落した鑑賞・行動率が回復したかどうか、どの程度回復したかについて、検討している。

2.2 文化的活動の関連性の分析:クロス集計

本節では、令和4年度「文化に関する世論調査」の回答のうち、4つの文化的活動、すなわち、文化芸術イベントの直接鑑賞（Q1）、メディアやインターネット配信等による間接鑑賞（Q2）、有料のインターネットによる配信鑑賞（Q3）、文化芸術活動の実践・支援（Q4）の活動状況に着目して分析を進める。この節では、まず、これら4つの文化的活動の状況が互いにどのように関連をしているのかを見ていく。具体的には

- ① 直接鑑賞の有無と間接鑑賞の有無の関係
- ② 直接鑑賞の有無と有料配信鑑賞の有無の関係
- ③ 直接鑑賞の有無と実践・支援の有無の関係
- ④ 間接鑑賞の有無と有料配信鑑賞の有無の関係
- ⑤ 間接鑑賞の有無と実践・支援の有無の関係
- ⑥ 有料配信鑑賞の有無と実践・支援の有無の関係

の6通りの組み合わせについて、全回答者においてどのような傾向が見られるか、さらに、主な属性について見た場合、どの階層で、どのような特徴ある動きが見られるか、確認していく。

2.2.1 全回答者のクロス集計とその特徴

まず、全回答者 3,000 人の回答のクロス集計の結果を見る。

表 2.2.1 は、直接鑑賞の有無と他の文化活動の有無のクロス表で、上から順に① 間接鑑賞の有無との関係、② 有料配信鑑賞の有無との関係、③ 実践・支援の有無との関係を見ている。以下、本研究で記載するクロス表では、左側が人数、右側が（その属性の）全回答者数における比率（%）を示している。なお、適宜、昨年度報告書でのクロス分析の結果と比較考察を行っている。

表 2.2.1 の上段より、① 直接鑑賞と間接鑑賞との間には、

- ・半数弱の人が直接鑑賞も間接鑑賞も行っており、比率が最も高い（46.1%）。この比率は昨年の調査（令和3年度調査）に比べ12.3%ポイント高かった
- ・直接鑑賞はしないが間接鑑賞はした人は全体の27.2%、直接鑑賞も間接鑑賞もしなかった人は20.5%であり、それぞれ昨年に比べ2.3%ポイント減、10.3%ポイント減であった。これらの減少分は、直接鑑賞も間接鑑賞も行った者の増加分に対応している
- ・一方、直接鑑賞はしたが間接鑑賞はしなかった人は明確に少なく、全体の6.1%に過ぎなかった。この比率は昨年とほぼ同様であった

といった関連が読み取れる。

続いて、②直接鑑賞と有料配信鑑賞の関連を見ると（表 2.2.1 中段）、

- ・最も多かったのは直接鑑賞も有料配信鑑賞も行わなかった人（41.4%）であるが、昨年（53.8%）と異なり半数は超えなかった

表 2.2.1 直接鑑賞の有無と他の文化的活動の有無に関するクロス表

①	(人)	間接鑑賞		(%)	間接鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない	直接鑑賞	した	しない
	した	1383	184	した	46.1	6.1
	しない	817	616	しない	27.2	20.5

②	(人)	有料配信鑑賞		(%)	有料配信鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない	直接鑑賞	した	しない
	した	587	980	した	19.6	32.7
	しない	192	1241	しない	6.4	41.4

③	(人)	実践・支援		(%)	実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない	直接鑑賞	した	しない
	した	325	1242	した	10.8	41.4
	しない	66	1367	しない	2.2	45.6

- ・(直接鑑賞の有無によらず) 有料配信鑑賞を行わなかった人は多いが(74.1%, 昨年より 5.3%ポイント減), それらの人を直接鑑賞の有無から見るとおおよそ 1:1.3 となり, 昨年(1:2.1)より差が縮まっている。有料配信鑑賞をしない理由に直接鑑賞の有無が影響する度合いは弱まってきたと考えられる。一方, 有料配信鑑賞を行った人について直接鑑賞の有無を見ると, 3:1 と逆の傾向が見られる。この比率は昨年(2.2:1)より差が大きくなっており, 直接鑑賞したことが有料配信鑑賞につながる傾向が強まったと思われる。
- ・割合で見ると, 直接鑑賞した人では有料配信鑑賞の有無はおおよそ 1:1.7 で昨年(1:1.8)と違いはなかったが, 直接鑑賞しなかった人では 1:6.5 であり, 昨年(1:8.3)より有料配信を鑑賞するかどうかに関する差が縮まっていることがわかる。

また③直接鑑賞と実践・支援の関連では(表 2.2.1 下段), 下記のような傾向が見られる。

- ・最も多かったのは直接鑑賞も実践・支援も行わなかった人(45.6%)だが, 昨年(58.1%)と異なり半数は超えなかった
- ・(直接鑑賞の有無によらず) 実践・支援を行わなかった人は多いが(87.0%, 昨年より 3.1%ポイント減), それらの人を直接鑑賞の有無から見ると, おおよそ 1:1.1 とあまり差がなかった(昨年は 1:1.8)。実践・支援の有無に直接鑑賞の有無が影響する度合いは弱まり, ほぼなくなっていると考えられる。一方, 実践・支援した人では 4.9:1 と逆の傾向となる(昨年は 3.5:1)。直接鑑賞したことによる実践・支援への影響は昨年より強まっている。
- ・直接鑑賞した人では実践・支援の有無はおおよそ 1:3.8(昨年は 1:4.2), 直接鑑賞しなかった人では 1:20.7(昨年は 1:26.4)と傾向が大きく異なる。

表 2.2.2 間接鑑賞，有料配信鑑賞，実践・支援に関するクロス表

④	(人)	有料配信鑑賞		(%)	有料配信鑑賞	
	間接鑑賞	した	しない	間接鑑賞	した	しない
	した	754	1446	した	25.1	48.2
	しない	25	775	しない	0.8	25.8

⑤	(人)	実践・支援		(%)	実践・支援	
	間接鑑賞	した	しない	間接鑑賞	した	しない
	した	359	1841	した	12.0	61.4
	しない	32	768	しない	1.1	25.6

⑥	(人)	実践・支援		(%)	実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない	有料配信鑑賞	した	しない
	した	207	572	した	6.9	19.1
	しない	184	2037	しない	6.1	67.9

以上，直接鑑賞と他の鑑賞率や行動率¹との関係を見たが，直接鑑賞をしていない場合，間接鑑賞はともかく，有料配信鑑賞や実践・支援を行う傾向は直接鑑賞している場合に比べ極端に弱い。また，間接鑑賞や有料配信鑑賞，実践・支援を行わない率は，いずれにおいても昨年に比べ直接鑑賞の有無により違いを見せなくなっている。

これらの動きを考え合わせると，直接鑑賞と他の鑑賞や実践・支援行動の間には，二つのうちどちらか一方を行うという代替関係ではなく，一方を行う人は他方も行うという補完的な傾向が見られること，その補完的な傾向は，昨年と比べると，わずかではあるが強まる方向に動いていることがわかる。

次に，④間接鑑賞と有料配信鑑賞，⑤間接鑑賞と実践・支援，⑥有料配信鑑賞と実践・支援の関連について見ると（表 2.2.2），

- ・ 有料配信鑑賞や実践・支援を行った人は少ない（順に 25.9%，13.1%）が，いずれも昨年よりは相対的に多い（順に 5.4%ポイント増，3.1%ポイント増）。
- ・ 間接鑑賞を行った人について見ると，有料配信の有無は 1：1.9，実践・支援の有無は 1：5.1 であり，昨年（順に 1：2.2，1：6.0）より差が縮まっている。また間接鑑賞を行っていない人は，そのほとんどが有料配信鑑賞や実践・支援も行っていない。
- すなわち，間接鑑賞と有料配信鑑賞や実践・支援の間にも補完的な動きが見られる
- ・ 有料配信鑑賞と実践・支援の関係では，いずれの活動もしていない人が多数を占めている（67.9%，昨年より 6.8%ポイント減）が，有料配信鑑賞を行っている場合，明確に実践・支援を行う度合いが高い

ことがわかる。

以上のように見てくると，それぞれの文化活動を行っている水準の高さによる影響の出方に違いはあるものの，4つの活動の中で代替的（一方が増えると他方が減る）な関係は観察されず，補完的な関係，たとえば直接鑑賞する人の方が，傾向としては間接鑑賞，有料配信鑑賞や実践・支援を行っているという傾向が，昨年のデータに引き続き観察された。

¹ 以下，実践・支援を行った比率を行動率という用語で表す。

2.2.2 属性別に見た文化的活動の関連

続いて、属性別に、4つの文化的活動の関連を、①から⑥の6つの組み合わせから見ていく。今回取り上げた属性は、

- (1) 性別 (男性, 女性)
- (2) 年齢 (18-19 歳, 20 代, 30 代, 40 代, 50 代, 60 代, 70 代以上)
- (3) 都市階級 (大都市, 中都市, 小都市 A, 小都市 B・町村)
- (4) 年収 (100 万円未満, 100～200 万円未満, 200～300 万円未満, . . . , 900～1,000 万円未満, 1,000 万円以上, 分からない, 答えたくない)
- (5) 学歴 (小学校, 中学校, 高校, 短大・高専, 大学, 大学院, 答えたくない)
- (6) 子供の頃の習い事 (していた, していない)

である。また性別と年齢については四元表も作成した。全回答者の結果も含め、クロス表は、巻末の付表 1 に掲載している。

以下、属性ごとの4つの鑑賞・行動率を見ながら、属性による特徴の概略を述べる。

(1) 性別

①から⑥のいずれの組み合わせにおいても、いずれの性別においても、全体と同様の傾向が観察された。性別により傾向の度合いが大きく異なることはなく、比率の差は最大3%ポイント程度であるが、直接鑑賞では若干女性の、有料配信鑑賞では若干男性の鑑賞率が高かった。

	男性	女性	(%)
直接鑑賞	51.3	53.1	
間接鑑賞	73.4	73.3	
有料配信鑑賞	27.7	24.3	
実践・支援	12.6	13.4	

(2) 年齢

年齢階級別で見た場合も、4つの文化的活動が互いに補完的（ある鑑賞を行う者は他の形態の鑑賞も行う）である傾向が観察された。ただし、①から⑥のいずれの組み合わせにおいても、年齢階級により鑑賞・行動率の動きはかなり異なっていた。次表に、それぞれの鑑賞や実践・支援を行った比率をまとめた。

全回答者で見られた鑑賞・行動率（順に 52.2%, 73.3%, 26.0%, 13.0%）は40代あるいは50代の比率と近い。30代以下の若年層では直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援のいずれの鑑賞・行動率も高く、若い層ほど鑑賞や実践・支援に積極的であった。逆に高年齢層では、有料配信鑑賞は年齢と共に鑑賞率が下がっていたが、直接鑑賞は70代を除

いてはあまり変わらず、間接鑑賞は年齢によりさほど変化せず²、実践・支援では70代で若干行動率が上がる傾向が見られた。

	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	(%)
直接鑑賞	79.0	63.7	57.6	53.4	50.0	50.8	44.1	
間接鑑賞	79.0	66.4	72.4	70.9	75.6	76.9	74.5	
有料配信鑑賞	50.0	41.6	33.6	30.7	25.8	23.1	12.4	
実践・支援	38.7	18.0	14.8	10.0	11.2	10.2	12.7	

(3) 都市階級

①から⑥のいずれにおいても、いずれの都市階級でも、全体で見られたのと同種の、補完的な傾向が見られた。

下表に示すように、鑑賞率では、いずれも概ね大都市あるいは中都市で高く、都市の規模が小さくなるほどに低くなる傾向が見られた³。その違いは、直接鑑賞や間接鑑賞では10%ポイントを超えて、有料配信鑑賞では7.7%ポイント観察され、いずれも昨年より差が大きくなっていた。

一方、実践・支援の行動率は、中都市で14.4%、その他の地域は12%台で、比率の差は大きくない。昨年(2.2%ポイントの差)と同様、都市階級による差は有意にはなかった。

	大都市	中都市	小都市A	小都市B	(%)
直接鑑賞	57.3	52.8	50.4	41.6	
間接鑑賞	74.6	76.2	72.6	64.8	
有料配信鑑賞	27.2	27.7	25.4	20.0	
実践・支援	12.6	14.4	12.2	12.8	

(4) 年収

全回答者で見られた補完的な傾向が、いずれの年収層でも見られた。

次表より、鑑賞・行動率は概ね年収が増えるほど高まっていることが観察される⁴が、直接鑑賞では30%ポイント、有料配信鑑賞では20%ポイント近い差があるものの、間接鑑賞では10数%ポイント、実践・支援では9%ポイントしか差がない。また、直接鑑賞の行動率は年収とともに高まっているが、間接鑑賞では年収300万から1000万円では鑑賞率にほ

² なお、間接鑑賞の対象は「テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等」である。世代により利用している媒体は異なる可能性がある。

³ 今回は分析対象とできなかったが、これらの動きと、Q7（お住まいの地域での文化的な環境の満足度、自宅から1時間30分以内に行くことのできる施設の有無、など）やQ9（オンラインでの鑑賞等を含め、自身を取り巻く文化的な環境に満足しているか）の回答を組み合わせると、更なる示唆が得られると思われる。

⁴ ただし端の階級（100万円未満、1000万円以上）やサンプルの大きさが99と小さかった900~1000万円未満の階級に、傾向と外れる動きが見られることがあった。

とんど差がないなど、鑑賞方式によって鑑賞率の上昇の仕方が異なっている。

	～100万	～200万	～300万	～400万	～500万	～600万	～700万	～800万	～900万	～1000万	1000万～	(%)
直接鑑賞	50.5	36.5	47.1	53.4	57.5	58.8	58.5	58.2	65.3	61.6	66.1	
間接鑑賞	69.5	67.0	75.8	78.4	75.2	77.2	79.3	79.4	72.0	76.8	81.2	
有料配信鑑賞	27.6	16.3	20.3	26.4	24.8	31.6	32.6	36.6	31.4	32.3	36.8	
実践・支援	16.2	11.3	13.4	12.8	13.4	16.7	11.9	19.1	15.3	20.2	13.8	

(5) 学歴

小学校卒では特異な動きが見られたが、サンプルが極端に小さいこともあり、慎重な検討が必要である。それ以外の階級では、全回答者数で見られた鑑賞や実践・支援間に補完的な動きが見られ、概ね学歴が高くなるほど鑑賞・行動率が高くなる傾向が見られた。学歴による差は直接鑑賞では36.7%ポイントと大きく、他の鑑賞・行動率では12~16%ポイントの差にとどまった。

	小学校	中学校	高校	短大・高专	大学	大学院	(%)
直接鑑賞	50.0	23.9	45.5	55.1	58.8	60.6	
間接鑑賞	75.0	64.8	70.4	73.6	78.0	75.0	
有料配信鑑賞	25.0	19.7	22.2	27.1	29.0	31.8	
実践・支援	25.0	2.8	10.1	13.0	15.7	18.9	

(6) 子供の頃の習い事

「文化に関する世論調査」では習い事の内容について、楽器や声楽、ダンス、茶道・華道・書道や絵画・工芸など芸術文化に直接関連するもの、さらには、学習塾やスポーツなど多岐にわたって聞いている。そこでここでは、何らかの習い事をしていていない人としていなかった人に二分して検討した結果を示す。

表に示すように、子供の頃に習い事をしていて人は、していなかった人に比べ、文化芸術に関わる鑑賞や実践・支援を行っている。その差はかなり大きく、直接鑑賞や間接鑑賞では20%ポイントを超えていた⁵。

	習い事を		(%)
	していた	していない	
直接鑑賞	58.3	35.5	
間接鑑賞	78.9	58.1	
有料配信鑑賞	29.5	16.2	
実践・支援	15.4	6.5	

⁵ なお、それが直接、子供の頃の習い事体験の結果として生じているか、あるいは、たとえば子供の頃に習い事をしている人はその親の所得が高く、その場合その人自身も高い所得層に属することが多いといった間接的な理由で生じているかは、今後精査が必要である。

以上、主だった属性が、文化的活動相互の動きにどのように影響を見せるか、検討した。たとえば年齢階級や年収のように、はっきりとした影響の違いを見せる属性もあれば、性別のように大きな違いの見られない属性もある。

しかし、何らかの結論を下すには、この検討はまだ 2021 年と 2022 年の調査結果のみについてしか行っていないこと、いずれの年もまだコロナ禍の影響が少なからず残っていることを考えると、今後のより詳細な角度からの検討が必要である。その際、注 5 でも触れたが、一見影響を与えているように見える属性の影響が疑似的なものであり、実はその背景に別の要因がある可能性に配慮する必要がある。

参考文献

文化庁・名城大学（2023）『令和 4 年度 文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

2.3 文化的活動への参加の有無に及ぼす影響に関する分析:ロジットモデル

文化的活動に「参加する人」あるいは「参加できる人」はどのような特徴を有する人で、文化的活動に「参加しない人」あるいは「参加できない人」はどのような特徴を有する人なのであろうか。このような特徴を明らかにすることができれば、参加への阻害要因を除去あるいは低減させ、促進要因を生成あるいは支援することで、「人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要」¹とされている文化芸術のさらなる普及と振興に貢献できるものと考えられる。

また、文化的活動の需要と供給の関係から見れば、少子高齢化が進展し、人口減少化社会への途を進み始めた我が国においては、文化的活動の参加者(第3章では文化人口として分析)の全人口に占める比率(行動者率)と参加頻度が今後も変わらないのであれば、文化的活動に対する需要の総量(文化人口×参加頻度)は減少し、結果として、文化の供給者(第3章で対象とする文化関係就業者)の活動状況や所得に影響を及ぼし、文化の担い手が減少するという問題の発生も懸念される²。国際交易(文化輸出あるいはインバウンド観光)を考えなければ、この問題の解決策の一つは、国内の行動者率と参加頻度の両者、あるいは少なくともどちらか一方を低下させずに残る一方を高めることであり、行動者率を高めるには、文化的活動への非参加者が個人属性上でどのような特徴を有し、非参加の理由は何であるかを明らかにして、参加への阻害要因を減じるような措置をとることになる。

そこで、本節においては、「文化に関する世論調査」(令和3年度)(以降、「令和3年度調査」と略称)のサンプルサイズ20,006のマイクロデータ(個票データ)および「文化に関する世論調査」(令和4年度)(以降、「令和4年度調査」と略称)のサンプルサイズ3,000のマイクロデータを使用して、文化的活動への参加(あるいは非参加)に影響を及ぼす要因について、鑑賞活動は19の種別に、実践・支援活動は14の種別に細分化した上で、統計的手法を適用して、個々の文化的活動の種別の持つ特徴を踏まえながら、検討していくことにする³。

本節では、まず、文化的活動を調査票の設問に基づき、「直接鑑賞」(令和3年度調査ではQ6, 令和4年度調査ではQ1)、「間接鑑賞」(令和3年度調査ではQ7, 令和4年度調査ではQ2)、「有料配信鑑賞」(令和3年度調査ではQ8, 令和4年度調査ではQ3)、「実践・支援」(令和3年度調査ではQ9, 令和4年度調査ではQ4)の4つの形態に分類し、それぞれの形態を鑑賞活動は19の種別に、実践・支援は14の種別にさらに細分化して、各種別への過去1年間の参加(「鑑賞した」または「行(おこな)った」と非参加(「鑑賞していない」

¹ 出典：文化庁(<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/index.html>)

² 有馬(2010)では、社会生活基本調査のコホート別分析結果から、この問題を指摘している。

³ 文化庁・名城大学(2023)では、令和3年度調査のマイクロデータを用いて、種別に細分化することなく、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞(以上、鑑賞活動)と実践・支援に種別を統合した上で分析を行っている。

または「行(おこな)っていない」という行動の違いに影響を及ぼしたと考えられる個人の属性にどのような傾向が見られるかについて、ロジットモデルを用いたロジスティック回帰分析⁴を適用して明らかにすることを試みる。

文化的活動に「参加しない」あるいは「参加できない」という要因とその要因が存在しない場合(あるいは要因が除去された場合)の参加の蓋然性の高まりを文化的活動への参加確率の上昇分として定量的に示すことができれば、これまでの文化政策の有効性の確認やさらなる重点化が必要な施策の検討に向けてのエビデンスとなることが期待できよう。

2.3.1 分析に使用する変数と分析の方法

本節で使用する変数は、目的変数(被説明変数)としては、上述のように、「直接鑑賞」(19種別、令和3年度調査ではQ6、令和4年度調査ではQ1、以下同様)、「間接鑑賞」(19種別、Q7およびQ2)、「有料配信鑑賞」(19種別、Q8およびQ3)、「実践・支援」(14種別、Q9およびQ4)の4つの設問の構成選択肢としての種別に対して、それぞれ過去1年間に「行った・参加した」場合は1、「行わなかった・参加しなかった」場合は0の値をとる2値変数である。

なお、対象とする文化的活動は、直接、間接、有料配信の3つの形態の受動的な鑑賞活動については、

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など(以降の本文中では、「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」と表記。以下同様)
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など(「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」)
3. 美術 ※美術には絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート)などを含む(「3.美術」)
4. 美術のうち、特に現代美術(コンテンポラリーアート)(「4.現代美術」)
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇(「5.現代演劇・児童演劇・人形劇」)
6. ミュージカル(「6.ミュージカル」)
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど(「7.バレエ・コンテンポラリー

⁴ 被説明変数が選択の結果を示す離散変数である場合、これを質的選択(離散選択)モデルと呼び、選択肢が2つの場合を2値的選択モデルと呼んでいる。質的選択モデルには、①被説明変数をダミー変数とみなしてOLSを適用する方法(線形確率モデル、線形判別関数モデル)と、②選択の背後に「美術館見学がもたらす効用」といった直接的には観測できない潜在変数(latent variable)が存在し、潜在変数がとる値で選択の結果が説明できると考える方法、の二つのアプローチがある。後者のアプローチでは、潜在変数を説明する回帰モデルの誤差項が従う分布としてロジスティック分布または標準正規分布のいずれかを仮定し、前者をロジットモデル、後者をプロビットモデル呼ぶ。また、ロジットモデルを前提とすると、オッズ(odds)と呼ばれる選択確率と非選択確率の比の対数は、説明変数に回帰することによってパラメータの推定が行える。このため、ロジットモデルによる推定方法をロジスティック回帰と呼ぶこともある。

ーダンスなど」)

8. ストリートダンス(ブレイク, ヒップホップ等), ジャズダンス, 民俗舞踊(フラダンス, サルサ, フラメンコ等), 社交ダンスなど(「8.ストリートダンスなど」)
9. 日本舞踊(「9.日本舞踊」)
10. 伝統芸能(歌舞伎, 能・狂言, 人形浄瑠璃, 琴, 三味線, 尺八, 雅楽, 声明など)(「10.伝統芸能」)
11. 演芸(落語, 講談, 浪曲, 漫才・コント, 奇術・手品, 大道芸, 太神楽など)(「11.演芸」)
12. 花展, 盆栽展, 茶会などの展示, イベント(「12.花展・盆栽展・茶会など」)
13. 食文化の展示, イベント(「13.食文化の展示・イベント」)
14. 映画(アニメーション映画を除く)(「14.映画」)
15. アニメーション映画(「15.アニメーション映画」)
16. 歴史的な建物や遺跡(建造物(社寺・城郭など), 遺跡, 名勝地(庭園など)の文化財)(「16.歴史的な建物や遺跡」)
17. 歴史系の博物館, 民俗系の博物館, 資料館など(「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」)
18. 地域の伝統的な芸能や祭り(民俗文化財)(「18.地域の伝統的な芸能や祭り」)
19. その他(「19.その他」)

の19の種別を, 能動的な実践・支援活動では

1. 文学, 音楽, 美術, 演劇, 舞踊などの作品の創作(以降の本文中では, 「1.文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作」と表記, 以下同様)
2. マンガ, 映画などの映像作品, CG, ゲーム, メディアアートなどの作品の創作(「2.マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作」)
3. 音楽の演奏や, 演劇・舞踊・映画への出演など(「3.音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など」)
4. 音楽, バレエ, ダンス, 美術などの習い事の受講(「4.音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事」)
5. 茶道, 華道, 書道などの習い事の受講(「5.茶道・華道・書道などの習い事」)
6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加(「6.伝統的な食文化の継承活動への参加」)
7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加(「7.地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」)
8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動(「8.子どもの文化芸術体験のための支援」)
9. 高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術鑑賞, 体験促進のための支援活動(「9.高齢者などの文化芸術鑑賞・体験の支援」)
10. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動(「10.美術館・博物館での案内などの支援」)

11. 劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動（「11.劇場・ホールなどでの案内などの支援」）
12. 音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動（「12.音楽祭・映画祭などの開催の支援」）
13. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動（「13.歴史的建物・遺跡などの保存などの支援」）
14. その他（「14.その他」）
15. 特にしていない

の15の種別を対象としている。

なお、文化庁・名城大学(2023)の先行研究(以降は「先行研究」として言及)では、既に脚注3でも示したように、令和3年度調査のマイクロデータを用いて、4つの形態別に、上記の細分化した種別のいずれか一つの種別でも鑑賞あるいは実践・支援を行っていれば参加（「鑑賞経験あり」あるいは「実践・支援活動あり」）として、この参加の有無を目的変数としてロジスティック回帰分析を適用した分析を行っている。

しかし、文化的活動の内容は、上述の種別分類のように多種多様である。Bourdieu(1979)の「文化資本」の影響を受けるかどうか、また片岡(2008)による複数の種別を幅広く鑑賞するオムニボア(雑食)仮説あるいは特定の種別のみを鑑賞するユニボア(偏食)仮説のいずれを考えるにしても、種別に性別・年齢・収入・職業・学歴・家族構成・健康状態などの個人属性が、鑑賞形態(直接鑑賞, 無料の間接鑑賞, 有料配信の間接鑑賞)別の鑑賞や実践・支援への参加の選択に、さらには種別の選択にどのような影響を及ぼしているかを明らかにする試みは、文化支援のための政策立案にあたっては貴重な資料を提供することになると考えられる。そこで、本研究では、令和4年度調査のデータの分析が主たる目的ではあるが、サンプルサイズの大きい令和3年度調査のデータも分析し、2年度間の変化の比較対照を併せて行うことにより、施策選定への有用な資料の導出を試みる⁵。

以上の目的を達成するために、本節では、直接鑑賞, 間接鑑賞, 有料配信鑑賞については、19種別に鑑賞したか、および3つの鑑賞形態のそれぞれでどれか一つの種別でも鑑賞したか、実践・支援活動では、14種別に活動したか、およびどれか一つの種別でも活動したかの有無を示す2値変数である目的変数(被説明変数)に対して、2項ロジスティック回帰分析を適用して、参加の有無に影響を及ぼす個人属性の分析を行った⁶。

⁵ 2.6節で詳述するように、令和3年度調査と令和4年度調査は、いずれも新型コロナウイルス感染症の感染拡大開始後、感染症法上で2類相当に指定されていた期間で過去1年間の活動の有無を設問している。このため、回答データは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための行動制限の影響を大きく受けている。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類相当へと変更された2023年5月以降の活動をカバーしている令和5年度の調査のデータを利用した比較研究が期待される。

⁶ 2項ロジスティック回帰分析を文化的活動の分析に適用した先行研究としては、Morrison and West (1986), Abbé-Decarroux and Grin (1992), Gray (1998, 2003), Brooks (2002), Lewis and Seaman (2004)

文化的活動への参加の有無に影響を及ぼす要因としては、鑑賞も実践・支援も、いずれも金銭的成本、時間的成本、移動や活動のための行動力(健康)、対象種別への知識・関心(文化資本)などが必要となる。本研究では、先行研究を踏まえての説明変数の選択のための予備的な分析を経て、最終的な説明変数としては、以下の変数を採用することとした。

説明変数

- ① 整数値の量的変数としての年齢、および加齢の非線形の効果を見るための年齢の平方と年齢の立方。先行研究では、年齢はマイナス、年齢の平方はプラス、年齢の立方はマイナスで、参加率は加齢とともに低下するが、その低下は線形的に低下するのではなく、中年で下げ止まり、50歳を過ぎるあたりで増加に転じ、80歳前後でピークに達して、再び低下していくというスプライン曲線的な変化の存在が示されている。
- ② 0-1型のダミー変数としての性別(基準は「男性」)。男女共同参画社会に向けての取り組みが進められているが、家事や子育てにおける女性の負担は完全に解消されているわけではなく、結婚・出産・子供の成長・子供の独立というライフステージの影響を見る必要があり、女性についてはライフステージとの交差項を設けている。
- ③ 居住地(基準は「東京都」)。居住している都道府県別の0-1型のダミー変数で、直接鑑賞の鑑賞形態では施設や名所・旧跡の集積度や施設までの交通の利便性の代理指標になり、実践・支援活動では郷土料理や伝統芸能などの地域的特性の存在の有無の代理指標になると考えられる。なお、サンプルサイズが3,000と小さい令和4年度調査では、人口の少ない県(島根県、高知県、佐賀県)では有効なサンプルサイズが1桁となっているが、居住地の固定効果を確認するために、敢えて個別の変数を設定して分析を行っている。
- ④ 都市階級(基準は「小都市B(人口5万人未満の市)・町村」)。居住地と同様に、施設の集積度や多様性、および施設までの交通の利便性の代理指標と考えられる。なお、都市階級の「大都市」においては、文化的活動と競合する享乐的娯楽の機会も多く存在することにも留意しておく必要がある。
- ⑤ 職業(基準は「正規の職員・従業員(役員を含む)」)。学歴や年収とも関係するが、先行研究では、自営業主・自由業やリタイア・無職などは時間的な自由度が高いことの代理指標として捉えることの可能性が示されている。

などを参照されたい。たとえば、Gray (1998)では、美術鑑賞の有無に関して、National Endowment for the Arts(全米芸術基金)の1997年のSPPA(Survey of Public Participation in the Arts)データを利用して、被説明変数を過去1年間の美術館見学経験の有無とし、説明変数には美術に関する実技やクラス受講経験の有無と時期と場所、および美術鑑賞(美術史)クラスの受講経験の有無と時期と場所という初期美術教育の状況に加えて、カテゴライズされた年齢、最終学歴、所得、性別、人種の個人属性を選択し、ロジスティック回帰分析を適用してパラメータ(説明変数の係数)の推定と有意性の検定を行っている。その結果、「初期美術教育が成人後の芸術参加を高めるという仮説は支持されたが、施設面での問題の影響が学校が教育のための最適の場所であるとは言えず、『文化的ワクチン接種』は12歳未満で最もよく効き、ティーンエイジで低下し、その後上昇する」との結論を引き出している。また、Brooks (2002)は、実演活動への参加の有無に関して、同じくロジットモデルを利用している。

- ⑥ 同居家族状況(基準は「ひとり暮らし」)。単身か同居家族がいるかで参加に影響があるかどうかの影響を捉えるために組み込んでいるが、先行研究からは、同居家族(子供との同居で末子の学齢と要介護・要介助家族との同居)および女性と同居家族の交差項の影響が強いことが示唆されている。
- ⑦ 同居家族構成(基準は「同居していない」と⑥の同居家族状況の「ひとり暮らし」)。末子の未就学から高校卒業までの状況からライフステージを捉えるための代理指標として、また子供の参加を通じての親の参加への影響を把握するための変数である。
- ⑧ 同居要介護・要介助者の有無(基準は「いない」)。要介護・要介助の家族が同居していると、自由時間や外出が制限されて参加に影響が生じると考えられる。しかし、先行研究では、直接鑑賞および実践・支援活動においてプラスで有意の推定結果が得られており、付き添いで参加できる車いす利用などの要介助者の同居と生活支援で自由時間や外出が制限される寝たきりの要介護者の同居は分離して捉える必要があるのではないかと考えられる。本研究では、要介護者と要介助者の分離はできていない。
- ⑨ 健康状態(基準は「健康面で特に問題はない」)。健康状態については、1. 健康面で特に問題はない(普段の活動には問題はない)、2. 病気やけがで病院や診療所に通っている、3. 病院や診療所に入院している、4. 介護保険施設等に入所・通所している、5. 障害者手帳を所持している、6. 要介護・要支援の認定を受けている、7. 答えたくない、の7つの回答選択肢から単一回答方式で回答を求めている。しかし、提供されたデータセットには複数回答での回答が存在していることが判明している。そのため、特に直接鑑賞と実践・支援活動では外出が必要となることから、回答選択肢2および回答選択肢5の回答者には「移動(外出)可能」の選択肢を、回答選択肢3または4または5または6の回答者には「移動(外出)困難」の選択肢を新たに設け、振り分けている。なお、7の回答者は分析から除外している。ただし、先行研究では、移動困難でも直接鑑賞の係数はプラスで有意となっている。これは、病院や診療所への入院では外出は困難であるのに対して、介護保険施設等への入所・通所では、特別養護老人ホーム(特養)、介護老人保健施設(老健)、介護療養型医療施設(療養病床)の3つのタイプで構成される介護度の要介護3以上で入所が可能な介護保険施設では、外出は困難でも、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)、グループホームなどの施設に入所している場合には外出は可能であり、また入所者の健康維持やQOL(Quality of Life)の向上のために積極的に文化的活動に参加させている施設は多くあり、外出可能と外出困難の区別が難しいことの影響であると考えられる。
- ⑩ 年収(基準は「1,000 万円以上」)。世帯全体の昨年度の年収であり、単身世帯と二人以上の一般世帯では、世帯員一人当たりの所得が異なることから、世帯人員の平方根で世帯収入を除いた擬似的な等価可処分所得を利用できることが望ましいが、本研究では世帯年収を使用している。
- ⑪ 学歴(基準は「大学」)。学歴は、Bourdieu(1979)の「文化資本」の代理指標となる属性

であり、年収や職業との関係も強い。「小学校」を基準変数として分析を行った先行研究では有意な推定結果が得られなかったため、学歴は説明変数から除外していたが、本研究では、回答者数の少ない小学校と中学校を「小・中学校」と統合した上で、分析に組み込んでいる。

- ⑫ 習い事(ピアノ・バイオリン等の楽器、コーラス・声楽、ダンス、茶道・華道・書道等の生活文化、絵画・彫刻・陶芸・工芸、学習塾・そろばん等、水泳・体操・野球等のスポーツ、その他の 8 種別)。習い事の各種別は複数回答の選択肢であり、それぞれの種別で経験があれば 1、なければ 0 の 0-1 型ダミー変数を設定しており、基準となる水準はない。先行研究では、8 種別のどれか一つでも経験があれば経験ありとする習い事全般のダミー変数を設けて分析を行っていたが、本研究では 8 種別の習い事ごとにダミー変数化をしている。
- ⑬ 90 分以内で行くことができる施設(ホール・劇場、美術館、博物館、映画館の 4 種別)。施設の各種別は複数回答の選択肢であり、それぞれの種別で 90 分以内に到達可能であれば 1、到達不可能であれば 0 の 0-1 型ダミー変数を設定しており、基準となる水準はない。先行研究では、4 種別のどれか一つでも 90 分以内に到達可能であれば到達可能とする施設全般のダミー変数を設けて分析を行っていたが、本研究では 4 種別の施設ごとにダミー変数化をしている。
- ⑭ 交互作用としての性別の「女性」と同居家族構成(学齢別の末子と要介護・要介助者の有無、基準は学齢別末子と要介護・要介助者のいずれも「いない」)の交差項。性別で説明したように、女性への家事や育児などの影響を考慮に入れるために、先行研究と同様にこの交差項を分析に組み込んでいる。

単一回答方式の設問で捉えている属性をダミー変数化するにあたっての基準の水準としては、「小都市 B・町村」を基準としている都市階級を除き、鑑賞や実践・支援の活動が最も活発であると想定される水準を基準に設定しており、符号条件としては、推定される係数の符号はマイナスとなることを想定している。

手法の適用にあたっては、データ解析環境 R⁷を利用して、標準パッケージ stats の glm() 関数を利用している。

多重共線性については、VIF(Variance Inflation Factor)を用いてチェックを行っている(R のパッケージ performance を利用)。「都道府県」および「職業」の VIF は多くの種別ごとのモデルにおいて 10 を大きく超える値となっている。これは、水準が多い質的変数に関しては、データ数が少なくなる水準が多くなるためである(特に令和 4 年度調査においては顕著である)。しかし、今回の分析では、水準の統合を合理的に行うことの難しさ、ならびに令和 3 年度調査との比較を行うことのために水準の統合は行っていない。また、質的変数同士の交互作用も同様の多重共線性の問題がある。本分析では「性別」と「子供および要介

⁷ <https://cran.r-project.org/>

護・要介助者との同居」の交互作用を考えているが、質的変数同士の交互作用効果の現れ方は、水準数に依存する。対策としては、例えば、「小学生」と「中学生」と「高校生」の水準を統合するなど水準数を少なくすることも考えられる。しかし、本研究では、「性別」でも特に女性のライフステージを考慮したいため、調査票の回答選択肢から与えられた水準を基本的に使う形で分析を進めている。なお、実験的なものではあるが、Fox and Monette (1992)が一般化 VIF(GVIF)を提案している。これは上述の問題に対処して VIF を計算するものであり、これを用いると本研究での多重共線性には問題はないと判断される。

本研究での分析に使用するサンプルについては、説明変数に使用している属性に関する質問に「答えたくない」と回答している回答者は、分析の対象から外している。その結果、令和 3 年度調査では、サンプルサイズ(回答者数)は 20,006 であるが、分析の対象とした有効サンプルサイズは 14,995、令和 4 年度調査では、サンプルサイズは 3,000 であるが、分析の対象とした有効サンプルサイズは 2,267 となっている。性別や健康状態や年収などのセンシティブな質問に「回答したくない」と回答した回答者を分析から除外することで特定の無回答バイアスが発生すること、また令和 3 年度と令和 4 年度のいずれの調査も調査会社に登録しているウェブパネルを用いた調査であることから、PC あるいはスマートフォンなどの携帯端末からインターネットに接続して各種情報の取得に長けた人に回答者が偏っており、サンプル・セレクション・バイアスの問題があり、特にインターネットを利用する間接鑑賞と有料配信鑑賞にサンプル・セレクション・バイアスが生じている可能性のあることに留意しておく必要がある。

2.3.2 推計結果と文化的活動への参加に影響を及ぼす要因の分析

文化的活動の直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の参加の有無(ありが 1 でなしが 0 の 2 値変数)に対して、前項で示した説明変数を用いて 2 項ロジスティック回帰分析を適用した結果については、推定値を記載した表は多くのページを要することになるので巻末の付表 5 に示すこととして、ここでは、0.1%、1%、5%および 10%の 4 つの水準で有意となった係数に対応する升目をマイナスの符号は寒色で、プラスの符号は暖色で、それぞれ 4 段階の色調で判別できるように要約した表を表 2.3.1 に示している⁸。

なお、令和 3 年度調査の Q6 から Q9、および令和 4 年度調査の Q1 から Q4 の「19.その他」に関しては、「鑑賞した」の回答数が 1 から 3 と非常に少数のため、分析から外している。

ここで、2 項ロジスティック回帰分析とは、鑑賞や参加の有無を「あり」であれば 1、「なし」であれば 0 の 2 つの値のどちらかの値をとる 2 値変数として設定し、1 の値をとる確率を p 、0 の値をとる確率を $(1 - p)$ として、「なし」の確率に対する「あり」の確率の比、す

⁸ 付表 5 と表 2.3.1 の表頭に示した種別と表側に示した属性・水準の名称は、本文中の種別および属性・水準の呼称をそのまま使用すると長くなるので、短縮形で示している場合がある。そのため、本文中と付表 5 および表 2.3.1 では、呼称が異なる種別および属性・水準があることに留意されたい。

なわち、 $p/(1-p)$ をオッズとして定義し、このオッズの自然対数をとるロジット変換と呼ぶ変数変換によって得られた対数オッズ $\ln p/(1-p)$ に対して、重回帰分析と同様の説明変数 x_i とその係数 β_i との線形結合で説明するモデルのパラメータ β_i を最尤法で推定する方法である。説明変数が k 個あるとすれば、 β_0 を切片(定数項)として、

$$\ln \frac{p}{1-p} = \beta_0 + \beta_1 x_1 + \beta_2 x_2 + \cdots + \beta_k x_k$$

と表現されるモデルを使用することになる。

ロジットモデルを適用した結果は、重回帰分析で使用される決定係数(R^2)と同じような指標である Tjur の R^2 (疑似決定係数, Tjur(2009)) の値を付表 5 の上段に表示しているが、これらの疑似決定係数の値は低く、さらにいくつかの種別では行動者率が低いために完全分離等の問題が発生して通常のロジスティック回帰モデルの適用では推定が不安定となる。そのため、推定上の問題の欄に○を記載した種別については Firth の手法⁹で推定(計算には R のパッケージ `brglm2` を利用)している。

以下では、比較的安定した推定結果が得られている直接鑑賞と間接鑑賞に限定して、表 2.3.1 で色付けされている統計的に有意なパラメータ(推定された係数)をもつ変数および属性の水準に注目して、個人属性が文化的活動の参加への有無にどのような影響を及ぼしているかを検討していく。

推計されたパラメータの解釈に関して、量的な変数(本研究では年齢)の場合は、符号がプラス(逆にマイナス)であれば、その変数が大きな値をとればとるほど、質的な変数の場合は、その属性の水準が基準となる水準と比較して参加(逆に不参加)の方向に影響し、パラメータの絶対値が大きければ大きいほど影響の度合いが大きいことを意味することになる。

なお、2 項ロジスティック回帰分析では、推計されたパラメータを用いて説明変数の値の違いに基づく確率 p の推定値を計算することができる。さらに、説明変数の水準間でそれらのオッズの比であるオッズ比を求めることで、例えば、「性別」という属性の水準である「女性」は基準の水準である「男性」と比較して参加確率(行動者率)は何倍(あるいは何分の 1 倍)であるかの推計が可能である。

(1)直接鑑賞

文化的活動の直接鑑賞には、先述のように、参加(享受あるいは需要)する際に、参加のための料金や施設までの移動のための交通費などの金銭的負担、参加や施設までの移動に要する時間的負担、外出や移動に必要な健康状態の維持あるいは付き添いの確保といった負担が必要となり、こうした負担を超える参加したいという意欲・関心が必要となる。

⁹ Firth の方法とは、Firth(1993)によって提案された方法で、スコア関数を修正することで最尤推定量の 1 次のバイアスを補正した推定量を得る手法である。バイアス補正推定値を得るというのが当初の目的であったが、ロジスティック回帰モデルにおいては、最尤推定量が発散する状況でも有限の推定値を得る目的で広く利用されている手法である。

表 2.3.1 2 項ロジスティック回帰分析の適用結果 (直接鑑賞 4 の 1)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など	2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など	3. 美術	4. 現代 美術	5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇	6. ミュ ージカル	7. バレ エ・コン テンポラ リーダン スなど	8. スト リートダ ンスなど	9. 日本 舞踊	10. 伝統 芸能
推定上の問題				○	○		○	○		○	○	○	○
行動者率		14,995	2,267	7% 11%	10% 13%	12% 20%	2% 5%	2% 3%	3% 6%	1% 2%	1% 2%	1% 1%	2% 3%
切片		14,995	2,267	2		2	-2			2			
性別	女性	7,394	1,090			2	2	2	2	2			
	年齢	14,995	2,267	-4	-3	-4	-2	-2	-2	-3		-2	-4
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267	2	3		1	2	2				2
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267	-4	-2	-4		-1	-1	-2			-3
居住地	北海道	651	97			-2		-2					
	青森	146	16										
	岩手	146	17										
	宮城	267	61										
	秋田	114	11							2	2	2	
	山形	132	19			-1							
	福島	212	28						-2				
	茨城	348	62										
	栃木	231	29										
	群馬	217	28							2	2		
	山梨	91	11							2	2		
	長野	231	40			2						2	2
	埼玉	878	128										
	千葉	755	103		-2				-2				
	神奈川	1,092	162										
	新潟	246	42										
	富山	116	19			2							
	石川	136	22					2	2				
	福井	92	13	2				-2					
	岐阜	242	30										
	静岡	432	66		2				-1				
	愛知	885	141	-1		-2	-2	-1					
	三重	209	32								3		
	滋賀	162	30				2						
	京都	309	51		2								2
	大阪	1,053	149	-2									
	兵庫	663	100										
	奈良	155	25				2						
	和歌山	119	13										
	鳥取	60	11							2			
	島根	78	4			-2							2
	岡山	211	34		2								
	広島	339	61	-2				-1	-1				
	山口	160	19	-2		-1				2	3		
	徳島	93	13							2	2		
	香川	111	23										
	愛媛	159	25	-2	-1	-2							
	高知	90	8										2
	福岡	596	127										
	佐賀	88	9				2	2					
	長崎	145	18									2	
	熊本	203	38	-2		-3			-1				
	大分	144	12								2		
	宮崎	136	19			2							
	鹿児島	199	21	-2								2	
	沖縄	159	27			-2						2	
都市 階級	大都市	4,648	745					2					
	中都市(15万人以上)	4,325	669				2			2		-1	
	小都市A(5万人以上)	4,011	590							-2			

(直接鑑賞 4の2)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など	2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など	3. 美術	4. 現代 美術	5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇	6. ミュ ージカル	7. バレ エ・コン テンポラ リーダン スなど	8. スト リートダ ンスなど	9. 日本 舞踊	10. 伝統 芸能
職業	非正規職員・従業員	2,114	370				-2		-2		-2		
	自営業主・自由業	1,093	147			3		2					
	家族従業者	107	8										
	主婦・主夫	3,231	366		-4	-2	-2		-3	-3		1	
	学生	348	63							-2			
	リタイア・無職	3,097	412		-4	-2	-2				-1	-3	
	その他	353	3			1		-1					
家族 状況	核家族	10,526	1,516				1						-2
	三世代家族	944	106	-1							-1		-1
	その他同居家族	856	132			2			1				
同居 家族 (末子)	未就学児	1,452	214	1	2	1	1	3	4	1	1	1	1
	小学生	840	137		2	-2		3		3	2	2	1
	中学生	420	54	3	1	3					2	1	1
	高校生	914	71	1	3			2	3		2	1	3
	高校卒業者	1,984	375			-2					1	2	
	要介護・要介助者	978	148	3	1	2	3	1	1		1		3
健康 状態	移動可能	3,760	522				2						
	移動困難(通所含む)	171	30		3	1	2	3	1			2	1
年 収	～100万円未満	662	98			-2							
	～200万円未満	1,293	193	-3		-2	-1						
	～300万円未満	2,007	298		3	-2			-2				
	～400万円未満	2,357	348			1							
	～500万円未満	1,947	296		2	-2							
	～600万円未満	1,662	219	-2			-1	-2				-1	
	～700万円未満	1,274	185	-3									
	～800万円未満	1,034	186			-1		-1				-1	
	～900万円未満	713	117										-2
	～1,000万円未満	649	97									1	
学 歴	小・中学校	436	56	-1		-4	-2	-2	-2			2	-1
	高校・旧制中学校	5,351	732	-4		-4	-3	-3	-4	-3			-3
	短大・高専	2,520	447	-3		-4	-1	-2	-4			-2	-2
	大学院	575	104	3								-2	
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612	1	2	3	2	3	3	3	3	3	3
	コーラス・声楽	267	58	3	3	2	2	3		3	3	3	3
	ダンス	345	61	3	2	1	2		3	3			3
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790		3	3	3						2
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120	1	1	3	3			2		3	2
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109		2	2		3			3	2	2
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652			-2	-2					-2	-1
到 施 達 設 可 能	その他	634	0									2	1
	ホール・劇場	8,588	1,506	1	2	3		3	3	2	2	3	2
	美術館	8,027	1,357		2		3	-2	2		3		3
	博物館	6,593	1,148				2		2	2			3
同 居 女 性 × 家 族	映画館	11,323	1,853	-4		-2		-2		-2	-2		
	未就学児	645	102	-3	-2	-4		-2	-3	-2	-2	-2	
	小学生	375	55		-1				-2				-1
	中学生	193	20			-2							
	高校生	437	33	-2									
	高校卒業者	1,051	183		3						2		
	要介護・要介助者	459	77		-2	-2	-2	-2	-4				-2

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の升目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(直接鑑賞 4 の 3)

		サンプル サイズ		11. 演芸		12. 花 展・盆栽 展・茶会 など		13. 食文 化の展 示・イベ ント		14. 映画		15. アニ メーション 映画		16. 歴史 的な建 物や遺 跡		17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など		18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り		20. 直接 鑑賞	
推定上の問題				○	○		○		○							○					
行動者率		14,995	2,267	3%	3%	2%	3%	2%	5%	19%	28%	10%	14%	13%	20%	8%	14%	2%	4%	42%	55%
切片		14,995	2,267																		
別	女性	7,394	1,090																		
年 齢	年齢	14,995	2,267																		
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267																		
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267																		
		14,995	2,267																		
居 住 地	北海道	651	97																		
	青森	146	16																		
	岩手	146	17																		
	宮城	267	61																		
	秋田	114	11																		
	山形	132	19																		
	福島	212	28																		
	茨城	348	62																		
	栃木	231	29																		
	群馬	217	28																		
	山梨	91	11																		
	長野	231	40																		
	埼玉	878	128																		
	千葉	755	103																		
	神奈川	1,092	162																		
	新潟	246	42																		
	富山	116	19																		
	石川	136	22																		
	福井	92	13																		
	岐阜	242	30																		
	静岡	432	66																		
	愛知	885	141																		
	三重	209	32																		
	滋賀	162	30																		
	京都	309	51																		
	大阪	1,053	149																		
	兵庫	663	100																		
	奈良	155	25																		
	和歌山	119	13																		
	鳥取	60	11																		
	島根	78	4																		
	岡山	211	34																		
	広島	339	61																		
	山口	160	19																		
	徳島	93	13																		
	香川	111	23																		
	愛媛	159	25																		
	高知	90	8																		
	福岡	596	127																		
	佐賀	88	9																		
	長崎	145	18																		
	熊本	203	38																		
	大分	144	12																		
	宮崎	136	19																		
	鹿児島	199	21																		
	沖縄	159	27																		
都 市 階 級	大都市	4,648	745																		
	中都市(15万人以上)	4,325	669																		
	小都市A(5万人以上)	4,011	590																		

(直接鑑賞 4の4)

		サンプル サイズ		11. 演芸	12. 花 展・盆栽 展・茶会 など	13. 食文 化の展 示・イベ ント	14. 映画	15. アニ メーション映画	16. 歴史 的な建 物や遺 跡	17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など	18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り	20. 直接 鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	370	-3								
	自営業主・自由業	1,093	147	-2								
	家族従業者	107	8				-2					
	主婦・主夫	3,231	366	-4		-2	-4		1	-4		-4
	学生	348	63					1			-3	
	リタイア・無職	3,097	412	-2		-3			1	-2		-4
	その他	353	3				-1					
家族 状況	核家族	10,526	1,516					-1		-2		
	三世代家族	944	106					-3				
	その他同居家族	856	132	2							3	
同居 家族 (未7)	未就学児	1,452	214					3	2		3	
	小学生	840	137		2			2	2		2	
	中学生	420	54					2			1	-1
	高校生	914	71		3	3	3			2		
	高校卒業者	1,984	375				2					1
	要介護・要介助者	978	148			3	2					
健康 状態	移動可能	3,760	522									
	移動困難(通所含む)	171	30							-1		
年 収	～100万円未満	662	98						-3	-2		-4
	～200万円未満	1,293	193				-2	-3		-3	-4	-4
	～300万円未満	2,007	298	2			-2	-2		-4	-3	-2
	～400万円未満	2,357	348							-3	1	
	～500万円未満	1,947	296				-1	-2	2		1	
	～600万円未満	1,662	219			-2				-1	-2	
	～700万円未満	1,274	185							-2	-3	
	～800万円未満	1,034	186									-1
	～900万円未満	713	117									
	～1,000万円未満	649	97	3				-3				
学 歴	小・中学校	436	56				-3		-2	-2	-1	-4
	高校・旧制中学校	5,351	732	-2			-2	-4	-1	-4	-2	-4
	短大・高専	2,520	447	-2					-2	-3		-3
	大学院	575	104		3		-2			2		
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612	2			2		2			3
	コーラス・声楽	267	58		2	3						3
	ダンス	345	61	2			3				3	3
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790	2				2	3		3	2
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120									
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109		3	3	3	3	3	3	3	2
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652			2		2	3	3	2	2
	その他	634	0			3				-2	2	
到 達 施 設 可 能	ホール・劇場	8,588	1,506	2	2		2		3	3	2	
	美術館	8,027	1,357	2	3	2	2		2	3		
	博物館	6,593	1,148	2	2		2	2				3
	映画館	11,323	1,853					3				
同居 女性 × 家族	未就学児	645	102		-3	-2	-1	-2	-1	-2		-4
	小学生	375	55									
	中学生	193	20					1				
	高校生	437	33							-2		
	高校卒業者	1,051	183					3	-3			
	要介護・要介助者	459	77									-2

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の昇目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(間接鑑賞 4の1)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など		2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など		3. 美術		4. 現代 美術		5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇		6. ミュ ジカル		7. バレ エ・コン テンボラ リーダン スなど		8. スト リートダ ンスなど		9. 日本 舞踊		10. 伝統 芸能	
推定上の問題										○		○		○		○		○	○				○
行動者率		14,995	2,267	16%	18%	36%	44%	12%	14%	2%	3%	2%	3%	4%	6%	2%	3%	3%	5%	1%	1%	4%	5%
切片		14,995	2,267			-4	-2					-2				-2		3%	5%	1%	1%	4%	5%
性別	女性	7,394	1,090			-4										-3	-3						-3
年 齢	年齢	14,995	2,267	-3		3		-4	-2											-2	-2		-2
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267	3		-2				1										1			2
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267					-3															-2
		14,995	2,267																				
居 住 地	北海道	651	97				3					-2											
	青森	146	16																				
	岩手	146	17						2			2											
	宮城	267	61	2								2											
	秋田	114	11																				
	山形	132	19																				
	福島	212	28		2																		
	茨城	348	62		2																		
	栃木	231	29																				
	群馬	217	28																				
	山梨	91	11							-2		3											
	長野	231	40																				
	埼玉	878	128																				
	千葉	755	103									3											
	神奈川	1,092	162				-3																
	新潟	246	42																				
	富山	116	19																				
	石川	136	22									2											
	福井	92	13																				
	岐阜	242	30																				
	静岡	432	66										2										
	愛知	885	141				-2			-4		-2		2									
	三重	209	32																				
	滋賀	162	30																				
	京都	309	51										3										
	大阪	1,053	149	-3			-3			-2													
	兵庫	663	100		-2					-2													
	奈良	155	25		-1								1										
	和歌山	119	13																				
	鳥取	60	11																				
	島根	78	4							-2													
	岡山	211	34									1											
	広島	339	61				-2						-1										
	山口	160	19																				
	徳島	93	13							-1			3										
	香川	111	23																				
	愛媛	159	25																				
	高知	90	8																				
	福岡	596	127																				
	佐賀	88	9										2										
	長崎	145	18																				
	熊本	203	38																				
	大分	144	12																				
	宮崎	136	19																				
	鹿児島	199	21																				
	沖縄	159	27																				
都市 階級	大都市	4,648	745																				
	中都市(15万人以上)	4,325	669									1											
	小都市A(5万人以上)	4,011	590																				

(間接鑑賞 4の2)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など	2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など	3. 美術	4. 現代 美術	5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇	6. ミュ ジカル	7. バレ エ・コン テンポラ リーダン スなど	8. スト リートダ ンスなど	9. 日本 舞踊	10. 伝統 芸能
職業	非正規職員・従業員	2,114	370		3	2				-1			
	自営業主・自由業	1,093	147		2			3	3		2	2	3
	家族従業者	107	8			2		2					
	主婦・主夫	3,231	366	2		2						-2	
	学生	348	63		2	1		2					
	リタイア・無職	3,097	412	2	2					3	2		
	その他	353	3							3	2		2
家族 状況	核家族	10,526	1,516							-1			-2
	三世大家族	944	106	-1			2						
	その他同居家族	856	132			2							
同居 家族 (末子)	未就学児	1,452	214	2	-4				2			2	2
	小学生	840	137		-4		3		3		2	2	
	中学生	420	54						1		1	2	
	高校生	914	71		-3								
	高校卒業者	1,984	375	-4		1	-2						-2
	要介護・要介助者	978	148		2	1	3	2	2	2		3	
健康 状態	移動可能	3,760	522	2		2			2			-2	2
	移動困難(通所含む)	171	30			3	3		1				2
年 収	～100万円未満	662	98							-3	-3		
	～200万円未満	1,293	193							-3			
	～300万円未満	2,007	298							-3			
	～400万円未満	2,357	348	-3									
	～500万円未満	1,947	296							-2			
	～600万円未満	1,662	219		-2			1		-2			-1
	～700万円未満	1,274	185					2			-1		
	～800万円未満	1,034	186						-2				
	～900万円未満	713	117		-2								
学 歴	小・中学校	436	56	-3		-3	-2	1	-2				
	高校・旧制中学校	5,351	732	-4	-2	-4	-4	-2	-3	-3	2		-2
	短大・高専	2,520	447	-4		-3	-3		-2				1
	大学院	575	104										
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612			2		3		1	3	2	3
	コーラス・声楽	267	58		2		3	3	2		3		2
	ダンス	345	61	2	2		3		3		3	1	2
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790	3		2	2		2		2		2
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120	2	2		3	2		3	-1	2	3
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109	3		2	2	3	2		3	2	2
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652						2				
到 達 可 能	その他	634	0										3
	ホール・劇場	8,588	1,506				1		2	2	2		2
	美術館	8,027	1,357		2				3	3	3	3	3
	博物館	6,593	1,148			3	3			2		2	2
同 居 家 族 × 女 性	映画館	11,323	1,853	-1		-2	-3	-4	1			-2	1
	未就学児	645	102			-4	-2		-2	-4	-4		
	小学生	375	55	-1		-1			-2				
	中学生	193	20							-2			
	高校生	437	33			-2							-3
	高校卒業者	1,051	183		-1		-2	2					2
	要介護・要介助者	459	77						-3	-1		-2	-2

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の升目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(間接鑑賞 4 の 3)

		サンプル サイズ	11. 演芸	12. 花 展・盆栽 展・茶会 など	13. 食文 化の展 示・イベ ント	14. 映画	15. アニ メーション 映画	16. 歴史 的な建 物や遺 跡	17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など	18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り	20. 間接 鑑賞
推定上の問題				○ ○	○					○	
行動者率		14,995 2,267	13% 14%	1% 2%	2% 4%	42% 49%	24% 29%	17% 17%	7% 9%	4% 5%	67% 77%
切片		14,995 2,267									
性別	女性	7,394 1,090	-4	3	-3	-4	-4	-4	-4	-4	-3
年齢	年齢	14,995 2,267	-2	1		-1			-2	-1	-4
	年齢の平方(2乗)	14,995 2,267	2 2	1			-1	2 2	3 2	1	
	年齢の立方(3乗)	14,995 2,267	-1 -1			-4		-2	-3 -2		-4
居住地	北海道	651 97					2		3	2	2
	青森	146 16		2			3			2	3
	岩手	146 17					2			1	1
	宮城	267 61				2	3				
	秋田	114 11									
	山形	132 19									
	福島	212 28	3 1	2		2	2	3	2	2	
	茨城	348 62	1 2			3	3	2	2	2	2
	栃木	231 29		3							
	群馬	217 28							1		
	山梨	91 11				-1		2	1 1		
	長野	231 40				2					1
	埼玉	878 128				4			3	2	2
	千葉	755 103			1	2				1	2
	神奈川	1,092 162								1	
	新潟	246 42					1				-2
	富山	116 19									2
	石川	136 22	1				3				
	福井	92 13	1		2				1	2	
	岐阜	242 30							1		
	静岡	432 66	1			1					
	愛知	885 141									1
	三重	209 32	1								
	滋賀	162 30		1							
	京都	309 51								3	
	大阪	1,053 149					1	1			2
	兵庫	663 100									-2 2
	奈良	155 25								2	
	和歌山	119 13		2							
	鳥取	60 11								1	
	島根	78 4			1						
	岡山	211 34					2				
	広島	339 61					1				1
	山口	160 19									
	徳島	93 13		3						1	
	香川	111 23									
	愛媛	159 25									
	高知	90 8									
	福岡	596 127								3	
	佐賀	88 9		2							
	長崎	145 18			2					2	1
	熊本	203 38					2				1
	大分	144 12				-1		1		1	
	宮崎	136 19									
	鹿児島	199 21	2							1	1
	沖縄	159 27				2 2	-1				2
都市階級	大都市	4,648 745	-2		1	2	-2	-2		-4	
	中都市(15万人以上)	4,325 669		-1	1	-1				-3	
	小都市A(5万人以上)	4,011 590								-1	

(間接鑑賞 4 の 4)

		サンプル サイズ		11. 演芸	12. 花 展・盆栽 展・茶会 など	13. 食文 化の展 示・イベ ント	14. 映画	15. アニ メーション 映画	16. 歴史 的な建 物や遺 跡	17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など	18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り	20. 間接 鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	370					3	3			3
	自営業主・自由業	1,093	147	2		1		3	3	3	3	
	家族従業者	107	8						4			3
	主婦・主夫	3,231	366				2					
	学生	348	63					2				2
	リタイア・無職	3,097	412	2					3		1	
	その他	353	3									
家族 状況	核家族	10,526	1,516						3			
	三世大家族	944	106				2		2			2
	その他同居家族	856	132				2					2
同居 家族 (未子)	未就学児	1,452	214				4					
	小学生	840	137	2				2	3			
	中学生	420	54						2		1	2
	高校生	914	71	2					2			
	高校卒業者	1,984	375									2
	要介護・要介助者	978	148		2	1	2			2		2
健康 状態	移動可能	3,760	522			2	3	2	1		1	
	移動困難(通所含む)	171	30				2	2	1			3
年 収	～100万円未満	662	98			2	2	1				2
	～200万円未満	1,293	193			4	2	2				4
	～300万円未満	2,007	298			4	3					
	～400万円未満	2,357	348			2	2	2				
	～500万円未満	1,947	296			3					1	2
	～600万円未満	1,662	219			3	4					
	～700万円未満	1,274	185			3						
	～800万円未満	1,034	186			2	1	1				
	～900万円未満	713	117									2
	～1,000万円未満	649	97									
学 歴	小・中学校	436	56			1		1	4	3	1	
	高校・旧制中学校	5,351	732			1	4		2	2	1	3
	短大・高専	2,520	447							2		
	大学院	575	104			2				1		
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612				2		3	2	2	4
	コーラス・声楽	267	58	2		3			2		2	3
	ダンス	345	61			3						3
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790				3	2		3	1	
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120			3	2	1	2	2		2
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109		3	3	3			3	1	3
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652	3	3	3			3	3	3	3
	その他	634	0			2						
到 達 可 能	ホール・劇場	8,588	1,506		3	3				3		3
	美術館	8,027	1,357			2	2				2	3
	博物館	6,593	1,148		2	1						
	映画館	11,323	1,853	3	2							
同 居 家 族 × 女 性	未就学児	645	102			2	3		3			4
	小学生	375	55									
	中学生	193	20									
	高校生	437	33									
	高校卒業者	1,051	183				2		2			4
	要介護・要介助者	459	77			2						

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の目色の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(有料配信鑑賞 4の1)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など	2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など	3. 美術	4. 現代 美術	5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇	6. ミュ ージカル	7. バレ エ・コン テンポラ リーダン スなど	8. スト リートダ ンスなど	9. 日本 舞踊	10. 伝統 芸能
推定上の問題				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行動者率		14,995	2,267	2%	2%	7%	9%	2%	2%	1%	1%	1%	1%
切片		14,995	2,267										
性別	女性	7,394	1,090										
	男性	7,394	1,090										
年齢	年齢	14,995	2,267										
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267										
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267										
	年齢の平方根(2乗)	14,995	2,267										
居住地	北海道	651	97										
	青森	146	16										
	岩手	146	17										
	宮城	267	61										
	秋田	114	11										
	山形	132	19										
	福島	212	28										
	茨城	348	62										
	栃木	231	29										
	群馬	217	28										
	山梨	91	11										
	長野	231	40										
	埼玉	878	128										
	千葉	755	103										
	神奈川	1,092	162										
	新潟	246	42										
	富山	116	19										
	石川	136	22										
	福井	92	13										
	岐阜	242	30										
	静岡	432	66										
	愛知	885	141										
	三重	209	32										
	滋賀	162	30										
	京都	309	51										
	大阪	1,053	149										
	兵庫	663	100										
	奈良	155	25										
	和歌山	119	13										
	鳥取	60	11										
	島根	78	4										
	岡山	211	34										
	広島	339	61										
	山口	160	19										
	徳島	93	13										
	香川	111	23										
	愛媛	159	25										
	高知	90	8										
	福岡	596	127										
	佐賀	88	9										
	長崎	145	18										
	熊本	203	38										
	大分	144	12										
	宮崎	136	19										
	鹿児島	199	21										
	沖縄	159	27										
都市 階級	大都市	4,648	745										
	中都市(15万人以上)	4,325	669										
	小都市A(5万人以上)	4,011	590										

(有料配信鑑賞 4の2)

		サンプル サイズ		1. オー ケストラ・ オペラ・ 吹奏楽 など	2. ポッ プス・ ロック・ ジャズ・ 演歌など	3. 美術	4. 現代 美術	5. 現代 演劇・児 童演劇・ 人形劇	6. ミュ ジカル	7. バレ エ・コン テンポラ リー・ダン スなど	8. スト リートダ ンスなど	9. 日本 舞踊	10. 伝統 芸能
職業	非正規職員・従業員	2,114	370										
	自営業主・自由業	1,093	147										
	家族従業者	107	8										
	主婦・主夫	3,231	366										
	学生	348	63										
	リタイア・無職	3,097	412										
	その他	353	3										
家族 状況	核家族	10,526	1,516										
	三世代家族	944	106										
	その他同居家族	856	132										
同居 家族 (未子)	未就学児	1,452	214										
	小学生	840	137										
	中学生	420	54										
	高校生	914	71										
	高校卒業者	1,984	375										
	要介護・要介助者	978	148										
健康 状態	移動可能	3,760	522										
	移動困難(通所含む)	171	30										
年 収	～100万円未満	662	98										
	～200万円未満	1,293	193										
	～300万円未満	2,007	298										
	～400万円未満	2,357	348										
	～500万円未満	1,947	296										
	～600万円未満	1,662	219										
	～700万円未満	1,274	185										
	～800万円未満	1,034	186										
	～900万円未満	713	117										
学 歴	小・中学校	436	56										
	高校・旧制中学校	5,351	732										
	短大・高専	2,520	447										
	大学院	575	104										
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612										
	コーラス・声楽	267	58										
	ダンス	345	61										
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790										
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120										
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109										
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652										
施 達 設 可 能	その他	634	0										
	ホール・劇場	8,588	1,506										
	美術館	8,027	1,357										
	博物館	6,593	1,148										
同 居 家 族 × 女 性	映画館	11,323	1,853										
	未就学児	645	102										
	小学生	375	55										
	中学生	193	20										
	高校生	437	33										
	高校卒業者	1,051	183										
	要介護・要介助者	459	77										

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の昇目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(有料配信鑑賞 4 の 3)

		サンプル サイズ	11. 演芸	12. 花 展・盆栽 展・茶会 など	13. 食文 化の展 示・イベ ント	14. 映画	15. アニ メーション映画	16. 歴史 的な建 物や遺 跡	17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など	18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り	20. 有料 配信 鑑賞
推定上の問題			○	○	○		○	○	○	○	
行動者率		14,995 2,267	1% 1%	0% 0%	0% 1%	12% 16%	7% 10%	1% 1%	1% 1%	0% 0%	22% 28%
切片		14,995 2,267		-1	-2	-4				-3	
引 年 齢	女性	7,394 1,090				-4	-4	-1	-1	-3	
	年齢	14,995 2,267			-3	-4	-2	-2		-1	-4
	年齢の平方(2乗)	14,995 2,267		-2	-1	3	2	2	2	-1	2
	年齢の立方(3乗)	14,995 2,267		-1	3	3	-3	-4	-2	1	-4
居住地	北海道	651 97						3			-2
	青森	146 16								2	
	岩手	146 17						2		3	
	宮城	267 61									
	秋田	114 11			3						
	山形	132 19			2					2	-1
	福島	212 28			2						
	茨城	348 62									
	栃木	231 29		2		3	3	3		3	2
	群馬	217 28									
	山梨	91 11								1	
	長野	231 40				1					
	埼玉	878 128								2	1
	千葉	755 103			2					1	2
	神奈川	1,092 162		1	1					1	
	新潟	246 42		1				2			
	富山	116 19			2		2			1	
	石川	136 22								2	-1
	福井	92 13								3	
	岐阜	242 30								2	
	静岡	432 66						2		1	
	愛知	885 141									
	三重	209 32			2						
	滋賀	162 30						2			
	京都	309 51		1	3		2		1		
	大阪	1,053 149	-1	1					-1		
	兵庫	663 100									
	奈良	155 25					2			1	-1
	和歌山	119 13	2		3			1			
	鳥取	60 11								2	
	島根	78 4						1		2	
	岡山	211 34					2				
	広島	339 61			2	-1				3	
	山口	160 19				2	2			1	
	徳島	93 13		2	3				3	3	2
	香川	111 23								1	
	愛媛	159 25				2	2			3	
	高知	90 8			2	2			2	2	
	福岡	596 127		1		3		1		2	
	佐賀	88 9								2	
	長崎	145 18				2	1	2	3	1	2
	熊本	203 38								1	
	大分	144 12			1						
	宮崎	136 19			2	3				1	
	鹿児島	199 21									
	沖縄	159 27								2	
都市 階級	大都市	4,648 745	-1	-3						-2	
	中都市(15万人以上)	4,325 669	-2	-2	-2	-2					
	小都市A(5万人以上)	4,011 590								-3	

(有料配信鑑賞 4の4)

		サンプル サイズ		11. 演芸	12. 花 展・盆栽 展・茶会 など	13. 食文 化の展 示・イベ ント	14. 映画	15. アニ メーション 映画	16. 歴史 的な建 物や遺 跡	17. 歴史 系・民俗 系の博 物館・資 料館など	18. 地域 の伝統 的な芸 能や祭り	20. 有料 配信 鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	370									
	自営業主・自由業	1,093	147									
	家族従業者	107	8									
	主婦・主夫	3,231	366									
	学生	348	63									
	リタイア・無職	3,097	412									
	その他	353	3									
家族 状況	核家族	10,526	1,516									
	三世大家族	944	106									
	その他同居家族	856	132									
同居 家族 (末子)	未就学児	1,452	214									
	小学生	840	137									
	中学生	420	54									
	高校生	914	71									
	高校卒業者	1,984	375									
	要介護・要介助者	978	148									
健康 状態	移動可能	3,760	522									
	移動困難(通所含む)	171	30									
年 収	～100万円未満	662	98									
	～200万円未満	1,293	193									
	～300万円未満	2,007	298									
	～400万円未満	2,357	348									
	～500万円未満	1,947	296									
	～600万円未満	1,662	219									
	～700万円未満	1,274	185									
	～800万円未満	1,034	186									
	～900万円未満	713	117									
	～1,000万円未満	649	97									
学 歴	小・中学校	436	56									
	高校・旧制中学校	5,351	732									
	短大・高専	2,520	447									
	大学院	575	104									
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612									
	コーラス・声楽	267	58									
	ダンス	345	61									
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790									
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120									
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109									
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652									
到 達 可 能	その他	634	0									
	ホール・劇場	8,588	1,506									
	美術館	8,027	1,357									
	博物館	6,593	1,148									
同 居 女 性 × 家 族	映画館	11,323	1,853									
	未就学児	645	102									
	小学生	375	55									
	中学生	193	20									
	高校生	437	33									
	高校卒業者	1,051	183									
	要介護・要介助者	459	77									

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック帰帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の升目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数がプラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(実践・支援活動 4の1)

		サンプル サイズ		1. 文学・ 音楽・美術・演劇 などの創作	2. マン ガ・ゲー ムなどの 創作	3. 音楽 の演奏 や演劇・ 舞踊へ の出演	4. 音楽・ バレエ・ 美術など の習い 事	5. 茶道・書 道などの 習い事	6. 伝統 的な食 文化の 継承活 動	7. 地域 の伝統 的芸能 や祭りへ の参加					
推定上の問題				○	○	○	○	○	○	○					
行動者率				14,995	2,267	3%	3%	2%	2%	2%	3%	1%	1%	1%	4%
切片				14,995	2,267	-		-1							
別 年 齢	女性	7,394	1,090												
	年齢	14,995	2,267			-2	-2	-2	-4	-2					
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267						3						
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267						-2						
居住地	北海道	651	97												
	青森	146	16												
	岩手	146	17												
	宮城	267	61												
	秋田	114	11												
	山形	132	19												
	福島	212	28												
	茨城	348	62												
	栃木	231	29												
	群馬	217	28												
	山梨	91	11												
	長野	231	40												
	埼玉	878	128												
	千葉	755	103												
	神奈川	1,092	162												
	新潟	246	42												
	富山	116	19												
	石川	136	22												
	福井	92	13												
	岐阜	242	30												
	静岡	432	66												
	愛知	885	141												
	三重	209	32												
	滋賀	162	30												
	京都	309	51												
	大阪	1,053	149												
	兵庫	663	100												
	奈良	155	25												
	和歌山	119	13												
	鳥取	60	11												
	島根	78	4												
	岡山	211	34												
	広島	339	61												
	山口	160	19												
	徳島	93	13												
	香川	111	23												
	愛媛	159	25												
	高知	90	8												
	福岡	596	127												
	佐賀	88	9												
	長崎	145	18												
	熊本	203	38												
	大分	144	12												
	宮崎	136	19												
	鹿児島	199	21												
	沖縄	159	27												
都市 階級	大都市	4,648	745												
	中都市(15万人以上)	4,325	669												
	小都市A(5万人以上)	4,011	590												

(実践・支援活動 4の2)

		サンプル サイズ		1. 文学・ 音楽・美 術・演劇 などの創 作	2. マン ガ・ゲー ムなどの 創作	3. 音楽 の演奏 や演劇・ 舞踊へ の出演	4. 音楽・ バレエ・ 美術など の習い 事	5. 茶道・ 華道・書 道などの 習い事	6. 伝統 的な食 文化の 継承活 動	7. 地域 の伝統 的芸能 や祭りへ の参加
職業	非正規職員・従業員	2,114	370					-1		
	自営業主・自由業	1,093	147							
	家族従業者	107	8							
	主婦・主夫	3,231	366		-3				-3	-3
	学生	348	63							
	リタイア・無職	3,097	412		-2	-3	-3			-2
	その他	353	3							
家族 状況	核家族	10,526	1,516							
	三世家族	944	106							
	その他同居家族	856	132							
同居 家族 (末子)	未就学児	1,452	214							
	小学生	840	137							
	中学生	420	54							
	高校生	914	71							
	高校卒業者	1,984	375							
	要介護・要介助者	978	148							
健康 状態	移動可能	3,760	522							
	移動困難(通所含む)	171	30							
年 収	～100万円未満	662	98							
	～200万円未満	1,293	193							
	～300万円未満	2,007	298							
	～400万円未満	2,357	348							
	～500万円未満	1,947	296							
	～600万円未満	1,662	219							
	～700万円未満	1,274	185							
	～800万円未満	1,034	186							
	～900万円未満	713	117							
	～1,000万円未満	649	97							
学 歴	小・中学校	436	56							
	高校・旧制中学校	5,351	732							
	短大・高専	2,520	447							
	大学院	575	104							
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612							
	コーラス・声楽	267	58							
	ダンス	345	61							
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790							
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120							
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109							
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652							
到 達 可 能	その他	634	0							
	ホール・劇場	8,588	1,506							
	美術館	8,027	1,357							
	博物館	6,593	1,148							
	映画館	11,323	1,853							
同 居 家 族 × 女 性	未就学児	645	102							
	小学生	375	55							
	中学生	193	20							
	高校生	437	33							
	高校卒業者	1,051	183							
	要介護・要介助者	459	77							

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して
いて通常のロジスティック 回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結
果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の升目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数が
プラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、
次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

(実践・支援活動 4の3)

		サンプル サイズ	8. 子どもの文化芸術体験の支援活動		9. 高齢者などの文化芸術鑑賞の支援		10. 美術館・博物館での案内などの支援		11. 劇場・ホールでの案内などの支援		12. 音楽祭・映画祭などの開催の支援		13. 歴史的建物・遺跡の保存などの支援		15. 実践支援活動		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
推定上の問題																	
行動者率			14,995	2,267	1%	1%	1%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	10%	14%
切片			14,995	2,267			-2	-3									
性別	女性	7,394	1,090														
	年齢	14,995	2,267				-2	-3	-2	-1						-4	-2
	年齢の平方(2乗)	14,995	2,267						2								
	年齢の立方(3乗)	14,995	2,267													-1	
居住地	北海道	651	97														
	青森	146	16														
	岩手	146	17				2			3		3					
	宮城	267	61			2											
	秋田	114	11												2		
	山形	132	19	3		1				1							
	福島	212	28														
	茨城	348	62				2			3							1
	栃木	231	29														
	群馬	217	28														
	山梨	91	11				2				-1						
	長野	231	40				1	2									
	埼玉	878	128												3		
	千葉	755	103								1					2	1
	神奈川	1,092	162			2								2			
	新潟	246	42														
	富山	116	19													2	2
	石川	136	22			2			2								2
	福井	92	13					2	2								2
	岐阜	242	30														
	静岡	432	66						1								1
	愛知	885	141								1					1	
	三重	209	32							3	1				1		
	滋賀	162	30				2										
	京都	309	51	2			1	2				1	3				1
	大阪	1,053	149					2								2	
	兵庫	663	100					1		2							
	奈良	155	25	2													
	和歌山	119	13								1						
	鳥取	60	11														
	島根	78	4														
	岡山	211	34					2									
	広島	339	61							3							
	山口	160	19						1								
	徳島	93	13				1					1			2		2
	香川	111	23											3			
	愛媛	159	25														
	高知	90	8											2			2
	福岡	596	127					2	2	3					2		
	佐賀	88	9				2					1					
	長崎	145	18									1					2
	熊本	203	38					2									
	大分	144	12														
	宮崎	136	19						2								
	鹿児島	199	21	2													
	沖縄	159	27						3						3		
都市階級	大都市	4,648	745														
	中都市(15万人以上)	4,325	669								1		2				
	小都市A(5万人以上)	4,011	590											3			

(実践・支援活動 4の4)

		サンプル サイズ		8. 子 どもの文化 芸術体 験の支 援活動	9. 高 齢 者などの 文化芸 術鑑賞 の支援	10. 美術 館・博物 館での 案内など の支援	11. 劇 場・ホー ルでの 案内など の支援	12. 音楽 祭・映画 祭などの 開催の 支援	13. 歴史 的建物・ 遺跡の 保存など の支援	15. 実践 支援 活動
職業	非正規職員・従業員	2,114	370					-3		
	自営業主・自由業	1,093	147					1		
	家族従業者	107	8							
	主婦・主夫	3,231	366			-1	-1	1	-1	
	学生	348	63		1	-2	-2		-2	
	リタイア・無職	3,097	412	-2			-1	-2		
	その他	353	3					2		
家族 状況	核家族	10,526	1,516				-2			
	三世代家族	944	106		2					
	その他同居家族	856	132		1	2		3		
同居 家族 (来子)	未就学児	1,452	214		3				4	3
	小学生	840	137						3	
	中学生	420	54	3	3			3	1	
	高校生	914	71							
	高校卒業者	1,984	375							
健康 状態	要介護・要介助者	978	148	2	2		3			
	移動可能	3,760	522			-1		-2		
年 収	移動困難(通所含む)	171	30	2		4	4			3
	～100万円未満	662	98							
	～200万円未満	1,293	193					2		1
	～300万円未満	2,007	298					3		3
	～400万円未満	2,357	348	-2			2	2	-1	
	～500万円未満	1,947	296				2		-1	
	～600万円未満	1,662	219					2	-2	
	～700万円未満	1,274	185						-2	
	～800万円未満	1,034	186	-1				2		
	～900万円未満	713	117						-2	
	～1,000万円未満	649	97			1				
学 歴	小・中学校	436	56			-1				-1
	高校・旧制中学校	5,351	732							-4
	短大・高専	2,520	447		-2			1	2	-3
	大学院	575	104							
習 い 事	ピアノ等の楽器	3,591	612	2			2			
	コーラス・声楽	267	58			2				
	ダンス	345	61			2	3	1	4	
	茶・華・書道の生活文化	3,394	790							2
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	120	2		2			2	
	学習塾・そろばん等	6,018	1,109				2			2
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	652					2	1	2
	その他	634	0							
到 達 可 能	ホール・劇場	8,588	1,506	2						3
	美術館	8,027	1,357		2		3	1		3
	博物館	6,593	1,148			4		1	3	
	映画館	11,323	1,853	-3			-3		-4	-4
同居 女性 × 家族	未就学児	645	102		-4	-3	-1			-4
	小学生	375	55							-1
	中学生	193	20	2				2		-4
	高校生	437	33			-2		1	1	-1
	高校卒業者	1,051	183	2						
	要介護・要介助者	459	77							

注1) 各種目の左列は令和3年度調査、右列は令和4年度調査の推計結果を示している。

注2) 推定上の問題で○が記載されている列の推定結果は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して
いて通常のロジスティック 回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結
果と有意性については信頼できない。

注3) 表中の昇目の色は、表頭で対応する種別で表側で対応する属性の水準に対して推定された係数が
プラスであれば暖色系、マイナスであれば寒色系で表示しており、濃淡は、最も濃い色が0.1%水準、
次いで1%水準、次いで5%水準、最も薄い色が10%水準で有意であることを示している。

先行研究では、令和 3 年度調査のデータを用いて 19 の種別を統合した上での直接鑑賞への参加の要因を分析しているが、令和 4 年度調査のデータの分析と同じモデルを用いた推定結果と令和 4 年度調査のデータの推定結果との比較対照では、以下の特徴が見られる(表 2.3.1 の直接鑑賞の 4 の 3 および 4 の 4 の「20.直接鑑賞」の列を参照されたい)。

以下、表に基づいて、有意な属性の水準および符号に基づいて考察を進めていくが、令和 4 年度調査ではサンプルサイズが小さいため、推計された係数の符号がプラスであれマイナスであれ、有意になっていない可能性もあるので注意が必要である。

①令和 3 年度調査の結果は文化庁・名城大学(2023)で詳述しているが、令和 3 年度調査と令和 4 年度調査で共通なのは、以下の点である。

- 1)性別の「女性」の係数はプラスで有意で、「女性」は後述の交差項の解釈も加味する必要はあるが、「男性」と比較して参加率は高い。
- 2)「年齢」はマイナスで有意、「年齢の平方」はプラスで有意、「年齢の立方」はマイナスで有意で年齢と参加率の間にはスプライン曲線の特徴が見られる。
- 3)学歴では、「大学」と比較して「小・中学校」と「高校・旧制中学校」がマイナスで有意で、習い事では「コーラス・声楽」、「ダンス」、「茶道・華道・書道等の生活文化」、「学習塾・そろばん等」がプラスで有意、90 分以内到達可能施設では「ホール・劇場」と「映画館」がプラスで有意、女性と同居家族の交差項では「未就学児の末子」の存在がマイナスで有意である。
- 4)職業の「主婦・主夫」がマイナスで有意であり、年収では「100 万円以上 200 万円未満」と「200 万円以上 300 万円未満」がマイナスで有意である。

②令和 3 年度調査と令和 4 年度調査で推定結果に顕著な違いが見られるのは、以下の点である。

- 1)居住地に関しては、令和 3 年度調査ではいくつかの府県で基準の「東京都」とマイナス方向で有意な差が見られるが、サンプルサイズが小さい令和 4 年度調査では、「沖縄県」だけがプラスで有意である。
- 2)職業については、「正規職員・従業員」を基準として、令和 3 年度調査では「主婦・主夫」、「リタイア・無職」、「その他」がマイナスで有意であるが、令和 4 年度調査では「主婦・主夫」の家事専業者のみがマイナスで有意である。
- 3)同居家族では、令和 3 年度調査では「高校卒業者の末子」がマイナスで有意であることを例外に、「未就学児の末子」から「高校生の末子」までの全ての水準でプラスで有意であったのに対して、令和 4 年度調査では「中学生の末子」がマイナスで有意となり、他に有意な水準はプラスの「小学生の末子」だけである。
- 4)年収では、「1,000 万円以上」を基準として、令和 3 年度調査では 400 万円未満の 4 水準でマイナスで有意となっているのに加えて「600 万円以上 700 万円未満」の水準においてマイナスで有意となっていたが、令和 4 年度調査では、マイナスで有意となった水準は 100 万円以上 300 万円未満の 2 水準だけとなっている。

以上は直接鑑賞の19種別を統合した変数を目的変数として分析した結果を要約して示したものであるが、直接鑑賞の対象となる文化的活動を「19.その他」を除く18種別に細分化して分析した結果からは、種別によって、以下に示すように、全く異なる参加者の属性上の特徴が見られる。ただし、令和4年度調査では、サンプルサイズが小さく、参加率が低い「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「4.現代美術」、「5.現代演劇・児童演劇・人形劇」、「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」、「8.ストリートダンスなど」、「9.日本舞踊」、「10.伝統芸能」、「11.演芸」、「12.花展・盆栽展・茶会など」、「13.食文化の展示・イベント」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」では、通常のロジスティック回帰分析の適用では推定が不安定となるため、Firthの手法を適用しての推定結果であることに留意する必要がある。

表 2.3.1 から直接鑑賞に影響を及ぼす要因を把握するためには、属性別に、各水準と18の種別に対して有意差がある場合にマイナス側は寒色系で、プラス側は暖色系で塗り分けられた升目のパターンを読み取ることが有用である。

- ①性別：令和3年度調査の「14.アニメーション映画」、令和4年度調査の「11.演芸」が寒色であるだけで、その他は暖色であり、基準の男性と比較すると、女性は参加率が高い傾向にあると言える。
- ②年齢：ほとんどの種別で、年齢は寒色、年齢の平方は暖色、年齢の立方は寒色を示している。このパターンは、直接鑑賞の参加率と年齢の関係は、加齢とともに低下するが、中年で低下がとまって上昇へ転じ、高齢になってピークアウトして再び低下するというスプライン曲線を描くことを示している。
- ③居住地：基準の「東京都」と比較して、特に明確な特徴は見られないが、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」、「8.ストリートダンスなど」、「9.日本舞踊」、「10.伝統芸能」、「18.地域の伝統的な芸能や祭り」において、暖色の府県が多く、地方においては地域の伝統が残されていることが窺える。また、概して令和4年度調査で新たに有意となった、また、令和3年度調査では寒色でマイナスだったものが無色となり有意でなくなった道府県が数多く見られる。特に、「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「3.美術」、「6.ミュージカル」、「14.映画」で顕著であり、これらの変化は、居住地において新型コロナウイルス感染拡大への行動制限の影響が薄れてきていたと考えることができる可能性がある。
- ④都市階級：基準となる水準は「小都市B・町村」であり、「11.演芸」は「大都市」では両年度ともにマイナスで有意、「9.日本舞踊」は「中都市」では両年度ともにマイナスで有意となっているが、特に顕著なパターンはみられない。
- ⑤職業：基準となる水準は「正規職員・従業員」である。令和3年度調査ではと令和4年度調査の両調査において、直接鑑賞全般（「20.直接鑑賞」）において暖色の升目は見られず、種別でも暖色の升目は少ないが、令和4年度調査では「15.アニメーション映画」と「7.バレエ・コンテンポラリーダンス」で暖色に転じる升目があり、居住地（都道府

県)での結果と同様に、新型コロナウイルス感染拡大への行動制限の影響が薄れてきていることが反映されているのではないかと考えられる。

- ⑥家族状況：基準となる「ひとり暮らし」と比較して、令和3年度調査では「その他同居家族あり」で暖色の升目が多く見られたが、令和4年度調査では無色に転じて、有意差が見られなくなっている。
- ⑦子供との同居：「子供との同居なし」を基準として、直接鑑賞全般では令和3年度調査で「高校卒業者の末子」がマイナスで有意であったが、種別に分析すると、全ての水準でごく一部を除いてほとんどの升目が暖色で、子供との同居が種別によって違いはあるものの、直接鑑賞への参加には有意に影響している。子供と一緒に参加していることを反映した結果だと考えられるが、親として子供に文化的活動を経験させたいための参加なのか、子供から付き添いを頼まれての参加なのかは判定できない。
- ⑧同居家族の状態：家族に要介護・要介助者がいれば、自由時間が失われて直接鑑賞の参加率は低下すると考えていたが、寒色の升目はなく、特に令和3年度調査では半分以上の10の種別の升目で暖色となっており、参加率は有意に高いことが示されている。調査では要介護者と要介助者が同一に扱われているが、要介助者の場合は要介護者と比較して自由時間がとりやすく、また家族の要介助者も外出が可能で、付き添いで参加している可能性も考えられる。
- ⑨健康状態：健康状態は、説明変数の設定の際に定義したように、病院・診療所あるは介護保険施設への入院・入所か通院・通所かで移動(外出)が可能か困難かに分けて水準を設定している。いずれも外出が難しいことから、推定されるパラメータはマイナスで寒色の升目となると想定していたが、有意で着色された升目は全て暖色で、さらに移動困難にもかかわらず暖色の升目が多くなっている。これは、説明変数の定義で前述したように、要介護度3以上で入所が可能な介護保険施設では外出は困難でも、設問で介護保険施設等に含まれると解釈される可能性の高い有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)、グループホームなどの施設に入所している場合には外出は可能であり、また入所者や通所者の健康維持やQOL(Quality of Life：生活の質)の向上のために積極的に文化的活動に参加させている施設は多くあり、外出可能と外出困難の区別が難しいことの影響であると考えられる。また、高齢化の進展の真ただ中にある我が国においては、この健康状態の分析結果に関して、分析を深めることも検討すべきであると考ええる。
- ⑩年収：勝浦(2012)で指摘されているように、年収は文化的活動への参加を規定する文化資本に係る学歴と密接な関係がある。年収は、100万円の間隔で水準を設定しており、基準は「1,000万円以上」である。分析前の符号条件としては、1,000万円未満の各水準の係数の推定値はマイナスであることを想定しており、分析結果でも有意で着色された升目のほとんどが寒色である。しかし、令和3年度調査の「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「11.演芸」、「15.アニメーション映画」では暖色となっ

おり、低収入でも参加率が高くなっている。令和3年度と令和4年度の両調査で寒色の升目が見られる種別は、「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「3.美術」、「4.現代美術」、「9.日本舞踊」、「12.花展・盆栽展・茶会など」、「14.映画」、「16.歴史的な建物や遺跡」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」、「18.地域の伝統的な芸能や祭り」である。文化的活動の種別をハイカルチャー(上位文化)とローカルチャー(大衆文化, サブカルチャー)に分類できるとすれば、暖色を示している種別はローカルチャー、寒色を示している種別はハイカルチャーに分類できるのではないかと考えられる。

⑪学歴：上述の年収の分析結果と同じ結果がより明確に現れているのが学歴である。2023年度の大学進学率は57.7%(学校基本調査(確定値))で5割を超えているが、基準の水準である「大学」と比較して、暖色が着色されて参加率が上回っているのは「大学院」だけであり、他の水準で着色されて有意を示している升目は、令和4年度調査のブレイクやヒップホップ等を含む「8.ストリートダンス」の「小・中学校」を例外として、全てがマイナスの有意を示す寒色である。また、令和3年度調査と令和4年度調査のいずれにおいても、学歴の水準で有意な水準がなく着色されていない種目は、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」と「15.アニメーション映画」だけである。一方、「小・中学校」から基準の水準の「大学」を経て「大学院」へと至る低い学歴から高い学歴の方向に向けて、推定された係数が有意でマイナスからプラスへ転じる種別は「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「13.食文化の展示・イベント」、「16.歴史的な建物や遺跡」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」である。

⑫習い事：習い事に関しては、基準となる水準はなく、8種目について、経験がない場合と比較して経験があれば参加率にどのような影響が及ぶかが示されている。習い事の経験があるということは、習い事ができる家庭環境にあったということを意味しており、習い事の経験そのものとともに育った家庭環境も文化資本の形成に寄与していると考えられる。したがって、係数の推定結果(符号条件)は、有意であれば全てがプラスの符号であると想定されたが、「茶道・華道・書道等の生活文化」(生活文化系)では令和4年度調査の「6.ミュージカル」が、「水泳・体操・野球等のスポーツ」(スポーツ系)では令和3年度調査の「3.美術」と「4.現代美術」および令和3年度調査と令和4年度調査の「9.日本舞踊」でマイナスの係数の推定結果となっている。マイナスの係数が推定される理由としては、性別の影響に加えて、3,251人が経験しているスポーツ系の習い事経験者を例にとると、スポーツ系の習い事経験者の一部は他の6種別のプラスで有意な習い事も経験しており、スポーツ系の習い事だけしか経験していない回答者では、「3.美術」と「4.現代美術」の美術鑑賞経験がスポーツ系の習い事を経験していない回答者よりも低くなることを反映しているためと考えられる。

⑬90分以内到達可能施設：直接鑑賞のためには鑑賞できる場を提供してくれる施設までの距離の近さが有意に影響するものと考えられ、推定結果は上述の習い事と同様に有意であればプラスであると考えられる。しかし、4種別の施設の中で、「映画館」につい

ては、「14.映画」と「15.アニメーション映画」では令和3年度と令和4年度の両調査ではプラスで有意となっているものの、他の種別では令和4年度調査の「16.歴史的な建物や遺跡」を例外として、有意な場合は全てがマイナスで有意となっている。これは、複数回答が可能な習い事の「水泳・体操・野球等のスポーツ」と同様に、施設も複数回答が可能で、「映画館」に到達可能な場合、「ホール・劇場」にも「美術館」にも「博物館」にも到達可能な場合がほとんどであり、「映画館」しか到達できない場合、「映画館」では参加できない映画以外の種別の参加率は低くなり、結果として推定される係数がマイナスで調整されるためであると考えられる。

- ⑭女性と同居家族の交差項：既に言及しているように、男女共同参画社会に向けて社会は変化しているが、それでも、女性に期待される家事や育児は文化的活動への参加の阻害要因となっていると考えられる。この状況を把握するために女性と同居家族の交差項を説明変数に加えているが、推定結果からは、特に令和3年度調査では「未就学児を育児中の女性」は、ほとんどの種別で参加が阻害されている状況が示されている。この状況は、子供が成長するにつれて改善され、「末子が高校卒業以上」になると、令和3年度調査では、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、民俗舞踊(フラダンス、サルサ、フラメンコ等)を含む「8.ストリートダンスなど」の舞踊・舞踏、「15.アニメーション映画」ではプラスで有意な結果となっており、令和4年度調査でも「8.ストリートダンスなど」はプラスで有意となっている。

(2)間接鑑賞

テレビ・ラジオの放送やDVD・CD・レコードなどのパッケージ系の媒体、あるいはインターネット配信でスマートフォンなどの端末を通じての文化的活動の鑑賞や視聴は、放送受信料やパッケージ購入および再生機器やスマートフォン等の購入費、さらに通信料などの費用は負担しなければならないものの、直接鑑賞と比較すれば、需要・参加のための料金や施設までの移動のための交通費などの金銭的負担、参加や施設までの移動に要する時間的負担、外出や移動に必要な健康状態の維持あるいは付き添いの確保、開演時間や開館時間に合わせるための時間的調整と施設での鑑賞などに伴う時間的拘束は不要で、直接鑑賞よりも参加が容易な文化的活動の形態と言える。また、令和3年度調査と令和4年度調査では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限があり、「巣ごもり需要」とも言われることがあるように、直接鑑賞の代替活動として間接鑑賞が選択されるケースも多く生じたと考えられる。

間接鑑賞に関しても、文化庁・名城大学(2023)の先行研究では、令和3年度調査のデータを用いて19の種別を統合した上での間接鑑賞への参加の要因を分析しているが、令和4年度調査のデータの分析と同じモデルを用いた推定結果と令和4年度調査のデータの推定結果との比較対照では、以下の特徴が見られる(表2.3.1の間接鑑賞の4の3および4の4の「20.間接鑑賞」の列を参照されたい)。

- ①令和3年度調査の結果は文化庁・名城大学(2023)で詳述しているが、令和3年度調査と令和4年度調査では、都市階級の基準である「小都市B・町村」と有意な差が認められる都市階級の水準は存在しないということ、ならびに90分以内到達可能施設で「博物館」を除き、「ホール・劇場」、「美術館」、「映画館」の存在が参加にプラスで有意であることの2点以外には、共通の傾向はみられない。
- ②令和3年度調査と令和4年度調査で推定結果に顕著な違いが見られるのは、以下の点である。
- 1)令和3年度調査では性別の「女性」の係数はマイナスで有意であるが、令和4年度調査では、基準の水準である「男性」と有意な差はみられない。
 - 2)令和3年度調査では、「年齢」はマイナスで有意、「年齢の平方」はプラスで有意、「年齢の立方」はマイナスで有意で「年齢」と参加率の間にはスプライン曲線の特徴が見られるが、令和4年度調査ではこの特徴はみられない。
 - 3)居住地に関しては、令和3年度調査では基準の「東京都」を上回るプラスで有意な道府県は「宮城県」だけで他のいくつかの道府県ではマイナス方向で有意な差が見られたが、令和4年度調査では、「東京都」と有意差のある道府県は全てプラスで有意となっており、間接鑑賞が地方にも拡大してきている傾向が窺える。
 - 4)職業については、「正規職員・従業員」を基準として、令和3年度調査では「非正規職員・従業員」、「自営業主・自営業」、「家族従業者」、「リタイア・無職」がプラスで有意であるが、令和4年度調査では「非正規職員・従業員」と「学生」がプラスで有意となっている。「学生」はリモートでのオンライン講義の増加の影響、「自営業主・自営業」と「家族従業者」については、長引く新型コロナ感染症拡大に伴う行動制限による影響があるかもしれない。
 - 5)家族状況では、基準の「ひとり暮らし」に対して、「三世代家族」が令和3年度調査ではプラスで有意であったのが、令和4年度調査ではマイナスで有意となっているが、その理由は不明である。
 - 6)同居家族で、「中学生の末子」がいる場合、令和3年度調査ではプラスで有意であったのに対して、令和4年度調査では「大学・短大・高専以上や社会人」という高校卒業の末子と同居している水準のみプラスで有意となっている。
 - 7)要介護・要介助者が同居している場合には、令和3年度調査ではプラスで有意であったが、令和4年度調査では有意差は認められない。
 - 8)健康状態では、令和3年度調査では「移動(外出)可能」と「移動(外出)困難」がともにプラスで有意であったが、令和4年度調査では「移動(外出)可能」が「移動に問題はない」という基準の水準との間での有意差がなくなっている。
 - 9)年収では、「1,000万円以上」を基準として、令和3年度調査では有意となる水準は存在しなかったが、令和4年度調査では、1,000万円未満の5つの水準においてマイナスで有意となっている。

- 10)学歴は、令和3年度調査では、「大学」と比較して「高校・旧制中学校」がマイナスで有意であったが、令和4年度調査では有意差のある学歴の水準は存在しない。令和3年度調査では学歴で有意な水準が存在する一方で年収では有意な水準は存在していなかったが、令和4年度調査では、この関係が逆転している。
- 11)習い事では、令和3年度調査では7種別の全てで「経験あり」がプラスで有意を示していたが、令和4年度調査では、「ピアノ・バイオリン等の楽器」、「コーラス・声楽」、「ダンス」において、基準の「経験なし」との間での有意差が消えている。
- 12)女性と同居家族の交差項では、令和3年度調査では「未就学児の末子」の存在がマイナスで有意を示していたが、令和4年度調査では「大学・短大・高専以上や社会人」という高校卒業以上の末子の存在がマイナスで有意となっている。

以上は、間接鑑賞の19種別を統合していずれかの種別で鑑賞していれば鑑賞とする変数を目的変数として分析した結果を要約して示したものであるが、間接鑑賞の対象となる文化的活動を「19.その他」を除く18種別に細分化して分析した結果からは、種別によって、以下に示すように、統合した場合とは異なる参加者の属性上の特徴が見られる。ただし、令和4年度調査では、サンプルサイズが小さく、参加率が低い「4.現代美術」、「5.現代演劇・児童演劇・人形劇」、「6.ミュージカル」、「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」、「8.ストリートダンスなど」、「9.日本舞踊」、「10.伝統芸能」、「12.花展・盆栽展・茶会など」、「13.食文化の展示・イベント」、「18.地域の伝統的な芸能や祭り」においては、通常のロジスティック回帰分析の適用では推定が不安定となるため、Firthの手法を適用しての推定結果であることに留意する必要がある。

表2.3.1から間接鑑賞に影響を及ぼす要因を把握するためには、直接鑑賞の場合と同様に、属性別に、各水準と18の種別に対して有意差がある場合にマイナス側は寒色系で、プラス側は暖色系で塗り分けられた升目のパターンを読み取ることが有用である。

- ①性別：「男性」を基準として「女性」は、令和3年度調査と令和4年度調査では、「6.ミュージカル」と「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」がプラスで有意、「18.地域の伝統的な芸能や祭り」がマイナスで有意となっている。令和3年度調査ではマイナスで有意で「男性」よりも「女性」の参加率が低かった「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「11.演芸」、「13.食文化の展示・イベント」、「15.アニメーション映画」、「16.歴史的な建物や遺跡」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」については、令和4年度調査では「男性」との間での有意差はみられなくなっている。さらに、「14.映画」については、令和3年度調査ではマイナスで有意であったが、令和4年度調査ではプラスで有意であり、符号が逆転して有意を示す結果となっている。
- ②年齢：直接鑑賞ほどではないが、多くの種別で、「年齢」は寒色、「年齢の平方」は暖色、「年齢の立方」は寒色を示し、加齢とともに参加率は低下するが、中年で低下がとまって上昇へ転じ、高齢になってピークアウトして再び低下するという「年齢」と参加率の間にはスプライン曲線の関係が存在することを示している。ただし、令和3年度調

査の「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」と令和4年度調査の「15.アニメーション映画」では、「年齢」が暖色のプラス、「年齢の平方」が寒色のマイナスを示し、令和3年度調査の「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」はさらに「年齢の立方」が暖色のプラスという、他の種別とは逆転した推定結果が得られており、いわゆるローカルチャーの分野では、間接鑑賞の構造に変化が生まれ始めている兆候が示されていると言えるかもしれない。

- ③居住地：基準の「東京都」と比較して、近畿地方をはじめとする西日本の府県は「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「3.美術」の3種別で寒色が目立ち、「14.映画」と「15.アニメーション映画」では「北海道」および東北地方などの東日本の道県で暖色が目立つという特徴が見られる。「18.地域の伝統的な芸能や祭り」においては、直接鑑賞と同様に、暖色の府県が多く、地方においては地域の伝統が残されて鑑賞されていることが窺える。全体としては、近接する都道府県で種別に応じて似ている傾向（地域性）が見られる。
- ④都市階級：「18.地域の伝統的な芸能や祭り」において、基準である5万人未満の市や町村である「小都市B・町村」と比較して、人口が増加して都市階級が上がるにつれて係数はマイナスで有意となっているという、特に顕著なパターンが認められる。
- ⑤職業：基準となる水準は「正規職員・従業員」であるが、表2.3.1を行方向で見ると、「自営業主・自由業」は、列横断的に多くの種別で暖色を示し、「学生」、「リタイア・無職」もこの傾向にあり、間接鑑賞の参加率が「正規職員・従業員」と比較して高いことが示されている。次に、表2.3.1を列方向で見ると、令和3年度調査では「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「3.美術」、「8.ストリートダンスなど」、「15.アニメーション映画」、「16.歴史的な建物や遺跡」で基準の「正規職員・従業員」以外の職業で暖色が目立ち、参加率が高いことが示されている。しかし、令和4年度調査では、「15.アニメーション映画」をのぞくと、令和3年度調査で見られた特徴は消えている。
- ⑥同居家族状況：基準となる「ひとり暮らし」と比較して、令和4年度調査においては、「15.アニメーション映画」で、基準以外の家族状況の水準は寒色で、「ひとり暮らし」で参加率が有意に高いことが示されているのが特徴である。
- ⑦子供との同居：直接鑑賞では、「未就学児の末子」から「高校生の末子」までの各水準では、ごく一部を除いてほとんどの升目が暖色で、高校生までの子供との同居が直接鑑賞への参加に有意に影響していることが示されていた。しかし、間接鑑賞では、同居の末子が「未就学児」と「小学生」の場合は参加率が高くなる傾向が示されているが、直接鑑賞で示されたような明確な特徴はみられない。直接鑑賞は施設に出かける際に子供に付き添う必要があるのに対して、間接鑑賞は、未就学児や小学校低学年生は家庭と一緒に鑑賞するなどのシーンが考えられるが、小学校高学年以上になると、間接鑑賞を一緒に行う必要がないことが影響しているものと考えられる。

- ⑧同居家族の状態：家族に要介護・要介助者がいれば、自由時間が失われて直接鑑賞の参加率は低下し、反対に間接鑑賞は増加するとの仮説を立てていた。しかし、前述のように直接鑑賞に対する仮説は支持されなかったが、間接鑑賞については、暖色の種別が多く、多くの種別で、間接鑑賞への参加は増加するという仮説は支持されていると言えよう。
- ⑨健康状態：同居家族の状態と同様に、外出に困難や不自由が伴う場合には直接鑑賞が阻害され、間接鑑賞で代替されるという仮説を事前に考えていたが、「移動（外出）可能者」の「9.日本舞踊」と「移動（外出）困難者」の「15.アニメーション映画」を例外として、健康状態に関しては、この仮説が支持される結果となっている。
- ⑩年収：直接鑑賞には年収は大きな影響を及ぼすと考えられるが、間接鑑賞に関しては、直接鑑賞に及ぼすほどの影響はないと想定していたが、実際、影響があるのは、寒色でマイナスの符号で有意となっているのは、令和4年度調査では、「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」と「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、ならびに推定が不安定ではあるが「12.花展・盆栽展・茶会など」と「13.食文化の展示・イベント」である。令和3年度調査では、「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」と「13.食文化の展示・イベント」で年収の影響が示されている。
- ⑪学歴：間接鑑賞に及ぼす学歴の影響は、令和3年度調査の「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「3.美術」、「4.現代美術」、「6.ミュージカル」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」で顕著であるが、令和4年度調査では、「12.花展・盆栽展・茶会など」を例外として顕著な学歴の影響は検出できていない。
- ⑫習い事：習い事に関しては、基準となる水準はなく、8種目について、経験がない場合と比較して経験があれば参加率にどのような影響が及ぶかが示されている。直接鑑賞の分析で詳述したように、習い事の経験は家庭環境と自身への文化資本の蓄積という面から間接鑑賞の参加にも大きな影響を及ぼすと考えられるが、推定の結果、「7.バレエ・コンテンポラリーダンスなど」に対して「絵画・彫刻・陶芸・工芸」の習い事経験がマイナスで有意な影響があるだけで、他の17の文化的活動の種別に対して習い事の経験は「その他」（令和4年度調査では回答者は0で係数は推定されていない）を除く7種別の全てにわたり、約半数の係数がプラスで有意であることが示されており、間接鑑賞の参加に対する習い事の影響が大きいことが示されている。習い事でも、楽器演奏や舞踊・舞踏や美術・工芸や茶道・華道などの文化的活動に関係する種別についての経験は間接鑑賞への参加に対してプラスで有意となることは理解できるものの、「水泳・体操・野球等のスポーツ」の習い事もプラスで有意となることについては、「8.ストリートダンスなど」、「14.映画」、「15.アニメーション映画」、「18.地域の伝統的な芸能や祭り」で特にプラスでの有意性が顕著であり、スポーツ体験とサブカルチャーの分野の間接鑑賞との親和性について、さらなる検証が求められると考える。
- ⑬90分以内到達可能施設：90分以内に到達可能な「映画館」の存在が、「14.映画」と「15.アニメーション映画」の間接鑑賞にプラスの有意な影響を及ぼすことは想定できるこ

とであるが、他の文化的活動の種別に対しては、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」と令和3年度調査の「11.演芸」を除いて、マイナスの影響を及ぼしている。これは、直接鑑賞の推定結果の分析でも示したように、「映画館」に到達可能な場合、「ホール・劇場」にも「美術館」にも「博物館」にも到達可能な場合がほとんどであり、「映画館」しか到達できない場合、「映画館」では経験できない映画以外の種目の鑑賞活動参加率は間接鑑賞においても影響を及ぼして低くなり、結果として推定される係数がマイナスで調整されるためであると考えられる。映画館以外のホール・劇場、美術館、博物館の身近な存在は、間接鑑賞にプラスの大きな影響を及ぼしていると言えるが、ホール・劇場、美術館、博物館の身近な存在は都市階級で上位の水準の都市で経験できることであり、この点のさらなる分析が求められるところである。

- ⑭女性と同居家族の交差項：女性の家事ならびに育児上の負担が間接鑑賞に及ぼす影響は、直接鑑賞ほどではないが、「末子が未就学児の女性」では、令和3年度調査において間接鑑賞が阻害されている状況が示されているが、令和4年度調査では、有意差が示されている種別は「3.美術」、「6.ミュージカル」、「10.伝統芸能」、「12.花展・盆栽展・k茶会など」の4種別となっている。

2.3.3 まとめと今後の課題

本節では、先行研究である文化庁・名城大学(2023)で行われた令和3年度調査のデータに基づく分析を踏まえて、先行研究で示した「文化的活動への参加の有無を規定する要因を明らかにするために、活動を直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の4形態に分けて分析を行ったが、対象となる文化的活動はさまざまな種別を一括りにした上での分析を行っており、文化的活動を種別に分けて分析を行うと、参加に対する規定要因が種別によって多様である結果が得られることが予想される。」との問題意識に基づき、新たな研究を行ったので、研究成果は不十分ながらも、その内容を纏めて紹介した。具体的には、20,006サンプルの令和3年度調査のデータに加えて、新たに提供された3,000サンプルの令和4年度調査のデータを用いて、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞についてはその他を含めて19の種別とこれらの種別を統合した全体で、実践・支援活動については14の種別とこれらの種別を統合した全体で、参加の有無を被説明変数に、性別、年齢、居住地、都市階級、職業、家族状況、同居家族属性(末子の状況と要介護・要介助者の有無)、健康状態、年収、学歴、習い事経験、90分以内到達可能施設、女性と同居家族属性の交差項を説明変数とする2項ロジスティック回帰分析を適用して、文化的活動の参加を規定する要因の抽出を試みた。

分析の結果は、令和3年度調査の20,006サンプルという大規模サンプルのデータに関しても、センシティブな質問項目での非回答者を除外して有効サンプルを絞り込むとサンプルサイズは14,995に縮小し、3,000サンプルの令和4年度調査では有効サンプルサイズは2,267サンプルとなり、参加率が低い種別では、完全分離等の問題が生じて通常のロジスティック回帰分析によるパラメータの推定では推定結果が不安定となるため、Firthの手法を

適用することで推定を行っているが、特に令和 4 年度調査で参加率が 5%を下回る種別でのパラメータの推定は不安定であり、令和 3 年度調査のような大規模サンプルによる調査の必要性が改めて認識されたと言える。

ロジスティック回帰分析の結果からは、当然に予想されていたように、個々の種別の参加経験を通算して全体を統合して算出した直接鑑賞種別全体、間接鑑賞種別全体、有料配信鑑賞種別全体、実践・支援活動種別全体のパラメータの推定結果と、個々の種別ごとのパラメータの推定結果は異なり、特に鑑賞活動に関しては、性別と年齢に加えて、文化資本の蓄積に影響する学歴と習い事経験が、また学歴に影響される職業と年収が、さらには付き添いで参加に影響する末子の状況や要介護・要介助者の同居の有無が、そして文化的活動の供給サイドの要因として 90 分以内到達可能施設の有無などが参加率に大きな影響を及ぼすこと、また影響を及ぼす要因のパターンからハイカルチャーとローカルチャーとに文化的活動の特に鑑賞関連の種別を分別できる可能性があることなどが示唆される結果を得ることができた。

しかし、20,006 サンプルの令和 3 年度調査のデータセットを用いても、参加率が低い有料配信鑑賞および実践・支援活動の種別の鑑賞構造の把握は推定結果が不安定となっており、使用する説明変数の再定義などで改めての分析が必要である。分析のテクニカルな面で見ると、より多くの交互作用を見る必要があるが、このとき、質的変数の水準が多いと分析が不安定になる。これに対しては、各質的変数の水準の統合を行う必要がある。また、変数選択を行うことも考えられる。

最後に、今回の分析で使用した令和 3 年度と令和 4 年度の調査データは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で行動制限が課せられていた期間を対象とする調査であり、令和 4 年度調査では令和 3 年度調査と比較して、行動制限に慣れて参加の構造に変化の傾向が見られるが、行動制限が解除された後の調査のデータも継続的に分析して比較対照分析を行うことで、文化的活動への参加を促すための施策の立案に繋がる分析が可能になるものと思量する。

今後の研究の可能性としては、

- ①2.2 節で種別を統合して行った文化的活動の鑑賞および参加の 4 形態の間でのクロス集計を種別に分解して行うこと
- ②直接と間接の鑑賞活動において、ユニボア（偏食）とオムニボア（雑食）の状況を明らかにすること
- ③本節で行ったロジスティック回帰分析の推定結果を用いて、18 種別の文化的活動をハイカルチャーやローカルチャーなどのグループに分類することを試みること
- ④2.5 節での分析に関連するが、各種別で、特にユニボアの回答者に注目すれば種別での鑑賞頻度が得られるので、種別の鑑賞頻度に影響を及ぼす要因について分析することなどが考えられる。

参考文献

- 有馬昌宏(2002)「文化経済学における実証研究の動向と課題」『文化経済学』第3巻第1号, 11-16 ページ。
- 有馬昌宏(2019)「社会生活基本調査から見た文化・芸術の鑑賞・観覧活動の変化」『文化経済学』第16巻第1号, 8-14 ページ。
- Abbé-Decarroux, F. and F. Grin (1992), “Risk Aversion and the Demand for Performing Arts,” in Towse, R. and A. Khakee, eds., *Cultural Economics*, Berlin: Springer, 125-140.
- Bourdieu, Pierre(1979), *La distinction: Critique sociale du jugement*, Paris:Minuit (石井洋二郎訳 (1990)『ディスタンクシオン』I,II, 藤原書店).
- Brooks, A. C. (2002), “Artists as Amateurs and Volunteers,” *Nonprofit Management and Leadership*, 13(1), 5-15.
- 文化庁・名城大学(2023)『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業 文化統計の体系化に関する調査・研究 報告書』。
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf
- Firth, D. (1993), “Bias Reduction of Maximum Likelihood Estimates,” *Biometrika*, 80, 27–38.
- Fox, J. and G. Monette (1992), “Generalized Collinearity Diagnostics,” *JASA*, 87, 178–183.
- Gray, C. M. (1998), “Hope for the Future?: Early Exposure to the Arts and Adult Visits to Art Museums,” *Journal of Cultural Economics*, 22(2-3), 87-98.
- Gray, C. M. (2003), “Participation,” in Towse, R. ed., *A Handbook of Cultural Economics*, Cheltenham: Edward Elgar, 56-365.
- 片岡栄美(2008)「芸術文化消費と象徴資本の社会学 ―ブルデュー理論からみた日本文化の構造と特徴―」『文化経済学』第6巻第1号, 13–25 ページ。
- 勝浦正樹 (2006)「文化・芸術の実証研究への統計分析の応用可能性」『文化経済学』第5巻第1号, 17-25 ページ。
- 勝浦正樹(2012)「社会生活基本調査のマイクロデータの再集計結果を用いた文化芸術活動の実証的研究 ―教育と所得水準の効果を中心として―」浜田道夫・古隅弘樹編『文化経済学とコンピュータサイエンス ―人間の知的活動を科学する』(兵庫県立大学政策科学研究叢書 LXXXVI), 79-113 ページ。
- 勝浦正樹・有馬昌宏(2016)「参加・鑑賞」文化経済学会<日本>編『文化経済学―軌跡と展望』ミネルヴァ書房, 3-19 ページ。
- Lewis, G. and B. A. Seaman (2004), “Sexual Orientation and Demand for the Arts,” *Social Science Quarterly*, 85(3), 524-538.
- Morrison, W. G. and E. G. West (1986), “Child Exposure to the Performing Arts: The Implications for Adult Demand,” *Journal of Cultural Economics*, 10(1), 17-24.
- Tjur, T. (2009), “Coefficients of Determination in Logistic Regression Models - A New Proposal: The Coefficient of Discrimination,” *The American Statistician*, 63(4), 366-372.

2.4 文化的活動の関連性の可視化

前節では、「文化に関する世論調査」（令和3年度）（以降、令和3年度調査と略称）と「文化に関する世論調査」（令和4年度）（以降、令和4年度調査と略称）のマイクロデータを用いて、「直接鑑賞」（令和3年度調査ではQ6，令和4年度調査ではQ1）、「間接鑑賞」（令和3年度調査ではQ7，令和4年度調査ではQ2）、「有料配信鑑賞」（令和3年度調査ではQ8，令和4年度調査ではQ3）、「実践・支援」（令和3年度調査ではQ9，令和4年度調査ではQ4）の4つの形態に分類し、それぞれの形態を鑑賞活動は19の種別に、実践・支援は14の種別に細分化して、それぞれの活動への過去1年間の参加（「鑑賞した」または「行（おこな）った」）と非参加（「鑑賞していない」または「行っていない」）という行動の違いに影響を及ぼしたと考えられる個人の属性にどのような傾向が見られるかについて、ロジットモデルを用いたロジスティック回帰分析を適用して明らかにすることを試みている。

先行研究である文化庁・名城大学（2023）（以降、先行研究と呼称）で行った4つの形態別の形態全体としての参加の構造の分析結果は、各形態を構成する細分化された種別での参加の構造とは必ずしも一致せず、細分化された種別での分析の必要性や参加構造に基づく種別の再構成によるさらなる研究の可能性が示されている。しかし、前節の分析は、細分化された種別に対して、個々にロジスティック回帰分析を適用して分析しており、形態別ではどの形態の種別と別の形態のどの種別が組み合わせられて参加されているか、さらには個々の種別に注目して、どの形態と別のどの形態が組み合わせられて参加されているのかの分析は行われていない。

形態別の参加の有無の関係は、2.2節でクロス集計を行うことで大まかな関係の把握が試みられており、特に直接鑑賞と間接鑑賞の間に代替関係と補完関係のいずれが存在するかの分析については、先行研究において、2変量プロビットモデルを適用した分析が試みられている。

しかし、4つの形態別の19あるいは14の種別の組み合わせは膨大で、これらの組み合わせのそれぞれを対象にクロス集計分析や2変量プロビットモデルを適用した分析を行うことは、作業自体が膨大で大変であることに加えて、分析結果から有用な情報を引き出す作業も時間を要して困難が伴うことが予想され、研究期間が限定されている中、費用対効果や時間対効果の観点から実施がためられる状況にある。

ところが、近年のICTの著しい発展により、計算処理の高速化、記憶容量の超大容量化、通信速度と通信容量の高速・大容量化が進展し、IoT（Internet of Things：モノのインターネット）やIoE（Internet of Everything：あらゆるモノのインターネット）によって全てのモノやヒトからリアルタイムに多種多様の構造化されていないデータが収集・蓄積されるようになってきている。しかも、現在では、それらの大量のデータを鉱山に見立て、ビッグデータという鉱山の中から金脈に匹敵する、ビジネスはもとより社会変革に有用な情報を引き出すための「データマイニング」のさまざまな手法が開発され、利用されるようになって

てきている。

データマイニングの手法としては、クラスタリング（クラスター分析）、ニューラルネットワーク、決定木、アソシエーション分析など、多くの手法が案出されて利用されており、先行研究においては、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の活動に対する鑑賞・参加の有無に関するデータから、回答者の文化的活動に関する特徴や傾向に関する有益な情報を引き出すことを目的に、決定木（分類木）とアソシエーション分析を適用するデータマイニングが試みられている。

本節では、形態別の種別がどのように組み合わせられて参加されているかを明らかにするとともに、前節で明らかにされた参加に影響する要因としての性別、90分以内到達可能施設、習い事経験が相互にどのように影響しているかを把握することを目的に、特に手法の適用結果が視覚的に把握しやすい図として表示されるデータマイニングの手法の適用による分析を試みる。本節で適用を試みるデータマイニングの手法は、クラスタリングと沖積図であり、クロス集計結果を視覚化する対応分析の適用も試みている。

なお、本節の分析でも、前節と同様に令和3年度調査と令和4年度調査のいずれにおいても、無回答、「答えたくない」、「分からない」の回答を削除するスクリーニングを行った後のデータを用いており、有効サンプルサイズは、令和3年度調査では14,995、令和4年度調査では2,267となっている。

2.4.1 クラスタリングによる分析

クラスタリング（clustering）とは、一般的に、機械学習の一種で、類似度を定義した上で、データ間の類似度に基づいて対象をグルーピングしていく手法であり、階層的手法と非階層的手法に大別される。

令和3年度調査ならびに令和4年度調査では、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の4つの参加形態別に、19または14の種別ごとで有効サンプルに対して参加か非参加が1または0の2値データで記録されたデータセットが得られている。本研究では、このデータセットに対して、Rの標準パッケージstatsのhclust()関数を用いて、クラスタリングの階層的手法の一つであるウォード法（Ward's method）を適用して分析を試みている。階層的手法では、グルーピングされた結果としてのクラスターがどのように結合されて形成されていくかの過程がデンドログラム（樹形図）で表現されるので、どの種別と別のどの種別が組み合わせられて参加されやすいかを視覚的に捉えて把握することが容易となる。なお、使用するデータは0-1型の2値変数であるので、類似度の指標としてはJaccard係数とも呼称されるIoU（Intersection over Union）を用いている。

クラスタリングの適用結果として得られたデンドログラムを、図2.4.1から図2.4.8に、参加の形態別に令和3年度調査の結果と令和4年度調査の結果が比較対照できるように示している。なお、図中では、参加形態別の19あるいは14の種別は、それぞれの調査の質問番号（qx, xは質問番号で令和3年度調査では6から9まで、令和4年度調査では1から4まで）と回

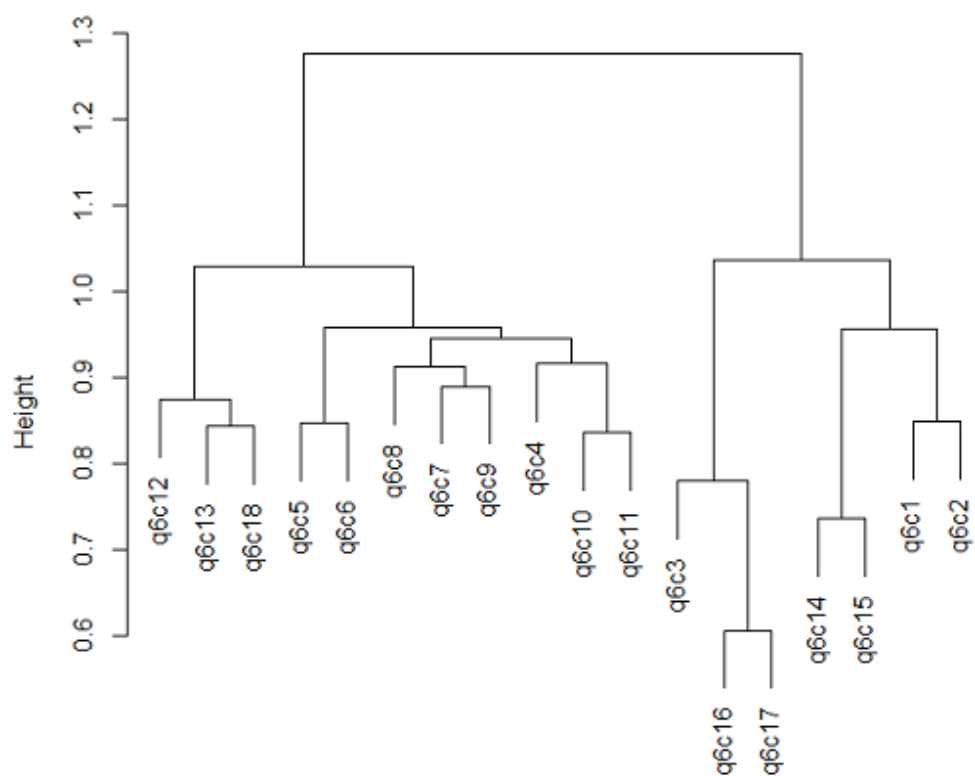


図2.4.1 令和3年度調査の直接鑑賞のデンドログラム

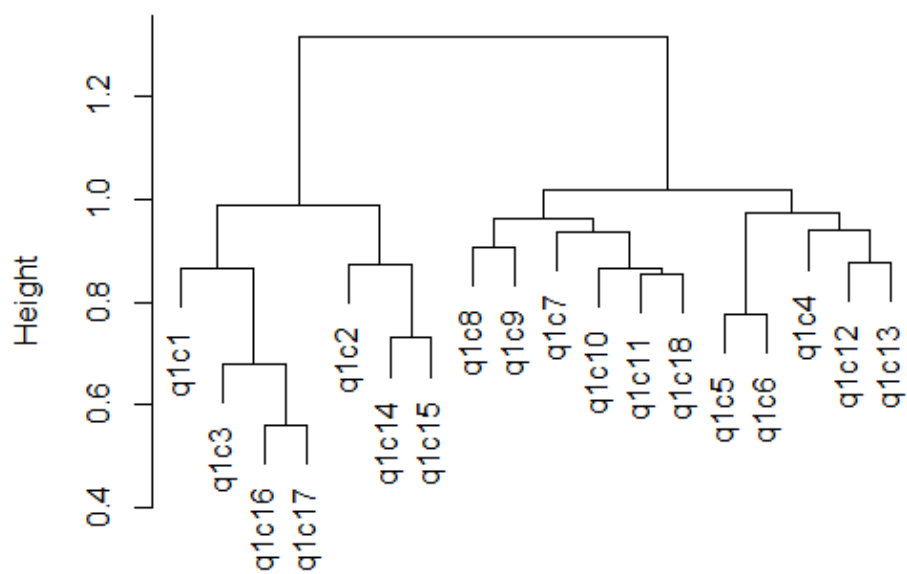


図2.4.2 令和4年度調査の直接鑑賞のデンドログラム

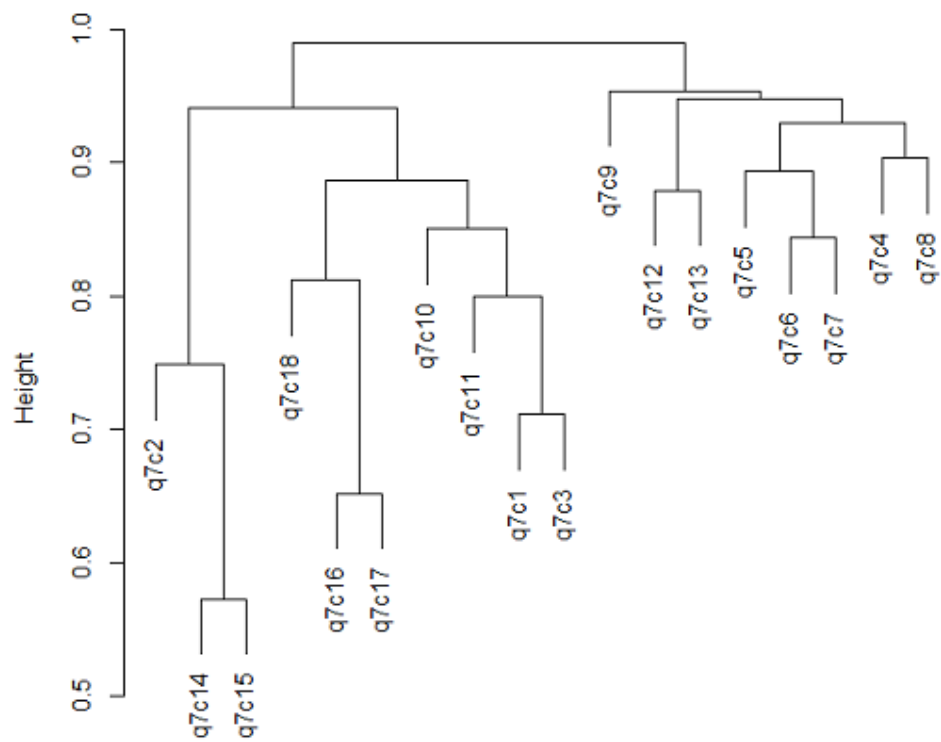


図2.4.3 令和3年度調査の間接鑑賞のデンドログラム

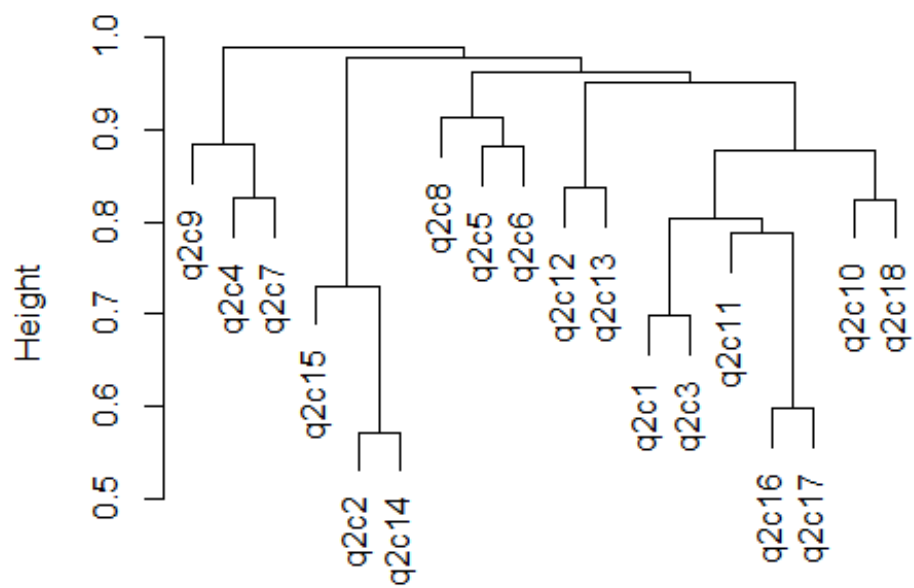


図2.4.4 令和4年度調査の間接鑑賞のデンドログラム

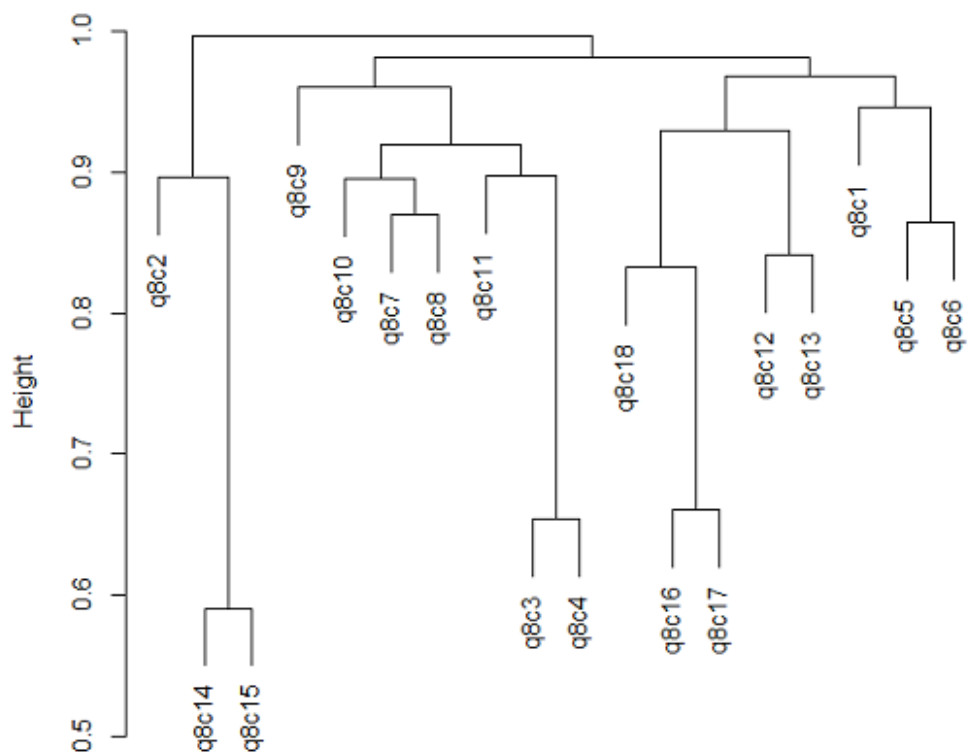


図2.4.5 令和3年度調査の有料配信鑑賞のデンドログラム

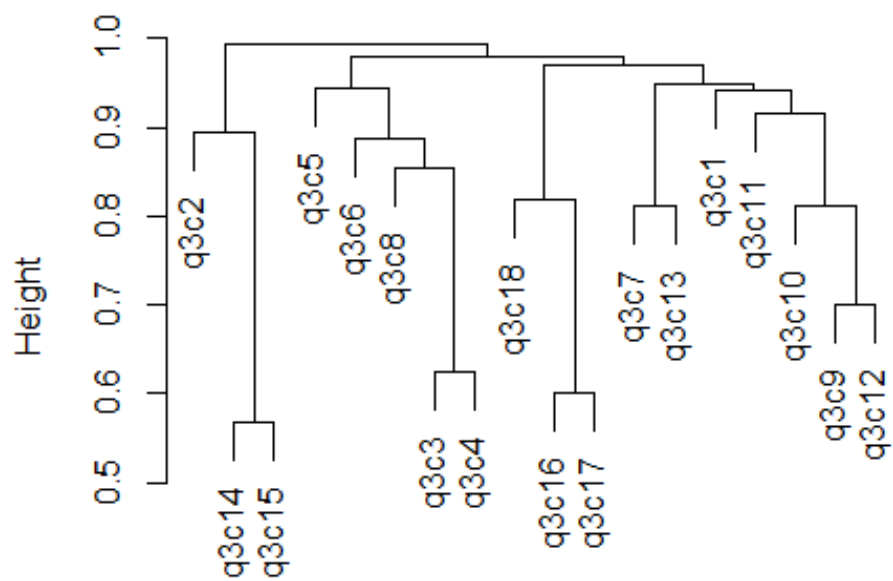


図2.4.6 令和4年度調査の有料配信鑑賞のデンドログラム

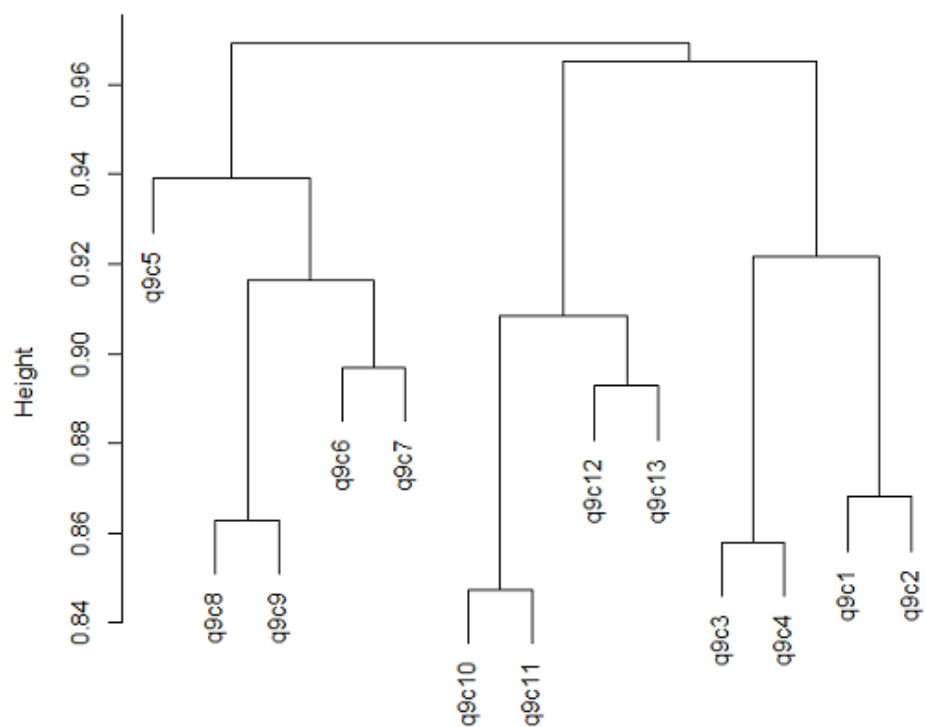


図2.4.7 令和3年度調査の実践・支援のデンドログラム

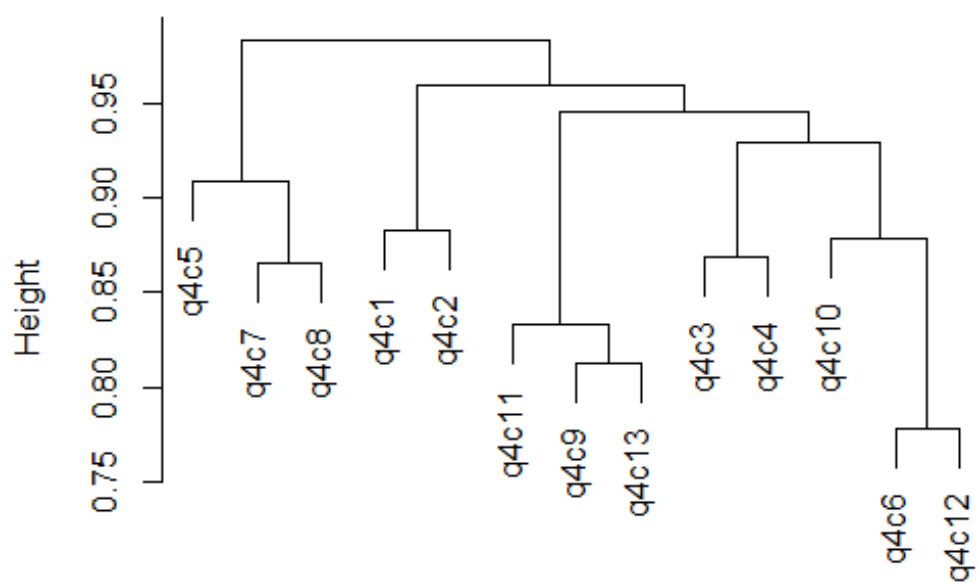


図2.4.8 令和4年度調査の実践・支援のデンドログラム

答選択肢番号（cy, yは回答選択肢番号で、直接鑑賞と間接鑑賞と有料配信鑑賞は1から19まで、実践・支援は1から14まで）の組み合わせを用いて、qxcyと表示している。また、それぞれの種別の呼称については、前節で使用了略称を用いている。

(1)直接鑑賞

図2.4.1と図2.4.2の直接鑑賞のデンドログラムに関しては、令和3年度調査と令和4年度調査で共通して、回答者が参加を選択する類似度の観点からは、類似度が高い図の下から類似度が低くなっていく上方向へと種別の結合の状況をみていくことにより、

- ①「16.歴史的な建物や遺跡」と「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」
- ②「14.映画」と「15.アニメーション映画」
- ③最初に形成された「16.歴史的な建物や遺跡」と「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」のクラスターと「3.美術」

の順に種目が結合されてクラスターが形成されていく過程が読み取れる。

また、令和3年度調査と令和4年度調査の両調査でともに、質問への無回答や「回答したくない」のサンプルを除外するスクリーニング処理後の2.3節の表2.3.1およびスクリーニング処理前の2.6節の表2.6.1で高い鑑賞率であることが示されている「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」、「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」、「3.美術」、「14.映画」、「15.アニメーション映画」、「16.歴史的な建物や遺跡」、「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」の種別とそれら以外の令和4年度調査では鑑賞率が10%を下回っている種別がそれぞれ別に大きなクラスターを形成している。これより、細分化された19の種別をメジャーカルチャーとマイナーカルチャーに分類できる可能性が示唆されていると考えることができる。

(2)間接鑑賞

図2.4.3と図2.4.4の間接鑑賞のデンドログラムからは、以下の特徴が令和3年度調査と令和4年度調査で共通して読み取れる。

- ①「14.映画」と「15.アニメーション映画」と「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」が類似性の高いクラスターを形成している。
- ②直接鑑賞と同様に、「16.歴史的な建物や遺跡」と「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」が類似性の高いクラスターを形成している。
- ③「1.オーケストラ・オペラ・吹奏楽など」と「3.美術」が類似性の高いクラスターを形成している。

直接鑑賞の鑑賞率と同様に、2.3節の表2.3.1および2.6節の表2.6.2に間接鑑賞の種別の鑑賞率が示されている。これらより、①で指摘した鑑賞率が高い種別（14, 15, 2など）が類似度の高いクラスターに結合される傾向、すなわち国民から鑑賞の選択がされやすい間接鑑賞の種別は共通している傾向に加えて、間接鑑賞の対象としてクラスターを構成しにく

い種別もあるということが窺える。

(3) 有料配信鑑賞

有料配信鑑賞に関しては、2.3節の表2.3.1および2.6節の表2.6.3に示されているように、令和3年度調査と令和4年度調査のいずれにおいても、鑑賞率が10%を超えている種別は「14.映画」だけである。また、有料配信では配信サービスのマーケティング目的による種別の組み合わせの影響もあり、図2.4.5と図2.4.6に示されるように、

①映画配信系サービスでの「14.映画」と「15.アニメーション映画」

②教養配信系サービスでの「16.歴史的な建物や遺跡」と「17.歴史系・民俗系の博物館・資料館など」

③美術配信系サービスでの「3.美術」と「4.現代美術」

の組み合わせが参加の類似度が高いクラスターを構成しており、これら3つのクラスター間の相互鑑賞や他の種別との鑑賞の組み合わせは生起しにくいことが示されている。

(4) 実践・支援

実践・支援活動への参加は、表2.3.1および2.6節の表2.6.4に示されているように、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限の影響を受けて、令和3年度調査と令和4年度調査では、最も参加率の高い種別である「7.地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」でも3.1%で4%を下回っている。このように、実践・支援活動への参加者は少数であるが、両調査のクラスター分析の適用結果を示した図2.4.7と図2.4.8からは、

①「1.文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作」と「2.マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作」の創作活動のクラスター

②「3.音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など」と「4.音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事」の実演活動のクラスター

という2つのクラスターが形成されていることが読み取れる。

また、実践・支援活動の種別は、回答選択肢番号が1から7までの自分自身が参加する実践活動と回答選択肢番号が8から13までの他者への支援活動に大別されるが、令和4年度調査における「6.伝統的な食文化の継承活動への参加」と「12.音楽祭・映画祭などの開催の支援」が類似性の高いクラスターを形成していることを例外として、実践活動と支援活動の相互を組み込むクラスターの形成はみられず、実践活動と支援活動との間には明確な関係が見られないことが窺える。

2.4.2 沖積図による分析

沖積図 (alluvial plot) とは、同じ対象を複数回にわたって観察したデータから変化がどのように生じているかを示すのに適したグラフであり、土砂が堆積した地層のイメージから名付けられている構造変化の表現方法である。パネル・データの分析などに利用されること

が多いが、本研究では、令和4年度調査の2,267サンプルの性別などの属性と直接鑑賞や間接鑑賞への参加の有無の質問への回答がどのように関係しているかを視覚化することを目的に沖積図の作成を試みた（Rのパッケージalluvialを利用）。

図2.4.9は、性別（1は男性、2は女性）と直接鑑賞（種別に関係なく鑑賞していれば1、鑑賞していなければ0）と間接鑑賞（種別に関係なく鑑賞していれば1、鑑賞していなければ0）と有料配信鑑賞（種別に関係なく鑑賞していれば1、鑑賞していなければ0）と実践・支援（種別に関係なく実践・支援していれば1、実践・支援していなければ0）の回答状況の関係を沖積図としてグラフ化したものである。

図2.4.9からは、

- ①直接鑑賞をするかどうかには性別は影響していない。
- ②直接鑑賞者は、男女に関係なく、ほとんどが間接鑑賞を行（おこな）う。
- ③直接鑑賞を行わない者も、男女に関係なく、約半数が間接鑑賞を行う。
- ④当然のことであるが、間接鑑賞を行わない者は有料配信鑑賞を行わない。
- ⑤有料配信鑑賞をするのは、男女に関係なく、直接鑑賞と間接鑑賞をともに行う者である。
- ⑥実践・支援活動を行うのは、男性では直接鑑賞も間接鑑賞も有料配信鑑賞も行う者であるのに対して、女性は有料配信鑑賞を行っているかどうかは大きな影響はなく、直接鑑賞と間接鑑賞をしていれば実践・支援活動に繋がっている。

という特徴が読み取れる。

図2.4.10は、性別（1は男性、2は女性）と直接鑑賞（q1c1からq1c19は19の種別のそれぞれに関して鑑賞していることに、q1c20は直接鑑賞をしていないことに対応）と間接鑑賞（q2c1からq2c19は19の種別のそれぞれに関して鑑賞していることに、q2c20は間接鑑賞をしていないことに対応）の回答状況の関係を沖積図にグラフ化したものである。

種別が多くて特徴は読み取りにくいですが、女性で直接鑑賞をしていない者のうち、ある程度の比率で「14.映画」と「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」を間接鑑賞している傾向が窺える。

図2.4.11と図2.4.12では、前節の分析結果から直接鑑賞を行うかどうかに大きな影響を及ぼしていることが判明している習い事経験（f11c1からf11c8は8種別の習い事のそれぞれの経験があることに、f11c9は習い事の経験がないことに対応）および90分以内到達可能施設の有無（q7sq2c1からq7sq2c4は4種別の施設それぞれに90分以内に到達可能なことに、q7sq2c5は90分以内に到達できる施設がないことに対応）が直接鑑賞（q1c1からq1c19は19の種別のそれぞれに関して鑑賞していることに、q1c20は直接鑑賞をしていないことに対応）に及ぼす影響を男女別で示している。

いずれの図も、直接鑑賞を「鑑賞していない」を含めた20の種別で示しているために特徴を読み取ることは難しいが、属性の回答選択肢の構成の比率や種別の文化的活動への参加率とそれらの相互の関係が太さで表現された流れで表現されており、沖積図は原因と結果の関係を視覚的に把握するのに適したグラフ化の手法であると言える。

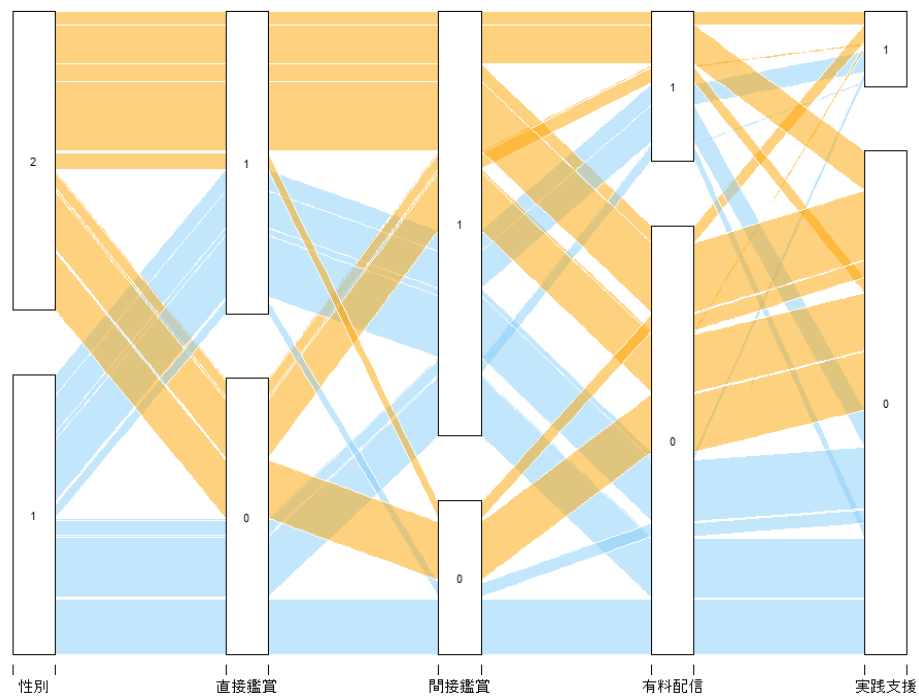


図2.4.9 性別－直接鑑賞－間接鑑賞－有料配信－実践・支援の沖積図

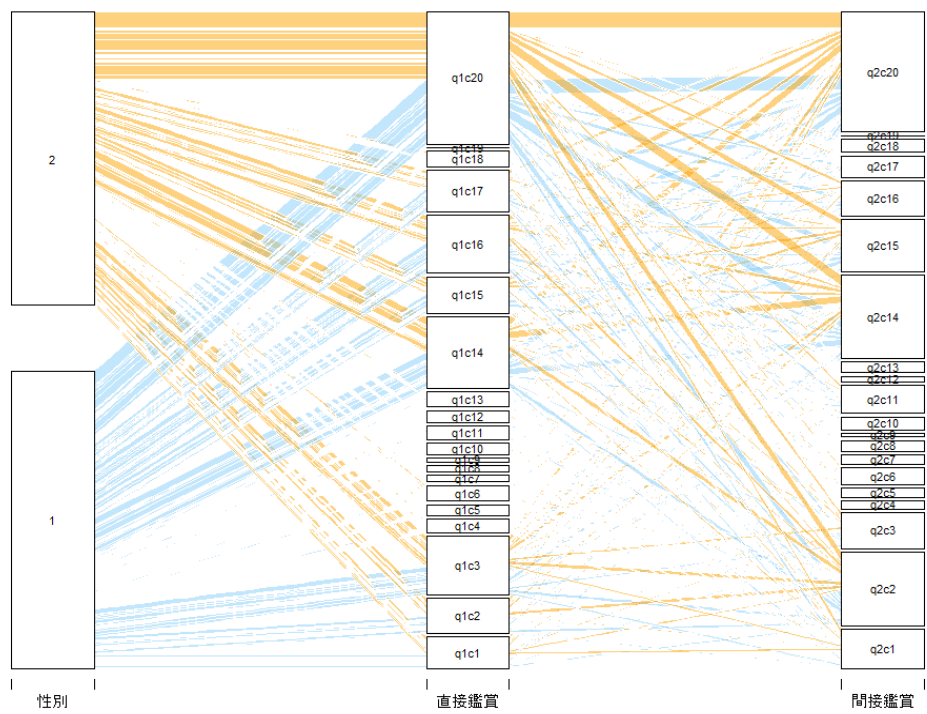


図2.4.10 性別－直接鑑賞（種別）－間接鑑賞（種別）の沖積図

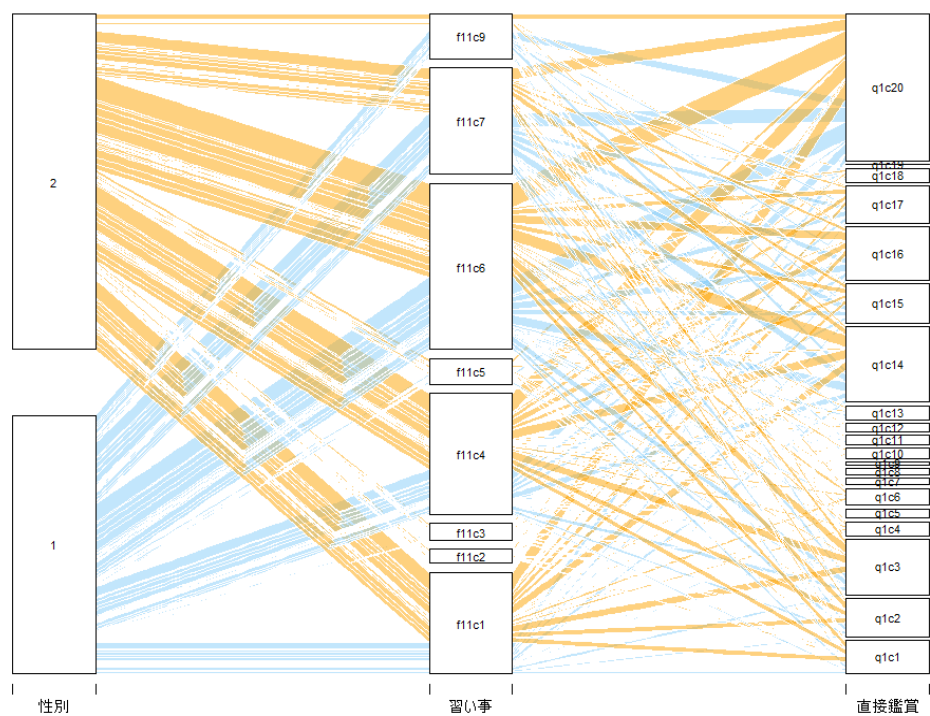


図2.4.11 性別－習い事（種別）－直接鑑賞（種別）の沖積図

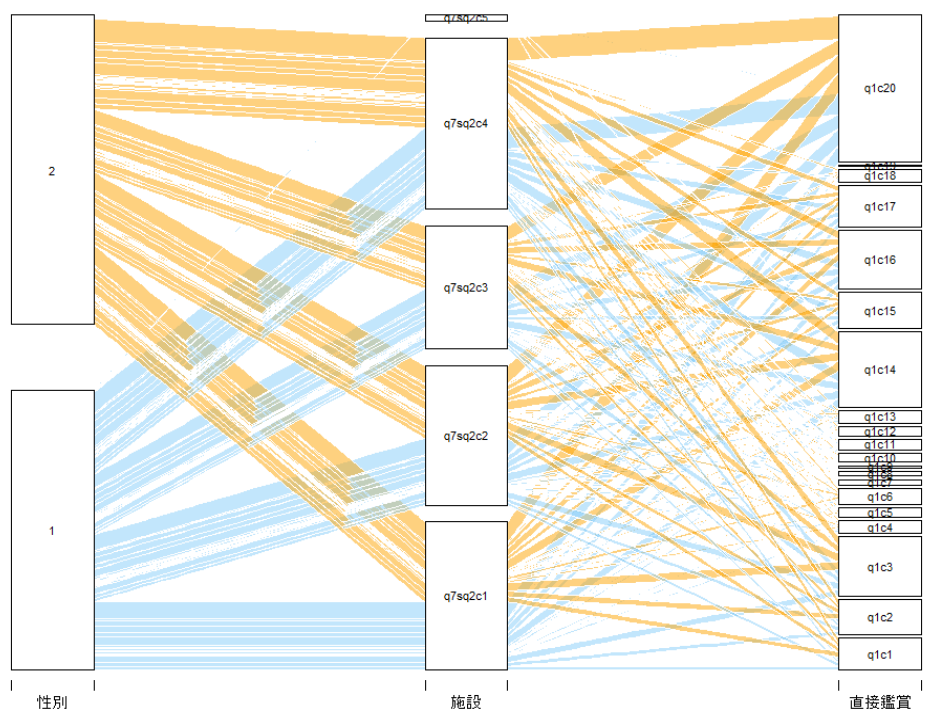


図2.4.12 性別－到達可能施設（種別）－直接鑑賞（種別）の沖積図

2.4.3 対応分析による分析

対応分析（correspondence analysis）は、日本では林知己夫の数量化理論Ⅲ類として知られている手法であり、質的データから作成されるクロス集計表などのように、表構造の行と列から構成されるデータの分布の特徴を、 χ^2 検定の判定結果から特徴の小さい水準は原点付近に、特徴の大きい水準は原点から遠くに布置されるように2つの分類項目で作成したクロス表の属性の各水準にスコアを付与し、このスコアを用いて属性の水準間の関係を2次元のグラフ上に示して水準間の関係を視覚的に把握する方法である。

表2.4.1は、令和4年度調査のデータから「19.その他」を除く18の種別について、直接鑑賞と間接鑑賞との間でクロス集計を行った結果を示す表である。このクロス集計表に対応分析を適用した結果が図2.4.13である（対応分析には、Rのパッケージcaを利用）。

対応分析の結果として得られる図2.4.13の第1軸（横軸）の寄与率は41.7%，第2軸（縦軸）の寄与率は18.6%で、2つの軸を併せても60.3%で、元データの反映率はそれほど高いとは言えない。また、第1軸は、スコアがプラスであるのは「2.ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など」，「14.映画」，「15.アニメーション映画」の3つの種別であり、その他の種別のスコアはマイナスであるので、マスのローカルチャーとそれ以外を分離する軸と考えられるが、第2軸の解釈は難しい。しかし、この図からは、「14.映画」や「15.アニメーション映画」をはじめとして、直接鑑賞と間接鑑賞で同じ種別が原点から離れて相互に近くに布置されており、全般的に種別の直接鑑賞と間接鑑賞の矢印がなす角度が小さいので、直接鑑賞と間接鑑賞の間で鑑賞の種別が異なるという大きな乖離は生起していないことが、あるいは同じ種別で直接鑑賞と間接鑑賞が補完の関係にあることが確認できると言えよう。

図2.4.14には直接鑑賞種別と有料配信鑑賞種別との関係、図2.4.15には90分以内到達可能

表2.4.1 令和4年度調査の直接鑑賞と間接鑑賞との間のクロス集計表

直接鑑賞	間接鑑賞																	
	q2c1	q2c2	q2c3	q2c4	q2c5	q2c6	q2c7	q2c8	q2c9	q2c10	q2c11	q2c12	q2c13	q2c14	q2c15	q2c16	q2c17	q2c18
q1c1	172	164	90	17	20	43	28	20	8	33	71	16	25	160	88	93	48	33
q1c2	83	272	83	19	20	43	22	36	11	34	69	14	23	227	123	69	45	31
q1c3	186	317	218	51	34	67	45	48	13	61	130	26	39	332	185	175	109	65
q1c4	37	68	58	33	15	22	10	19	5	13	19	7	11	71	44	27	26	8
q1c5	32	49	28	13	25	25	12	10	6	15	25	9	10	53	28	20	20	12
q1c6	53	73	41	16	24	55	16	14	4	15	23	7	10	93	57	30	20	10
q1c7	22	30	17	7	7	14	16	12	3	10	13	4	8	29	22	17	11	8
q1c8	16	28	17	9	6	8	10	23	6	6	14	4	6	32	19	12	5	5
q1c9	17	15	14	5	6	7	5	6	9	8	8	3	6	16	12	11	9	7
q1c10	37	54	39	9	14	17	12	10	6	32	31	7	8	52	30	33	20	13
q1c11	41	76	41	11	11	14	14	12	6	22	56	8	14	67	34	40	26	20
q1c12	41	52	43	9	10	18	9	12	4	19	33	20	18	46	25	36	30	18
q1c13	45	81	42	10	14	19	7	16	4	14	31	11	34	87	62	32	28	17
q1c14	165	415	140	33	38	79	41	47	11	50	139	20	46	607	326	160	90	48
q1c15	81	178	57	17	25	44	21	30	11	21	42	10	30	268	304	61	35	22
q1c16	171	330	157	30	30	61	38	40	11	60	139	25	45	340	198	212	127	67
q1c17	125	218	125	29	21	41	26	32	12	46	88	20	34	232	146	141	108	54
q1c18	52	74	43	10	14	18	9	12	5	20	34	11	19	73	54	44	36	36

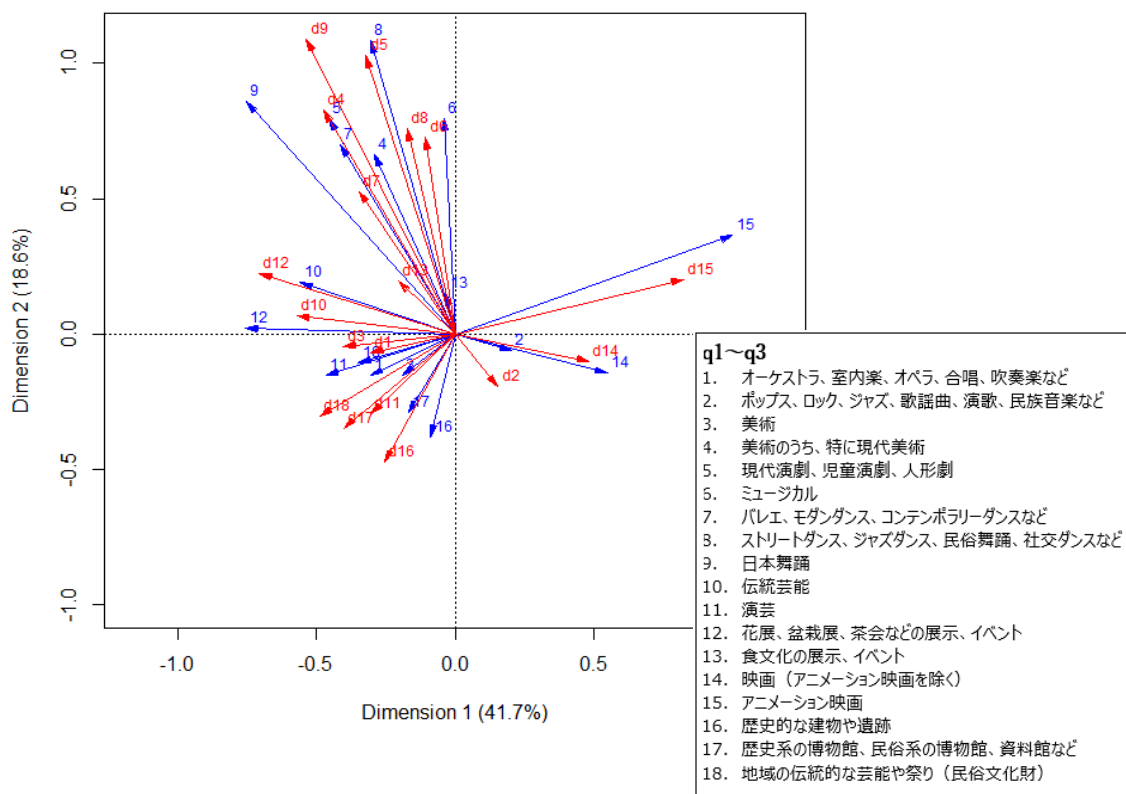


図2.4.13 種別に見た直接鑑賞（d1からd18）と間接鑑賞（1から18）の
関係の対応分析結果

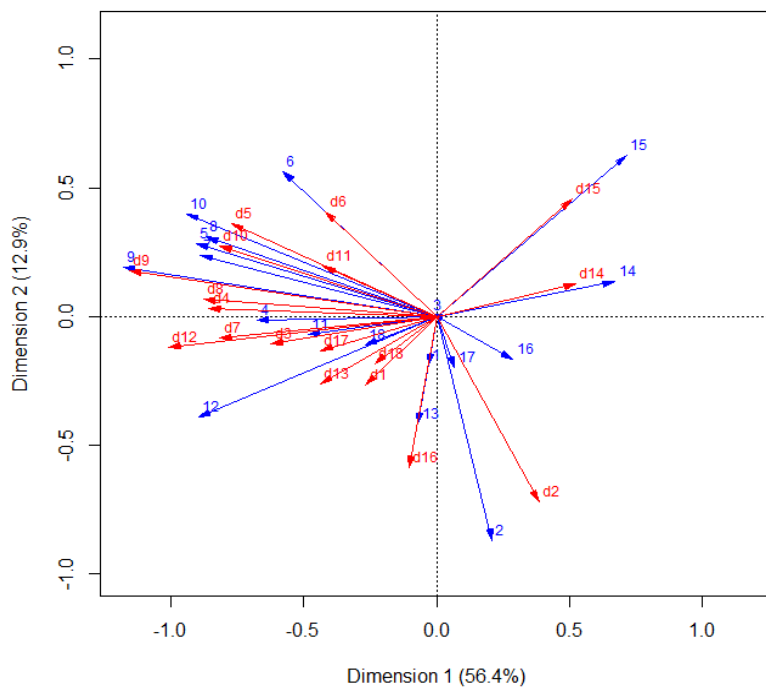


図2.4.14 種別に見た直接鑑賞と有料配信鑑賞（1から18）の関係の対応分析結果

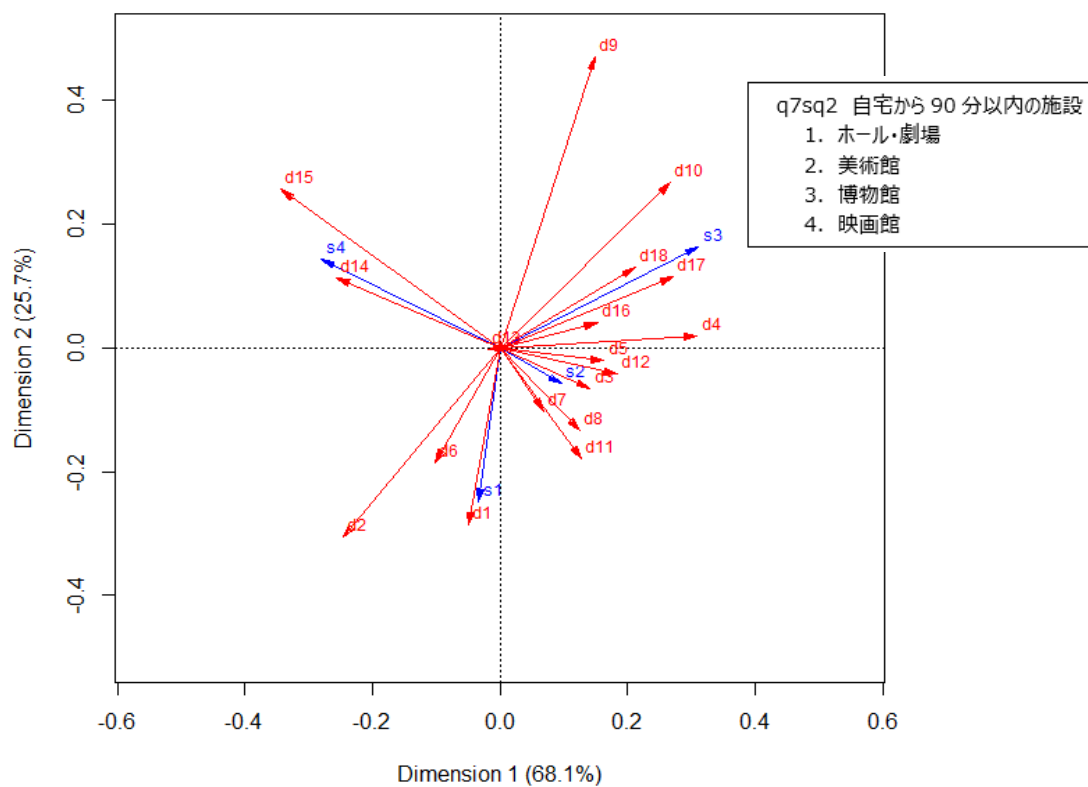


図2.4.15 到達可能施設（s1からs4）と種別に見た直接鑑賞の関係の対応分析結果

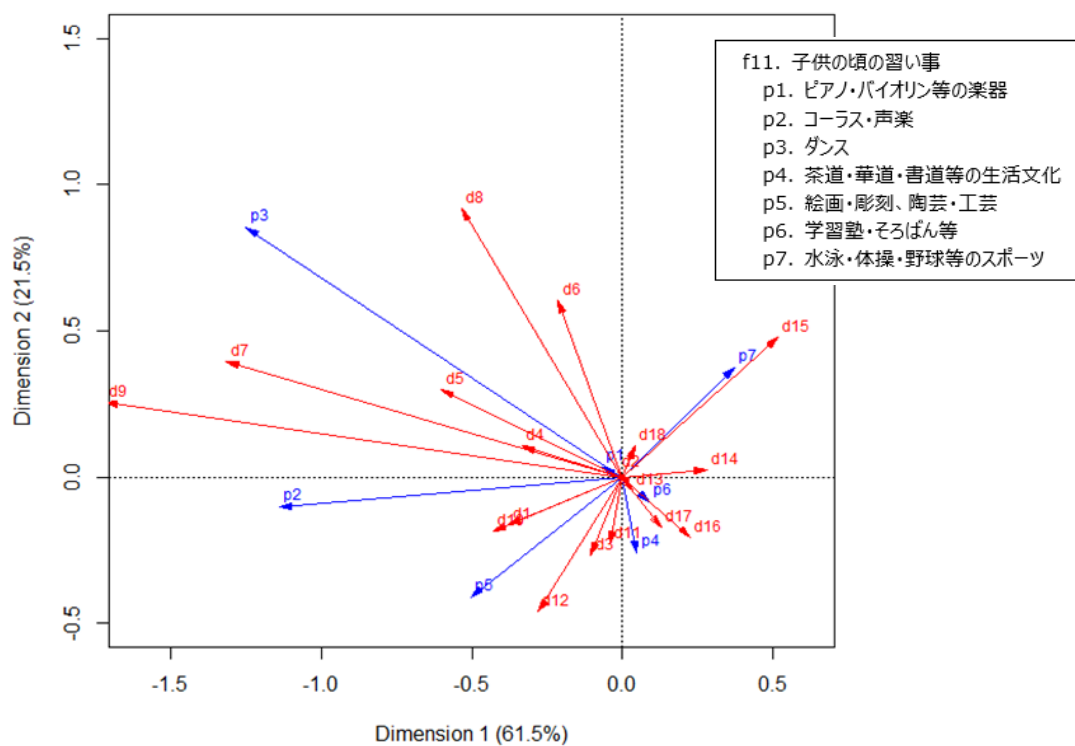


図2.4.16 習い事経験（p1から p 7）と種別に見た直接鑑賞の関係の対応分析結果

施設種別と直接鑑賞種別との関係、図2.4.16には習い事経験と直接鑑賞種別との関係に対して対応分析を適用した結果を図示しているが、特に図2.4.15の施設と直接鑑賞との関係の分析結果では、第1軸と第2軸の寄与率の合計は93.8%と高く、到達可能施設とその施設で提供される直接鑑賞種別との間には非常に密接な関係が存在することが読み取れる。

2.4.4 まとめ

本節では、近年になってさまざまな分野で利活用され、有用な知見や知識の導出に貢献しているデータマイニングの手法に注目し、先行研究である文化庁・名城大学（2023）では決定木分析とアソシエーション分析の適用を試みたが、分析結果が視覚的に表現されて結果の解釈が分かりやすいクラスタリング、沖積図、対応分析の3つの手法の適用を試みた。

令和3年度調査ならびに令和4年度調査の文化的活動と文化的活動に影響する属性の全てに対して分析手法を適用できていないが、データマイニング手法の適用は、文化的活動における直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の活動、およびそれらの間の関係に影響を及ぼす要因の抽出に有用であることが確認できたと言える。

参考文献

荒木孝治（編著）（2010）『RとRコマンダーではじめる多変量解析』日科技連出版社。
文化庁・名城大学（2023）『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

2.5 ゼロ過剰順序プロビットモデルによる文化的活動の参加頻度に関する分析

本節では「文化に関する世論調査（令和 4 年度）」にて収集された個票データを用いて、文化的活動への参加頻度を決定する要因に関する分析を行う。

各文化的活動への参加の有無と、それを決定づける要因に関する分析および可視化は前節までで取り上げたとおりである。これらの結果を踏まえた上で、本節では各文化的活動への参加「頻度」の多寡を決定づける要因について明らかにしていく。

なお、本研究で用いるデータセットは文化的活動を全く行っていない「ゼロ」の値をもつ個体を多く含んでおり、通常の回帰分析の手法では推定結果がバイアスを持つ可能性が高い。本節ではそのようなゼロの値の影響を考慮するため、ゼロ過剰順序プロビットモデル (Zero Inflated Ordered Probit, ZIOP) を用いる。

2.5.1 先行研究

文化的活動を決定する要因について、これまでに様々な研究が行われてきた。2000 年代初頭までの主たる先行研究については Seaman (2006) にて詳細にまとめられている。文化的活動への参加について、これをどのように定義し測るかといった論点は UNESCO (2012) で包括的にまとめられている。UNESCO (2012) では世界各国において実施されている文化芸術に関する調査において、文化的活動への参加やその頻度がどのように定義されているか、またこれらがどのような方法で集計されているかなどについて詳細にまとめられている。また同研究では文化的活動への参加を促す要因として既存研究でよく取り上げられる要因や、文化的活動への不参加の理由に関するアンケート結果なども取り上げており、文化的活動への参加要因を概観する上で非常に有用である¹。

個票データを用いた文化的活動への参加に関する近年の研究として、Ateca-Amestoy (2008), Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015), Muñiz et al. (2017), Courty and Zhang (2018), Suarez-Fernandez et al. (2020), 我が国においては Katsuura (2008), 新谷・勝浦 (2016), 仲村 (2017), 文化庁・名城大学 (2023) などがあげられる。

文化的活動への参加を分析対象とする場合、その参加頻度は①離散変数(1 回, 2 回など), ②順序尺度(年数回, 月数回など), のいずれかの形式でデータが収集されることが多い。このような形式の変数を被説明変数として通常の線形回帰モデルを用いた分析を行うと、誤った結論が導かれる可能性がある²。加えて文化的活動に関するデータでは、活動を全く行っていない個体が多く含まれる、いわゆる「ゼロ過剰」の問題に直面することも多い。この場合も、過剰なゼロ個体を説明するモデルを用いるなど適切な手法で対処しないと誤った

¹ 他にも同研究では文化的活動への参加に関する質的研究の方法論や統計調査実施の方法論等、文化的活動への参加に関連するトピックが幅広くまとめられている。

² 例えば離散変数の場合、被説明変数は非負の整数値しか取り得ないため、通常の線形回帰モデルで想定されるデータ生成プロセスは不適当と考えられる。

結論が導かれることが危惧される。

これらの問題を避けるために、例えば Ateca-Amestoy (2008)ではゼロ過剰ポアソン回帰 (Zero Inflated Poisson)とゼロ過剰負の二項分布モデル (Zero Inflated Negative Binominal)を用いて分析を行っている。他にもデータの特性に合わせて Muñiz et al. (2017)では Zero Inflated Negative Binominal および Double-Hurdle Model with Independent Errors (Cragg model)を、Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015)および Suarez-Fernandez et al. (2020)では本研究でも使用するゼロ過剰順序プロビットモデル (Zero Inflated Ordered Probit Model)を用いて分析を行っている。

先行研究で共通して示されている、文化的活動への参加頻度を決定する重要な要因³として、「所得」と「教育(学歴)」があげられる。「所得」に関しては、これが高くなると文化的活動へ積極的に参加する傾向が示されている (Muñiz et al. (2017), Courty and Zhang (2018), Suarez-Fernandez et al. (2020))。「教育(学歴)」についても、最終学歴が高くなると文化的活動への参加が高まる傾向にあるが (Muñiz et al. (2017), Courty and Zhang (2018)), 教育水準は所得水準との間に正の相関関係にあることが多いため、その結果の解釈については十分注意する必要がある (Suarez-Fernandez et al. (2020))。その他先行研究で取り上げられている重要な変数として「職業」があげられる。これは消費者が直面する時間的制約を決定する「可処分時間」の代理変数として用いられている (Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015), Suarez-Fernandez et al. (2020))。

2.5.2 変数の定義および要約統計量

最初に本研究で使用するサンプルについて詳細を述べる。今回使用した「文化に関する世論調査 (令和4年度)」で収集されたデータセットのサンプルサイズは3,000であるが、このうち①職業についての質問項目で「家族従業者 (家族が営んでいる事業を手伝っている)」「その他」を選択した個体、②世帯年収についての質問項目で「分からない」「答えたくない」を選択した個体、③最終学歴についての質問項目で「小学校」「中学校」「答えたくない」を選択した個体をサンプルから除外している⁴。よって本節で使用するデータセットのサンプルサイズは2,255となっている。

次に使用した変数の定義について詳細を述べる。今回、文化的活動の多寡を表す被説明変数として、「Q13.あなたは、この1年間に、どのくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。それぞれの頻度について、1つ選んでお答えください。」という質問項目に対する回答

³ UNESCO (2012)では文化的活動への参加に影響を与える主要要因として取り上げられることの多い変数として、「性別」「年齢」「地理的要因」「教育水準」「家族構成」「経済活動規模」「所得」などをあげている。

⁴ 職業で「家族従業者 (家族が営んでいる事業を手伝っている)」「その他」、最終学歴で「小学校」「中学校」と答えた個体は全体に占める割合が極端に少なく、これを含めたままではパラメータの推定に支障をきたすため、今回は外れ値と見なしサンプルから除外した。

を使用する。回答者は以下の3つの文化的活動

1. 文化芸術イベントの直接鑑賞（コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等）
2. 文化芸術のテレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞(間接鑑賞)
3. 文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）、ボランティア活動

のそれぞれについて、「1. 年に1回程度」、「2. 年に数回程度」、「3. 月に1～3回程度」、「4. 週に1回程度」、「5. 週に複数回」、の中から最も近いものを選びそれぞれ回答する。この質問項目に対して回答を行っていない個体の値を0とすることで、0から5へと回答の数値が上昇するにつれて各文化的活動の頻度が上昇していることを表す順序統計量を作成し、これを被説明変数として分析を行った。図2.5.1は各文化的活動の参加頻度を表すグラフである。

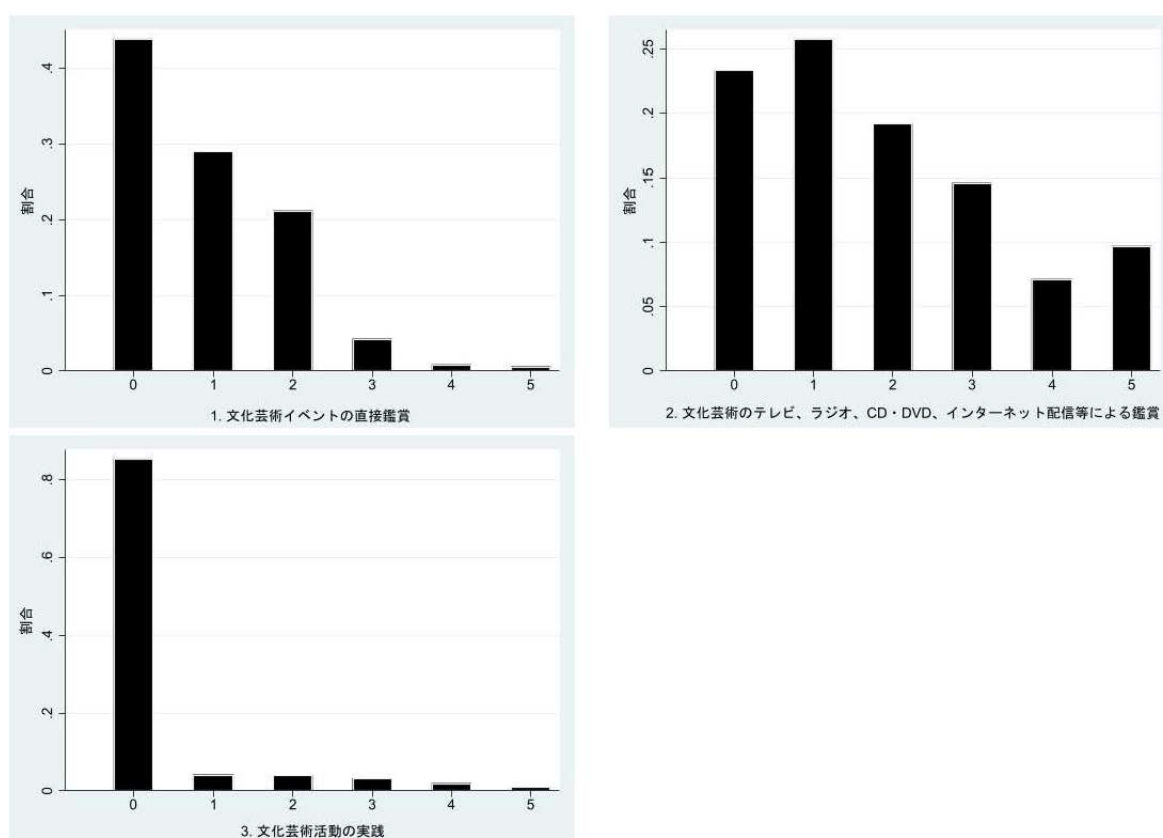


図 2.5.1 各文化的活動の参加頻度

特徴として、参加頻度がゼロの個体が多いことが確認できる。具体的には直接鑑賞で 44%、間接鑑賞で 23%、実践・支援においては 85%の個体の参加頻度がゼロとなっている。このうち実践・支援についてはゼロの値がほとんどを占めており、次節で示すゼロ過剰順序プロビットモデルの係数パラメータ推定が終了しないため、今回は分析対象外とし、直接鑑賞と間接鑑賞の参加頻度を決定するメカニズムの分析に注力する⁵。

次に今回使用した説明変数について述べる。表 2.5.1 は今回使用したアンケート項目と、対応する説明変数をまとめたものである。基本的に文化庁・名城大学 (2023)で使用されている説明変数の定義を踏襲しているが、いくつか異なる点があるため、それらについて説明を行う。

まず職業区分について、今回は「家族従業者」「その他」と回答した個体をサンプルから除外している。前者については全体に占める割合が著しく低く、これを用いるとモデルのパラメータ推定が完了しない状態となるため、これを避けるためにサンプルから除外した。後者についても全体に占める割合が著しく低いことに加えて、結果の解釈が困難となるため除外している。

次に最終学歴について、今回は「小学校」「中学校」と回答した個体をサンプルから除外している。これについても職業区分と同様に全体に占める割合が著しく低く、パラメータの推定が完了しない事態を引き起こすため除外している。

次に習い事についてであるが、今回は各習い事について、経験があると 1 を、そうでないと 0 をとる 4 種類のダミー変数を導入する。これにより、習い事の有無のみの効果を見るのではなく、習い事の種類の効果を分析することが可能となる。なお質問項目では「コーラス・声楽」「ダンス」「絵画・彫刻、陶芸・工芸」「その他」の習い事についても質問しているが、これらについては該当する個体の割合が著しく低いいため、今回はダミー変数に含めていない。

表 2.5.1 説明変数一覧

アンケート質問項目	説明変数
女性	性別ダミー, 男性を基準とし, 女性であれば 0, そうでなければ 1 をとる
男性	
年齢	回答者の年齢, およびその二乗(スケールを合わせるために二乗項は 1/100 している)
大都市	

⁵ 実践・支援の過剰なゼロの値は新型コロナウイルスによるパンデミックによる一時的な影響も大きいと考えられる。そのため別の年度における調査結果のデータを用いた検証が求められる。

中都市	都市サイズダミー，小都市 B を基準とし，各都市サイズに該当する場合 1，そうでなければ 0 をとる「大都市」，「中都市」，「小都市 A」ダミーを作成
小都市 A	
小都市 B	
正規の職員・従業員	職業ダミー，「正規の職員・従業員」を基準とし，各職業区分に該当する場合 1，そうでなければ 0 をとる 5 種類のダミー変数を作成
非正規の職員・従業員	
自営業主・自由業	
主婦・主夫	
学生	
リタイア、無職	
100 万円未満	所得階層ダミー，「1,000 万円以上」を基準とし，各所得階層に該当する場合 1，そうでなければ 0 をとる 10 種類のダミー変数を作成
100 万円以上～200 万円未満	
200 万円以上～300 万円未満	
300 万円以上～400 万円未満	
400 万円以上～500 万円未満	
500 万円以上～600 万円未満	
600 万円以上～700 万円未満	
700 万円以上～800 万円未満	
800 万円以上～900 万円未満	
900 万円以上～1,000 万円未満	
1,000 万円以上	
高校・旧制中学校	

短大・高専	学歴ダミー, 「大学」を基準とし, 各学歴に該当する場合 1, そうでなければ 0 をとる 3 種類のダミー変数を作成
大学	
大学院	
ピアノ・バイオリン等の楽器	習い事ダミー, 今回は各習い事の経験が無い人を基準とし, 各習い事の経験がある場合 1, そうでなければ 0 をとる 4 種類のダミー変数を作成
茶道・華道・書道等の生活文化	
学習塾・そろばん等	
水泳・体操・野球等のスポーツ	
ホール・劇場	文化施設ダミー, 今回は行くことのできる施設がある人を基準とし, 何かしらの文化施設に 1 時間 30 分以内に行くことができない場合 1, 行くことができる場合 0 をとるダミー変数を作成
美術館	
博物館	
映画館	
行くことのできる施設はない	

2.5.3 分析モデルおよび推定結果

本節で使用する被説明変数は①順序統計量である, ②ゼロの値を多く含む, という特徴を持っている。そのため通常の重回帰モデルを用いることは適切ではない。よって今回は推定モデルにゼロ過剰順序プロビットモデル(Zero Inflated Ordered Probit, ZIOP)を使用する。

ここでは簡単に ZIOP モデルの概要を紹介する⁶。ZIOP モデルでは, ある個人 i がまず「参加者」と「非参加者」に分けられると考え, w_i を「参加者」である場合には 1, そうでない場合には 0 をとる変数として定義する。本研究の文脈では「参加者」とは文化的活動への参加を検討し, 実際に参加をしている個体を, 「非参加者」とはそもそも文化的活動への参加を行わない個体を意味する。 w_i を決定するメカニズムを, 通常のプロビットモデルと同様に潜在変数 w_i^* を用いて以下のように考える。

$$w_i = \begin{cases} 1 & \text{if } w_i^* > 0 \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases}$$

⁶ 詳しくは Harris and Zhao (2007) を参照せよ。

さらに潜在変数 w_i^* は

$$w_i^* = z_i' \gamma + u_i$$

で表されたとする。ここで z_i は参加者かどうかを決定する個人属性のベクトル、 u_i は誤差項を表す。今誤差項 u_i が標準正規分布に従うとすれば、個人が「参加者」である確率は標準正規分布の累積密度関数 $\Phi(\cdot)$ を用いて

$$\begin{aligned} \Pr(w_i = 1|z_i) &= \Pr(w_i^* > 0|z_i) \\ &= \Phi(z_i' \gamma) \end{aligned}$$

で表すことができる。

次に参加頻度について考える。これは通常の順序プロビットと同様に考えて、0 から J までの順序統計量が与えられているときに、個人 i の参加頻度 $\tilde{y}_i$ は潜在変数 $\tilde{y}_i^*$ を用いて

$$\tilde{y}_i = \begin{cases} 0 & \text{if } \tilde{y}_i^* \leq 0 \\ 1 & \text{if } 0 < \tilde{y}_i^* \leq \mu_1 \\ \vdots & \\ J & \text{if } \mu_{J-1} \leq \tilde{y}_i^* \end{cases}$$

で表される。ここで μ_j は参加頻度を決定する境界パラメータである。潜在変数 $\tilde{y}_i^*$ は

$$\tilde{y}_i^* = x_i' \beta + \varepsilon_i$$

で表されたとする。ここで x_i は頻度を決定する個人属性のベクトル、 ε_i は誤差項を表し、 ε_i が標準正規分布に従うとすると、

$$P_i = \begin{cases} \Pr(\tilde{y}_i = 0|x_i) = \Phi(\mu_0 - x_i' \beta) \\ \Pr(\tilde{y}_i = 1|x_i) = \Phi(\mu_1 - x_i' \beta) - \Phi(-x_i' \beta) \\ \vdots \\ \Pr(\tilde{y}_i = J|x_i) = 1 - \Phi(\mu_{J-1} - x_i' \beta) \end{cases}$$

と表すことが出来る。

ZIOP モデルでは、我々が観測することが出来る頻度に関する順序統計量 y_i は、上述の 2 つの変数を用いて

$$y_i = w_i \times \tilde{y}_i$$

で表されると考える。このとき、各参加頻度は

$$P_i = \begin{cases} \Pr(y_i = 0|z_i, x_i) = \{1 - \Phi(z_i'\gamma)\} + \Phi(z_i'\gamma) \cdot \Phi(\mu_0 - x_i'\beta) \\ \Pr(y_i = 1|z_i, x_i) = \Phi(z_i'\gamma) \cdot \{\Phi(\mu_1 - x_i'\beta) - \Phi(\mu_0 - x_i'\beta)\} \\ \vdots \\ \Pr(y_i = J|z_i, x_i) = \Phi(z_i'\gamma) \cdot \{1 - \Phi(\mu_{J-1} - x_i'\beta)\} \end{cases}$$

と表すことができる。これは、回答に過剰に含まれるゼロの値を、通常の順序プロビットモデルによる説明に加えて、個体が「参加者」であるか「非参加者」であるかを表す確率も同時に考慮することによって説明しようとするモデルであると解釈できる。本研究の文脈では、個体はまず文化的活動への参加を行うかどうかの意思決定を行い、参加を行うと決めた個体についてはその頻度が決定される、というメカニズムが想定されている。

パラメータの推定を行うに際して、我々は x_i と z_i が完全に一致しないように説明変数を除外する必要がある⁷。今回の文脈においては、個体が「参加者」となるか「非参加者」となるかの意思決定には影響を持つが、参加頻度には影響を与えない変数を z_i から除外する必要がある。

本研究では①選好に関する変数、②時間制約に関する変数、③地理的制約に関する変数、④その他の要因に関する変数のそれぞれを除外した4種類のモデルの推定結果を比較しながら分析を行う。除外する変数の選別に関して、先行研究での議論に加えて、アンケートの「Q9-1.鑑賞しなかった理由は何ですか。この中からあてはまるもの全て選んでください。」という項目への回答結果が有用な情報を含んでいる。この質問項目への回答の内訳と、これに関連する要因をまとめたものが表2.5.2である。

表 2.5.2 鑑賞しなかった理由の内訳

割合	不参加の理由	不参加要因
29.8%	新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから	選好要因・その他要因 選好要因・その他要因 地理的要因 地理的要因 時間的要因
25.4%	特にない・分からない	
24.4%	関心がない	
13.5%	近所で公演や展覧会などが行われていない	
11.2%	入場料・交通費など費用がかかり過ぎる	
8.2%	仕事・学業などで時間がなかなか取れない	

⁷ いわゆる「除外制約(Exclusion Restriction)」の問題である。

6.4%	一緒に行く仲間がいない	地理的要因 時間的要因
5.8%	テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので	
5.4%	魅力ある公演や展覧会などが少ない	
4.7%	育児・介護などで時間がなかなか取れない	
4.1%	健康上の理由から	
2.5%	小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない	
1.9%	公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難	
1.8%	公演や展覧会などの情報が入手できない	
1.6%	夜間に公演や展覧会などが行われていない	
0.1%	バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない	
0.1%	その他	

①の選好に関する変数を除外することについては、例えば Suarez-Fernandez et al. (2020) や Fernandez-Blanco et al. (2009) の議論に依拠する。これらの先行研究では文化芸術の消費について「参加者」となるか「非参加者」となるかは年齢、性別、学歴などによって決まる消費者の選好によって決まり、「参加者」の頻度については選好ではなく所得などの経済的要因によって決まるとしている。表 2.5.2 を確認すると、「特にない・分からない」「関心がない」といった消費者の選好に関連する項目があがっており、これらの変数を除外することが支持されるだろう。上述の先行研究における議論およびアンケートの結果を参考にし、本研究のモデル 1 では消費者の選好を表す代理変数として「最終学歴」を除外する。

②の時間制約に関する変数を除外することについては Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015) の議論に依拠する。Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015) では「参加者」となるか「非参加者」となるかは、可処分時間の多寡など個人の直面する時間制約によって決まるが、頻度については時間制約の影響は受けないとしている。こちらの先行研究では可処分時間を表す変数として職業や婚姻状態、家族構成などの変数を使用している。時間的制約については、鑑賞しなかった理由として表 2.5.2 であげられており、このことから本研究で使用するサンプルにおいて時間制約に関する変数を除外することは妥当であると考えられる。本研究ではモデル 2 にて、可処分時間を表す代理変数として「職業ダミー」を除外する。

③の地理的制約については、表 2.5.2 において「近所で公演や展覧会などが行われていない」「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」「魅力ある公演や展覧会などが少ない」とい

った地理的要因によって「非参加」となっている個体が多数存在していることが確認できることから、除外する変数として妥当であると判断した。本研究のモデル3では「文化施設へのアクセスダミー」を除外する。

④のその他の要因として、「特にない・分からない」「関心がない」といった選好を形成する要因として考えられる所得を取り上げる。従来の研究では、所得は文化的財の消費量に影響を持つことが指摘されている。一方で、過剰なゼロを説明するモデルを用いた場合、所得の持つ影響は限定的である可能性が伺える結果も示されている(例えば Ateca-Amestoy (2008))。今回の分析でも、モデル1から3までの推定結果において、所得は頻度には影響を持たないという結果が確認されており、除外する変数として妥当である可能性がある。よって本研究では「所得は参加の意思決定に影響を与えるが、活動頻度の多寡には影響を持たない」と仮定して「所得」を除外したモデル4の推定も行った。

表 2.5.3 は直接鑑賞の頻度を被説明変数とした4種類のモデルの推定結果を、表 2.5.4 は間接鑑賞の頻度を被説明変数とした4種類のモデルの推定結果をそれぞれまとめたものである。各モデルは2つの列を持ち、「参加頻度」の列は参加頻度を被説明変数とする式の推定結果を、「参加/非参加」の列は個体が参加者になるか非参加者になるかを特定する式の推定結果をそれぞれ表す。この結果を用いて各説明変数が直接鑑賞に与える影響について見ていく。

性別

直接鑑賞の場合、全てのモデルにおいて性別ダミーは「参加/非参加」の式では有意な影響が確認できなかった。これはすなわち直接鑑賞行動を行うかどうかの意思決定に関しては性別間での差が存在しないことを意味している。一方で「参加頻度」に対しては、モデル2、3で性別が有意な正の影響を持つことが確認できた。これは「参加者」に割り当てられる個体の直接鑑賞への参加頻度については、女性の方が高くなる傾向にある可能性を示している。これは多くの先行研究で見られる結果とも整合的である。

一方で間接鑑賞においては、性別は「参加/非参加」の意思決定と「参加頻度」の両方に対して有意な影響を持たないことがすべてのモデルで確認された。間接鑑賞において、直接鑑賞と異なる結果が得られた原因として、そもそも間接鑑賞行動においては性別間で行動に差がないことを表している可能性の他に、調査期間中は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、家の中で充実した時間を過ごすことを目的とした、いわゆる「巣ごもり需要」が拡大していた時期であることも大きく影響していると考えられる。

表 2.5.3 直接鑑賞の頻度の決定要因

VARIABLES	モデル 1		モデル 2		モデル 3		モデル 4	
	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加
性別(女性ダミー)	0.119 (0.097)	0.319 (0.215)	0.138* (0.082)	0.314 (0.219)	0.154* (0.089)	0.279 (0.231)	0.138 (0.0963)	0.330 (0.230)
年齢	-0.044 (0.029)	-0.045 (0.045)	-0.055*** (0.017)	-0.031 (0.032)	-0.051** (0.023)	-0.026 (0.038)	-0.044** (0.019)	-0.040 (0.030)
年齢 2 乗	0.038 (0.030)	0.039 (0.047)	0.050*** (0.015)	0.024 (0.032)	0.048* (0.026)	0.017 (0.049)	0.041** (0.019)	0.031 (0.030)
大都市	0.505*** (0.111)	-1.091** (0.517)	0.506*** (0.105)	-1.194** (0.465)	0.489*** (0.125)	-1.168 (0.892)	0.569*** (0.120)	-1.362*** (0.415)
中都市	0.625*** (0.237)	-1.211*** (0.393)	0.630*** (0.201)	-1.320*** (0.453)	0.624* (0.346)	-1.304*** (0.447)	0.730*** (0.152)	-1.548*** (0.456)
小都市 A	0.419*** (0.144)	-1.017*** (0.327)	0.428*** (0.146)	-1.121*** (0.364)	0.409* (0.237)	-1.092*** (0.343)	0.513*** (0.124)	-1.342*** (0.349)
非正規の職員・従業員	-0.093 (0.101)	0.272 (0.293)		0.208 (0.238)	-0.114 (0.122)	0.396 (0.305)	-0.102 (0.116)	0.259 (0.300)
自営業主・自由業	-0.059 (0.202)	0.493 (0.739)		0.575 (0.487)	-0.158 (0.317)	1.050 (2.592)	-0.094 (0.180)	0.461 (0.498)
主婦・主夫	-0.001 (0.255)	-0.517 (0.427)		-0.495* (0.295)	-0.045 (0.528)	-0.370 (1.154)	0.041 (0.135)	-0.535* (0.305)
学生	0.019	0.887		0.958	0.088	0.936	0.123	1.020

リタイア・無職	(0.265)	(0.945)	(0.767)	(0.431)	(1.085)	(0.228)	(0.906)
	0.094	-0.005	0.102	0.104	0.036	-0.034	0.204
100万円未満	(0.290)	(0.551)	(0.259)	(0.412)	(0.922)	(0.165)	(0.308)
	0.114	-0.861	0.144	0.157	-0.905**		-0.746**
	(0.331)	(0.554)	(0.310)	(0.585)	(0.452)		(0.377)
100万円以上～200万円未満	-0.492**	-0.578	-0.425*	-0.402*	-0.702**		-1.087***
	(0.242)	(0.420)	(0.255)	(0.224)	(0.348)		(0.195)
200万円以上～300万円未満	0.079	-0.651*	0.123	0.177	-0.856		-0.518*
	(0.229)	(0.372)	(0.236)	(0.228)	(0.665)		(0.281)
300万円以上～400万円未満	-0.120	-0.322	-0.111	-0.097	-0.333		-0.382**
	(0.205)	(0.291)	(0.194)	(0.182)	(0.377)		(0.194)
400万円以上～500万円未満	-0.101	-0.157	-0.054	0.013	-0.363		-0.245
	(0.179)	(0.363)	(0.210)	(0.241)	(0.386)		(0.235)
500万円以上～600万円未満	0.040	-0.332	0.060	0.137	-0.508		-0.308
	(0.370)	(0.650)	(0.283)	(0.292)	(0.359)		(0.245)
600万円以上～700万円未満	-0.258	0.378	-0.203	-0.155	0.155		-0.058
	(0.161)	(0.733)	(0.268)	(0.483)	(2.206)		(0.397)
700万円以上～800万円未満	-0.055	-0.351	-0.044	-0.009	-0.450		-0.402
	(0.135)	(0.287)	(0.156)	(0.164)	(0.353)		(0.274)
800万円以上～900万円未満	0.123	-0.253	0.160	0.214	-0.462*		-0.195
	(0.210)	(0.505)	(0.220)	(0.198)	(0.261)		(0.281)
900万円以上～1,000万円未満	0.113	-0.009	0.151	0.215	-0.237		0.161
	(0.302)	(0.710)	(0.251)	(0.325)	(0.539)		(0.429)

高校		-0.415*** (0.157)	-0.170 (0.161)	-0.265 (0.249)	-0.245* (0.147)	-0.118 (0.206)	-0.216 (0.166)	-0.171 (0.246)
短大・高専		-0.311* (0.171)	-0.109 (0.103)	-0.228 (0.224)	-0.131 (0.092)	-0.156 (0.267)	-0.098 (0.103)	-0.221 (0.190)
大学院		0.044 (0.466)	0.261 (0.227)	-0.201 (0.431)	0.276 (0.339)	-0.189 (0.487)	0.326 (0.222)	-0.274 (0.437)
ピアノ・バイオリン等の楽器	-0.009 (0.143)	0.179 (0.511)	-0.042 (0.122)	0.216 (0.380)	-0.037 (0.166)	0.216 (0.324)	0.014 (0.121)	0.060 (0.269)
書道・茶道・華道等の生活文化	-0.038 (0.086)	0.560 (0.471)	-0.023 (0.070)	0.517* (0.314)	-0.007 (0.086)	0.475* (0.270)	-0.011 (0.051)	0.419*** (0.160)
学習塾・そろばん等	-0.108 (0.140)	0.652 (0.441)	-0.094 (0.141)	0.641 (0.409)	-0.053 (0.151)	0.563 (0.634)	-0.077 (0.146)	0.568*** (0.289)
水泳・体操・野球等のスポーツ	0.048 (0.112)	0.200 (0.354)	0.032 (0.106)	0.232 (0.311)	0.035 (0.148)	0.234 (0.654)	0.030 (0.103)	0.240 (0.211)
施設なし	-0.274 (0.233)	-1.455*** (0.335)	-0.217 (0.255)	-1.518*** (0.305)		-1.682** (0.691)	-0.128 (0.257)	-1.556*** (0.223)
Observations	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255

各モデルは都道府県固定効果を含む。括弧内は都道府県レベルでクラスターした標準誤差を表す。また「***」は1%有意水準、「**」は5%有意水準、「*」は10%有意水準をそれぞれ満たすことを意味する。

表 2.5.4 間接鑑賞の頻度の決定要因

VARIABLES	モデル 1		モデル 2		モデル 3		モデル 4	
	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加	参加頻度	参加/非参加
性別(女性ダミー)	0.075 (0.075)	0.023 (0.134)	0.104 (0.069)	0.046 (0.140)	0.107 (0.077)	0.003 (0.129)	0.121 (0.082)	-0.029 (0.190)
年齢	-0.009 (0.012)	-0.005 (0.026)	-0.006 (0.017)	-0.005 (0.025)	-0.006 (0.012)	-0.010 (0.026)	-0.004 (0.013)	-0.013 (0.034)
年齢 2 乗	0.013 (0.011)	0.012 (0.024)	0.011 (0.015)	0.011 (0.024)	0.010 (0.011)	0.016 (0.024)	0.008 (0.011)	0.018 (0.030)
大都市	0.308** (0.123)	-0.437 (0.367)	0.261* (0.141)	-0.214 (0.385)	0.298** (0.132)	-0.403 (0.355)	0.297* (0.161)	-0.534 (0.643)
中都市	0.311*** (0.111)	-0.324 (0.343)	0.293* (0.150)	-0.151 (0.410)	0.314*** (0.112)	-0.312 (0.337)	0.301** (0.131)	-0.405 (0.591)
小都市 A	0.337*** (0.117)	-0.372 (0.293)	0.315* (0.164)	-0.176 (0.397)	0.340*** (0.115)	-0.354 (0.283)	0.339*** (0.127)	-0.463 (0.529)
非正規の職員・従業員	0.211** (0.097)	-0.005 (0.156)		0.138 (0.107)	0.221** (0.092)	0.007 (0.144)	0.230*** (0.086)	-0.024 (0.192)
自営業主・自由業	0.164 (0.137)	0.459 (0.401)		0.506 (0.393)	0.175 (0.127)	0.467 (0.340)	0.173 (0.130)	0.475 (0.381)
主婦・主夫	0.027 (0.129)	-0.037 (0.188)		-0.064 (0.127)	0.038 (0.122)	-0.049 (0.161)	0.031 (0.129)	-0.029 (0.181)
学生	-0.049	1.109		0.730	-0.018	1.034	0.091	0.987

リタイア・無職	(0.264)	(0.737)	(0.657)	(0.259)	(0.677)	(0.225)	(0.724)
100万円未満	0.168 (0.153)	0.229 (0.215)	0.288 (0.175)	0.180 (0.156)	0.223 (0.210)	0.199 (0.132)	0.219 (0.228)
100万円以上～200万円未満	0.226 (0.198)	-1.102*** (0.399)	0.276 (0.198)	0.242 (0.198)	-1.079*** (0.371)	-1.027** (0.431)	-1.027** (0.431)
200万円以上～300万円未満	0.178 (0.177)	-0.995*** (0.296)	0.291** (0.138)	0.203 (0.165)	-0.992*** (0.281)	-0.914*** (0.289)	-0.914*** (0.289)
300万円以上～400万円未満	0.222 (0.149)	-0.505 (0.366)	0.332*** (0.125)	0.228 (0.154)	-0.483 (0.340)	-0.333 (0.298)	-0.333 (0.298)
400万円以上～500万円未満	-0.035 (0.111)	-0.270 (0.398)	0.098 (0.101)	-0.006 (0.114)	-0.286 (0.360)	-0.316 (0.306)	-0.316 (0.306)
500万円以上～600万円未満	0.140 (0.098)	-0.570*** (0.239)	0.194* (0.099)	0.172* (0.099)	-0.570*** (0.218)	-0.477*** (0.189)	-0.477*** (0.189)
600万円以上～700万円未満	0.100 (0.105)	-0.399 (0.375)	0.145 (0.115)	0.126 (0.107)	-0.412 (0.327)	-0.343 (0.318)	-0.343 (0.318)
700万円以上～800万円未満	0.084 (0.106)	-0.328 (0.242)	0.138 (0.090)	0.130 (0.105)	-0.398* (0.222)	-0.359 (0.260)	-0.359 (0.260)
800万円以上～900万円未満	0.136 (0.104)	-0.442 (0.310)	0.156 (0.112)	0.159 (0.105)	-0.445 (0.282)	-0.369 (0.283)	-0.369 (0.283)
900万円以上～1,000万円未満	0.322** (0.141)	-0.822*** (0.349)	0.369** (0.168)	0.321** (0.149)	-0.789** (0.333)	-0.646* (0.341)	-0.646* (0.341)
	0.247 (0.151)	-0.590* (0.311)	0.322** (0.130)	0.270* (0.151)	-0.595** (0.286)	-0.402 (0.346)	-0.402 (0.346)

高校	-0.302** (0.147)	-0.055 (0.076)	-0.195 (0.162)	-0.039 (0.088)	-0.268 (0.163)	-0.054 (0.096)	-0.234 (0.201)
短大・高専	-0.273* (0.141)	-0.110 (0.069)	-0.146 (0.115)	-0.105 (0.077)	-0.188 (0.141)	-0.102 (0.083)	-0.190 (0.167)
大学院	-0.167 (0.243)	0.182 (0.124)	-0.194 (0.283)	0.215* (0.121)	-0.305 (0.227)	0.213* (0.117)	-0.318 (0.263)
ピアノ・バイオリン等の楽器	0.107 (0.105)	0.108 (0.105)	0.125 (0.136)	0.097 (0.102)	0.156 (0.164)	0.104 (0.103)	0.149 (0.199)
書道・茶道・華道等の生活文化	0.025 (0.066)	0.027 (0.063)	0.197* (0.116)	0.033 (0.066)	0.247* (0.139)	0.027 (0.066)	0.296 (0.191)
学習塾・そろばん等	0.053 (0.070)	0.027 (0.078)	0.248*** (0.073)	0.059 (0.070)	0.241** (0.094)	0.070 (0.088)	0.223* (0.128)
水泳・体操・野球等のスポーツ	0.041 (0.070)	0.003 (0.081)	0.353** (0.140)	0.049 (0.070)	0.334** (0.156)	0.065 (0.081)	0.324* (0.180)
施設なし	-0.117 (0.155)	-0.109 (0.137)	-1.080*** (0.280)	-1.279*** (0.187)	-1.279*** (0.187)	-0.073 (0.156)	-1.342*** (0.266)
Observations	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255

年齢

直接鑑賞に関しては、全てのモデルにおいて、年齢及びその 2 乗の項は「参加/非参加」の意思決定に対して有意な影響を持たないことが確認できる。一方でモデル 1 を除くすべてのモデルにおいて、年齢およびその 2 乗の項は「参加頻度」に対して有意な影響を持ち、かつその影響は U 字シェイプを取ることが確認できる。年齢は文化的活動に対して U 字シェイプの影響を持つことが多くの既存研究などで示されているが、年齢がそのような効果を持つのは「参加者」の文化的活動頻度に対してのみであり、文化的活動に参加するかどうかの意思決定に関しては、年齢は有意な影響を持たないことを今回の分析は示している。

一方で間接鑑賞に関しては、既存研究ならびに直接鑑賞を対象とした分析結果とは異なり、すべてのモデルについて、「参加/非参加」の意思決定および「参加頻度」の両方に対して年齢は有意な影響を持たないことが示された。この結果に関しても、性別と同様に「巣ごもり需要」の拡大に伴う間接鑑賞行動の拡大が全ての年齢層で見られたことが一因としてあげられるだろう。この解釈については、異なる年度での追跡調査によってその妥当性を検証していきたい。

都市階級

直接鑑賞については、すべてのモデルにおいて、もっとも小さい都市区分である小都市 B と比較して、ほぼすべての都市階級が「参加/非参加」の式において有意な負の影響を持つ一方で、「参加頻度」の式においては有意な正の影響を持つことが結果に示されている。すなわち、小都市と比較して規模が大きい都市に在住している場合、直接鑑賞を行うかどうかの意思決定段階においては、鑑賞するという選択を行わない傾向にあるものの、鑑賞するという選択を行ったものに関しては、その頻度が高まる、という傾向にあることを意味している。このような結果が得られた背景として、小都市と比較した場合、大都市では様々な娯楽の選択肢が存在しており、そのため文化芸術鑑賞ではない娯楽を選択する確率が相対的に高くなるが、一度文化芸術を消費する「参加者」となった場合、小都市と比較して大都市の方が展覧会やコンサートなどのさまざまなイベントが行われる頻度が高いため、参加頻度に対して都市サイズは正の影響を持つ、というメカニズムの存在が考えられる。

一方で間接鑑賞においては、各都市階級ダミーはすべてのモデルにおいて、「参加/非参加」の意思決定には有意な影響を持たないものの、「参加頻度」に対しては有意な正の影響を持つことが示されている。「参加/非参加」の意思決定に対して有意な影響を持たないことは他の変数と同じように「巣ごもり需要」の拡大による間接鑑賞行動の主流化が原因であると考えることができる。一方で、小都市 B と比較して、都市階級が大きい地域に住んでいる個体の方が間接鑑賞行動を増やす傾向にあるという結果は、都市部と地方の間に存在する文化的活動の活発度格差が、間接鑑賞行動においても存在していることを示すものと解釈できる。例えば文化庁・名城大学 (2023) や 2.4 節で示されているように、直接鑑賞行動と間接鑑賞行動の間には正の相関関係が存在しており、補完関係にある可能性が高い。よって直

接鑑賞の機会に恵まれている都市部であれば、間接鑑賞の頻度も高まると考えることができる。これは例えば、クラシックのコンサートに行った消費者が、自宅にて再び同じ音楽をインターネットで鑑賞する、という行動を考えれば自然な結果であると考えられるだろう。いずれにせよ、都市部と地方とで文化的活動頻度の差が、比較的参入障壁が低い間接鑑賞という形態においても発生していることは、注目すべき結果であると言える。

職業

今回使用した職業ダミーは、文化庁・名城大学（2023）と同様に①可処分時間、②社会的地位、③その他就業形態の違いによる効果を測っている変数であると解釈する。今回の分析では「正規の職員・従業員」を基準として分析を行っているが、結果を確認すると、直接鑑賞に関しては、モデル2と4において「主婦・主夫」が「参加/非参加」の式で有意な負の効果をもつ以外に有意な効果は確認できず、「参加頻度」の式においてはすべてのモデルにおいて、すべての職業区分で有意な効果が確認できなかった。特に「参加頻度」の式における結果は、Borowiecki and Prieto-Rodriguez (2015)で述べられている「可処分時間は文化的活動の頻度に対しては影響を持たない」という仮説を支持する結果であると解釈できる。

間接鑑賞においても「非正規の職員・従業員」がモデル1, 3, 4の「参加頻度」の式において有意な正の効果を持つことを除き、全ての職業区分は「参加/非参加」および「参加頻度」の両方の式で有意な効果を確認できなかった。この結果は直接鑑賞の結果と類似する点が多いが、間接鑑賞において確認することができた有意な効果がすべて「頻度」に対するものであったことは、「可処分時間は文化的活動の頻度に対しては影響を持たない」という仮説は、間接鑑賞を対象とする場合は適切ではない可能性を示唆する。ただし職業ダミーは可処分時間を以外にも様々な要因を含む代理変数であり、可処分時間による影響を完全に説明できる変数ではないため、今後の詳細な分析のためにも可処分時間に関する調査項目の導入が望まれる。

年収

今回は「1,000万円以上」の年収階層を基準とし、各階層の効果を見ているが、直接鑑賞に関しては、ほぼ全てのモデルで、①年収が低いグループは「参加者」となる確率が有意に低くなる、②年収は文化的活動の多寡にほとんど影響を持たない、という結果が確認できた。①についてはモデル間で若干異なる部分もあるが、おおむね400万円以下の年収階層に属する個体であると「参加者」となる確率は有意に低くなる傾向が確認できる。これは既存研究で示されている「年収が少ない世帯に属する個体は文化的活動にあまり参加しない」という結果と整合的なものである。一方②については、モデル1において「100万円以上～200万円未満」の年収階層ダミーが有意な負の影響を持っているものの、その他の全ての変数は参加頻度に対して有意な影響を持たないことが示されている。これは既存研究では確認できない結果となっている。すなわち、多くの既存研究において示されている年収の効果は、

データに多く含まれるゼロの値によって生じたバイアスを含んでおり、個体が文化的活動に参加するかどうかの意思決定を踏まえたモデルを用いると、年収の効果は「参加/非参加」に対してのみ有意な影響をもつ限定的なものであることを本研究は示している。年収は経済的制約を表す変数であると解釈すれば、今回の結果は「文化的活動の多寡を決定する際に、経済的な制約は影響をもたない」ことを示すものであり、これは今後の効率的な文化振興政策うえで重要な論点を提供するものとなりうるだろう。

間接鑑賞においては、全てのモデルで一貫して見られる傾向として、年収が最も高いグループと比較した場合、そうでないグループの多くでは参加確率が有意に下がる傾向が確認された。一方で「参加頻度」については、特にモデル2において顕著であるが、年収が最も高いグループと比較して、そうでないグループではその頻度が高くなる傾向が確認された。年収に関しては、直接鑑賞の推定において参加頻度に影響を与えない傾向が確認されたため、これを除外変数とするモデル4を立てたが、間接鑑賞を対象とした場合ではこの仮定は必ずしも適当であるとは言い切れない可能性を今回の推定結果は示している。

間接鑑賞の結果は以下のように解釈することができる。たとえば年収の高い消費者は、多くの先行研究で示されているように、そうでない消費者と比較して教育などを通じて文化資本の蓄積が十分にされている個体が多く、その結果文化芸術の消費を行う「参加者」になる確率が高くなる。一方で「参加者の参加頻度」に注目した場合、すでに参加者に割り振られた個体同士での比較となるため、文化芸術への選好は十分に備えており、その頻度の多寡は可処分時間や可処分所得などに左右されると考えられる。間接鑑賞という消費形態は、直接鑑賞と比べた場合、比較的低予算でこれを消費することができるため、したがって年収の低いグループは与えられた時間制約と予算制約の下で、間接鑑賞をより多く消費する選択を行う。

既存研究では、文化芸術の消費に対して年収は有意な効果を持つという結果が示されてきたが、今回の結果を統合すると、年収は直接鑑賞においては重要な要因ではなく、むしろ間接鑑賞において大きな役割を持っている可能性が示唆されている。この点は効率的な文化振興政策の実施を考える上で重要な視点を提供しうるだろう。

学歴

今回の分析において、学歴は「大学」を基準として分析を行っているが、直接鑑賞に関しての結果を確認すると、「参加/非参加」の意思決定ではモデル1にて「高校」と「短大・高専」が有意な負の影響を、「参加頻度」に対してはモデル3にて「高校」が有意な負の影響を持つ以外には統計的に有意な影響は確認されなかった。これはすなわち、文化的活動の参加に関して、学歴間での差がほとんど生じていない可能性を表す結果といえる。このような学歴間の差が確認できない結果が得られた理由について、例えば我が国の教育課程では、義務教育を終えることで文化芸術を楽しむのに必要な素養を十分に育むことができるものになっており、そのような教育を受けてきた結果、義務教育以上の学歴間では有意な差が確認

できなかった、と解釈することができるだろう。

間接鑑賞について結果を確認すると「参加/非参加」を決定する式では、モデル1にて「高校」と「短大・高専」が有意な負の効果をもっていることが確認できるが、それ以外には有意な効果を確認することはできなかった。この結果も直接鑑賞の場合と同様に、我が国の義務教育を通じて間接鑑賞を楽しむのに十分な文化資本を獲得出来ているためと解釈することができる。「参加頻度」についてはモデル3, 4にて「大学院」が有意な正の効果を持っていることが確認できる。これは大学院での専門教育によって文化資本の蓄積がさらに進み、その結果鑑賞頻度が増加したと解釈することができる。

学歴が文化的活動に与える影響の有無が示されたことは、今後の文化行政と文化教育の連携を考えるうえで非常に有意義な結果であるといえる。しかしながら多くのモデルにおいて、学歴の効果は先行研究で示されているような効果は確認できなかった点の解釈には注意が必要である。この結果がコロナ禍という時期特有の状況に起因するものなのか、それとも別の原因に起因するものなのかについては今後慎重な検証が必要とされる。

習い事

今回、習い事を表す変数として、「ピアノ・バイオリン等の楽器」「書道・茶道・華道等の生活文化」「学習塾・そろばん等」「水泳・体操・野球等のスポーツ」の有無を表す4種類のダミー変数を作成し、その影響を確認した。なおダミー変数はいずれも経験ありで1を、なしで0をとる。文化庁・名城大学(2023)では習い事の経験の有無のみを用いていたが、今回の分析では習い事の種類を細かく分けることで、各習い事別の効果の違いを確認することができた。

文化的活動に対して、習い事の経験は①教育水準が高まることによる正の効果、②幼少期の親の所得による正の効果、の2つの効果を測っていると考えられる。この効果のうちどちらがより強く影響を持つかは習い事の種類によって異なると考えられる。例えば「ピアノ・バイオリン等の楽器」「水泳・体操・野球等のスポーツ」などの習い事は多くの費用がかかり、送り迎えなど親への負担も多いため、これらの習い事を経験できるかどうかは幼少期の親の所得に強く影響を大きく受けると考えられる。

上述の②の効果については、親の所得は子の所得に対しても正の影響を持つため、習い事の効果を考える場合、所得が交絡因子となり得る。本研究では「年収」という変数で交絡因子の影響をある程度コントロール出来ていると考えられるため、今回の分析結果は①の教育水準が高まることによる正の効果を取り出せていると解釈できるだろう。

分析の結果、直接鑑賞については習い事のうち「書道・茶道・華道等の生活文化」がモデル2, 3, 4の、「学習塾・そろばん等」がモデル4の「参加/非参加」の式にて有意な正の効果をもつことが確認されたが、その他の習い事は有意な影響を持たず、加えて「参加頻度」に対しては、全ての習い事ダミーについて有意な影響を確認することはできなかった。

今回の分析のように所得の影響をコントロールしたうえで、「ピアノ・バイオリン等の

楽器」「水泳・体操・野球等のスポーツ」は文化的活動への参加、およびその頻度の両方に対して統計的に有意な影響を持たないことが明らかとなった。すなわちこれらの習い事の経験は「教育水準を高める」という意味では文化的活動への参加に対して有意な効果を持たないと解釈することができる。一方で「書道・茶道・華道等の生活文化」「学習塾・そろばん等」の経験は、消費者の文化資本を高めることを通じて文化的活動の参加者となる確率を高める効果が確認された。なお、習い事の経験はいずれも「参加頻度」に対しては有意な影響を持たないため、これらが持つ教育効果は限定的なものであると思われる。

間接鑑賞については「ピアノ・バイオリン等の楽器」を除くすべての習い事の経験が、ほぼすべてのモデルにて「参加/非参加」の式で有意な正の効果を持つことが確認できた。一方で「参加頻度」に対しては、いずれの習い事の経験も有意な効果は確認できなかった。よって幼少期の習い事の効果は、すでに参加者である消費者の文化消費を促進するのではなく、新たな参加者を増やし、文化的活動に興味をもつ国民の数を底上げするような効果を持つものと考えられるだろう。

文化庁・名城大学（2023）では習い事の経験の重要性を指摘するも、その経験の有無しか説明変数として使用していなかったため、習い事の種類の効果を確認することができなかった。今回の分析では主要な習い事が、文化的活動への「参加/非参加」の意思決定と、その「参加頻度」の両方に与える影響をそれぞれ確認することができた。習い事の効果は直接・間接の形態を問わず、「参加/非参加」の意思決定には効果を持つことはあっても、「参加頻度」にまでは影響を持たないという限定的な効果を持ち得ることが示されたが、これは幼少期における習い事のもつ教育効果と文化的活動への参加との関係性を明らかにする重要な結果であると考えられる。

文化施設

直接鑑賞について、文化施設の有無はすべてのモデルにて「参加/非参加」の式で有意な負の効果を持つことが確認された。すなわち、生活圏内に文化施設が存在しない場合、「参加者」となる確率が有意に減少することを分析結果は示している。一方で「参加頻度」の式では、全てのモデルにおいて有意な影響を確認することはできなかった。

間接鑑賞についても、すべてのモデルにて「参加/非参加」の式で文化施設の有無が有意な負の効果を持つことが確認でき、直接鑑賞の場合と同様に文化施設が生活圏内に存在していない場合、参加者となる確率が減少することが示されている。一方で文化施設の存在は「参加頻度」の式においては有意な影響を持つことは確認されなかった。

これらの結果は文化庁・名城大学（2023）で示されている結果を踏襲するものであり、文化振興を考えるうえで文化施設を整備することの重要性を意味するものであると考えられる。直接鑑賞の場合は文化施設が存在しない場合、そもそも鑑賞行動をとることが困難である、もしくは不可能となるため、これが影響を持つことは当然とも思えるが、同様の効果が物理的な文化施設を必ずしも必要としない間接鑑賞という形態においても確認できたこと

は非常に興味深い。このような結果が得られた理由として、文化庁・名城大学（2023）や2.4節で示されている直接鑑賞と間接鑑賞の間の補完関係が考えられる。それ以外の効果として、文化施設が存在することによるその地域の住民の文化資本への正の影響が存在する可能性も十分に考えられる。

一方で参加頻度に関しては、文化施設の有無は統計的に有意な影響を持たないという点が新たに明らかになった。これは除外変数の部分でも述べているように、文化施設の存在はある種の地理的制約を表すものであり、頻度については消費者の選好や経済的制約に依る部分が大きいと考えられ、そのような実情を表している結果と解釈することができるだろう。政策立案の文脈においては、文化施設を充実させることは、これまで文化的活動を行っていなかった人々を文化的活動へと新たに誘う効果はあるものの、その頻度を高め、活動を盛り上げるということを目指とする場合には、その効果は低いということを意味する。

しかし、参加頻度には影響を持たずとも、文化施設の存在が参加者を増やす効果を持つことは、すべてのモデルで一貫して確認できる。この結果は、文化振興政策を考える上で、文化施設の整備が果たす役割が大きいことを示唆するものと考えられる。今後の分析では、より詳細に施設の存在と文化的活動の関係について検証していきたい。

2.5.4 まとめと今後の展望

本節ではゼロ過剰順序プロビットモデルを用いて、文化的活動への参加/非参加の意思決定、および参加者の参加頻度の多寡を決定する要因についての分析を行った。分析に際して本研究では文化的活動を、参加コストが比較的高いと考えられる「直接鑑賞」と比較的手軽に参加できる「間接鑑賞」に分け、各鑑賞形態で説明変数が与える影響が異なるかどうかの比較検討も行った。

分析の結果、既存研究で文化的活動への参加を決定づける重要な要因として指摘されることが多い「所得」と「学歴」に関しては、「参加頻度」に対しては有意な効果が確認できないケースが散見され、むしろこれらの要因は「参加/非参加」の意思決定に強く影響を持つ可能性が明らかとなった。

また「習い事の経験」は、直接鑑賞においては「書道・茶道・華道等の生活文化」と「学習塾・そろばん等」の経験が、間接鑑賞においてはこれらに加えて「水泳・体操・野球等のスポーツ」の経験があると、将来文化的活動への「参加者」となる確率が高くなる傾向があることが示された。一方で「参加頻度」に対しては、習い事の経験の有無は有意な影響を確認することはできなかった。

文化施設の有無はすべての分析で一貫して有意な効果を持ち、生活圏に文化施設が存在しない場合、「参加者」となる確率が有意に下がることが確認できた。文化施設へのアクセスがどのような要因を捉えているのかについては詳細な検証を行う必要があるが、文化活動への参加を考える上で、非常に重要な要因であることを分析結果は示している。一方で文化施設の有無は「参加頻度」に対しては他の主要な変数と同様に有意な影響を確認すること

ができなかった。

表 2.5.5 は直接鑑賞と間接鑑賞の結果を「参加/非参加」の意思決定と「参加頻度」で分けてまとめたものである。表には 4 種類のモデルの中で 1 つでも有意な効果を確認できた変数を記載している。

表 2.5.5 ZIOP モデルの分析結果の要約

	参加/非参加	参加頻度
直接鑑賞	性別（女性がプラス） 年齢（U 字シェイプ） 都市規模（大きいとマイナス） 主婦・主婦（マイナス） 年収（低い層でマイナス） 学歴（高校、短大・高専でマイナス） 習い事（生活文化等、学習塾・そろばん等でプラス） 文化施設（存在しない場合マイナス）	都市規模（大きいとプラス） 年収（～200 万でのみマイナス） 学歴（高校でマイナス）
間接鑑賞	年収（1000 万円以下の多くの層でマイナス） 学歴（高校、短大・高専でマイナス） 習い事（生活文化等、学習塾・そろばん等、スポーツ等でそれぞれプラス） 文化施設（存在しない場合マイナス）	都市規模（大きいとプラス） 年収（1000 万円以下の多くの層でプラス） 学歴（大学院でプラス）

表 2.5.5 を用いて分析結果を再度概観すると、既存研究等で重要な要因とされていた「所得」や「学歴」,「習い事の経験の有無」,「文化施設へのアクセス」などはほぼすべて「参加/非参加」の意思決定に対して有意な影響を持っており,「参加頻度」に対してほぼ一貫して有意な影響を持っている要因は「都市サイズ」しか確認することが出来なかった。これはすなわち、これまでの研究で明らかにされていた文化的活動に関する重要な要因は、消費者を文化的活動への「参加者」へと導く効果はあるが、その活動頻度を高める効果は無いことを意味する。我々が文化振興政策を考える場合、文化芸術活動への新たな「参加者」を増加させるような政策はとることができたとしても、その頻度を高めるような政策については、どのような要因がこれを促進させる効果をもつのかについては現在のところ不明瞭であることが今回の分析より明らかになったと言えるだろう。

文化庁・名城大学 (2023)では分析結果を「文化芸術に触れることのできる機会・環境を整えることが文化振興政策において非常に重要な意味を持つ」と総括したが、今回の分析では、過剰に含まれるゼロの値を説明するモデルを使用したことで、「文化芸術に触れること

のできる機会・環境を整えること」のような、文化芸術活動の促進に重要と思われる要因が「参加者」を増やすものか、それとも参加者たちの「参加頻度」を増やすものか、という新たな論点を導入することに成功した。この論点は、文化振興政策を考える上で、例えばこれまで文化芸術にあまり興味関心を抱いてこなかった消費者に新たに文化芸術に触れてもらうことを目標とするのか、それともすでに文化芸術を鑑賞している消費者の頻度を高めることを目標とするのかによって、取るべき効率的な施策が異なる可能性を示しており、他にも効率的な文化振興政策を考える上で重要な視座を提供するものとなるだろう。

ただし、今回のデータはコロナ禍という特殊な状況で収集されたものであり、今回の結果を一般化することが可能かどうかについては慎重に検証し、かつ令和5年度調査以降に対しても同様な分析を継続することで確認していく必要がある。また、分析結果より、消費者の時間的制約が、特に参加者の「参加頻度」の決定に対して重要な役割を果たしている可能性が示されている。よって今後の調査項目に可処分時間、もしくはこれに類する質問項目を追加し、消費者の時間制約が文化的活動の参加に与える影響を検証することが喫緊の課題としてあげられるだろう。

参考文献

Ateca-Amestoy, V. (2008), "Determining Heterogeneous Behavior for Theater Attendance," *Journal of Cultural Economics*, 32(2), 127-151.

Borowiecki, K. J. and J. Prieto-Rodriguez (2015), "Video Games Playing: A Substitute for Cultural Consumptions?" *Journal of Cultural Economics*, 39(3), 239-258.

文化庁・名城大学 (2023)『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

Courty, P and F. Zhang (2018), "Cultural Participation in Major Chinese Cities," *Journal of Cultural Economics*, 42(4), 543-592.

Fernandez-Blanco, V., L. Orea and J. Prieto-Rodriguez (2009), "Analyzing Consumers Heterogeneity and Self-reported Tastes: An Approach Consistent with the Consumer's Decision Making Process," *Journal of Economic Psychology*, 30(4), 622-633.

Harris, M. N. and X. Zhao (2007), "A Zero-inflated Ordered Probit Model, with an Application to Modelling Tobacco Consumption," *Journal of Econometrics*, 141(2), 1073-

1099.

Katsuura, M. (2008), “Examining Arts Participation in Japan Using the Survey on Time Use and Leisure Activities,” *Asia Pacific Journal of Arts and Cultural Management*, 5(1), 343-361.

Muñiz, C, Rodríguez, P. and M. J. Suárez (2017), “Participation in Cultural Activities: Specification Issues,” *Journal of Cultural Economics*, 41(1), 71-93.

仲村敏隆 (2017)「コーホートからみたゲームの行動者率を規定する要因の分析」『文化経済学』第 14 巻第 2 号, 33-45 ページ。

Seaman, B. A. (2006), “Empirical Studies of Demand for the Performing Arts,” in Ginsburgh, V. and D. Throsby (eds.), *Handbook of the Economics of Art and Culture*, 1, North Holland, 415–472.

新谷正彦・勝浦正樹 (2016)「社会生活基本調査による文化需要のコーホート分析」『文化経済学』第 13 巻第 1 号, 12-24 ページ。

Suarez-Fernandez, S., J. Prieto-Rodriguez and M. J. Perez-Villadoniga (2020), “The Changing Role of Education as We Move from Popular to Highbrow Culture,” *Journal of Cultural Economics*, 44(2), 189–212.

UNESCO Institute for Statistics (2012), *Measuring Cultural Participation*, UNESCO-UIS.
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000219213.locale=en>

2.6 新型コロナウイルス感染拡大の文化的活動への参加に対する影響①

日本では2020年1月に初めてのコロナ感染者が確認された。令和元年度版調査は、2020年1月末に調査され2019年の行動を尋ねているため、まだコロナ前の意識・行動を表していると考えられる¹。

その後感染者が増加し、「第1波」「第2波」が生じた後、2020年4月から5月にかけて1回目の緊急事態宣言が発出された。その後も感染の波は繰り返し、「第3波」(2020年12月～2021年2月頃)、2021年には「第4波」(3月～4月頃)、「第5波」(7月～9月頃)、2022年には「第6波」(1月～3月頃)、「第7波」(7月～9月頃)、「第8波」(11月～2023年1月頃)が生じた。この間、4度の緊急事態宣言、さらにはまん延防止等重点措置が発出されたことにより、私たちの行動の自由度は大きく妨げられた。

一方で、2021年春頃から開始されたワクチン接種の効果が夏以降に現れ始め²、徐々にウィズ・コロナの可能性の兆しが見え始めた。さまざまな対策の結果もあり、2023年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類相当へと引き下げられた。最近では旅行者も増え、歓楽街や観光地も賑わいを取り戻すなど、私たちの暮らしはコロナ前に戻りつつあるように思われる。

以上のようなコロナ禍の動きを踏まえ、「文化に関する世論調査」の、コロナ以前の状態を示す令和元年度調査、コロナ禍中の2020年の行動を尋ねた令和2年度調査、コロナとの共存が見え始めた2021年についての令和3年度調査、そして長引くコロナ禍の中で徐々に行動の自由度が上がっていった2022年の行動を反映した令和4年度調査の4つの結果を比較して、コロナ禍の中で日本人が文化芸術に対しどのように活動したか、コロナ禍以前の動きに戻ることができたかを、本節は鑑賞率や行動率の推移の観点から時系列的に、次節では寄与度や寄与率を用いて、属性ごとにコロナ禍がどのように影響したかを検討していくことにする。

2.6.1 直接鑑賞への影響

初めに、直接鑑賞の状況(鑑賞率)がコロナ禍によりどのように影響を受けたか、その影響から脱した(つつある)かを見ていく。

¹ 2019年の意識や行動を示す令和元年度版報告書の数値が、その前年度までと大きく異ならなかったことも確認される。

² ワクチン接種の開始は他国に比べ遅れたものの、その後の接種拡大は速く、8月23日には国民の4割が2回目の接種を完了した。その結果、夏以降、感染者に占める高齢者の比率が低下し、感染者数の拡大は引き続き見られたものの、重症化率は少しずつ下がる傾向が見え始めた。

表 2.6.1³および図 2.6.1 に、2019 年から 2022 年の直接鑑賞の状況（鑑賞率）の結果をまとめた。大きな動きとしては、「鑑賞したものはない」の比率がコロナ禍を機に大きく上昇し（2019 年：29.8%が 2020 年：55.2%）、その後改善の方向は見られるものの、2022 年にも 47.8%と高止まりしていることがわかる。

この動きと反対に、各ジャンルの直接鑑賞率は全ての項目について 2020 年に大きく下がり、ほとんどの項目で 2020 年あるいは 2021 年の水準は 2019 年の半分以下であった。

2022 年にはすべての項目でそれなりに大きな上昇が見られたものの、いずれの項目も 2019 年の水準と比べるとまだ完全に回復したとは言い難い。回復が大きいものに「アニメーション映画」（2022 年は 2019 年の鑑賞率の 94%）などが挙げられるが、多くの項目は 6-7 割程度までしか回復しておらず、「地域の伝統的な芸能や祭り」や「演芸」、「ストリースダンスなど」の回復は 50%強、「花展や茶会など」では 44%にしか過ぎない。なお、鑑賞した項目の順位に大きな違いは見られなかった。

文化に関する世論調査ではこの背景を探るため、「鑑賞したものはない」と回答した人にその理由を尋ねている。コロナ前の 2019 年は「関心がないから」が 34.7%と高く、「近所で公演や展覧会などが行われていない」が 16.3%、「入場料・交通費など費用がかかり過ぎる」が 15.2%と続いていた。一方、2020 年の鑑賞しなかった理由の 1 位は「新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから」が 56.8%であり、他を寄せ付けなかった。他の項目の回答率はほぼ順位は同じで、軒並み低まった⁴。

2021 年になってもコロナ禍の影響をあげる人は 37.6%と下落はしたものの高く、2022 年になっても 29.0%とまだ 3 割近い人がコロナにより外出を控えていると回答を行っている。コロナ以降の 3 年間で「関心がない」を含めほとんどの項目の回答率や順位は変わっていないが、唯一「特にない・分からない」の回答がコロナ前より高くなっており、2021 年には 28.2%に上昇、2022 年には 30.6%と鑑賞しなかった理由の 1 位となっている。コロナ禍の影響からの回復もさることながら、今後いつその直接鑑賞率上昇のためには、この漠然とした理由の内容の解明が課題となっていくと思われる。

³ 本節の図表において、項目名は調査票の選択肢を簡略化し、2022 年の鑑賞・行動率の高い順に並べている。

⁴ 「関心はない」や「特にない・分からない」の比率も大きく下がった。前者は 34.7%が 23.2%に、後者は 21.0%が 8.9%に減じた。

表 2.6.1 文化芸術の直接鑑賞状況（2019 年から 2022 年の鑑賞率比較）

（単位：％）	2019年	2020年	2021年	2022年
鑑賞したものはない	29.8	55.2	60.3	47.8
映画（アニメーション映画を除く）	36.2	20.9	17.6	26.2
美術	23.6	11.4	10.9	18.4
歴史的な建物や遺跡	26.6	13.8	11.6	17.9
アニメーション映画	13.9	11.2	9.6	13.1
歴史系・民俗系の博物館、資料館など	16.5	7.7	6.6	12.6
ポップス、ロック、歌謡曲、演歌など	18.5	5.7	8.9	12.3
オーケストラ、オペラ、吹奏楽など	13.4	4.6	6.1	10.2
ミュージカル	7.9	3.0	2.7	5.4
食文化の展示、イベント	—	2.1	2.1	4.3
地域の伝統的な芸能や祭り	8.0	2.0	2.1	4.2
現代美術	—	—	2.2	4.1
演芸	6.0	2.4	2.3	3.1
伝統芸能	4.7	1.6	2.0	2.9
現代演劇、児童演劇、人形劇	4.7	2.1	1.9	2.8
花展、盆栽展、茶会など	6.4	2.0	2.0	2.8
バレエ、コンテンポラリーダンスなど	2.2	0.9	1.0	1.8
ストリートダンスなど	2.8	1.2	1.3	1.6
日本舞踊	1.0	0.6	0.6	1.0

注）「食文化の展示、イベント」は 2020 年から、「現代美術」は 2021 年から新設

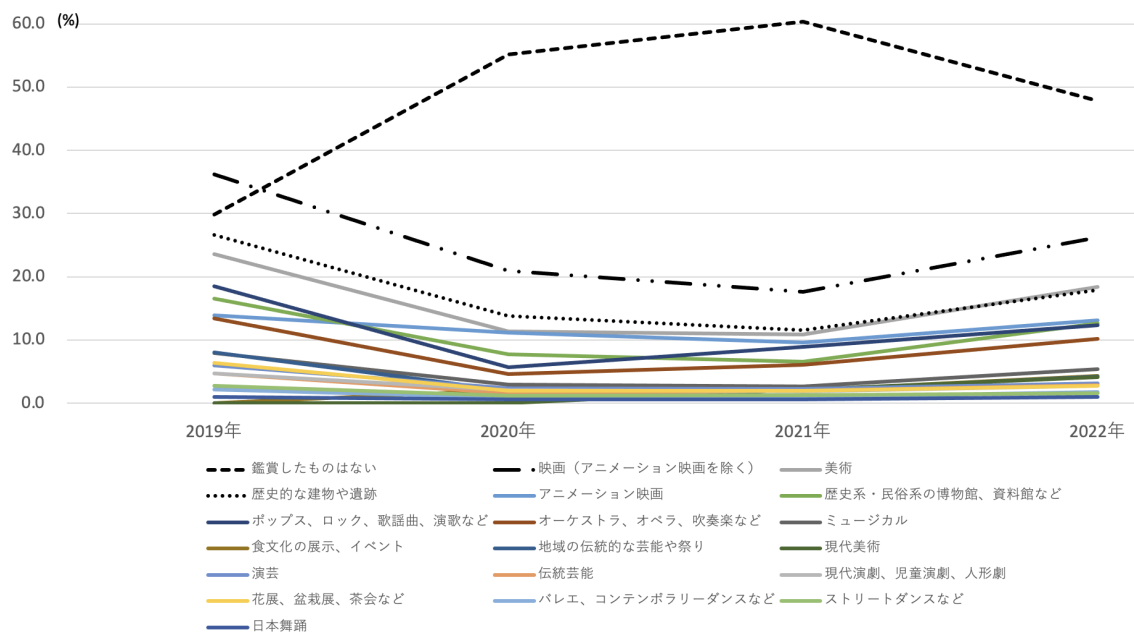


図 2.6.1 文化芸術の直接鑑賞状況（2019 年から 2022 年の鑑賞率比較）

注）「食文化の展示、イベント」は 2020 年から、「現代美術」は 2021 年から新設

2.6.2 間接鑑賞への影響

続いて間接鑑賞の状況を見ていく（表 2.6.2, 図 2.6.2）。間接鑑賞に関する設問はコロナ禍以前は行われていなかったため、2019 年の数値はなく、コロナ前の状態と比較することはできない。

表 2.6.2 文化芸術の間接鑑賞状況（2020 年から 2022 年の鑑賞率比較）

（単位：％）	2020年	2021年	2022年
鑑賞したものはない	22.2	36.7	26.7
映画（アニメーション映画を除く）	49.0	38.8	46.8
ポップス、ロック、歌謡曲、演歌など	42.1	33.4	41.2
アニメーション映画	26.5	22.4	26.7
オーケストラ、オペラ、吹奏楽など	17.2	14.9	17.3
歴史的な建物や遺跡	15.2	15.2	15.4
美術	12.3	11.1	13.8
演芸	13.5	12.0	12.4
歴史系・民俗系の博物館、資料館など	6.9	6.2	8.2
ミュージカル	5.7	4.0	5.5
地域の伝統的な芸能や祭り	3.2	3.8	4.8
ストリートダンスなど	3.1	2.9	4.4
伝統芸能	3.7	4.1	4.2
食文化の展示、イベント	3.1	2.2	3.6
バレエ、コンテンポラリーダンスなど	2.8	2.2	3.1
現代美術	—	2.1	2.6
現代演劇、児童演劇、人形劇	3.1	1.7	2.6
花展、盆栽展、茶会など	1.2	1.2	1.7
日本舞踊	0.7	0.7	1.0

注）「現代美術」は 2021 年から新設

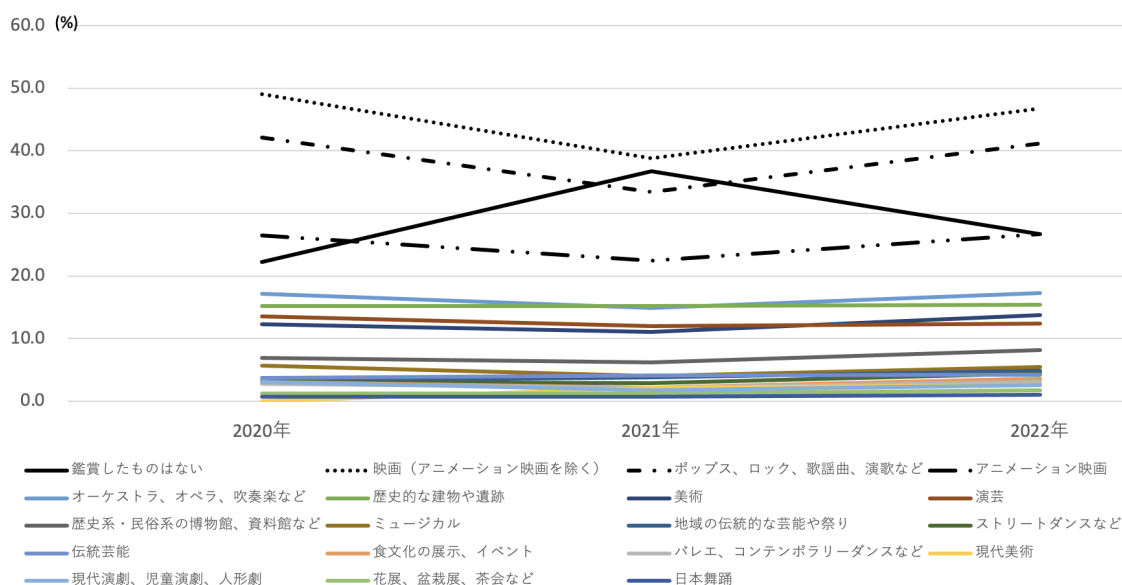


図 2.6.2 文化芸術の間接鑑賞状況（2020 年から 2022 年の鑑賞率比較）

注）「現代美術」は 2021 年から新設

コロナ禍以降の3年間の間接鑑賞率を比較してみると、ほとんどの間接鑑賞率が2020年と比べて2021年では下落しており、その結果「(間接)鑑賞したものはない」が2020年の22.2%から2021年は36.7%と15%ポイント近く増えている。ただ、2022年の間接鑑賞率は多くの項目で2020年水準を回復しており、上回っている項目もいくつか見られた。2022年における間接鑑賞を行わなかったとの回答は26.7%と、2021年に比べ10%ポイント下落している。

「文化に関する世論調査」で間接鑑賞が調査対象となったのはまだ3年間であるため、動きの背景を正確に捉えることはまだ難しいが、今後いっそうオンライン鑑賞等が活発化する可能性は高く、今後とも間接鑑賞率について詳細に検討していくことが望まれる。

2.6.3 有料配信鑑賞への影響

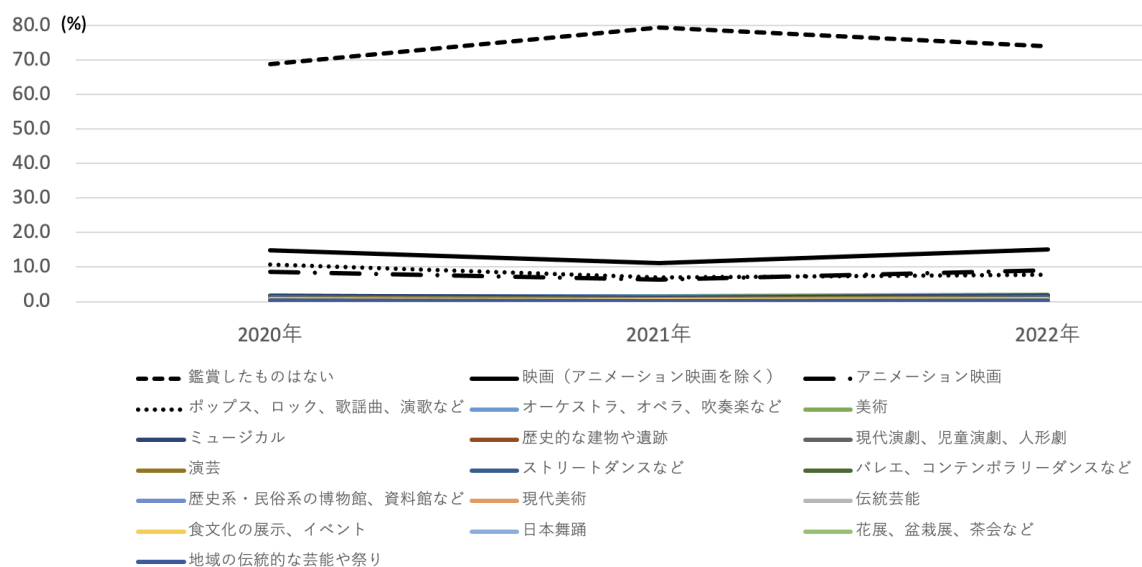
有料配信鑑賞率も、2020年の行動を聞く令和2年度調査から設問が開始された。表2.6.3や図2.6.3.1、図2.6.3.2⁵より、有料配信鑑賞率も間接鑑賞と同様の動きを見せており、2021年は多くの鑑賞項目で2020年の比率を下回ったが、2022年は少数の項目を除いて2020年水準を若干上回る鑑賞率となっている。

表 2.6.3 文化芸術の有料配信鑑賞状況（2020年から2022年の鑑賞率比較）

(単位：%)	2020年	2021年	2022年
鑑賞したものはない	68.8	79.5	74.0
映画（アニメーション映画を除く）	14.9	11.1	15.2
アニメーション映画	8.7	6.3	9.0
ポップス、ロック、歌謡曲、演歌など	10.8	6.9	7.7
オーケストラ、オペラ、吹奏楽など	1.6	1.6	2.0
美術	1.1	1.4	1.9
ミュージカル	1.7	1.1	1.8
歴史的な建物や遺跡	0.8	0.8	1.2
現代演劇、児童演劇、人形劇	1.1	0.6	1.1
演芸	1.1	0.8	1.1
ストリートダンスなど	0.9	0.4	1.0
バレエ、コンテンポラリーダンスなど	0.7	0.3	0.8
歴史系・民俗系の博物館、資料館など	0.6	0.5	0.8
現代美術	—	0.5	0.7
伝統芸能	0.7	0.4	0.7
食文化の展示、イベント	0.5	0.3	0.6
日本舞踊	0.4	0.1	0.4
花展、盆栽展、茶会など	0.3	0.2	0.3
地域の伝統的な芸能や祭り	0.4	0.2	0.3

注)「現代美術」は2021年から新設

⁵ 図2.6.3-1は「鑑賞したものはない」を含む全ての鑑賞項目を対象に、図2.6.3-2は鑑賞率が5%を切る「オーケストラ、オペラ、吹奏楽など」以下の項目を対象にグラフを描いている。



注)「現代美術」は2021年から新設

図 2.6.3-1 文化芸術の有料配信鑑賞状況 (2020 年から 2022 年の鑑賞率比較)

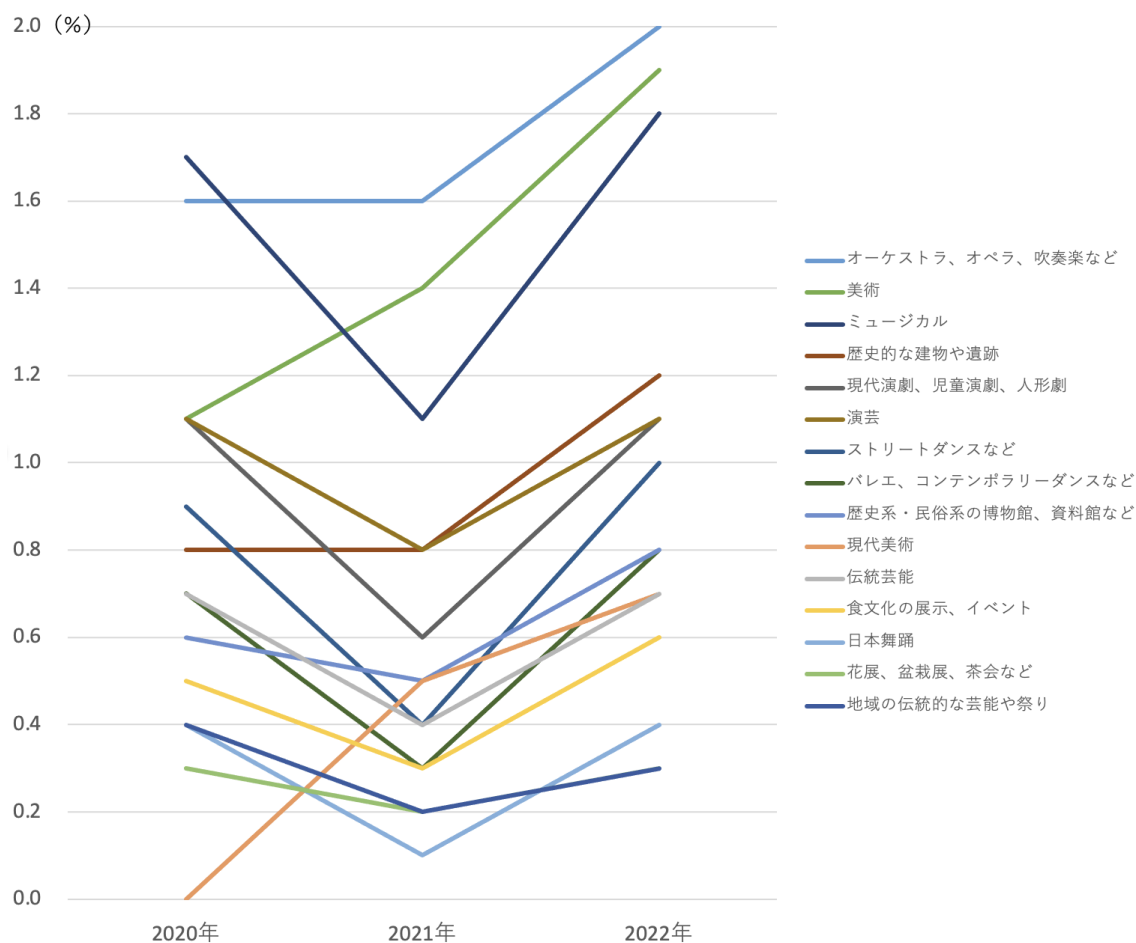


図 2.6.3-2 文化芸術の有料配信鑑賞状況 (2020 年から 2022 年の鑑賞率比較)

ただ、全般に鑑賞率は低く、10%を超えていたのは2020年の「ポップス、ロック、歌謡曲、演歌など」と、3年間を通じて最も鑑賞率の高かった「映画（アニメーション映画を除く）」のみであった（2020年：14.9%、2021年：11.1%、2022年：15.2%）。そのため、「（有料配信）鑑賞したものはない」の比率は期間を通じて高く、2020年に68.8%、2021年には79.5%に達し、2022年にも74.0%と高止まりが見られた。

2.6.4 実践・支援への影響

最後に、創作や出演、習い事、祭りや体験活動への参加といった実践・支援の行動率について見てみる。表2.6.4や図2.6.4-1、図2.6.4-2⁶に動きを示す。

文化芸術の実践・支援に関わる行動率は以前より全般に低かったが、コロナ禍により大きな下落が見られる。その結果、「特にしていない」の率は2019年72.3%、2020年81.6%、そしてコロナ禍が落ち着きを見せ始めたにも関わらず、2021年には90.0%とさらに上昇し、文化芸術の実践・支援を行った人は10%しかいない状況となっていた。2022年には87.0%とわずかな下落は見られたものの、まだまだ活発に実践・支援がなされているとは言い難く、コロナ以前の水準からも大きな乖離がある状況である。

表 2.6.4 文化芸術の実践・支援状況（2019年から2022年の行動率比較）

（単位：％）	2019年	2020年	2021年	2022年
特にしていない	72.3	81.6	90.0	87.0
地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	5.7	2.0	1.0	3.1
音楽、ダンス、美術などの習い事	4.2	2.9	1.9	2.6
文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの創作	5.2	3.8	2.4	2.3
音楽の演奏、演劇や舞踏への出演など	4.7	3.4	2.1	2.3
茶道、花道、書道などの習い事	3.0	2.9	1.1	2.3
漫画などの映像作品、ゲームなどの創作	2.3	2.7	2.1	1.6
子供の文化芸術体験のための支援活動	2.2	1.9	0.7	1.3
高齢者などの文化芸術鑑賞・体験のための支援	1.5	1.3	0.8	1.3
伝統的な食文化のための支援	1.7	1.8	0.7	1.1
美術館博物館での支援活動	1.4	1.1	0.5	1.0
劇場・ホールなどでの支援活動	1.3	0.8	0.5	0.8
音楽祭・映画祭などでの支援活動	1.0	1.0	0.7	0.8
歴史的建造物・遺跡保存のための支援	1.5	1.1	0.5	0.5

⁶ 図2.6.4-1は「特にしていない」を含む全ての体験・実践項目を対象に、図2.6.4-2は「特にしていない」を除く体験・実践項目を対象にグラフを描いている。

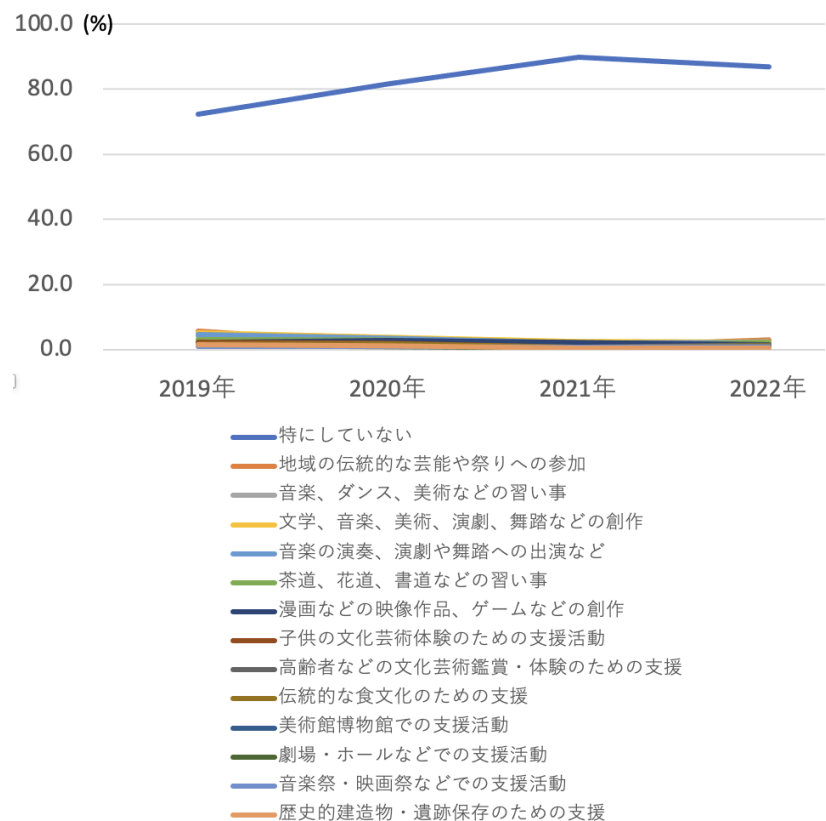


図 2.6.4-1 文化芸術の実践・支援状況（2019 年から 2022 年の行動率比較）

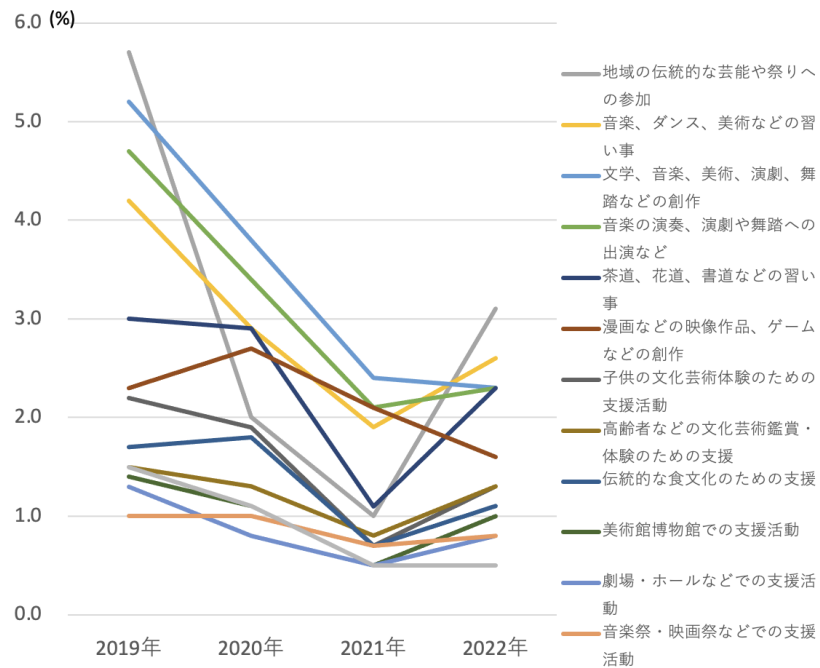


図 2.6.4-2 文化芸術の実践・支援状況（2019 年から 2022 年の行動率比較）

以上、ここ数年における直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援の動きを、コロナ前の2019年あるいはコロナ禍が始まった2020年と比較しながら検討した。

2019年と比較して2020年に鑑賞率が下がったのは外出全般が難しい時期があったことからやむを得ないところである。その後2021年の鑑賞・行動率は2020年と比較しても高くないか、かえって低くなる傾向が多く項目で見られたが、2022年に入り鑑賞・行動が活発になる傾向が全ての鑑賞・行動率に現れている。ただ、コロナ以前の水準に戻れた項目はごく少数で、多くの鑑賞・行動はまだ回復途上にある状況である。

コロナ禍自体は徐々に落ち着き、行動が制約された度合いは徐々に緩まってきている。今後もゆっくりと回復傾向が見られると予想はされる一方、長引くコロナ対応による心理的なダメージ、さらには生活様式が変わったことによる自由時間の減少や経済活動が損なわれたことによる収入の減少といった要因がどの程度文化・芸術の鑑賞や実践・支援行動に影響するか、今後詳細に検討していく必要があるであろう。

参考文献

文化庁 (2022) 「数字で見る文化芸術活動 わたしたちの直接鑑賞行動とコロナ禍の影響— コロナの影響により文化芸術鑑賞が大幅減少 —」『ぶんかる News』 No.008。

https://www.bunka.go.jp/prmagazine/rensai/news/news_008.html

文化庁・名城大学 (2023) 『令和4年度 文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

2.7 新型コロナウイルス感染拡大の文化的活動への参加に対する影響 ②

前節では、文化庁「文化に関する世論調査」を用いて、新型コロナウイルス感染拡大（以下、コロナ禍とも呼ぶ）の文化的活動への影響を、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援などに分けて、主に時系列的な変化をみることによって検証した。本節では、コロナ禍がどのような属性の人々の行動に強く影響を与えたか（あるいは与えなかったか）について、いくつかの活動を取り上げながら、性別、年齢、居住地といった属性を取り上げて考察する。コロナ禍の文化的活動への影響については、文化庁（2022a, b）で2019年と2020年のデータを用いた分析がなされており、女性の行動への影響が大きかったこと、年齢に関しては、男性では高齢者に対する影響が若年層に比べて大きかったが、女性は年齢による影響の差はあまりみられなかったことなどが明らかにされている。本節では、2019年から2022年のデータを用いて、寄与度（ならびに寄与率）によって、属性ごとにコロナ禍の影響を分析する。なお、文化に関する世論調査では、過去1年間における文化的活動への参加等が調査されているので、令和元年度調査がほぼ2019年の活動に対応し、以下、令和2年度調査が2020年、令和3年度調査が2021年、令和4年度調査が2022年にそれぞれ対応していることに注意されたい。

2.7.1 鑑賞率の差に関する寄与度

表 2.7.1a は、2019 年から 2022 年までの様々なジャンルの直接鑑賞に関する質問で、「鑑賞したものはなし」と回答した者の割合（非鑑賞率）である¹。

男女計でみると、2019 年から 2020 年にかけては、「鑑賞したものはなし」と回答した者は、コロナ禍の影響があつて、 $55.2-29.8=25.4\%$ ポイントも上昇していることがわかる（表 2.7.1b）。男女別でみると、男性は $53.4-33.4=20.0\%$ ポイント、女は $57.0-26.5=30.5\%$ ポイント上昇しており、女性の方がコロナ禍の影響をより受けているように見える。それをより明確にする指標が寄与度であり、男女計の変化 $+25.4\%$ ポイントを、男性と女性でそれぞれ何%ポイントずつ上昇しているのかを振り分けてみるのが寄与度である。計算方法は後述するが、表 2.7.1c に示されているように、男性が寄与度が 9.6% ポイント、女性が 15.8% ポイントであり（ $9.6+15.8=25.4$ ）、女性の方が、より大きく全体の「鑑賞したものはなし」の変化率を押し上げていることがわかる。さらに、寄与度をより比較しやすくした指標が寄与率（増加寄与率）であり、全体の変化率に対する男・女の寄与度の構成比である。すなわち、男性の寄与率 $=9.6/25.4=0.379$ 、女性の寄与率 $=15.8/25.4=0.622$ と、非鑑賞率の上昇は 60%以上が女性によるものであることがわかる（表 2.7.1d）。なお、表 2.7.1 の寄与度と寄与率の表

¹ たとえば、令和3年度調査では、Q6「あなたは、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか」において、選択肢 20「鑑賞したものはなし」を回答した者の割合を指す。その他の年の調査でも同様である。

には、2019年から2021年にかけての値も示されており、2年にわたるコロナ禍の影響をみることができる。また、2022年の値からはコロナ禍からの回復状況をみることが可能であるし、2019年と2022年の割合を直接比較すれば、たとえば、男女計の非鑑賞率は29.8%から47.8%と、2022年ではコロナ前の水準には回復していないことがなどもわかる。

なお、寄与度等の算出には、後述するように属性別の参加率の他に人口の構成比が必要になるが、その値は表2.7.13で与えられている。

表2.7.1 男女別直接鑑賞で「鑑賞したものはない」の回答率、寄与度、寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
男	33.4	53.4	60.7	48.7	男	20.0	7.3	-12.0
女	26.5	57.0	59.9	46.9	女	30.5	2.9	-13.0
男女計	29.8	55.2	60.3	47.8	男女計	25.4	5.1	-12.5

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
男	9.6	3.6	-5.8	13.2	男	37.9	72.0	-46.3	43.5
女	15.8	1.4	-6.7	17.2	女	62.1	28.0	-53.7	56.5
男女計	25.4	5.1	-12.5	30.5	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：文化庁「文化に関する世論調査」（以下、同様）

以下で、文化的活動の参加率（鑑賞率）に関する属性別の寄与度を一般的に定式化しておこう。ただし、属性は m 個に分類されているものとする（性別であれば $m=2$ 、都道府県別であれば $m=47$ など）。

t 年における第 i 属性 ($i=1,2,\dots,m$) の人口を n_{it} 、文化的活動への参加者数を x_{it} とすると、その文化的活動への第 i 属性の参加率（鑑賞率） r_{it} は

$$r_{it} = \frac{x_{it}}{n_{it}}$$

と表すことができる（表2.7.1aの数値に対応）。ここで、全人口（表2.7.1の例では男女計の人口）を n_t とすれば、 $n_t = \sum_{i=1}^m n_{it}$ である。したがって全人口の参加率 R_t は、

$$R_t = \frac{\sum_{i=1}^m x_{it}}{\sum_{i=1}^m n_{it}} = \sum_{i=1}^m \frac{x_{it}}{n_t} = \sum_{i=1}^m \frac{x_{it}}{n_{it}} \cdot \frac{n_{it}}{n_t} = \sum_{i=1}^m \frac{n_{it}}{n_t} r_{it}$$

と表せる。当然ではあるが、全人口の参加率 R_t は、属性ごとの参加率 r_{it} についてその属性の構成比 $\frac{n_{it}}{n_t}$ をウェイトにした加重平均で求められる。したがって、

$$R_t = \sum_{i=1}^m \frac{n_{it}}{n_t} r_{it}, R_{t-1} = \sum_{i=1}^m \frac{n_{i,t-1}}{n_{t-1}} r_{i,t-1}$$

より、全体の参加率の $t-1$ 年から t 年にかけての差は、

$$R_t - R_{t-1} = \sum_{i=1}^m \left(\frac{n_{it}}{n_t} r_{it} - \frac{n_{i,t-1}}{n_{t-1}} r_{i,t-1} \right) = \sum_{i=1}^m \left(\frac{x_{it}}{n_t} - \frac{x_{i,t-1}}{n_{t-1}} \right)$$

と表すことができる。

したがって、全体の変化率の差に対する第 i 属性の寄与度 c_{it} は、

$$c_{it} = \frac{n_{it}}{n_t} r_{it} - \frac{n_{i,t-1}}{n_{t-1}} r_{i,t-1} \quad , \quad \text{または} \quad c_{it} = \frac{x_{it}}{n_t} - \frac{x_{i,t-1}}{n_{t-1}}$$

と定義できる（表 2.7.1c の数値に対応）。もちろん、100 倍すれば % ポイント 表示になる。

なお、この寄与度の定義は、（参加）率の差に対する寄与度であり、たとえば需要項目別 GDP の寄与度など、通常用いられるレベル変数に対するものとは異なっている。たとえば、レベル変数である参加者数 $X_t = \sum_{i=1}^m x_{it}$ に関する合計の参加者数の寄与度であれば、合計の変化率が、

$$\frac{X_t - X_{t-1}}{X_{t-1}} = \sum_{i=1}^m \frac{x_{it} - x_{i,t-1}}{X_{i,t-1}}$$

と表されるので、属性ごとの寄与度は、 $\frac{x_{it} - x_{i,t-1}}{X_{i,t-1}}$ となる。このように、以下で用いる率の

変化に対する寄与度は、通常の寄与度とは算出方法が異なることに注意されたい。

また、ここでの寄与度の合計は、合計の変化率の差に等しいので、寄与度を合計の変化率の差で除した指標（寄与度の構成比）が、（増加）寄与率である。このようにすれば、寄与率の合計は 100 になるので、各属性の影響を各年で比較しやすくなる。ただし、表 2.7.1c の 2022 年のように合計の変化率の差がマイナスになる場合は、寄与率の符号等の解釈が困難になるため、本稿では、各寄与度を、寄与度の絶対値の合計で除すことによって寄与率を算出している。すなわち、

$$\frac{c_{it}}{\sum_{i=1}^m |c_{it}|}$$

で寄与率を定義するものとする。このように定義すれば、寄与率の絶対値の合計を 1（あるいは 100%）にすることができる²（表 2.7.1d の数値に対応）。

さらに、寄与度や寄与率については、図 2.7.1 のようなグラフを作成することによって可視化することができる。なお、図 2.7.1a の寄与度の棒の高さは、（寄与度の符号がすべて同じであれば）全体の変化率の差に一致し、図 2.7.1b の寄与率の棒の長さ（寄与率の絶対値）は、100 になっている。

² 渡辺・神田(2008)。

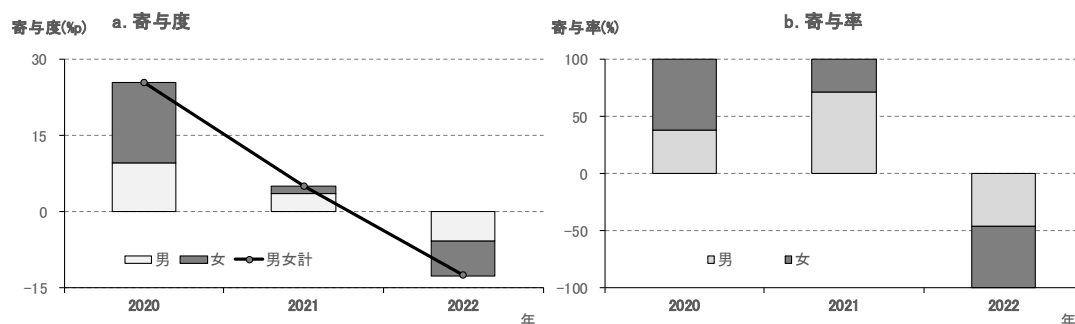


図2.7.1 男女別「鑑賞したものはない」の寄与度・寄与率

2.7.2 寄与度等の解釈

本項では、表 2.7.1 や図 2.7.1 から読み取れることについてまとめていこう。

まず、コロナ禍 1 年目の 2020 年に「鑑賞したものはない」と回答した割合を上昇させたのは女性の方が多く、女性の寄与率は 62.1%と男性の 37.9%よりも大きくなっている。そして、2021 年は男女計での上昇は 5.1%ポイントと鈍化したが、そのうち男性が 3.6%ポイント、女性が 1.4%ポイント（四捨五入の関係で合計は一致していない）と、男性の寄与が大きくなっている。

コロナ禍に入って、まず最初に女性の鑑賞活動が大きな影響を受けたが、2 年目にはかなり落ち着き（寄与度は 1.4%ポイント）、逆に男性は、2 年目は相対的に大きな影響を受けている。2019 年から 2021 年の 2 年間の寄与度でみれば、男性 13.2%ポイント、女性 17.2%ポイントと、女性の方が影響を受けていることは確かであるが、1 年目ほどの差はなくなっている。

また、2022 年で文化的活動の鑑賞が回復し、「鑑賞したものはない」の回答者の割合は、全体で前年と比べて 12.5%ポイント低下したが、男性と女性の寄与率はそれぞれ 46.3%、57.3%とその前の 2 年のような大きな差はない。

つまり、新型コロナウイルス感染拡大は、まず女性の鑑賞行動に大きな影響を与えたが、回復の状況は、男女でそれほど差はなくなっていることがわかる。こうした観察結果は、文化庁 (2022a,b) で得られた結果と同様である。

以上は、直接鑑賞に関する質問における選択肢で「鑑賞したものはない」と回答した割合（非鑑賞率）に関する分析であるが、同様の分析は他の選択肢についても、あるいは他の質問（間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援などに関する質問）における選択肢でも分析可能である³。また、表 2.7.1 では、「鑑賞したものはない」の割合を分析したが、直接鑑賞に関する質問におけるジャンル別の選択肢について、少なくとも 1 つのジャンルでも鑑賞した

³ 間接鑑賞や有料配信鑑賞は、2019 年～2022 年で共通の質問項目とはなっていない（2021 年と 2022 年のみの質問項目）ので、コロナ禍の影響を分析することはできず、本節では分析の対象とはしていない。

回答者の割合で分析した方が、解釈としてはわかりやすい。ただし、そのためには、各年について個票情報を利用した分析が必要となる。そこで、以下では、基本的に公表されたデータをもとに算出した寄与度等を用いて、コロナ禍の影響を属性別に検証することにしよう。

2.7.3 性別にみたコロナ禍の影響

表 2.7.1 や図 2.7.1 と同様の寄与度・寄与率について、以下では、いくつかの選択肢に絞って、その結果を考察することにしよう。表 2.7.2 は、直接鑑賞のうち参加率が最も高い「映画（アニメーション映画を除く）」鑑賞について、表 2.7.3 は、文化的活動の鑑賞を代表するものとして、「オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など」の鑑賞（以下、クラシック音楽鑑賞）について、表 2.7.4 は、実践・支援活動の「特にしていない」という選択肢の回答について、それぞれの参加率（回答率）や寄与度等の結果を示している⁴。

表2.7.2 男女別映画鑑賞の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
男	35.0	21.7	17.8	26.1	男	-13.3	-3.9	8.3
女	37.3	20.1	17.4	26.3	女	-17.2	-2.7	8.9
男女計	36.2	20.9	17.6	26.2	男女計	-15.3	-3.3	8.6

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
男	-6.4	-1.8	4.0	-8.2	男	-41.8	-55.8	46.4	-44.3
女	-8.9	-1.5	4.6	-10.4	女	-58.2	-44.2	53.6	-55.7
男女計	-15.3	-3.3	8.6	-18.6	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.3 男女別オーケストラ等の音楽鑑賞等の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
男	11.0	4.7	5.7	9.0	男	-6.3	1.0	3.3
女	15.7	4.5	6.4	11.4	女	-11.2	1.9	5.0
男女計	13.4	4.6	6.1	10.2	男女計	-8.8	1.5	4.1

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
男	-3.0	0.5	1.6	-2.5	男	-34.3	33.8	38.1	-34.4
女	-5.8	1.0	2.6	-4.8	女	-65.7	66.2	61.9	-65.6
男女計	-8.8	1.5	4.1	-7.3	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0

⁴ 表 2.7.1 と表 2.7.4 は文化的活動を「していない」と回答した割合で、表 2.7.2 と表 2.7.3 は文化的活動に参加した割合である。したがって、前者では回答率の差がマイナスであれば、文化的活動により参加するようになったことを表し、後者では、参加率の差がマイナスであれば、文化的活動への参加が減ったことを表すので、結果の見方に注意が必要である。

表2.7.4 男女別実践・支援を「特にしていない」の回答率、寄与度、寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
男	72.0	80.6	89.9	87.4	男	8.6	9.3	-2.5
女	72.5	82.5	90.2	86.6	女	10.0	7.7	-3.6
男女計	72.3	81.6	90.0	87.0	男女計	9.3	8.4	-3.0

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
男	4.1	4.6	-1.2	8.8	男	44.4	54.7	-39.5	49.3
女	5.2	3.8	-1.8	9.0	女	55.6	45.3	-60.5	50.7
男女計	9.3	8.4	-3.0	17.7	男女計	100.0	100.0	100.0	100.0

まず表 2.7.2 の映画鑑賞の参加率についてみると、表 2.7.1 と同様に、2020 年に大幅に低下し、2021 年は微減、2022 年には回復（男女計の参加率で 26.2%）しているが、2019 年の参加率（36.2%）の水準までには戻っていないことがわかる。2020 年の寄与度や寄与率をみると、女性の低下の影響が大きく、全体の低下の 3 分の 2 程度（-58.2%）を占めており、2021 年では、男性の落ち込みの方がやや大きくなっている（寄与率で-55.8%）。2022 年における回復は、それ以前の落ち込みが大きい分、女性の方が大きく回復しており、全体の半分以上（53.6%）となっている。この結果は、表 2.7.1 でみた非鑑賞率の全体の動きとほぼ同様である。

表 2.7.2 でクラシック音楽鑑賞についてみると、2020 年で大きく落ち込んでおり、やはり女性の影響が大きいことがわかる（寄与率では 65.7%）。しかし、上の結果と異なっているのは、2021 年の段階で参加率はすでに上昇に転じており、2022 年も同様に上昇している。男女別に回復の状況をみると、女性の影響が大きく、大きく落ち込んだ分、回復にも寄与していることがわかる。低下・上昇のいずれも、女性の寄与は 6 割以上になっており、鑑賞率の水準が男性に比べて高いことも影響している。しかし、2022 年の参加率（10.2%）においても、コロナ前の 2019 年の水準（13.4%）には戻っていないことは、上の結果と同様である。

表 2.7.4 は、実践・支援活動への参加に関する質問に対して、「特にしていない」と回答した割合について、寄与度等を算出した結果である⁵。数字の見方は表 2.7.1 と同様であるが（回答率が上がれば、文化的活動への支援・実践への参加が少なくなる）、数値の変化も同様の傾向にある。すなわち、2020 年と 2021 年での上昇後に、2022 年で減少し実践・支援へ

⁵ たとえば、令和 3 年度調査では Q9「あなたは、この 1 年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したことはありますか。」で、選択肢 15「特にしていない」を回答した者の割合を指す。その他の年の調査でも同様である。

の参加はやや回復するが、2019年の水準までは戻っていないこと、2020年では女性の寄与が大きく、2021年では男性の方が大きくなっていることなどである。ただし、2020年で非参加率が大きく上昇するのではなく、2020年と2021年でほぼ同じような値で上昇していることは、鑑賞行動とは異なっている。文化に関する実践活動では、グループで集まることが多く、2021年ではまだそれを避ける行動が続いたものと考えられ、鑑賞行動の方が感染のリスクが小さいと考えられていたからかもしれない。また、2019年から2021年まで2年間の寄与度や寄与率をみると、男女でほぼ同様の値を示している。これは、もともとの実践・支援への参加に関しては、鑑賞活動のように男女の違いが大きいからであろう。

2.7.4 年齢別にみたコロナ禍の影響

これまでは、性別（男女別）という属性によってコロナ禍の影響の違いをみてきたが、別の属性についても同様に検証することが可能であり、本項では、年齢に注目する。すなわち、表2.7.5～表2.7.8のように参加率とその差、寄与度、寄与率などをみることによって、どの年齢でコロナ禍の影響をより大きく受けたのかがわかるし、図2.7.2のようなグラフを作成することによって、年齢によるコロナ禍の影響の大きさの違いを可視化することができる。

表2.7.5で、2020年に大きく上昇した「鑑賞したものはない」と回答した年齢別の寄与度をみると、年齢が高くなるほど大きな寄与度・寄与率を示しており、コロナ禍初年度は、高齢者ほど鑑賞行動を避けたことがわかる。コロナ禍による鑑賞の低下が若干緩和された2021年でも、40歳代・50歳代は、他の年代に比べて低下は大きい。10歳代と60歳代は、逆方向に、すなわち、文化的活動の鑑賞を上昇させる方向に寄与していることがわかる（非鑑賞率の分析なので寄与度はマイナス）。また、2022年にはいずれの階級の寄与度も上昇しているが、特に大きいのは、40歳代・50歳代及び70歳以上の年齢階級であり、2021年に遅れてコロナ禍から回復しつつあることがわかる。大雑把に言えば、鑑賞行動全般でコロナ禍の影響を強く受けたのは、40歳代・50歳代と70歳以上であることがわかる。70歳以上は高齢者、40歳代・50歳代は子供とともに行動する世代であると推察することができるだろう。

表2.7.6の映画鑑賞について年齢別にみると、2020年の鑑賞率の低下において、10歳代はそれほど大きく低下しておらず⁶、40歳代以上で影響が大きいことがわかる（特に、40歳代と70歳以上）。2021年は全体として低下しているにもかかわらず、70歳以上では映画鑑賞の寄与度がプラスになっており、コロナ禍初年度には高齢者は大きな影響を受けたが、翌年にはプラスの寄与度と、回復が早かったことがわかる。2019～2021年でみても、10歳代の影響は相対的に低くなっている。

表2.7.7でクラシック音楽鑑賞の寄与度・寄与率についてみると、2020年の低下に大きく

⁶ 2020年はもちろんコロナ禍の影響を受けたが、歴代での興行収入が1位となった「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」が公開されたことも、年齢別に異なった影響を与えた可能性がある。

寄与したのは、50歳以上であることがわかる。逆に2021年・2022年での鑑賞率の回復に大きく寄与しているのは、70歳以上である。また、2022年には全体としての鑑賞率の回復に対して大きく寄与しているのは、70歳以上であることがわかる。高齢者は受けた影響も大きい、回復も大きくなっているという図式をみることができる。

表2.7.8で実践・支援に関する年齢の影響の違いをみると、70歳代は、2020年・2021年ともに相対的に大きな負の影響を与えただけでなく、全般的に回復した2022年でもむしろ低下する傾向にあることがわかる。逆に、10歳代、60歳代では、2021年には全体とは異なり、実践・支援をしない割合が低下している。2019年から2021年での変化をみても、マイナスの大きな影響を与えたのは、70歳代と50歳代になっており、文化的活動の実践・支援についてのコロナ禍の影響は、高齢者でより大きかったことを読み取ることができる。

表2.7.5 年齢階級別直接鑑賞で「鑑賞したものはない」の回答率、寄与度、寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
18～19歳	17.2	36.1	38.3	21.0	18～19歳	18.9	2.2	-17.3
20～29歳	19.2	39.1	50.5	36.3	20～29歳	19.9	11.4	-14.2
30～39歳	31.7	51.9	61.2	42.4	30～39歳	20.2	9.3	-18.8
40～49歳	30.8	52.4	63.7	46.6	40～49歳	21.6	11.3	-17.1
50～59歳	30.8	55.2	64.1	50.0	50～59歳	24.4	8.9	-14.1
60～69歳	31.7	62.0	61.5	49.2	60～69歳	30.3	-0.5	-12.3
70歳以上	33.5	66.5	60.9	55.9	70歳以上	33.0	-5.6	-4.9
合計	29.8	55.2	60.3	47.8	合計	25.4	5.1	-12.5

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
18～19歳	0.8	-0.6	-0.4	0.2	18～19歳	3.0	-6.8	-3.4	0.5
20～29歳	2.3	1.3	-1.7	3.6	20～29歳	8.9	14.6	-13.4	11.7
30～39歳	2.9	0.6	-2.6	3.5	30～39歳	11.4	6.2	-20.7	11.3
40～49歳	3.7	2.0	-3.2	5.7	40～49歳	14.5	22.2	-25.2	18.6
50～59歳	3.5	2.2	-2.0	5.7	50～59歳	13.6	25.0	-16.1	18.7
60～69歳	5.1	-1.4	-1.9	3.7	60～69歳	19.9	-15.1	-15.3	12.2
70歳以上	7.3	0.9	-0.7	8.2	70歳以上	28.6	10.1	-5.9	26.8
合計	25.4	5.1	-12.5	30.5	絶対値計	100.0	100.0	100.0	100.0

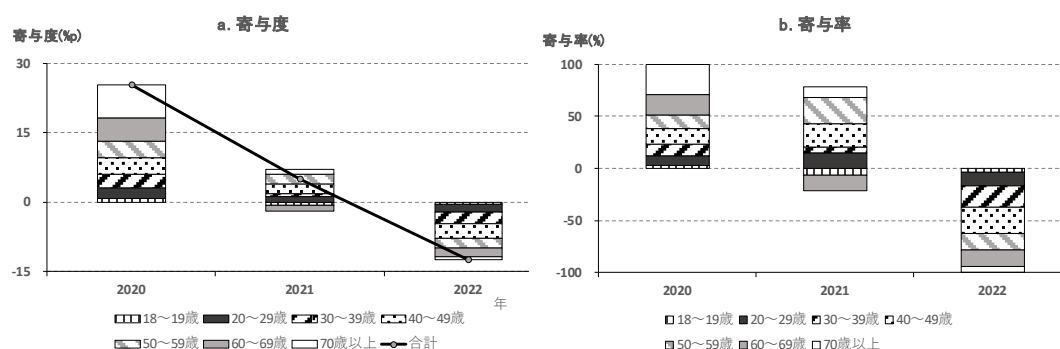


図2.7.2 年齢階級別「鑑賞したものはない」の寄与度・寄与率

表2.7.6 年齢階級別映画鑑賞の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
18～19歳	45.1	35.2	29.4	40.3	18～19歳	-9.9	-5.8	10.9
20～29歳	53.1	34.1	24.2	37.2	20～29歳	-19.0	-9.9	13.0
30～39歳	33.8	19.9	18.2	29.7	30～39歳	-13.9	-1.7	11.5
40～49歳	38.0	20.3	16.5	25.7	40～49歳	-17.7	-3.8	9.2
50～59歳	39.7	21.8	16.7	27.5	50～59歳	-17.9	-5.1	10.8
60～69歳	33.5	18.9	18.8	26.8	60～69歳	-14.6	-0.1	7.9
70歳以上	25.8	13.3	13.8	18.1	70歳以上	-12.5	0.5	4.3
合計	36.2	20.9	17.6	26.2	合計	-15.3	-3.3	8.6

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
18～19歳	-0.4	-0.8	0.2	-1.2	18～19歳	-2.6	-17.2	2.0	-6.3
20～29歳	-2.2	-1.1	1.4	-3.3	20～29歳	-14.2	-25.3	16.6	-17.7
30～39歳	-2.0	-0.5	1.4	-2.5	30～39歳	-13.0	-10.5	16.3	-13.3
40～49歳	-3.0	-0.6	1.5	-3.7	40～49歳	-19.7	-14.2	16.9	-19.7
50～59歳	-2.5	-0.5	1.8	-3.0	50～59歳	-16.6	-10.3	20.8	-16.1
60～69歳	-2.4	-0.4	1.1	-2.8	60～69歳	-15.9	-9.0	12.8	-15.3
70歳以上	-2.8	0.6	1.3	-2.2	70歳以上	-18.0	13.4	14.6	-11.6
合計	-15.3	-3.3	8.6	-18.6	絶対値計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.7 年齢階級別クラシック音楽鑑賞の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
18～19歳	13.9	8.2	11.8	21.0	18～19歳	-5.7	3.6	9.2
20～29歳	12.0	4.1	5.9	10.0	20～29歳	-7.9	1.8	4.1
30～39歳	12.0	3.7	4.6	7.0	30～39歳	-8.3	0.9	2.4
40～49歳	9.2	3.7	3.8	7.8	40～49歳	-5.5	0.1	4.0
50～59歳	13.4	4.2	4.2	7.2	50～59歳	-9.2	0.0	3.0
60～69歳	14.1	4.4	6.0	10.2	60～69歳	-9.7	1.6	4.2
70歳以上	17.8	5.9	9.2	14.4	70歳以上	-11.9	3.3	5.2
合計	13.4	4.6	6.1	10.2	合計	-8.8	1.5	4.1

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
18～19歳	-0.2	-0.1	0.2	-0.3	18～19歳	-2.6	-4.2	4.1	-4.1
20～29歳	-0.9	0.2	0.5	-0.7	20～29歳	-10.2	12.5	11.1	-9.6
30～39歳	-1.2	0.1	0.3	-1.1	30～39歳	-13.5	4.2	7.2	-15.3
40～49歳	-0.9	0.0	0.6	-0.9	40～49歳	-10.7	1.7	15.6	-12.4
50～59歳	-1.3	0.1	0.5	-1.2	50～59歳	-14.8	3.6	12.2	-17.0
60～69歳	-1.6	0.1	0.6	-1.5	60～69歳	-18.4	8.6	14.3	-20.2
70歳以上	-2.6	1.1	1.5	-1.6	70歳以上	-29.8	65.2	35.5	-21.4
合計	-8.8	1.5	4.1	-7.3	絶対値計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.8 年齢階級別実践・支援を「特にしていない」の回答率, 寄与度, 寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
18～19歳	45.9	61.5	71.9	61.3	18～19歳	15.6	10.4	-10.6
20～29歳	59.5	69.7	83.7	82.0	20～29歳	10.2	14.0	-1.7
30～39歳	72.0	77.3	88.7	85.2	30～39歳	5.3	11.4	-3.5
40～49歳	77.4	83.8	92.3	90.0	40～49歳	6.4	8.5	-2.3
50～59歳	74.9	86.2	94.4	88.8	50～59歳	11.3	8.2	-5.6
60～69歳	79.3	89.2	93.1	89.8	60～69歳	9.9	3.9	-3.3
70歳以上	73.0	83.7	89.2	87.3	70歳以上	10.7	5.5	-1.8
合計	72.3	81.6	90.0	87.0	合計	9.3	8.4	-3.0

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
18～19歳	0.6	-0.9	-0.3	-0.3	18～19歳	6.8	-6.9	-9.3	-1.4
20～29歳	1.2	1.6	-0.3	2.8	20～29歳	12.6	12.5	-8.2	15.2
30～39歳	0.8	0.5	-0.7	1.3	30～39歳	8.2	4.0	-19.6	7.0
40～49歳	1.1	1.5	-0.8	2.6	40～49歳	11.8	12.0	-21.3	14.4
50～59歳	1.6	2.6	-0.5	4.2	50～59歳	17.3	20.5	-14.2	23.1
60～69歳	1.7	-1.3	-0.7	0.4	60～69歳	17.9	-10.0	-18.2	2.1
70歳以上	2.4	4.4	0.3	6.7	70歳以上	25.4	34.1	9.1	36.8
合計	9.3	8.4	-3.0	17.7	絶対値計	100.0	100.0	100.0	100.0

2.7.5 居住地別にみたコロナ禍の影響

表 2.7.9～表 2.7.12 は、居住地別（都道府県をまとめた地域別）にみた結果である。表 2.7.9 の直接鑑賞への非鑑賞率全般についてみると、参加していないと回答した者が上昇した 2020 年でも、低下した 2022 年でも首都圏を含む南関東の寄与が大きくなっている。これは、寄与度には人口の多寡も反映されるためである。表 2.7.13 の地域別人口構成比をみれば、その値と寄与率の大きさはほぼ同様に、2020 年の新型コロナウイルス感染拡大による鑑賞率の低下は、地域ごとに大きな違いがなかったことがわかる（ただし、九州・沖縄では、他地域に比べれば鑑賞率の低下は相対的に小さかった）。

しかしながら、鑑賞率が引き続き低下した 2021 年では、コロナ禍の最初の年である 2020 年に寄与が大きかった南関東の寄与は小さくなり、北関東、近畿などの寄与が大きくなっており、東北では既に 2021 年に回復傾向を示している。2020 年と 2021 年をあわせてみれば、近畿や北関東で影響が大きかったことになる。

表 2.7.10 の映画鑑賞についてみると、南関東や近畿など寄与度が大きかった地域は人口構成比の高い地域であり、地域による違いがそれほど大きくなかったことがわかる。ただし、九州・沖縄では、2021 年に既に映画鑑賞の寄与度はプラスになっており、他地域に比べて鑑賞率の回復が早かったことがわかる⁷。

2021 年にはすでに回復傾向にあったクラシック音楽鑑賞の結果を表 2.7.11 でみると、寄

⁷ 北関東もプラスになっているが、これはサンプルにおける北関東の人口構成比が高くなった影響であると考えられる（表 2.7.13）。

与率などは人口構成比をある程度反映しており、地域の差はそれほどみられない。ただし、南関東では全体の鑑賞率が低下した 2020 年も、上昇した 2021 年・2022 年ともに人口構成比よりも大きい寄与率を示しており、首都圏が回復を牽引したという見方も可能である。また、東海は、他の地域と異なり、2021 年の段階ではまだ鑑賞率は低下していたが、九州・沖縄は、映画鑑賞と同様に 2021 年に相対的に大きな寄与を示している。

また表 2.7.12 で実践・支援についてみると、南関東の寄与は、全体的な参加率が低下した 2020・2021 年も、上昇した 2022 年も、相対的に低くなっている。鑑賞は首都圏などが中心であるが、実践・支援は、むしろ地方の寄与が大きいことがわかる。これは、大都市では鑑賞する機会が多いが、大都市以外では相対的に実践・支援への参加が多いことを反映しているとも考えられる。

表 2.7.9 地域別直接鑑賞で「鑑賞したものはない」の回答率、寄与度、寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
北海道	36.4	59.1	67.3	57.5	北海道	22.7	8.2	-9.8
東北	35.5	63.6	63.1	54.5	東北	28.1	-0.5	-8.6
北関東・甲信	29.9	61.0	63.5	52.6	北関東・甲信	31.1	2.5	-10.9
南関東	26.0	53.1	57.6	44.5	南関東	27.1	4.5	-13.1
東海	29.6	56.4	59.2	47.9	東海	26.8	2.8	-11.3
北陸	32.5	54.0	63.0	48.0	北陸	21.5	9.0	-15.0
近畿	26.2	50.0	58.1	45.3	近畿	23.8	8.1	-12.8
中国・四国	32.0	55.5	63.5	52.3	中国・四国	23.5	8.0	-11.2
九州・沖縄	36.5	57.9	61.6	45.0	九州・沖縄	21.4	3.7	-16.6
合計	29.8	55.2	60.3	47.8	合計	25.4	5.1	-12.5

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
北海道	1.0	0.3	-0.4	1.3	北海道	3.9	5.1	-3.5	4.2
東北	2.0	-0.2	-0.6	1.9	東北	8.0	-2.9	-4.9	6.2
北関東・甲信	1.6	1.7	-0.9	3.3	北関東・甲信	6.3	32.2	-6.9	10.9
南関東	8.2	0.5	-3.8	8.8	南関東	32.5	9.8	-30.0	28.8
東海	3.2	0.1	-1.3	3.3	東海	12.7	1.9	-10.4	10.9
北陸	0.9	0.3	-0.6	1.2	北陸	3.6	6.2	-5.0	4.0
近畿	3.8	1.5	-2.1	5.2	近畿	14.9	26.9	-16.6	17.2
中国・四国	2.2	0.4	-1.0	2.6	中国・四国	8.7	6.8	-7.9	8.4
九州・沖縄	2.4	0.4	-1.8	2.8	九州・沖縄	9.5	8.2	-14.7	9.3
合計	25.4	5.1	-12.5	30.5	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.10 地域別映画鑑賞の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
北海道	32.6	18.9	16.0	16.5	北海道	-13.7	-2.9	0.5
東北	30.9	18.0	15.7	21.3	東北	-12.9	-2.3	5.6
北関東・甲信	33.1	20.8	15.5	24.6	北関東・甲信	-12.3	-5.3	9.1
南関東	39.9	23.0	20.0	28.8	南関東	-16.9	-3.0	8.8
東海	38.1	20.4	16.8	27.6	東海	-17.7	-3.6	10.8
北陸	31.7	21.4	14.6	26.0	北陸	-10.3	-6.8	11.4
近畿	36.4	22.6	18.2	27.6	近畿	-13.8	-4.4	9.4
中国・四国	34.9	20.6	15.1	24.0	中国・四国	-14.3	-5.5	8.9
九州・沖縄	32.9	15.7	17.4	25.9	九州・沖縄	-17.2	1.7	8.5
合計	36.2	20.9	17.6	26.2	合計	-15.3	-3.3	8.6

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
北海道	-0.6	-0.1	0.0	-0.7	北海道	-3.9	-3.8	0.2	-4.0
東北	-0.9	-0.2	0.4	-1.1	東北	-6.1	-5.1	4.5	-6.1
北関東・甲信	-0.6	0.1	0.7	-0.5	北関東・甲信	-4.1	3.0	7.9	-2.8
南関東	-5.1	-1.2	2.6	-6.3	南関東	-33.5	-30.5	29.6	-34.0
東海	-2.1	-0.5	1.3	-2.6	東海	-13.9	-12.7	14.6	-14.1
北陸	-0.4	-0.3	0.5	-0.7	北陸	-2.8	-7.5	5.3	-3.9
近畿	-2.2	-0.7	1.5	-2.9	近畿	-14.3	-16.8	17.7	-15.3
中国・四国	-1.3	-0.6	0.8	-1.9	中国・四国	-8.7	-15.5	8.9	-10.4
九州・沖縄	-1.9	0.2	1.0	-1.7	九州・沖縄	-12.6	5.1	11.2	-9.3
合計	-15.3	-3.3	8.6	-18.6	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.11 地域別クラシック音楽鑑賞の参加率，寄与度，寄与率等

a. 参加率 単位:%					b. 参加率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
北海道	12.1	6.1	5.6	7.9	北海道	-6.0	-0.5	2.3
東北	13.8	4.1	6.1	9.0	東北	-9.7	2.0	2.9
北関東・甲信	14.3	2.6	6.1	12.3	北関東・甲信	-11.7	3.5	6.2
南関東	14.7	4.7	7.0	12.5	南関東	-10.0	2.3	5.5
東海	12.2	6.4	5.9	7.4	東海	-5.8	-0.5	1.5
北陸	12.7	4.8	6.4	8.9	北陸	-7.9	1.6	2.5
近畿	14.2	5.9	6.4	10.7	近畿	-8.3	0.5	4.3
中国・四国	10.3	3.2	4.1	7.6	中国・四国	-7.1	0.9	3.5
九州・沖縄	13.1	2.4	5.1	9.4	九州・沖縄	-10.7	2.7	4.3
合計	13.4	4.6	6.1	10.2	合計	-8.8	1.5	4.1

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
北海道	-0.3	0.0	0.1	-0.3	北海道	-3.0	-1.7	2.3	-4.0
東北	-0.7	0.1	0.2	-0.6	東北	-7.9	7.9	4.9	-7.7
北関東・甲信	-0.6	0.3	0.5	-0.3	北関東・甲信	-6.8	19.9	11.2	-3.6
南関東	-3.0	0.6	1.6	-2.5	南関東	-34.5	34.9	38.9	-33.3
東海	-0.7	-0.1	0.2	-0.8	東海	-7.9	-4.9	4.2	-10.6
北陸	-0.3	0.1	0.1	-0.3	北陸	-3.8	3.8	2.4	-3.6
近畿	-1.3	0.1	0.7	-1.2	近畿	-15.0	5.6	16.8	-16.7
中国・四国	-0.7	0.1	0.3	-0.6	中国・四国	-7.5	3.6	7.3	-8.2
九州・沖縄	-1.2	0.3	0.5	-0.9	九州・沖縄	-13.6	17.8	11.9	-12.2
合計	-8.8	1.5	4.1	-7.3	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.12 地域別実践・支援を「特にしていない」の参加率，寄与度，寄与率等

a. 回答率 単位:%					b. 回答率の対前年差 単位:%ポイント			
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022
北海道	79.5	83.3	92.0	83.5	北海道	3.8	8.7	-8.5
東北	75.6	83.4	88.6	92.9	東北	7.8	5.2	4.3
北関東・甲信	74.0	78.6	90.0	87.7	北関東・甲信	4.6	11.4	-2.3
南関東	71.4	79.6	89.8	86.6	南関東	8.2	10.2	-3.2
東海	72.9	81.2	89.6	88.6	東海	8.3	8.4	-1.0
北陸	69.0	76.2	91.5	84.6	北陸	7.2	15.3	-6.9
近畿	71.5	82.4	90.3	85.0	近畿	10.9	7.9	-5.3
中国・四国	69.0	84.3	90.2	85.5	中国・四国	15.3	5.9	-4.7
九州・沖縄	73.0	85.2	90.2	88.2	九州・沖縄	12.2	5.0	-2.0
合計	72.3	81.6	90.0	87.0	合計	9.3	8.4	-3.0

c. 寄与度 単位:%ポイント					d. 寄与率 単位:%				
	2020	2021	2022	2019→2021		2020	2021	2022	2019→2021
北海道	0.2	0.3	-0.4	0.4	北海道	1.8	3.1	-10.8	2.4
東北	0.6	0.2	0.3	0.8	東北	6.1	2.4	8.2	4.3
北関東・甲信	0.2	2.9	-0.2	3.1	北関東・甲信	2.5	33.7	-6.2	17.4
南関東	2.5	1.8	-0.8	4.3	南関東	26.8	21.1	-23.1	24.1
東海	1.0	0.7	-0.1	1.7	東海	10.8	7.8	-2.5	9.3
北陸	0.3	0.6	-0.3	0.9	北陸	3.2	6.8	-8.5	5.0
近畿	1.7	1.5	-0.9	3.3	近畿	18.7	17.9	-24.1	18.3
中国・四国	1.4	0.0	-0.4	1.4	中国・四国	15.4	0.1	-11.9	8.1
九州・沖縄	1.4	0.6	-0.2	2.0	九州・沖縄	14.7	7.1	-4.8	11.1
合計	9.3	8.4	-3.0	17.7	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

表2.7.13 属性別人口の構成比

a. 男女別，年齢階級別 単位:%					b. 地域別 単位:%				
	2019	2020	2021	2022		2020	2021	2022	2022
男	48.2	48.2	48.3	48.3	北海道	4.4	4.4	4.3	4.2
女	51.8	51.8	51.7	51.7	東北	7.2	7.2	7.0	7.0
18～19歳	4.1	4.1	2.2	2.1	北関東・甲信	5.1	5.1	7.7	7.6
20～29歳	11.4	11.4	11.4	11.3	南関東	30.4	30.4	29.0	29.1
30～39歳	14.4	14.4	13.1	12.8	東海	12.1	12.1	11.7	11.7
40～49歳	17.1	17.1	17.2	16.7	北陸	4.2	4.2	4.1	4.1
50～59歳	14.2	14.2	15.7	16.1	近畿	15.9	15.9	16.2	16.2
60～69歳	16.7	16.7	14.7	14.4	中国・四国	9.4	9.4	8.8	8.7
70歳以上	22.1	22.1	25.6	26.5	九州・沖縄	11.2	11.2	11.3	11.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	合計	100.0	100.0	100.0	100.0

参考文献

文化庁 (2022a) 「数字で見る文化芸術活動 わたしたちの直接鑑賞行動とコロナ禍の影響— コロナの影響により文化芸術鑑賞が大幅減少 —」『ぶんかる News』 No.008。

https://www.bunka.go.jp/prmagazine/rensai/news/news_008.html

文化庁 (2022b) 「コロナ禍と文化芸術イベントの鑑賞頻度 ― 頻度を減らしたのはどんな人たち？ ―」『ぶんかる News』 No.009。

https://www.bunka.go.jp/prmagazine/rensai/news/news_009.html

渡辺美智子・神田智弘 (2008) 『実践ワークショップ Excel 徹底活用統計データ分析 改訂新版』秀和システム。

文化に関する世論調査（令和3年度調査）調査票

●プロフィール

F 1【性 別】あなたの性別をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 男 性
 2. 女 性
 3. 答えたくない
-

F 2【年 齢】あなたの年齢をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 18～19歳
 2. 20代
 3. 30代
 4. 40代
 5. 50代
 6. 60代
 7. 70代以上
-

F 3【居住地】あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 北海道
 - ...
 47. 沖縄県
-

F 4【都市階級】あなたのお住まいの市区町村の都市階級をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 大都市（政令指定都市及び東京都区部）
 2. 中都市（大都市を除く人口15万以上の市）
 3. 小都市A（人口5万以上15万未満の市）
 4. 小都市B（人口5万未満の市）・町村
-

F 5【職 業】あなたの仕事をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 正規の職員・従業員（役員を含む）
 2. 非正規の職員・従業員（期間従業員、契約社員、派遣社員を含む）
 3. 自営業主・自由業（自分で、または共同で事業を営んでいる）
 4. 家族従業者（家族が営んでいる事業を手伝っている）
 5. 主婦・主夫
 6. 学生
 7. リタイア、無職
 8. その他
-

F 6【同居家族状況】あなたと同居している人の状況をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. ひとり暮らし（同居している家族はいない）
2. 核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）
3. 三世代家族（親・子・孫の3世帯以上が同居）
4. 上記以外で同居している人がいる

F 6 S Q 1【子供との同居】あなたは、あなた自身のお子さんと同居していますか。されている場合、「最も下の年齢のお子さん」はどれに当てはまりますか。

※F6において「2. 核家族」～「4. 上記以外で同居している人がいる」を選択した人のみ・1つのみ選択

1. 未就学児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 大学・短大・高専以上や社会人
6. 同居していない

F 7【健康状態】あなたの健康状態をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 健康面で特に問題はない（普段の活動には問題はない）
2. 病気やけがで病院や診療所に通っている
3. 病院や診療所に入院している
4. 介護保険施設等に入所・通所している
5. 障害者手帳を所持している
6. 要介護・要支援の認定を受けている
7. 答えたくない

F 8【同居家族の状態】現在同居している家族に、病気・高齢・障害などにより、介護・介助が必要な方はいますか。

※F6において「2. 核家族」～「4. 上記以外で同居している人がいる」を選択した人のみ・1つのみ選択

1. いる
2. いない
3. 答えたくない

F 9【年収】昨年度の世帯全体の年収（税込み）は、おおよそどのくらいですか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 100万円未満
2. 100万円以上～200万円未満
3. 200万円以上～300万円未満
4. 300万円以上～400万円未満
5. 400万円以上～500万円未満
6. 500万円以上～600万円未満
7. 600万円以上～700万円未満
8. 700万円以上～800万円未満
9. 800万円以上～900万円未満

10. 900万円以上～1,000万円未満
 11. 1,000万円以上
 12. 分からない
 13. 答えたくない
-

F 1 0【学歴】あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 小学校
 2. 中学校
 3. 高校・旧制中学校
 4. 短大・高専
 5. 大学
 6. 大学院
 7. 答えたくない
-

F 1 1【習い事】あなたは、子供の頃に習い事をされていましたか。

※全員回答・複数選択可

1. ピアノ・バイオリン等の楽器
 2. コーラス・声楽
 3. ダンス
 4. 茶道・華道・書道等の生活文化
 5. 絵画・彫刻、陶芸・工芸
 6. 学習塾・そろばん等
 7. 水泳・体操・野球等のスポーツ
 8. その他
 9. していない
-

1. ウェルビーイングに関すること

Q 1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 0点
- ...
11. 10点

Q 2 現在のあなたの健康状態はいかがですか。「とても良い」を10点、「良くない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 0点
- ...
11. 10点

Q 3 以下の文章を読んで、あなたの状態にどの程度当てはまるか1つ選んでお答えください。

※全員回答・それぞれ1つずつ選択

1. 私は自分の人生に満足している
2. 私の暮らし向き(生活状態)は素晴らしいものである
3. 大体において、私の人生は理想に近いものである
4. もう一度人生をやり直すとしても、私には変えたいと思うところはほとんどない
5. これまで私は望んだものは手に入れてきた

-
1. 全くあてはまらない
 2. あてはまらない
 3. ややあてはまらない
 4. どちらともいえない
 5. ややあてはまる
 6. あてはまる
 7. 非常にあてはまる

Q 4 過去30日間での、あなたの経験について教えてください。

それぞれ、最もあてはまるものを1つ選んでお答えください。

※全員回答・それぞれ1つずつ選択

1. 社会に貢献できる要素があると感じた
2. 自分はコミュニティや集団の一部だと感じた
3. 他者との温かく信頼できる関係があると感じた
4. 自分が成長し、よりよい人になることを促すような経験があった
5. 自信をもって自分のアイデアや意見を考えたり、話したりした
6. 自分の人生には方向性や意味があると感じた
7. 自分の人生や日常生活に意味を見いだすことが難しいと感じた

-
1. 一度も無い
 2. 一度か二度

3. およそ週に1回
4. 週に2～3回
5. 週に4～5回
6. 毎日

Q 5 以下の文章を読んで、あなたの状態にどの程度当てはまるか、1つ選んでお答えください。

※全員回答・それぞれ1つずつ選択

1. 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う
2. 周りの人に認められていると感じる
3. 周りの人たちと同じくらい幸せだと思う
4. 周りの人並みの生活は手に入れている自信がある
5. 周りの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている
6. 大切な人を幸せにしていると思う
7. 大きな悩み事はない
8. 人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができている
9. 周囲に美しいものを見いだすことができる
10. 私は自分の世界に対する理解を揺るがず体験を求めている

-
1. 全くあてはまらない
 2. ややあてはまらない
 3. どちらともいえない
 4. ややあてはまる
 5. 非常にあてはまる

2. 文化芸術の鑑賞活動

Q 6 あなたは、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか。この中からあてはまるもの全てを選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント

13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他
20. 鑑賞したものはない

Q 6 S Q 1 鑑賞しなかった理由は何ですか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※ Q 6 で「20. 鑑賞したものはない」を選択した人のみ・複数選択可

1. 近所で公演や展覧会などが行われていない
2. 夜間に公演や展覧会などが行われていない
3. 公演や展覧会などの情報が入手できない
4. 一緒に行く仲間がいない
5. 関心がない
6. 入場料・交通費など費用がかかり過ぎる
7. 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難
8. 育児・介護などで時間がなかなか取れない
9. 仕事・学業などで時間がなかなか取れない
10. 健康上の理由から
11. 小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない
12. バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない
13. 魅力ある公演や展覧会などが少ない
14. テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので
15. 新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから
16. その他
17. 特にない・分からない

Q 6 S Q 2 コロナ前と比べて、あなたが、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞した頻度は増加しましたか、減少しましたか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 大幅に増加した
2. やや増加した
3. 変わらない
4. やや減少した
5. 大幅に減少した

Q 6 S Q 3 あなたと同居している小学生～高校生のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか。

あてはまるもの全て選んでください。

※あなたや御家族が連れて行った場合に限らず、学校で鑑賞した場合、お子さんだけで鑑賞した場合なども全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他
20. 鑑賞したものはない
21. 同居している小学生～高校生の子どもはいない

Q7 あなたは、この1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により鑑賞したものはありますか。
この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）

15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他
20. 鑑賞したものはない

Q8 あなたは、この1年間にインターネットによる有料（月額又はチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他
20. 鑑賞したものはない

3. 鑑賞以外の文化芸術活動

Q9 あなたは、この1年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したことはありますか。あてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
2. マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
5. 茶道、華道、書道などの習い事の受講

6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動
9. 高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動
10. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動
11. 劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動
12. 音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動
13. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動
14. その他
15. 特にしていない

Q 9 S Q 1 文化芸術活動の実践や発表をどのような場で行いましたか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※Q 9で「15. 特にしていない」を選択した人以外・複数選択可

1. 習い事・カルチャースクール
2. 地域の行事・集まり等
3. 学校や職場の部活やサークル活動
4. 同じ趣味を持つもの同士の直接交流の場
5. 同じ趣味を持つもの同士のインターネットを介した交流の場
6. 作品や動画の投稿サイト
7. SNS
8. その他
9. 特に発表していない

Q 9 S Q 2 あなたと同居している小学生～高校生のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この1年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。あてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
2. マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
5. 茶道、華道、書道などの習い事の受講
6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
8. その他
9. 特に行ったことはない
10. 同居している小学生～高校生の子どもはいない

4. 文化芸術活動の頻度

Q 10 あなたは、この1年間に、どのくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。それぞれの頻度について、1つ選んでお答えください。

※Q6,Q7,Q9で「20.鑑賞したものはない」、「15.特にしていない」を選択した人以外・それぞれ1つずつ選択

1. 文化芸術イベントの直接鑑賞（コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、

アートや音楽のフェスティバル等)

2. 文化芸術のテレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞
3. 文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）、ボランティア活動

-
1. 年に1回程度
 2. 年に数回程度
 3. 月に1～3回程度
 4. 週に1回程度
 5. 週に複数回

5. 文化芸術活動における著作権に関する意識

Q 1 1 あなたが鑑賞や創作などの文化芸術活動の中で著作権について気にかけていることは何ですか。

あてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 好きなクリエイターを応援するために、著作権を大切にしている
2. 無断転載や海賊版サイトに掲載された作品などの違法コンテンツについては、鑑賞しないように心がけている
3. 自分の作品に他人の作品を利用する際、作品名や作者名を記載するなどのルールを守って利用している
4. 自分の作品に他人の作品を利用する際、いわゆる「フリー素材」を使うときは利用規約など作者の決めた使い方やルールを確認して利用するようにしている
5. 自分の作品に他人の作品を利用する際、自由に利用できる例外的な場合しか利用しないようにしている
6. 自分の作品に他人が作った作品や違法コンテンツは、そもそも利用しないようにしている
7. 作品を公表する際、©（著作権があることを表示するための記号）を付したり、利用できる範囲等を書くようにしている
8. その他
9. 著作権については、特に意識していない

6. 地域の文化的環境

Q 1 2 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない
5. 関心がない

Q 1 2 S Q 1 前問のお住まいの地域での文化的な環境の満足度について詳しくお尋ねします。

以下の項目ごとの満足度を回答してください。

※全員回答・それぞれ1つずつ選択

1. 文化芸術の鑑賞機会
2. 文化芸術活動の実践（創作や習い事、祭りや体験活動への参加など）
3. 文化財や伝統的まちなみの保存・整備

-
1. 関心がない
 2. 満足していない
 3. どちらかといえば満足していない
 4. どちらかといえば満足している
 5. 満足している

Q 1 2 S Q 2 自宅から1時間30分以内に行くことのできる施設はありますか。

この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. ホール・劇場
2. 美術館
3. 博物館
4. 映画館
5. 行くことのできる施設はない

Q 1 2 S Q 3 Q12で「満足していない」又は「どちらかといえば満足していない」と回答した方に伺います。

そのように回答した理由をこの中からあてはまるもの全て選んでください。

※Q 1 2で「3. どちらかといえば満足していない」～「4. 満足していない」を選択した人・複数選択可

1. 近くに文化施設がない
2. 文化施設が老朽化している
3. 施設利用料が高い
4. 参加できる活動がない
5. 魅力的な活動・イベントがない
6. 良く知られた歴史的な建物や遺跡がない
7. その他

Q 1 3 あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。

※全員回答・3つ選択可

1. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
2. 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実
3. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
4. 芸術家や文化団体の活動の支援
5. 著名な芸術家の招へい
6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
7. 郷土料理などの地域の食文化の継承・保存、体験機会の充実
8. 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
9. 文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用
10. ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実
11. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
12. 工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興
13. 日本文化の国際的な知名度やイメージの向上

14. 文化施設の活性化や文化芸術活動の支援を担う専門的人材の育成
15. その他
16. 特になし・分からない

7. 自身を取り巻く文化的環境

Q 1 4 あなたは、オンラインでの鑑賞等を含め、自身を取り巻く文化的な環境に満足していますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない
5. 関心がない

8. 文化芸術振興に対する寄付に関する意識

Q 1 5 あなたは、この1年間に、チケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付（寄付型クラウドファンディングを含む。）をしたことがありますか。

※ふるさと納税は対象外とします。

※全員回答・1つのみ選択

1. したことがある
2. したことはないが、今後はしてみたい
3. したことはなく、今後もしたいとは思わない
4. 分からない

Q 1 5 S Q 1 あなたは、どのような方法で寄付をしましたか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 設置されている募金箱、街頭募金
2. 銀行・コンビニ等での振込み・口座引落とし
3. 直接手渡し
4. 寄付付商品の購入
5. クレジットカード等の利用（ポイント等の利用含む）
6. 給料からの天引き
7. デジタル技術を活用してスマートフォンやP Cから行うギフティング・投げ銭
8. 寄付型クラウドファンディング
9. その他

Q 1 5 S Q 2 あなたは、この1年間に、どのような分野にいくら寄付をしましたか。それぞれの分野に対する寄付額の合計を教えてください。

※Q15で「1.したことがある」を選択した人のみ・それぞれ1つずつ選択

1. 美術館・博物館
2. 舞台芸術（音楽、演劇等）

3. 伝統芸能・演芸
4. 文化財保存・修復
5. その他の分野

1. 1,000円未満
2. 1,000円以上～3,000円未満
3. 3,000円以上～5,000円未満
4. 5,000円以上～10,000円未満
5. 10,000円以上～30,000円未満
6. 30,000円以上
7. この分野には寄付していない

9. 文化芸術の国際交流・発信

Q 16 あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 日本の国際化及び日本文化への理解が進むことで、国際社会における日本のイメージが向上する
2. 異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる
3. 日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる
4. 日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる
5. その他
6. 特にない・分からない

Q 17 あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。この中から3つまであげてください。

※全員回答・3つ選択可

1. 文学（小説、詩、短歌、俳句など）
2. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
3. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
4. 日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）
5. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、メディアアートなど）
6. 現代演劇、児童演劇、人形劇
7. ミュージカル
8. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
9. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
10. 日本舞踊
11. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
12. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
13. 映画（アニメーション映画を除く）
14. マンガ、アニメーション映画
15. 民俗文化（地域の祭り、年中行事など）

16. 生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））
 17. 食文化
 18. 歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）
 19. 文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等
 20. 特にない・分からない
-

10. 障害者の文化芸術活動

Q 18 あなたは、障害のある方のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまでに鑑賞や参加などしたことはありますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. アート作品展を見たことがある
 2. 演劇・ダンス等の公演を見たことがある
 3. ワークショップに参加したことがある
 4. 街中などでの展示やパフォーマンスを見たことがある
 5. 直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある
 6. 見たり聞いたりしたことはない
-

11. 文化芸術全般に関すること

Q 19 あなたは、「文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強く感じますか。この中から2つまであげてください。

※全員回答・2つ選択可

1. 美術・音楽・演劇・ダンスなどの芸術のこと
2. 歴史的な建物や遺産が保存されていること
3. 新しいものが創造されていること
4. 科学や技術が発達していること
5. 学問が盛んで教育水準が高いこと
6. 伝統的なお祭り・行事・芸能などのこと
7. 生活の中での文化（茶道・華道・書道・食文化など）のこと
8. 映画、マンガ、アニメーション、ゲームなどのこと
9. その他
10. 特にない
11. わからない

令和4年度「文化に関する世論調査」調査票

●プロフィール

F 1【性 別】あなたの性別をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 男 性
 2. 女 性
 3. 答えたくない
-

F 2【年 齢】あなたの年齢をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 18～19歳
 2. 20代
 3. 30代
 4. 40代
 5. 50代
 6. 60代
 7. 70代以上
-

F 3【居住地】あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 北海道
 - ...
 47. 沖縄県
-

F 4【都市階級】あなたのお住まいの市区町村の都市階級をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 大都市（政令指定都市及び東京都区部）
 2. 中都市（大都市を除く人口15万以上の市）
 3. 小都市A（人口5万以上15万未満の市）
 4. 小都市B（人口5万未満の市）・町村
-

F 5【職 業】あなたの仕事をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 正規の職員・従業員（役員を含む）
 2. 非正規の職員・従業員（期間従業員、契約社員、派遣社員を含む）
 3. 自営業主・自由業（自分で、または共同で事業を営んでいる）
 4. 家族従業者（家族が営んでいる事業を手伝っている）
 5. 主婦・主夫
 6. 学生
 7. リタイア、無職
 8. その他
-

F 6【同居家族状況】あなたと同居している人の状況をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. ひとり暮らし（同居している家族はいない）
2. 核家族（夫婦のみもしくは親と未婚の子どもの世帯）
3. 三世代家族（親・子・孫の3世帯以上が同居）
4. 上記以外で同居している人がある

F 6 S Q 1【子供との同居】あなたは、あなた自身のお子さんと同居していますか。されている場合、「最も下の年齢のお子さん」はどれに当てはまりますか。

※F6において「2. 核家族」～「4. 上記以外で同居している人がある」を選択した人のみ・1つのみ選択

1. 未就学児
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 大学・短大・高専以上や社会人
6. 同居していない

F 7【健康状態】あなたの健康状態をお答えください。

※全員回答・1つのみ選択

1. 健康面で特に問題はない（普段の活動には問題はない）
2. 病気やけがで病院や診療所に通っている
3. 病院や診療所に入院している
4. 介護保険施設等に入所・通所している
5. 障害者手帳を所持している
6. 要介護・要支援の認定を受けている
7. 答えたくない

F 8【同居家族の状態】現在同居している家族に、病気・高齢・障害などにより、介護・介助が必要な方はいますか。

※F6において「2. 核家族」～「4. 上記以外で同居している人がある」を選択した人のみ・1つのみ選択

1. いる
2. いない
3. 答えたくない

F 9【年収】昨年度の世帯全体の年収（税込み）は、おおよそどのくらいですか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 100万円未満
2. 100万円以上～200万円未満
3. 200万円以上～300万円未満
4. 300万円以上～400万円未満
5. 400万円以上～500万円未満
6. 500万円以上～600万円未満
7. 600万円以上～700万円未満
8. 700万円以上～800万円未満

9. 800万円以上～900万円未満
10. 900万円以上～1,000万円未満
11. 1,000万円以上
12. 分からない
13. 答えたくない

F 1 0【学歴】あなたが最後に卒業された学校はどちらですか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 小学校
2. 中学校
3. 高校・旧制中学校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. 答えたくない

F 1 1【習い事】あなたは、子供の頃に習い事をされていましたか。

※全員回答・複数選択可

1. ピアノ・バイオリン等の楽器
2. コーラス・声楽
3. ダンス
4. 茶道・華道・書道等の生活文化
5. 絵画・彫刻、陶芸・工芸
6. 学習塾・そろばん等
7. 水泳・体操・野球等のスポーツ
8. その他
9. していない

1. 文化芸術の鑑賞活動

Q1 あなたは、この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他（具体的に： ）
20. 鑑賞したものはない

Q1SQ1 鑑賞しなかった理由は何ですか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※Q1で「20. 鑑賞したものはない」を選択した人のみ・複数選択可

1. 近所で公演や展覧会などが行われていない
2. 夜間に公演や展覧会などが行われていない
3. 公演や展覧会などの情報が入手できない
4. 一緒に行く仲間がいない
5. 関心がない
6. 入場料・交通費など費用がかかり過ぎる
7. 公演や展覧会などが人気で、チケットの入手が困難
8. 育児・介護などで時間がなかなか取れない
9. 仕事・学業などで時間がなかなか取れない
10. 健康上の理由から
11. 小さな子どもを連れて行ける施設や行事が少ない
12. バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が少ない
13. 魅力ある公演や展覧会などが少ない

14. テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネットなどにより鑑賞できる（鑑賞した）ので
15. 新型コロナウイルス感染症の影響により、公演や展覧会などが中止になった、又は外出を控えたから
16. その他（具体的に： ）
17. 特にない・分からない

Q1SQ2 この1年間に、コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等の文化芸術イベントを直接鑑賞した頻度は2021年に比べ増加しましたか、減少しましたか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 大幅に増加した
2. やや増加した
3. 変わらない
4. やや減少した
5. 大幅に減少した

Q1SQ3 この1年間の文化芸術の鑑賞状況の変化により、あなたにどのような影響がありましたか。

項目ごとにその影響の程度をお答えください。

1. 楽しみ
2. 幸せ
3. 共通の趣味を持つ人との交流
4. 家族との時間
5. 文化芸術に使うお金
6. 人と話す時の話題
7. 文化芸術について学ぶ意欲
8. 心身の健康

1. 大幅に減った
2. やや減った
3. 変わらない
4. やや増えた
5. 大幅に増えた

Q1SQ4 あなたと同居している小学生～高校生のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）をしたことはありますか。

あてはまるもの全て選んでください。

※あなたや御家族が連れて行った場合に限らず、学校で鑑賞した場合、お子さんだけで鑑賞した場合なども全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇

6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他（具体的に： ）
20. 鑑賞したものはない

Q2 あなたは、この1年間に、テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等により鑑賞したものはありますか。
この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他（具体的に： ）
20. 鑑賞したものはない

Q3 あなたは、この1年間にインターネットによる有料（月額又はチケット購入等）のオンライン配信で鑑賞したものはありますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
2. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
3. 美術※美術には、絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、デザイン、建築、服飾、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）などを含む。
4. 美術のうち、特に現代美術（コンテンポラリーアート）
5. 現代演劇、児童演劇、人形劇
6. ミュージカル
7. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
8. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
9. 日本舞踊
10. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
11. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
12. 花展、盆栽展、茶会などの展示、イベント
13. 食文化の展示、イベント
14. 映画（アニメーション映画を除く）
15. アニメーション映画
16. 歴史的な建物や遺跡（建造物（社寺・城郭など）、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
17. 歴史系の博物館、民俗系の博物館、資料館など
18. 地域の伝統的な芸能や祭り（民俗文化財）
19. その他（具体的に： ）
20. 鑑賞したものはない

2. 鑑賞以外の文化芸術活動

Q4 あなたは、この1年間に、鑑賞ではなく、自分で文化芸術活動を実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）したり、ボランティアとして活動を支援したことはありますか。あてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
2. マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
5. 茶道、華道、書道などの習い事の受講
6. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動
9. 高齢者・障害者・在住外国人の文化芸術鑑賞、体験促進のための支援活動
10. 美術館・博物館などにおける案内や作品解説などの支援活動
11. 劇場・ホールなどにおける案内や制作補助などの支援活動
12. 音楽祭・映画祭・アートフェスなどの開催のための支援活動

13. 歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動
14. その他（具体的に： ）
15. 特にしていない

Q4SQ1 文化芸術活動の実践や発表をどのような場で行いましたか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※Q9で「15. 特にしていない」を選択した人以外・複数選択可

1. 習い事・カルチャースクール
2. 地域の行事・集まり等
3. 学校や職場の部活やサークル活動
4. 同じ趣味を持つもの同士の直接交流の場
5. 同じ趣味を持つもの同士のインターネットを介した交流の場
6. 作品や動画の投稿サイト
7. SNS
8. その他（具体的に： ）
9. 特に発表していない

Q4SQ2 あなたと同居している小学生～高校生のお子さんの中で「最も下の年齢のお子さん」は、学校以外で、この1年間に、この中にあるような文化芸術に関わる活動をしたことはありますか。あてはまるもの全て選んでください。

※F6SQ1において、「2. 小学生」～「4. 高校生」を選択した人のみ回答

1. 文学、音楽、美術、演劇、舞踊などの作品の創作
2. マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの作品の創作
3. 音楽の演奏や、演劇・舞踊・映画への出演など
4. 音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講
5. マンガ、映画などの映像作品、CG、ゲーム、メディアアートなどの習い事の受講
6. 茶道、華道、書道などの習い事の受講
7. 郷土料理や年中行事の料理など伝統的な食文化の継承活動への参加
8. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
9. その他（具体的に： ）
10. 特に行ったことはない

4. 文化芸術活動の頻度

Q5 あなたは、この1年間に、どのくらいの頻度で文化芸術活動を行いましたか。それぞれの頻度について、1つ選んでお答えください。

※Q1,Q2,Q4で「20.鑑賞したものはない」、「15.特にしていない」を選択した人以外・それぞれ1つずつ選択

1. 文化芸術イベントの直接鑑賞（コンサートや美術展、映画、歴史的な文化財、アートや音楽のフェスティバル等）
2. 文化芸術のテレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等による鑑賞
3. 文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭や体験活動への参加など）、ボランティア活動

-
1. 年に1回程度
 2. 年に数回程度
 3. 月に1～3回程度

4. 週に1回程度
5. 週に複数回

4. 文化芸術活動における著作権に関する意識

Q 6 あなたが鑑賞や創作などの文化芸術活動の中で著作権について気にかけていることは何ですか。

あてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 好きなクリエイターを応援するために、著作権を大切にしようとしている
2. 無断転載や海賊版サイトに掲載された作品などの違法コンテンツについては、鑑賞しないように心がけている
3. SNS等に投稿する際は、著作権を侵害していないか注意しながら発信を行っている
4. 自分の作品に他人の作品を利用する際、作品名や作者名を記載するなどのルールを守って利用している
5. 自分の作品に他人の作品を利用する際、いわゆる「フリー素材」を使うときは利用規約など作者の決めた使い方やルールを確認して利用しようとしている
6. 作者の許可を得ず、自分の作品に他人の作品を利用する際、自由に利用できる例外的な場合しか利用しないようにしている
7. 自分の作品に他人が作った作品や違法コンテンツは、そもそも利用しないようにしている
8. 作品を公表する際、©（著作権があることを表示するための記号）を付したり、利用できる範囲等を書くようにしている
9. 作品を公表する際、他人が作品を利用したい時に連絡のとれる連絡先等を記載しているようにしている
10. 著作権については、特に意識していない
11. その他（具体的に： ）

5. 地域の文化的環境

Q 7 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない
5. 関心がない

Q 7 S Q 1 前問のお住まいの地域での文化的な環境の満足度について詳しくお尋ねします。

以下の項目ごとの満足度を回答してください。

※全員回答・それぞれ1つずつ選択

1. 文化芸術の鑑賞機会
2. 文化芸術活動の実践（創作や習い事、祭りや体験活動への参加など）
3. 文化財や伝統的まちなみの保存・整備

-
1. 満足している
 2. どちらかといえば満足している
 3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない
5. 関心がない

Q7S Q2 自宅から1時間30分以内に行くことのできる施設はありますか。

この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. ホール・劇場
2. 美術館
3. 博物館
4. 映画館
5. 行くことのできる施設はない

Q7S Q3 Q7で「満足していない」又は「どちらかといえば満足していない」と回答した方に伺います。

そのように回答した理由をこの中からあてはまるもの全て選んでください。

※Q7で「3. どちらかといえば満足していない」～「4. 満足していない」を選択した人・複数選択可

1. 近くに文化施設がない
2. 文化施設が老朽化している
3. 施設利用料が高い
4. 参加できる活動がない
5. 魅力的な活動・イベントがない
6. 良く知られた歴史的な建物や遺跡がない
7. その他（具体的に： ）

Q8 あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を今より充実させるために、何が重要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。

※全員回答・3つ選択可

1. ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
2. 文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実
3. 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
4. 芸術家や文化団体の活動の支援
5. 著名な芸術家の招へい
6. 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
7. 郷土料理などの地域の食文化の継承・保存、体験機会の充実
8. 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
9. 文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用
10. ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実
11. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
12. 工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興
13. 日本文化の国際的な知名度やイメージの向上
14. 文化施設の活性化や文化芸術活動の支援を担う専門的人材の育成
15. その他（具体的に： ）
16. 特にない・分からない

6. 自身を取り巻く文化的環境

Q9 あなたは、オンラインでの鑑賞等を含め、自身を取り巻く文化的な環境に満足していますか。

※全員回答・1つのみ選択

1. 満足している
 2. どちらかといえば満足している
 3. どちらかといえば満足していない
 4. 満足していない
 5. 関心がない
-

8. 文化芸術振興に対する寄付に関する意識

Q10 あなたは、この1年間に、チケット代金以外の文化芸術振興に関わる寄付（寄付型クラウドファンディングを含む。）をしたことがありますか。

※ふるさと納税は対象外とします。

※全員回答・1つのみ選択

1. したことがある
 2. したことはないが、今後はしてみたい
 3. したことはなく、今後もしたいとは思わない
 4. 分からない
-

Q10 S Q 1 あなたは、どのような方法で寄付をしましたか。この中からあてはまるもの全てを選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 設置されている募金箱、街頭募金
 2. 銀行・コンビニ等での振込み・口座引落とし
 3. 直接手渡し
 4. 寄付付商品の購入
 5. クレジットカード等の利用（ポイント等の利用含む）
 6. 給料からの天引き
 7. デジタル技術を活用してスマートフォンやP Cから行うギフティング・投げ銭
 8. 寄付型クラウドファンディング
 9. その他
-

Q10 S Q 2 あなたは、この1年間に、どのような分野にいくら寄付をしましたか。それぞれの分野に対する寄付額の合計を教えてください。

※Q15で「1.したことがある」を選択した人のみ・それぞれ1つずつ選択

1. 美術館・博物館
2. 舞台芸術（音楽、演劇等）
3. 伝統芸能・演芸
4. 文化財保存・修復
5. メディア芸術（マンガ、映画等）
6. その他の分野

-
1. 1,000円未満
 2. 1,000円以上～3,000円未満
 3. 3,000円以上～5,000円未満
 4. 5,000円以上～10,000円未満
 5. 10,000円以上～30,000円未満
 6. 30,000円以上
 7. この分野には寄付していない
-

8. 文化芸術の国際交流・発信

Q 11 あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. 日本の国際化及び日本文化への理解が進むことで、国際社会における日本のイメージが向上する
 2. 異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる
 3. 日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる
 4. 日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本産品の海外展開につながる
 5. その他（具体的に： ）
 6. 特にない・分からない
-

Q 12 あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。この中から3つまであげてください。

※全員回答・3つ選択可

1. 文学（小説、詩、短歌、俳句など）
2. オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など
3. ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲、演歌、民族音楽など
4. 日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）
5. 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真、メディアアートなど）
6. 現代演劇、児童演劇、人形劇
7. ミュージカル
8. バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど
9. ストリートダンス（ブレイク、ヒップホップ等）、ジャズダンス、民俗舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど
10. 日本舞踊
11. 伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）
12. 演芸（落語、講談、浪曲、漫才・コント、奇術・手品、大道芸、太神楽など）
13. 映画（アニメーション映画を除く）
14. マンガ、アニメーション映画
15. 民俗文化（地域の祭り、年中行事など）
16. 生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））
17. 食文化
18. 歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）

19. 文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（茅葺、染織、手すき和紙、和楽器製作など）等
 20. 特にない・分からない

9. 障害者の文化芸術活動

Q 13 あなたは、障害のある方のアート作品（絵画・造形等）や演劇、ダンスなどの芸術活動について、これまでに鑑賞や参加などしたことはありますか。この中からあてはまるもの全て選んでください。

※全員回答・複数選択可

1. アート作品展を見たことがある
2. 演劇・ダンス等の公演を見たことがある
3. ワークショップに参加したことがある
4. 街中などでの展示やパフォーマンスを見たことがある
5. 直接見たことはないが、テレビやインターネット、新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたことはある
6. 見たり聞いたりしたことはない

10. 文化芸術全般に関すること

Q 14 あなたは、「文化」という言葉に対して、どのようなイメージを強く感じますか。この中から2つまであげてください。※

全員回答・2つ選択可

1. 美術・音楽・演劇・ダンスなどの芸術のこと
2. 歴史的な建物や遺産が保存されていること
3. 新しいものが創造されていること
4. 科学や技術が発達していること
5. 学問が盛んで教育水準が高いこと
6. 伝統的なお祭り・行事・芸能などのこと
7. 生活の中での文化（茶道・華道・書道・食文化など）のこと
8. 映画、マンガ、アニメーション、ゲームなどのこと
9. その他
10. 特にない
11. わからない

Q 15 文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。この中から3つまであげてください。

※全員回答・複数選択可

1. 美しさなどへの感性が育まれる
2. コミュニケーション能力が高まる
3. 創造性や工夫をする力が高まる
4. 他者の気持ちを理解したり思いやりったりするようになる
5. 学校生活における自信が向上する
6. 困難に直面したときの解決力が向上する
7. 日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる
8. 他国の人々や文化への関心が高まる
9. 文化芸術活動を将来続けていくきっかけとなる

10. その他（具体的に： ）

11. 特にない・分からない

Q16 あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。この中から3つまであげてください。

※全員回答・複数選択可

1. 学校における公演や展示などの鑑賞体験を充実させる
2. 学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験を充実させる
3. 学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会を充実させる
4. 郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会を充実させる
5. 歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実させる
6. 学校と地域の文化芸術施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を実現する
7. ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる
8. 音楽祭や演劇祭など、地域で文化的行事を開催し、文化芸術に親しむきっかけを提供する
9. 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供する
10. その他（具体的に： ）
11. 特にない・分からない

Q17 子どもの文化芸術体験について、あなたが期待する効果は何ですか。この中から3つまであげてください。

※全員回答・複数選択可

1. 美しさなどへの感性が育まれる
2. コミュニケーション能力が高まる
3. 創造性や工夫をする力が高まる
4. 他者の気持ちを理解したり思いやりったりするようになる
5. 学校生活における自信が向上する
6. 困難に直面したときの解決力が向上する
7. 日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる
8. 他国の人々や文化への関心が高まる
9. 文化芸術活動を将来続けていききっかけとなる
10. その他（具体的に： ）
11. 特にない・分からない

第3章 公的統計を利用した文化の需要及び供給者の統計分析

前章では、文化庁「文化に関する世論調査」の公表データ・マイクロデータを用いて、主に、個別の文化的活動への参加に関して、どのような属性がどの程度影響しているのかについて、あるいは文化的活動間の関連性などについて実証的に分析し、文化政策のための基礎資料となる結果を導出した。しかしながら、「文化に関する世論調査」以外にも、文化に関する様々な情報を提供できる公的な統計調査が存在する。残念ながら、それらは文化に特化した調査ではないが、情報を適切に抽出することによって、様々な観点から、わが国の文化に関する状況を明らかにすることができる。文化庁・名城大学 (2023) の第3章では、文化に対する支出に関する統計調査として、総務省「全国家計構造調査 (旧 全国消費実態調査)」・「家計調査」、文化の提供者に関する統計調査として、総務省「国勢調査」・「就業構造基本調査」、文化的活動への参加に関する統計調査として、総務省「社会生活基本調査」、文化の貿易に関する統計として、財務省「貿易統計」、日本銀行「国際収支統計」などを取り上げて、それぞれの統計によって文化のどのような側面を把握することができ、分析に利用できるのかについて、実際にデータを提示しながら説明されている。また、文化庁・名城大学 (2023) の第4章では、社会生活基本調査の調査票情報 (マイクロデータ)¹を用いて、文化人口の推計や学歴と所得のクロス集計に関する分析が、2016年までに行われている。

本章では、文化の供給者としての文化関係就業者に関して就業構造基本調査を、また、文化の需要に関して社会生活基本調査を用いて分析を行った結果を示す。3.1節では、マイクロデータを用いた分析一般について説明した上で、第3.2節と3.3節では、文化関係の職業に就く就業者 (芸術家、文化関係就業者) の数の推移や、これまであまり明らかにされてこなかった文化関係就業者の収入の状況 (所得分布) や就業時間などについて、就業構造基本調査の公表データ (3.2節) ならびにマイクロデータ (3.3節)²を用いて考察する。就業構造基本調査において職業別の所得の状況等は、職業詳細区分 (職業中分類) については公表されているが、より詳細な分類である職業小分類については集計が公表されていないため、マイクロデータを利用する必要があるためである。さらに、3.4節及び3.5節では、文化庁・名城大学 (2023) で行われた社会生活基本調査のマイクロデータによる分析を、直近の2021年の結果を用いて同様の集計 (文化人口の推計³、学歴と所得のクロス集計⁴) を行った結果を示

¹ 調査票情報等の利用については、マイクロデータ活用ポータルサイト (<https://www.e-stat.go.jp/microdata/>) を参照されたい。

² 3.3節の統計表等は、統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「平成19年・平成24年・平成29年就業構造基本調査」 (総務省) のオーダーメイド集計により提供を受けた統計成果物を基にしている。

³ 3.4節で提示する集計は、統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「令和3年社会生活基本調査」 (総務省) の調査票情報の提供を受け、独自に作成・加工した統計であり、総務省が作成・公表している統計等とは異なっていることに注意されたい。

⁴ 3.5節の統計表等は、統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「令和3年社会生活基本調

す。2021 年 10 月に実施された社会生活基本調査において、文化的活動への参加（過去 1 年間の行動の有無）に関する結果が得られる生活行動に関する調査は、2020 年 10 月 20 日～2021 年 10 月 19 日の 1 年間における参加を対象としており、まさに行動制限が行われている期間の最中であるため、コロナ禍の影響をみることができる。

3. 1 公的統計におけるマイクロデータの利用

3.1.1 調査票情報の利用の必要性

公的統計を利用して文化に関する分析を行うためには、公表されている文化に関連する集計結果を選定し、利用することが基本である。しかしながら、公表されている集計表だけでは、必要な集計が得られない場合がある。

文化庁・名城大学 (2023) の 4.1 節では、社会生活基本調査における学歴（教育）と所得水準（世帯収入）を例にあげて、両者のクロス集計が必要であるが、そのクロス集計は公表されていないため、調査票情報（マイクロデータ）を利用して集計する必要があることを示している。以下では、就業構造基本調査を例に、マイクロデータによる集計の必要性を示しておこう。

図 3.1.1a は、就業構造基本調査の職業詳細区分（以下、職業中分類という）の公表データを用いて、「著述家、記者、編集者」の 1 年間の所得の分布を示している（3.2 節にも同様の図がある）。相対度数（階級幅調整済み）は 200～250 万円で最も大きく（最頻値）、かなり右に歪んだ分布となっていることがわかる。

しかしながら、著述家と記者・編集者はかなり特性が異なった職業であり、それらを一緒にした分類で所得分布をみてしまうと、適切な解釈をすることができない可能性がある。そこで、マイクロデータを利用して職業小分類別に所得を集計すれば、より詳細な情報を得ることが可能になる。図 3.1.1b は、職業中分類を、「著述家」と「記者、編集者」という小分類別に所得を集計した結果である。これで見ると、「記者、編集者」の所得の最頻値は 200-250 万円の階級で中分類の結果と同じであるが、「著述家」は、50 万円未満と 150～199 万円の 2 つの階級で山がある双峰の分布であり、最頻値は 50 万円未満の階級となっている。「著述家」の方が、全体的に「記者、編集者」よりも所得が低い部分に相対度数が集中しており、全体的に所得水準が「記者、編集者」よりも低くなっている。中央値（後述）を比較してみると、「著述家」は 225 万円、「記者、編集者」は 550 万円であり、「著述家」は「記者、編集者」の半分程度である。

査」（総務省）のオーダーメード集計により提供を受けた統計成果物及び文化庁・名城大学（2023）の成果を基にしている。

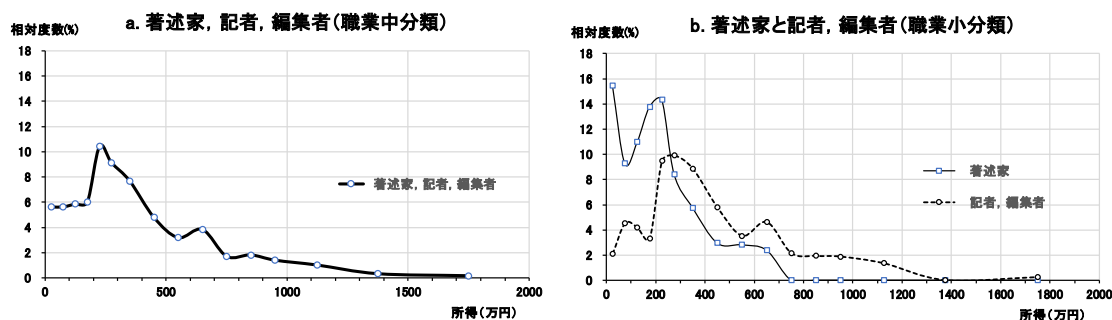


図3.1.1 著述家、記者、編集者の所得分布(2012年)

以上は、職業分類をマイクロデータを用いてより詳細な分類に分けることによって有用な結果が得られる例であるが、その他にもマイクロデータを用いると、公表データにはない様々な視点から詳細な分析が可能となる。

3.1.2 ミクロデータの利用方法

マイクロデータを利用する方法としては、オーダーメイド集計の利用、調査票情報の利用、匿名データの利用の3つの方法がある⁵。以下、順に概説していこう。

オーダーメイド集計

注5のマイクロデータ利用ポータルサイトによれば、オーダーメイド集計とは以下のようサービスである。

所管省庁が、一般からの委託に応じ、行政機関等が行った統計調査の調査票情報を利用して、統計の作成又は統計的研究を行うことをいいます。

所管省庁で行うオーダーメイド集計は、申出者が既存の統計調査の集計項目の分類一覧から項目を選択し、それらを組み合わせて作成する統計表の様式(統計表作成仕様書)に基づき、統計表を集計・作成し、提供するサービスです。

つまり、オーダーメイド集計とは、申出者が、ある統計調査において公表されていない集計を、所管官庁に依頼して代わりに集計してもらうことである。たとえば、社会生活基本調査において、学歴(教育)と所得水準(世帯収入)は調査され、それぞれで単純集計等を行っているが、両者のクロス集計は公表されていないため、所管官庁である総務省(実際は統計センター)に依頼して集計してもらい、集計結果の提供を受けるものである。ここでオーダーメイド集計のもとになるマイクロデータは、公表されている集計のもとになっているデータと同一であるから、集計結果は公表されているものと一致する(ただし、集計表にお

⁵ それぞれの利用方法については、マイクロデータ利用ポータルサイト (<https://www.e-stat.go.jp/microdata/order>) を参照されたい。また、統計情報研究開発センター(2023)は、実例等を提示しながら、わかりやすくマイクロデータの利用について説明した非常に有用な資料である。

けるセルの度数が5未満の場合は、秘匿処理が行われ、該当する度数は表示されない。

オーダーメード集計において、利用可能な分類項目は、基本的に既存の調査項目に限定されており、上の就業構造基本調査の例においてマイクロデータから中央値を算出するといった計算や、第2章で行っているようなモデル推計などを依頼することはできない。一方で、自らマイクロデータを読み込んだり、プログラムを作成したりする必要がなく、研究者が実際の集計を行う必要がないという便利さもある。他方、事前にすべての集計計画を完全に準備しておく必要があり、申請してから、集計計画以上の集計を依頼することはできない。なお、オーダーメード集計は有料であり、集計表の分量等に基づいて手数料が発生する。

本報告書では、3.3節で就業構造基本調査のオーダーメード集計を、3.5節で社会生活基本調査のオーダーメード集計をそれぞれ利用し、提供された集計結果を分析に用いている。

調査票情報の利用

上で述べた通り、オーダーメード集計だと、モデル推計や決められた分類項目以外の集計を行うことはできず、また、既存の集計計画以上の集計はできないことになっている。そこで、公表されている集計のもとになっているデータと同一の調査票情報（マイクロデータ）を提供し、それをもとに利用を申請する公的機関等が自ら集計することが、統計法33条で認められている⁶。これには、科研費のように公的機関からの補助を受けて行う研究も含まれている。マイクロデータの提供形態としては、DVDなどの媒体による提供と、オンサイト施設での利用がある。

オンサイト施設でのマイクロデータの利用とは、「統計センターと連携する大学や行政機関等に設置された情報セキュリティを確保したオンサイト施設において、調査票情報を利用」することであり、全国で20か所以上存在している⁷。情報セキュリティが確保されているというのは、オンサイト施設への通信機器（スマートフォンやノートPCを含む）やUSBなどの記録媒体などの持込みは禁止されており、入退室も管理されていることを指す。また、自分が用意したデータやプログラム、ソフトウェアなども直接持ち込むことはできず、事前に準備してオンサイト利用の窓口に送っておく必要がある。また、集計結果もすぐには持ち出すことはできず、審査を受けて、承認されてから提供されるという手続きが必要となる。このように、かなり厳格にセキュリティが確保されているが、オーダーメード集計では不可能なモデル推計などを、すべての調査票情報を用いて実行できることは、研究者にとって大きなメリットとなっている。

本報告書の3.4節では、社会生活基本調査の調査票情報をオンサイト施設で独自に集計した結果をもとに分析を行っている。

⁶ これ以外に、統計法33条の2による申請もあり、これは公的機関の補助がない大学の研究者などが、有償で調査票情報を利用する利用方法である。ただし、オンサイト利用に限られている。

⁷ <https://www.e-stat.go.jp/microdata/data-use/on-site-facilities>（2023年3月31日現在）。

匿名データの利用

このように、オーダーメード集計やオンサイト施設などでの調査票情報の利用には、制約が多く、利用のハードルも高い。そこで、もう少し利用しやすくしたものが、匿名データの利用である。

匿名データとは、「行政機関等が行う統計調査によって集められた調査票情報を、特定の個人又は法人その他の団体の識別（他の情報との照合による識別を含む。）ができないように加工したもの⁸」である。オーダーメード集計や調査票情報の利用では、収集したすべての調査票情報を用いているため、個人情報や個別の企業の情報などが漏洩しないように、あるいは特定されないように、様々な制限がつけられている。そこで、個人や企業が識別できないような匿名データを作成し、それを提供することによって、オーダーメード集計や調査票の利用においてかけられている種々の制限が緩和される。

匿名データでは、公表されている集計のもとになっているすべてのデータを用いるのではなく、そこから、無作為にサンプリング（リサンプリング、たとえば80%）したものを匿名化している。また、階級の区分数は調査票のそれよりも少なくすることによって、個人等が特定されないようになっている。たとえば、調査票では各歳ごとに調査されている年齢を5歳階級で表示する、市町村や都道府県別ではなく地域での区分にまとめてしまうなどである。

したがって、匿名データを集計しても、公表されている集計結果とは完全には一致しない。しかし、オーダーメード集計などのように集計計画の制限を受けないし、モデル推計などももちろん可能であり、使い勝手はとてもよいものになっている。もちろん、匿名化されているとはいえ、匿名データそのものがわかるような集計などは禁止され、適正な管理が求められる。なお、本報告書では、匿名データは用いていない。

参考文献

文化庁・名城大学 (2023)『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

統計情報研究開発センター編 (2023)『使ってみよう！マイクロデータ ― 社会生活基本調査の匿名データを用いた分析を例として ―』統計情報研究開発センター。

⁸ <https://www.nstac.go.jp/use/archives/anonymity/#ano12>

3.2 就業構造基本調査の公表データによる文化関係就業者に関する分析

ここまで、文化芸術のサービスがいかに受容されているか、いわば文化芸術の需要面について分析を進めてきた。本節では、その対面にあたる文化芸術の供給面について、文化に関連する職業に従事している就業者（文化芸術サービスの提供者）の人数や年齢、その就業状況や就業時間、年間収入¹などについて、公的データから検討していく。

日本に芸術文化を職業とする人がどれくらい存在するかを把握する統計資料として、最も基礎となるのは5年に一度全数調査が行われる「国勢調査」であるが、標本調査ではあるもののサンプルが50万世帯を超え、5年に一度行われる「就業構造基本調査」も重要な情報を提供してくれる。

「国勢調査」の抽出詳細集計（令和2年国勢調査では、抽出率10%程度）では、職業小分類別に就業者数が集計され、男女別、年齢別、従業上の地位別、産業別などの属性別に就業者数のデータを得ることができる。「国勢調査」の職業小分類別の就業者数を用いた文化関係就業者の人数に関しては、文化庁・名城大学（2023）の3.2節で分析されている。

一方、以下でとりあげる大規模標本調査である「就業構造基本調査」でも、同様の集計が行われている。両調査で芸術家数の推移をみると、2020年代に入って増加するなど、同じような傾向が見られる（国勢調査は2020年、就業構造基本調査は2022年）。また、「就業構造基本調査」では、「国勢調査」で行われている職業分類別の就業者に関する集計に加えて、所得（主な仕事からの年間収入・収益）、週間就業時間、年間就業日数など「国勢調査」にはない項目が調査・集計されている。「就業構造基本調査」のデータを分析することによって、芸術家の特徴をより詳細に分析することも可能である。

このような理由から、本節では「就業構造基本調査」の公表されているデータを用い、また3.3節では本研究が申請して行われたオーダーメイド集計によるより詳細なデータを用いて、様々な角度から文化関係就業者（以下、「芸術家」と呼ぶ）の状況について、その人数や年齢、雇用や就業の状況、さらには年間収入などについて検討していく。

3.2.1 就業構造基本調査における「芸術家」

本節では、「就業構造基本調査」を用いて、「芸術家」の状況について、人数や年齢、その就業状況や年間収入などについて検討を行う。

就業構造基本調査は、総務省統計局が行う、統計法に基づく基幹統計調査である。国民の就業および不就業の状態を把握し、全国および地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的として、5年ごと²に実施されている。

¹ 「就業構造基本調査」では、「所得（主な仕事からの年間収入・収益）」として調査されている。

² 昭和31（1956）年から昭和57（1982）年まではおおむね3年おきに調査されていたが、昭和57（1982）年以降は5年ごとに調査が行われている。

最新調査は令和4（2022）年10月1日に行われた第18回調査であり、全国約54万世帯の、15歳以上の世帯員約108万人が対象となっている。

調査では、15歳以上の世帯員に対して、全員に基本事項に加え、就業の有無や就学状況・卒業時期、訓練・自己啓発や育児、介護の状況を、有業者に対して主な仕事や主な仕事以外の仕事、さらに前職や初職について、無業者に対して就業の希望や前職、初職について尋ねている。また、世帯に対しては、世帯全体の年間収入、年齢別世帯人員を問うている。

本節では、このうち有業者について、「主な仕事（現職）」の職業分類から「芸術家」を割り出し、その数や様々な状況について検討をしていく。

そこで、まず、就業構造基本調査における職業分類を見てみよう。就業構造基本調査では、職業分類は、職業大分類（13区分）、職業詳細A区分（32区分）、職業詳細区分³（82区分）、職業小分類（302区分）の4段階で考えられている。公表データでは、「主な仕事（現職）」について、詳細区分あるいは小分類の結果が入手可能である。

各分類・区分の内容を見てみると、「芸術家」は職業大分類では「B：専門的・技術的職業」に属すると考えられ、さらに職業詳細区分では、表3.2.1左列に示す4区分が該当すると思われる。表3.2.1右列にそれぞれの詳細区分に含まれる職業小分類も示す。ただし、職業詳細区分B21は「B211 著述家」と「B212 記者、編集者」に分かれるが、「記者、編集者」は芸術文化従事者とは考えにくいいため、「芸術家」には該当しないと考える。また、B24は9つに区分されるが、そのうち芸術文化に関連すると思われる2分類のみ⁴を表示している。このように考え、8つの職業小分類が「芸術家」に対応すると判断し、分析していく。

表 3.2.1 就業構造基本調査における職業分類と「芸術家」

職業詳細区分	職業小分類
B21 著述家，記者，編集者	B211 著述家
	B212 記者，編集者 【除外】
B22 美術家，デザイナー， 写真家，映像撮影者	B22a 彫刻家，画家，工芸美術家
	B224 デザイナー
	B225 写真家，映像撮影者
B23 音楽家，舞台芸術家	B231 音楽家
	B23a 舞踏家，俳優，演出家，演芸家
B24 その他の専門的職業従事者	B24n 個人教師（音楽）
	B24p 個人教師（舞踏，俳優，演出，演芸）

³ 詳細区分は、2002年以前は中分類と呼ばれていた。

⁴ 他の分類は図書館司書、スポーツや学習指導、その他の個人教師、職業スポーツ従事者、通信機器操作従事者などである。

3.2.2 就業構造基本調査職業小分類データから見る「芸術家」の人数

まず、芸術家全体と上記の8つの小分類それぞれの人数、また、従業上の地位や雇用形態⁵について見ていこう。利用したデータのe-Statにおける表番号は、いずれも[全国編]の、平成19（2007）年が第19表、平成24（2012）年が第21表、平成29（2017）年が第21表、令和4（2022）年が第21表である。

（1）芸術家全体の人数

芸術家全体の人口の推移と内訳を、図3.2.1および表3.2.2から表3.2.10の「総数」欄に示す。

2022年に行われた最新の調査における有業者は67,060,400人（男性36,706,200人、女性30,354,200人）と推計されたが、芸術家はその約1%、681,000人（男性316,200人、女性364,800人）を占めている。2007年以来おおむね60万人から61万人で推移していたのが、今回の調査では7万人近く増えている。また、男女別では、2012年までは2万人弱女性の方が少なかったのが、2017年にほぼ差がなくなり、2022年には女性が5万人近く上回る結果となった。

内訳を見た場合⁶、男女合計では、増加傾向にある職業⁷は画家、デザイナー、俳優であり、逆に教師（音楽）では減少傾向が見られる。男性のみを見ると、画家、俳優で増加傾向、著述家、写真家、教師（俳優）で減少傾向が観察され、女性のみでは、著述家、デザイナー*、画家*、俳優*で増加が、教師（音楽）*で減少が観察された⁸。

以上を考え合わせると、2022年調査で芸術家人口が大きく増加した背景には、女性の教師（音楽）が大きく減じた一方、彫刻家・画家・工芸美術家（女性）、デザイナー（女性）で10,000人を超える増加、舞踏家・俳優・演出家・演芸家（男女とも）で10,000人近い増加が見られたからとわかる。

次に、表3.2.2の右側にまとめた芸術家全体の雇用形態について、検討する。

就業構造基本調査では、有業者の雇用形態を、自営業主、家族従業者、雇用者に分類し、雇用者はさらに会社などの役員と役員を除く雇用者⁹に、役員を除く雇用者はさらに正規の職員・従業員と非正規の職員・従業員に、非正規の職員・従業員はさらにパート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託などに細分化し、それぞれの人数を公表している。

⁵ 以下、「従業上の地位と雇用形態」のことを「雇用形態」と略して表記する。

⁶ 以下、本節における統計表において、就業構造基本調査の数値は表章単位の位で四捨五入されているため、総数と内訳の合計が一致しないことがある。また「一」は、0ではないが、四捨五入の結果100（人）に達しなかったことを示している。

⁷ 以下、煩雑さを避けるため、B21からB24pまでのジャンル名を、順に、著述家、画家、デザイナー、写真家、音楽家、俳優、教師（音楽）、教師（俳優）と略して記載することがある。

⁸ *をつけたジャンルは、動きが大きかったことを示している。

⁹ 表3.2.2から表3.2.10や以下の説明では、役員を除く雇用者を略して「雇用者」と表記している。

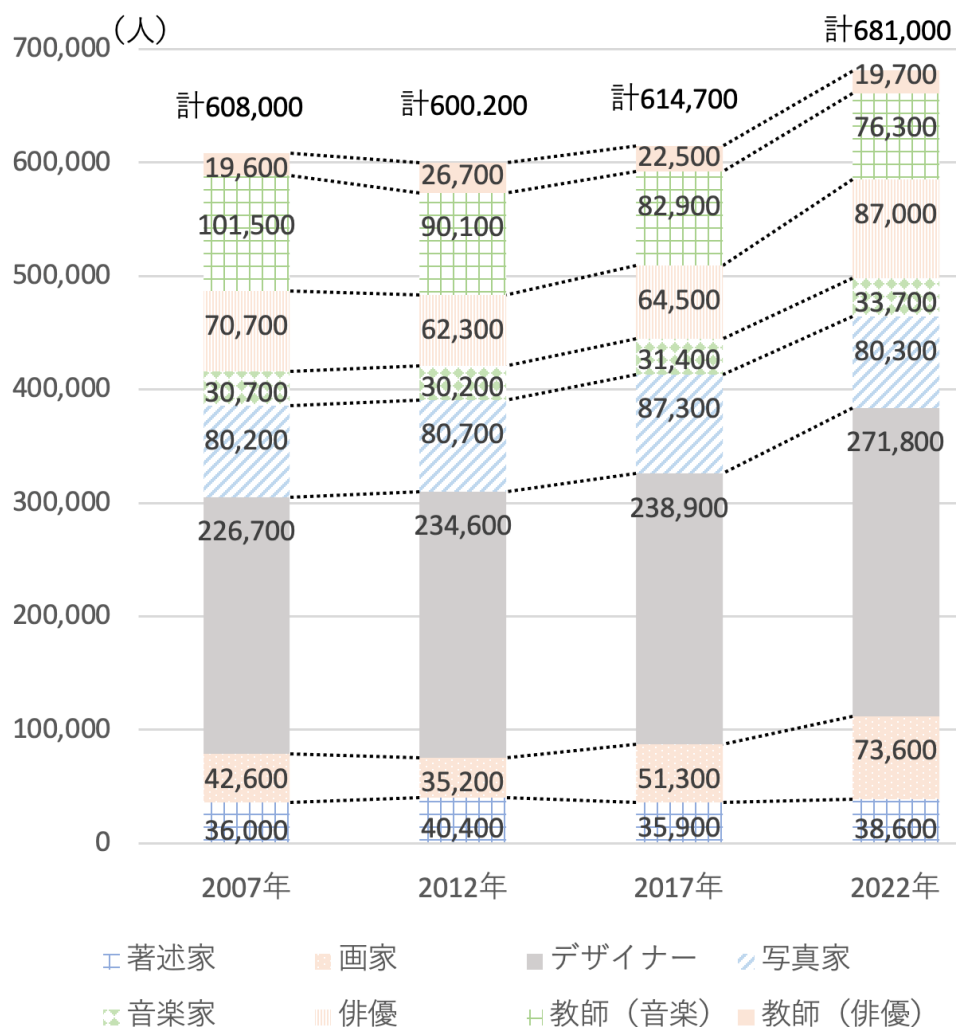


図 3.2.1 就業構造基本調査における「芸術家」人口の推移と内訳

以下の表ではそれらの情報のうち、4つの雇用形態（自営業主、家族従業者、会社などの役員、役員以外の雇用者）の人数、さらに雇用者の内訳（正規・非正規雇用）の人数を示している。

芸術家全体における雇用形態を見ると、男女合計では、自営業主（2022年で44.6%）と雇用者（46.2%）が多く、会社等の役員は8.0%、家族従業者は1%程度で、その比率は観察期間中であまり変わらない。男女別に見ると、雇用者、自営業主が多いことには変わりはないが、男性では雇用主よりも自営業主が多く（1.6%ポイント差）、女性では雇用者の方が多い（4.4%ポイント差）。男女とも家族従業者はごく少ないが、男性でよりいっそう少なく、役員については、男性は10%を超える年もあるが、女性は数%程度に過ぎない。

表 3.2.2 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態①

芸術家全体

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	608,000	272,300	7,400	46,500	281,500	182,200	99,200
		44.8%	1.2%	7.6%	46.3%	64.7%	35.2%
平成24（2012）年	600,200	262,100	6,000	38,300	293,500	181,300	112,300
		43.7%	1.0%	6.4%	48.9%	61.8%	38.3%
平成29（2017）年	614,700	278,400	6,800	36,800	292,600	190,100	102,500
		45.3%	1.1%	6.0%	47.6%	65.0%	35.0%
令和4（2022）年	681,000	303,700	7,700	54,500	314,900	224,400	90,600
		44.6%	1.1%	8.0%	46.2%	71.3%	28.8%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	310,300	139,300	900	35,800	134,400	106,000	28,400
		44.9%	0.3%	11.5%	43.3%	78.9%	21.1%
平成24（2012）年	310,100	135,000	600	29,600	144,700	108,800	35,900
		43.5%	0.2%	9.5%	46.7%	75.2%	24.8%
平成29（2017）年	308,300	143,600	900	27,200	136,600	109,600	27,000
		46.6%	0.3%	8.8%	44.3%	80.2%	19.8%
令和4（2022）年	316,200	140,200	900	40,300	135,000	109,900	25,100
		44.3%	0.3%	12.7%	42.7%	81.4%	18.6%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	297,600	133,100	6,500	10,800	147,100	76,100	71,000
		44.7%	2.2%	3.6%	49.4%	51.7%	48.3%
平成24（2012）年	290,300	127,100	5,400	8,700	148,700	72,500	76,200
		43.8%	1.9%	3.0%	51.2%	48.8%	51.2%
平成29（2017）年	306,400	134,800	5,900	9,500	156,000	80,500	75,400
		44.0%	1.9%	3.1%	50.9%	51.6%	48.3%
令和4（2022）年	364,800	163,700	6,800	14,200	179,900	114,400	65,500
		44.9%	1.9%	3.9%	49.3%	63.6%	36.4%

以下、8つの小分類それぞれの芸術家の人数、雇用形態の特徴を男女合計および男女別に見ていく。

（2）著述家（表 3.2.3）

著述家の人数は2007年には36,000人、2022年に38,600人であり、この間大きな変動はない。ただ男女比は調査年により2007年2.1：1、2012年1：1.1、2017年1.9：1、2022年1：1.7と大きく変動していた。2007年と2022年を比較するならば、男性は10,200人の減、女性は12,800人の増であった。

雇用形態を見ると、圧倒的に自営業主が多く、2022年・男女合計では83.9%を占めた。この比率は2017年までに比べ大きく増加しているが（2017年と比べ10.1%ポイント増）、

その背景には雇用者の大きな減少（2017 年から 10.0%ポイント減）がある。役員の比率は減少傾向にはあるが、大きな変動は見られない。これらの変動は、性別に見た場合、女性では観察されるが、男性ではいずれの雇用形態の比率もそこまでの変動は見られない。また雇用者の内訳を見ると、男女合計では正規雇用：非正規雇用の比率は 2022 年に 6：4 であり、大きな流れとしては非正規化が見られる（非正規雇用者は 2007 年に比べ 16.0%ポイント増）。しかし、男性では一貫して正規雇用者が多く、雇用者の 70-90%を占めた一方、女性では年によっては正規率が 90%を超えたこともあったが、非正規化の傾向が見られ、2022 年には 1：2 の割合で非正規雇用者が多くなっており、男女による雇用状況に大きな違いがみられた。

表 3.2.3 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態②

著述家

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	36,000	28,000 77.8%	—	3,100 8.6%	4,900 13.6%	3,800 77.6%	1,200 24.5%
平成24（2012）年	40,400	31,000 76.7%	—	2,500 6.2%	6,900 17.1%	4,300 62.3%	2,700 39.1%
平成29（2017）年	35,900	26,500 73.8%	—	1,900 5.3%	7,500 20.9%	5,900 78.7%	1,500 20.0%
令和4（2022）年	38,600	32,400 83.9%	—	2,000 5.2%	4,200 10.9%	2,500 59.5%	1,700 40.5%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	24,400	18,400 75.4%	—	2,300 9.4%	3,700 15.2%	2,600 70.3%	1,100 29.7%
平成24（2012）年	19,400	14,100 72.7%	—	1,400 7.2%	3,900 20.1%	3,500 89.7%	400 10.3%
平成29（2017）年	23,500	17,000 72.3%	—	1,400 6.0%	5,100 21.7%	4,500 88.2%	600 11.8%
令和4（2022）年	14,200	10,600 74.6%	—	1,400 9.9%	2,200 15.5%	1,800 81.8%	400 18.2%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	11,600	9,500 81.9%	—	800 6.9%	1,300 11.2%	1,200 92.3%	100 7.7%
平成24（2012）年	21,000	16,900 80.5%	—	1,100 5.2%	3,000 14.3%	800 26.7%	2,200 73.3%
平成29（2017）年	12,400	9,500 76.6%	—	600 4.8%	2,300 18.5%	1,400 60.9%	900 39.1%
令和4（2022）年	24,400	21,800 89.3%	—	600 2.5%	2,000 8.2%	700 35.0%	1,300 65.0%

(3) 彫刻家、画家、工芸美術家 (表 3.2.4)

彫刻家、画家、工芸美術家の人数は、期間中おおむね増加傾向にあり、2007 年の 42,600 人が 2022 年には 73,600 人となった。この 31,000 人の増加の内訳は、男性は 9,600 人、女性は 21,300 人である。彫刻家、画家、工芸美術家については、2017 年に女性の人数が男性を上回った。

雇用形態では自営業主が多く、2007 年を除いて、男女合計ではおよそ 80%から 90%を占めている。家族従業者、役員はわずかで、雇用者が 10%前後を占めている。このような傾向は男女ともに見られるが、雇用者の内訳では性別によりかなりの違いが見られる。男性では 2007 年を除いては正規雇用者が半数以上を占めており、2022 年では正規雇用と非正規雇用の比率は 2 : 1 であった。一方、女性では非正規雇用が雇用者の大半を占めており

表 3.2.4 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態③

彫刻家、画家、工芸美術家

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	42,600	31,500	1,000	700	9,500	2,200	7,300
		73.9%	2.3%	1.6%	22.3%	23.2%	76.8%
平成24 (2012) 年	35,200	32,400	200	800	1,700	400	1,300
		92.0%	0.6%	2.3%	4.8%	23.5%	76.5%
平成29 (2017) 年	51,300	46,100	100	600	4,500	1,400	3,100
		89.9%	0.2%	1.2%	8.8%	31.1%	68.9%
令和4 (2022) 年	73,600	60,300	400	2,600	10,300	4,700	5,500
		81.9%	0.5%	3.5%	14.0%	45.6%	53.4%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	21,900	19,900	—	100	1,900	200	1,700
		90.9%		0.5%	8.7%	10.5%	89.5%
平成24 (2012) 年	19,600	18,700	—	400	400	200	200
		95.4%		2.0%	2.0%	50.0%	50.0%
平成29 (2017) 年	24,500	22,600	—	400	1,500	1,000	600
		92.2%		1.6%	6.1%	66.7%	40.0%
令和4 (2022) 年	31,500	26,200	—	1,600	3,800	2,500	1,200
		83.2%		5.1%	12.1%	65.8%	31.6%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	20,800	11,600	1,000	600	7,600	1,900	5,700
		55.8%	4.8%	2.9%	36.5%	25.0%	75.0%
平成24 (2012) 年	15,700	13,800	200	400	1,300	200	1,100
		87.9%	1.3%	2.5%	8.3%	15.4%	84.6%
平成29 (2017) 年	26,900	23,600	100	200	3,000	400	2,600
		87.7%	0.4%	0.7%	11.2%	13.3%	86.7%
令和4 (2022) 年	42,100	34,200	400	1,000	6,500	2,200	4,300
		81.2%	1.0%	2.4%	15.4%	33.8%	66.2%

90%近くに達したこともあった。2022 年でも 1：2 と非正規雇用者が多い。男女合計の比率を見た際いずれの年でも非正規雇用が多数を占めることが観察されるが、この結果は男女の比率の加重平均に当たるため、政策的な判断を行う場合には注意が必要である。

(4) デザイナー (表 3.2.5)

デザイナーは、男女合計で見ても、男女別に見ても、最も人数の多いジャンルである。2022 年で見ると 271,800 人、芸術家全体の 39.9%を占める。男女比は、従来男性が数十%多かったが、2022 年に大きく女性のデザイナーが増加し、女性が 13,200 人上回った。

雇用形態の割合は観察期間中大きな変化を見せず、雇用者が過半数を占めて最も多い(男女合計：65%前後、男性：55%前後、女性：75%前後)。自営業主は男性で若干多く

表 3.2.5 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態④

デザイナー

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	226,700	59,600	1,200	23,700	142,100	113,700	28,400
		26.3%	0.5%	10.5%	62.7%	80.0%	20.0%
平成24 (2012) 年	234,600	58,700	2,000	19,800	154,100	109,700	44,400
		25.0%	0.9%	8.4%	65.7%	71.2%	28.8%
平成29 (2017) 年	238,900	62,700	2,500	19,500	154,200	119,600	34,600
		26.2%	1.0%	8.2%	64.5%	77.6%	22.4%
令和4 (2022) 年	271,800	69,300	2,400	21,200	178,800	147,500	31,300
		25.5%	0.9%	7.8%	65.8%	82.5%	17.5%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	129,500	40,000	—	18,500	70,900	64,400	6,600
		30.9%	—	14.3%	54.7%	90.8%	9.3%
平成24 (2012) 年	138,400	41,400	—	15,400	81,600	64,000	17,600
		29.9%	—	11.1%	59.0%	78.4%	21.6%
平成29 (2017) 年	124,800	41,900	200	14,400	68,400	59,100	9,200
		33.6%	0.2%	11.5%	54.8%	86.4%	13.5%
令和4 (2022) 年	129,300	40,400	400	15,200	73,300	62,700	10,600
		31.2%	0.3%	11.8%	56.7%	85.5%	14.5%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19 (2007) 年	97,200	19,600	1,200	5,200	71,200	49,300	21,800
		20.2%	1.2%	5.3%	73.3%	69.2%	30.6%
平成24 (2012) 年	96,200	17,300	2,000	4,400	72,500	45,700	26,800
		18.0%	2.1%	4.6%	75.4%	63.0%	37.0%
平成29 (2017) 年	114,100	20,800	2,300	5,100	85,800	60,500	25,300
		18.2%	2.0%	4.5%	75.2%	70.5%	29.5%
令和4 (2022) 年	142,500	28,900	2,000	6,000	105,500	84,800	20,700
		20.3%	1.4%	4.2%	74.0%	80.4%	19.6%

（男女合計：25%前後、男性：30%前後、女性：20%前後）、役員も男性で多かった（男女合計：10%弱、男性：10%強、女性：5%前後）がその比率は漸減している。家族従業者は非常にわずかであった。また、雇用者の内訳では正規雇用の比率が高く、雇用者全体の70-80%を占めた。男性の比率の方が高い（男性：80-90%、女性：70-80%）が、男性では漸減傾向が、女性では漸増傾向が見られる。

（５）写真家、映像撮影者（表 3.2.6）

写真家、映像撮影者の人数は観察期間を通じて約 8 万人である。2017 年に 2012 年と比べて男性で 1,600 人、女性で 5,000 人増えたことから男女合計の人数が 87,300 人と増えたことはあったが、2022 年に女性は 500 人減、男性は 6,500 人と大きく減少したため、2022

表 3.2.6 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態⑤

写真家、映像撮影者

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	80,200	28,800	3,100	8,700	39,600	24,300	15,300
		35.9%	3.9%	10.8%	49.4%	61.4%	38.6%
平成24（2012）年	80,700	33,900	2,300	6,600	37,900	24,700	13,200
		42.0%	2.9%	8.2%	47.0%	65.2%	34.8%
平成29（2017）年	87,300	31,500	2,200	5,800	47,800	28,500	19,300
		36.1%	2.5%	6.6%	54.8%	59.6%	40.4%
令和4（2022）年	80,300	31,200	2,600	10,500	36,000	22,100	14,000
		38.9%	3.2%	13.1%	44.8%	61.4%	38.9%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	59,800	26,600	600	7,700	25,100	18,600	6,400
		44.5%	1.0%	12.9%	42.0%	74.1%	25.5%
平成24（2012）年	59,500	31,000	600	6,200	21,700	17,500	4,200
		52.1%	1.0%	10.4%	36.5%	80.6%	19.4%
平成29（2017）年	61,100	28,600	600	5,000	26,900	21,500	5,400
		46.8%	1.0%	8.2%	44.0%	79.9%	20.1%
令和4（2022）年	54,600	27,000	400	8,900	18,300	13,700	4,600
		49.5%	0.7%	16.3%	33.5%	74.9%	25.1%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	20,300	2,300	2,500	1,000	14,500	5,700	8,700
		11.3%	12.3%	4.9%	71.4%	39.3%	60.0%
平成24（2012）年	21,200	2,800	1,700	400	16,200	7,200	9,000
		13.2%	8.0%	1.9%	76.4%	44.4%	55.6%
平成29（2017）年	26,200	2,900	1,600	700	20,900	7,000	13,900
		11.1%	6.1%	2.7%	79.8%	33.5%	66.5%
令和4（2022）年	25,700	4,200	2,200	1,600	17,700	8,300	9,400
		16.3%	8.6%	6.2%	68.9%	46.9%	53.1%

年の人数は2007年とほぼ同数となっている。

雇用形態は期間を通じてほぼ同様で、男女合計ではおおむね、自営業主40%、役員10%、雇用者50%、家族従業者が数%であった。男性では自営業主が多く（男性：50%弱、女性：10%強）、雇用者は女性で多かった（男性：40%前後、女性：70%強）。雇用者の内訳を見ると、男女合計や男性では正規職が多い傾向が見られるが（男性の正規率：75-80%）、女性では非正規職が雇用者の60%前後を占めていた。

（6）音楽家（表3.2.7）

音楽家の人数は2007年に30,700人、男性は17,400人、女性13,300人と男性が30%程

表3.2.7 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態⑥

音楽家

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	30,700	16,900	300	2,600	10,800	2,800	8,000
		55.0%	1.0%	8.5%	35.2%	25.9%	74.1%
平成24（2012）年	30,200	17,800	0	900	11,500	3,500	8,000
		58.9%	0.0%	3.0%	38.1%	30.4%	69.6%
平成29（2017）年	31,400	20,300	100	1,900	9,100	4,300	4,800
		64.6%	0.3%	6.1%	29.0%	47.3%	52.7%
令和4（2022）年	33,700	20,700	－	3,700	9,400	3,800	5,600
		61.4%		11.0%	27.9%	40.4%	59.6%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	17,400	12,400	－	1,600	3,300	700	2,500
		71.3%		9.2%	19.0%	21.2%	75.8%
平成24（2012）年	17,000	12,200	－	600	4,200	3,000	1,300
		71.8%		3.5%	24.7%	71.4%	31.0%
平成29（2017）年	19,900	13,200	－	1,700	5,000	3,300	1,700
		66.3%		8.5%	25.1%	66.0%	34.0%
令和4（2022）年	20,300	13,900	－	3,500	2,900	1,500	1,400
		68.5%		17.2%	14.3%	51.7%	48.3%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	13,300	4,500	300	1,000	7,500	2,100	5,500
		33.8%	2.3%	7.5%	56.4%	28.0%	73.3%
平成24（2012）年	13,200	5,500	0	300	7,300	500	6,800
		41.7%	0.0%	2.3%	55.3%	6.8%	93.2%
平成29（2017）年	11,400	7,000	100	200	4,100	1,000	3,100
		61.4%	0.9%	1.8%	36.0%	24.4%	75.6%
令和4（2022）年	13,400	6,800	－	200	6,400	2,300	4,100
		50.7%		1.5%	47.8%	35.9%	64.1%

度多かった。人数は2017年までほとんど変化がなかった¹⁰が、2022年には男女とも増加した結果、33,700人となった。芸術家全体に占める比率は期間を通じて5%程度である。

雇用形態は、自営業主が過半数を占め（60%前後）、特に男性では高い（70%前後、女性は30-60%程度）。企業に勤める者は、役員が全体の約10%、雇用者が30-40%を占めた。役員は男性で多く（2022年は17.2%）、女性は非常に少ない。雇用者は女性で多く、男性が全体の20%前後に対し、女性は50%を超える年もあった。雇用者の内訳を見ると男女合計でも非正規率は過半数だった（2022年に59.6%、70%を上回る年もあった）が、女性でより高い傾向が見られた（2022年に男性：48.3%、女性：64.1%）。

（7）舞踏家、俳優、演出家、演芸家（表3.2.8）

舞踏家、俳優、演出家、演芸家という舞台に関わる仕事をしている芸術家の総数は、2007年の70,000人から2012、2017年と6万人台に減少した後、2022年に87,000人と大きく増加している。この動きは男性でも女性でも見られ、2022年の男性は50,400人、女性は36,600人であった。期間を通じて男性の方が女性より多数であった。

芸術家全体に占める割合は、期間を通じて10%を超えており、2022年では12.8%であった。

雇用形態は自営業主：20%強、役員：10%前後、雇用者：60-70%、家族従業者はごくわずかである。年による変化はさほど大きくなかったが、弱いながら自営業主が増え、雇用者が減る傾向が見られる。このような動きは男女で異なる。男性はおおむね男女合計と同様の比率だが、女性では変動が大きい。2007年には自営業主が少なかった（20%弱）のが2017年以降40%弱にまで増えており、役員はごく少数である一方、雇用者は2007年、2012年には80%前後だったのが、2017年には54.1%に急落し、2022年は55.7%であった。また雇用者の内訳を見ると、いずれのグループでも正規雇用が過半数を占めているが、男女で比較すると、男性は雇用者の70-80%が正規職なのに対し、女性では40-70%と、女性では非正規職が多い¹¹ことが観察された。

¹⁰ 2012年は男女ともほぼ変化がなく、2017年は男性は3,000人近く増えたが、女性が2,000人近く減少したため、男女合計としては1,000人程度の増加にとどまった。

¹¹ 2007年、2017年では、女性の正規雇用者を非正規雇用者が上回った。

表 3.2.8 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態⑦

舞踏家，俳優，演出家，演芸家

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	70,700	15,500	0	5,400	49,700	28,000	21,700
		21.9%	0.0%	7.6%	70.3%	56.3%	43.7%
平成24（2012）年	62,300	13,500	100	5,500	43,200	30,400	12,800
		21.7%	0.2%	8.8%	69.3%	70.4%	29.6%
平成29（2017）年	64,500	17,400	600	5,200	41,300	26,100	15,200
		27.0%	0.9%	8.1%	64.0%	63.2%	36.8%
令和4（2022）年	87,000	22,700	－	11,500	52,700	39,500	13,200
		26.1%		13.2%	60.6%	75.0%	25.0%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	42,600	10,700	－	5,000	27,000	18,300	8,600
		25.1%		11.7%	63.4%	67.8%	31.9%
平成24（2012）年	40,500	9,100	－	5,100	26,300	18,600	7,800
		22.5%		12.6%	64.9%	70.7%	29.7%
平成29（2017）年	38,500	7,300	－	3,900	27,300	19,400	7,900
		19.0%		10.1%	70.9%	71.1%	28.9%
令和4（2022）年	50,400	9,300	－	8,800	32,300	26,400	6,000
		18.5%		17.5%	64.1%	81.7%	18.6%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	28,100	4,900	0	400	22,800	9,700	13,100
		17.4%	0.0%	1.4%	81.1%	42.5%	57.5%
平成24（2012）年	21,800	4,500	100	400	16,900	11,800	5,000
		20.6%	0.5%	1.8%	77.5%	69.8%	29.6%
平成29（2017）年	25,900	10,100	600	1,200	14,000	6,700	7,300
		39.0%	2.3%	4.6%	54.1%	47.9%	52.1%
令和4（2022）年	36,600	13,500	－	2,700	20,400	13,100	7,300
		36.9%		7.4%	55.7%	64.2%	35.8%

（８）個人教師（音楽）（表 3.2.9）

個人教師（音楽）の推移はいろいろな意味で特徴的である。まず，男女合計での人数の推移を見てみよう。2007 年の総数は 101,500 人，それが調査ごとに大きく減じていき，2022 年には 76,300 人となった。男女比率では，従来から女性が多く 2007 年では 1：8.7 であった。その後男性の人数は 2012 年，2022 年には増加した一方，女性の人数は大きく減少を続けたため，2022 年には 1：5.3（男性：12,100 人，女性：64,200 人）となった。この結果，芸術家全体に占める割合は，男女合計では 16.7%から 11.2%へ下落したが，男性では水準が低いこともありあまり変化はない（3.4%から 3.8%に）一方，女性では女性芸術家の 30.6%を占めていたのが 17.6%にまで下落した。女性芸術家の内訳を見た時，2007 年では個人教師（音楽）は 32.7%を占めるデザイナーに肉薄していたのが，第 2 位ではあり

続けるものの大きく比率を下げていた¹²。

雇用形態を見てみよう。男女合計では自営業主が 80%弱、雇用者が 20%前後を占めた。これらの傾向は、ほとんどの調査年で男女ともに観察された¹³。わずかながら、男性ではより自営業主が多く、女性では雇用者が多い傾向が見られる。雇用者の内訳を見ると、いずれのグループでも非正規雇用者が多く、男女合計や女性では 80%から 90%へとより上昇する傾向が見られる。男性の動きは傾向があまり見られないが、いずれの調査年でも非正規雇用率は 80%を超えており、非正規雇用者が多い傾向に変わりはない。

表 3.2.9 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態⑧

個人教師（音楽）

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	101,500	82,000	1,100	1,600	16,800	3,400	13,300
		80.8%	1.1%	1.6%	16.6%	20.2%	79.2%
平成24（2012）年	90,100	63,100	500	900	25,400	3,500	21,900
		70.0%	0.6%	1.0%	28.2%	13.8%	86.2%
平成29（2017）年	82,900	60,400	300	1,200	21,000	2,100	19,000
		72.9%	0.4%	1.4%	25.3%	10.0%	90.5%
令和4（2022）年	76,300	58,300	1,500	1,600	14,900	1,400	13,600
		76.4%	2.0%	2.1%	19.5%	9.4%	91.3%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	10,500	8,700	0	500	1,300	300	1,000
		82.9%	0.0%	4.8%	12.4%	23.1%	76.9%
平成24（2012）年	11,000	6,100	—	200	4,700	400	4,300
		55.5%	—	1.8%	42.7%	8.5%	91.5%
平成29（2017）年	9,200	8,100	—	—	1,100	—	1,100
		88.0%	—	—	12.0%	—	100.0%
令和4（2022）年	12,100	10,700	100	400	1,000	200	800
		88.4%	0.8%	3.3%	8.3%	20.0%	80.0%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	91,000	73,300	1,100	1,100	15,500	3,100	12,300
		80.5%	1.2%	1.2%	17.0%	20.0%	79.4%
平成24（2012）年	79,100	57,000	500	700	20,600	3,100	17,600
		72.1%	0.6%	0.9%	26.0%	15.0%	85.4%
平成29（2017）年	73,800	52,300	200	1,200	20,000	2,100	17,900
		70.9%	0.3%	1.6%	27.1%	10.5%	89.5%
令和4（2022）年	64,200	47,600	1,400	1,200	14,000	1,200	12,800
		74.1%	2.2%	1.9%	21.8%	8.6%	91.4%

¹² なお、2022 年の女性芸術家に占める女性デザイナーの割合は 39.1%であった。

¹³ 男性の 2012 年のみ異なる傾向が見られる。

(9) 個人教師（舞家、俳優、演出、演芸）（表 3.2.10）

個人教師（舞家、俳優、演出、演芸）の人数は、20,000 人前後と芸術家の中で数%を占めるに過ぎない。男性の人数は多くの調査年で 5,000 人を割り込む一方、女性は常に 15,000 人を超えており、女性の比重が高い。

雇用形態は、男女合計で見た場合、その多寡は調査年によるが、自営業主と雇用者を合わせると全体の 90%を占めていた。自営業主の比率は男性でより高く、雇用者の比率は女性でより高かった。家族従業者は男性ではほぼいなかったが、女性や男女合計では数%を占め、企業役員は男性でより多く、女性でも数%に達することがあった。雇用者の内訳を見ると、男性では圧倒的に正規雇用が多いが、女性では大半が非正規雇用であり、その結果、女性の人数が多いことから、男女合計では若干非正規雇用が多い傾向が見られた。

表 3.2.10 就業構造基本調査における「芸術家」の人数と雇用形態⑨

個人教師（舞踏、俳優、演出、演芸）

男女合計	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	19,600	10,000	700	700	8,100	4,000	4,000
		51.0%	3.6%	3.6%	41.3%	49.4%	49.4%
平成24（2012）年	26,700	11,700	900	1,300	12,800	4,800	8,000
		43.8%	3.4%	4.9%	47.9%	37.5%	62.5%
平成29（2017）年	22,500	13,500	1,000	700	7,200	2,200	5,000
		60.0%	4.4%	3.1%	32.0%	30.6%	69.4%
令和4（2022）年	19,700	8,800	800	1,400	8,600	2,900	5,700
		44.7%	4.1%	7.1%	43.7%	33.7%	66.3%

男性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	4,200	2,600	300	100	1,200	900	300
		61.9%	7.1%	2.4%	28.6%	75.0%	25.0%
平成24（2012）年	4,700	2,400	—	300	1,900	1,600	300
		51.1%	—	6.4%	40.4%	84.2%	15.8%
平成29（2017）年	6,800	4,900	100	400	1,300	800	500
		72.1%	1.5%	5.9%	19.1%	61.5%	38.5%
令和4（2022）年	3,800	2,100	0	500	1,200	1,100	100
		55.3%	0.0%	13.2%	31.6%	91.7%	8.3%

女性	総数	自営業主	家族従業者	役員	雇用者	雇用者	
						正規雇用	非正規雇用
平成19（2007）年	15,300	7,400	400	700	6,800	3,100	3,600
		48.4%	2.6%	4.6%	44.4%	45.6%	52.9%
平成24（2012）年	22,100	9,300	900	1,000	10,900	3,200	7,700
		42.1%	4.1%	4.5%	49.3%	29.4%	70.6%
平成29（2017）年	15,700	8,600	900	300	5,900	1,400	4,400
		54.8%	5.7%	1.9%	37.6%	23.7%	74.6%
令和4（2022）年	15,900	6,700	800	900	7,400	1,800	5,600
		42.1%	5.0%	5.7%	46.5%	24.3%	75.7%

3.2.3 就業構造基本調査職業詳細区分データから見る「芸術家」の年齢

ここからは、「就業構造基本調査」職業詳細区分（旧中分類）データを用いて捉えられる芸術家の特徴を検討する。本項では、芸術家の年齢について見ていく。

なお、表 3.2.1 よりわかるように、中分類で芸術家に関連するのは「B21 著述家，記者，編集者」「B22 美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者」「B23 音楽家，舞台芸術家」「B24 その他の専門的職業従事者」の4分類である。しかし B24 は小分類では9つに分かれるが、そのうち「個人教師（音楽）」と「個人教師（舞踏他）」の2分類しか芸術家には対応していない。このため、以下の分析では B21, B22, B23 のみを対象としている。なお、その際、B21 の結果には、小分類では分析対象としなかった「B212 記者，編集者」も含まれている点¹⁴に留意しながら検討を行なっていく。

芸術家の年齢分布

「就業構造基本調査」令和 4（2022）年調査の第 15 表を用いて、芸術家の 3 区分における年齢分布を作成した¹⁵（図 3.2.2）。

男女合計の動きを見ると、いずれの区分でも若年層から壮年層に人数が増え、その後、人数が減っていく様子が観察される。ピークは、著述家，記者，編集者（著述家他）と音楽家，舞台芸術家（音楽家他）では 40 代，美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者（美術家他）では 30 代であった¹⁶。

これらの動きを性別に見ると、男性ではおおむね総数と同様の動きが見られた¹⁷のに対し、女性では、かなり様相が異なった。著述家他や音楽家他では若年層から壮年層にかけてほとんど増加が見られず、60 代以降急激に芸術家の数は減少した。美術家他でも若年層からの増加の度合いは弱く、30 代がピークとなり、それ以降歳をとるごとに人数が急減している。なお、日本では一般に女性の就労状況（労働力率）が M 字カーブを描くことが知られるが、3 区分ともでそういった動きは見られず、芸術家に関しては他の職業に比べ、結婚・出産・子育て等による中断は少ないと思われる。

¹⁴ 2022 年の人数で見た場合、B21 の人数 131,900 人のうち、B211 著述家が 38,600 人(29.3%)に対し、B212 記者，編集者は 93,300 人（70.7%）と芸術家以外の比重が高いことから、注意が必要である。

¹⁵ 第 15 表での年齢区分は、15-19 歳から 80-84 歳、85 歳以上の 15 区分であるが、それを 20 代以下から 80 代以上までの 7 区分にまとめて表示している。

¹⁶ これらの特徴は、平成 29（2017）年調査の結果についてもおおむね確認されている（文化庁（2021））。

¹⁷ ただし、男性では、美術家他も含め 3 区分ともで、40 代で最も人数が多かった。

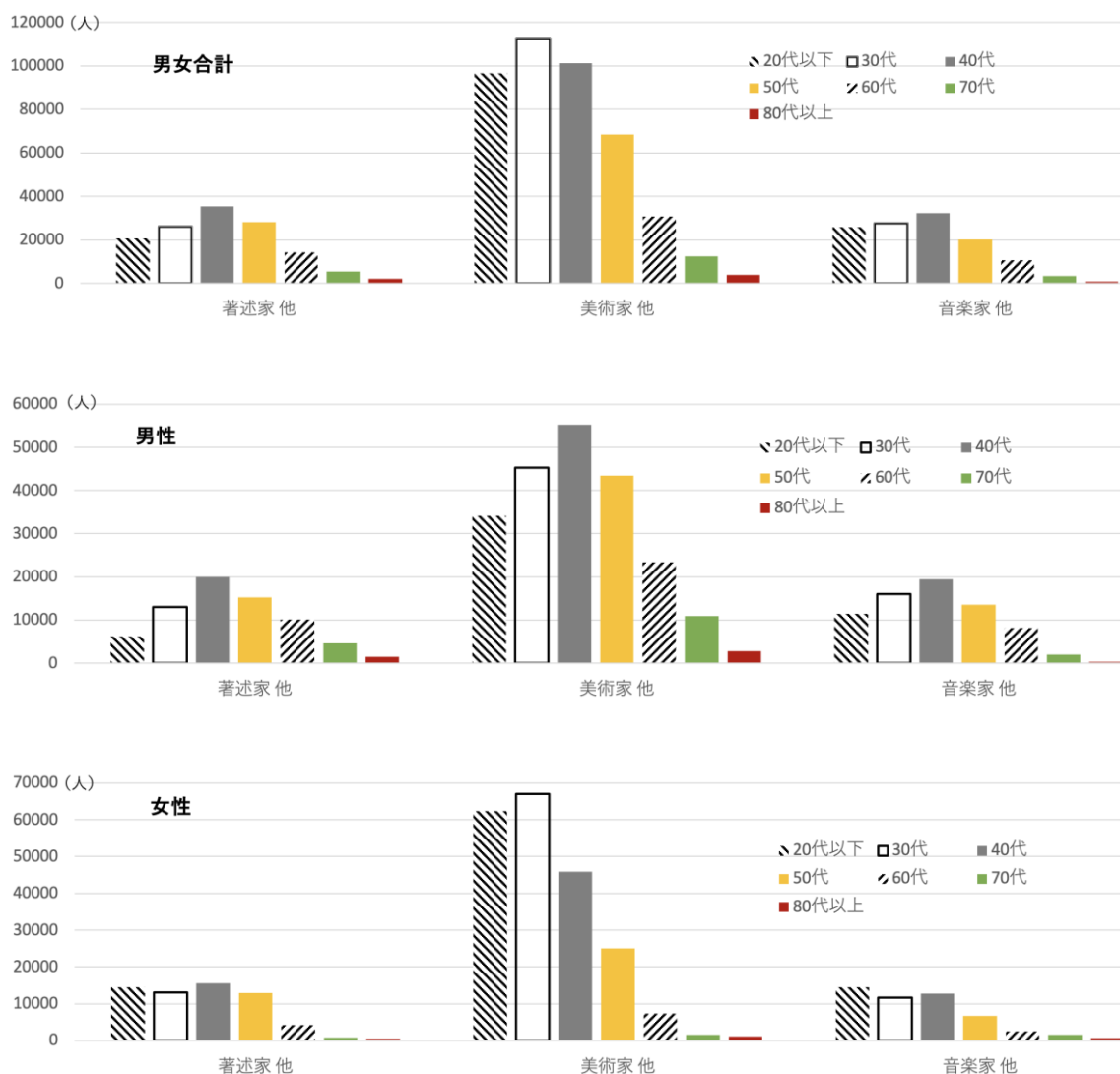


図 3.2.2 就業構造基本調査における「芸術家」の年齢分布

芸術家における同一出生集団（コーホート）の動き

就業構造基本調査における年齢の調査は、従来から5年おきに行われている。そこで、平成19（2007）年調査の第13表、平成24（2012）年調査の第15表、平成29（2017）年調査の第15表を合わせて利用する¹⁸ことにより、5年ごとの年齢別データとみなし、同一出生集団（コーホート）の変化を見ることができる。

たとえば、1983-1987年生まれの世代を考えると、著述家の人数は、平成19(2007)年調査より20～24歳の5,900人、平成24(2012)年調査より25～29歳の10,000人、平成29(2017)年

¹⁸ ただし、平成19（2007）年調査における職業詳細区分の「音楽家」は小分類の「個人教師（音楽）」をも含んでおり、その内容が大きく異なる。そのため、音楽家の推移についてはH24、H29、R4年の3つの調査を用いてグラフを描写している。

調査より 30～34 歳の 11,400 人， 令和 4(2022)年調査より 35～39 歳の 13,700 人という推移であることがわかる。

著述家他， 美術家他， 音楽家他， それぞれの職業詳細区分について， 総数および男女別に見たコーホートの動きを図 3.2.3 および図 3.2.4 に示す。図では， 同じ世代（コーホート）の 4 あるいは 3 調査の結果が 1 本の線で表示されている。

図 3.2.3 より， 著述家他や美術家他， 男女合計あるいは男性のグラフでは， 種々のコーホートの線は多少のばらつきは見せるものの， おおむね大きな一本の弧を描いており， 縦方向にあまり線が離れていない。このことから， コーホート効果（世代による違い）がこれらの区分・属性ではあまり大きくないことがわかる。他方， 女性では線のばらつきが大きく， 縦方向に離れた箇所が散見される。著述家では， 1978-82 年生まれ， 1988-92 年生まれ， 1998-2002 年生まれの動きが全体の傾向よりも高く観察された。また， 美術家他では， 1983-87 年生まれなどにコーホート効果が見られる。

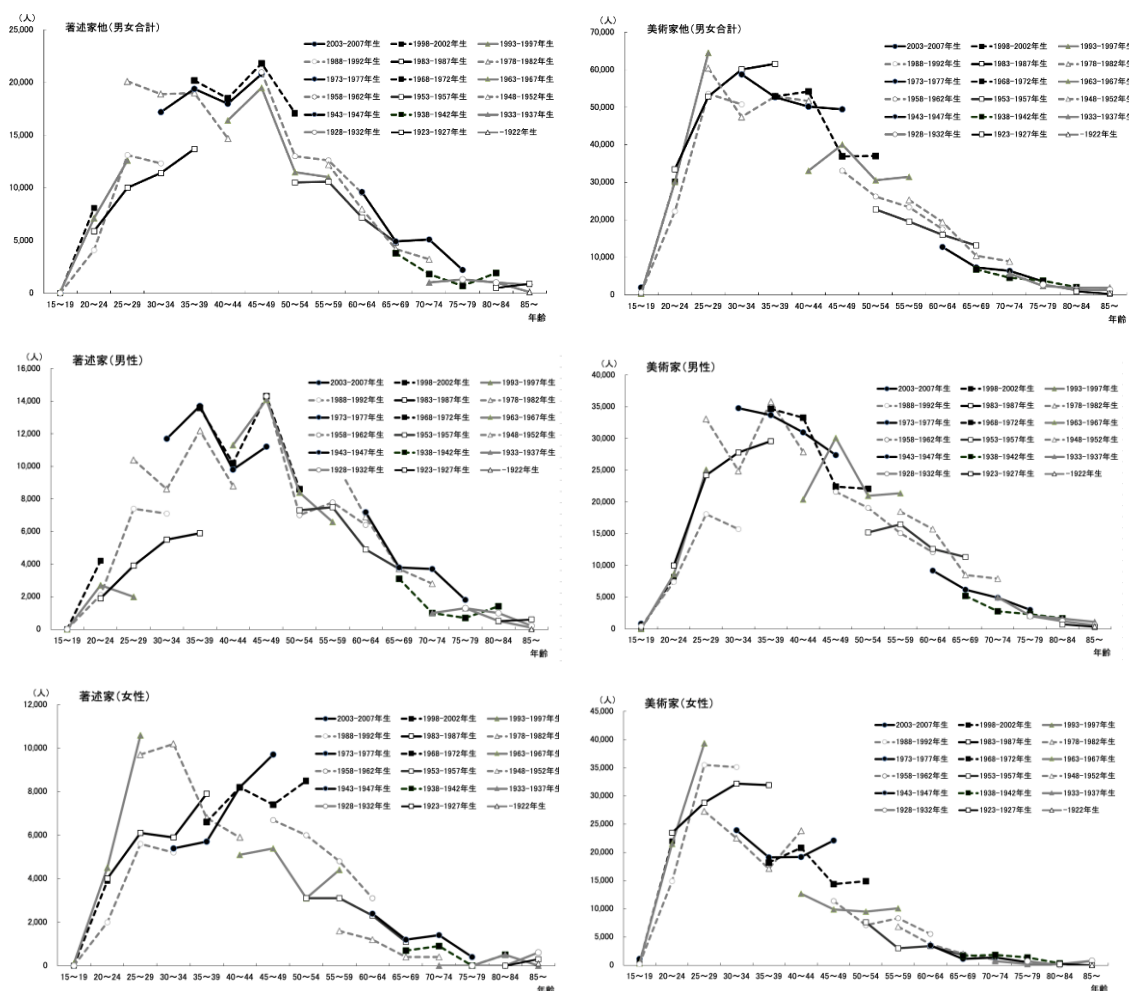


図 3.2.3 「芸術家」の数のコーホート変化 (1) 左:著述家他 右:美術家他

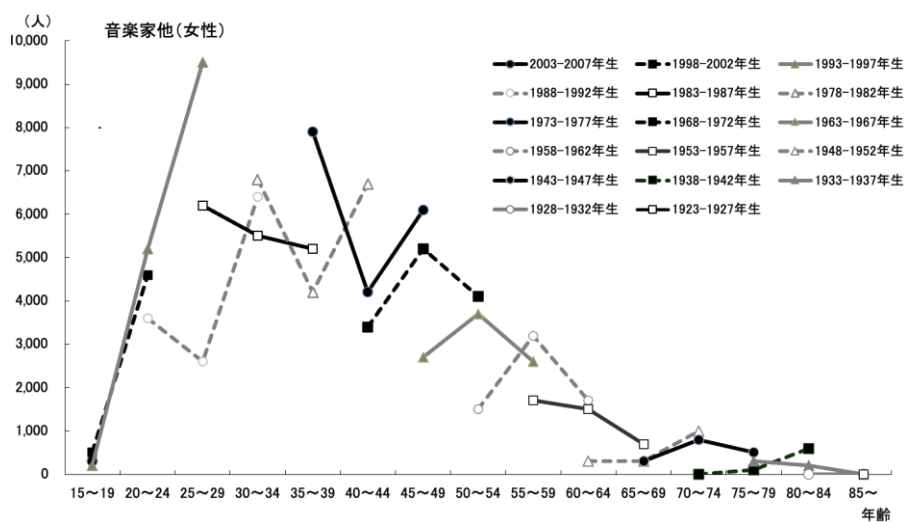
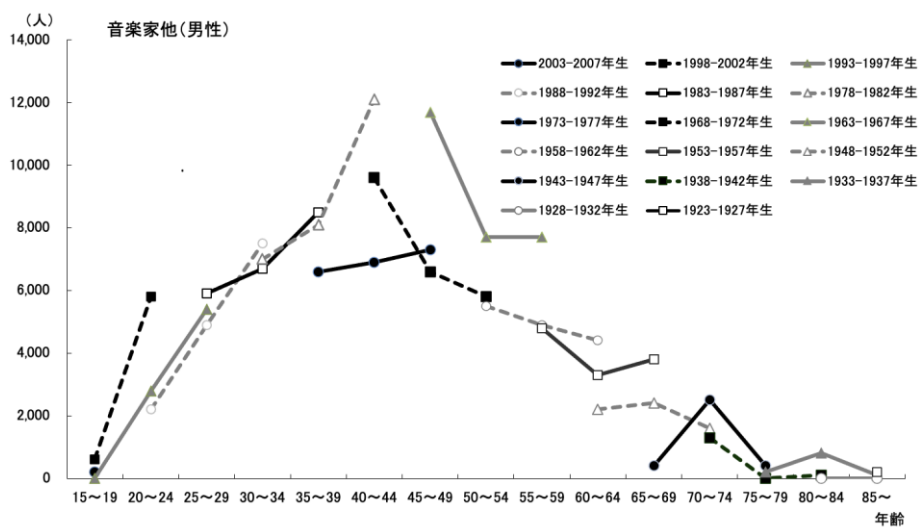
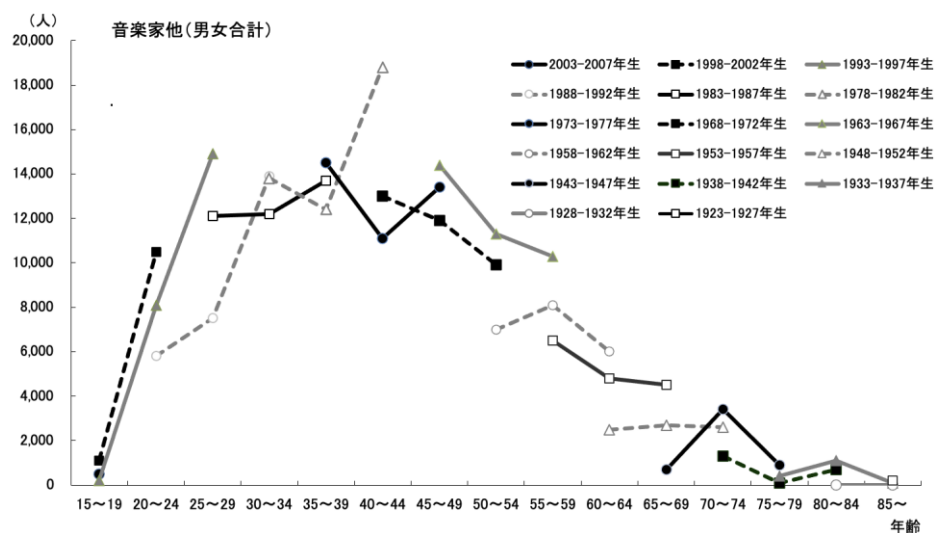


図 3.2.4 「芸術家」の数のコーホート変化 (2) 音楽家他

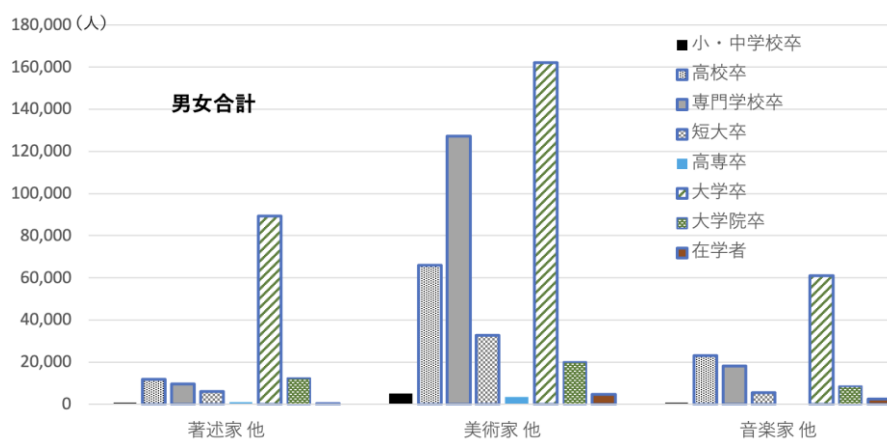
一方、図 3.2.4 より、3 調査しか利用できないため慎重な判断が必要ではあるが、音楽家他についてはより明確なコーホート効果が見られる。コーホートの線を繋げた時に全体的に一つの弧の形状が朧げにでも見えるのは、男性の場合のみである¹⁹。女性およびその影響を受けて男女合計では世代による違いが大きく、この傾向はおおむね全世代について観察される。

文化庁・名城大学（2023）では、国勢調査を用いた芸術家数の時系列推移やそのコーホート変化が分析されているが、芸術家の中では音楽家関連のコーホートの動きに特徴が見られることが報告されている。そこでは、音楽家と個人教師（音楽）の2つの小分類間での芸術家人口移動の可能性が指摘されており、就業構造基本調査データを用いた分析において、今後、小分類についても本項で見た年齢やコーホートの動きを検討していく必要があると思われる。

3.2.4 就業構造基本調査職業詳細区分データから見る「芸術家」の学歴

年齢を検討した令和4（2022）年調査の第15表からは、芸術家の最終学歴（在学者を含む）も知ることができる。著述家他、美術家他、音楽家他、それぞれの職業詳細区分について、男女合計および男女別に見た学歴の分布を図3.2.5に示す。

区分や属性によらず、大学卒が多い。また、美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者（美術家他）では、高校卒、専門学校卒も相当数いる。



¹⁹ ただし、男性においても、1963-67 年生まれに明らかなコーホート効果が見られる。

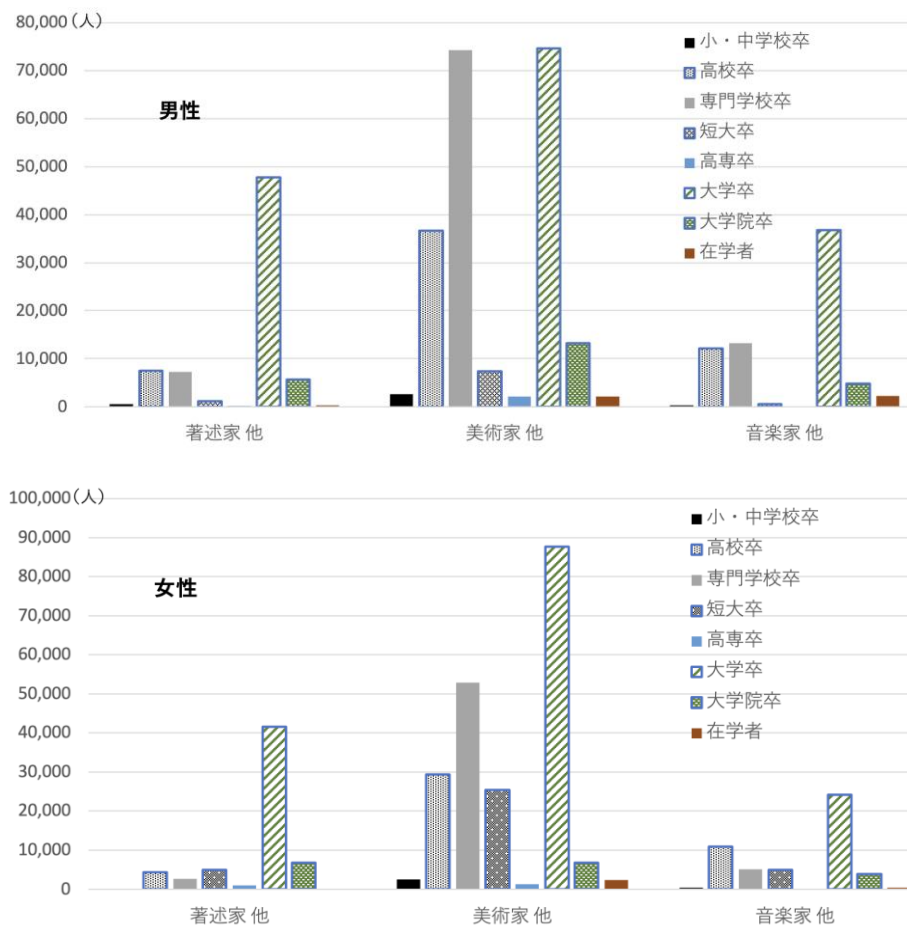


図 3.2.5 就業構造基本調査における「芸術家」の学歴分布

3.2.5 就業構造基本調査職業詳細区分データから見る「芸術家」の就業状況

続いて、令和 4（2022）年調査の第 34 表を用いて、芸術家の 3 つの職業詳細区分における就業状況を、就業日数および週間就業時間から見ていく。

就業構造基本調査では、就業者の就業状況を知るため、年間就業日数や就業の規則性、週間就業時間などを調査している。年間就業日数は大きく 200 日未満と 200 日以上に分けられ、年間就業日数が 200 日未満の場合、就業が規則的か、不規則的か、季節的か²⁰に細分している。参考のため就業者全体、そして芸術家詳細区分の著述家他、美術家他、音楽家他、それぞれの年間就業日数の状況を表 3.2.11 にまとめた。

就業者全体を見ると、表の第 1 列より、男女合計では就業日数が 200 日未満の者は全体の 22.9%，その内訳は規則的就业が 14.8%，不規則的就业が 7.1%，季節的就业が 0.9%であった。表の第 2 列より、雇用者の比率は 90%前後と高い層が多いが、就業日数では 300 日

²⁰ 規則的就业は「毎日ではないが、おおむね規則的に」、不規則的就业は「仕事があるとき、又は仕事が忙しいときのみに」、季節的就业は「農繁期や盛漁期など特定の季節だけ」仕事をしている場合を指す。

以上で 74.2%，就業の規則性では不規則的就业で 75.0%，季節的就业で 58.5%と低かった。

表の第 3 列より，雇用者に占める正規雇用者の比率を見ると，就业日数が 200 日未満の場合，就业の規則性によらず低く（20%前後），就业日数が 200 日以上の場合は 70%前後と高かった。これらの傾向は男女別に見てもおおむね見られたが，若干異なる傾向として，就业日数が 200 日未満の規則的就业は男性では少なく女性では多い，就业日数が 250 日から 299 日の就业者は男性で多く女性で少ない，全ての層で雇用者の率は男性では高く女性では低い，女性では非正規雇用の率が高いことが見てとれる。

このような動きが芸術家の区分でも生じているか，順に見ていく。

就业日数が 200 日未満の比率は著述家他（23.0%）や美術家他（22.7%）では就业者全体と同様であるが，音楽家他では 35.4%と高い。これは，不規則的就业が 26.8%と高いためである（著述家他は 12.3%，美術家他は 15.4%）。いずれの区分でも季節的就业はごく少数で，就业日数が 200 日未満の規則的就业者も就业者全体に比べると比率が低かった（順に，10.0%，7.0%，7.5%）。これらの傾向は，男女ともで見られたが，とりわけ音楽家他の不規則的就业は，男性で 23.9%，女性で 31.0%と大きな割合を占めた。

就业者に占める雇用者の率は，芸術家の区分では総じて低い。とりわけ不規則的就业や就业日数が 300 日以上の場合，30%を切ることもあり，男女ともでその傾向が見られた。

雇用者については，就业日数が 200 日未満の場合は，季節的就业者を除くと，ほぼ全ての区分・属性で，正規雇用者より非正規雇用者の数が多く，逆に，就业日数が 200 日以上 300 日未満の場合は正規雇用者の方が多いことがわかる。ただ，就业日数が 300 以上の層では非正規率が高いこともあり，非正規雇用者であっても 200 日以上働いている者も少なくなかった。著述家他の非正規雇用者全体の内，200 日以上働いている者の比率は 56.4%，同様に美術家他では 59.6%と高く，就业者全体での比率 50.9%を上回った²¹。この比率は区分によらず男性で高く，性別による差を見ると，著述家他：17.5%ポイント，美術家他：9.2%ポイント，音楽家他：23.0%ポイントで，男性の方が多かった。このような差は就业者全体でも見られたが，その差は 6.3%ポイントであり，芸術家の区分での差はより大きいことがわかる。

就业構造基本調査では，年間 200 日以上働く就业者と年間 200 日未満働く就业者のうち規則的就业者に，週間就业時間²²も尋ねている。就业時間 14 区分について回答者に占める比率を求め，図 3.2.6 に表した。図には，参考のため，就业者全体の就业時間分布も併せて示した²³が，いずれの区分，属性でも就业者全体とピークの週間就业時間は同じであり，週に 40-44 時間働いている者の比率が多かった。

²¹ ただし，音楽家他では 25.5%と低かった。

²² 就业規則などで定められている時間ではなく，ふだんの 1 週間の実労働時間を指す。

²³ この設問に回答しなかった者もいるため，回答者は，男女合計では，就业者全体の 89.4%，著述家他の 85.4%，美術家他の 82.9%，音楽家他の 70.6%である。男性では，順に，90.8%，87.9%，82.7%，73.6%，女性では，順に，87.7%，83.1%，83.2%，66.4%であった。

表 3.2.11 就業構造基本調査における「芸術家」の就業日数

就業者全体	人数	うち雇用人	(正規雇用人)	(非正規雇用人)
(男女合計)	67,060,400	60,772,100	36,114,600	21,110,300
200日未満	15,324,400	13,304,700	2,669,500	10,021,500
規則的の就業	9,917,600	9,336,700	1,960,200	7,108,700
不規則的の就業	4,746,900	3,561,800	624,100	2,606,000
季節的の就業	588,100	344,300	64,800	268,200
200-249日	27,484,600	26,292,400	17,896,000	7,293,100
250-299日	18,352,000	16,835,300	12,711,300	2,910,600
300日以上	4,935,700	3,664,200	2,549,700	542,900

(男性)	36,706,200	32,677,400	23,397,800	6,642,400
年間200日未満	5,896,400	4,772,500	1,582,200	2,853,400
規則的の就業	3,450,700	3,174,500	1,176,000	1,843,200
不規則的の就業	2,096,800	1,416,800	358,000	887,900
季節的の就業	313,400	152,100	35,200	108,600
200-249日	15,253,500	14,516,000	11,419,700	2,267,500
250-299日	11,570,300	10,504,400	8,388,700	1,142,900
300日以上	3,483,400	2,548,100	1,824,600	255,600

(女性)	30,354,200	28,094,700	12,716,800	14,467,900
年間200日未満	9,428,000	8,532,200	1,087,400	7,168,100
規則的の就業	6,466,800	6,162,200	784,200	5,265,500
不規則的の就業	2,650,200	2,145,000	266,100	1,718,000
季節的の就業	274,800	192,200	29,500	159,600
200-249日	12,231,100	11,776,300	6,476,300	5,025,600
250-299日	6,781,700	6,330,900	4,322,600	1,767,600
300日以上	1,452,200	1,116,100	725,100	287,300

美術家他	人数	うち雇用人	(正規雇用人)	(非正規雇用人)
(男女合計)	425,700	259,400	174,300	50,800
年間200日未満	96,500	35,700	10,600	20,500
規則的の就業	29,800	20,900	9,000	10,800
不規則的の就業	65,500	14,400	1,600	9,300
季節的の就業	1,200	400	-	400
200-249日	161,600	135,900	101,900	21,400
250-299日	101,600	67,200	51,200	6,200
300日以上	63,800	20,200	10,300	2,700

(男性)	215,400	12,100	78,900	16,400
年間200日未満	44,700	13,300	4,000	5,600
規則的の就業	9,500	6,400	3,100	2,600
不規則的の就業	34,500	6,800	900	1,000
季節的の就業	700	100	-	100
200-249日	75,900	63,700	47,300	6,600
250-299日	53,700	31,200	22,800	2,200
300日以上	39,800	12,500	4,500	2,000

(女性)	210,200	138,300	95,300	34,400
年間200日未満	51,800	22,400	6,600	14,800
規則的の就業	20,300	14,400	5,900	8,200
不規則的の就業	31,000	7,700	700	6,300
季節的の就業	500	300	-	300
200-249日	85,700	72,200	54,500	14,800
250-299日	48,000	36,000	28,400	4,000
300日以上	24,100	7,600	5,800	700

著述家他	人数	うち雇用人	(正規雇用人)	(非正規雇用人)
(男女合計)	131,900	83,200	56,600	18,100
200日未満	30,300	13,200	4,200	8,000
規則的の就業	13,200	9,500	4,000	5,200
不規則的の就業	16,200	3,400	0	2,700
季節的の就業	900	300	200	100
200-249日	46,000	37,700	27,600	7,700
250-299日	33,400	26,800	22,500	2,100
300日以上	22,000	5,300	2,200	400

(男性)	70,300	53,000	38,200	9,100
年間200日未満	12,300	6,700	3,200	3,200
規則的の就業	5,300	4,600	3,100	1,500
不規則的の就業	6,900	2,100	0	1,700
季節的の就業	-	-	-	-
200-249日	24,400	21,900	16,200	3,900
250-299日	22,800	20,200	16,700	1,700
300日以上	10,600	3,900	2,100	300

(女性)	61,600	30,200	18,400	9,100
年間200日未満	18,000	6,500	1,100	4,800
規則的の就業	7,900	4,900	900	3,700
不規則的の就業	9,300	1,300	-	1,000
季節的の就業	900	300	200	100
200-249日	21,600	15,800	11,400	3,800
250-299日	10,700	6,600	5,800	400
300日以上	11,400	1,400	100	100

音楽家他	人数	うち雇用人	(正規雇用人)	(非正規雇用人)
(男女合計)	120,700	77,200	43,300	18,800
年間200日未満	42,700	20,000	2,000	13,800
規則的の就業	9,000	7,300	400	5,900
不規則的の就業	32,400	11,700	1,500	7,100
季節的の就業	1,300	1,000	100	700
200-249日	30,800	24,700	17,900	2,400
250-299日	29,700	22,100	17,600	2,100
300日以上	16,400	9,800	5,500	300

(男性)	70,700	47,500	27,800	7,400
年間200日未満	21,400	8,900	1,500	4,400
規則的の就業	3,300	2,500	100	2,000
不規則的の就業	16,900	5,500	1,200	1,700
季節的の就業	1,200	900	100	700
200-249日	19,300	16,200	10,500	1,800
250-299日	17,600	14,200	11,000	900
300日以上	12,100	8,200	4,800	300

(女性)	50,000	29,700	15,400	11,400
年間200日未満	21,200	11,100	500	9,300
規則的の就業	5,700	4,900	200	3,900
不規則的の就業	15,500	6,200	300	5,400
季節的の就業	0	0	-	0
200-249日	11,500	8,600	7,400	600
250-299日	12,100	7,900	6,600	1,300
300日以上	4,200	1,600	600	100

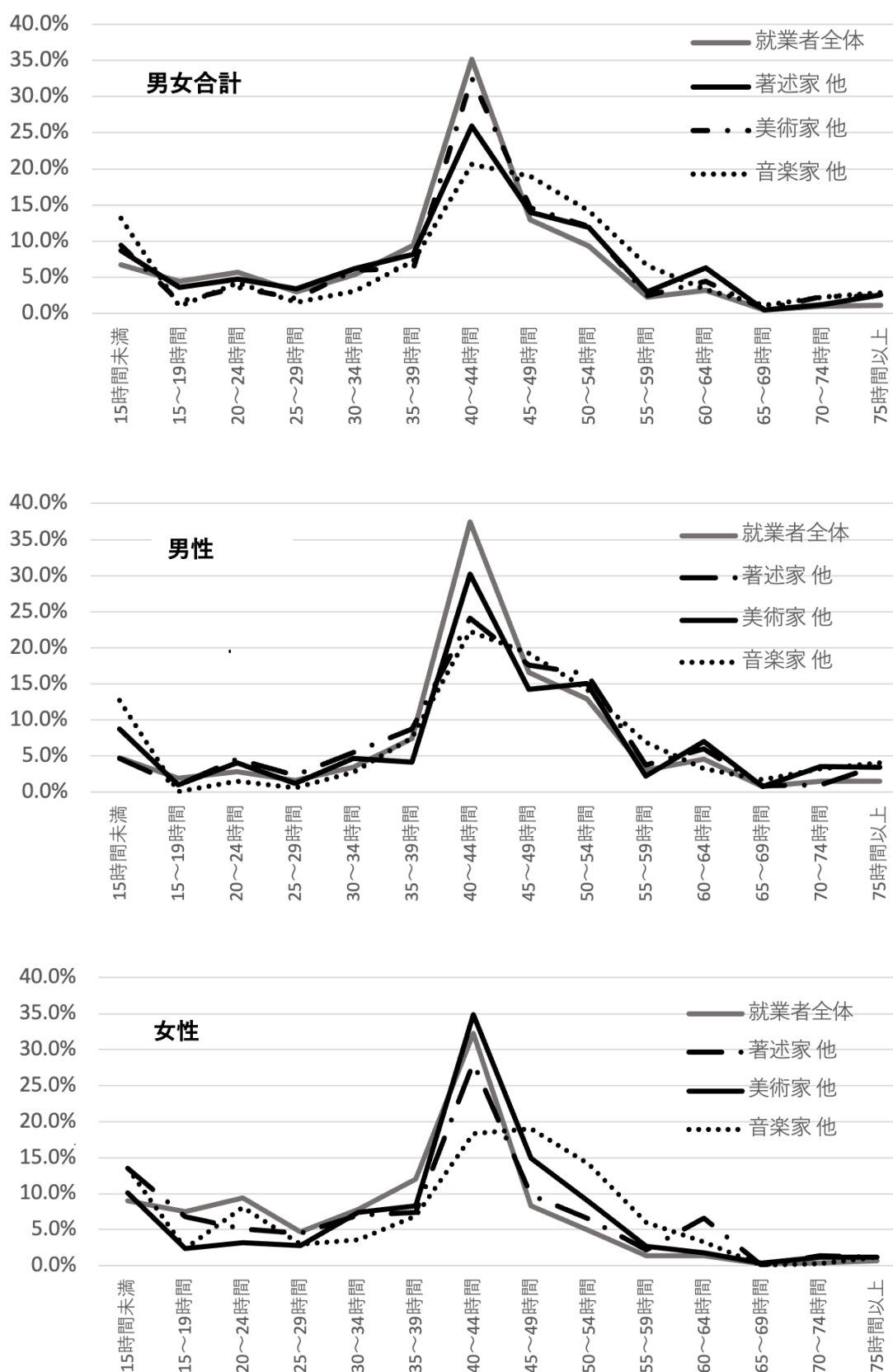


図 3.2.6 就業構造基本調査における「芸術家」の週間就業時間分布

ただし、音楽家他ではピーク時の比率は低く、就業時間の短い方の山の形状は就業者全体と大きくは変わらず、就業時間の長い方で比率が高くなっていることが観察された。この傾向は、女性でより明確であった。また、著述家の男性も同様の傾向を示していた。

3.2.6 就業構造基本調査職業詳細区分データから見る「芸術家」の年間収入分布

最後に、芸術家の年間収入分布について検討する。就業構造基本調査では、令和4（2022）年調査の場合第35表に、就業者の年間収入を16区分で報告している。3つの芸術家・職業詳細区分について、各区分に属する人数の比率を求め、図3.2.7に示した。上から男女合計、男性、女性の年収分布を表している。それぞれの図には、参考のため、就業者全体の年収分布も併せて示した²⁴。

男女合計の年収分布を見ると、芸術家の各区分の大きな傾向は就業者全体と似ており、300万円台をピークとする分布が見られる。ただし、著述家ではピークの山が400万円台と後ろにずれており、山全体がなだらかで、ピークが低い。

就業者全体では、凹凸はありながら、ピークに向かって徐々に人数が増え、ピーク後はなだらかに人数が減っていく様子が観察される。この形状は芸術家の区分では異なるところがいくつか見られる。

もっとも大きな違いは最低年収層（年収50万円未満）に見られ、就業者全体では就業者の5.2%であるのが、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者では9.5%、著述家他では11.8%²⁵、音楽家・舞台芸術家では13.2%に達している。

それ以降ピークの300万円台までの動きはおおむね就業者全体の動きと似るジャンルが多いが、著述家他の各年収の比率は総じて低い。音楽家・舞台芸術家も動きは就業者全体とほぼ同じであるが、各年収の比率は比較すると低い。一方、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者の各年収の比率は就業者全体を上回ることが多かった。

逆に、ピークを超える年収での分布を見ると、著述家他の各年収の比率は就業者全体を上回ることが増え、700万円台では就業者の比率を3.7%ポイント、1000-1250万円未満では4.0%ポイントと大きく上回った²⁶。音楽家・舞台芸術家は年収700万円台までは就業者全体の動きよりも低い比率で動くが、800万円台以上は就業者全体の比率を上回り、900万円台での差は2.5%ポイントであった。一方、比較的低年収での比率が就業者全体を上回っていた美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者の比率は、ピークを超える年収400万円台以上の層では常に就業者全体を下回っていた。

²⁴ 就業者全体の回答者 67,060,400 人に対し、著述家他の回答者は 131,900 人、美術家他は 425,700 人、音楽家は 120,700 人である。

²⁵ 著述家他の「他」の部分は記者、編集者に当たるが、それらの年収は相対的には著述家より高いと考えられ、著述家のみを見た場合にはさらにこの比率が上がる可能性もある。

²⁶ ただし、これらの高所得者が著述家に当たるか、記者、編集者に当たるかは不明である。

なお、これらの年収に関する動きの特徴は、2017 年の動きと大きく異なることはなかった²⁷。

続いて、男女それぞれの年収分布の特徴を見ていく。

男性については、大まかな動きは全体と同様である。就業者全体、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者、音楽家・舞台芸術家の年収のピークは 300 万円台にあり、著述家他では少し後ろにずれ 500 万円台である。

低所得層で比率が就業者全体を上回る区分が多く、年収 50 万円未満の層では就業者全体に比べ、著述家他以 2.5%ポイント、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者で 4.7%ポイント、音楽家・舞台芸術家で 7.0%ポイント、比率が高かった。とりわけ美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者や音楽家・舞台芸術家では、低所得層で比率が就業者全体を上回る傾向が強かった。

ピーク以上の年収での動きも総じて全体と同様で、著述家他は就業者全体を上回り、1000-1249 万円未満では 5.5%ポイントと大きく上回っていた。また、音楽家・舞台芸術家も 900 万円台では就業者の比率を上回り、その差は 4.3%ポイントであった。一方、全体的場合と同様に、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者の比率は、ピークを超える年収 400 万円台以上の層では常に就業者全体を下回っていた。

これに対して、女性の年収分布は大きく様相が異なる。まず就業者全体の動きを見ると、ピークが 50-100 万円未満と非常に低いところにあることがわかる²⁸。男女合計や男性のピークは 300 万円台であったが、女性では 300 万円未満の年収の者が合わせて 67.0%と全体の 3 分の 2 を占めており、総じて低所得であることがわかる。芸術家の年収に着目すると、男女合計や男性と比較してもさらに、最低年収層で著述家他や音楽家・舞台芸術家の比率が高くなっており、その比率は全所得階層の中で最も高かった。美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者についても、最低年収層の比率は 10.5%と高く、ボリュームゾーンが 200-299 万円にあるなど、全体として所得が少ない。高所得層で著述家他や音楽家・舞台芸術家の比率が就業者全体を上回ることを見られたものの、著述家他以大きく就業者全体を上回った年収は、男女合計や男性より 200 万円下がって 700 万円台となっていた。

²⁷ 文化庁（2021）図 3-20 参照のこと。

²⁸ 就業者全体の 16.3%に当たる。年収 100 万円に満たない者が 23.1%と、全体の 4 分の 1 近くを占める。

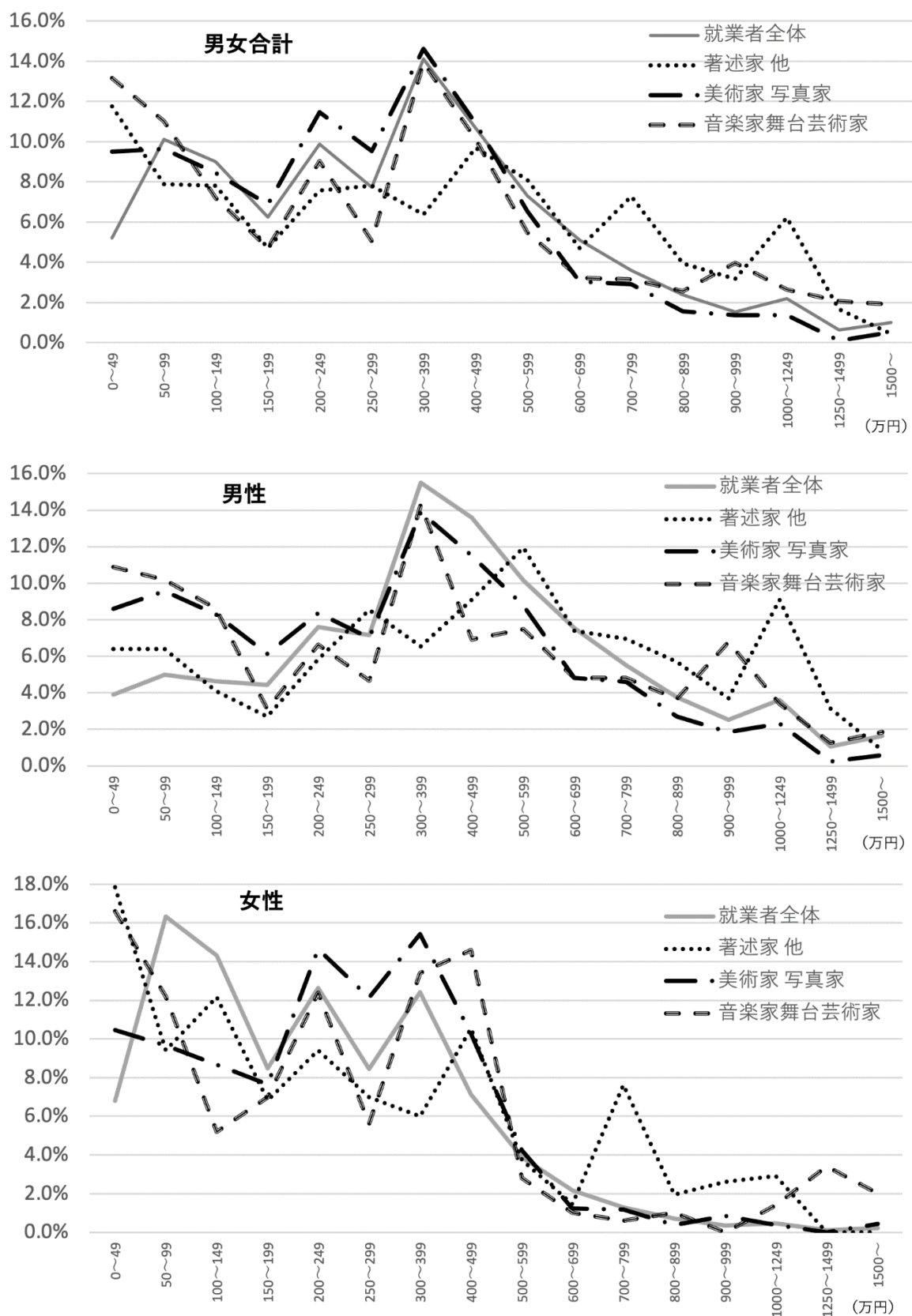


図 3.2.7 就業構造基本調査における「芸術家」の年収分布

以上、本節では、就業構造基本調査の公表データを用いて、文化芸術の供給面について、様々な角度から芸術家（文化芸術サービスの提供者）の状況を把握することに努めた。

職業小分類データにより芸術家の人数やその就業形態について、職業詳細区分（中分類）データにより芸術家の年齢や学歴、就業日数および週間就業時間、年収について検討を行い、一定の把握を行うことができた。

ただ、残念ながら、詳細区分を用いた場合、その区分の中に芸術家とは思われない小分類が含まれた分析となってしまうている。この問題点を改善するため、次節 3.3 節で、本研究が申請して行われたオーダーメイド集計による小分類データを用いて、芸術家の年収や週間就業時間、就業日数についてより詳細な検討を行っていく。

参考文献

文化庁（2021）『令和 2 年度 「文化行政調査研究」文化統計の整備に関する調査研究事業 報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/bunka_gyosei/pdf/93531601_01.pdf

文化庁・名城大学（2023）『令和 4 年度 文化庁と大学・研究期間等の共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

3.3 就業構造基本調査のマイクロデータによる文化関係就業者に関する分析

3.3.1 職業小分類による就業構造基本調査の集計

前節では、総務省「就業構造基本調査」の公表データを用いて、職業分類において文化に関する職業（芸術家）を規定した上で、職業小分類別に、文化関係の就業者数やその年齢・従業上の地位・雇用状況などについて分析するとともに、職業詳細区分（以下、職業中分類、あるいは単に中分類という）別に、所得や就業時間、就業日数について考察してきた。これまで、文化関係の就業者に注目して、就業構造基本調査のデータをこのように分析した例はそれほど多くない¹。

就業構造基本調査では、就業者に関して、勤め先の経営組織、仕事の内容、年間就業日数、就業の規則性、週間就業時間、所得（主な仕事からの年間収入・収益）、転職又は追加就業等の希望の有無等々の多くの就業に関する事項が調査されているが、前節の職業中分類に関して考察した所得や週間就業時間などの調査事項は、職業小分類については集計結果が公表されていない。3.1 節でも例示したように、職業中分類には、（文化関連の職業に限らず）異なった特徴の職業が含まれており、可能な限り詳細な職業分類に基づいて結果を集計できれば、文化関係就業者に関して、より有用な情報を得ることができる。

前節でもみたように、文化関連の職業は、職業大分類では「B 専門的・技術的職業従事者」の中に含まれる。そして、表 3.3.1 の職業小分類でシャドーをつけた職業を、本報告書で文化関連の職業と定義する。

そこで本節では、いくつかの調査事項（所得、年間就業日数、週間就業時間）について、職業小分類に基づいて文化関係就業者に関して集計した結果を提示する。集計は、3.1 節でも述べたように、オーダーメイド集計を依頼することによって行った。なお、集計は、職業小分類が利用可能である平成 19(2007) 年、平成 24(2012) 年、平成 29(2017) 年の 3 年間について実施した。前節では令和 4(2022) 年調査の結果についても提示しているが、調査票情報の利用やオーダーメイド集計といったマイクロデータが利用できるのは、平成 29(2017) 年調査までの結果である（2024 年 1 月 31 日現在）。なお、表 3.3.1 は 2017 年の分類であるが、文化関連の職業については、2007 年、2012 年もある程度比較することが可能である²（他の職業については、分類がより大きく変更されている）。

3.3.2 文化関係就業者の所得分布

以下では、就業構造基本調査の職業小分類に基づいて文化関係就業者の所得分布についてみていこう。就業構造基本調査における所得は、主な仕事からの年間収入・収益と定義されている。

¹ 文化庁（2021）、文化庁・名城大学（2023）などを参照されたい。

² ただし、2012 年と 2017 年の職業分類はそれほど大きな違いはないが、2007 年はだいぶ分類が異なっている。

表3.3.1 文化関連の職業に関する職業分類（2017年）

職業大分類	職業詳細区分（職業中分類）	職業小分類
A 管理的職業従事者		
B 専門的・技術的職業従事者	B 21著述家，記者，編集者	B 211著述家
		B 212記者，編集者
	B 22美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者	B 22a彫刻家，画家，工芸美術家
		B 224デザイナー
		B 225写真家，映像撮影者
	B 23音楽家，舞台芸術家	B 231音楽家
		B 23a舞踊家，俳優，演出家，演芸家
	B 24その他の専門的職業従事者	B 24n個人教師（音楽）
		B 24p個人教師（舞踊，俳優，演出，演芸）
		B 24r個人教師（スポーツ）
		B 24s個人教師（学習指導）
		B 24t個人教師（他に分類されないもの） B 24c他に分類されない専門的職業従事者
C 事務従事者 D 販売従事者 E サービス職業従事者 F 保安職業従事者 G 農林漁業従事者 H 生産工程従事者 I 輸送・機械運転従事者 J 建設・採掘従事者 K 運搬・清掃・包装等従事者 L 分類不能の職業		

資料：総務省「就業構造基本調査」

付表 2.1～付表 2.5 には，2017 年，2012 年，2007 年の各調査年について，文化関係の職業ならびに大分類の職業の所得階級別の人口（有業者数）の集計がそれぞれ示されている（2017 年のみ付表 2.2 と付表 2.3 に男女別の結果を提示している）。集計の対象は有業者である。なお，これらの集計表で 0 となっているセルは，該当する有業者なし（有業者数がまさに 0），またはセルに該当するサンプルが 5 未満を表す。後者は秘匿のための処理であり，オーダーメード集計の仕様に沿ったものである³。

図 3.3.1 は，2017 年について，文化関係の職業小分類とそれを含む中分類について，中分類ごとに図示した所得分布の状況である（中分類の結果はやや太い実線で示されている）。

³ https://www.nstac.go.jp/sys/files/static/services/2ji/shugyou_siyoub.pdf

なお、縦軸は相対度数としているが、階級幅で調整した標準級間隔における有業者割合である。また、上でも述べたように、付表3で0となっているのは、実際に有業者が0の場合と集計段階で該当するサンプルが5未満の場合を含んでいるので、必ずしも0ではない場合が含まれる。したがって、グラフで点が0のところはプロットされていても、実際はそれよりも少し上に位置している可能性がある。しかしその場合でも、他にプロットされている点よりは相対度数は小さいので、視覚的にグラフから得られる印象は、それほど大きな違いはないはずである。

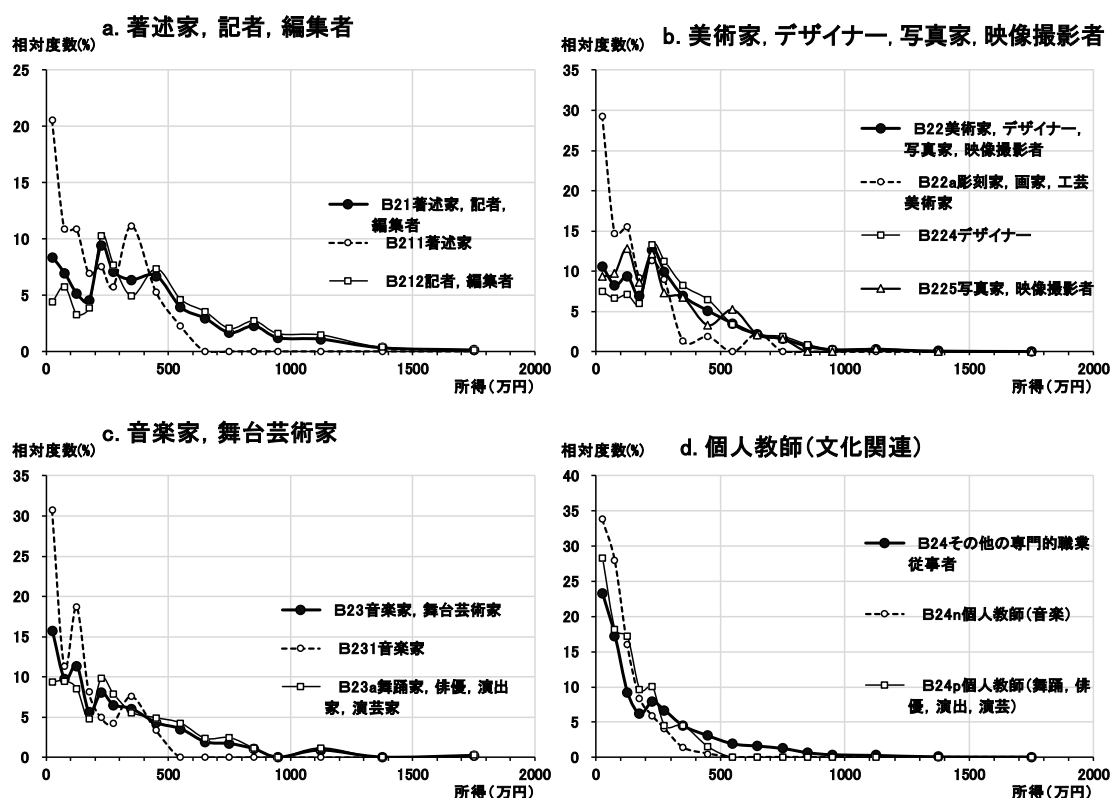


図3.3.1 文化関係就業者の所得分布(2017年)

図 3.3.1a の「著述家, 記者, 編集者」においては、その有業者数の大きさから、中分類全体(実線)と小分類である「記者, 編集者」は類似している(「記者, 編集者」の有業者は、中分類のうち約 73%)。しかし、「著述家」は、かなり所得が低い方に分布が歪んでいる。割合でみると、所得が 200 万円未満がほぼ半数(49%)であり、500 万円以上の有業者は 5% 以下(4.5%)しかおらず、所得水準は全体的にかなり低い。なお、全有業者の平均所得が 348 万円、「記者, 編集者」は 503 万円となっており⁴、「記者, 編集者」はむしろ所得水準

⁴ 平均所得は、所得階級の階級値を用いて算出した。付表 2.1 をみると、著述家(職業小分類)の場合、所得分布でセルに 0 が含まれている(特に所得水準が高い階級)。本文でも述べたように付表のセルが 0

の高い職業であり、「著述家」とあわせた中分類で所得分布をみることはミスリーディングを引き起こしやすい。

図 3.3.1b の「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」においても、「デザイナー」の中分類に占める割合が高い（63%）ことから、中分類と「デザイナー」の分布は類似することになる。小分類の「デザイナー」の所得分布では最頻値の含まれる階級は 200～249 万円であるが、「写真家、映像撮影者」はそれよりも低い所得の割合が高く、さらに「彫刻家、画家、工芸美術家」は最頻値の含まれる階級が 50 万円未満の階級となっており、かなり低い所得水準の就業者の割合が高くなっている。「彫刻家、画家、工芸美術家」では、150 万円未満が約 6 割（59%）、500 万円以上の有業者は 5%以下（4.6%）である。所得分布でみる限り、かなり異なった分布をしている「彫刻家、画家、工芸美術家」と「デザイナー」を一緒にした中分類でみることに、やはり注意が必要である。なお、「デザイナー」と全有業者の平均所得はほぼ同じである。

図 3.3.1c の「音楽家、舞台芸術家」の小分類をみると、「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」の方が「音楽家」よりも、やや高い所得水準の有業者の割合が高い。「音楽家」の所得の最頻値が含まれる階級は 50 万円未満の階級で、150 万円未満が約 6 割（61%）となっており、500 万円を超える所得の有業者は集計上は存在していない⁵。もちろん、だからといって、「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」の所得水準が高いというわけではないが、平均所得⁶でみると全有業者よりも高くなっている。

図 3.3.1d の個人教師をみると、「個人教師（音楽）」、「個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）」ともに、50 万円未満の階級に最頻値が含まれており、100 万円未満の割合は、それぞれ 62%、46%と低所得の階級に有業者が集中している。500 万円を超える所得の有業者も、集計上は存在していない。

以上のように、いわゆる芸術家、あるいは文化関係就業者は、芸術を生み出す実演家（音楽家、俳優、著述家など）でも、個人教師でも、50 万円未満の所得の有業者も多く、低所得の方に分布が偏っていることが、職業小分類の集計により明らかになった。

図 3.3.2、図 3.3.3 は、同様の職業小分類の所得分布を、2012 年、2007 年のオーダーメード集計の結果をもとに書いたグラフである。ただし、付表 2 にもあるように、2007 年の職業（小）分類は、2012 年・2017 年と異なっており、必ずしも対応していない。たとえば、「専門的・技術的職業従事者」のなかに、中分類に対応する「音楽家、舞台芸術家」があり、その中に、小分類に対応する「音楽家（個人に教授するものを除く）」、「音楽家（個人に教授するもの）」、「俳優、舞踊家、演芸家（個人に教授するものを除く）」、「俳優、舞踊家、演

であっても、匿名化によるものであれば実際には該当者が存在することになり、比較可能な平均所得を算出することができない。

⁵ 秘匿の関係で 0 としている場合もあり、実際には少数の高所得者が存在しているかもしれない。

⁶ セルに 0 が含まれるので比較可能な平均値は算出できないが、0 を含めて算出すると、平均所得は全有業者を超えている（秘匿によって 0 とされていれば、平均値はそれよりも高く出るはずである）。

芸家（個人に教授するもの）」という4つの職業が含まれているため、図 3.3.3c と図 3.3.3d は、共通の「音楽家、舞台芸術家」を太い実線で描いている。また、「美術家、写真家、デザイナー」では、「写真家」のみが小分類となっている。

2012 年についての各文化関係就業者の所得分布は、上でみた 2017 年のものとほぼ同様に、50 万円未満の階級に最頻値が含まれていたり、低所得の階級の割合はかなり高い。しかし、2007 年は、職業によっては、かなり分布が異なっている。特に、「文芸家、記者、編集者」では、2012 年や 2017 年と比べて所得水準が高くなっており⁷、サンプルの構造などの問題かもしれない、

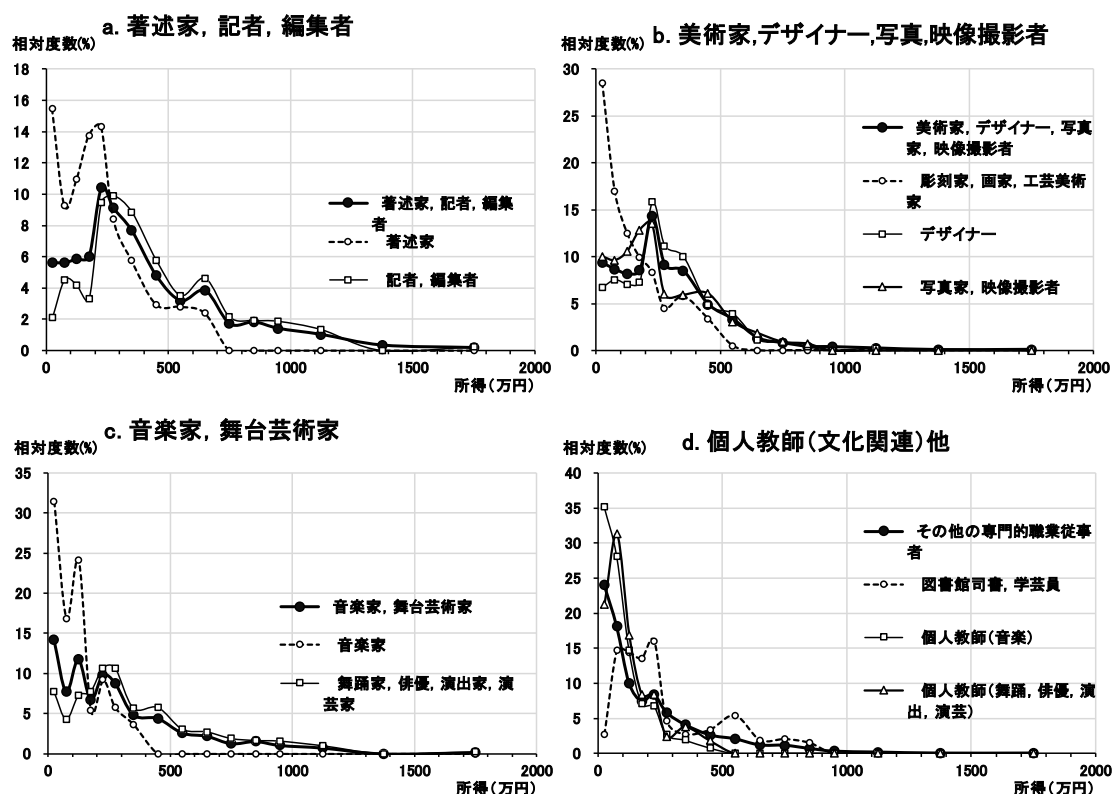


図3.3.2 文化関係就業者の所得分布(2012年)

⁷ 有業者全体の平均所得でみると、448 万円（2007 年）→337 万円（2012 年）→348 万円（2017 年）、と推移している。大分類である「専門的・技術的職業従事者」の平均所得でみると、556 万円（2007 年）→452 万円（2012 年）→455 万円（2017 年）と、やはり 2007 年が最も高い。

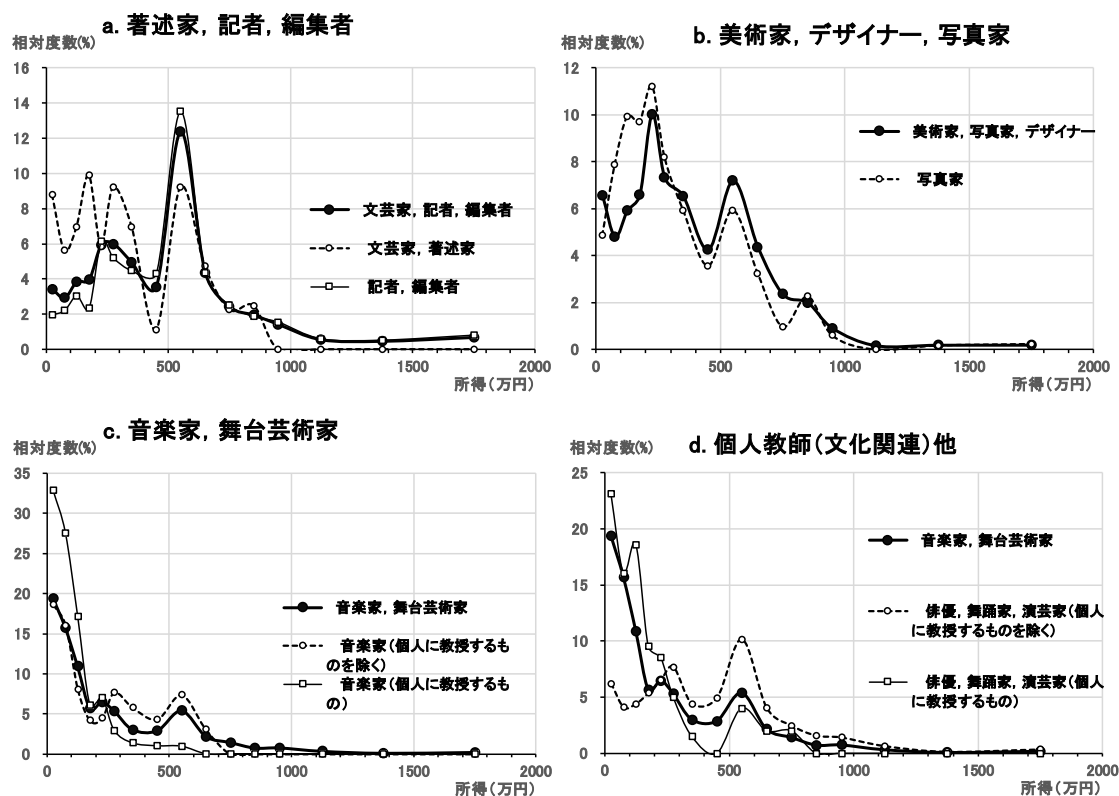


図3.3.3 文化関係就業者の所得分布(2007年)

3.3.3 文化関係就業者の所得の代表値の変化

表 3.3.2 は、付表 2 の集計表から算出した各職業の所得の中央値と最頻値である。ただし、職業分類の表示は、2017 年のものを用いており、2012 年と 2007 年の結果は、2017 年の分類に対応可能な職業についてのみ、数値を示している。

平均値を示していないのは、上でも述べたように、集計表に 0 が表示されている場合は本当に 0 なのか、それとも秘匿されているためなのかの区別ができないので、正確に平均値を算出することはできないからである。中央値に関しては、集計表の度数が 0 となっているのは高所得階級の場合がほとんどであり、所得の低い方から累積していった相対度数 0.5 に対応する中央値であれば、秘匿の影響はそれほど大きくないはずである⁸。さらに最頻値は、最も階級幅調整済み相対度数の大きい階級に含まれるから、秘匿された度数の小さいセルの影響は、まったく受けないはずである。そうした注意を念頭におきながら、表 3.3.2 をみる必要がある。

なお、本節では、中央値は累積相対度数が 0.5 を含む階級の階級値、最頻値は階級幅調整

⁸ 秘匿されているセルに対応する度数は当然小さい値なので、相対度数・累積相対度数を算出する場合でもそれほど大きな影響を与えるとは考えられず、中央値がここで提示した値と大きくずれることはない。せいぜい、左隣の階級に動く程度であろうと思われる。

済み相対度数の最も大きい階級の階級値であるとしている。階級値は、階級の真ん中の値とし、所得階級の低い方から、

25, 75, 125, 175, 225, 275, 350, 450, 550, 650, 750, 850, 950, 1125, 1375, 1750（万円）

である。ただし、上でみたように 2007 年は他の 2 年と比較するのが困難であるため、2012 年と 2017 年を中心にみていく。

表3.3.2 文化関係就業者の所得の中央値・最頻値

職業分類	中央値（万円）			最頻値（万円）		
	2007年	2012年	2017年	2007年	2012年	2017年
総数	350	275	275	550	75	75
A 管理的職業従事者		650	650		225	225
B 専門的・技術的職業従事者	550	350	350	550	225	225
B 21著述家，記者，編集者	550	350	350	550	225	225
B 211著述家	350	225	225	175	25	25
B 212記者，編集者	550	350	450	550	275	225
B 22美術家，デザイナー，写真家，映像撮影者	350	275	275	225	225	225
B 22a彫刻家，画家，工芸美術家		125	125		25	25
B 224デザイナー		275	275		225	225
B 225写真家，映像撮影者	275	225	225	225	225	125
B 23音楽家，舞台芸術家	175	225	225	25	25	25
B 231音楽家	225	125	125	25	25	25
B 23a舞踊家，俳優，演出家，演芸家	450	350	350	550	225	225
B 24その他の専門的職業従事者			175			25
B 24n個人教師（音楽）	75	75	75	25	25	25
B 24p個人教師（舞踊，俳優，演出，演芸）	125	75	125	25	75	25
B 24r個人教師（スポーツ）		175	125		75	75
B 24s個人教師（学習指導）		75	75		25	25
B 24t個人教師（他に分類されないもの）		75	75		25	25
B 24c他に分類されない専門的職業従事者			350			25
C 事務従事者		275	350		225	225
D 販売従事者		275	275		75	75
E サービス職業従事者		125	125		75	75
F 保安職業従事者		350	350		225	225
G 農林漁業従事者		125	125		25	25
H 生産工程従事者		275	275		225	225
I 輸送・機械運転従事者		350	350		225	225
J 建設・採掘従事者		350	350		225	225
K 運搬・清掃・包装等従事者		125	125		75	75
L 分類不能の職業		225	225		75	75

小分類で文化関係の職業について最頻値をみると、「舞踊家，俳優，演出家，演芸家」の 225 万円以外は、100 万円以下となっている。中央値をみると、2012 年と 2017 年でほとんど動いておらず、「記者，編集者」と「個人教師（舞踊，俳優，演出，演芸）」で、中央値の

含まれる階級が1つ上になっている程度である。有業者全体や「専門的・技術的職業従事者」もこの2年で中央値に変化はないが、全体的にも所得が増加していない時期という全般的な傾向が反映されているとも考えられる。所得の中央値が比較的高いのは、「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」の350万円であり、有業者全体の中央値275万円を唯一超えている職業である。「著述家」、「デザイナー」、「写真家、映像撮影者」の中央値は200万円台であり、有業者全体とほぼ同じである。しかし、全体よりも低いのが、「彫刻家、画家」、「音楽家」、「個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）」の125万円、さらに低いのが「個人教師（音楽）」であり、かなり所得水準が低く、文化の提供者（芸術家）の生活は、やはり苦しいといわざるを得ない。もちろん、非正規で働いている割合が高いといった場合も考えられるが、正規と非正規の従業者の比較はここでは行わない⁹。

3.3.4 文化関係就業者の就業時間・就業日数

これまでは所得分布についてみてきたが、就業構造基本調査では、就業者に関する様々な就業状況についても調査されている。以下では所得と同様の職業小分類に対する集計を、中分類に対して3.2節で示した週間就業時間（残業を含むふだんの1週間の実労働時間をいう）と年間就業日数（主な仕事に従事した1年間の就業日数）について、オーダーメード集計によって集計した結果を示す。付表2.6～付表2.8には2017年の週間就業時間階級別有業者数の集計結果を、付表2.9～付表2.11には2017年の年間就業日数階級別有業者数の集計結果を、それぞれ男女別に示している。

付表2にある集計表をもとに、図3.3.1と同様の図を、週間就業時間について描いたグラフが図3.3.4、年間就業日数について描いたグラフが図3.3.5である（2017年）。なお、比較する意味での有業者全体と文化関係就業者が含まれる大分類である「専門的・技術的職業従事者」についても、週間就業時間と年間就業日数の分布が図3.3.6に与えられている。

有業者総数の週間就業時間の分布を図3.3.6aでみると、最も多い就業時間は43～45時間であり、35～48時間に5割以上（約56%）が含まれる。他方、20時間の辺りにも山があり、双峰分布をしていることがわかる。著述家を見ると、35～48時間に8割近く（約79%）が含まれており、集中度はかなり高くなっている。「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」は、「彫刻家、画家、工芸美術家」以外は有業者全体と同様の分布になっているが、「彫刻家、画家、工芸美術家」は、60時間以上の割合も高く36%近くにのぼり、他の職業よりも就業時間が長いことがわかる。「音楽家」には0である階級が含まれるので評価は難しいが、就業時間が短い就業者と長い就業者の差が大きいようである。「個人教師（音楽）」と「個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）」は、いずれも最頻値が20～21時間の階級に含まれ、就

⁹ 正規の職員・従業者か非正規かといった従業上の地位ごとの所得階級別有業者数の集計も行ったが、低所得の階級でも度数が0のセルがかなり多くなってしまい、所得分布をみたり、中央値を算出することは難しい。

業時間は短い（特に、音楽の個人教師）。

有業者総数の年間就業日数の分布を図 3.3.6b でみると、最も多いのは、300 日以上（あるいは 250 日以上）であり、100～149 日にも小さい山がある。これは、正規の就業者と非正規の就業者が混在していることを反映している。著述家は、300 日以上の割合が高く、40% 近くになっている。おそらく休日などをあまり意識せずに、執筆活動をする事が反映されているものと思われる。「彫刻家、画家、工芸美術家」は、大分類の他の職業より 300 日以上などの割合はやや低くなっているが、就業日数の分布全体でそれほど大きな違いがみられるわけではない。また「音楽家」は、300 日以上の割合が低くなっている（グラフでは 0 になっているが、0 なのか、低い割合なのかは判別できない）。「個人教師（音楽）」と「個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）」は、就業時間と同様に、就業日数も少ない日数の階級（100～149 日）に最頻値があり、「個人教師（舞踊、俳優、演出、演芸）」で特に顕著である。非正規就業者として働く人の割合が高いことを反映しているものと考えられる。

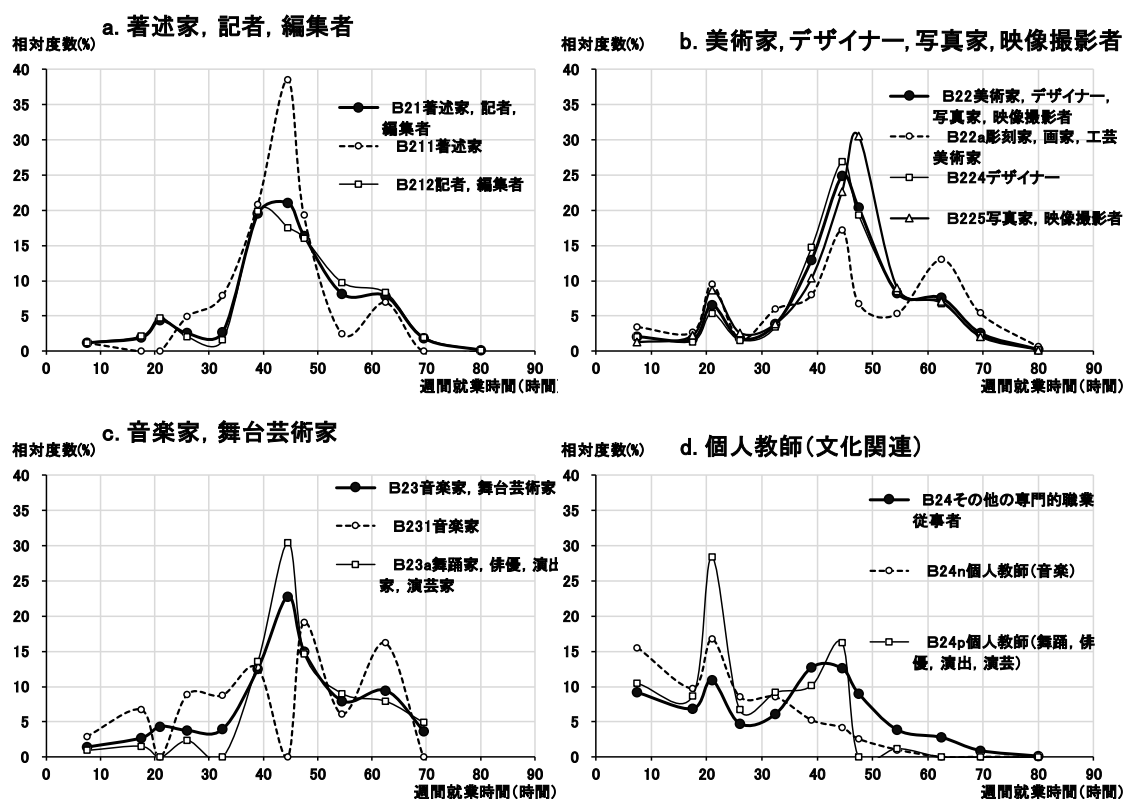


図3.3.4 文化関係就業者の週間就業時間分布(2017年)

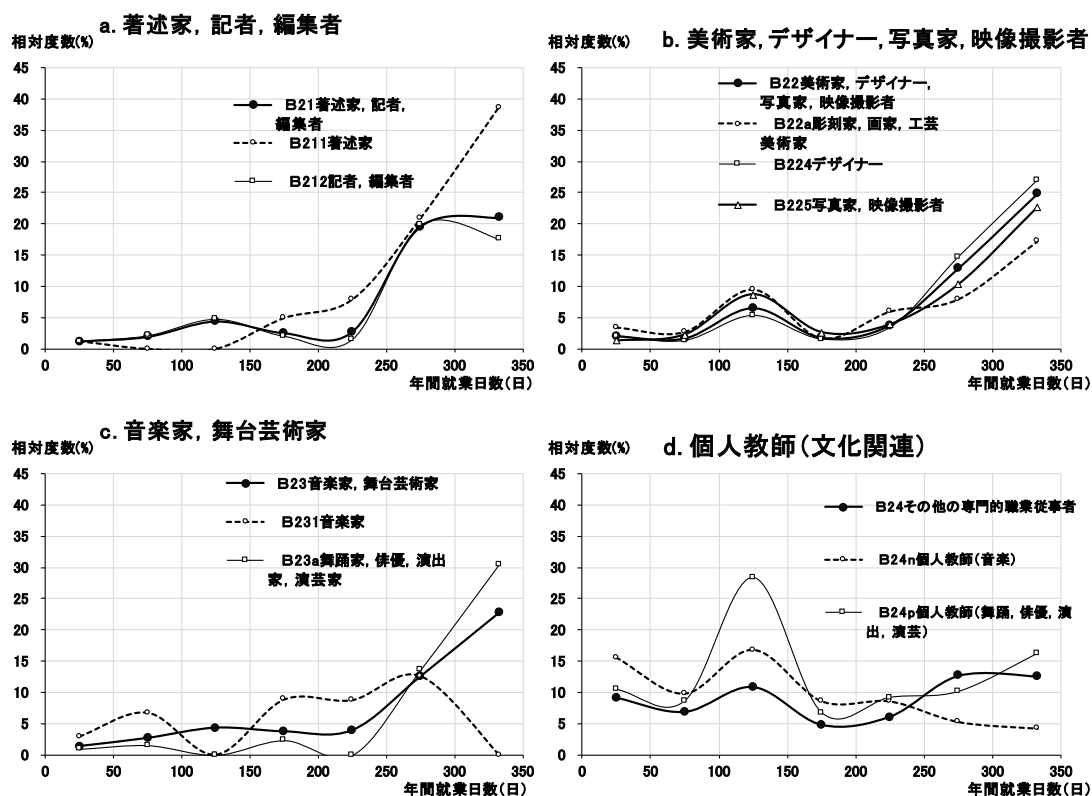


図3.3.5 文化関係就業者の年間就業日数の分布(2017年)

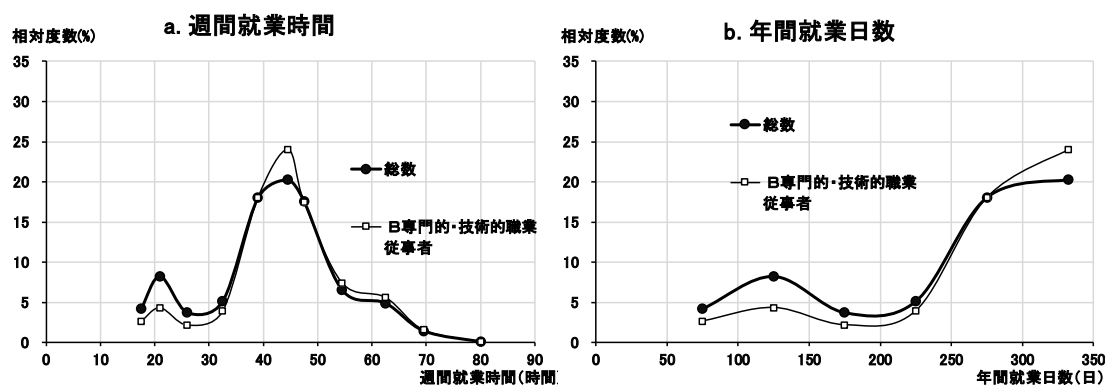


図3.3.6 有業者総数などの就業状況(2017年)

参考文献

文化庁 (2021) 『令和 2 年度「文化行政調査研究」文化統計の整備に関する調査研究事業報告書』。

文化庁・名城大学 (2023) 『令和 4 年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

3.4 社会生活基本調査による文化人口の推計

3.4.1 文化人口の定義

第2章では、文化に関する世論調査のマイクロデータを用いて、個別の文化的活動への参加に影響を与える要因や、文化的活動間の関係などについて定量的に検証した。また、個別の文化的活動を、直接鑑賞、間接鑑賞、有料配信鑑賞、実践・支援活動などに統合した個別の活動をまとめた分析も、第2章及び文化庁・名城大学(2023)で行った。本節では、社会生活基本調査を用いて、個別の文化的活動をさらにまとめて、何らかの文化的活動に参加している参加者数を「文化人口」と呼んで、その規模を推計することを目的とする。

文化振興を目指すのであれば、もちろん、個別の文化的活動に注目することも重要であるが、文化の定義を広くとり、何らかの文化的活動に参加している人口や割合の大きさが、日本全体としてどれだけ文化に関わったのかを表す指標となり、そうした人口を文化政策の目標に設定することも可能である。もちろん、都道府県別（あるいは市町村別）にそうした文化人口が算出できれば、自治体の文化政策の達成度を表す指標などとしても利用できることになる。

本節では、社会生活基本調査の趣味・娯楽の種目から操作的に「文化活動」を定義した上で、その活動に参加した人口、すなわち「文化人口」を推計する。こうした推計については、文化庁・名城大学(2023)において、平成18(2006)年、平成23(2011)年、平成28(2016)年の社会生活基本調査を用いた推計結果が提示されているが、以下では、それらの結果に、令和3(2021)年社会生活基本調査の推計結果を追加し、コロナ禍の影響をみることにしよう。

社会生活基本調査における文化的活動への参加の有無は、生活行動調査の趣味・娯楽における各行動(項目)ごとに調査されている。表3.4.1では、令和3(2021)年調査の趣味・娯楽の種目(35種目)が示されており、それらのうち文化的活動に含まれる種目を、表頭の右側にあるように「直接鑑賞」、「間接鑑賞」、「実践・支援」、「その他」に分けている¹。ここでの「その他」は、文化的活動(直接鑑賞、間接鑑賞、実践・支援)に含めるかどうか判断が難しいという意味であり、社会生活基本調査の調査項目にある「その他」(表3.4.1では最下行の「35_その他」とは異なることに注意されたい。なお、文化庁・名城大学(2023)では、平成28(2016)年調査における調査項目で文化的活動を定義しているが、令和3(2021)年調査との趣味・娯楽の調査項目の違いは、読書に関して、2016年調査では「趣味としての読書」という1項目だけであったが、2021年調査では、読書が、「趣味としての読書(マンガを除く)」と「マンガを読む」の2項目に分けられたことである。

2021年の社会生活基本調査における文化を定義するために、趣味・娯楽における調査項

¹ 社会生活基本調査では、文化に関する世論調査とは違って、間接鑑賞を有料かどうかで種目を分けていない。

目を、まず以下のように分類する（社会生活基本調査における個々の文化的活動の正確な名称は表 3.4.1 を参照のこと）。

- 直接鑑賞：美術鑑賞，演芸・演劇・舞踊鑑賞，映画館での映画鑑賞，音楽会などによるクラシック音楽鑑賞，音楽会などによるポピュラー音楽等鑑賞
- 間接鑑賞：映画館以外での映画鑑賞，CDなどによる音楽鑑賞
- 実践・支援：楽器の演奏，邦楽，コーラス・声楽，邦舞・おどり，洋舞・社交ダンス，書道，華道，茶道，絵画・彫刻の制作，陶芸・工芸，写真の撮影・プリント，詩・和歌・俳句・小説などの創作，囲碁，将棋
- その他：趣味としての読書（マンガを除く），マンガを読む，ゲーム，遊園地・動植物園・水族館などの見物

そして、その他に含まれる3種目の含め方によって、「文化活動」を最も狭い定義から広い定義の順に、以下のように「文化活動A」，「文化活動B」，「文化活動C」と定義する²。

- 文化活動A：直接鑑賞，間接鑑賞，実践・支援
- 文化活動B：直接鑑賞，間接鑑賞，実践・支援，ゲーム
- 文化活動C：直接鑑賞，間接鑑賞，実践・支援，ゲーム，趣味としての読書（マンガを除く），マンガを読む，遊園地・動植物園・水族館などの見物

なお本節では、個々の文化的活動の総体として、文化全体に関する活動を「文化活動」と呼ぶことにする（文化的活動は、個々の活動を指すイメージであると理解されたい）。

以上のような文化活動の定義を、2021年社会生活基本調査の趣味・娯楽における各行動の種類と対応させた表が、表 3.4.1 に示されている。読書に関する種目以外は、平成28(2016)年以前の調査での趣味・娯楽の調査項目はほとんど同じである。

3.4.2 文化人口の推計結果

文化人口の推移(全国)

表 3.4.1 の文化人口の定義に基づいて、社会生活基本調査の調査票情報をオンライン施設において集計³した全国の結果（10歳以上，男女計⁴）は表 3.4.2 の最下段に、文化活動の定義ごとの文化人口の時系列推移のグラフは図 3.4.1 に示されている。

² 趣味・娯楽の調査項目の「35_その他」の扱いと解釈については、文化庁・名城大学（2023），140ページを参照されたい。

³ 本研究での調査票情報の提供の概要については、<https://www.e-stat.go.jp/microdata/jisseki/data-use/10020020230021> を参照されたい。

⁴ 男女別の結果は付表3を参照されたい。

表3.4.1 令和3(2021)年社会生活基本調査における趣味・娯楽の種目と文化活動

	文化 活動A	文化 活動B	文化 活動C	直接 鑑賞	間接 鑑賞	実践・ 支援	その他
01_スポーツ観覧・観戦(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)							
02_美術鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	○	○	○	○			
03_演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)	○	○	○	○			
04_映画館での映画鑑賞	○	○	○	○			
05_映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)	○	○	○		○		
06_コンサートなどによるクラシック音楽鑑賞	○	○	○	○			
07_コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞	○	○	○	○			
08_CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	○	○	○		○		
09_楽器の演奏	○	○	○			○	
10_邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	○	○	○			○	
11_コーラス・声楽	○	○	○			○	
12_カラオケ							
13_邦舞・おどり	○	○	○			○	
14_洋舞・社交ダンス	○	○	○			○	
15_書道	○	○	○			○	
16_華道	○	○	○			○	
17_茶道	○	○	○			○	
18_和裁・洋裁							
19_編み物・手芸							
20_趣味としての料理・菓子作り							
21_園芸・庭いじり・ガーデニング							
22_日曜大工							
23_絵画・彫刻の制作	○	○	○			○	
24_陶芸・工芸	○	○	○			○	
25_写真の撮影・プリント	○	○	○			○	
26_詩・和歌・俳句・小説などの創作	○	○	○			○	
27_趣味としての読書(マンガを除く)*			○				○
28_マンガを読む*			○				○
29_囲碁	○	○	○			○	
30_将棋	○	○	○			○	
31_パチンコ							
32_スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム		○	○				○
33_遊園地、動植物園、水族館などの見物			○				○
34_キャンプ							
35_その他							
種目数	21	22	25	5	2	14	4

* 平成28(2016)年調査以前は、「趣味としての読書(マンガを除く)」と「マンガを読む」は分かれておらず、「趣味としての読書」だけであった。

資料：総務省「社会生活基本調査」

表3.4.2 都道府県別文化人口（文化活動の行動者数）・文化人口比率の推移

a. 文化活動A

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年 順位	
北海道	3,479,068	3,316,732	3,354,244	3,210,870	70.0	67.9	70.5	69.6 (18)	
青森	782,573	705,237	742,744	664,306	62.2	58.1	64.5	61.0 (47)	
岩手	784,943	722,097	762,142	701,996	64.2	61.5	67.1	65.3 (39)	
宮城	1,493,795	1,454,347	1,569,835	1,479,599	71.1	69.8	75.1	71.7 (11)	
秋田	625,812	579,914	579,274	551,868	61.7	60.1	64.0	65.0 (41)	
山形	696,497	666,349	675,986	616,969	64.8	64.4	68.2	65.4 (36)	
福島	1,167,918	1,150,013	1,153,500	1,066,307	63.4	64.6	67.5	65.3 (38)	
茨城	1,820,108	1,759,945	1,924,844	1,770,122	68.8	66.5	73.9	68.8 (21)	
栃木	1,266,353	1,183,002	1,234,447	1,159,506	70.7	66.3	70.2	67.0 (30)	
群馬	1,257,906	1,215,412	1,255,295	1,243,197	70.3	68.3	71.6	72.1 (9)	
埼玉	4,813,978	4,770,059	5,123,573	4,997,257	76.1	73.6	78.2	75.5 (4)	
千葉	4,122,779	4,014,266	4,489,475	4,216,283	75.8	71.9	80.0	74.4 (5)	
東京	9,252,853	9,357,877	10,246,387	10,462,196	80.5	78.0	83.0	82.2 (1)	
神奈川	6,307,867	6,186,081	6,585,973	6,467,992	79.8	76.1	80.2	77.5 (2)	
新潟	1,407,756	1,296,095	1,390,705	1,325,579	65.2	61.3	68.0	67.8 (24)	
富山	674,021	668,980	692,799	619,879	68.5	69.1	73.0	67.2 (28)	
石川	743,917	705,434	751,037	706,939	72.3	68.6	73.9	70.9 (14)	
福井	505,180	462,238	488,926	470,971	70.1	65.2	70.5	69.6 (19)	
山梨	525,209	517,114	529,218	487,891	67.2	67.4	71.1	67.3 (27)	
長野	1,364,086	1,295,170	1,334,239	1,268,004	70.3	67.9	71.7	69.5 (20)	
岐阜	1,294,790	1,232,478	1,281,689	1,208,252	69.3	66.7	70.9	68.5 (22)	
静岡	2,392,774	2,230,949	2,358,449	2,272,293	70.9	66.7	71.6	70.1 (17)	
愛知	4,867,163	4,761,311	5,078,929	5,093,190	75.2	72.2	76.0	75.7 (3)	
三重	1,166,801	1,130,921	1,184,634	1,076,827	70.2	68.7	73.4	68.4 (23)	
滋賀	926,524	891,665	939,960	910,837	75.7	71.2	75.0	72.2 (8)	
京都	1,747,265	1,695,572	1,796,998	1,695,611	74.2	71.9	76.8	73.4 (7)	
大阪	5,831,868	5,679,033	5,899,845	5,824,158	74.4	71.6	74.5	73.6 (6)	
兵庫	3,625,596	3,512,902	3,689,030	3,484,511	73.1	70.5	74.8	71.5 (12)	
奈良	960,904	913,304	922,148	848,411	76.1	73.0	75.8	71.7 (10)	
和歌山	597,075	554,116	581,241	537,465	65.3	62.3	68.2	65.9 (34)	
鳥取	359,196	323,388	333,125	320,327	67.5	62.7	66.5	66.2 (33)	
島根	414,828	378,751	407,044	383,255	63.8	60.2	67.1	65.4 (37)	
岡山	1,192,488	1,121,230	1,206,774	1,170,204	69.2	65.4	71.2	70.2 (16)	
広島	1,856,963	1,795,748	1,828,638	1,749,315	73.3	71.1	72.9	70.7 (15)	
山口	917,131	854,165	843,486	793,160	70.0	66.9	68.5	67.4 (25)	
徳島	468,897	408,866	442,662	394,402	65.9	59.2	66.7	62.4 (45)	
香川	595,441	568,207	599,264	560,944	67.1	64.8	69.6	67.0 (31)	
愛媛	862,309	796,437	836,667	793,050	66.8	63.1	68.6	67.3 (26)	
高知	433,585	382,943	419,261	392,233	62.2	57.1	65.8	64.8 (42)	
福岡	3,230,954	3,037,079	3,288,790	3,205,954	72.5	67.8	73.4	71.1 (13)	
佐賀	496,065	469,024	482,251	458,739	66.1	63.5	66.9	65.3 (40)	
長崎	791,702	749,528	791,855	697,096	61.9	60.5	66.5	61.4 (46)	
熊本	1,052,782	966,508	1,023,701	1,013,152	65.5	60.8	66.1	67.1 (29)	
大分	684,937	640,276	705,339	648,912	64.6	61.0	69.4	66.3 (32)	
宮崎	668,176	583,708	616,591	600,501	66.3	58.9	64.5	64.7 (43)	
鹿児島	982,620	921,131	935,465	875,550	64.4	62.0	65.7	63.6 (44)	
沖縄	683,138	784,346	876,911	828,753	65.7	65.2	71.3	65.6 (35)	
合計	82,194,591	79,409,948	84,255,390	81,324,833	72.4	69.6	74.4	72.3	

資料：社会生活基本調査の調査票情報を利用して集計。順位は2021年の文化人口比率による（以下同様）。

表3.4.2（続、その1）

b. 文化活動B

	文化人口（行動者数、人）				文化人口比率（％）			
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年 順位
北海道	3,597,140	3,488,884	3,472,396	3,424,173	72.4	71.4	73.0	74.2 (17)
青森	810,887	740,155	774,405	710,475	64.5	61.0	67.2	65.2 (47)
岩手	808,448	752,494	793,824	743,234	66.1	64.0	69.9	69.1 (37)
宮城	1,533,057	1,506,887	1,606,696	1,564,436	73.0	72.3	76.8	75.8 (10)
秋田	645,845	605,479	603,400	581,005	63.7	62.8	66.6	68.4 (43)
山形	714,526	692,301	696,111	651,911	66.5	66.9	70.2	69.1 (38)
福島	1,206,078	1,196,954	1,203,725	1,142,617	65.4	67.3	70.5	70.0 (34)
茨城	1,869,445	1,827,558	1,999,714	1,863,815	70.6	69.1	76.8	72.5 (23)
栃木	1,295,813	1,227,120	1,277,018	1,238,145	72.3	68.7	72.6	71.6 (25)
群馬	1,293,258	1,263,543	1,298,662	1,295,397	72.3	71.0	74.1	75.1 (13)
埼玉	4,933,499	4,962,636	5,273,398	5,223,819	78.0	76.6	80.4	78.9 (4)
千葉	4,215,402	4,183,788	4,628,669	4,416,772	77.5	74.9	82.4	77.9 (5)
東京	9,405,899	9,621,839	10,441,206	10,812,224	81.9	80.2	84.6	85.0 (1)
神奈川	6,438,305	6,423,719	6,710,513	6,745,479	81.5	79.0	81.7	80.8 (2)
新潟	1,448,830	1,365,816	1,443,403	1,400,863	67.1	64.6	70.6	71.7 (24)
富山	694,144	692,669	717,479	654,546	70.6	71.6	75.6	71.0 (28)
石川	765,911	741,299	777,311	751,465	74.5	72.1	76.5	75.4 (12)
福井	518,971	484,101	503,411	500,445	72.1	68.3	72.6	73.9 (19)
山梨	540,110	538,765	544,746	510,061	69.1	70.3	73.2	70.3 (32)
長野	1,398,789	1,343,504	1,392,934	1,332,811	72.1	70.4	74.8	73.1 (21)
岐阜	1,341,170	1,290,804	1,334,185	1,292,045	71.8	69.9	73.8	73.3 (20)
静岡	2,443,515	2,348,228	2,453,536	2,430,880	72.4	70.2	74.5	75.0 (14)
愛知	4,981,304	4,955,239	5,264,104	5,348,049	77.0	75.1	78.7	79.5 (3)
三重	1,194,671	1,175,714	1,226,698	1,143,752	71.9	71.4	76.0	72.7 (22)
滋賀	948,448	932,134	973,918	964,019	77.5	74.5	77.7	76.5 (8)
京都	1,798,881	1,759,943	1,856,217	1,780,060	76.4	74.6	79.4	77.0 (7)
大阪	6,000,273	5,923,108	6,087,637	6,157,457	76.5	74.6	76.8	77.8 (6)
兵庫	3,717,778	3,669,757	3,788,650	3,670,758	74.9	73.7	76.8	75.4 (11)
奈良	981,091	950,988	952,006	899,331	77.7	76.0	78.3	76.0 (9)
和歌山	615,029	587,125	598,239	573,797	67.2	66.0	70.2	70.3 (31)
鳥取	370,227	337,282	346,995	338,312	69.6	65.4	69.3	70.0 (35)
島根	427,688	396,831	425,641	405,524	65.7	63.1	70.2	69.2 (36)
岡山	1,224,106	1,178,625	1,270,397	1,235,930	71.0	68.7	75.0	74.2 (18)
広島	1,905,448	1,878,607	1,899,152	1,850,133	75.2	74.4	75.7	74.8 (16)
山口	940,375	893,347	880,500	835,889	71.8	70.0	71.5	71.0 (27)
徳島	481,769	429,461	460,809	428,612	67.7	62.2	69.4	67.8 (44)
香川	614,229	590,755	624,263	590,921	69.2	67.3	72.5	70.6 (30)
愛媛	889,263	831,099	872,551	841,701	68.8	65.8	71.5	71.5 (26)
高知	445,129	399,665	433,333	415,036	63.9	59.6	68.0	68.5 (42)
福岡	3,291,846	3,161,838	3,397,102	3,378,027	73.9	70.6	75.8	74.9 (15)
佐賀	511,783	489,467	498,487	484,154	68.2	66.3	69.2	68.9 (39)
長崎	815,348	780,587	819,394	747,162	63.7	63.0	68.8	65.8 (46)
熊本	1,078,133	1,008,418	1,062,576	1,071,402	67.0	63.4	68.7	70.9 (29)
大分	708,168	666,549	732,005	686,971	66.8	63.5	72.0	70.2 (33)
宮崎	685,366	608,243	641,269	637,355	68.0	61.3	67.1	68.7 (41)
鹿児島	1,006,932	949,395	966,210	929,840	66.0	63.9	67.9	67.5 (45)
沖縄	692,475	805,441	901,592	869,892	66.6	66.9	73.3	68.9 (40)
合計	84,244,802	82,658,161	86,926,487	85,570,702	74.2	72.5	76.7	76.1

表3.4.2（続，その2）

c. 文化活動C

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年 順位	
北海道	3,798,462	3,674,179	3,622,204	3,564,481	76.5	75.2	76.2	77.3 (17)	
青森	844,147	778,299	808,775	751,989	67.1	64.1	70.2	69.0 (47)	
岩手	855,840	798,160	837,219	780,375	70.0	67.9	73.8	72.6 (36)	
宮城	1,611,209	1,580,972	1,667,177	1,644,857	76.7	75.8	79.7	79.7 (8)	
秋田	691,904	645,649	638,737	609,330	68.2	66.9	70.5	71.7 (43)	
山形	752,129	733,793	735,745	686,614	70.0	70.9	74.2	72.7 (35)	
福島	1,274,479	1,271,434	1,263,423	1,195,126	69.1	71.4	74.0	73.2 (34)	
茨城	1,972,136	1,939,944	2,072,514	1,954,700	74.5	73.4	79.6	76.0 (22)	
栃木	1,360,061	1,297,879	1,334,533	1,298,212	75.9	72.7	75.9	75.0 (26)	
群馬	1,360,823	1,327,299	1,355,823	1,344,413	76.1	74.6	77.3	78.0 (15)	
埼玉	5,133,909	5,186,778	5,433,585	5,424,271	81.1	80.1	82.9	81.9 (4)	
千葉	4,391,534	4,365,127	4,753,149	4,564,541	80.8	78.2	84.7	80.5 (6)	
東京	9,730,582	9,989,137	10,674,930	11,181,344	84.7	83.3	86.5	87.9 (1)	
神奈川	6,711,492	6,716,400	6,945,100	7,002,779	84.9	82.6	84.5	83.9 (2)	
新潟	1,545,655	1,469,346	1,518,894	1,469,394	71.6	69.5	74.3	75.2 (24)	
富山	728,785	733,769	747,845	684,056	74.1	75.8	78.8	74.2 (29)	
石川	802,799	777,019	812,078	779,848	78.0	75.6	79.9	78.2 (14)	
福井	540,364	511,092	524,514	520,907	75.0	72.1	75.7	77.0 (18)	
山梨	574,726	570,544	569,552	533,887	73.6	74.4	76.6	73.6 (33)	
長野	1,473,270	1,420,591	1,452,302	1,401,465	75.9	74.5	78.0	76.8 (19)	
岐阜	1,412,857	1,360,915	1,383,281	1,343,770	75.6	73.7	76.6	76.2 (21)	
静岡	2,584,544	2,487,700	2,578,037	2,540,231	76.5	74.4	78.3	78.4 (12)	
愛知	5,193,254	5,198,501	5,454,618	5,548,546	80.3	78.8	81.6	82.5 (3)	
三重	1,235,739	1,221,315	1,266,499	1,189,546	74.3	74.2	78.5	75.6 (23)	
滋賀	989,661	977,302	1,014,250	1,003,120	80.9	78.1	80.9	79.6 (9)	
京都	1,892,045	1,839,523	1,918,892	1,846,380	80.3	78.0	82.1	79.9 (7)	
大阪	6,233,152	6,193,781	6,353,599	6,382,880	79.5	78.0	80.2	80.7 (5)	
兵庫	3,891,224	3,874,348	3,942,830	3,817,331	78.4	77.8	79.9	78.4 (13)	
奈良	1,022,357	992,878	985,627	932,928	80.9	79.3	81.0	78.9 (10)	
和歌山	650,788	623,307	623,415	600,836	71.1	70.1	73.2	73.7 (32)	
鳥取	393,077	360,500	367,446	350,991	73.9	69.9	73.4	72.6 (37)	
島根	453,791	423,900	450,404	424,590	69.7	67.4	74.2	72.4 (38)	
岡山	1,293,636	1,236,135	1,331,712	1,279,976	75.0	72.1	78.6	76.8 (20)	
広島	1,975,831	1,979,445	1,971,755	1,924,160	78.0	78.4	78.6	77.8 (16)	
山口	992,729	943,930	930,206	878,629	75.8	74.0	75.6	74.7 (27)	
徳島	507,760	460,358	484,391	450,092	71.4	66.7	73.0	71.2 (44)	
香川	649,363	635,130	651,079	619,367	73.1	72.4	75.7	74.0 (30)	
愛媛	932,996	879,141	903,605	884,799	72.2	69.6	74.0	75.1 (25)	
高知	478,371	429,228	456,261	436,169	68.6	64.0	71.6	72.0 (40)	
福岡	3,439,447	3,317,682	3,532,170	3,539,557	77.2	74.1	78.8	78.5 (11)	
佐賀	538,792	517,856	519,314	508,846	71.8	70.1	72.1	72.4 (39)	
長崎	871,845	853,535	861,953	786,799	68.2	68.9	72.4	69.3 (46)	
熊本	1,138,069	1,064,528	1,116,390	1,123,797	70.8	67.0	72.1	74.4 (28)	
大分	751,453	711,149	765,517	722,656	70.8	67.8	75.3	73.8 (31)	
宮崎	724,430	658,484	669,560	665,661	71.9	66.4	70.1	71.7 (42)	
鹿児島	1,072,641	1,012,117	1,020,944	969,761	70.3	68.2	71.7	70.4 (45)	
沖縄	723,392	838,042	932,770	906,488	69.6	69.6	75.8	71.8 (41)	
合計	88,197,550	86,878,141	90,254,624	89,070,495	77.7	76.2	79.7	79.2	

文化の範囲の最も狭い「文化活動 A」から最も広い「文化活動 C」について、それぞれ、2006 年→2011 年→2016 年→2021 年の順にみていくと、

文化活動 A：約 8200 万人→約 7900 万人→約 8400 万人→約 8100 万人

文化活動 B：約 8400 万人→約 8300 万人→約 8700 万人→約 8600 万人

文化活動 C：約 8800 万人→約 8700 万人→約 9000 万人→約 8900 万人

となっている。2011 年は東日本大震災が発生したこともあるので、傾向としては 2016 年までは増加傾向にあったが、2021 年にはコロナ禍で文化人口は減少した。ただし、2016 年から 2021 年にかけて総人口は減少しているが、それを差し引いた人口に占める比率でみるとすると、コロナ禍での影響はそれほど大きくはなっていない。これは、間接鑑賞など自宅で楽しめる文化的活動が含まれているためである。また、文化人口の総人口に対する割合である「文化人口比率⁵」でみても、ほぼ同様の動きをしている（図 3.4.1b）。

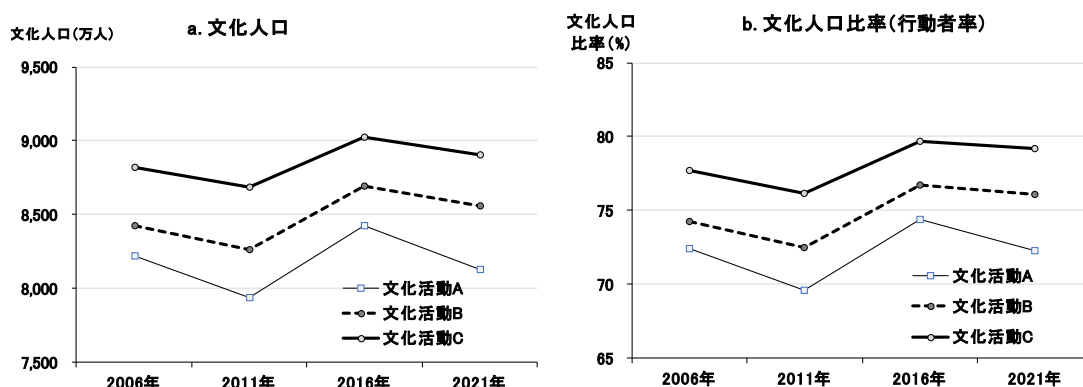


図3.4.1 文化人口の推移

表 3.4.3 の文化人口の変化率や指数でみると、文化活動 A では、コロナ禍の影響を受けた 2021 年の文化人口は、2006 年の水準よりも低くなっている。他方、文化活動 C はコロナ禍の影響で減少しているものの、2021 年の水準は 2006 年の水準よりも高く、文化活動 A に比べて、2016 年からの減少率は小さくなっている（文化活動 B も同様）。これは、文化活動 B・C においては、ゲームやマンガを読むといったコロナ禍の影響を受けない（むしろコロナ禍で増えそうな）活動が含まれているからである。

いずれにせよ、こうした指標の推移は、国の文化政策を評価する 1 つの指標となるであろうし、文化に関する市場規模を測る資料としても利用可能である。

⁵ 文化活動 A～C の各文化人口比率は、それぞれに含まれる文化的活動の少なくとも 1 つに参加した人口の比率、すなわち行動者率（参加率）を表す。

表3.4.3 文化人口の変化率・指数表示

a. 変化率					b. 指数（2006年基準）				
	2006年	2011年	2016年	2021年		2006年	2011年	2016年	2021年
文化活動A		-3.4	6.1	-3.5	文化活動A	100.0	96.6	102.5	98.9
文化活動B		-1.9	5.2	-1.6	文化活動B	100.0	98.1	103.2	101.6
文化活動C		-1.5	3.9	-1.3	文化活動C	100.0	98.5	102.3	101.0

地域別集計

表 3.4.2 は都道府県別の集計も提供している。文化人口や文化人口比率に関して日本全体と同様に都道府県ごとの時系列変化を追うことも可能であるし、クロスセクショナルな比較も可能である。文化人口の多い都道府県は、人口の多い首都圏（東京、神奈川、埼玉、千葉）や愛知、大阪、京都などであることは当然であるが、文化人口比率でも、そうした都府県が上位にランクされている。文化的な施設が多いこと、それに伴い多くの演奏会や演劇などが行われること、所得水準が高いこと等々が影響している。

たとえば、愛知県について、図 3.4.1 と同様に文化人口と文化人口比率の推移を描いたグラフが図 3.4.2 である。これをみるとコロナ禍の 2021 年でも、文化活動 B と C では、文化人口は増加している（文化人口比率も上昇、文化活動 A でも 2021 年は微減程度）。このように、都道府県ごとにコロナ禍の文化的活動への参加に対する影響は、異なっていることがうかがえる。

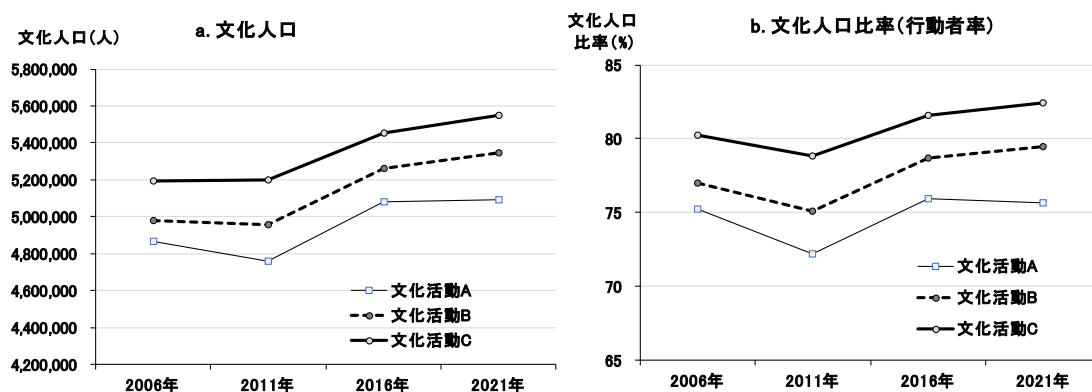


図3.4.2 愛知県の文化人口の推移

また、都道府県別の文化人口や文化人口比率は、文化芸術振興計画を評価するための指標などとしても利用することが可能である。もちろん、文化活動の定義はその都道府県で選択すればよい。社会生活基本調査によれば5年ごとの数値になるが、自治体の文化政策を決めるための参考指標としては十分であると思われる。

表 3.4.4 は都市階級別にみた文化人口と文化人口比率の時系列推移を示している。都市階級の区分は以下の通りである。

- ・大都市（人口 100 万以上の市）
- ・中都市（人口 15 万以上 100 万未満の市）
- ・小都市 A（人口 5 万以上 15 万未満の市）
- ・小都市 B（人口 5 万未満の市）
- ・町村

表3.4.4 都市階級別文化人口の推移

a. 文化人口(文化活動A) 単位：人

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	19,610,004	19,898,068	21,840,025	21,505,684
中都市	30,318,186	29,983,235	31,111,124	30,697,889
小都市 A	19,959,847	18,814,546	19,934,456	18,140,475
小都市 B	4,589,706	4,394,533	5,172,436	5,118,102
町村	7,716,848	6,319,568	6,197,333	5,862,669
合計	82,194,591	79,409,950	84,255,374	81,324,819

b.文化人口比率(文化活動A) 単位：%

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	78.7	75.6	80.0	78.2
中都市	74.3	70.8	75.1	73.1
小都市 A	70.2	67.4	72.5	70.5
小都市 B	62.1	59.3	65.4	62.1
町村	64.8	62.7	67.5	65.4
合計	72.4	69.6	74.4	72.3

c. 文化人口(文化活動B) 単位：人

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	19,958,122	20,566,844	22,348,064	22,364,118
中都市	31,044,368	31,205,985	32,145,090	32,303,927
小都市 A	20,530,398	19,654,537	20,640,536	19,197,585
小都市 B	4,746,423	4,602,072	5,362,783	5,479,955
町村	7,965,486	6,628,735	6,430,033	6,225,122
合計	84,244,797	82,658,173	86,926,506	85,570,707

d.文化人口比率(文化活動B) 単位：%

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	80.1	78.1	81.9	81.3
中都市	76.1	73.7	77.6	76.9
小都市 A	72.2	70.4	75.1	74.6
小都市 B	64.2	62.2	67.8	66.4
町村	66.9	65.8	70.0	69.5
合計	74.2	72.5	76.7	76.1

e. 文化人口(文化活動C) 単位：人

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	20,691,913	21,466,118	23,034,304	23,174,857
中都市	32,474,031	32,787,514	33,385,669	33,613,531
小都市 A	21,549,461	20,703,330	21,483,430	19,971,175
小都市 B	5,067,392	4,919,837	5,615,595	5,773,957
町村	8,414,739	7,001,359	6,735,630	6,536,971
合計	88,197,536	86,878,158	90,254,628	89,070,491

f.文化人口比率(文化活動C) 単位：%

	2006年	2011年	2016年	2021年
大都市	83.0	81.5	84.9	84.2
中都市	79.6	77.4	81.1	80.0
小都市 A	75.7	74.2	72.7	77.6
小都市 B	68.5	66.4	73.0	70.0
町村	70.7	69.5	71.2	72.9
合計	77.7	76.2	78.6	79.2

表 3.4.4 より都市階級別に文化人口比率をみると、若干の例外はあるが、大都市→中都市→小都市 A→町村→小都市 B の順に低くなっており、人口の規模を反映している（小都市 B より町村の方が人口は多い）。文化人口でも同様の傾向である。ただし、文化人口比率の大きさの順序は、ほぼ変わりはないものの、文化人口比率の変化については、規模によって特徴がみられる。

図 3.4.3a は文化活動 C を取り上げて、都市階級別の文化人口比率の変化を示しているが、全体の文化人口比率を上回っているのは、大都市と中都市である。コロナ禍の影響を文化人口比率の低下でみると、最も大きな低下をみせているのは、小都市 B である。逆に小都市 A や町村の文化人口比率は 2021 年に上昇していることがわかる。第 2 章でみたように、コロナ禍は高齢者の文化的活動への参加に大きな影響を与えたということを反映していると

も考えられるが、大都市と町村などでは参加する文化的活動の種類はおそらく異なるであろうから、そうした視点から詳細に検証しないと、適切な説明はむずかしいのかもしれない。文化人口比率ではなく文化人口そのものでみれば(図 3.4.3b), 町村での減少が特に大きく、2006 年から 2021 年の 15 年間で 2 割以上減少している。町村の文化人口比率はむしろ 2011 年以降上昇しているから、それ以上に、人口の減少が大きいことを反映していることになる。その他にも、2016 年の文化人口比率で小都市 A のみが低下していること、逆に小都市 B がかなり上昇していることなどについての説明については、今後の検討課題としたい。

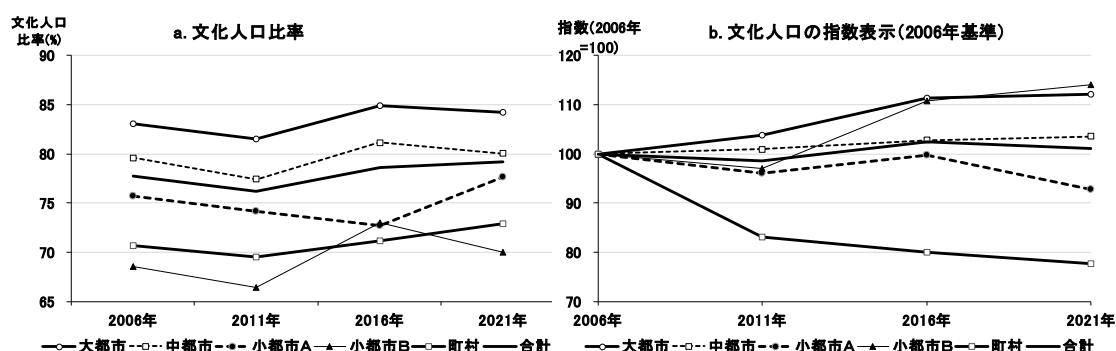


図3.4.3 都市階級別文化人口の関連指標(文化活動C)

男女・年齢別集計

以下では、年齢ごとの文化人口の集計結果を、特に 2021 年に注目してコロナ禍の影響をみていこう。文化活動 A～C ごとに男女別・年齢階級別の文化人口と文化人口比率の集計を行った結果が、表 3.4.5 に示されている。ただし、ここでは 10-14 歳と 75 歳以上を除いて 10 歳ごとの年齢階級を用いているが、これは、5 歳階級など階級幅を細かくしすぎると、各セルに含まれる度数が小さくなってしまいう問題があるためである⁶。また、図 3.4.4 は、文化活動 A を取り上げて、年齢階級別に文化人口比率を男女別にみたグラフである。

男性については、文化活動 A では、24 歳以下と 65 歳以上において、2016 年に比べて 2021 年の文化人口比率は低下している。しかし、ゲームやマンガを読むことを含む文化活動 C でみると、24 歳以下では文化人口比率が上昇しており、低下しているのは、65 歳以上の高齢者である。一方、女性についてみると、加齢とともに文化人口比率の低下は大きくなっている。また、2021 年についてみると、低年齢層では男性と同様に文化活動 A では低下、文化活動 C では若干の上昇となっているが、やはり高齢者では、文化活動 A も C も低下しており、しかも女性は男性よりも大きく文化人口比率が低下している。やはり第 2 章の文化に関する世論調査の時系列推移でみたのと同様に、社会生活基本調査でも、コロナ禍の文化的活動への参加に対する影響は、女性そして高齢者において、より大きかったことが確認できる。

⁶ 調査票情報をオンライン施設などで集計する場合、秘匿等の観点から、セルに含まれる度数が 10 未満の結果は公表することができない。

表3.4.5 男女・年齢階級別文化人口・行動者率の推移

a. 文化人口(男)

単位：人

	性別/年齢	10-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
文化活動A	2006年	2,570,437	5,988,290	7,354,420	6,974,100	5,727,070	5,525,405	3,549,190	1,617,812	39,306,724
	2011年	2,510,130	5,021,550	5,879,943	7,182,851	5,581,717	5,467,557	3,741,198	2,084,746	37,469,692
	2016年	2,474,628	5,399,547	5,640,457	7,029,674	6,665,742	5,334,053	5,081,030	2,835,288	40,460,419
	2021年	2,296,315	5,153,265	5,385,947	6,255,469	7,276,299	5,328,716	4,825,924	2,918,156	39,440,091
文化活動B	2006年	2,808,157	6,282,059	7,713,208	7,237,088	5,912,000	5,682,703	3,614,264	1,627,227	40,876,706
	2011年	2,771,682	5,497,253	6,460,617	7,698,691	5,814,449	5,639,703	3,865,293	2,120,731	39,868,419
	2016年	2,615,975	5,642,866	6,023,562	7,493,174	6,931,525	5,493,616	5,206,416	2,894,197	42,301,331
	2021年	2,522,183	5,492,867	5,785,921	6,806,220	7,794,776	5,591,053	5,037,916	3,037,289	42,068,225
文化活動C	2006年	2,821,823	6,300,915	7,824,197	7,430,576	6,162,999	6,238,994	4,034,732	1,960,596	42,774,832
	2011年	2,782,831	5,551,140	6,583,520	7,956,749	6,040,055	6,132,490	4,258,418	2,470,304	41,775,507
	2016年	2,626,123	5,667,618	6,111,652	7,688,026	7,103,111	5,758,643	5,608,969	3,216,401	43,780,543
	2021年	2,561,237	5,548,836	5,888,459	6,981,228	8,029,585	5,815,993	5,445,085	3,430,477	43,700,900

b. 文化人口比率(男)

単位：%

	性別/年齢	10-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
文化活動A	2006年	83.9	86.2	83.1	81.1	72.2	60.5	54.2	39.0	71.2
	2011年	83.2	79.6	76.4	75.3	72.2	59.6	54.4	40.6	67.5
	2016年	88.0	87.1	81.9	78.6	78.0	69.8	62.2	47.2	73.3
	2021年	83.9	85.8	82.0	80.1	76.8	71.7	59.4	43.7	71.9
文化活動B	2006年	91.7	90.4	87.1	84.2	74.5	62.2	55.2	39.2	74.0
	2011年	91.9	87.1	83.9	80.7	75.3	61.5	56.2	41.3	71.9
	2016年	93.0	91.0	87.5	83.8	81.1	71.9	63.7	48.2	76.6
	2021年	92.2	91.4	88.1	87.1	82.3	75.3	62.0	45.5	76.7
文化活動C	2006年	92.1	90.7	88.4	86.4	77.7	68.3	61.6	47.2	77.5
	2011年	92.3	88.0	85.5	83.4	78.2	66.8	61.9	48.1	75.3
	2016年	93.4	91.4	88.8	85.9	83.1	75.4	68.6	53.6	79.3
	2021年	93.6	92.4	89.7	89.3	84.8	78.3	67.0	51.4	79.7

c. 文化人口(女)

単位：人

	年齢	10-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
文化活動A	2006年	2,646,551	6,127,486	7,769,555	7,445,634	6,281,190	6,370,857	4,110,821	2,135,773	42,887,867
	2011年	2,541,511	5,432,040	6,519,868	7,955,329	6,131,470	6,296,697	4,345,690	2,717,651	41,940,256
	2016年	2,451,861	5,446,183	6,010,737	7,490,981	7,077,859	5,913,288	5,827,140	3,576,922	43,794,971
	2021年	2,367,007	5,302,046	5,553,612	6,565,969	7,690,901	5,653,607	5,102,865	3,648,735	41,884,742
文化活動B	2006年	2,726,037	6,179,425	7,840,397	7,532,763	6,356,716	6,447,148	4,140,432	2,145,178	43,368,096
	2011年	2,647,362	5,523,667	6,644,503	8,130,779	6,243,853	6,412,360	4,432,720	2,754,498	42,789,742
	2016年	2,508,477	5,494,902	6,092,723	7,709,763	7,252,797	6,041,823	5,912,703	3,611,968	44,625,156
	2021年	2,458,334	5,395,702	5,699,422	6,767,073	8,038,754	5,971,643	5,397,505	3,774,044	43,502,477
文化活動C	2006年	2,748,109	6,213,626	7,944,340	7,708,541	6,624,734	7,026,660	4,577,802	2,578,906	45,422,718
	2011年	2,683,661	5,564,398	6,791,113	8,373,622	6,485,836	6,990,524	4,944,969	3,268,511	45,102,634
	2016年	2,526,257	5,513,628	6,191,775	7,881,128	7,434,414	6,382,785	6,393,147	4,150,947	46,474,081
	2021年	2,487,417	5,431,276	5,776,042	6,914,485	8,244,851	6,209,924	5,954,340	4,351,260	45,369,595

d. 文化人口比率(女)

単位：%

	年齢	10-14歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
文化活動A	2006年	90.9	92.1	90.0	87.6	78.7	66.9	55.1	32.5	73.6
	2011年	88.4	89.8	87.0	85.1	79.3	66.3	56.0	34.7	71.6
	2016年	91.4	92.3	90.2	85.7	83.5	75.5	64.4	40.9	75.4
	2021年	91.0	92.3	88.5	86.3	82.4	74.7	57.1	38.1	72.7
文化活動B	2006年	93.6	92.8	90.8	88.6	79.6	67.7	55.5	32.6	74.5
	2011年	92.1	91.3	88.7	87.0	80.8	67.5	57.1	35.2	73.0
	2016年	93.5	93.1	91.4	88.2	85.6	77.1	65.3	41.3	76.8
	2021年	94.5	93.9	90.8	89.0	86.1	78.9	60.4	39.5	75.5
文化活動C	2006年	94.3	93.3	92.0	90.7	83.0	73.8	61.4	39.2	78.0
	2011年	93.3	92.0	90.6	89.6	83.9	73.6	63.7	41.8	77.0
	2016年	94.2	93.4	92.9	90.1	87.7	81.4	70.6	47.5	80.0
	2021年	95.6	94.5	92.0	90.9	88.3	82.1	66.6	45.5	78.7

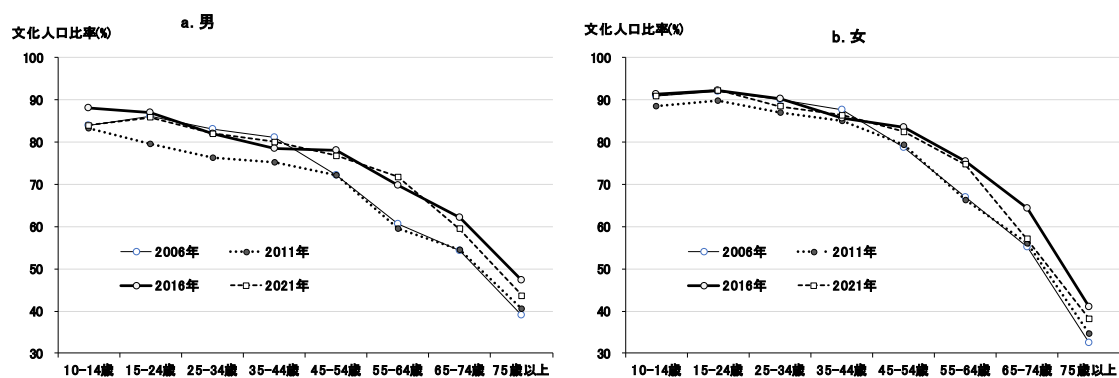


図3.4.4 文化活動Aの年齢階級別行動者率

参考文献

文化庁・名城大学 (2023)『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf

3.5 社会生活基本調査における学歴と所得水準に関する集計

3.5.1 文化的活動への参加と学歴・所得

第2章でもみたように、文化的活動への参加には、非常に多くの属性が関連しているが、文化経済学における先行研究において、最も重要な要因と考えられてきた属性として、所得水準と学歴をあげることができる。文化的活動への参加は、消費者の（文化的）需要の一側面であるから、所得が影響を与えるというのは当然であり、Baumol and Bowen (1966)をはじめとする多くの研究で、理論的にも実証的にも明らかにされている。また、学歴（教育）は、文化資本を具現する指標であり、高学歴ほど文化資本が蓄積されることによって、文化的活動への参加が多くなることが、やはり理論的にも実証的にも検証されている。この辺りの議論や先行研究については、Ateca-Amestoy (2008), Katsuura (2008), 勝浦・有馬 (2016), Suarez-Fernandez, *et al.* (2020) などを参照されたい。

しかし、所得水準と学歴には密接な相関があることが知られている。両者をどう分離するのかについても多くの研究がある。詳細は Seaman (2006), 勝浦 (2012), 文化庁・名城大学 (2023) や、そこであげられている先行研究や参考文献を参照されたい。なお、文化庁・名城大学 (2023) では、社会生活基本調査のデータを用いて、所得水準と学歴の単純集計の問題点を指摘し、両者をクロス集計する必要性がデータを提示しながら説明されている。

3.5.2 オーダーメード集計による教育と世帯収入のクロス集計

文化庁・名城大学 (2023) では、1986年から2016年について、社会生活基本調査の趣味・娯楽からいくつかの文化的活動（直接鑑賞に含まれる美術鑑賞とクラシック音楽鑑賞，間接鑑賞に含まれるCD等による音楽鑑賞，実践・支援に含まれる楽器の演奏）を選択して、所得水準（世帯収入）と学歴（教育）のクロス集計の結果が提示されている。付表4では、直近の社会生活基本調査である2021年について、同様の種目の結果を提示している。なお、付表4では、紙幅の関係で限られた活動のみの結果を提示しているが、本研究では、それ以外の社会生活基本調査の生活行動で調査されている趣味・娯楽，スポーツ，旅行・行楽のすべての生活行動の項目についても、同様の集計を行っている。また、付表4では、男女別の世帯収入と教育のクロス集計の結果を提示しているが、性別以外にも、年齢やふだんの就業状態といった属性についても、世帯収入と教育のクロス集計を行っている。

なお、文化庁・名城大学 (2023) で行った平成23・28年社会生活基本調査を用いた世帯収入と教育のオーダーメード集計によるクロス集計の概要は、以下のサイトに掲載されている。すべての結果表は、以下のサイトでダウンロード可能である。

<https://www.e-stat.go.jp/microdata/jisseki/order/30020020220008>

また、本報告書で提示されている令和3年社会生活基本調査を用いたオーダーメード集計については、以下のサイトを参照されたい。

<https://www.e-stat.go.jp/microdata/jisseki/order/30020020230004>

以下では、コロナ禍の影響を受けた2021年の結果を中心に、教育と世帯収入のクロス集計の結果をみていく。

3.5.3 教育と世帯収入のクロス集計の分析

図3.5.1は、2021年の美術鑑賞とクラシック音楽鑑賞についての教育と世帯収入のクロス集計の結果を男女別にみたものである（卒業者のみ。ただし、大学院卒は、該当するサンプルがあまり多くないために除いている）。図から、同じ世帯収入の水準でも、教育水準が高いほど行動者率が高い、すなわち、文化的活動への参加には、収入の影響を除いたとしても学歴の影響が存在していることがわかる。また、世帯収入と行動者率の相関は、若干はみられるものの、それほど強くないことがわかる。これは、世帯収入と教育には相関があるため、世帯収入から学歴の影響を取り除くと、世帯収入の影響が弱くなることを示唆している。

たとえば、学歴を考えずに卒業生全体で世帯収入と行動者率の相関係数を計算すると、美術鑑賞の男性で0.95、女性で0.93、クラシック音楽鑑賞の男性で0.91、女性で0.93となるが、美術鑑賞の男性の高校卒0.49、大学卒0.45、女性の高校卒0.77、大学卒0.19、クラシック音楽鑑賞の男性の高校卒0.28、大学卒0.79、女性の高校卒0.70、大学卒0.42などとなり、学歴の影響を取り除くと世帯収入と行動者率の相関は弱くなっていることがわかる。もちろん、学歴の影響を除いても世帯収入は文化的活動に影響を与えるかについてより厳密に考察するためには、第2章で行ったようなモデル推定が必要となる（その際には、3.4節で行ったようなオンサイト施設等でのマイクロデータの利用が必要となる）。

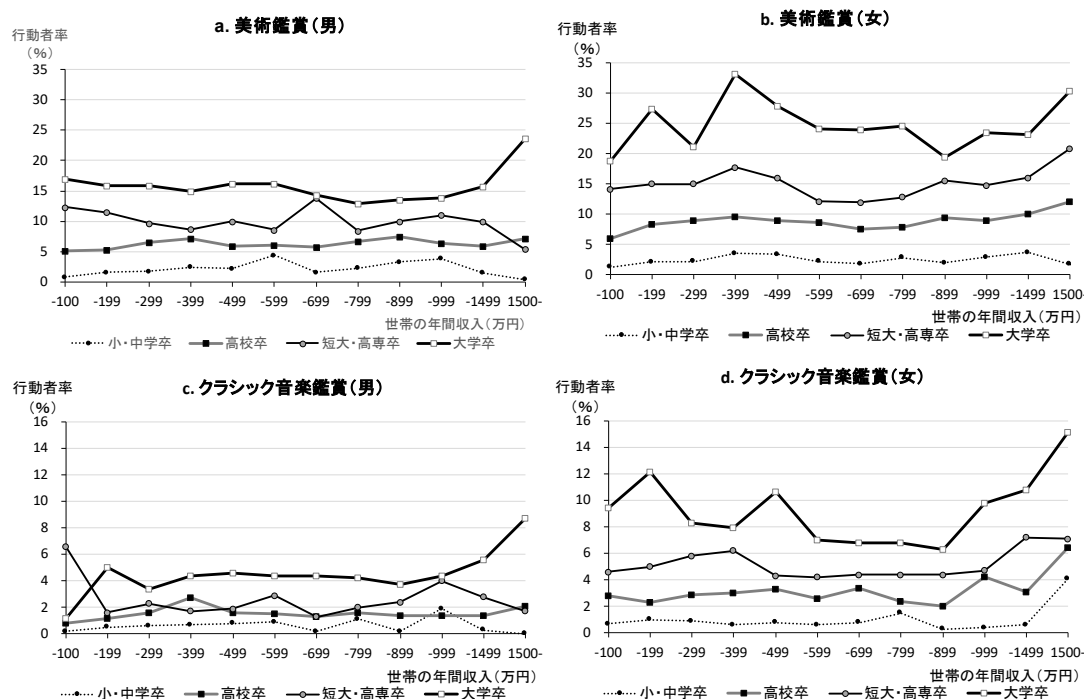


図3.5.1 世帯の年間収入・教育別行動者率(卒業者)

図 3.5.2 と図 3.5.3 は、美術鑑賞とクラシック音楽鑑賞について、上と同様の世帯収入と教育のクロス集計を、男女別及び有業・無業別に示したものである（2021 年）。ただし、欠損値が多い場合はグラフには示していない（男性の小中卒や短大・高専卒のクラシック音楽鑑賞など）。

美術鑑賞についてみると、女性の場合、有業でも無業でも学歴の影響は明確であり、世帯収入との関係もある程度みることができる。他方、男性の場合、有業の場合は学歴・世帯収入の影響は若干みられるが、無業だと世帯収入の影響はほとんどみられない。世帯収入と行動者率の相関係数を計算してみる（卒業者計）と、男性の有業者 0.84，無業者 0.58 で、女性の有業者 0.86，無業者 0.86 となり、女性では就業しているかどうかにかかわらず美術鑑賞の行動者率と世帯収入には相関があるが、男性の無業の場合には相関が弱くなる。ただし、この辺りは、共働きかどうかや年齢なども考慮して分析する必要があるだろう。また、クラシック音楽鑑賞についても、同様の傾向をみることができる。

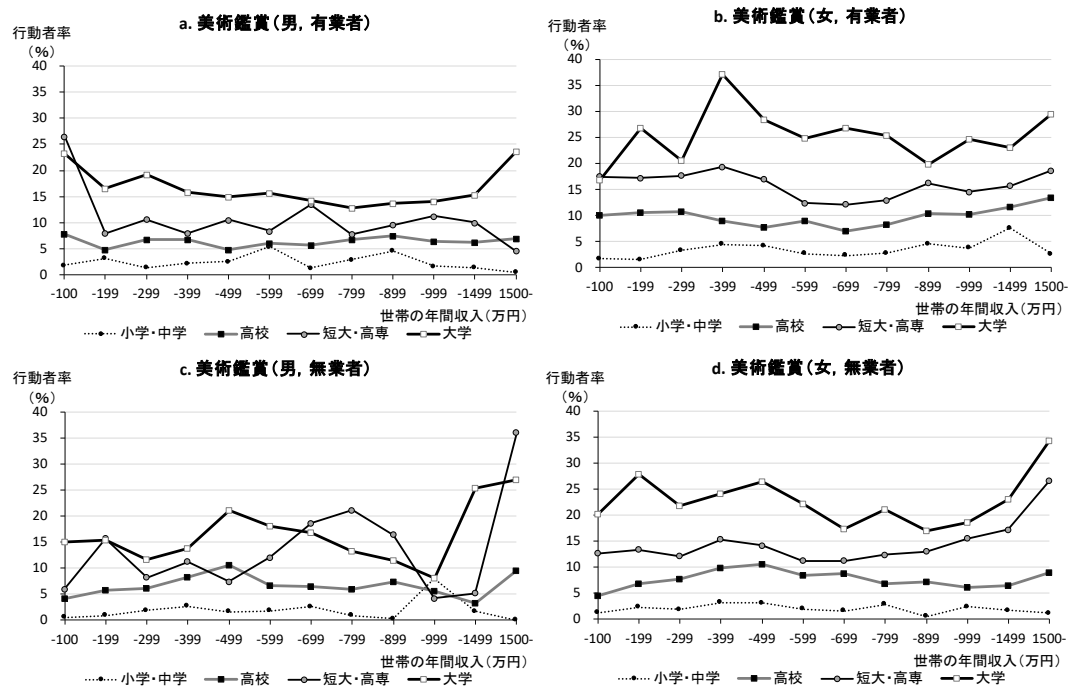


図3.5.2 有業・無業別にみた美術鑑賞の世帯の年間収入・教育別行動者率(卒業者)

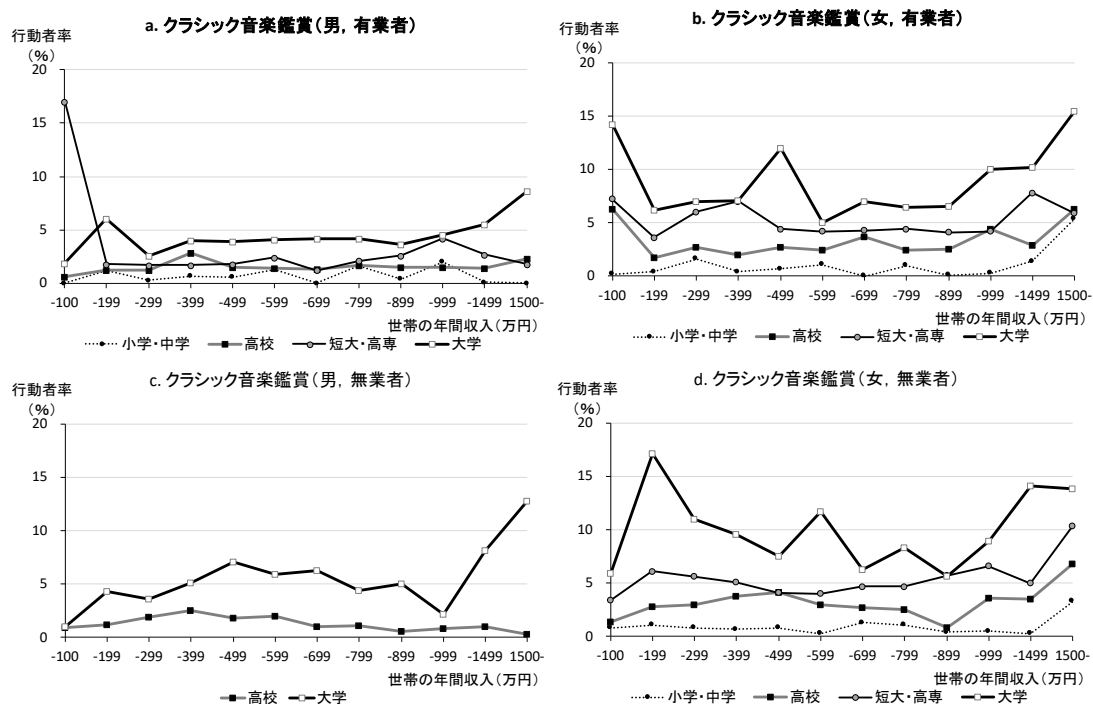


図3.5.3 有業・無業別にみたクラシック音楽鑑賞の世帯の年間収入・教育別行動者率(卒業者)

3.5.4 教育と世帯収入のクロス集計の時間変化

図 3.5.4 は、大卒・男性についての世帯収入と美術鑑賞の行動者率の関係、ならびに短大・高専卒・女性についての世帯収入とクラシック音楽鑑賞の行動者率の関係を時系列でみたグラフである¹。

図 3.5.4a の大卒・男性の美術鑑賞では、2021 年の行動者率の水準は低く、東日本大震災の影響のあった 2011 年よりも水準が低い。その他の比較的行动者率の水準が高い他の年については、世帯収入の影響が相対的に大きいことを読み取ることができる。すなわち、コロナ禍の影響によって、全体的な行動者率が低下した 2021 年では、行動者率の水準自体が低くなったため、世帯収入の影響が小さくなったと考えられる。学歴の影響は、年ごとに水準の差に違いはあるものの、学歴が高くなるほど、行動者率は高くなる(結果略)。

図 3.5.4b の女性のクラシック音楽鑑賞をみると、1986 年、1991 年は行動者率の全体的な水準が高く、バブル景気の影響が考えられる。世帯収入の傾きもやや大きくなっている。また 2021 年については、上の男性の美術鑑賞と同様に、他の年よりも行動者率の水準はかなり低く、世帯収入の影響もほとんどみられない。このように、行動者率の水準の高低が、世帯収入と行動者率の関係に影響を与えている可能性がある。

もちろん、上でも述べたように教育と世帯収入の影響の大きさや、その時間的な変化などを詳細に検討するためには、マイクロデータを用いたモデル分析が必要になる。しかしながら、

¹ 大学卒は 1991 年以前は該当するサンプルが少なく、欠損値も少なくないため、短大・高専卒を用いた。

ここで提示したオーダーメード集計の結果を利用して、回帰分析などによって、教育と世帯収入の効果の分離、世帯収入の影響の時間的変化などについて検証することも可能である。つまりマイクロデータを利用しなくても、ここで提示したオーダーメード集計の結果を研究者や政策担当者が共有することによって、様々な目的に合った分析が可能になると考えられ、そのための情報を提供できたと考えられる²。

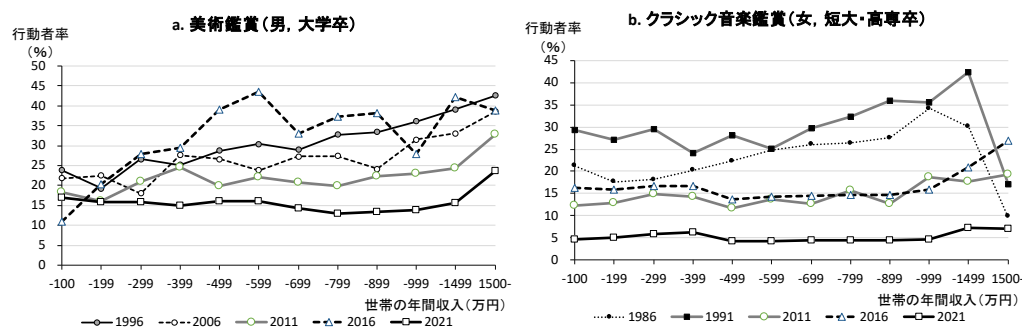


図3.5.4世帯の年間収入と行動者率の関係の変化

参考文献

- Ateca-Amestoy, V. (2008), “Determining Heterogeneous Behavior for Theater Attendance,” *Journal of Cultural Economics*, 32, 127–151.
- Baumol, W. J. and W. G. Bowen (1966), *Performing Arts – The Economic Dilemma*, New York, The Twentieth Century Found (池上惇・渡辺守章監訳『舞台芸術 芸術と経済のジレンマ』芸団協出版部, 1994 年) .
- 文化庁・名城大学 (2023)『令和4年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書。
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf
- Katsuura, M. (2008), “Examining Arts Participation in Japan Using the Survey on Time Use and Leisure Activities,” *Asia Pacific Journal of Arts and Cultural Management*, 5, 343–361.
- 勝浦正樹 (2012)「社会生活基本調査のマイクロデータの再集計結果を用いた文化芸術活動の実証的研究 — 教育と所得水準の効果を中心として —」浜田道夫・古隅弘樹 編『文化経済学とコンピュータサイエンス —人間の知的活動を科学する—』兵庫県立大学政策科学研究叢書 LXXXVI, 79-113 ページ。
- 勝浦正樹・有馬昌宏 (2016) 「参加・鑑賞」文化経済学会<日本>編『文化経済学 —軌跡と展望—』ミネルヴァ書房, 3-19 ページ。
- Seaman, B. A. (2006) “Empirical Studies of Demand for the Performing Arts” in Ginsburgh, V. and D. Throsby (eds.), *Handbook of the Economics of Art and Culture*, North Holland, 415–472.

² こうした集計の意義については、勝浦 (2012) も参照されたい。

Suarez-Fernandez, S., J. Prieto-Rodriguez and M. J. Perez-Villadoniga (2020), “The Changing Role of Education as We Move from Popular to Highbrow Culture,” *Journal of Cultural Economics*, 44(2), 189–212.

第4章 わが国の文化統計の体系化に向けて

前章までに、文化庁「文化に関する世論調査」とともにいくつか公的統計を分析することによって、文化に関する需要・供給等に関して様々な特徴を明らかにし、多くの知見を得ることができた。

このように、文化に関連した様々な統計データを利用・分析することによって、文化行政における有用な情報が抽出され、多くの示唆が得られる。そこにおいては、明らかにしたい視点に合わせて、必要な文化に関連する統計（文化統計）を用いることになる。そうした文統計を文化の様々な側面に対応させて体系的に収集し、公表すれば、文化に関する全体像が明らかになるし、多くの研究者、政策担当者にとって利用しやすくなるはずである。

本章では、文化統計の体系化に関していくつかの問題を取り上げる。まず4.1節で文化統計を体系化する必要性やその方向性について検討した上で、4.2節において、体系化に必要な文化に関する統計分類上の定義等について具体的に議論する。

4.1 文化統計の体系化の必要性

4.1.1 文化統計の体系化の試み

わが国において、文化統計が体系的かつ継続的に収集されているとはいえないが、これまでもいくつかの試みがあった。最も古いものとして、1972年に文化庁がとりまとめた『日本の文化統計』という冊子がある¹。

この『日本の文化統計』は、文化庁「文化に関する世論調査」や総務省「社会生活基本調査」なども実施されておらず、その他現在では当たり前のよう存在している様々な公的統計も十分に整備されているとはいえない1970年代前半に、当時存在していた限られた統計の中から、文化に関するデータを非常に有効に抽出した試みであり、文化統計データ集としての完成度は高い。日本の文化基盤、文化財、文化行動・文化活動、文化施設、国際文化交流、文化行政等々に分野に分け、関連する文化統計を紹介している。それにとどまることなく、当時はほとんど一般的でなかったマイクロデータの利用や国際比較、さらには文化統計を充実するための諸方策などにも言及し、適切な提言を行うなど、非常にレベルの高い成果である。それから50年以上経った現在、体系的な文化統計の収集が十分にできていないことについて、研究者としては反省すべきという思いにさせられるほどである。

それ以来しばらくは、体系的な文化統計の収集に関する成果は出されなかった²が、1997年に芸能文化情報センターによる『芸能白書』が公刊され、その後、1999年、2001年とあ

¹ 文化庁（1972）。文化庁・名城大学（2023）の1.2節に詳しい解説がある。

² 海外の成果であるが、『ユネスコ統計年鑑』は1980年代から90年代にかけて、翻訳書として公刊されていた。

わせて3回公表された³。『芸能白書』は舞台芸術をある程度中心としているものの、舞台芸術の公演状況などだけにとどまらず、教授活動、芸術家数や芸能に関する組織、公的・民間による支援、劇場やホールなどの文化施設、国民の鑑賞行動や支出などについて、かなり多岐にわたって関連するデータを公的統計・民間統計から収集し、解説が加えられている。

また2004年には、寺崎他(2004)による文化統計の体系化の試みが、科研費の成果報告書の一部として公表された⁴。寺崎他(2004)は、既に公刊されていたオーストラリアの文化統計を体系的に収集して解説を加えたデータ集である Australian Bureau of Statistics (1997)⁵ の枠組みを大いに参照し、それに合わせて日本の統計データを収集している。文化の総論部分として、

文化的活動への参加や生活時間、文化関連支出、文化の供給者、文化産業、貿易などの側面を、各論部分として、

文化遺産、博物館、出版、図書館、音楽、舞台芸術、美術、映画・ビデオ、ラジオ・テレビ、教育

などの分野をそれぞれ取り上げ、各分野で主要な統計を提示し、簡単な解説がつけられている。体系化の枠組みを作り、それに合った統計を収集するという形をとっており、荒削りではあるが、一応の完成をみている。とりわけ寺崎他(2004)の成果は、文化に関する分類を意識していた点である。Australian Bureau of Statistics (1997) は、オーストラリア文化レジャー分類 (Australian Culture and Leisure Classifications; ACLC) という文化に関する標準分類⁶ をもとにしているが、寺崎他(2004)は ACLC の一部の試訳を掲載し、参考になっている。そして財・サービスや産業、職業、貿易について文化の範囲を規定した上で、統計データの収集を試みた研究である。

さらに、文化庁は、2007年以降、審議会等のための資料として、『文化芸術関連データ集』を不定期に作成している。あくまでも審議会等のための資料という位置づけであるから、何らかの枠組みをもとに統計データを収集しているというわけではないが、文化に関連するかなりの広範な分野が網羅されており、データも充実している。そこにおいては、以下のような分野に分けて、関連するデータを提示している⁷。

社会構造・意識、予算・法令等、国民の文化に関する意識、芸術文化、文化芸術関連産業、文化財、文化関連施設、文化芸術施策関連、その他

以上、文化統計の体系的収集についてわが国におけるこれまでの主な成果を簡単に説明

³ 芸能文化情報センター (1997, 1999, 2001)。

⁴ 寺崎他 (2004) については、文化庁・名城大学 (2023) 第6章にも解説がある。

⁵ その後、同様のデータ集が、Australian Bureau of Statistics (2011) まで不定期に公表されている。

⁶ 最新のバージョンは、おそらく2014年版であり、以下のサイトで公表されている。

<https://www.abs.gov.au/ausstats/abs@.nsf/mf/4902.0>

⁷ 最新版の『文化芸術関連データ集』は、以下のURLを参照されたい。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/yushikisyakaigi/01/pdf/94003801_06.pdf

したが、これ以外にも関連する試みは存在している⁸。しかし、文化関連の統計データの体系的な収集の必要性は以前から叫ばれているものの⁹、まだ実現しているとは言い難いというのが現状である。

一方で、海外では、EU を中心とした多くの国で、体系的に統計データが収集されており、ユネスコや EU がそのための枠組みやマニュアルを提供している。文化統計に関する国際動向については、文化庁・名城大学 (2023) の第 5 章を参照されたい。

4.1.2 なぜ文化統計の体系化が必要なのか

文化統計を体系的に収集することの必要性について、以下でまとめておこう。

まずは、様々な側面からみた文化的活動、すなわち、参加、提供者、支出、生産、予算規模、貿易などに加えて、個別の文化の分野における活動が、どの程度の規模や特徴をもって行われているかについて数量的に把握することは、今後の文化政策や文化行政に欠かせない情報であるという点である。たとえば何らかの支援を行うための予算を考えたとしても、どの程度の規模が必要であるのかに関しては、客観的な裏付けが必要となる。したがって、文化的活動の部門間でも整合性を保ち、適切な枠組みを決めた上で（これが体系化である）、統計を収集することが合理的である。もちろん、そのためには、文化に関する生産物（商品）、産業、職業、貿易などにおける分類が適切に設定される必要がある。また、文化政策を考える上で、より詳細な分類が必要であることなどを客観的な根拠をもって示すことができれば、実際の統計調査で詳細な分類による調査や集計が実現可能となり、有用な情報が得られることになる。文化統計を体系化するということは、文化統計以外の統計調査が充実するという効果をもたらす可能性もある。

次に、国際比較可能性の確保という観点である。UNESCO Institute for Statistics (2009) で示された文化統計の枠組みに代表されるように、文化に関して統計的に国際比較可能な枠組みを作成しようという動きがあり、European Statistical System Network on Culture (2012) や Eurostat (2019) など同様の目的である。これらの枠組みは国民経済計算などのように厳密なものではないし、体系的に文化統計を収集している国々が、ユネスコの枠組みをそのまま忠実に踏襲しているわけでもない。しかし、ある程度共通の枠組みで文化を把握することができれば、諸外国との比較が可能になり、それを、わが国の文化行政に生かすことができる。そして、国際的にも共通の枠組みに基づいて、文化活動の範囲を規定し、それに該当する分類を特定した上で統計データを収集し、それをまとめるという作業を繰り返すことによって、より充実した文化統計が作成されていくことになる¹⁰。

さらに、文化統計を体系化することは、文化統計の利用者に大きなメリットがある。わが

⁸ たとえば、文化庁 (2019) など。

⁹ たとえば、松田 (2004)、勝浦 (2008, 2016)、半澤 (2018) など。

¹⁰ 文化庁・名城大学 (2023)、148-150 ページ。

国における文化に関する統計は、様々な統計調査に分散して存在しており、それを探索し収集することは容易ではない。文化総合調査などといった統計調査が実現することはないので、様々な統計から、文化に関連する統計データを抽出する必要がある。その際に体系的に文化統計が収集され、公表されていれば、文化統計のユーザーは、効率的にデータの収集が可能であるし、研究者間でも共通の情報を共有した上で議論できることになる。本報告書第3章で行ったようなマイクロデータの集計結果なども共有できれば、研究者にとっては、非常に有用であろう。

もちろん、体系的に収集された文化に関する統計を概観することによって、文化全体あるいは特定のジャンルの概要を客観的に知ることが可能になる。そのためには、単に関連する統計データを収集するだけでなく、それに簡単な解説をつけたような統計データ集が作成されれば、ユーザーにとっては有用であろう。そうしたことによって、文化に関する理解が深まり、文化振興にもつながっていくことが期待される。

4.1.3 文化統計データ集の作成

文化庁・名城大学 (2023) では、わが国の文化統計の枠組みとして、表 4.1.1 のような試案を提案している。これは、諸外国や国際機関の文化統計を参考に作成したものである。個々の項目が文化の範疇に含まれることに異存はないと考えられるが、体系化の枠組みとして、たとえば、教育（これは、音楽や美術など文化に関する教育）や食文化を含めるかどうかといった概念上の問題もあるし、食文化を含めたとしても、どのような統計データを収集できるのか（たとえば、日本食レストランといっても、どこまで含めるのかを決めるのは非常に難しい）といった問題もある。また、諸外国の枠組みでは含まれていない項目（マンガ・アニメ、文化に関する意識など）もあり、議論は分かれるところであろう。この枠組みは、文化の範囲を最も広くとった場合で考えるものであり、問題があれば、項目を変更・削除していくことになる。

重要な点は、この表のような枠組みの是非は別として、まず、これをもとに文化統計データ集を作成してみることである。そのためには、上で述べたように、分類の問題も解決しなければならず、データ集を作成することによって、何らかの進歩があるはずである。分類の問題だけでなく、作成する過程で様々な解決すべき問題が生じるだろうが、何らかの操作的・恣意的な定義を適用しても構わないので、一度、完成させてみる必要があるであろう。

もちろん、作成する主体の問題もある。文化庁が実施するのか、研究者ベースで行うのか、あるいは委託するのかなどいくつかの選択肢があるが、持続可能性も考慮に入れて、こうした点は今後の課題として考えていきたい。

表4.1.1 わが国の文化統計体系化の枠組み【試案】

文化部門横断的項目	文化部門別項目
1. 参加	1. 文化遺産
2. 物価	2. 博物館・美術館及び動植物園
3. 家計支出	3. 文化施設
4. 政府支出・寄付	4. 出版
5. 雇用	5. 文学
6. 文化産業, 文化GDP	6. マンガ, アニメ
7. 国際貿易	7. 図書館, 公文書館
8. 教育	8. 美術品
9. 知的財産権	9. 音楽
10. 文化に関する意識	10. 舞台芸術
11. 観光	11. 映画
	12. オーディオ・ビジュアル
	13. テレビ, ラジオ
	14. 生活文化
	15. 伝統芸能
	16. 祭・フェスティバル
	17. 建築
	18. 食文化

資料：文化庁・名城大学 (2023), 185ページより転載。

4.1.4 文化に関する統計データの公表

このような枠組みで文化統計が体系的に収集できたとすれば、それをどのように公表すればよいだろうか。公表については、文化庁・名城大学 (2023) の 6.1 節でも提言がなされているが、以下でも考えられる方向性について簡単に述べておこう。

まず、文化統計データ集ができたとすれば、芸能文化情報センター編 (1997, 1999, 2001) の『芸能白書』のように冊子として公刊する、あるいはウェブサイトからダウンロードできるようにすることになるだろう。分野ごとに収集した統計データとともに、『芸能白書』のように各分野に簡単な概説をつければ、その分野の現状を把握しやすくなる。文化庁 (1972) や寺崎他 (2004) でもそのような構成になっている。

そして、体系的に収集された統計データについては、ウェブサイトでダウンロードできるようにすることは、利用者にとっての利便性は高く、現代においては必須であるといつてよい。文化統計データ集の構成にあわせて、そこに掲載されている統計データだけでなく、ミクロデータを集計した結果など、より広く、詳細な統計データが掲載されることが望ましい。

文化庁・名城大学 (2023) の第5章では、EU 諸国を中心にウェブサイトでの文化統計の公表等について調査されているが、たとえば、スペインでは、政府が作成した文化統計データ集の構成にあわせて統計データがダウンロードできるようになっており、非常に参考に

なる。その他にも、オーストリア、ノルウェー、ポルトガル、オランダなど体系的な統計データの収集とその公表について、参考になる諸国はいくつかあり、各国の良い特徴をうまく反映させていけばよい（図 4.1.1 はオーストリアのウェブサイト）。ただし、EU 諸国の統計機構は、わが国のような分散型ではなく、集中型の国が多く、中央統計局のサイトにおける分野別統計の文化の項目から文化統計データが展開されている場合が多い。

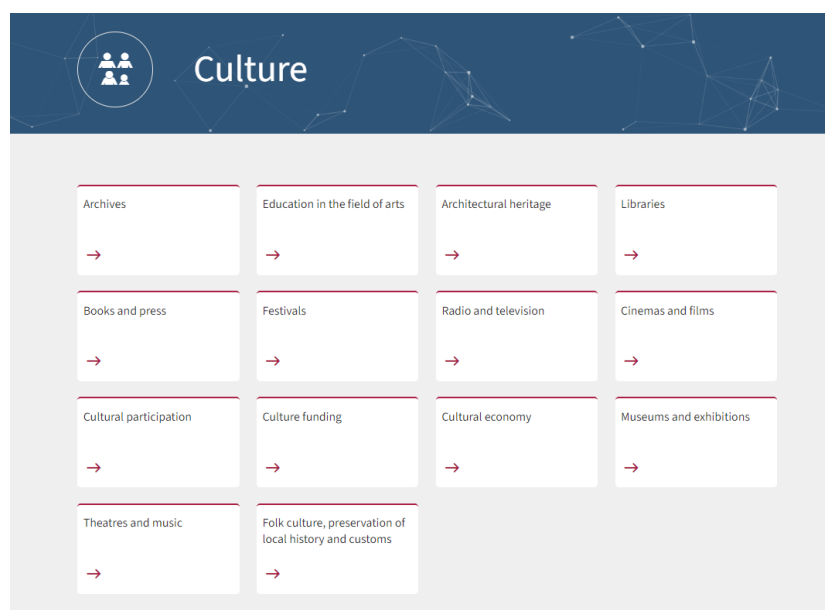


図 5.1.1 オーストリア統計局の文化分野のウェブサイト¹¹

現在のわが国の公的統計もウェブサイトを通じての提供が充実しているが、最もよく利用されるサイトの1つは、総務省統計局の e-Stat である。ただし、e-Stat は、関連する統計調査にリンクが貼られている仕様になっている。文化が含まれている「教育・文化・スポーツ・生活」の分野でも、関連する統計調査のリンク情報が得られるだけなので、上のような文化統計データ集を公表するサイトとは性格が異なっている。もちろんこれは、わが国の統計機構が分散型であることとも関連している。いずれにせよ、文化統計データを提供するには、独自のサイトを開設する必要がある。

したがって、文化統計を提供するサイトは、文化庁のウェブサイト内に開設されることが望ましい。分散型の統計機構であるわが国では、それが、自然な枠組みであると思われる。各省庁のウェブサイトのトップページには、大抵、統計に関するサイトにリンクが貼られており、文化庁でも、トップページから「統計・白書・出版物」のリンク先にワンクリックで飛ぶことができる。「統計・白書・出版物」のリンク先のどこかに、収集した文化統計のサ

¹¹ <https://www.statistik.at/en/statistics/population-and-society/culture> より転載。

イトへのリンクが貼られていれば十分であり、そこから先で文化の様々な分野へと展開すればよい。

また、そうしたサイトには、英語版があることが望ましい。上でスペインの好例を示したが、残念ながら、英語版はない（スペイン語のみ）。現在は翻訳アプリが充実しているとはいえ、日本語だけだと、ほとんど国内向けのサイトとなってしまう。日本の文化を積極的に発信するという意味でも、英語サイトの充実が必須である。

ここで重要な課題は、統計データ集の更新の期間である。何度か参照した『芸能白書』は、1997 年から 1 年おきに 3 年分が公表されたが、その後は継続されなかった。様々な事情があったと思われるが、データの更新にはかなり手間がかかる。したがって、毎年公表することは非常に難しいだろう（先ほどあげたスペインでは、文化統計データ集が毎年公表されている）。文化に関する統計としては、国勢調査、就業構造基本調査、社会生活基本調査のように 5 年に 1 度の周期統計調査も多く利用されることを考えれば、3 年～5 年に 1 度でも十分であると考えられる。

さらに、先にも述べたようにどのような組織が文化統計データ集を作成するのかという根本的な問題もある。文化庁、研究者、それ以外などいくつかの選択肢が考えられるが、実際の作業は研究者やシンクタンクなどが行うとしても、文化庁が委託元になるなど、文化庁のイニシアチブでプロジェクトが継続していくことが望ましい。分散型の統計機構ということを経験しても、文化統計データ集の作成と公表には、文化行政を所管する文化庁の積極的な関与が期待される。

参考文献

- Australian Bureau of Statistics (1997), *Cultural Trends in Australia: A Statistical Overview 1997*, Australian Bureau of Statistics (ABS Catalogue No. 4172.0).
- Australian Bureau of Statistics (2011), *Arts and Culture in Australia: A Statistical Overview, 2011*, Australian Bureau of Statistics (ABS Catalogue No. 4172.0).
- 文化庁 (1972) 『日本の文化統計』。
- 文化庁 (2019) 『平成 30 年度「文化行政調査研究」文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究事業』報告書。
- 文化庁・名城大学 (2023) 『令和 4 年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「文化統計の体系化に関する調査・研究」報告書』
- https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/pdf/93910801_03.pdf
- European Statistical System Network on Culture (2012), *ESS-net-Culture Final Report*.
- Eurostat (2019), *Cultural Statistics: 2019 Edition*, European Union.
- 芸能文化情報センター編 (1997) 『芸能白書 1997 - 数字にみる日本の芸能 -』 日本芸能実演家団体協議会。
- 芸能文化情報センター編 (1999) 『芸能白書 1999 - 数字にみる日本の芸能 -』 日本芸

能実演家団体協議会。

芸能文化情報センター編 (2001)『芸能白書 2001 - 数字にみる日本の芸能 -』 日本芸能実演家団体協議会。

半澤誠司 (2018)「文化統計整備への期待」『統計』2018 年 10 月号, 15-20 ページ。

勝浦正樹 (2008)「文化に関する統計体系」『統計』2008 年 6 月号, 23-29 ページ。

勝浦正樹 (2016)「文化経済学・統計・統計学」『文化経済学』第 13 巻第 2 号, 1-5 ページ。

松田芳郎 (2004)「文化の蓄積の制度化と統計調査体系」『統計』2004 年 2 月号, 2-7 ページ。

寺崎康博・勝浦正樹・西郷浩 (2004)「統計からみたわが国における文化芸術の動向」

平成 13～15 年度科学研究費補助金（特別研究推進費(1)）『芸術・文化政策のための統計指標の開発と体系化に関する研究』（研究代表者：平成 13～14 年度・若松美黄，平成 15 年度・周防節雄，研究課題番号 13800007）報告書，39-142 ページ。

UNESCO Institute for Statistics (2009), *2009 UNESCO Framework for Cultural Statistics*, UNESCO-UIS.

4. 2 文化的財及びサービスに関する統計分類の再検討

近年における日本の公的統計作成上の大きな変化として、(1)生産物分類の新設と利用、(2)生産物分類の導入に伴う産業分類の改訂が挙げられる。(1)については、先行してサービス分野の生産物分類が完成され、すでに経済構造実態調査に導入されている。また、財分野の生産物分類も完成しており、生産に関連する統計作成に導入される予定である。生産物分類の導入によって、日本標準産業分類における3つの基準のうち、供給側に関する2つが先に提示され、需要側に関する1つが最後に提示されるように改訂される。既存の公的統計から文化統計を体系的に作成するためには、生産物分類と産業分類をどのように活用するか鍵となる。本節では、新設された生産物分類と改訂される産業分類の概要を述べ、それらをどのように文化統計の作成に活用するかについて論じる。

4.2.1 生産物分類の概要

従来、わが国における生産物に関する分類としては、日本標準商品分類（1990年6月改定）が統計基準とされていた¹。その目的は、統計調査の結果を商品別に表示する際の基準となることにある。日本標準商品分類の対象は、価値ある有体的商品で、かつ、市場において取引されて移動可能なものとされている。サービスは対象とされていない²。

最近になって、産業連関表を供給・使用表に基づいて作成するための基盤整備として、財・サービス両分野における生産物分類を整備することが「公的統計の整備に関する基本的な計画」のなかで閣議決定された（2018年3月6日）。まず、サービス分野の生産物分類が2019年に設定された。財分野の生産物分類も2021年に生産物分類策定研究会で決定された。当初の計画通り、2023年度中に、財分野とサービス分野を合わせた生産物分類が設定される予定である³。

生産物分類策定研究会(2021)に基づいて、生産物分類における生産物の定義などについて述べる。生産物分類における生産物とは、経済活動における生産の成果として産出される財及びサービスと定義される。生産物の分類基準は、主に生産物の用途又は生産物の質の違いによるとされる。生産物の用途の違いによる分類とは、需要先（事業者向け、一般消費者向け、輸出向けなど。ただし、最終的な生産物の需要者）の違いや生産物の代替性（代替性の低い生産物が異なる分類に属するようにする）によって分類することを意味する。生産物の質の違いによる分類とは、生産物の内容や性質に違いのある場合は別の生産物に分類することを意味する。さらに、これらの観点に加えて、国際比較についても考慮するとしている。結果的に、財分野については、統合分類の数が980、詳細分類の数が4,071、サービス分野

¹ 正確には、統計法上の統計基準ではなく、統計作成に関する技術的な基準とされる。

² https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/syohuin/gaiyou.htm

³ https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/zai/index.htm

については、統合分類の数が 394、詳細分類の数が 782 である。

財分野とサービス分野から統合分類と詳細分類の例を、それぞれ、表 4.2.1 と表 4.2.2 に示す。暫定分類コードは、9 桁（後置符号があるときは 10 桁）で構成される。最初の 4 桁は日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）の分類符号に対応する。原則として、日本標準産業分類の小分類（3 桁）が付され、4 桁目は 0 となる。ただし、細分類（4 桁）に対応する生産物はそれが 4 桁目に表示される。5 桁目から 8 桁目までの 4 桁が品目細分コードである。5 桁目と 6 桁目が統合分類細分コード、7 桁目と 8 桁目が詳細分類細分コードである。9 桁目は需要先識別コード（1 事業者向け、2 一般消費者向け、6 輸出向け、9 混在・不明）である。分類表の右 2 列には、生産物に対応する日本標準産業分類の大分類符号と大分類名も表示されている。

生産物分類が日本標準産業分類と直接的に関連付けられていることは、日本標準商品分類と著しく異なる特徴であり、文化統計の作成に有用である。

表 4.2.1 財分野における統合分類と詳細分類の例

財分野の生産物分類（2021 年生産物分類策定研究会決定）			日本標準産業分類 H25 10 月改定	
暫定分類コード	分類項目名		大分類符号	大分類名
32410300	9	ピアノ	E	製造業
32410303	9	ピアノ	E	製造業
32499900	9	その他の楽器、楽器部品、同材料	E	製造業
32499903	9	電子楽器	E	製造業
32499906	9	ギター（電気ギターを含む）	E	製造業
32499909	1	楽器の部分品、取付品、附属品	E	製造業
32499999	9	その他の洋楽器、和楽器	E	製造業

引用：生産物分類策定研究会(2021)

表 4.2.2 サービス分野における統合分類と詳細分類の例

サービス分野の生産物分類（2019 年設定）			日本標準産業分類 H25 10 月改定	
暫定分類コード	分類項目名		大分類符号	大分類名
80200900	9	演劇・演芸・音楽興行サービス	N	生活関連サービス業、娯楽業
80200903	1	演劇・演芸・音楽興行サービス (他の事業者との契約に基づく公演・演奏収入)	N	生活関連サービス業、娯楽業
80200906	2	演劇・演芸・音楽興行サービス (入場料収入)	N	生活関連サービス業、娯楽業
80200909	9	演劇・演芸・音楽興行サービス (その他の収入)	N	生活関連サービス業、娯楽業

引用：総務省(2019)

4.2.2 日本標準産業分類の概要

日本標準産業分類（第 13 回改定）は、事業所において行われる経済活動（産業）を、(1) 生産される財又はサービスの種類（用途、機能等）、(2)財の生産またはサービス提供の方法（設備、技術等）、(3)原材料の種類及び性質、サービスの対象及び取り扱われるもの（商品等）などに着目して区分し、体系的に配列したものである。この分類は、統計調査の対象における産業の範囲の確定及び統計調査の結果の産業別の表章に用いられる（総務省 2013a）。

なお、2023 年 6 月に第 14 回改定が完了しており、2024 年 4 月 1 日に施行予定である。第 14 回改定では、生産物分類と組み合わせて使用されることを念頭に、供給側の視点から 3 つの分類基準の順序が入れ替えられて、(1)生産に投入される財又はサービスの種類、(2) 財又はサービスの生産方法（設備又は技術等）、(3)生産される財又はサービスの特徴（用途又は機能）となった⁴。しかし、実際の産業分類の変更が大きくないこともあり、本稿では日本標準産業分類（第 13 回改定）について述べる。以下では、これを単に産業分類と呼ぶ。

産業分類は、大分類（英字）、中分類（2 桁）、小分類（3 桁）、細分類（4 桁）で構成される。表 4.2.3 にその例を示す。

表 4.2.3 日本標準産業分類（第 13 回改定）の例

大分類 E 製造業
中分類 32 その他の製造業
324 楽器製造業
3241 ピアノ製造業
3249 その他の楽器・楽器部品・同材料製造業
大分類 N 生活関連サービス業、娯楽業
中分類 80 娯楽業
802 興行場（別掲を除く）、興行団
8021 劇場
8022 興行場
8023 劇団
8024 楽団、舞踏団
8025 演芸・スポーツ等興行団

引用：総務省(2013b)

4.2.3 文化統計作成のための統計基準の利用

ユネスコの文化統計作成の指針によれば、文化的な生産活動は、文化サイクルに関わる活動として特定される（UNESCO-UIS 2009）。文化サイクルとは、創造 creation から生産

⁴ https://www.soumu.go.jp/main_content/000889547.pdf

production, 発信 dissemination, 展示・受取・伝達 exhibition, reception, transmission, 消費・参加 consumption, participation を経て、最後に創造にフィードバックされる過程を指す。いずれかの段階で文化サイクルに関わる生産活動を文化的活動とみす（UNESCO-UIS 2009）。

文化サイクルの出発点が供給側の創造にあることに注意する。このことから、公的統計から文化統計を作成する一つの手順として、創造力を要する生産活動の生産物を生産物分類から選び出し、文化サイクルに関連する生産物まで含めて、これらに対応する産業を産業分類から選び出すことである。産業分類が特定化できれば、経済センサス-活動調査や経済構造実態調査などを利用して文化活動の生産物の売り上げが推定できるようになる。産業連関表から付加価値率を推定できる分野については、付加価値額が推計できる可能性もある。

4.2.4 財分野の生産物分類の利用

この方針に則って文化統計を作成した場合に、予想される問題点について考察する。まず、財分野の生産物分類について述べる。財分野について、文化的な活動に関わる生産物と同定されれば、生産物分類から産業分類を特定することは容易であろう。たとえば、「324103039 ピアノ（表 4.2.1）」が文化的活動に関わる財と同定されれば、これに対応する産業「E 3241 ピアノ製造業」が特定される。ピアノは、演奏以外に用いられることはほとんどない。したがって、「E 3241 ピアノ製造業」の生産額・付加価値額の全部を文化的生産の産物としてよいであろう。ただし、その場合でも、厳密には、ピアノ演奏を本業とする者や楽団が購入するピアノを中間投入とみなすかどうかを整理する必要があるかもしれない。しかし、實際上、製造者や販売者の側から、購入されたピアノがどのように使用されるかを判断してそれを記録することは困難であろう。したがって、製造されたピアノが最終生産物として使用されると想定して集計することになるだろう。

この他、ピアノの販売に関わる、大分類「I 卸売業、小売業」、中分類「60 小売業」、小分類「607 スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業」、細分類「6073 楽器小売業」の生産額と付加価値額も文化統計の中に含まれる。これは、ピアノ演奏という創造を伴う生産活動に使用されるピアノを音楽演奏サービスの生産者に供給するという形で文化サイクルに関わるからである。

この方針に基づいて、総務省・経済産業省「令和 3 年 経済センサス-活動調査」からピアノ製造に関係する部分を選び出す。その結果が表 4.2.4 に示されている。この調査では、産業横断的な集計の中で、製造業については「324 楽器製造業」まで、小売業については「6073 楽器小売業」までが表章されている。どちらもピアノは分離されていない。しかし、ピアノ以外の楽器についても、それらが演奏以外の目的で使用されることはほとんどないであろう。したがって、文化サイクルにおける楽器全体の位置づけをピアノの位置づけと同じとすれば、楽器製造に関連する部分はすべて文化統計に含まれる。たとえピアノの関連する部分が分離できないとしても、その生産額（売上金額）や付加価値額は楽器製造に関する表章結果に含まれることになる。「令和 3 年 経済センサス-活動調査」では、「324 楽器製造業」と

「6037 楽器小売業」の売上（収入）金額と純付加価値額が表章されている。ただし、それらは、外国の会社及び法人でない団体を除く結果である。試算では、外国の会社及び法人でない団体を除く結果から従業者一人当たりの売上（収入）金額と付加価値額を求め、それを総数の従業者数に乗じて産業別の売上（収入）金額と純付加価値額とした。ところが、「324 楽器製造業」について、外国の会社及び法人でない団体を除いて純付加価値額の計算に用いた従業者数（7,545 人）が総数の従業者数（6,793 人）よりも多いために、全体の純付加価値額が、外国の会社及び法人でない団体を除く結果よりも小さくなってしまう。従業者数にこのような逆転がある理由は執筆時点で把握できていない。次善の策として、表 4.2.4 では、「324 楽器製造業」の付加価値額を、外国の会社及び法人でない団体を除く結果において売上（収入）金額と純付加価値額の比率を求め、それを全体の売上（収入）金額に乗じて試算した。

表 4.2.4 「324 楽器製造業」に関連する事業所の売上（収入）金額と付加価値額の試算

産業分類	総数		外国の会社及び法人でない団体を除く結果						試算	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	売上（収入）金額	事業所数	従業者数	純付加価値額	売上（収入）金額	純付加価値額
32 その他の製造業	27,616	234,684	26,412	227,361	5,416,295	26,115	231,546	1,111,002	5,590,747	1,126,059
324 楽器製造業	559	6,793	546	6,749	108,294	536	7,545	33,914	109,000	34,135
60 その他の小売業	328,813	2,308,769	316,438	2,233,682	44,692,823	309,889	2,201,614	8,053,419	46,195,208	8,445,388
607 スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	20,601	129,983	19,565	125,266	2,221,418	19,162	124,697	358,823	2,305,067	374,034
6073 楽器小売業	2,798	15,633	2,659	15,044	284,988	2,615	14,686	45,748	296,146	48,698
					(百万円)			(百万円)	(百万円)	(百万円)
注：試算値は、「外国の会社及び法人でない団体を除く結果」から一人当たり売上（収入）金額ないし純付加価値額をもとめ、それを「総数」の従業者数に乗じて求めた。										
ただし、324 楽器製造業の純付加価値額は、その売上（収入）金額の試算値に、外国の会社及び法人でない団体を除く結果における「純付加価値額/売上（収入）金額」を乗じた。										
資料：総務省・経済産業省「令和3年 経済センサス-活動調査」										

なお、「令和3年 経済センサス-活動調査」には、「事業所に関する集計」の「産業別集計」の中で、「324 楽器製造業」と「3241 ピアノ製造業」、「3249 その他の楽器・楽器部品・同材料製造業」について、事業所数と従業者数、製造品出荷額等、付加価値額が表章されている。しかし、それらの事業所数は、それぞれ、242、6、236 となっている。表 4.2.4 より大幅に少ない。本稿執筆時点でその理由は把握できていない。しかし、おそらくは、一部の項目における無回答などのために集計から除外された事業所があることが原因と思われる。ここでは、捕捉された事業所数の多い産業横断的集計を優先した。「6073 楽器小売業」についても、産業別の集計では事業所数が少ない（1,399）ので、産業横断的集計を優先した。

さらに、財分野の生産物分類には「559927009 楽器（卸売）」、「559927039 ピアノ（卸売）」、「559927069 電子楽器（卸売）」などが、サービス分野の生産物分類には「909003069 娯楽用品の保守・修理サービス」（楽器の保守又は修理サービスが含まれる）もある。しかし、「令和3年 経済センサス-活動調査」の産業横断的集計・産業別集計においては、「559 その他の卸売業」や「909 その他の修理業」に含められている。今回の試算では用いていない。

4.2.5 サービス分野の生産物分類の利用

サービス分野の生産物分類の利用はさらに難しい。原因は、産業分類が、事業所（経済活動の場所的単位）を分類するものであることにある。例として、コンサート等による音楽演奏の供給を取り上げる。サービス分野の生産物分類には音楽演奏が直接提示されていない。それと関連するサービス分野の生産物分類は、「802009009 演劇・演芸・音楽興行サービス」（後述の産業分類(i)と(ii)に対応）と、それに含まれる3つの小分類（表4.2.2）、「809003032 プレイガイドサービス」（同(iii)）、「791003219 国内旅行その他手配サービス」（旅行に伴う観劇等のチケット手配が含まれる、同(iv)）、「791006219 海外旅行その他手配サービス」（同(iv)）、「791009156 訪日乗車船券・宿泊・その他手配サービス」（同(iv)）、「799009032 金券買取販売サービス」（同(v)）である。これらに対応する産業分類は、(i)大分類「L 学術研究、専門・技術サービス業」、中分類「72 専門サービス業（他に分類されないもの）」、小分類「727 著述・芸術家業」、細分類「7272 芸術家業」、(ii)大分類「N 生活関連サービス、娯楽業」、中分類「80 娯楽業」、小分類「802 興行場（別掲を除く）、興行団」、細分類「8021 劇場」（劇場で音楽演奏があることを想定）と「8022 興行場」、「8024 楽団、舞踊団」、「8025 演芸・スポーツ等興行団」、(iii)大分類「N 生活関連サービス、娯楽業」、中分類「80 娯楽業」、小分類「809 その他の娯楽業」、細分類「8096 娯楽に附帯するサービス業」（プレイガイドが含まれる）、(iv)大分類「N 生活関連サービス、娯楽業」、中分類「79 その他の生活関連サービス業」、小分類「旅行業」、細分類「7911 旅行業（旅行業者代理業を除く）」、「7912 旅行業者代理業」、(v)大分類「N 生活関連サービス、娯楽業」、中分類「79 その他の生活関連サービス業」、小分類「799 他に分類されない生活関連サービス業」、細分類「7999 他に分類されないその他の生活関連サービス業」（チケット売買業が含まれる）である。

なお、コンサート等による音楽演奏の供給には、財分野の「060006151 教育・研究・文化施設」も関連する。しかし、この部分については、財分野の生産物分類から出発して、生産額や付加価値額を推計するのが適切である。

表4.2.5は、総務省・経済産業省「令和3年 経済センサス-基礎調査」から、上記の音楽演奏に対応する産業の事業所数等を抜き出した結果である。これを利用して、文化統計の作成を試みる。同時に、信頼性についても考察する。

(i)「727 著述・芸術家業」は、著述家と合わせても、従業者数が1,543人となっている。ここには、劇団や楽団、舞踊団に所属せずに、ソロ活動する音楽家が含まれていると推察される。しかし、この値は、国勢調査から推察される数よりもずっと少ない。西郷(2023)に示されたように、個人教師以外の音楽家のうち、役員・雇用者以外で「72a その他の専門サービス業」（「727 著述・芸術家業」、とくに「7272 芸術家業」が含まれる）の就業者は男9,950人、女4,970人、「80a 興行場」（「8024 楽団、舞踊団」が含まれる）の就業者は男1,210人、女1,350人である。ソロ活動する音楽家は法人として登録していないことが多く、個人事業主としても経済センサスで把握されていない可能性がある。しかし、現時点で代案がない。もし、売上等を分割する場合は、国勢調査（令和2年）において、所属産業が「72a その他

の専門サービス業」であるような、役員・雇用者ではない「著述家」(21,690 人)、「彫刻家、画家、美術工芸家」(36,120 人)、「音楽家」(14,920 人)、「舞踊家、俳優、演出家、演芸家」(4,200 人)を利用できる。

表 4.2.5 「音楽演奏」に関連する事業所の売上（収入）金額と付加価値額の試算

産業分類	総数		外国の会社及び法人でない団体を除く結果						試算	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	売上（収入）金額	事業所数	従業者数	純付加価値額	売上（収入）金額	純付加価値額
72 専門サービス業（他に分類されないもの）	138,184	819,416	123,930	687,197	19,995,556	129,265	787,692	12,150,970	23,842,768	12,640,346
727 著述・芸術家業	983	1,543	868	1,353	3,839	885	1,379	1,522	4,378	1,703
80 娯楽業	55,209	792,359	49,330	737,869	20,750,475	47,635	721,855	2,261,488	22,282,852	2,482,369
800 管理、補助的経済活動を行う事業所（80_娯楽業）	743	12,247	705	11,655	-	695	11,755	29,057	-	30,273
802 興行場（別掲を除く）、興行団	4,241	39,996	3,653	36,493	1,178,840	3,617	37,376	175,099	1,291,998	187,373
809 その他の娯楽業	12,053	105,386	11,106	98,671	856,124	10,675	95,476	155,102	914,387	171,201
8096 娯楽に附帯するサービス業	1,238	12,872	1,134	11,835	408,208	1,108	11,947	51,697	443,976	55,700
79 その他の生活関連サービス業	55,696	393,417	51,795	368,477	4,530,096	50,728	366,766	879,141	4,836,711	943,024
790 管理、補助的経済活動を行う事業所（79_...）	250	5,334	241	5,271	-	240	5,383	13,785	-	13,660
791 旅行業	7,261	80,294	6,807	77,327	1,661,697	6,774	74,340	66,040	1,725,456	71,329
799 他に分類されない生活関連サービス業	26,108	123,217	24,219	112,022	1,034,056	23,729	112,433	249,979	1,137,395	273,956
7999 他に分類されないその他の生活関連サービス業	23,978	114,905	22,184	104,032	966,426	21,784	104,642	231,704	1,067,433	254,429
					(百万円)			(百万円)	(百万円)	(百万円)

注：試算値は、「外国の会社及び法人でない団体を除く結果」から一人当たり売上（収入）金額ないし純付加価値額をもとめ、それを「総数」の従業者数に掛けて求めた。

資料：総務省・経済産業省「令和3年 経済センサス-活動調査」

(ii)「802 興行場（別掲を除く）、興行団」を分割するためには、別の統計を利用する。「平成 27 年産業連関表」の基本取引表では、「6741-02 6741-021 興行場（映画館を除く。）・興行団」より詳細な分類がない。次善の策として、経済産業省「平成 30 年特定サービス産業実態調査」（24 興行場、興行団）を利用する。表 4.2.6 には、同調査による興行場、興行団の事業所数と従業者数、年間売上高が示されている。その調査結果は、「令和 3 年 経済センサス-活動調査」における「興行場、興行団」と異なっている。たとえば、事業所数については、「経済センサス-活動調査」が 4,241 であるのに対して、「特定サービス産業実態調査」では 2,138 と大きな開きがある。この相違は、調査に使用する名簿が異なることなどに起因する。また、「特定サービス産業実態調査」における「楽団、舞踊団」の従業者一人当たり年間売上高が、他の分類に比べて極端に低くなっている。しかし、他に代替的な統計がないため、「特定サービス産業実態調査」の年間売上高を使用して「経済センサス-活動調査」の売上（収入）額を按分する。

表 4.2.6 興行場、興行団の事業所数と従業者数、年間売上高

分類	事業所数	従業者数	年間売上高	従業者一人当たり売上高	売上高構成比
24 興行場，興行団	2,138	24,144	900,137	37.3	100.0
興行場	429	8,054	265,267	32.9	29.5
劇場	1,124	7,797	236,248	30.3	26.2
コンサート・ツアー業	159	1,600	117,572	73.5	13.1
楽団，舞踊団	176	2,675	31,483	11.8	3.5
プロ野球団	12	1,715	133,776	78.0	14.9
プロサッカークラブ	28	812	62,173	76.6	6.9
その他の演芸・スポーツ興行団等	209	1,492	53,617	35.9	6.0
			(百万円)	(百万円/人)	(%)

資料：経済産業省「平成30年経済産業省特定サービス産業実態調査（24 興行場，興行団）」

具体的な方法は以下の通りである。(a)「コンサート・ツアー業」を「8023 劇団」に対応するものとみなす。その理由は、産業分類の内容例示において、コンサート・ツアー業が「8023 劇団」に含まれているからである。(b)「プロ野球団」と「プロサッカークラブ」を「8025 演芸・スポーツ等興行団」に含める。(c)「その他の演芸・スポーツ興行団等」を演芸とスポーツに分割する場合は、(「興行場」＋「劇場」＋「コンサート・ツアー業」＋「楽団，舞踊団」)：(「プロ野球団」＋「プロサッカークラブ」)＝650570：195949＝77：23 を按分比とする。この方法による按分比は、「8021 劇場」：「8022 興行場」：「8023 劇団」：「8024 楽団，舞踊団」：「8025 演芸・スポーツ等興行団（演芸部分）」：「8025 演芸・スポーツ等興行団（スポーツ部分）」＝26.2：29.5：13.1：3.5：4.6：23.1 となる。この按分比によれば、表 4.2.5 における「802 興行場（別掲を除く），興行団」の売上（収入）金額と付加価値は、表 4.2.7 のように試算される。

表 4.2.7 「802 興行場（別掲を除く），興行団」の売上（収入）金額と付加価値の分割（試算）

番号	分類	按分比	売上（収入）金額	純付加価値額
802	興行場（別掲を除く），興行団	100	1,291,998	187,373
8021	劇場	26	339,095	49,178
8022	興行場	29	380,747	55,218
8023	劇団	13	168,755	24,474
8024	楽団，舞踊団	3	45,189	6,554
8025	演芸・スポーツ等興行団（演芸部分）	5	59,144	8,577
8025	演芸・スポーツ等興行団（スポーツ）	23	299,066	43,372
		(%)	(百万円)	(百万円)

資料：総務省・経済産業省「令和3年 経済センサス-活動調査」
経済産業省「平成30年 経済産業省特定サービス産業実態調査」（24 興行場，興行団）

(iii) 「8096 娯楽に附帯するサービス業」には、プレイガイドや演劇俳優あっせん業などが

含まれる。産業分類の内容例示には、場外馬券売場、場外車券売場、競輪・競馬等予想業、ゴルフ会員権買取販売業が挙げられている。音楽演奏に関連する部分としては、プレイガイド等を通じた、委託販売によるチケットの売上が主と予想される。チケット販売大手のうち唯一上場している「ぴあ」の2023年3月期（連結）の売上金額は、32,763百万円（前年度比26.8%増）で、営業利益は820百万円（前年度は833百万円赤字）であった。過去最高売上高は179,969百万円（2018年度）である⁵。しかし、「8096 娯楽に附帯するサービス業」を音楽演奏ないし文化統計に関連する部分に按分するための統計は得にくいと予想される。

(iv)「791 旅行業」と(v)「7999 他に分類されないその他の生活関連サービス業」は、それぞれ、旅行業者によって手配される音楽演奏会のチケットの購入と、金券ショップ等による音楽演奏会のチケットの売買が、文化統計に含まれる部分となる。それらによる事業所の売上（収入）金額は、演奏会によって異なる。しかし、付加価値額に関連するのは、チケット購入の代行（(iv)の場合）とすでに購入されたチケットの売買（(v)の場合）に関わる手数料料である。音楽演奏会本体へ代金の支払いは、演奏会の主催者の収入となっているはずである。当該の手数料の金額は、業者の全体の付加価値額のごく一部しか占めないと推察される。したがって、この部分は無視しても、音楽演奏に関連する付加価値額の推計に及ぼされる影響は小さいと予想される。

4.2.6 まとめ

本節では、文化統計作成における統計基準の適用について考察し、財の生産に対応するピアノ製造と、サービスの生産に対応する音楽演奏の提供を例に、統計基準を利用して文化統計の作成を実践した。その結果、財の生産に関しては、財分野の生産物分類に掲示されている財であれば、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」などを利用して、売上（収入）金額や付加価値額を計算できるという手ごたえを得た。それに対して、サービス分野については、文化サイクルの出発点に当たるような創造性を伴う活動が、生産物分類に直接的に掲示されておらず、対応する分類を探さなければならないこと、対応する分類を特定した後でも、それに対応する産業分類が小分類（3桁分類）であることが多く、文化統計の作成に必要な細分類（4桁分類）に分割するためには、他の統計を利用しなければならないこと、が明らかになった。今回の試算では、偶然にも、経済産業省「経済産業省特定サービス産業実態調査」のなかに、対応する分野が含まれていたために、分割に利用できた。しかも、そのような幸運な場合ですら、この調査と「経済センサス-活動調査」とで捕捉範囲が大きく異なる懸念がある。「経済センサス-活動調査」の分類を分割することについては、たとえば、文化サテライト勘定（文化庁(2023)）で使用されている方法などを参考に、汎用的な方法を準備する必要がある。これを今後の課題としたい。

参考文献

⁵ https://www.nikkei.com/compass/industry_s/0607

文化庁(2023)「文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究報告書」。

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/bunka_gyosei/pdf/93911701_02.pdf

西郷浩(2023)「国勢統計からみた文化芸術の専門家における男女の違い」『文化経済学』第20巻第2号, 1-10。

生産物分類策定研究会(2021)「財分野の生産物分類（2021年生産物分類策定研究会決定）」。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000759055.pdf

総務省(2013a)「日本標準産業分類の一般原則」。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000286955.pdf

総務省(2013b)「日本標準産業分類（平成25年10月改定）（平成26年4月1日施行）分類項目名及び内容例示」。

https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000023.html

総務省(2019)「サービス分野の生産物分類（2019年設定）」。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000617351.pdf

UNESCO Institute for Statistics (2009), *2009 UNESCO Framework for Cultural Statistics*, UNESCO-UIS.

付表1 文化的活動のクロス集計表

以下、「直接鑑賞」はQ1の、「間接鑑賞」はQ2の、「有料配信鑑賞」はQ3の、「実践・支援」はQ4の回答結果を示している。

付表 1.1 全回答者（3,000人）

(人)			(%)		
間接鑑賞			間接鑑賞		
直接鑑賞	した	しない	直接鑑賞	した	しない
した	1383	184	した	46.1	6.1
しない	817	616	しない	27.2	20.5

(人)			(%)		
有料配信鑑賞			有料配信鑑賞		
間接鑑賞	した	しない	間接鑑賞	した	しない
した	754	1446	した	25.1	48.2
しない	25	775	しない	0.8	25.8

(人)			(%)		
実践・支援			実践・支援		
間接鑑賞	した	しない	間接鑑賞	した	しない
した	359	1841	した	12.0	61.4
しない	32	768	しない	1.1	25.6

(人)			(%)		
有料配信鑑賞			有料配信鑑賞		
実践・支援	した	しない	実践・支援	した	しない
した	207	572	した	6.9	19.1
しない	184	2037	しない	6.1	67.9

付表 1.2 性別で層別（男性:1,450人、女性:1,550人）

(人)		間接鑑賞		(%)		間接鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない		直接鑑賞	した	しない
男性	した	658	86	男性	した	45.4	5.9
	しない	406	300		しない	28.0	20.7
女性	した	725	98	女性	した	46.8	6.3
	しない	411	316		しない	26.5	20.4

(人)		有料配信鑑賞		(%)		有料配信鑑賞	
	間接鑑賞	した	しない		間接鑑賞	した	しない
男性	した	387	677	男性	した	26.7	46.7
	しない	15	371		しない	1.0	25.6
女性	した	367	769	女性	した	23.7	49.6
	しない	10	404		しない	0.6	26.1

(人)		有料配信鑑賞		(%)		有料配信鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない		直接鑑賞	した	しない
男性	した	308	436	男性	した	21.2	30.1
	しない	94	612		しない	6.5	42.2
女性	した	279	544	女性	した	18.0	35.1
	しない	98	629		しない	6.3	40.6

(人)		実践・支援		(%)		実践・支援	
	間接鑑賞	した	しない		間接鑑賞	した	しない
男性	した	169	895	男性	した	11.7	61.7
	しない	14	372		しない	1.0	25.7
女性	した	190	946	女性	した	12.3	61.0
	しない	18	396		しない	1.2	25.5

(人)		実践・支援		(%)		実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない		直接鑑賞	した	しない
男性	した	157	587	男性	した	10.8	40.5
	しない	26	680		しない	1.8	46.9
女性	した	168	655	女性	した	10.8	42.3
	しない	40	687		しない	2.6	44.3

(人)		実践・支援		(%)		実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない		有料配信鑑賞	した	しない
男性	した	120	282	男性	した	8.3	19.4
	しない	63	985		しない	4.3	67.9
女性	した	87	290	女性	した	5.6	18.7
	しない	121	1052		しない	7.8	67.9

付表 1.3 年齢で層別（18-19歳:62人、20代:339人、30代:384人、40代:502人、50代:484人、60代:433人、70代以上:796人）

(人)	間接鑑賞			(%)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない		直接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	43	6	18-19歳	した	69.4	9.7
	しない	6	7		しない	9.7	11.3
20代	した	188	28	20代	した	55.5	8.3
	しない	37	86		しない	10.9	25.4
30代	した	193	28	30代	した	50.3	7.3
	しない	85	78		しない	22.1	20.3
40代	した	233	35	40代	した	46.4	7.0
	しない	123	111		しない	24.5	22.1
50代	した	216	26	50代	した	44.6	5.4
	しない	150	92		しない	31.0	19.0
60代	した	195	25	60代	した	45.0	5.8
	しない	138	75		しない	31.9	17.3
70代以上	した	315	36	70代以上	した	39.6	4.5
	しない	278	167		しない	34.9	21.0

(人)	有料配信鑑賞			(%)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない		間接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	30	19	18-19歳	した	48.4	30.6
	しない	1	12		しない	1.6	19.4
20代	した	135	90	20代	した	39.8	26.5
	しない	6	108		しない	1.8	31.9
30代	した	123	155	30代	した	32.0	40.4
	しない	6	100		しない	1.6	26.0
40代	した	147	209	40代	した	29.3	41.6
	しない	7	139		しない	1.4	27.7
50代	した	122	244	50代	した	25.2	50.4
	しない	3	115		しない	0.6	23.8
60代	した	100	233	60代	した	23.1	53.8
	しない	0	100		しない	0.0	23.1
70代以上	した	97	496	70代以上	した	12.2	62.3
	しない	2	201		しない	0.3	25.3

(人)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	30	19
	しない	1	12
20代	した	126	90
	しない	15	108
30代	した	103	118
	しない	26	137
40代	した	121	147
	しない	33	201
50代	した	83	159
	しない	42	200
60代	した	67	153
	しない	33	180
70代以上	した	57	294
	しない	42	403

(%)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	48.4	30.6
	しない	1.6	19.4
20代	した	37.2	26.5
	しない	4.4	31.9
30代	した	26.8	30.7
	しない	6.8	35.7
40代	した	24.1	29.3
	しない	6.6	40.0
50代	した	17.1	32.9
	しない	8.7	41.3
60代	した	15.5	35.3
	しない	7.6	41.6
70代以上	した	7.2	36.9
	しない	5.3	50.6

(人)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	23	26
	しない	1	12
20代	した	55	170
	しない	6	108
30代	した	52	226
	しない	5	101
40代	した	48	308
	しない	2	144
50代	した	48	318
	しない	6	112
60代	した	41	292
	しない	3	97
70代以上	した	92	501
	しない	9	194

(%)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	37.1	41.9
	しない	1.6	19.4
20代	した	16.2	50.1
	しない	1.8	31.9
30代	した	13.5	58.9
	しない	1.3	26.3
40代	した	9.6	61.4
	しない	0.4	28.7
50代	した	9.9	65.7
	しない	1.2	23.1
60代	した	9.5	67.4
	しない	0.7	22.4
70代以上	した	11.6	62.9
	しない	1.1	24.4

(人)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	21	28
	しない	3	10
20代	した	56	160
	しない	5	118
30代	した	52	169
	しない	5	158
40代	した	40	228
	しない	10	224
50代	した	41	201
	しない	13	229
60代	した	38	182
	しない	6	207
70代以上	した	77	274
	しない	24	421

(%)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
18-19歳	した	33.9	45.2
	しない	4.8	16.1
20代	した	16.5	47.2
	しない	1.5	34.8
30代	した	13.5	44.0
	しない	1.3	41.1
40代	した	8.0	45.4
	しない	2.0	44.6
50代	した	8.5	41.5
	しない	2.7	47.3
60代	した	8.8	42.0
	しない	1.4	47.8
70代以上	した	9.7	34.4
	しない	3.0	52.9

(人)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
18-19歳	した	20	11
	しない	4	27
20代	した	52	89
	しない	9	189
30代	した	42	87
	しない	15	240
40代	した	34	120
	しない	16	332
50代	した	24	101
	しない	30	329
60代	した	17	83
	しない	27	306
70代以上	した	18	81
	しない	83	614

(%)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
18-19歳	した	32.3	17.7
	しない	6.5	43.5
20代	した	15.3	26.3
	しない	2.7	55.8
30代	した	10.9	22.7
	しない	3.9	62.5
40代	した	6.8	23.9
	しない	3.2	66.1
50代	した	5.0	20.9
	しない	6.2	68.0
60代	した	3.9	19.2
	しない	6.2	70.7
70代以上	した	2.3	10.2
	しない	10.4	77.1

付表 1.4 都市階級で層別

(大都市:972 人,中都市:875 人,小都市 A:778 人,小都市 B・町村:375 人)

(人)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	480	77
	しない	245	170
中都市	した	424	38
	しない	243	170
小都市A	した	353	39
	しない	212	174
小都市B	した	126	30
	しない	117	102

(%)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	49.4	7.9
	しない	25.2	17.5
中都市	した	48.5	4.3
	しない	27.8	19.4
小都市A	した	45.4	5.0
	しない	27.2	22.4
小都市B	した	33.6	8.0
	しない	31.2	27.2

(人)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
大都市	した	256	469
	しない	8	239
中都市	した	234	433
	しない	8	200
小都市A	した	191	374
	しない	7	206
小都市B	した	73	170
	しない	2	130

(%)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
大都市	した	26.3	48.3
	しない	0.8	24.6
中都市	した	26.7	49.5
	しない	0.9	22.9
小都市A	した	24.6	48.1
	しない	0.9	26.5
小都市B	した	19.5	45.3
	しない	0.5	34.7

(人)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	207	350
	しない	57	358
中都市	した	192	270
	しない	50	363
小都市A	した	146	246
	しない	52	334
小都市B	した	42	114
	しない	33	186

(%)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	21.3	36.0
	しない	5.9	36.8
中都市	した	21.9	30.9
	しない	5.7	41.5
小都市A	した	18.8	31.6
	しない	6.7	42.9
小都市B	した	11.2	30.4
	しない	8.8	49.6

(人)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
大都市	した	110	615
	しない	12	235
中都市	した	120	547
	しない	6	202
小都市A	した	87	478
	しない	8	205
小都市B	した	42	201
	しない	6	126

(%)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
大都市	した	11.3	63.3
	しない	1.2	24.2
中都市	した	13.7	62.5
	しない	0.7	23.1
小都市A	した	11.2	61.4
	しない	1.0	26.3
小都市B	した	11.2	53.6
	しない	1.6	33.6

(人)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	111	446
	しない	11	404
中都市	した	106	356
	しない	20	393
小都市A	した	72	320
	しない	23	363
小都市B	した	36	120
	しない	12	207

(%)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
大都市	した	11.4	45.9
	しない	1.1	41.6
中都市	した	12.1	40.7
	しない	2.3	44.9
小都市A	した	9.3	41.1
	しない	3.0	46.7
小都市B	した	9.6	32.0
	しない	3.2	55.2

(人)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
大都市	した	70	194
	しない	52	656
中都市	した	71	171
	しない	55	578
小都市A	した	42	156
	しない	53	527
小都市B	した	24	51
	しない	24	276

(%)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
大都市	した	7.2	20.0
	しない	5.3	67.5
中都市	した	8.1	19.5
	しない	6.3	66.1
小都市A	した	5.4	20.1
	しない	6.8	67.7
小都市B	した	6.4	13.6
	しない	6.4	73.6

付表 1.5 年収で層別(100 万円未満:105 人,~200 万円未満:203 人,
~300 万円未満:306 人,~400 万円未満:352 人, ~500 万円未満:306 人,
~600 万円未満: 228 人,~700 万円未満:193 人, ~800 万円未満:194 人,
~900 万円未満:118 人,~1 千万円未満:99 人,1 千万円以上:239 人,
分からない:258 人,答えたくない:399 人)

(人)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	49	4
	しない	24	28
100万円以上 200万円未満	した	62	12
	しない	74	55
200万円以上 300万円未満	した	128	16
	しない	104	58
300万円以上 400万円未満	した	167	21
	しない	109	55
400万円以上 500万円未満	した	155	21
	しない	75	55
500万円以上 600万円未満	した	124	10
	しない	52	42
600万円以上 700万円未満	した	102	11
	しない	51	29
700万円以上 800万円未満	した	99	14
	しない	55	26
800万円以上 900万円未満	した	64	13
	しない	21	20
900万円以上 1000万円未満	した	55	6
	しない	21	17
1000万円以上	した	144	14
	しない	50	31
分からない	した	87	18
	しない	71	82
答えたくない	した	147	24
	しない	110	118

(%)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	46.7	3.8
	しない	22.9	26.7
100万円以上 200万円未満	した	30.5	5.9
	しない	36.5	27.1
200万円以上 300万円未満	した	41.8	5.2
	しない	34.0	19.0
300万円以上 400万円未満	した	47.4	6.0
	しない	31.0	15.6
400万円以上 500万円未満	した	50.7	6.9
	しない	24.5	18.0
500万円以上 600万円未満	した	54.4	4.4
	しない	22.8	18.4
600万円以上 700万円未満	した	52.8	5.7
	しない	26.4	15.0
700万円以上 800万円未満	した	51.0	7.2
	しない	28.4	13.4
800万円以上 900万円未満	した	54.2	11.0
	しない	17.8	16.9
900万円以上 1000万円未満	した	55.6	6.1
	しない	21.2	17.2
1000万円以上	した	60.3	5.9
	しない	20.9	13.0
分からない	した	33.7	7.0
	しない	27.5	31.8
答えたくない	した	36.8	6.0
	しない	27.6	29.6

(人)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	28	45
	しない	1	31
100万円以上 200万円未満	した	31	105
	しない	2	65
200万円以上 300万円未満	した	61	171
	しない	1	73
300万円以上 400万円未満	した	91	185
	しない	2	74
400万円以上 500万円未満	した	73	157
	しない	3	73
500万円以上 600万円未満	した	69	107
	しない	3	49
600万円以上 700万円未満	した	62	91
	しない	1	39
700万円以上 800万円未満	した	68	86
	しない	3	37
800万円以上 900万円未満	した	34	51
	しない	3	30
900万円以上 1000万円未満	した	32	44
	しない	0	23
1000万円以上	した	88	106
	しない	0	45
分からない	した	41	117
	しない	4	96
答えたくない	した	76	181
	しない	2	140

(%)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	26.7	42.9
	しない	1.0	29.5
100万円以上 200万円未満	した	15.3	51.7
	しない	1.0	32.0
200万円以上 300万円未満	した	19.9	55.9
	しない	0.3	23.9
300万円以上 400万円未満	した	25.9	52.6
	しない	0.6	21.0
400万円以上 500万円未満	した	23.9	51.3
	しない	1.0	23.9
500万円以上 600万円未満	した	30.3	46.9
	しない	1.3	21.5
600万円以上 700万円未満	した	32.1	47.2
	しない	0.5	20.2
700万円以上 800万円未満	した	35.1	44.3
	しない	1.5	19.1
800万円以上 900万円未満	した	28.8	43.2
	しない	2.5	25.4
900万円以上 1000万円未満	した	32.3	44.4
	しない	0.0	23.2
1000万円以上	した	36.8	44.4
	しない	0.0	18.8
分からない	した	15.9	45.3
	しない	1.6	37.2
答えたくない	した	19.0	45.4
	しない	0.5	35.1

(人)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	25	28
	しない	4	48
100万円以上 200万円未満	した	23	51
	しない	10	119
200万円以上 300万円未満	した	42	102
	しない	20	142
300万円以上 400万円未満	した	71	117
	しない	22	142
400万円以上 500万円未満	した	59	117
	しない	17	113
500万円以上 600万円未満	した	55	79
	しない	17	77
600万円以上 700万円未満	した	52	61
	しない	11	69
700万円以上 800万円未満	した	52	61
	しない	19	62
800万円以上 900万円未満	した	31	46
	しない	6	35
900万円以上 1000万円未満	した	27	34
	しない	5	33
1000万円以上	した	71	87
	しない	17	64
分からない	した	31	74
	しない	14	139
答えたくない	した	48	123
	しない	30	198

(%)	有料配信鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	23.8	26.7
	しない	3.8	45.7
100万円以上 200万円未満	した	11.3	25.1
	しない	4.9	58.6
200万円以上 300万円未満	した	13.7	33.3
	しない	6.5	46.4
300万円以上 400万円未満	した	20.2	33.2
	しない	6.3	40.3
400万円以上 500万円未満	した	19.3	38.2
	しない	5.6	36.9
500万円以上 600万円未満	した	24.1	34.6
	しない	7.5	33.8
600万円以上 700万円未満	した	26.9	31.6
	しない	5.7	35.8
700万円以上 800万円未満	した	26.8	31.4
	しない	9.8	32.0
800万円以上 900万円未満	した	26.3	39.0
	しない	5.1	29.7
900万円以上 1000万円未満	した	27.3	34.3
	しない	5.1	33.3
1000万円以上	した	29.7	36.4
	しない	7.1	26.8
分からない	した	12.0	28.7
	しない	5.4	53.9
答えたくない	した	12.0	30.8
	しない	7.5	49.6

(人)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	17	56
	しない	0	32
100万円以上 200万円未満	した	20	116
	しない	3	64
200万円以上 300万円未満	した	36	196
	しない	5	69
300万円以上 400万円未満	した	42	234
	しない	3	73
400万円以上 500万円未満	した	39	191
	しない	2	74
500万円以上 600万円未満	した	37	139
	しない	1	51
600万円以上 700万円未満	した	21	132
	しない	2	38
700万円以上 800万円未満	した	35	119
	しない	2	38
800万円以上 900万円未満	した	16	69
	しない	2	31
900万円以上 1000万円未満	した	18	58
	しない	2	21
1000万円以上	した	32	162
	しない	1	44
分からない	した	24	134
	しない	4	96
答えたくない	した	22	235
	しない	5	137

(%)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	16.2	53.3
	しない	0.0	30.5
100万円以上 200万円未満	した	9.9	57.1
	しない	1.5	31.5
200万円以上 300万円未満	した	11.8	64.1
	しない	1.6	22.5
300万円以上 400万円未満	した	11.9	66.5
	しない	0.9	20.7
400万円以上 500万円未満	した	12.7	62.4
	しない	0.7	24.2
500万円以上 600万円未満	した	16.2	61.0
	しない	0.4	22.4
600万円以上 700万円未満	した	10.9	68.4
	しない	1.0	19.7
700万円以上 800万円未満	した	18.0	61.3
	しない	1.0	19.6
800万円以上 900万円未満	した	13.6	58.5
	しない	1.7	26.3
900万円以上 1000万円未満	した	18.2	58.6
	しない	2.0	21.2
1000万円以上	した	13.4	67.8
	しない	0.4	18.4
分からない	した	9.3	51.9
	しない	1.6	37.2
答えたくない	した	5.5	58.9
	しない	1.3	34.3

(人)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	14	39
	しない	3	49
100万円以上	した	15	59
200万円未満	しない	8	121
200万円以上	した	31	113
300万円未満	しない	10	152
300万円以上	した	39	149
400万円未満	しない	6	158
400万円以上	した	33	143
500万円未満	しない	8	122
500万円以上	した	33	101
600万円未満	しない	5	89
600万円以上	した	22	91
700万円未満	しない	1	79
700万円以上	した	32	81
800万円未満	しない	5	76
800万円以上	した	14	63
900万円未満	しない	4	37
900万円以上	した	18	43
1000万円未満	しない	2	36
1000万円以上	した	29	129
分からない	した	22	83
	しない	6	147
答えたくない	した	23	148
	しない	4	224

(%)	実践・支援		
	直接鑑賞	した	しない
100万円未満	した	13.3	37.1
	しない	2.9	46.7
100万円以上	した	7.4	29.1
200万円未満	しない	3.9	59.6
200万円以上	した	10.1	36.9
300万円未満	しない	3.3	49.7
300万円以上	した	11.1	42.3
400万円未満	しない	1.7	44.9
400万円以上	した	10.8	46.7
500万円未満	しない	2.6	39.9
500万円以上	した	14.5	44.3
600万円未満	しない	2.2	39.0
600万円以上	した	11.4	47.2
700万円未満	しない	0.5	40.9
700万円以上	した	16.5	41.8
800万円未満	しない	2.6	39.2
800万円以上	した	11.9	53.4
900万円未満	しない	3.4	31.4
900万円以上	した	18.2	43.4
1000万円未満	しない	2.0	36.4
1000万円以上	した	12.1	54.0
分からない	した	8.5	32.2
	しない	2.3	57.0
答えたくない	した	5.8	37.1
	しない	1.0	56.1

(人)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
100万円未満	した	11	18
	しない	6	70
100万円以上	した	8	25
200万円未満	しない	15	155
200万円以上	した	14	48
300万円未満	しない	27	217
300万円以上	した	23	70
400万円未満	しない	22	237
400万円以上	した	20	56
500万円未満	しない	21	209
500万円以上	した	24	48
600万円未満	しない	14	142
600万円以上	した	17	46
700万円未満	しない	6	124
700万円以上	した	22	49
800万円未満	しない	15	108
800万円以上	した	8	29
900万円未満	しない	10	71
900万円以上	した	9	23
1000万円未満	しない	11	56
1000万円以上	した	28	60
分からない	した	10	35
	しない	18	195
答えたくない	した	13	65
	しない	14	307

(%)	実践・支援		
	有料配信鑑賞	した	しない
100万円未満	した	10.5	17.1
	しない	5.7	66.7
100万円以上	した	3.9	12.3
200万円未満	しない	7.4	76.4
200万円以上	した	4.6	15.7
300万円未満	しない	8.8	70.9
300万円以上	した	6.5	19.9
400万円未満	しない	6.3	67.3
400万円以上	した	6.5	18.3
500万円未満	しない	6.9	68.3
500万円以上	した	10.5	21.1
600万円未満	しない	6.1	62.3
600万円以上	した	8.8	23.8
700万円未満	しない	3.1	64.2
700万円以上	した	11.3	25.3
800万円未満	しない	7.7	55.7
800万円以上	した	6.8	24.6
900万円未満	しない	8.5	60.2
900万円以上	した	9.1	23.2
1000万円未満	しない	11.1	56.6
1000万円以上	した	11.7	25.1
分からない	した	3.9	13.6
	しない	7.0	75.6
答えたくない	した	3.3	16.3
	しない	3.5	76.9

付表 1.6 学歴で層別（小学校:4 人, 中学校:71 人, 高校: 968 人, 短大・高専:584 人,大学:1,157 人, 大学院:132 人, 答えたくない:84 人）

(人)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
小学校	した	2	0
	しない	1	1
中学校	した	15	2
	しない	31	23
高校	した	383	57
	しない	298	230
短大・高専	した	279	43
	しない	151	111
大学	した	613	67
	しない	290	187
大学院	した	69	11
	しない	30	22
答えたくない	した	22	4
	しない	16	42

(%)	間接鑑賞		
	直接鑑賞	した	しない
小学校	あり	50.0	0.0
	なし	25.0	25.0
中学校	あり	21.1	2.8
	なし	43.7	32.4
高校	あり	39.6	5.9
	なし	30.8	23.8
短大・高専	あり	47.8	7.4
	なし	25.9	19.0
大学	あり	53.0	5.8
	なし	25.1	16.2
大学院	あり	52.3	8.3
	なし	22.7	16.7
答えたくない	あり	26.2	4.8
	なし	19.0	50.0

(人)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
小学校	あり	1	2
	なし	0	1
中学校	あり	14	32
	なし	0	25
高校	あり	209	472
	なし	6	281
短大・高専	あり	153	277
	なし	5	149
大学	あり	326	577
	なし	10	244
大学院	あり	39	60
	なし	3	30
答えたくない	あり	12	26
	なし	1	45

(%)	有料配信鑑賞		
	間接鑑賞	した	しない
小学校	あり	25.0	50.0
	なし	0.0	25.0
中学校	あり	19.7	45.1
	なし	0.0	35.2
高校	あり	21.6	48.8
	なし	0.6	29.0
短大・高専	あり	26.2	47.4
	なし	0.9	25.5
大学	あり	28.2	49.9
	なし	0.9	21.1
大学院	あり	29.5	45.5
	なし	2.3	22.7
答えたくない	あり	14.3	31.0
	なし	1.2	53.6

(人)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
小学校	あり	1	2
	なし	0	1
中学校	あり	2	44
	なし	0	25
高校	あり	88	593
	なし	10	277
短大・高専	あり	72	358
	なし	4	150
大学	あり	169	734
	なし	13	241
大学院	あり	22	77
	なし	3	30
答えたくない	あり	5	33
	なし	2	44

(%)	実践・支援		
	間接鑑賞	した	しない
小学校	あり	25.0	50.0
	なし	0.0	25.0
中学校	あり	2.8	62.0
	なし	0.0	35.2
高校	あり	9.1	61.3
	なし	1.0	28.6
短大・高専	あり	12.3	61.3
	なし	0.7	25.7
大学	あり	14.6	63.4
	なし	1.1	20.8
大学院	あり	16.7	58.3
	なし	2.3	22.7
答えたくない	あり	6.0	39.3
	なし	2.4	52.4

(人)		実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない
小学校	あり	1	1
	なし	0	2
中学校	あり	1	16
	なし	1	53
高校	あり	76	364
	なし	22	506
短大・高专	あり	62	260
	なし	14	248
大学	あり	157	523
	なし	25	452
大学院	あり	23	57
	なし	2	50
答えたくない	あり	5	21
	なし	2	56

(%)		実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない
小学校	あり	25.0	25.0
	なし	0.0	50.0
中学校	あり	1.4	22.5
	なし	1.4	74.6
高校	あり	7.9	37.6
	なし	2.3	52.3
短大・高专	あり	10.6	44.5
	なし	2.4	42.5
大学	あり	13.6	45.2
	なし	2.2	39.1
大学院	あり	17.4	43.2
	なし	1.5	37.9
答えたくない	あり	6.0	25.0
	なし	2.4	66.7

(人)		実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない
小学校	あり	1	0
	なし	0	3
中学校	あり	2	12
	なし	0	57
高校	あり	53	162
	なし	45	708
短大・高专	あり	36	122
	なし	40	386
大学	あり	92	244
	なし	90	731
大学院	あり	18	24
	なし	7	83
答えたくない	あり	5	8
	なし	2	69

(%)		実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない
小学校	あり	25.0	0.0
	なし	0.0	75.0
中学校	あり	2.8	16.9
	なし	0.0	80.3
高校	あり	5.5	16.7
	なし	4.6	73.1
短大・高专	あり	6.2	20.9
	なし	6.8	66.1
大学	あり	8.0	21.1
	なし	7.8	63.2
大学院	あり	13.6	18.2
	なし	5.3	62.9
答えたくない	あり	6.0	9.5
	なし	2.4	82.1

付表 1.7 子供の頃の習い事 (していた: 2,204 人, していない: 795 人, NA: 1 人)

(人)		間接鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	1146	139
	しない	592	327
していない	した	237	45
	しない	225	288

(%)		間接鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	52.0	6.3
	しない	26.9	14.8
していない	した	29.8	5.7
	しない	28.3	36.2

(人)		有料配信鑑賞	
	間接鑑賞	した	しない
した	した	630	1108
	しない	20	446
していない	した	124	338
	しない	5	328

(%)		有料配信鑑賞	
	間接鑑賞	した	しない
した	した	28.6	50.3
	しない	0.9	20.2
していない	した	15.6	42.5
	しない	0.6	41.3

(人)		有料配信鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	506	779
	しない	144	775
していない	した	81	201
	しない	48	465

(%)		有料配信鑑賞	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	23.0	35.3
	しない	6.5	35.2
していない	した	10.2	25.3
	しない	6.0	58.5

(人)		実践・支援	
	間接鑑賞	した	しない
した	した	314	1424
	しない	25	441
していない	した	45	417
	しない	7	326

(%)		実践・支援	
	間接鑑賞	した	しない
した	した	14.2	64.6
	しない	1.1	20.0
していない	した	5.7	52.5
	しない	0.9	41.0

(人)		実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	288	997
	しない	51	868
していない	した	37	245
	しない	15	498

(%)		実践・支援	
	直接鑑賞	した	しない
した	した	13.1	45.2
	しない	2.3	39.4
していない	した	4.7	30.8
	しない	1.9	62.6

(人)		実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない
した	した	178	472
	しない	161	1393
していない	した	29	100
	しない	23	643

(%)		実践・支援	
	有料配信鑑賞	した	しない
した	した	8.1	21.4
	しない	7.3	63.2
していない	した	3.6	12.6
	しない	2.9	80.9

付表 1.8 性別 x 年齢で層別

	18-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性	32	173	197	256	245	212	335
女性	30	166	187	246	239	221	461

(人)		間接鑑賞	
性別	年代	直接鑑賞	した しない
男性	18-19歳	した	23 4
		しない	4 1
	20代	した	91 16
		しない	18 48
	30代	した	94 17
		しない	38 48
	40代	した	112 20
		しない	63 61
	50代	した	105 13
		しない	81 46
	60代	した	93 8
		しない	71 40
	70代	した	140 8
		しない	131 56
女性	18-19歳	した	20 2
		しない	2 6
	20代	した	97 12
		しない	19 38
	30代	した	99 11
		しない	47 30
	40代	した	121 15
		しない	60 50
	50代	した	111 13
		しない	69 46
	60代	した	102 17
		しない	67 35
	70代	した	175 28
		しない	147 111

(%)		間接鑑賞	
性別	年代	直接鑑賞	した しない
男性	18-19歳	した	71.9 12.5
		しない	12.5 3.1
	20代	した	52.6 9.2
		しない	10.4 27.7
	30代	した	47.7 8.6
		しない	19.3 24.4
	40代	した	43.8 7.8
		しない	24.6 23.8
	50代	した	42.9 5.3
		しない	33.1 18.8
	60代	した	43.9 3.8
		しない	33.5 18.9
	70代	した	41.8 2.4
		しない	39.1 16.7
女性	18-19歳	した	66.7 6.7
		しない	6.7 20.0
	20代	した	58.4 7.2
		しない	11.4 22.9
	30代	した	52.9 5.9
		しない	25.1 16.0
	40代	した	49.2 6.1
		しない	24.4 20.3
	50代	した	46.4 5.4
		しない	28.9 19.2
	60代	した	46.2 7.7
		しない	30.3 15.8
	70代	した	38.0 6.1
		しない	31.9 24.1

(人)		有料配信鑑賞	
性別	年代	間接鑑賞	した しない
男性	18-19歳	した	16 11
		しない	1 4
	20代	した	73 36
		しない	3 61
	30代	した	59 73
		しない	6 59
	40代	した	73 102
		しない	2 79
	50代	した	65 121
		しない	1 58
	60代	した	49 115
		しない	0 48
	70代	した	52 219
		しない	2 62
女性	18-19歳	した	14 8
		しない	0 8
	20代	した	62 54
		しない	3 47
	30代	した	64 82
		しない	0 41
	40代	した	74 107
		しない	5 60
	50代	した	57 123
		しない	2 57
	60代	した	51 118
		しない	0 52
	70代	した	45 277
		しない	0 139

(%)		有料配信鑑賞	
性別	年代	間接鑑賞	した しない
男性	18-19歳	した	50.0 34.4
		しない	3.1 12.5
	20代	した	42.2 20.8
		しない	1.7 35.3
	30代	した	29.9 37.1
		しない	3.0 29.9
	40代	した	28.5 39.8
		しない	0.8 30.9
	50代	した	26.5 49.4
		しない	0.4 23.7
	60代	した	23.1 54.2
		しない	0.0 22.6
	70代	した	15.5 65.4
		しない	0.6 18.5
女性	18-19歳	した	46.7 26.7
		しない	0.0 26.7
	20代	した	37.3 32.5
		しない	1.8 28.3
	30代	した	34.2 43.9
		しない	0.0 21.9
	40代	した	30.1 43.5
		しない	2.0 24.4
	50代	した	23.8 51.5
		しない	0.8 23.8
	60代	した	23.1 53.4
		しない	0.0 23.5
	70代	した	9.8 60.1
		しない	0.0 30.2

(人)				(%)			
性別	年代	直接鑑賞	有料配信鑑賞	性別	年代	直接鑑賞	有料配信鑑賞
			した しない				した しない
男性	18-19歳	した	16 11	男性	18-19歳	した	50.0 34.4
		しない	1 4			しない	3.1 12.5
	20代	した	69 38		20代	した	39.9 22.0
		しない	7 59			しない	4.0 34.1
	30代	した	95 56		30代	した	27.9 28.4
		しない	10 76			しない	5.1 38.6
	40代	した	59 73		40代	した	23.0 28.5
		しない	16 108			しない	6.3 42.2
	50代	した	45 73		50代	した	18.4 29.8
		しない	21 106			しない	8.6 43.3
	60代	した	32 69		60代	した	15.1 32.5
		しない	17 94			しない	8.0 44.3
	70代	した	32 116		70代	した	9.6 34.6
		しない	22 165			しない	6.6 49.3
女性	18-19歳	した	14 8	女性	18-19歳	した	46.7 26.7
		しない	0 8			しない	0.0 26.7
	20代	した	57 52		20代	した	34.3 31.3
		しない	8 49			しない	4.8 29.5
	30代	した	48 62		30代	した	25.7 33.2
		しない	16 61			しない	8.6 32.6
	40代	した	62 74		40代	した	25.2 30.1
		しない	17 93			しない	6.9 37.8
	50代	した	38 86		50代	した	15.9 36.0
		しない	21 94			しない	8.8 39.3
	60代	した	35 84		60代	した	15.8 38.0
		しない	16 86			しない	7.2 38.9
	70代	した	25 178		70代	した	5.4 38.6
		しない	20 238			しない	4.3 51.6

(人)				(%)			
性別	年代	間接鑑賞	実践・支援	性別	年代	間接鑑賞	実践・支援
			した しない				した しない
男性	18-19歳	した	14 13	男性	18-19歳	した	43.8 40.6
		しない	0 5			しない	0.0 15.6
	20代	した	35 74		20代	した	20.2 42.8
		しない	3 61			しない	1.7 35.3
	30代	した	32 100		30代	した	16.2 50.8
		しない	4 61			しない	2.0 31.0
	40代	した	28 147		40代	した	10.9 57.4
		しない	0 81			しない	0.0 31.6
	50代	した	17 169		50代	した	6.9 69.0
		しない	4 55			しない	1.6 22.4
	60代	した	17 147		60代	した	8.0 69.3
		しない	0 48			しない	0.0 22.6
	70代	した	26 245		70代	した	7.8 73.1
		しない	3 61			しない	0.9 18.2
女性	18-19歳	した	9 13	女性	18-19歳	した	30.0 43.3
		しない	1 7			しない	3.3 23.3
	20代	した	20 96		20代	した	12.0 57.8
		しない	3 47			しない	1.8 28.3
	30代	した	20 126		30代	した	10.7 67.4
		しない	1 40			しない	0.5 21.4
	40代	した	20 161		40代	した	8.1 65.4
		しない	2 63			しない	0.8 25.6
	50代	した	31 149		50代	した	13.0 62.3
		しない	2 57			しない	0.8 23.8
	60代	した	24 145		60代	した	10.9 65.6
		しない	3 49			しない	1.4 22.2
	70代	した	66 256		70代	した	14.3 55.5
		しない	6 133			しない	1.3 28.9

(人)				(%)			
性別	年代	直接鑑賞	実践・支援	性別	年代	直接鑑賞	実践・支援
			した しない				した しない
男性	18-19歳	した	13 14	男性	18-19歳	した	40.6 43.8
		しない	1 4			しない	3.1 12.5
	20代	した	36 71		20代	した	20.8 41.0
		しない	2 64			しない	1.2 37.0
	30代	した	33 78		30代	した	16.8 39.6
		しない	3 83			しない	1.5 42.1
	40代	した	22 110		40代	した	8.6 43.0
		しない	6 118			しない	2.3 46.1
	50代	した	18 100		50代	した	7.3 40.8
		しない	3 124			しない	1.2 50.6
	60代	した	15 86		60代	した	7.1 40.6
		しない	2 109			しない	0.9 51.4
	70代	した	20 128		70代	した	6.0 38.2
		しない	9 178			しない	2.7 53.1
女性	18-19歳	した	8 14	女性	18-19歳	した	26.7 46.7
		しない	2 6			しない	6.7 20.0
	20代	した	20 89		20代	した	12.0 53.6
		しない	3 54			しない	1.8 32.5
	30代	した	19 91		30代	した	10.2 48.7
		しない	2 75			しない	1.1 40.1
	40代	した	18 118		40代	した	7.3 48.0
		しない	4 106			しない	1.6 43.1
	50代	した	23 101		50代	した	9.6 42.3
		しない	10 105			しない	4.2 43.9
	60代	した	23 96		60代	した	10.4 43.4
		しない	4 98			しない	1.8 44.3
	70代	した	57 146		70代	した	12.4 31.7
		しない	15 243			しない	3.3 52.7

(人)				(%)			
性別	年代	有料配信鑑賞	実践・支援	性別	年代	有料配信鑑賞	実践・支援
			した しない				した しない
男性	18-19歳	した	13 4	男性	18-19歳	した	40.6 12.5
		しない	1 14			しない	3.1 43.8
	20代	した	32 44		20代	した	18.5 25.4
		しない	6 91			しない	3.5 52.6
	30代	した	28 37		30代	した	14.2 18.8
		しない	8 124			しない	4.1 62.9
	40代	した	19 56		40代	した	7.4 21.9
		しない	9 172			しない	3.5 67.2
	50代	した	12 54		50代	した	4.9 22.0
		しない	9 170			しない	3.7 69.4
	60代	した	8 41		60代	した	3.8 19.3
		しない	9 154			しない	4.2 72.6
	70代	した	8 46		70代	した	2.4 13.7
		しない	21 260			しない	6.3 77.6
女性	18-19歳	した	7 7	女性	18-19歳	した	23.3 23.3
		しない	3 13			しない	10.0 43.3
	20代	した	20 45		20代	した	12.0 27.1
		しない	3 98			しない	1.8 59.0
	30代	した	14 50		30代	した	7.5 26.7
		しない	7 116			しない	3.7 62.0
	40代	した	15 64		40代	した	6.1 26.0
		しない	7 160			しない	2.8 65.0
	50代	した	12 47		50代	した	5.0 19.7
		しない	21 159			しない	8.8 66.5
	60代	した	9 42		60代	した	4.1 19.0
		しない	18 152			しない	8.1 68.8
	70代	した	10 35		70代	した	2.2 7.6
		しない	62 354			しない	13.4 76.8

付表2 就業構造基本調査の職業小分類を用いた集計結果

付表2.1 職業、所得階級別有業者数(2017年、男女計)

職業分類	総数	50万円未満	50～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600～699万円	700～799万円	800～899万円	900～999万円	1000～1249万円	1250～1499万円	1500万円以上
総数	66,213,000	3,765,600	7,315,500	6,653,000	4,823,700	6,863,300	5,123,400	8,885,600	6,410,100	4,473,900	3,052,800	2,257,100	1,404,900	877,800	1,260,100	343,900	570,200
A管理職・職業従事者	1,528,100	45,000	57,300	71,800	46,300	72,100	49,500	138,000	133,300	102,700	117,500	106,700	88,800	78,100	166,200	68,500	163,300
B専門的・技術的職業従事者	11,346,200	486,800	587,800	602,500	495,900	950,100	870,500	1,772,100	1,531,900	1,158,200	833,600	667,900	395,300	233,200	354,100	109,000	209,500
B21著述家、記者、編集者	133,500	11,100	9,200	6,800	6,000	12,500	9,400	16,900	17,800	10,400	7,800	4,400	6,000	3,200	7,200	2,100	1,700
B211著述家	35,900	6,800	3,600	3,600	2,300	2,500	1,900	7,400	3,500	1,500	0	0	0	0	0	0	0
B212記者、編集者	97,600	4,300	5,600	3,200	3,800	10,000	7,500	9,600	14,300	9,000	6,900	4,000	5,300	3,100	7,200	1,900	1,500
B22美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	377,500	39,100	30,600	34,600	25,600	46,600	36,700	51,100	37,500	25,800	15,700	11,700	5,000	1,800	5,300	1,500	1,300
B22a彫刻家、画家、工芸美術家	51,300	14,000	7,000	7,400	4,400	5,400	4,300	1,300	1,800	0	2,200	0	0	0	0	0	0
B22aデザイナー	238,900	17,400	15,500	16,600	14,000	31,000	26,300	38,500	30,200	15,600	10,000	8,900	4,200	1,500	3,700	0	0
B225写真家、映像撮影者	87,300	7,800	8,100	10,700	7,200	10,100	6,100	11,300	5,500	8,700	3,500	2,700	0	0	1,600	0	0
B23音楽家、舞台芸術家	95,800	14,500	9,000	10,500	5,200	7,400	6,000	11,100	7,900	6,500	3,500	3,100	1,900	0	4,000	0	1,800
B231音楽家	31,400	8,700	3,200	5,300	2,300	1,400	1,200	4,300	1,900	0	0	0	0	0	0	0	0
B23a舞踊家、俳優、演出家、演芸家	64,500	5,700	5,800	5,200	2,900	6,000	4,800	6,800	6,000	5,200	2,900	3,000	1,400	0	3,600	0	1,800
B24その他の専門的職業従事者	1,024,300	235,200	174,500	93,500	62,600	79,800	67,500	90,700	62,100	38,900	32,600	25,800	13,700	7,800	14,900	4,400	7,200
B24n個人教師(音楽)	82,900	27,400	22,700	13,000	6,800	4,800	3,300	2,200	800	0	0	0	0	0	0	0	0
B24p個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	22,500	5,600	3,600	3,400	1,900	2,000	900	1,800	600	0	0	0	0	0	0	0	0
B24r個人教師(スポーツ)	118,600	18,900	23,700	15,700	10,500	14,600	12,400	10,700	6,400	2,500	800	0	0	0	0	0	0
B24s個人教師(学習指導)	255,400	99,100	65,500	18,700	10,200	11,500	9,800	15,100	9,200	6,000	3,000	2,600	900	0	0	0	0
B24t個人教師(他に分類されないもの)	140,500	49,300	35,500	15,600	5,300	7,900	7,300	10,700	2,800	0	1,000	0	0	0	0	0	0
B24c他に分類されない専門的職業従事者	329,600	34,200	20,000	21,500	20,000	31,500	29,800	42,100	31,700	21,100	22,700	18,700	10,500	5,200	9,200	3,900	4,200
C事務従事者	13,659,700	356,900	1,194,700	1,233,100	1,000,600	1,539,300	1,093,200	1,900,500	1,348,500	1,062,300	808,600	651,900	404,500	262,400	343,500	81,700	88,900
D販売従事者	8,136,700	493,700	1,149,200	890,900	576,300	717,000	536,400	941,900	751,900	571,900	400,700	269,600	205,400	123,700	215,600	51,800	57,700
Eサービス職業従事者	7,966,200	877,500	1,819,100	1,295,600	825,000	1,011,900	622,200	717,100	298,900	110,100	58,100	25,000	12,000	10,500	9,800	2,500	4,400
F保安職業従事者	1,155,200	27,900	56,500	88,200	85,800	113,600	75,900	134,200	129,000	142,900	101,600	98,800	53,100	28,700	13,200	0	0
G農林漁業従事者	2,096,000	324,200	273,800	226,700	150,700	163,700	98,600	148,600	78,400	49,900	28,500	19,400	13,800	9,800	16,500	4,800	14,000
H生産工程従事者	8,841,700	366,700	682,400	924,100	744,000	1,077,000	806,500	1,443,600	1,026,400	684,300	380,200	241,500	129,500	73,400	72,500	13,100	10,700
I輸送・機械運転従事者	2,263,400	34,100	87,300	145,600	142,700	274,400	262,900	534,700	383,500	188,500	90,800	41,100	20,600	10,600	11,400	2,900	4,400
J建設・採掘従事者	2,873,700	58,900	89,700	154,800	204,300	358,500	325,400	618,000	407,400	235,000	136,000	76,600	51,300	29,900	35,100	5,200	7,400
K運輸・清掃・包装等従事者	4,424,400	533,900	1,084,200	811,000	414,800	409,100	264,000	371,000	218,500	121,100	59,600	29,300	8,600	6,200	5,800	900	2,300
L分類不能の職業	1,921,700	159,900	236,500	208,700	137,300	176,600	118,100	165,900	102,200	66,900	39,700	29,300	22,000	11,200	16,200	3,200	7,300

注：0は該当する有業者なし、またはセルに該当するサンプルが5未満を表す(以下、同様)。

資料：総務省「就業構造基本調査」(オーダーメイド集計、以下同様)

付表2.2 職業、所得階級別有業者数(2017年, 男)

職業分類	総数	50万円未満	100～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600～699万円	700～799万円	800～899万円	900～999万円	1000～1249万円	1250～1499万円	1500万円以上
総数	37,074,100	1,442,700	1,782,100	1,959,500	1,990,300	3,326,200	2,949,200	5,919,200	4,785,700	3,579,000	2,524,500	1,954,700	1,262,200	810,000	1,156,700	316,700	524,500
A 管理的職業従事者	1,301,500	30,800	30,700	47,700	33,400	54,600	41,100	109,900	115,800	92,900	105,300	99,400	81,500	71,800	151,600	65,400	151,700
B 専門的・技術的職業従事者	5,988,500	182,900	143,300	146,200	157,600	305,400	331,300	829,800	857,300	748,500	584,300	511,100	337,200	209,500	319,400	97,800	190,200
B21 著述家、記者、編集者	82,100	4,200	4,800	3,200	4,000	3,800	4,700	11,300	12,800	6,500	6,000	3,700	5,900	2,000	5,300	2,000	1,100
B211 著述家	23,500	2,500	2,100	1,600	2,000	0	1,700	6,200	3,500	0	0	0	0	0	0	0	0
B212 記者、編集者	58,600	1,600	2,700	1,500	2,000	2,800	3,000	5,100	9,300	6,200	5,500	3,300	5,100	1,900	5,300	1,900	0
B22 美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	210,400	20,500	13,100	14,200	12,000	20,300	15,100	33,700	26,100	19,500	10,500	11,000	4,400	1,500	5,000	0	1,000
B22a 彫刻家、画家、工芸美術家	24,500	7,200	3,500	3,700	2,400	2,900	1,300	500	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
B22d デザイナー	124,800	7,900	5,800	5,600	5,000	11,500	9,300	23,500	19,500	11,500	6,600	8,300	3,900	1,200	3,700	0	0
B225 写真家、映像撮影者	61,100	5,400	3,700	4,900	4,600	6,000	4,600	9,700	5,300	7,400	3,500	2,700	0	0	0	0	0
B23 音楽家、舞台芸術家	58,500	7,800	1,600	5,800	3,200	4,700	2,200	8,400	5,400	5,600	3,300	2,800	1,200	0	4,000	0	0
B231 音楽家	19,900	5,700	0	3,600	1,700	1,100	0	3,200	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0
B23a 舞蹈家、俳優、演出家、演芸家	38,500	2,100	1,200	2,200	1,400	3,600	2,000	5,200	3,500	4,600	2,700	2,800	1,100	0	3,600	0	0
B24 その他の専門的職業従事者	481,200	70,100	53,200	28,800	23,800	39,300	36,600	59,900	45,100	28,600	26,100	22,900	9,900	7,700	13,100	4,000	6,800
B24n 個人教師(音楽)	9,200	1,800	2,300	1,400	0	1,100	0	900	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B24p 個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	6,800	0	1,100	300	0	1,500	0	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B24r 個人教師(スポーツ)	50,400	5,400	6,300	4,400	5,200	6,000	7,400	6,500	5,400	1,400	800	0	0	0	0	0	0
B24s 個人教師(学習指導)	130,000	42,800	28,600	6,200	4,000	8,700	8,000	11,600	7,700	5,000	2,800	2,600	0	0	0	0	0
B24t 個人教師(他に分類されないもの)	33,900	7,200	5,400	3,800	2,000	3,800	2,200	5,100	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0
B24c 他に分類されない専門的職業従事者	206,100	12,200	8,900	10,900	9,200	16,100	16,200	29,200	22,500	15,500	18,200	16,400	7,700	5,200	8,100	3,500	3,800
C 事務従事者	5,591,500	73,400	100,400	135,900	169,200	317,000	305,900	753,500	741,300	731,500	619,500	555,800	355,000	235,300	310,700	73,200	80,700
D 販売従事者	4,556,300	165,800	236,400	211,900	197,100	324,100	321,300	690,600	625,000	501,800	369,100	245,700	185,200	116,700	202,000	49,100	54,000
E サービス職業従事者	2,546,300	221,100	367,400	255,400	236,100	353,700	267,800	394,600	209,000	85,500	42,500	19,800	9,900	9,200	7,500	1,600	2,800
F 保安職業従事者	1,079,400	21,600	49,600	80,900	78,600	107,800	71,300	125,400	119,700	133,600	97,400	94,100	52,700	28,200	13,200	0	0
G 農林漁業従事者	1,378,700	241,600	169,000	154,700	118,300	137,000	87,300	136,000	73,700	48,000	24,300	18,700	13,600	9,700	16,100	4,700	13,800
H 生産工程従事者	6,233,300	150,700	145,900	282,900	371,300	730,100	650,100	1,288,900	973,300	643,300	367,400	238,600	127,900	73,000	71,400	13,000	9,800
I 輸送・機械運転従事者	2,191,000	30,600	78,200	135,900	135,500	261,500	254,300	523,600	378,700	186,500	89,900	41,000	19,900	10,500	11,300	2,900	4,400
J 建設・採掘従事者	2,804,900	55,700	81,900	148,500	197,200	345,700	320,200	611,600	405,600	233,300	135,700	76,100	51,300	29,900	35,100	5,200	7,400
K 運搬・清掃・包装等従事者	2,340,600	201,800	303,900	286,300	231,700	294,500	224,600	336,900	204,700	117,100	56,300	28,200	8,400	5,300	5,800	900	2,300
L 分類不能の職業	1,062,200	66,500	73,400	73,100	64,500	94,700	73,700	118,300	81,800	56,900	32,800	26,200	19,600	10,800	12,800	2,600	7,300

付表2.3 職業・所得階級別有業者数(2017年, 男)

職業分類	総数	50万円未満	50～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600～699万円	700～799万円	800～899万円	900～999万円	1000～1249万円	1250～1499万円	1500万円以上
総数	29,138,900	2,322,900	5,536,300	4,693,500	2,833,400	3,537,100	2,174,300	2,986,500	1,624,300	894,800	528,300	302,400	142,700	67,800	103,400	27,200	45,600
A 管理的職業従事者	226,600	14,200	26,600	24,100	12,900	17,400	8,400	28,200	17,500	9,800	12,200	7,300	7,300	6,400	14,600	3,200	11,700
B 専門的・技術的職業従事者	5,357,700	303,800	442,500	456,300	338,300	644,700	539,200	942,300	674,900	409,700	249,300	156,800	58,100	23,700	34,700	11,200	19,300
B21 著述家、記者、編集者	51,400	7,000	4,400	3,700	2,000	8,700	4,600	5,600	5,000	4,000	1,800	0	0	0	0	0	0
B211 著述家	12,400	4,300	1,400	2,000	0	1,500	0	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B212 記者、編集者	39,000	2,700	3,000	1,600	1,800	7,200	4,500	4,400	5,000	2,800	1,400	0	0	0	0	0	0
B22 美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	167,100	18,700	17,600	20,400	13,600	26,300	21,500	17,400	11,500	6,300	5,200	0	0	0	0	0	0
B22a 彫刻家、画家、工芸美術家	26,900	6,800	3,500	3,700	2,000	2,500	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B224 デザイナー	114,100	9,500	9,700	10,900	8,900	19,600	17,000	15,000	10,700	4,100	3,300	0	0	0	0	0	0
B225 写真家、映像撮影者	26,200	2,300	4,400	5,800	2,700	4,200	1,500	1,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B23 音楽家、舞台芸術家	37,400	6,700	7,400	4,700	2,100	2,700	3,800	2,700	2,600	0	0	0	0	0	0	0	0
B231 音楽家	11,400	3,100	2,800	1,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B23a 舞踊家、俳優、演出家、演芸家	25,900	3,600	4,600	3,000	1,500	2,400	2,800	1,600	2,500	0	0	0	0	0	0	0	0
B24 その他の専門的職業従事者	543,100	165,100	121,300	64,700	38,800	40,600	30,800	30,700	17,000	10,300	6,500	2,900	3,800	0	1,800	0	0
B24n 個人教師(音楽)	73,800	25,600	20,400	11,700	6,300	3,600	3,100	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B24p 個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	15,700	5,100	2,500	3,100	1,300	0	0	700	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B24t 個人教師(スポーツ)	68,200	13,500	17,500	11,300	5,300	8,600	5,100	4,200	1,000	1,100	0	0	0	0	0	0	0
B24s 個人教師(学習指導)	125,400	56,300	38,700	12,500	6,200	2,800	1,800	3,500	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0
B24c 他に分類されない専門的職業従事者	106,600	42,100	30,100	11,800	3,300	4,100	5,100	5,500	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0
B24c 他に分類されない専門的職業従事者	123,500	22,000	11,100	10,600	10,800	15,400	13,600	12,800	9,200	5,600	4,500	2,400	2,800	0	0	0	0
C 事務従事者	8,068,200	283,500	1,094,300	1,097,100	831,400	1,222,300	787,400	1,147,000	607,300	330,800	189,100	96,200	49,600	27,100	32,900	8,400	8,300
D 販売従事者	3,580,400	327,900	912,800	679,000	379,200	392,900	215,100	251,300	127,000	70,100	31,600	24,000	20,200	7,000	13,600	2,700	3,700
E サービス職業従事者	5,419,900	656,400	1,451,700	1,040,200	589,000	658,200	354,400	322,500	89,900	24,600	15,500	5,200	2,100	1,300	2,300	800	1,600
F 保安職業従事者	75,700	6,300	6,900	7,300	7,200	5,800	4,600	8,800	9,300	9,300	4,200	4,600	0	0	0	0	0
G 農林漁業従事者	717,300	82,600	104,700	72,000	32,400	26,700	11,300	12,600	4,700	1,900	2,200	700	0	0	400	0	0
H 生産工程従事者	2,608,400	216,000	536,500	641,200	372,700	347,000	156,400	154,700	53,100	21,000	12,800	2,800	1,600	0	1,100	0	0
I 輸送・機械運転従事者	72,400	3,500	9,100	9,600	7,200	12,900	8,600	11,100	4,800	1,900	900	0	0	0	0	0	0
J 建設・探掘従事者	68,800	3,200	7,800	6,300	7,100	12,800	5,200	6,400	1,800	1,700	400	0	0	0	0	0	0
K 運搬・清掃・包装等従事者	2,083,900	332,100	780,300	524,700	183,100	114,500	39,400	34,000	13,800	4,000	3,200	1,100	0	0	0	0	0
L 分類不能の職業	859,500	93,400	163,100	135,700	72,800	81,800	44,400	47,600	20,300	10,000	6,900	3,100	2,400	0	3,500	0	0

付表2.4 職業所得階級別有業者数(2012年, 男女計)

職業分類	総数	50万円未満	50～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600～699万円	700～799万円	800～899万円	900～999万円	1000～1249万円	1250～1499万円	1500万円以上
総数	64,420,700	3,894,200	7,281,500	6,742,000	4,982,500	6,776,300	5,015,000	8,399,500	6,027,200	4,136,700	2,899,800	2,041,100	1,350,500	795,800	1,081,600	302,100	452,600
A 管理的職業従事者	1,427,100	37,500	46,400	62,300	42,400	76,200	48,200	143,300	122,200	109,900	119,600	104,600	89,000	69,800	137,800	57,200	142,300
B 専門的・技術的職業従事者	10,141,600	441,300	532,200	543,300	480,200	846,400	761,200	1,566,600	1,343,900	1,034,100	768,300	609,400	368,500	193,700	307,900	98,100	169,800
著述家、記者、編集者	132,100	7,400	7,400	7,700	7,900	13,700	12,000	20,200	12,600	8,400	10,100	4,500	4,800	3,700	6,700	2,200	2,300
著述家	40,400	5,500	3,300	3,900	4,900	5,100	3,000	4,100	2,100	2,000	1,700	0	0	0	0	0	0
記者、編集者	91,700	1,900	4,100	3,800	3,000	8,600	9,000	16,100	10,500	6,400	8,400	3,900	3,500	3,400	6,100	0	2,200
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	350,600	31,900	29,600	27,900	29,200	48,900	31,300	58,100	33,600	22,700	9,000	5,500	2,900	2,600	4,200	1,200	3,200
彫刻家、画家、工芸美術家	35,200	8,900	5,300	3,900	3,100	2,600	1,400	3,600	2,100	300	0	0	0	0	0	0	0
デザイナー	234,600	15,400	17,200	16,100	16,600	36,200	25,500	45,700	22,400	17,800	5,200	4,000	1,700	0	2,500	0	2,200
写真家、映像撮影者	80,700	7,500	7,200	7,900	9,600	10,100	4,500	8,900	9,100	4,600	2,800	1,400	1,100	0	0	0	0
音楽家、舞台芸術家	92,600	12,900	7,000	10,700	6,100	8,900	8,000	8,800	8,000	4,700	4,000	2,300	2,800	1,900	3,300	0	1,400
音楽家	30,200	8,200	4,400	6,300	1,400	2,400	1,500	1,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舞踊家、俳優、演出家、演芸家	62,300	4,700	2,600	4,400	4,700	6,500	6,500	6,900	7,000	3,700	3,300	2,300	2,000	1,900	3,000	0	1,400
その他の専門的職業従事者	916,000	217,500	164,200	90,600	67,200	75,800	53,000	74,300	47,500	37,600	21,700	20,900	12,700	5,600	8,400	1,800	4,100
図書館司書、学芸員	37,000	1,000	5,400	5,300	5,000	5,900	1,700	2,000	2,500	4,000	1,400	1,500	1,100	0	0	0	0
個人教師(音楽)	90,100	31,100	24,900	13,000	6,300	6,000	2,400	3,400	1,400	0	0	0	0	0	0	0	0
個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	26,700	5,300	7,800	4,200	2,100	2,100	600	1,900	900	0	0	0	0	0	0	0	0
個人教師(スポーツ)	111,800	17,700	18,900	13,200	12,800	15,800	9,800	9,600	6,800	3,500	1,500	0	0	0	0	0	0
個人教師(学習指導)	229,700	83,700	49,300	18,300	11,000	13,900	13,400	15,200	9,200	5,200	2,200	2,200	900	0	0	0	0
個人教師(他に分類されないもの)	151,300	54,700	31,900	19,200	12,500	9,800	5,700	7,400	2,100	2,000	0	0	0	0	0	0	0
職業スポーツ従事者	12,300	1,000	0	0	1,200	1,200	1,000	900	900	400	400	600	1,700	400	600	0	1,100
通信機器操作従事者	23,900	0	0	1,500	0	700	2,700	3,000	2,700	4,000	1,300	2,500	1,100	900	1,800	0	0
他に分類されない専門的職業従事者	233,100	22,300	25,500	15,700	16,300	20,500	15,700	30,900	21,100	17,700	14,700	13,100	6,700	3,900	4,800	1,100	2,100
C 事務従事者	12,408,600	372,500	1,158,000	1,199,900	971,400	1,412,100	1,000,000	1,610,100	1,160,900	931,500	738,900	546,100	387,700	234,000	298,500	70,500	48,300
D 販売従事者	8,559,200	538,900	1,160,000	975,800	613,000	760,700	560,900	1,030,100	873,300	581,200	407,800	265,400	198,600	127,800	178,000	41,100	44,700
E サービス職業従事者	7,721,700	831,200	1,730,600	1,288,800	874,800	987,700	579,100	620,900	262,600	117,600	60,800	30,400	17,000	10,800	13,700	5,500	7,000
F 保安職業従事者	1,146,500	25,500	58,200	93,000	86,600	114,500	83,100	126,200	140,400	131,000	95,800	84,100	55,700	34,700	13,100	300	0
G 農林漁業従事者	2,368,300	411,300	313,400	271,300	170,300	175,600	97,900	151,300	75,900	47,800	26,700	15,700	12,400	7,500	13,900	3,100	10,300
H 生産工程従事者	9,147,400	418,300	790,100	987,000	792,800	1,098,300	879,700	1,460,800	1,039,900	625,900	369,100	219,800	124,000	65,900	67,900	10,600	10,400
I 輸送・機械運転従事者	2,309,600	34,400	85,900	154,300	176,600	304,300	301,200	556,000	333,200	333,200	81,100	39,200	23,300	12,500	11,900	2,700	4,500
J 建設・採掘従事者	2,855,200	72,600	109,900	199,000	233,400	412,200	332,800	598,900	363,000	202,500	115,500	64,400	37,900	22,600	19,200	5,200	4,500
K 運輸・清掃・包装等従事者	4,101,800	530,600	1,025,400	739,600	375,800	369,400	236,500	328,600	189,400	113,000	66,700	30,400	11,800	4,400	3,000	1,000	1,900
L 分類不能の職業	2,233,800	180,200	271,500	227,700	165,400	218,900	134,300	206,700	122,700	80,200	49,400	31,700	24,400	12,100	16,600	6,800	8,700

付表2.5 職業・所得階級別有業者数(2007年, 男女計)

職業分類	総数	50万円未満	50～99万円	100～149万円	150～199万円	200～249万円	250～299万円	300～399万円	400～499万円	500～599万円	600～699万円	700～799万円	800～899万円	900～999万円	1000～1249万円	1250～1499万円	1500万円以上
総数	65,977,500	3,728,700	7,130,100	6,425,100	4,980,900	6,594,400	5,100,200	8,493,500	6,198,400	14,582,200	7,424,200	4,332,900	3,091,300	2,383,900	1,607,100	1,034,300	1,617,100
A 専門的・技術的職業従事者	9,646,700	422,600	511,900	520,800	476,400	757,600	720,400	1,384,400	1,186,700	3,579,600	1,679,400	928,800	750,600	635,900	420,500	259,600	424,700
文芸家、記者、編集者	139,700	7,000	6,000	7,900	8,100	12,200	12,300	20,300	14,600	50,800	17,900	9,900	8,000	5,800	5,600	4,700	13,900
文芸家、著述家	36,000	3,900	2,500	3,100	4,400	2,600	4,100	6,200	1,000	8,200	4,200	2,000	2,200	0	0	0	0
記者、編集者	103,700	3,100	3,500	4,800	3,700	9,700	8,200	14,100	13,600	42,700	13,700	7,900	5,900	4,900	4,800	4,200	12,900
美術家、写真家、デザイナー	349,500	29,100	21,300	26,300	29,200	44,500	32,500	57,900	37,700	63,800	38,600	20,900	17,700	8,000	3,600	4,100	8,300
写真家	80,200	4,500	7,300	9,200	9,000	10,400	7,600	11,000	6,600	11,000	6,000	1,800	4,200	1,100	0	800	2,200
音楽家、舞台芸術家	222,500	49,100	39,800	27,600	14,400	16,400	13,500	15,300	14,600	27,300	11,000	7,200	3,700	3,800	4,100	1,000	4,700
音楽家(個人に教授するものを除く)	30,700	5,800	5,000	2,500	1,300	1,400	2,400	3,600	2,700	4,600	1,900	0	0	0	0	0	0
音楽家(個人に教授するもの)	101,500	32,900	27,600	17,200	6,100	7,000	2,900	2,700	2,000	1,900	0	0	0	0	0	0	0
俳優、舞踊家、演芸家(個人に教授するものを除く)	70,700	5,900	3,900	4,200	5,100	6,200	7,300	8,400	9,400	19,300	7,700	4,700	3,000	2,700	3,100	700	3,400
俳優、舞踊家、演芸家(個人に教授するもの)	19,600	4,600	3,200	3,700	1,900	1,700	1,000	600	0	1,600	800	800	0	0	0	0	0
その他の専門的・技術的職業従事者	774,400	185,700	126,200	73,900	50,900	60,300	45,800	67,400	38,500	116,500	54,400	33,600	20,900	20,200	12,200	7,800	15,700
個人教師(学習指導)	234,500	84,500	47,700	23,000	10,900	16,300	12,200	17,800	8,700	10,500	5,700	4,200	1,500	1,500	1,100	0	0
個人教師(他に分類されないもの)	141,300	51,800	31,400	17,100	7,200	9,400	4,700	8,400	2,900	4,400	3,600	2,200	1,400	0	0	0	0
B 管理的職業従事者	1,797,200	36,200	38,500	59,000	42,100	66,200	49,000	141,900	150,700	1,196,900	290,500	137,400	153,200	153,500	142,500	112,400	319,300
C 事務従事者	13,329,600	411,400	1,470,800	1,362,200	1,032,800	1,452,000	1,053,100	1,862,900	1,174,400	3,393,400	1,643,800	930,000	713,700	617,500	435,400	278,300	361,800
D 販売従事者	8,886,700	518,300	983,200	826,500	630,900	806,500	622,500	1,106,100	974,000	2,138,500	1,137,600	667,100	470,500	328,900	211,500	144,700	250,700
E サービス職業従事者	6,701,900	726,400	1,469,400	1,070,000	763,300	783,900	465,000	565,100	251,200	295,900	202,700	137,100	65,600	35,300	18,000	12,000	22,600
F 保安職業従事者	1,093,200	22,400	55,200	81,000	70,600	99,700	76,600	123,800	119,200	440,600	192,400	104,200	88,200	92,500	73,700	52,400	29,700
G 農林漁業従事者	2,710,100	455,600	315,400	271,600	172,000	176,900	110,800	154,400	79,000	158,800	86,400	59,000	27,400	19,200	13,400	9,900	19,300
H 運輸・通信従事者	2,115,800	22,600	81,700	140,500	156,100	278,900	265,100	500,700	321,800	330,200	235,300	155,700	79,600	47,800	20,800	8,100	10,500
I 生産工程・労務作業者	17,734,400	985,600	2,003,100	1,915,800	1,501,200	2,004,100	1,616,500	2,692,600	1,837,000	2,797,300	1,822,300	1,136,700	685,600	416,700	243,100	139,000	152,000
写真現像・焼付・引伸し作業者	20,500	2,500	3,100	4,300	3,300	1,700	1,000	1,800	1,700	300	0	0	0	0	0	0	0
J 分類不能の職業	1,961,900	127,500	200,900	177,700	135,500	168,600	121,200	161,600	104,300	251,000	133,800	76,900	56,900	36,700	28,200	18,000	26,500

付表2.6 職業・週間就業時間別有業者数(2017年, 男女計)

職業分類	総数	15時間未満	15～19時間	20～21時間	22～29時間	30～34時間	35～42時間	43～45時間	46～48時間	49～59時間	60～64時間	65～74時間	75時間以上
総数	60,309,500	3,714,000	2,515,800	1,972,300	3,572,200	3,070,200	17,293,100	7,288,700	6,328,100	8,613,600	2,930,100	1,550,400	1,142,600
A管理的職業従事者	1,401,200	56,200	21,700	23,900	35,800	63,000	501,500	178,900	172,000	185,300	74,800	40,100	40,700
B専門的・技術的職業従事者	10,774,600	745,100	285,400	186,300	376,200	421,800	3,098,100	1,546,000	1,123,800	1,753,700	603,600	304,500	290,200
B21著述家, 記者, 編集者	115,100	4,100	2,200	2,000	4,600	3,100	35,500	14,300	11,100	20,300	8,900	3,800	3,400
B211著述家	25,700	800	0	0	1,700	1,700	7,200	5,000	2,500	1,200	1,500	0	0
B212記者, 編集者	89,500	3,300	1,900	1,700	2,900	1,400	28,300	9,400	8,600	19,100	7,400	3,200	2,000
B22美術家, デザイナー, 写真家, 映像撮影者	325,400	19,900	5,500	8,500	9,400	12,400	67,300	48,400	39,700	58,800	24,500	15,000	15,100
B22a彫刻家, 画家, 工芸美術家	36,900	3,800	1,000	1,400	1,000	2,200	4,700	3,800	1,500	4,300	4,800	3,600	4,700
B224デザイナー	216,200	13,400	2,900	4,600	5,400	7,400	50,700	34,800	25,000	40,300	14,600	8,600	7,900
B225写真家, 映像撮影者	72,300	2,700	1,600	2,500	3,000	2,800	11,900	9,800	13,200	14,200	5,100	2,700	2,500
B23音楽家, 舞台芸術家	64,600	2,600	1,700	1,100	3,800	2,500	12,800	8,700	5,700	11,100	6,000	4,200	3,500
B231音楽家	17,600	1,300	1,000	0	2,100	1,300	3,000	0	1,700	2,000	2,400	0	0
B23a舞踊家, 俳優, 演出家, 演芸家	47,000	1,300	700	0	1,700	0	9,900	8,300	4,000	9,000	3,600	4,000	2,900
B24その他の専門的職業従事者	902,400	246,700	61,500	39,100	68,100	54,700	182,600	67,800	48,600	75,400	24,700	14,300	15,500
B24n個人教師(音楽)	73,000	33,400	7,000	4,800	9,800	6,100	6,000	1,800	1,100	1,600	0	0	0
B24p個人教師(舞踊, 俳優, 演出, 演芸)	20,000	5,800	1,600	2,100	2,000	1,700	3,000	1,800	0	500	0	0	0
B24c個人教師(スポーツ)	105,600	24,700	9,600	5,300	8,600	5,800	21,000	7,500	7,100	7,500	3,100	2,400	2,800
B24s個人教師(学習指導)	228,800	112,600	20,500	10,000	14,500	10,300	20,100	9,300	13,000	12,800	2,700	1,200	1,200
B24t個人教師(他に分類されないもの)	118,600	48,400	14,900	6,600	10,000	7,200	16,900	4,800	3,500	3,000	1,600	700	0
B24c他に分類されない専門的職業従事者	289,100	19,300	7,000	7,800	18,100	17,300	93,200	33,300	20,000	40,800	15,100	8,700	7,500
C事務従事者	13,019,000	686,400	470,100	368,800	752,200	722,500	5,117,600	1,751,900	1,106,500	1,420,200	342,700	144,200	99,300
D販売従事者	7,471,900	492,200	418,700	324,300	461,200	355,000	1,824,100	874,600	733,100	1,169,100	415,000	220,200	151,300
Eサービス職業従事者	6,920,600	692,600	592,200	398,500	713,600	496,900	1,651,600	565,000	468,300	658,200	315,500	184,700	132,400
F保安職業従事者	1,071,300	42,100	22,100	13,800	42,600	42,500	296,500	126,400	139,700	182,900	61,900	49,900	40,300
G農林漁業従事者	1,448,100	48,500	30,100	41,500	82,800	119,000	274,400	134,200	187,500	290,800	110,500	64,400	52,000
H生産工程従事者	8,343,000	277,000	191,300	214,300	432,000	355,900	2,383,200	1,167,600	1,126,400	1,466,200	399,800	187,300	108,800
I輸送・機械運転従事者	2,129,100	69,000	40,700	30,300	62,500	66,800	423,100	215,500	278,700	423,900	241,200	160,800	100,900
J建設・採掘従事者	2,565,900	67,600	19,300	12,300	34,300	63,700	473,500	294,500	645,300	587,700	197,900	96,900	58,100
K運搬・清掃・包装等従事者	3,979,700	447,600	361,900	308,200	504,700	289,900	927,000	307,700	247,500	335,700	112,800	70,300	42,400
L分類不能の職業	1,185,200	89,600	62,400	49,900	74,200	73,200	322,600	126,600	99,200	139,900	54,500	27,000	26,400

注：集計されている有業者数は、200日以上就業者及び200日未満就業者のうち規則的就業者。

付表2.7 職業・週間就業時間別有業者数(2017年, 男)

職業分類	総数	15時間未満	15～19時間	20～21時間	22～29時間	30～34時間	35～42時間	43～45時間	46～48時間	49～59時間	60～64時間	65～74時間	75時間以上
総数	60,309,500	3,714,000	2,515,800	1,972,300	3,572,200	3,070,200	17,293,100	7,288,700	6,328,100	8,613,600	2,930,100	1,550,400	1,142,600
A管理的職業従事者	1,223,800	41,700	14,400	15,700	24,300	47,700	443,600	161,000	156,800	172,400	68,100	35,000	36,800
B専門的・技術的職業従事者	5,758,800	274,100	81,100	46,900	105,300	128,800	1,487,900	892,700	706,700	1,163,900	404,600	219,000	231,100
B21著述家, 記者, 編集者	73,300	1,500	1,700	0	2,500	2,700	20,400	9,700	6,900	13,800	6,400	3,300	3,100
B211著述家	18,600	0	0	0	0	1,600	5,500	3,100	2,500	1,000	0	0	0
B212記者, 編集者	54,600	1,000	0	0	1,600	1,000	14,900	6,600	4,500	12,800	5,700	2,600	1,700
B22美術家, デザイナー, 写真家, 映像撮影者	185,200	10,100	1,800	2,400	2,800	3,400	30,900	25,700	25,400	39,500	18,600	11,200	12,800
B22a彫刻家, 画家, 工芸美術家	18,300	1,800	0	0	0	0	2,900	1,400	1,200	2,500	1,900	2,200	2,800
B224デザイナー	115,400	6,600	1,400	1,300	1,000	1,400	20,900	17,100	15,400	24,100	12,100	6,300	7,600
B225写真家, 映像撮影者	51,500	1,700	0	0	1,500	1,400	7,100	7,200	8,800	13,000	4,600	2,700	2,400
B23音楽家, 舞台芸術家	44,700	1,600	0	0	0	1,000	8,400	6,700	3,500	10,400	4,900	2,700	2,300
B231音楽家	12,200	0	0	0	0	700	1,900	0	1,000	2,000	2,100	0	0
B23a舞踊家, 俳優, 演出家, 演芸家	32,500	0	0	0	0	0	6,500	6,300	2,500	8,400	2,800	2,400	1,800
B24その他の専門的職業従事者	429,900	76,400	16,800	12,200	20,100	20,100	100,100	45,500	35,900	57,300	20,100	10,200	13,700
B24n個人教師(音楽)	8,200	2,900	0	0	600	1,300	1,000	0	0	400	0	0	0
B24p個人教師(舞踊, 俳優, 演出, 演芸)	5,800	900	0	0	0	0	900	1,200	0	0	0	0	0
B24c個人教師(スポーツ)	45,600	7,000	2,900	1,500	1,300	1,900	11,100	3,600	4,700	5,800	2,500	800	2,500
B24s個人教師(学習指導)	115,800	49,600	7,400	3,500	6,200	5,700	12,500	5,700	10,800	9,900	2,100	1,100	800
B24t個人教師(他に分類されないもの)	28,400	7,700	2,200	800	2,400	2,200	6,800	2,100	1,600	900	1,300	0	0
B24c他に分類されない専門的職業従事者	187,500	7,500	3,000	4,100	7,500	7,300	56,300	24,900	16,400	33,600	12,300	7,000	6,600
C事務従事者	5,463,100	189,800	67,300	39,700	111,600	148,300	2,005,600	891,400	622,200	940,800	256,500	104,800	71,400
D販売従事者	4,302,700	197,700	92,200	59,400	99,800	111,800	978,200	615,100	544,300	939,500	343,700	183,000	121,400
Eサービス職業従事者	2,265,400	150,800	112,200	60,000	120,700	106,300	516,200	219,900	198,800	337,700	204,400	124,300	96,000
F保安職業従事者	1,002,000	36,800	20,300	12,400	37,900	39,500	274,100	116,800	132,700	174,100	59,700	48,500	39,200
G農林漁業従事者	983,400	28,200	16,500	21,400	43,900	67,800	183,300	94,800	137,000	208,300	83,700	49,600	39,900
H生産工程従事者	5,964,400	165,800	57,300	51,400	108,800	137,200	1,620,500	942,200	950,700	1,289,000	360,500	166,600	92,900
I輸送・機械運転従事者	2,067,000	64,100	38,600	27,800	58,200	63,100	411,500	208,900	273,500	414,100	237,500	157,200	98,200
J建設・採掘従事者	2,512,600	65,300	18,100	10,500	30,700	59,600	459,700	289,300	633,900	581,600	195,700	96,200	57,900
K運搬・清掃・包装等従事者	2,146,600	158,500	111,600	85,300	164,200	122,200	584,200	231,100	200,300	278,900	98,800	63,000	37,300
L分類不能の職業	663,300	35,700	18,000	13,800	20,700	28,200	176,000	81,000	71,800	105,000	42,700	21,100	23,300

付表2.8 職業・週間就業時間別有業者数(2017年, 女)

職業分類	総数	15時間未満	15～19時間	20～21時間	22～29時間	30～34時間	35～42時間	43～45時間	46～48時間	49～59時間	60～64時間	65～74時間	75時間以上
総数	60,309,500	3,714,000	2,515,800	1,972,300	3,572,200	3,070,200	17,293,100	7,288,700	6,328,100	8,613,600	2,930,100	1,550,400	1,142,600
A管理的職業従事者	177,500	14,500	7,300	8,200	11,500	15,300	57,900	17,800	15,200	12,900	6,700	5,100	3,900
B専門的・技術的職業従事者	5,015,800	471,000	204,300	139,500	270,900	293,000	1,610,200	653,300	417,200	589,800	199,000	85,500	59,000
B21著述家、記者、編集者	41,800	2,600	0	1,500	2,100	400	15,100	4,600	4,200	6,500	2,500	0	0
B211著述家	7,000	0	0	0	0	0	1,700	1,900	0	0	0	0	0
B212記者、編集者	34,800	2,300	0	1,200	1,300	0	13,400	2,700	4,100	6,300	1,700	0	0
B22美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	140,200	9,900	3,600	6,100	6,700	9,000	36,400	22,700	14,200	19,300	6,000	3,700	2,300
B22a彫刻家、画家、工芸美術家	18,600	2,000	0	0	700	1,500	1,800	2,400	0	1,800	2,900	0	1,900
B224デザイナー	100,900	6,900	1,500	3,200	4,400	6,000	29,800	17,700	9,600	16,300	2,500	2,300	300
B225写真家、映像撮影者	20,800	1,000	1,400	1,800	1,500	1,500	4,800	2,600	4,400	1,200	500	0	0
B23音楽家、舞台芸術家	19,900	1,100	900	0	3,200	1,500	4,400	2,000	2,200	700	1,100	0	0
B231音楽家	5,400	0	0	0	1,700	0	1,100	0	0	0	0	0	0
B23a舞踊家、俳優、演出家、演芸家	14,500	0	0	0	1,500	0	3,300	2,000	1,500	700	0	0	0
B24その他の専門的職業従事者	472,500	170,200	44,700	26,800	48,000	34,600	82,500	22,200	12,700	18,200	4,600	4,100	1,800
B24n個人教師(音楽)	64,800	30,500	6,900	4,600	9,200	4,800	5,000	1,000	900	1,200	0	0	0
B24c個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	14,200	4,900	700	1,600	1,700	1,600	2,100	0	0	0	0	0	0
B24r個人教師(スポーツ)	60,000	17,600	6,700	3,800	7,200	4,000	9,900	3,900	2,400	1,700	600	0	0
B24s個人教師(学習指導)	112,900	63,000	13,100	6,600	8,300	4,600	7,600	3,500	2,300	2,900	600	0	400
B24t個人教師(他に分類されないもの)	90,200	40,700	12,700	5,800	7,600	4,900	10,100	2,600	1,900	2,100	0	0	0
B24c他に分類されない専門的職業従事者	101,600	11,900	4,000	3,700	10,600	10,000	36,800	8,400	3,600	7,100	2,700	1,700	800
C事務従事者	7,555,800	496,500	402,800	329,100	640,600	574,200	3,112,000	860,400	484,300	479,400	86,200	39,400	27,900
D販売従事者	3,169,200	294,500	326,500	264,900	361,400	243,300	846,000	259,500	188,700	229,500	71,200	37,200	29,800
Eサービス職業従事者	4,655,200	541,800	480,000	338,500	592,900	390,600	1,135,400	345,000	269,600	320,500	111,000	60,500	36,400
F保安職業従事者	69,200	5,400	1,900	1,300	4,700	3,000	22,400	9,600	7,000	8,800	2,100	1,400	1,100
G農林漁業従事者	464,700	20,300	13,700	20,200	38,900	51,200	91,100	39,300	50,600	82,500	26,700	14,800	12,100
H生産工程従事者	2,378,600	111,200	134,000	162,900	323,200	218,700	762,700	225,400	175,700	177,200	39,200	20,700	15,900
I輸送・機械運転従事者	62,100	4,900	2,000	2,500	4,300	3,700	11,600	6,600	5,200	9,900	3,700	3,600	2,700
J建設・採掘従事者	53,200	2,400	1,200	1,900	3,600	4,100	13,700	5,300	11,400	6,200	2,200	700	0
K運搬・清掃・包装等従事者	1,833,100	289,100	250,300	222,900	340,500	167,700	342,800	76,500	47,300	56,800	14,000	7,300	5,200
L分類不能の職業	521,900	53,900	44,400	36,100	53,600	44,900	146,700	45,600	27,400	34,900	11,800	5,900	3,100

付表2.9 職業・年間就業日数別有業者数(2017年, 男女計)

職業分類	総数	50日未満	50～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250～299日	300日以上
総数	66,213,000	1,792,600	2,299,100	4,588,900	5,499,400	24,275,100	21,441,400	5,229,900
A管理的職業従事者	1,528,100	63,400	39,500	53,000	65,900	515,200	564,600	212,700
B専門的・技術的職業従事者	11,346,200	258,200	341,700	591,300	650,500	4,667,500	3,724,200	1,049,600
B21著述家、記者、編集者	133,500	5,100	2,700	6,700	10,500	44,300	47,300	15,700
B211著述家	35,900	2,800	1,000	2,900	4,800	8,900	7,900	7,000
B212記者、編集者	97,600	2,300	1,700	3,800	5,700	35,400	39,400	8,700
B22美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	377,500	16,200	11,600	19,200	27,200	134,600	112,500	52,700
B22a彫刻家、画家、工芸美術家	51,300	3,700	2,900	3,900	5,500	7,500	7,100	20,000
B224デザイナー	238,900	7,300	4,800	9,500	15,200	100,900	77,700	20,900
B225写真家、映像撮影者	87,300	5,200	3,800	5,900	6,600	26,200	27,700	11,800
B23音楽家、舞台芸術家	95,800	8,800	8,700	6,000	10,600	16,400	27,700	16,500
B231音楽家	31,400	3,500	4,100	2,500	5,000	4,600	3,500	7,800
B23a舞踊家、俳優、演出家、演芸家	64,500	5,300	4,600	3,500	5,700	11,700	24,100	8,700
B24その他の専門的職業従事者	1,024,300	85,100	130,700	131,400	107,000	252,500	220,500	86,700
B24n個人教師(音楽)	82,900	10,400	12,600	14,700	10,700	17,200	12,500	3,800
B24p個人教師(舞踊、俳優、演出、演芸)	22,500	2,000	2,200	3,200	2,200	3,900	3,900	4,500
B24r個人教師(スポーツ)	118,600	7,700	10,000	14,400	10,500	28,300	30,800	14,400
B24s個人教師(学習指導)	255,400	23,900	60,700	47,100	31,300	32,100	41,400	17,300
B24t個人教師(他に分類されないもの)	140,500	27,700	23,000	23,600	14,900	25,800	15,600	8,700
B24c他に分類されない専門的職業従事者	329,600	13,100	19,800	23,500	26,900	115,800	94,000	33,100
C事務従事者	13,659,700	276,400	338,200	815,300	942,400	6,510,700	4,101,900	613,000
D販売従事者	8,136,700	245,300	300,300	615,100	683,500	2,813,100	2,733,200	670,300
Eサービス職業従事者	7,966,200	352,300	496,100	944,100	1,056,900	2,139,700	2,283,700	599,100
F保安職業従事者	1,155,200	19,200	31,600	121,700	112,300	360,400	405,100	100,200
G農林漁業従事者	2,096,000	104,000	161,000	226,300	304,400	376,000	439,400	459,100
H生産工程従事者	8,841,700	131,300	160,500	422,400	604,100	3,607,600	3,281,400	547,400
I輸送・機械運転従事者	2,263,400	26,000	49,500	113,900	167,700	655,000	1,018,000	209,600
J建設・採掘従事者	2,873,700	57,900	73,200	117,400	186,800	701,000	1,316,700	389,100
K運搬・清掃・包装等従事者	4,424,400	169,800	227,400	433,500	566,800	1,482,100	1,219,100	274,000
L分類不能の職業	1,921,700	88,900	80,100	135,000	158,200	447,000	354,100	105,800

付表2.10 職業・年間就業日数別有業者数(2017年, 男)

職業分類	総数	50日未満	50～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250～299日	300日以上
総数	37,074,100	712,500	912,200	1,742,500	2,033,300	13,394,000	13,928,000	3,783,000
A管理的職業従事者	1,301,500	37,700	26,600	38,100	49,300	456,400	502,500	181,200
B専門的・技術的職業従事者	5,988,500	97,600	121,600	181,500	206,100	2,556,500	2,057,600	738,300
B21著述家, 記者, 編集者	82,100	1,900	1,400	3,400	6,100	24,500	32,200	12,100
B211著述家	23,500	0	0	1,200	3,400	5,800	5,300	6,000
B212記者, 編集者	58,600	1,000	800	2,200	2,700	18,700	26,900	6,100
B22美術家, デザイナー, 写真家, 映像撮影者	210,400	8,500	5,700	7,700	8,700	65,000	75,000	37,100
B22a彫刻家, 画家, 工芸美術家	24,500	2,000	900	1,800	1,400	2,500	4,100	10,800
B224デザイナー	124,800	2,300	2,500	2,800	4,800	48,000	46,700	15,900
B225写真家, 映像撮影者	61,100	4,200	2,300	3,100	2,400	14,500	24,200	10,400
B23音楽家, 舞台芸術家	58,500	2,800	3,400	3,300	5,600	11,100	19,400	12,300
B231音楽家	19,900	1,000	1,300	1,800	4,200	2,700	2,800	6,000
B23a舞踊家, 俳優, 演出家, 演芸家	38,500	1,800	2,100	1,500	1,400	8,400	16,700	6,300
B24その他の専門的職業従事者	481,200	27,000	45,700	41,700	34,500	128,200	140,600	58,100
B24n個人教師(音楽)	9,200	1,400	900	1,200	0	2,000	2,800	700
B24p個人教師(舞踊, 俳優, 演出, 演芸)	6,800	0	0	0	1,100	900	1,900	1,700
B24r個人教師(スポーツ)	50,400	2,300	3,500	3,500	3,400	9,800	16,700	9,900
B24s個人教師(学習指導)	130,000	9,300	26,500	21,300	11,800	17,600	29,400	13,000
B24t個人教師(他に分類されないもの)	33,900	6,500	4,100	2,200	2,000	9,200	6,100	3,500
B24c他に分類されない専門的職業従事者	206,100	6,800	9,200	11,400	10,100	72,800	69,300	24,700
C事務従事者	5,591,500	61,100	62,700	166,900	203,200	2,806,900	1,950,500	326,100
D販売従事者	4,556,300	92,500	111,000	210,100	196,500	1,617,500	1,826,700	468,400
Eサービス職業従事者	2,546,300	90,900	135,600	230,000	205,400	548,600	973,100	335,100
F保安職業従事者	1,079,400	15,900	29,300	114,200	107,400	335,100	380,400	92,800
G農林漁業従事者	1,378,700	62,100	103,400	133,800	185,800	242,100	314,000	322,900
H生産工程従事者	6,233,300	67,200	75,600	210,300	276,900	2,518,400	2,574,300	459,000
I輸送・機械運転従事者	2,191,000	24,300	46,000	109,000	158,600	632,700	994,500	203,900
J建設・採掘従事者	2,804,900	54,400	68,700	112,400	177,800	679,400	1,298,100	384,100
K運搬・清掃・包装等従事者	2,340,600	70,800	99,400	178,600	200,000	755,400	822,900	190,600
L分類不能の職業	1,062,200	38,000	32,100	57,400	66,200	245,100	233,300	80,700

付表2.11 職業・年間就業日数別有業者数(2017年, 女)

職業分類	総数	50日未満	50～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250～299日	300日以上
総数	29,138,900	1,080,100	1,387,000	2,846,500	3,466,200	10,881,100	7,513,400	1,446,900
A管理的職業従事者	226,600	25,800	12,900	14,800	16,600	58,800	62,000	31,500
B専門的・技術的職業従事者	5,357,700	160,600	220,100	409,800	444,400	2,111,000	1,666,600	311,300
B21著述家, 記者, 編集者	51,400	3,200	1,200	3,300	4,400	19,800	15,100	3,600
B211著述家	12,400	1,800	0	1,700	1,400	3,100	2,600	1,000
B212記者, 編集者	39,000	1,400	900	1,600	3,000	16,700	12,500	2,600
B22美術家, デザイナー, 写真家, 映像撮影者	167,100	7,700	5,900	11,500	18,500	69,600	37,500	15,600
B22a彫刻家, 画家, 工芸美術家	26,900	1,600	2,000	2,100	4,000	5,000	3,000	9,200
B224デザイナー	114,100	5,000	2,400	6,700	10,300	52,900	31,000	5,000
B225写真家, 映像撮影者	26,200	1,000	1,600	2,700	4,200	11,700	3,500	1,400
B23音楽家, 舞台芸術家	37,400	6,000	5,300	2,700	5,000	5,300	8,200	4,200
B231音楽家	11,400	2,500	2,700	0	800	1,900	800	1,800
B23a舞踊家, 俳優, 演出家, 演芸家	25,900	3,500	2,500	2,000	4,200	3,300	7,500	2,400
B24その他の専門的職業従事者	543,100	58,100	85,000	89,700	72,400	124,300	79,900	28,600
B24n個人教師(音楽)	73,800	9,000	11,700	13,500	10,600	15,200	9,700	3,100
B24p個人教師(舞踊, 俳優, 演出, 演芸)	15,700	1,500	2,200	2,900	1,100	3,000	2,000	2,800
B24r個人教師(スポーツ)	68,200	5,500	6,500	10,900	7,100	18,500	14,100	4,600
B24s個人教師(学習指導)	125,400	14,600	34,200	25,900	19,600	14,500	12,000	4,300
B24t個人教師(他に分類されないもの)	106,600	21,200	18,900	21,500	12,900	16,600	9,500	5,200
B24c他に分類されない専門的職業従事者	123,500	6,300	10,600	12,200	16,800	43,000	24,800	8,300
C事務従事者	8,068,200	215,200	275,500	648,400	739,200	3,703,800	2,151,400	286,900
D販売従事者	3,580,400	152,800	189,300	405,000	487,000	1,195,500	906,500	202,000
Eサービス職業従事者	5,419,900	261,400	360,500	714,100	851,500	1,591,100	1,310,700	264,000
F保安職業従事者	75,700	3,300	2,200	7,500	4,900	25,300	24,700	7,400
G農林漁業従事者	717,300	42,000	57,600	92,500	118,600	133,900	125,400	136,200
H生産工程従事者	2,608,400	64,000	84,900	212,100	327,200	1,089,200	707,100	88,400
I輸送・機械運転従事者	72,400	1,600	3,500	4,900	9,100	22,200	23,500	5,600
J建設・採掘従事者	68,800	3,500	4,500	5,000	9,100	21,600	18,600	5,000
K運搬・清掃・包装等従事者	2,083,900	99,000	128,000	254,800	366,800	726,700	396,200	83,500
L分類不能の職業	859,500	50,800	47,900	77,600	92,000	201,900	120,800	25,100

付表3 都道府県別文化人口・文化人口比率の推移

付表3.1 都道府県別文化人口・文化人口比率の推移(男)

a. 文化活動A

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）			
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年 順位
北海道	1,625,297	1,531,085	1,577,529	1,523,184	69.4	66.6	70.5	69.9 (14)
青森	361,720	323,213	345,189	319,864	61.4	56.9	63.9	62.2 (45)
岩手	366,752	332,090	365,825	337,357	62.9	59.3	66.8	64.8 (38)
宮城	704,487	686,295	767,766	714,995	69.2	67.9	75.1	70.9 (12)
秋田	295,174	270,263	279,179	267,699	61.9	59.7	65.4	66.3 (32)
山形	336,959	312,994	326,136	302,020	65.5	63.1	68.2	65.8 (36)
福島	565,168	548,483	568,049	543,777	63.3	63.4	67.0	67.2 (26)
茨城	885,558	860,035	942,587	878,919	67.3	65.2	72.5	68.2 (21)
栃木	627,165	569,329	597,366	583,104	70.5	64.2	68.2	67.4 (25)
群馬	600,905	572,867	604,661	623,351	68.3	65.4	69.7	72.7 (5)
埼玉	2,348,771	2,302,245	2,522,655	2,487,080	73.7	70.8	76.9	75.4 (3)
千葉	2,018,350	1,947,339	2,214,504	2,049,034	74.3	70.0	79.2	72.7 (6)
東京	4,501,590	4,483,392	4,959,602	5,111,194	78.7	75.6	81.4	81.7 (1)
神奈川	3,126,189	2,989,869	3,227,473	3,272,443	78.3	73.2	78.5	78.7 (2)
新潟	672,688	622,402	673,107	639,493	64.5	60.8	67.8	67.0 (28)
富山	320,946	317,294	330,434	296,913	67.8	67.9	71.7	65.9 (35)
石川	351,885	335,196	360,343	339,441	70.9	67.3	73.0	69.8 (15)
福井	244,661	221,794	235,810	229,385	70.3	64.6	69.9	69.1 (20)
山梨	247,847	247,933	254,209	240,958	65.0	66.1	69.7	67.5 (24)
長野	657,962	623,465	650,197	619,654	69.9	67.2	71.5	69.3 (19)
岐阜	603,266	583,909	612,648	581,717	66.9	65.4	69.9	67.8 (22)
静岡	1,159,143	1,063,556	1,153,856	1,110,130	69.8	64.6	71.1	69.3 (18)
愛知	2,403,780	2,330,124	2,512,965	2,533,879	74.0	70.6	75.0	75.3 (4)
三重	561,938	537,757	576,656	521,647	69.7	67.0	73.2	67.6 (23)
滋賀	449,788	425,909	452,220	442,697	74.5	68.9	73.1	71.1 (11)
京都	821,279	761,896	831,762	797,718	72.8	67.5	74.4	72.2 (7)
大阪	2,787,084	2,616,781	2,779,273	2,720,261	73.6	68.4	72.9	71.7 (9)
兵庫	1,674,036	1,632,266	1,723,456	1,635,005	70.8	68.7	73.3	70.6 (13)
奈良	449,183	417,452	424,231	400,716	75.2	70.6	73.9	71.8 (8)
和歌山	279,821	247,195	269,550	249,101	65.2	59.1	67.1	64.5 (39)
鳥取	165,245	151,827	156,680	153,575	65.2	61.7	65.4	66.3 (33)
島根	196,182	178,146	197,453	188,492	63.5	59.4	67.7	66.2 (34)
岡山	555,177	512,276	572,612	560,006	67.3	62.2	70.3	69.6 (17)
広島	876,430	842,236	875,393	838,919	71.9	69.3	72.0	69.8 (16)
山口	416,221	384,840	388,758	376,430	67.6	64.0	66.4	67.0 (29)
徳島	216,883	184,533	210,501	185,858	64.4	56.3	66.4	61.2 (46)
香川	275,270	265,719	289,689	270,724	64.8	62.8	69.3	66.6 (31)
愛媛	400,860	361,190	399,197	374,632	66.1	60.8	69.1	66.8 (30)
高知	201,420	176,380	197,596	184,552	61.6	55.9	65.7	64.1 (42)
福岡	1,512,312	1,376,479	1,510,403	1,521,286	72.0	65.3	71.4	71.2 (10)
佐賀	221,903	213,445	220,361	215,683	63.0	61.4	64.6	64.5 (40)
長崎	355,608	333,730	359,310	325,273	60.0	58.1	64.5	60.9 (47)
熊本	484,067	428,590	475,524	481,877	64.3	57.5	65.2	67.2 (27)
大分	311,750	292,273	334,645	305,718	62.8	59.1	69.5	65.5 (37)
宮崎	301,005	269,630	283,376	278,299	63.9	58.0	63.0	63.3 (43)
鹿児島	452,298	418,626	430,309	407,879	63.7	60.5	64.3	62.6 (44)
沖縄	314,701	365,344	419,374	398,157	62.6	62.1	69.5	64.2 (41)
合計	39,306,724	37,469,692	40,460,419	39,440,096	71.2	67.5	73.3	71.9

資料：社会生活基本調査の調査票情報を利用して集計。順位は2021年の文化人口比率による（以下同様）。

付表3.1（男，続，その1）

b. 文化活動B

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				順位
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年	
北海道	1,708,373	1,624,805	1,647,418	1,645,892	72.9	70.7	73.6	75.5	(16)
青森	384,720	348,193	369,396	347,489	65.3	61.3	68.4	67.6	(46)
岩手	386,101	354,492	388,407	364,948	66.2	63.3	70.9	70.1	(37)
宮城	736,443	725,635	792,415	769,774	72.4	71.8	77.5	76.3	(10)
秋田	310,739	289,504	296,416	286,872	65.2	63.9	69.4	71.1	(35)
山形	352,243	331,433	340,189	321,616	68.4	66.8	71.2	70.1	(38)
福島	594,180	580,728	601,360	587,931	66.5	67.2	70.9	72.7	(26)
茨城	927,838	912,426	995,502	937,035	70.5	69.2	76.5	72.7	(25)
栃木	647,813	602,488	629,126	632,944	72.9	68.0	71.8	73.1	(23)
群馬	628,446	610,786	634,435	651,514	71.5	69.7	73.1	76.0	(13)
埼玉	2,446,691	2,457,124	2,625,923	2,633,968	76.7	75.6	80.1	79.8	(4)
千葉	2,082,052	2,073,477	2,311,748	2,171,666	76.6	74.5	82.7	77.0	(8)
東京	4,617,448	4,675,326	5,104,689	5,331,547	80.8	78.8	83.8	85.3	(1)
神奈川	3,227,645	3,175,282	3,323,135	3,422,913	80.8	77.8	80.8	82.4	(2)
新潟	704,635	679,420	710,003	687,041	67.5	66.4	71.5	72.0	(28)
富山	337,460	335,623	349,013	319,718	71.3	71.8	75.8	71.0	(36)
石川	367,808	362,585	378,919	369,902	74.2	72.8	76.7	76.1	(12)
福井	255,241	237,302	246,513	247,793	73.4	69.1	73.1	74.7	(18)
山梨	260,514	262,003	264,516	254,956	68.3	69.9	72.6	71.4	(31)
長野	685,720	660,761	689,958	659,268	72.8	71.3	75.9	73.7	(21)
岐阜	637,279	628,163	647,799	633,593	70.6	70.3	74.0	73.8	(20)
静岡	1,200,494	1,156,451	1,212,967	1,212,074	72.3	70.3	74.7	75.7	(15)
愛知	2,491,679	2,472,006	2,648,764	2,698,670	76.7	74.9	79.0	80.2	(3)
三重	582,889	572,660	604,198	564,258	72.3	71.3	76.7	73.2	(22)
滋賀	466,921	455,756	478,490	476,767	77.4	73.8	77.4	76.6	(9)
京都	859,307	815,557	873,092	851,711	76.2	72.2	78.1	77.1	(6)
大阪	2,910,881	2,800,041	2,899,369	2,923,772	76.8	73.2	76.0	77.1	(7)
兵庫	1,744,981	1,743,031	1,798,276	1,751,978	73.8	73.4	76.5	75.7	(14)
奈良	464,824	442,118	446,034	430,268	77.8	74.8	77.7	77.1	(5)
和歌山	292,578	273,486	282,250	268,225	68.2	65.4	70.3	69.5	(40)
鳥取	175,063	162,443	167,094	165,862	69.1	66.0	69.8	71.6	(30)
島根	206,184	191,524	211,539	202,751	66.7	63.8	72.5	71.2	(34)
岡山	580,068	551,499	606,596	598,802	70.4	67.0	74.5	74.5	(19)
広島	912,616	902,459	928,753	903,608	74.9	74.3	76.4	75.2	(17)
山口	434,534	414,430	414,117	406,324	70.6	68.9	70.8	72.3	(27)
徳島	227,403	198,630	223,438	207,117	67.5	60.6	70.5	68.2	(43)
香川	289,825	280,138	307,431	290,091	68.2	66.2	73.6	71.4	(32)
愛媛	422,790	389,232	423,126	408,641	69.8	65.6	73.2	72.9	(24)
高知	209,173	188,880	205,643	198,221	63.9	59.8	68.4	68.9	(41)
福岡	1,561,666	1,466,011	1,575,521	1,627,140	74.3	69.6	74.4	76.1	(11)
佐賀	234,365	227,597	231,803	232,597	66.5	65.5	67.9	69.5	(39)
長崎	371,631	355,760	375,841	357,823	62.7	61.9	67.4	66.9	(47)
熊本	501,823	460,537	497,609	513,839	66.6	61.8	68.2	71.6	(29)
大分	329,790	313,216	352,588	332,463	66.4	63.3	73.2	71.2	(33)
宮崎	314,835	287,035	299,519	302,402	66.9	61.7	66.6	68.8	(42)
鹿児島	468,350	438,905	453,289	441,281	66.0	63.4	67.8	67.7	(45)
沖縄	322,647	381,461	437,104	423,177	64.2	64.9	72.5	68.2	(44)
合計	40,876,706	39,868,419	42,301,331	42,068,242	74.0	71.9	76.6	76.7	

付表3.1（男，続，その2）

c. 文化活動C

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年	順位
北海道	1,787,793	1,702,827	1,694,555	1,712,795	76.3	74.1	75.7	78.6	(26)
青森	398,967	362,480	383,536	364,213	67.7	63.8	71.0	70.8	(42)
岩手	404,584	376,294	405,636	383,130	69.4	67.2	74.1	73.6	(35)
宮城	771,551	755,856	816,709	812,384	75.8	74.8	79.9	80.5	(10)
秋田	333,478	306,765	308,368	299,326	70.0	67.7	72.2	74.1	(40)
山形	370,068	348,254	355,663	337,218	71.9	70.2	74.4	73.5	(34)
福島	626,512	615,921	626,378	609,521	70.2	71.2	73.8	75.3	(36)
茨城	976,699	963,108	1,030,494	982,897	74.2	73.0	79.2	76.3	(11)
栃木	675,844	638,046	657,905	659,552	76.0	72.0	75.1	76.2	(30)
群馬	666,144	637,321	655,217	676,200	75.7	72.7	75.5	78.9	(28)
埼玉	2,553,177	2,566,751	2,701,383	2,722,563	80.1	79.0	82.4	82.5	(4)
千葉	2,177,549	2,151,883	2,368,731	2,246,357	80.1	77.3	84.8	79.7	(2)
東京	4,776,238	4,842,417	5,216,073	5,499,310	83.5	81.6	85.6	87.9	(1)
神奈川	3,378,162	3,317,326	3,460,946	3,538,815	84.6	81.2	84.2	85.2	(3)
新潟	750,427	719,095	743,237	718,531	71.9	70.2	74.8	75.3	(32)
富山	354,607	352,613	362,749	332,564	74.9	75.5	78.8	73.9	(16)
石川	388,433	379,157	396,117	380,927	78.3	76.2	80.2	78.3	(8)
福井	263,796	247,773	257,221	259,380	75.8	72.1	76.3	78.2	(21)
山梨	276,160	278,895	277,428	265,051	72.4	74.4	76.1	74.2	(22)
長野	713,596	691,419	715,254	690,655	75.8	74.6	78.7	77.2	(17)
岐阜	667,216	659,741	666,534	656,250	73.9	73.9	76.1	76.5	(23)
静岡	1,268,401	1,211,226	1,270,628	1,268,269	76.4	73.6	78.2	79.2	(18)
愛知	2,607,340	2,592,989	2,742,364	2,799,110	80.3	78.6	81.8	83.2	(5)
三重	604,848	591,593	620,461	584,208	75.0	73.7	78.8	75.7	(15)
滋賀	487,534	475,417	495,652	495,853	80.8	77.0	80.1	79.6	(9)
京都	903,672	850,000	901,568	884,155	80.1	75.3	80.7	80.1	(6)
大阪	3,021,908	2,930,576	3,017,421	3,025,411	79.8	76.6	79.1	79.8	(13)
兵庫	1,825,647	1,840,990	1,861,428	1,820,950	77.2	77.5	79.2	78.7	(12)
奈良	482,584	462,911	462,940	447,932	80.8	78.3	80.6	80.3	(7)
和歌山	308,705	287,420	291,970	281,368	71.9	68.7	72.7	72.9	(39)
鳥取	184,111	171,303	174,621	171,734	72.7	69.6	72.9	74.1	(38)
島根	215,298	202,968	220,939	210,006	69.7	67.6	75.7	73.8	(25)
岡山	609,479	579,647	634,547	617,437	73.9	70.4	77.9	76.8	(19)
広島	943,121	944,307	959,340	943,395	77.4	77.7	79.0	78.5	(14)
山口	460,396	434,228	437,931	425,581	74.8	72.2	74.8	75.7	(31)
徳島	239,551	212,468	231,462	218,425	71.1	64.8	73.0	71.9	(37)
香川	307,627	299,781	317,091	303,941	72.4	70.8	75.9	74.8	(24)
愛媛	446,832	410,114	434,512	429,518	73.7	69.1	75.2	76.6	(29)
高知	224,131	202,632	213,443	207,382	68.5	64.2	70.9	72.1	(43)
福岡	1,631,551	1,539,240	1,639,294	1,692,631	77.7	73.0	77.5	79.2	(20)
佐賀	248,865	241,000	238,692	245,759	70.6	69.3	69.9	73.5	(46)
長崎	399,307	392,189	394,570	377,538	67.3	68.2	70.8	70.6	(45)
熊本	527,205	484,360	516,830	536,788	70.0	65.0	70.8	74.8	(44)
大分	345,457	331,131	364,462	348,411	69.6	66.9	75.7	74.7	(27)
宮崎	329,903	304,990	311,830	315,258	70.1	65.6	69.4	71.7	(47)
鹿児島	500,121	469,047	475,472	460,913	70.4	67.7	71.1	70.8	(41)
沖縄	340,237	399,038	450,941	441,286	67.7	67.9	74.7	71.1	(33)
合計	42,774,832	41,775,507	43,780,543	43,700,898	77.5	75.3	79.3	79.7	

付表3.2 都道府県別文化人口・行動者率の推移(女)

a. 文化活動A

	文化人口（行動者数、人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年	順位
北海道	1,853,771	1,785,647	1,776,715	1,687,688	70.6	69.1	70.6	69.3	(21)
青森	420,853	382,024	397,555	344,445	62.9	59.2	65.0	59.9	(47)
岩手	418,191	390,007	396,317	364,640	65.4	63.4	67.5	65.8	(38)
宮城	789,308	768,052	802,069	764,605	72.9	71.5	75.1	72.4	(9)
秋田	330,638	309,651	300,095	284,170	61.5	60.5	62.7	63.8	(43)
山形	359,538	353,355	349,850	314,949	64.3	65.6	68.1	64.9	(40)
福島	602,750	601,530	585,451	522,532	63.4	65.8	68.1	63.5	(45)
茨城	934,550	899,910	982,257	891,206	70.2	67.9	75.4	69.4	(20)
栃木	639,188	613,673	637,081	576,402	70.9	68.2	72.1	66.7	(34)
群馬	657,001	642,545	650,634	619,843	72.3	71.1	73.5	71.5	(14)
埼玉	2,465,207	2,467,814	2,600,918	2,510,177	78.5	76.5	79.4	75.6	(5)
千葉	2,104,429	2,066,927	2,274,971	2,167,251	77.4	73.8	80.7	76.0	(4)
東京	4,751,263	4,874,485	5,286,785	5,351,003	82.3	80.4	84.5	82.7	(1)
神奈川	3,181,678	3,196,212	3,358,500	3,195,547	81.4	79.0	81.8	76.3	(2)
新潟	735,068	673,693	717,598	686,086	65.8	61.8	68.3	68.6	(24)
富山	353,075	351,686	362,365	322,964	69.2	70.3	74.2	68.4	(25)
石川	392,032	370,238	390,694	367,497	73.6	69.8	74.8	71.9	(11)
福井	260,519	240,444	253,116	241,587	70.0	65.7	71.1	70.0	(18)
山梨	277,362	269,181	275,009	246,932	69.4	68.7	72.5	67.1	(30)
長野	706,124	671,705	684,042	648,351	70.7	68.5	71.8	69.8	(19)
岐阜	691,524	648,569	669,041	626,535	71.6	68.0	71.9	69.2	(22)
静岡	1,233,631	1,167,393	1,204,593	1,162,160	71.9	68.8	72.1	70.9	(16)
愛知	2,463,383	2,431,187	2,565,964	2,559,310	76.4	73.7	76.9	76.0	(3)
三重	604,863	593,164	607,978	555,179	70.7	70.3	73.6	69.2	(23)
滋賀	476,736	465,756	487,740	468,140	76.9	73.5	76.8	73.3	(8)
京都	925,986	933,676	965,236	897,892	75.4	75.9	79.1	74.4	(7)
大阪	3,044,784	3,062,252	3,120,572	3,103,901	75.1	74.5	75.9	75.3	(6)
兵庫	1,951,560	1,880,636	1,965,574	1,849,506	75.2	72.2	76.1	72.4	(10)
奈良	511,721	495,852	497,917	447,694	76.9	75.1	77.5	71.6	(12)
和歌山	317,254	306,921	311,691	288,363	65.3	65.1	69.2	67.1	(29)
鳥取	193,951	171,561	176,445	166,750	69.5	63.5	67.5	66.2	(35)
島根	218,646	200,605	209,591	194,763	64.0	61.0	66.5	64.6	(41)
岡山	637,311	608,954	634,162	610,198	70.9	68.2	72.1	70.8	(17)
広島	980,533	953,512	953,245	910,397	74.5	72.8	73.8	71.6	(13)
山口	500,910	469,325	454,728	416,727	72.1	69.6	70.4	67.8	(27)
徳島	252,014	224,333	232,161	208,547	67.2	61.9	66.9	63.5	(44)
香川	320,171	302,488	309,575	290,220	69.2	66.6	69.9	67.3	(28)
愛媛	461,449	435,247	437,470	418,419	67.3	65.1	68.1	67.8	(26)
高知	232,165	206,563	221,665	207,680	62.8	58.1	66.0	65.3	(39)
福岡	1,718,642	1,660,600	1,778,387	1,684,668	73.0	70.1	75.2	71.0	(15)
佐賀	274,162	255,579	261,890	243,054	68.8	65.4	69.0	66.0	(37)
長崎	436,094	415,798	432,545	371,822	63.6	62.6	68.3	61.9	(46)
熊本	568,715	537,918	548,177	531,275	66.5	63.7	67.0	66.9	(33)
大分	373,187	348,003	370,694	343,193	66.1	62.7	69.3	67.0	(31)
宮崎	367,171	314,078	333,215	322,199	68.4	59.6	65.9	66.0	(36)
鹿児島	530,322	502,505	505,156	467,672	65.1	63.4	66.9	64.5	(42)
沖縄	368,437	419,002	457,537	430,595	68.7	68.1	72.9	67.0	(32)
合計	42,887,867	41,940,256	43,794,971	41,884,734	73.6	71.6	75.4	72.7	

付表3.2（女，続，その1）

b. 文化活動B

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年	順位
北海道	1,888,767	1,864,079	1,824,978	1,778,284	72.0	72.1	72.5	73.1	(19)
青森	426,167	391,962	405,009	362,988	63.7	60.7	66.2	63.1	(47)
岩手	422,347	398,002	405,417	378,287	66.0	64.7	69.0	68.2	(39)
宮城	796,614	781,252	814,281	794,661	73.5	72.7	76.2	75.3	(9)
秋田	335,106	315,975	306,984	294,134	62.3	61.7	64.1	66.0	(45)
山形	362,283	360,868	355,922	330,298	64.8	67.0	69.3	68.1	(40)
福島	611,898	616,226	602,365	554,686	64.4	67.4	70.1	67.4	(42)
茨城	941,607	915,132	1,004,212	926,780	70.8	69.1	77.1	72.2	(22)
栃木	648,000	624,632	647,892	605,201	71.8	69.5	73.4	70.0	(29)
群馬	664,812	652,757	664,227	643,885	73.1	72.3	75.0	74.2	(15)
埼玉	2,486,808	2,505,512	2,647,475	2,589,851	79.2	77.7	80.8	78.0	(6)
千葉	2,133,350	2,110,311	2,316,921	2,245,105	78.5	75.3	82.2	78.7	(3)
東京	4,788,451	4,946,513	5,336,517	5,480,676	83.0	81.6	85.3	84.7	(1)
神奈川	3,210,660	3,248,437	3,387,378	3,322,569	82.2	80.3	82.5	79.3	(2)
新潟	744,195	686,396	733,400	713,823	66.7	62.9	69.8	71.4	(24)
富山	356,684	357,046	368,466	334,826	69.9	71.4	75.5	71.0	(26)
石川	398,103	378,714	398,392	381,562	74.7	71.4	76.3	74.7	(12)
福井	263,730	246,799	256,898	252,654	70.8	67.5	72.2	73.2	(18)
山梨	279,596	276,762	280,230	255,107	70.0	70.7	73.9	69.3	(33)
長野	713,069	682,743	702,976	673,545	71.4	69.7	73.8	72.5	(21)
岐阜	703,891	662,641	686,386	658,455	72.8	69.5	73.7	72.7	(20)
静岡	1,243,021	1,191,777	1,240,569	1,218,807	72.5	70.2	74.3	74.4	(14)
愛知	2,489,625	2,483,233	2,615,340	2,649,380	77.2	75.3	78.4	78.7	(4)
三重	611,782	603,054	622,500	579,493	71.5	71.5	75.4	72.2	(23)
滋賀	481,527	476,378	495,428	487,251	77.6	75.2	78.1	76.3	(8)
京都	939,574	944,386	983,125	928,350	76.5	76.8	80.5	76.9	(7)
大阪	3,089,392	3,123,067	3,188,268	3,233,685	76.2	76.0	77.6	78.5	(5)
兵庫	1,972,797	1,926,726	1,990,374	1,918,779	76.0	74.0	77.0	75.1	(10)
奈良	516,267	508,870	505,972	469,065	77.6	77.0	78.8	75.0	(11)
和歌山	322,451	313,639	315,989	305,575	66.4	66.5	70.2	71.1	(25)
鳥取	195,164	174,839	179,901	172,449	70.0	64.8	68.9	68.5	(36)
島根	221,504	205,307	214,102	202,770	64.8	62.5	68.0	67.2	(44)
岡山	644,038	627,126	663,801	637,131	71.6	70.3	75.5	73.9	(16)
広島	992,832	976,148	970,399	946,525	75.4	74.6	75.1	74.4	(13)
山口	505,841	478,917	466,383	429,567	72.9	71.0	72.2	69.9	(30)
徳島	254,366	230,831	237,371	221,498	67.9	63.7	68.4	67.5	(41)
香川	324,404	310,617	316,832	300,831	70.1	68.4	71.6	69.8	(31)
愛媛	466,473	441,867	449,425	433,062	68.1	66.1	70.0	70.2	(28)
高知	235,956	210,785	227,690	216,816	63.8	59.3	67.8	68.2	(38)
福岡	1,730,180	1,695,827	1,821,581	1,750,889	73.5	71.6	77.0	73.8	(17)
佐賀	277,418	261,870	266,684	251,559	69.6	67.0	70.3	68.3	(37)
長崎	443,717	424,827	443,553	389,341	64.7	63.9	70.0	64.8	(46)
熊本	576,310	547,881	564,967	557,567	67.4	64.9	69.1	70.3	(27)
大分	378,378	353,333	379,417	354,507	67.0	63.7	70.9	69.2	(34)
宮崎	370,531	321,208	341,750	334,954	69.0	61.0	67.6	68.6	(35)
鹿児島	538,582	510,490	512,921	488,561	66.1	64.4	67.9	67.4	(43)
沖縄	369,828	423,980	464,488	446,715	68.9	68.9	74.0	69.5	(32)
合計	43,368,096	42,789,742	44,625,156	43,502,504	74.5	73.0	76.8	75.5	

付表3.2（女，続，その2）

c. 文化活動C

	文化人口（行動者数，人）				文化人口比率（％）				
	2006年	2011年	2016年	2021年	2006年	2011年	2016年	2021年	順位
北海道	2,010,669	1,971,352	1,927,649	1,851,690	76.6	76.3	76.6	76.1	(26)
青森	445,180	415,819	425,239	387,776	66.6	64.4	69.5	67.4	(46)
岩手	451,256	421,866	431,583	397,246	70.5	68.6	73.5	71.6	(38)
宮城	839,658	825,116	850,468	832,471	77.5	76.8	79.6	78.8	(14)
秋田	358,426	338,884	330,369	310,004	66.6	66.2	69.0	69.6	(47)
山形	382,061	385,539	380,082	349,398	68.3	71.6	74.0	72.0	(32)
福島	647,967	655,513	637,045	585,605	68.2	71.7	74.1	71.1	(31)
茨城	995,437	976,836	1,042,020	971,805	74.8	73.7	80.0	75.7	(12)
栃木	684,217	659,833	676,628	638,661	75.9	73.4	76.6	73.9	(25)
群馬	694,679	689,978	700,606	668,212	76.4	76.4	79.1	77.1	(16)
埼玉	2,580,732	2,620,027	2,732,202	2,701,708	82.2	81.2	83.4	81.3	(4)
千葉	2,213,985	2,213,244	2,384,418	2,318,182	81.4	79.0	84.6	81.3	(3)
東京	4,954,344	5,146,720	5,458,857	5,682,034	85.9	84.9	87.3	87.8	(1)
神奈川	3,333,330	3,399,074	3,484,154	3,463,964	85.3	84.1	84.9	82.7	(2)
新潟	795,228	750,251	775,657	750,861	71.2	68.8	73.8	75.1	(34)
富山	374,178	381,156	385,096	351,490	73.4	76.2	78.9	74.5	(17)
石川	414,366	397,862	415,961	398,920	77.8	75.0	79.7	78.1	(13)
福井	276,568	263,319	267,293	261,530	74.3	72.0	75.1	75.8	(29)
山梨	298,566	291,649	292,124	268,834	74.7	74.5	77.0	73.0	(22)
長野	759,674	729,172	737,048	710,810	76.1	74.4	77.4	76.5	(21)
岐阜	745,641	701,174	716,747	687,521	77.2	73.5	77.0	75.9	(23)
静岡	1,316,143	1,276,474	1,307,409	1,271,963	76.7	75.2	78.3	77.6	(19)
愛知	2,585,914	2,605,512	2,712,254	2,749,439	80.2	79.0	81.3	81.7	(8)
三重	630,891	629,722	646,038	605,342	73.7	74.7	78.2	75.4	(20)
滋賀	502,127	501,885	518,598	507,267	81.0	79.2	81.7	79.5	(6)
京都	988,373	989,523	1,017,324	962,226	80.5	80.5	83.3	79.8	(5)
大阪	3,211,244	3,263,205	3,336,178	3,357,467	79.3	79.4	81.2	81.5	(9)
兵庫	2,065,577	2,033,358	2,081,402	1,996,382	79.6	78.0	80.6	78.1	(10)
奈良	539,773	529,967	522,687	484,997	81.1	80.2	81.4	77.6	(7)
和歌山	342,083	335,887	331,445	319,471	70.5	71.3	73.6	74.4	(37)
鳥取	208,966	189,197	192,825	179,257	74.9	70.1	73.8	71.2	(35)
島根	238,493	220,932	229,465	214,582	69.8	67.2	72.9	71.1	(42)
岡山	684,157	656,488	697,165	662,538	76.1	73.5	79.3	76.9	(15)
広島	1,032,710	1,035,138	1,012,415	980,765	78.5	79.1	78.3	77.1	(18)
山口	532,333	509,702	492,275	453,049	76.7	75.6	76.2	73.7	(27)
徳島	268,209	247,890	252,929	231,665	71.6	68.4	72.9	70.6	(41)
香川	341,736	335,349	333,988	315,426	73.8	73.9	75.4	73.2	(28)
愛媛	486,164	469,027	469,093	455,281	70.9	70.1	73.0	73.8	(40)
高知	254,240	226,596	242,818	228,786	68.7	63.8	72.3	72.0	(43)
福岡	1,807,896	1,778,442	1,892,876	1,846,925	76.8	75.0	80.1	77.9	(11)
佐賀	289,927	276,856	280,622	263,089	72.8	70.8	74.0	71.4	(33)
長崎	472,538	461,346	467,383	409,261	68.9	69.4	73.8	68.1	(36)
熊本	610,864	580,168	599,560	587,008	71.4	68.7	73.3	74.0	(39)
大分	405,996	380,018	401,055	374,245	71.9	68.5	75.0	73.1	(30)
宮崎	394,527	353,494	357,730	350,401	73.5	67.1	70.7	71.8	(45)
鹿児島	572,520	543,070	545,472	508,851	70.3	68.5	72.3	70.2	(44)
沖縄	383,155	439,004	481,829	465,203	71.4	71.3	76.8	72.4	(24)
合計	45,422,718	45,102,634	46,474,081	45,369,608	78.0	77.0	80.0	78.7	

付表4 教育と世帯の年間収入による文化的活動の行動者率のクロス集計表

付表4.1 男女・教育・世帯の年間収入別文化的活動の行動者率(有業・無業計, 2021年)

a. 美術鑑賞(テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	0.8	5.1	12.3	17.0	5.7	6.4	1.3	6.0	14.1	18.8	31.7	7.2
100～199万円	1.6	5.3	11.5	15.8	20.7	6.4	2.1	8.3	15.0	27.3	26.8	8.8
200～299万円	1.7	6.5	9.7	15.9	10.6	8.2	2.2	9.0	15.0	21.1	24.0	10.4
300～399万円	2.4	7.2	8.7	14.9	25.6	9.4	3.5	9.5	17.7	33.0	13.9	14.0
400～499万円	2.2	5.9	10.0	16.1	26.8	9.8	3.4	8.9	15.9	27.8	18.4	13.4
500～599万円	4.4	6.1	8.6	16.1	23.6	10.1	2.2	8.7	12.1	24.0	50.5	12.3
600～699万円	1.6	5.7	13.8	14.3	17.6	9.8	1.8	7.6	11.9	23.9	26.6	11.8
700～799万円	2.3	6.7	8.4	12.9	20.2	9.6	2.8	7.8	12.8	24.5	41.6	13.3
800～899万円	3.3	7.5	10.0	13.5	13.6	10.1	2.0	9.4	15.5	19.3	33.5	13.3
900～999万円	3.8	6.3	11.0	13.8	23.3	11.1	2.9	9.0	14.7	23.4	33.6	14.8
1000～1499万円	1.5	5.9	9.9	15.7	20.1	12.0	3.7	10.1	16.0	23.1	33.3	16.2
1500万円以上	0.4	7.2	5.4	23.7	25.1	17.7	1.7	12.0	20.8	30.3	32.9	21.6
総数	2.1	6.3	10.0	15.5	20.8	16.1	2.3	8.8	14.8	25.0	32.1	16.1

b. 音楽会などによるクラシック音楽鑑賞

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	0.2	0.8	6.6	1.2	2.0	1.0	0.7	2.8	4.6	9.4	-	2.6
100～199万円	0.5	1.2	1.6	5.0	2.7	1.7	1.0	2.3	5.0	12.1	9.7	3.0
200～299万円	0.6	1.6	2.3	3.4	1.5	1.9	0.9	2.9	5.8	8.3	8.9	3.8
300～399万円	0.7	2.7	1.7	4.4	8.0	3.0	0.6	3.0	6.2	7.9	20.7	4.3
400～499万円	0.8	1.6	1.9	4.6	18.7	3.1	0.8	3.3	4.3	10.6	8.8	4.6
500～599万円	0.9	1.5	2.9	4.4	5.9	2.9	0.6	2.6	4.2	7.0	18.3	3.9
600～699万円	0.2	1.3	1.3	4.4	4.8	2.5	0.8	3.4	4.4	6.8	13.6	4.3
700～799万円	1.1	1.6	2.0	4.2	9.1	3.0	1.5	2.4	4.4	6.8	26.9	4.5
800～899万円	0.2	1.4	2.4	3.7	2.8	2.4	0.3	2.0	4.4	6.3	11.4	3.7
900～999万円	1.9	1.4	4.0	4.4	6.5	3.3	0.4	4.2	4.7	9.8	17.0	5.9
1000～1499万円	0.3	1.4	2.8	5.6	9.2	4.1	0.6	3.1	7.2	10.8	15.4	7.0
1500万円以上	-	2.1	1.7	8.7	7.1	6.1	4.1	6.4	7.1	15.1	9.0	9.9
総数	0.6	1.6	2.4	4.7	7.8	2.9	0.8	3.0	5.3	9.2	15.1	4.6

c. CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	8.4	31.3	43.7	55.2	81.7	29.9	6.7	22.9	41.3	59.2	-	19.8
100～199万円	11.3	28.6	42.9	49.4	63.3	26.9	10.0	27.0	44.4	58.9	74.7	25.9
200～299万円	14.6	29.4	45.0	47.0	71.8	31.0	13.7	30.0	49.8	59.8	69.0	32.8
300～399万円	22.6	38.8	50.7	51.7	69.7	41.4	17.7	34.9	53.7	66.8	74.3	39.6
400～499万円	26.2	42.2	60.6	59.2	69.7	47.9	18.6	43.5	57.0	68.0	67.1	47.5
500～599万円	27.9	44.5	60.5	59.4	70.5	50.1	17.0	46.8	62.7	69.6	77.8	51.7
600～699万円	25.0	46.8	64.3	58.9	73.9	51.7	15.5	46.3	64.9	74.1	80.8	54.8
700～799万円	28.6	45.8	61.9	67.1	78.3	56.1	17.3	47.7	69.5	75.1	73.5	57.2
800～899万円	28.5	48.0	57.6	65.0	76.9	55.7	9.5	50.9	65.2	73.6	83.6	57.8
900～999万円	29.6	50.9	65.4	64.4	59.6	56.8	15.9	48.4	65.5	68.6	88.8	56.4
1000～1499万円	21.1	46.3	67.5	61.7	66.1	55.3	12.2	49.2	65.4	73.0	71.6	58.8
1500万円以上	22.3	41.0	46.0	61.7	77.0	56.0	14.6	43.2	65.4	70.5	77.6	58.6
総数	19.2	40.3	57.4	58.9	71.0	45.9	13.3	39.1	59.8	69.4	76.3	45.1

d. 楽器の演奏

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	1.8	3.6	8.4	8.2	-	4.1	0.9	4.3	8.5	18.0	7.2	4.4
100～199万円	0.8	3.8	5.8	9.6	16.8	4.0	1.1	4.4	8.2	19.7	11.9	5.0
200～299万円	1.8	4.5	4.9	8.5	6.7	5.0	1.9	4.2	10.3	18.4	21.7	6.6
300～399万円	4.8	4.7	6.9	9.1	8.9	6.3	1.7	4.7	10.2	19.0	20.2	7.8
400～499万円	1.9	5.4	7.9	10.5	17.8	7.3	2.1	4.3	12.9	22.4	10.1	9.3
500～599万円	1.3	4.8	8.5	10.6	13.2	7.1	1.2	5.0	13.3	19.6	27.3	9.9
600～699万円	2.7	4.9	7.8	10.2	11.9	7.2	1.2	6.3	13.6	16.2	27.1	10.2
700～799万円	3.7	6.4	6.9	10.2	19.3	8.4	2.0	5.7	12.4	17.2	30.7	10.4
800～899万円	2.4	5.1	8.7	8.5	13.7	7.0	2.0	5.2	12.9	20.1	29.8	11.1
900～999万円	1.8	4.5	6.7	11.0	11.7	7.9	0.5	7.4	13.7	18.0	37.4	12.4
1000～1499万円	4.4	4.8	8.3	12.0	15.1	9.4	1.5	6.5	14.5	23.6	31.8	14.7
1500万円以上	4.9	5.1	4.6	12.7	20.8	11.0	1.4	8.9	16.0	20.5	20.8	15.3
総数	2.3	4.8	7.3	10.3	14.5	7.0	1.4	5.1	12.4	20.0	26.9	9.4

資料: 総務省「社会生活基本調査」(オーダーメード集計, 以下同様)

付表4.2 男女・教育・世帯の年間収入別文化的活動の行動者率(有業者, 2021年)

a. 美術鑑賞 (テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く)

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	1.8	7.8	26.5	23.3	43.2	10.9	1.7	10.0	17.5	16.8	69.5	10.2
100～199万円	3.1	4.8	7.9	16.5	29.8	7.0	1.5	10.5	17.2	26.7	71.8	11.8
200～299万円	1.4	6.7	10.6	19.2	8.1	9.6	3.3	10.8	17.6	20.5	13.5	13.5
300～399万円	2.2	6.8	7.9	15.8	31.8	9.5	4.5	9.0	19.3	37.1	12.7	17.1
400～499万円	2.5	4.7	10.5	14.9	28.5	9.1	4.2	7.7	16.9	28.4	21.0	14.2
500～599万円	5.4	6.0	8.4	15.7	18.5	9.8	2.7	8.9	12.4	24.8	53.0	13.4
600～699万円	1.3	5.6	13.5	14.2	18.0	9.8	2.3	7.0	12.1	26.7	33.3	12.8
700～799万円	2.9	6.7	7.8	12.8	20.6	9.7	2.8	8.2	12.9	25.4	47.1	14.5
800～899万円	4.6	7.5	9.5	13.6	14.0	10.3	4.6	10.4	16.2	19.9	30.7	14.8
900～999万円	1.6	6.4	11.2	14.1	23.8	11.5	3.8	10.2	14.5	24.6	27.1	16.1
1000～1499万円	1.4	6.2	10.0	15.3	20.0	12.1	7.6	11.6	15.7	23.0	32.6	17.4
1500万円以上	0.5	6.9	4.6	23.7	25.2	17.9	2.6	13.5	18.6	29.4	32.9	22.3
総数	2.6	6.2	9.8	15.6	21.2	16.1	3.2	9.5	15.4	25.8	33.0	16.1

b. 音楽会などによるクラシック音楽鑑賞

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	-	0.6	17.0	1.9	15.5	2.0	0.2	6.3	7.2	14.2	-	5.8
100～199万円	1.2	1.2	1.8	6.0	3.8	2.2	0.4	1.7	3.6	6.2	24.0	2.2
200～299万円	0.3	1.2	1.7	2.6	1.4	1.5	1.6	2.7	6.0	7.0	12.4	4.2
300～399万円	0.7	2.8	1.7	4.0	9.9	3.0	0.4	2.0	7.0	7.1	22.6	4.5
400～499万円	0.6	1.5	1.8	3.9	18.6	2.8	0.7	2.7	4.4	12.0	14.4	5.0
500～599万円	1.3	1.4	2.4	4.1	5.6	2.8	1.1	2.4	4.2	5.0	17.7	3.6
600～699万円	-	1.3	1.2	4.2	5.1	2.4	-	3.7	4.3	7.0	17.7	4.6
700～799万円	1.6	1.7	2.1	4.2	9.4	3.1	1.0	2.4	4.4	6.4	28.7	4.6
800～899万円	0.4	1.5	2.6	3.6	2.9	2.5	0.1	2.5	4.1	6.5	12.3	4.1
900～999万円	2.0	1.5	4.2	4.5	6.6	3.5	0.3	4.4	4.2	10.0	19.3	6.3
1000～1499万円	0.1	1.4	2.7	5.5	9.0	4.2	1.4	2.9	7.8	10.2	15.9	7.4
1500万円以上	-	2.3	1.8	8.6	7.2	6.2	5.4	6.3	5.9	15.4	9.7	10.1
総数	0.7	1.6	2.3	4.6	8.0	3.1	0.8	2.9	5.3	9.0	16.8	5.1

c. CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	16.4	36.7	57.8	57.4	42.7	36.7	20.4	48.1	52.6	68.1	85.3	44.2
100～199万円	13.8	43.5	50.6	59.3	80.7	40.5	19.4	44.6	56.3	66.1	100.0	44.6
200～299万円	24.3	44.6	58.0	67.8	78.0	49.8	22.7	49.6	64.7	81.2	38.9	56.4
300～399万円	34.9	48.1	61.5	65.3	79.1	53.4	28.3	52.9	68.1	76.1	87.6	60.5
400～499万円	34.6	51.6	63.9	66.8	73.9	56.6	39.4	55.4	66.4	81.9	64.9	62.8
500～599万円	44.2	52.6	62.8	66.1	82.1	58.4	38.5	58.3	69.5	75.0	80.7	64.3
600～699万円	41.5	51.4	63.1	66.7	78.6	58.5	45.4	60.5	68.1	76.5	92.6	66.0
700～799万円	31.2	57.7	68.0	69.5	77.5	63.3	44.1	60.9	69.4	79.6	63.3	67.4
800～899万円	38.9	52.7	62.7	68.6	79.8	60.8	37.2	56.5	71.5	75.8	90.7	66.2
900～999万円	41.3	54.6	65.8	63.2	78.5	60.8	28.3	60.0	64.8	73.9	67.9	65.0
1000～1499万円	29.6	53.8	64.3	68.4	77.3	63.4	38.7	62.1	71.4	77.7	77.4	70.4
1500万円以上	35.4	47.9	57.3	69.3	78.8	63.7	15.7	53.1	67.2	76.4	65.0	66.3
総数	31.8	50.8	62.7	66.9	77.6	57.7	30.4	55.6	67.8	77.3	74.7	63.1

d. 楽器の演奏

単位: %

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	1.0	5.5	15.9	8.7	-	5.8	1.3	6.8	13.0	13.5	15.8	7.2
100～199万円	0.9	4.8	9.5	12.5	22.2	5.8	1.6	4.9	7.7	18.7	52.2	6.1
200～299万円	2.8	5.6	5.7	9.5	7.2	6.3	3.6	5.2	10.4	20.5	19.3	9.0
300～399万円	6.1	5.2	6.9	10.4	12.1	7.1	2.0	3.4	10.9	20.3	19.1	8.9
400～499万円	2.5	6.1	8.3	10.1	19.2	7.7	2.6	4.4	13.4	22.1	16.7	10.3
500～599万円	1.8	4.6	8.2	11.4	13.4	7.4	2.0	5.1	13.9	17.6	28.3	10.4
600～699万円	3.2	4.9	8.1	10.7	11.1	7.5	1.0	6.8	13.3	15.6	24.1	10.6
700～799万円	4.8	6.4	6.5	10.7	19.2	8.7	4.1	6.0	11.6	16.1	31.7	10.8
800～899万円	2.0	5.1	8.9	8.6	14.1	7.3	2.7	5.8	12.3	20.1	32.6	11.9
900～999万円	1.3	4.7	6.6	10.8	11.9	8.0	0.4	9.4	13.4	18.1	41.6	13.7
1000～1499万円	5.5	4.8	8.5	12.2	15.0	9.7	3.0	7.4	14.9	22.8	31.9	15.8
1500万円以上	6.3	5.1	4.7	12.8	21.0	11.3	1.4	10.8	15.9	20.0	20.3	16.2
総数	3.2	5.2	7.7	10.9	15.2	7.9	2.3	5.7	12.8	19.8	28.3	11.3

付表4.3 男女・教育・世帯の年間収入別文化的活動の行動者率（無業者，2021年）

a. 美術鑑賞（テレビ・スマートフォン・パソコンなどは除く）

単位：％

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	0.6	4.1	6.0	15.1	-	5.0	1.3	4.5	12.7	20.2	-	6.3
100～199万円	0.9	5.8	15.7	15.4	-	6.2	2.3	6.8	13.4	27.8	23.0	7.3
200～299万円	1.9	6.1	8.2	11.6	15.9	6.6	1.9	7.8	12.1	21.8	50.3	8.2
300～399万円	2.7	8.2	11.2	13.7	13.3	9.5	3.2	9.9	15.3	24.1	23.7	11.0
400～499万円	1.6	10.5	7.4	21.0	19.1	12.7	3.1	10.5	14.2	26.4	15.0	12.2
500～599万円	1.8	6.6	12.0	18.0	50.3	11.7	2.0	8.5	11.2	22.2	28.7	10.3
600～699万円	2.6	6.5	18.6	16.8	10.0	9.7	1.6	8.7	11.2	17.3	11.4	9.7
700～799万円	0.9	6.0	21.1	13.2	11.4	8.0	2.9	6.9	12.4	21.0	6.5	9.9
800～899万円	0.3	7.4	16.4	11.5	-	7.5	0.6	7.1	13.0	16.9	55.2	9.3
900～999万円	8.0	5.5	4.2	8.1	-	6.6	2.4	6.1	15.5	18.6	72.2	11.2
1000～1499万円	1.7	3.2	5.2	25.3	23.7	9.8	1.7	6.5	17.2	23.1	40.1	12.2
1500万円以上	-	9.5	36.0	27.0	16.1	14.3	1.2	8.9	26.6	34.2	32.8	19.8
総数	1.6	6.6	11.5	15.2	17.4	16.1	2.1	7.9	13.8	22.6	27.4	16.1

b. 音楽会などによるクラシック音楽鑑賞

単位：％

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	0.3	0.9	1.9	1.0	-	0.7	0.8	1.4	3.4	5.9	-	1.6
100～199万円	0.2	1.2	1.4	4.3	-	1.4	1.1	2.8	6.1	17.1	8.5	3.4
200～299万円	0.8	1.9	3.5	3.6	1.7	2.1	0.8	3.0	5.6	11.0	-	3.5
300～399万円	0.8	2.5	1.9	5.1	4.2	3.1	0.7	3.8	5.1	9.6	4.7	4.0
400～499万円	1.2	1.8	2.7	7.1	19.1	4.0	0.8	4.1	4.1	7.5	1.7	4.0
500～599万円	-	2.0	8.6	5.9	7.6	3.6	0.3	3.0	4.0	11.7	23.3	4.4
600～699万円	1.0	1.0	3.2	6.3	-	2.7	1.3	2.7	4.7	6.3	4.1	3.6
700～799万円	-	1.1	-	4.4	-	1.7	1.1	2.5	4.7	8.3	15.0	3.9
800～899万円	-	0.6	-	5.0	-	1.5	0.4	0.8	5.7	5.6	4.1	2.7
900～999万円	1.8	0.8	-	2.2	-	1.4	0.5	3.6	6.6	8.9	3.7	4.9
1000～1499万円	0.7	1.0	6.9	8.1	39.6	3.7	0.3	3.5	5.0	14.1	10.5	5.6
1500万円以上	-	0.3	-	12.8	-	4.1	3.3	6.8	10.4	13.8	-	9.1
総数	0.5	1.7	3.0	4.9	6.2	2.4	0.9	3.1	5.2	10.0	6.5	3.8

c. CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞

単位：％

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	16.5	36.4	47.1	56.3	51.6	34.9	10.7	23.9	44.9	54.1	10.7	23.0
100～199万円	11.6	24.7	40.7	46.1	41.6	24.4	10.9	20.1	33.6	56.6	100.0	20.9
200～299万円	11.9	26.5	26.8	37.0	72.5	26.2	10.2	24.1	37.8	49.7	43.5	25.0
300～399万円	13.9	28.8	41.1	39.1	42.4	31.1	10.7	28.9	40.0	47.5	84.8	29.4
400～499万円	11.0	27.0	44.0	45.8	52.7	32.6	14.0	31.2	49.5	62.7	46.0	36.4
500～599万円	9.0	30.8	46.3	43.9	70.6	34.2	15.0	38.8	57.5	59.7	38.3	42.4
600～699万円	12.4	29.2	47.7	52.3	82.4	35.6	14.2	42.3	62.6	70.2	54.1	47.7
700～799万円	16.8	34.0	49.5	35.5	77.0	33.0	14.1	41.0	60.6	74.1	50.8	47.6
800～899万円	18.5	28.0	72.9	46.0	39.5	34.0	10.8	40.3	61.4	72.2	68.1	46.0
900～999万円	24.9	30.0	20.4	66.0	57.3	38.9	20.3	39.3	68.5	66.2	89.5	49.4
1000～1499万円	7.1	26.5	54.0	43.2	98.1	30.1	7.9	39.1	60.1	75.5	87.5	47.9
1500万円以上	0.9	28.1	43.3	40.0	60.4	28.2	7.9	32.8	58.8	74.9	84.1	48.9
総数	12.8	27.9	41.2	43.3	58.8	29.7	11.6	29.8	49.8	62.4	64.2	33.5

d. 楽器の演奏

単位：％

世帯の年間収入	男						女					
	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計	小学・中学	高校	短大・高専	大学	大学院	卒業者計
100万円未満	2.2	3.0	5.2	8.2	-	3.7	0.7	3.4	6.0	21.4	-	3.4
100～199万円	0.8	2.9	2.4	7.3	4.7	2.8	1.0	4.0	8.7	20.6	8.5	4.4
200～299万円	1.2	3.4	3.5	7.0	5.9	3.7	1.4	3.7	10.0	14.4	27.5	4.9
300～399万円	3.1	3.7	6.8	7.2	2.2	4.9	1.6	5.7	9.3	16.1	29.1	6.6
400～499万円	0.7	2.7	5.5	12.0	11.0	5.9	2.0	4.1	11.9	23.1	1.7	8.0
500～599万円	-	6.5	13.0	6.6	12.0	6.1	0.8	4.8	12.0	24.3	18.5	8.9
600～699万円	1.2	5.0	3.8	5.5	27.2	4.9	1.3	5.2	14.7	17.6	34.0	9.3
700～799万円	1.0	6.5	16.2	3.6	22.0	5.6	0.2	4.9	14.9	21.8	24.3	9.6
800～899万円	3.5	4.3	6.9	5.6	-	4.5	1.6	3.8	15.4	20.1	7.8	8.8
900～999万円	2.8	3.1	8.6	14.6	-	6.4	0.5	2.6	14.7	17.6	12.3	8.5
1000～1499万円	1.6	4.6	2.6	8.1	25.3	5.3	0.5	4.3	12.7	27.9	30.7	10.9
1500万円以上	-	4.5	-	8.1	-	4.5	1.4	4.8	16.4	22.9	28.0	12.6
総数	1.4	3.8	5.5	7.7	7.5	4.4	1.1	4.4	11.5	20.6	19.6	6.9

付表5 令和3・4年度調査 ロジスティック回帰分析結果表

付表5.1 令和4年度調査直接鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表

(令和4年度 直接鑑賞 6の1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
行動者率		2,267	11.16%	13.06%	19.85%	4.59%	3.18%	5.73%	2.07%
TjurのR ²		2,267	0.163	0.100	0.154	0.132	0.123	0.117	0.192
AIC		2,267	1487.5	1758.6	2117.5	893.0	739.2	1013.7	551.9
切片		2,267	4.12E+00 ⁺	1.29E+00	4.62E-01	-6.72E+00 [*]	-1.73E+00	6.45E+00 [*]	1.55E+00
性別	女性	1,090	2.19E-01	1.23E-01	5.38E-01 ^{**}	5.74E-01 [*]	-1.08E-01	7.73E-01 ^{**}	7.16E-01 ⁺
年齢	年齢	2,267	-4.34E-01 ^{**}	-2.24E-01 ⁺	-2.24E-01 ⁺	1.60E-01	-1.37E-01	-6.32E-01 ^{**}	-4.24E-01 ⁺
	年齢の平方(2乗)	2,267	7.48E-03 ^{**}	4.51E-03 ⁺	3.96E-03 ⁺	-3.12E-03	2.56E-03	1.24E-02 ^{**}	7.68E-03
	年齢の立方(3乗)	2,267	-3.84E-05 [*]	-3.02E-05 ⁺	-2.07E-05	1.58E-05	-1.88E-05	-7.70E-05 ^{**}	-4.52E-05
居住地	北海道	97	-3.84E-01	-2.59E-02	-8.92E-02	2.77E-01	1.09E-01	-3.30E-01	-8.99E-01
	青森	16	-1.93E+00	-4.63E-01	-5.22E-01	-5.63E-01	3.29E-01	-1.67E+01	7.03E-01
	岩手	17	-7.31E-01	-8.96E-02	1.39E-01	-5.54E-01	8.83E-01	-1.72E+01	5.06E-01
	宮城	61	-2.41E-01	3.57E-01	-3.35E-01	-7.28E-01	9.41E-02	-2.74E-01	6.72E-02
	秋田	11	-8.41E-01	-9.48E-01	6.94E-01	7.59E-01	5.90E-01	-1.65E+01	1.28E+00
	山形	19	-8.42E-01	-1.47E+00	-5.20E-01	-1.63E-01	3.69E-01	-1.65E+01	-5.82E-01
	福島	28	8.26E-01	3.49E-01	7.44E-01	-7.79E-01	6.01E-01	-2.84E-01	1.55E+00
	茨城	62	-5.74E-01	-3.77E-01	3.31E-01	4.07E-01	-4.93E-01	-3.44E-01	1.27E+00
	栃木	29	5.74E-01	-2.62E-01	-1.13E+00	-1.03E+00	6.89E-01	-2.25E-01	2.06E+00 [*]
	群馬	28	-3.10E-01	-9.87E-01	3.57E-01	3.43E-01	-5.50E-01	-1.69E+01	1.98E+00 [*]
	山梨	11	-5.61E-01	-4.38E-01	9.82E-02	4.17E-01	-1.62E-01	-6.84E-02	1.11E+00 ⁺
	長野	40	2.22E-01	-3.04E-02	6.58E-01 [*]	5.01E-01	7.81E-02	2.39E-01	1.13E+00 ⁺
	埼玉	128	-2.06E-01	-2.83E-02	-2.98E-01	-3.29E-01	-7.64E-02	-3.83E-01	1.38E-01
	千葉	103	-1.06E+00	-3.03E-02	-1.25E-01	7.20E-01	1.83E-01	-1.20E+00	-9.59E-01
	神奈川	162	5.76E-01	-5.01E-01	-1.33E-01	3.29E-02	1.35E+00	-1.73E+01	1.07E+00
	新潟	42	-6.93E-01	5.15E-01	-2.79E-01	-1.48E+00	-9.79E-01	-1.70E+01	-1.27E-01
	富山	19	2.76E-02	1.36E+00 [*]	-2.39E-01	2.37E-01	5.47E-01	-1.65E+01	1.47E+00
	石川	22	7.07E-02	-1.20E+00	4.77E-01	1.32E+00	2.19E+00 [*]	-1.64E+01	7.21E-02
	福井	13	9.21E-01 ⁺	3.42E-01	2.37E-01	-1.26E+00	6.11E-01	-5.59E-01	1.36E+00
	岐阜	30	-1.17E-01	-5.29E-01	6.16E-01	4.54E-01	3.91E-01	1.30E-01	-3.07E-01
	静岡	66	-5.40E-01	7.40E-01 [*]	-2.24E-01	-3.28E-02	-1.32E+00	-5.32E-01	-5.50E-01
	愛知	141	-7.72E-01 ⁺	2.06E-01	-8.04E-03	3.59E-02	1.92E-02	1.39E-01	-2.36E-01
	三重	32	-1.89E-01	2.01E-01	-9.09E-02	-7.19E-01	-7.07E-02	-1.15E+00	1.41E-01
	滋賀	30	-1.43E-01	2.47E-01	1.11E-01	1.32E+00 [*]	7.53E-01	-6.59E-01	1.51E-01
	京都	51	1.12E-01	-1.92E-01	3.49E-01	-1.09E-01	-1.79E-01	3.39E-01	1.16E+00
	大阪	149	-2.84E-01	3.27E-01	1.93E-01	-2.34E-01	-1.63E-01	-5.67E-01	3.83E-01
	兵庫	100	1.53E-01	3.67E-01	2.41E-01	7.46E-02	2.48E-01	3.21E-01	8.32E-01
	奈良	25	-2.34E+00	-1.85E+00	5.83E-01	1.79E+00 [*]	-4.75E-01	-1.68E+01	-5.89E-01
	和歌山	13	-1.06E+00	-2.93E-01	3.10E-01	-1.20E+00	2.16E-01	-1.81E-01	-1.22E+00
	鳥取	11	1.47E-01	-4.67E-01	6.31E-02	-8.82E-01	8.42E-01	-3.39E-01	2.16E+00 ⁺
	島根	4	-5.01E-01	-2.52E-01	-1.39E+01	1.48E+00	1.03E+00	-1.71E+01	1.54E+00
	岡山	34	-6.08E-01	8.98E-01 ⁺	1.38E-01	5.18E-01	8.19E-01	-9.29E-01	-1.10E+00
	広島	61	-6.24E-01	2.87E-01	2.47E-01	1.33E-01	3.53E-02	-2.67E-01	9.43E-01
	山口	19	3.35E-01	-9.50E-02	6.53E-01	9.64E-01	-1.35E-01	1.02E-02	2.26E+00 [*]
	徳島	13	9.29E-01	-2.79E-01	2.07E-01	1.00E+00	7.40E-01	8.86E-01	2.62E+00 [*]
	香川	23	-9.97E-02	-1.08E+00	1.19E-01	-1.11E+00	1.31E+00	-6.89E-02	6.55E-01
	愛媛	25	-2.35E+00	-3.46E-01	-1.05E+00	3.53E-01	-5.78E-01	-1.67E+01	-9.64E-01
	高知	8	1.50E+00	2.88E-01	-1.39E+01	1.90E-01	7.63E-01	-1.67E+01	1.87E+00
	福岡	127	1.41E-02	-1.22E-01	7.50E-02	5.03E-01	-4.87E-01	1.15E-01	-3.44E-01
	佐賀	9	4.31E-01	-3.59E-01	6.18E-01	2.46E+00 [*]	2.14E+00 [*]	9.77E-01	2.45E+00
	長崎	18	1.05E-01	2.89E-01	2.93E-01	1.10E+00	1.26E+00	-1.65E+01	-1.97E-02
	熊本	38	-1.05E+00	1.77E-01	-2.17E-01	3.86E-01	4.96E-02	-5.04E-01	-1.66E-01
	大分	12	-1.53E+00	-2.58E-01	2.16E-01	1.92E-01	2.91E-01	-1.69E+01	1.72E+00
	宮崎	19	2.23E-01	4.44E-01	1.64E+00 ^{**}	1.14E+00	3.81E-01	-1.73E+01	1.18E+00
	鹿児島	21	4.42E-01	2.91E-01	6.27E-01	1.06E+00	5.57E-01	-1.70E+01	6.35E-01
	沖縄	27	-1.31E+00	5.65E-01	-1.57E-01	2.58E-02	-6.12E-01	4.99E-01	-2.18E-01
都市階級	大都市	745	-5.39E-01 ⁺	-4.45E-03	-1.50E-02	7.57E-01 ⁺	5.52E-01	2.94E-01	-5.69E-01
	中都市(15万人以上)	669	-2.67E-01	-3.62E-02	-1.74E-01	9.03E-01 [*]	7.82E-01 ⁺	2.53E-01	-6.40E-01
	小都市A(5万人以上)	590	-7.06E-02	-1.90E-01	-1.57E-01	7.13E-01	4.79E-01	3.25E-01	-8.91E-01 [*]

(令和4年度 直接鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
職業	非正規職員・従業員	370	-3.43E-01	-7.95E-02	-1.44E-01	-1.43E-01	-1.69E-02	-6.49E-01 *	3.15E-01
	自営業主・自由業	147	4.78E-01	3.44E-01	3.24E-01	7.46E-01 *	5.07E-01	-6.65E-01	8.31E-01
	家族従業者	8	9.83E-01	1.45E-01	6.54E-01	1.28E+00	7.41E-01	5.06E-01	2.32E+00
	主婦・主夫	366	1.80E-02	-6.86E-02	-3.05E-01	-7.32E-02	-2.77E-01	-1.12E+00 **	8.14E-01 +
	学生	63	-6.17E-01	-8.03E-02	-9.41E-02	6.92E-01	-1.33E+00	-2.35E+00 **	-1.69E+00
	リタイア・無職	412	4.30E-01	-1.72E-01	-2.19E-02	3.70E-01	4.20E-01	-7.53E-01 +	1.00E+00 +
	その他	3	1.60E-01	9.17E-02	-1.45E+01	1.66E+00	3.07E+00	2.06E+00	1.79E+00
家族状況	核家族	1,516	5.15E-02	-1.15E-01	7.11E-02	1.21E-01	-5.40E-01 +	-2.17E-01	-5.75E-01
	三世代家族	106	-5.32E-01	-2.46E-01	-6.95E-02	7.57E-02	-7.18E-01	-5.91E-01	8.76E-01
	その他同居家族	132	-1.33E-01	-2.54E-01	-9.68E-02	2.68E-01	-6.58E-01	-5.54E-01	-5.31E-01
同居家族(未子)	未就学児	214	2.86E-01	-4.12E-01	3.06E-01	1.72E-01	8.25E-02	7.57E-01	1.03E-01
	小学生	137	6.26E-01	-1.13E+00 *	-1.46E-01	-7.37E-01	-5.15E-01	-2.67E-01	1.79E+00 **
	中学生	54	-6.23E-01	-9.23E-01	-5.99E-01	-1.24E+00	-8.87E-01	-3.65E-01	-7.58E-01
	高校生	71	-6.33E-01	-2.36E-01	3.05E-01	-1.86E+00	-8.84E-01	-2.20E-01	2.15E+00 **
	高校卒業者	375	1.31E-01	8.86E-02	3.79E-02	-4.60E-02	2.57E-01	-2.16E-01	-1.38E-02
	要介護・要介助者	148	-7.86E-01	6.83E-01 *	9.11E-02	1.23E+00 **	-3.84E-01	7.68E-02	8.07E-03
健康状態	移動可能	522	-7.97E-02	1.65E-01	1.43E-01	-1.26E-01	-1.22E-01	-9.31E-02	5.48E-01 +
	移動困難(通所含む)	30	-1.21E-01	8.50E-01 +	7.15E-01	9.23E-01	1.84E+00 **	4.87E-01	7.02E-01
年収	～100万円未満	98	2.29E-02	-8.16E-02	-1.72E-01	-1.40E-02	1.31E-01	8.78E-01	-1.85E-01
	～200万円未満	193	-1.08E+00 **	-2.68E-01	-5.82E-01 *	-9.26E-02	-6.65E-01	4.31E-02	-2.71E-02
	～300万円未満	298	-2.97E-01	-1.49E-01	-7.61E-02	-3.33E-01	-3.16E-01	-2.99E-01	-4.25E-02
	～400万円未満	348	-2.53E-01	1.53E-01	3.69E-02	-1.52E-01	2.22E-01	3.61E-01	7.80E-01
	～500万円未満	296	-3.08E-01	6.49E-03	5.28E-02	8.33E-02	-3.45E-01	-2.33E-01	5.27E-01
	～600万円未満	219	-7.02E-01 *	-2.57E-01	-4.97E-01 +	-1.05E+00 *	1.76E-01	-4.55E-01	-6.64E-01
	～700万円未満	185	-1.08E+00 **	3.34E-01	-4.47E-01	-7.99E-01 +	-5.52E-01	1.29E-01	-7.79E-01
	～800万円未満	186	-1.69E-02	1.61E-01	-2.59E-01	-4.96E-01	3.90E-01	-4.91E-01	4.98E-01
	～900万円未満	117	3.50E-01	-3.94E-01	1.99E-01	-2.31E-01	-7.92E-01	-5.97E-01	2.84E-01
学歴	～1,000万円未満	97	4.70E-01	4.78E-02	-1.15E-01	1.34E-02	-2.26E-01	-7.38E-01	-2.70E-01
	小・中学校	56	-1.32E+00 +	-5.65E-01	-1.96E+00 *	-5.17E-01	3.23E-01	9.49E-01	8.56E-01
	高校・旧制中学校	732	-2.98E-01	-1.22E-01	-4.54E-01 **	4.95E-02	2.47E-01	-2.32E-01	-3.13E-01
	短大・高専	447	-1.96E-01	7.24E-02	-1.71E-01	-3.12E-01	3.27E-01	-2.80E-01	-1.98E-01
習い事	大学院	104	1.34E-01	2.61E-01	3.63E-01	4.75E-01	2.22E-01	4.89E-01	5.50E-01
	ピアノ等の楽器	612	6.52E-01 ***	-3.48E-02	4.24E-02	6.54E-02	2.29E-02	4.09E-01 +	-3.44E-01
	コーラス・声楽	58	1.04E+00 **	6.66E-01 *	7.83E-01 *	1.14E+00 **	7.97E-01	2.58E-01	1.29E+00 **
	ダンス	61	1.06E+00 **	7.24E-01 *	6.15E-01 +	5.31E-01	1.51E+00 ***	1.20E+00 **	2.14E+00 ***
	茶・華・書道の生活文化	790	1.76E-01	3.62E-01 **	4.06E-01 **	3.29E-01	-7.17E-02	-5.20E-01 *	1.06E-01
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	5.01E-01 +	-2.21E-02	5.34E-01 *	1.37E-01	-2.99E-01	-2.96E-01	1.32E-02
	学習塾・そろばん等	1,109	2.25E-01	2.84E-01 *	6.45E-02	-2.08E-01	6.18E-01 **	2.95E-01	3.94E-01
到達可能	水泳・野球等のスポーツ	652	1.54E-01	1.87E-01	2.35E-01	3.07E-01	-2.91E-01	5.65E-02	-2.16E-01
	その他	0							
施設可能	ホール・劇場	1,506	1.15E+00 ***	6.66E-01 ***	5.01E-01 **	4.42E-01	9.03E-01 **	9.98E-01 ***	9.50E-01 *
	美術館	1,357	2.34E-01	3.80E-01 *	8.78E-01 ***	9.14E-01 **	-1.08E-01	2.59E-01	-3.97E-01
	博物館	1,148	1.06E-01	-2.28E-01	5.46E-01 ***	6.43E-01 *	7.16E-01 *	2.34E-01	1.18E+00 ***
	映画館	1,853	1.51E-01	-3.18E-01	8.01E-02	-8.14E-01 *	-1.43E-01	-2.18E-01	2.57E-01
同居家族女性×	未就学児	102	-4.68E-01	-7.88E-01	-8.16E-01 +	-1.77E+00 *	3.32E-02	-1.22E+00 +	-1.18E+00
	小学生	55	-4.41E-02	8.82E-01	2.77E-01	2.38E-01	1.10E+00	3.63E-01	-6.89E-02
	中学生	20	8.60E-01	1.10E+00	8.32E-01	1.84E+00	4.81E-01	9.94E-01	1.24E+00
	高校生	33	1.44E+00	1.12E+00 +	-3.80E-01	2.02E+00	1.85E-01	8.07E-01	-3.02E+00 +
	高校卒業者	183	-2.39E-02	3.24E-01	-5.54E-02	-9.00E-03	4.23E-01	3.65E-01	1.40E-01
	要介護・要介助者	77	5.45E-01	-1.08E+00 *	-2.60E-01	-1.19E+00 +	9.29E-01	-1.12E+00	1.67E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 直接鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
行動者率		2,267	1.68%	1.06%	3.13%	3.40%	2.96%	4.59%	28.41%
TjurのR ²		2,267	0.210	0.248	0.109	0.098	0.137	0.095	0.123
AIC		2,267	491.3	409.4	743.4	775.2	691.9	928.5	2625.0
切片		2,267	-1.52E+00	2.98E+00	-1.13E+00	-7.33E+00 *	-3.71E+00	-2.61E+00	4.22E+00 *
別	女性	1,090	-3.52E-01	1.76E-01	9.45E-02	-6.73E-01 *	3.27E-02	9.04E-02	2.96E-01 *
年齢	年齢	2,267	-2.29E-01	-3.23E-01	-1.66E-01	2.36E-01	9.85E-02	2.81E-02	-3.59E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	2,267	2.69E-03	4.26E-03	2.59E-03	-4.60E-03	-3.56E-03	-1.64E-03	6.79E-03 **
	年齢の立方(3乗)	2,267	-6.79E-06	-1.41E-05	-1.01E-05	2.90E-05	3.07E-05	1.47E-05	-4.23E-05 **
居住地	北海道	97	8.79E-02	-2.64E-01	-1.05E-01	-6.52E-01	-1.22E-01	7.21E-01	-2.91E-01
	青森	16	2.03E+00	1.22E+00	-3.18E-01	-3.92E-01	-4.88E-01	-5.85E-01	8.09E-01
	岩手	17	3.56E-01	9.81E-01	1.03E+00	-7.23E-01	5.57E-01	-7.74E-01	1.84E-01
	宮城	61	7.34E-01	3.80E-02	-4.54E-01	-2.63E-01	-2.62E-01	4.59E-02	-7.71E-03
	秋田	11	2.28E+00	1.27E+00	5.19E-01	-9.04E-03	2.50E-01	-1.19E-01	4.15E-01
	山形	19	1.97E+00	1.11E+00	9.93E-01	-6.39E-01	4.94E-02	1.18E+00	-3.58E-01
	福島	28	-4.50E-01	9.79E-01	-1.13E+00	8.13E-01	9.25E-01	-9.81E-02	-8.93E-01
	茨城	62	1.10E+00	-1.82E+00	-6.89E-01	-6.33E-01	2.44E-02	-7.34E-01	2.85E-01
	栃木	29	1.86E+00	1.16E+00	2.39E-01	-1.05E+00	1.96E-01	-2.46E-01	5.01E-01
	群馬	28	8.93E-01	6.27E-01	7.95E-01	-7.12E-01	4.63E-01	-1.21E+00	-6.38E-01
	山梨	11	6.30E-01	-1.84E+00	-2.03E-01	-7.27E-01	-4.21E-01	-2.81E-01	-3.10E-01
	長野	40	3.35E-01	3.75E-01	-3.64E-01	-5.22E-01	-1.58E-01	6.75E-02	6.70E-01 *
	埼玉	128	5.10E-01	-5.00E-01	-6.88E-01	-3.49E-01	-1.21E+00 +	-2.06E-01	1.49E-02
	千葉	103	1.05E+00	-1.04E-01	-2.63E-01	-1.50E-01	-1.49E+00	1.85E-01	1.09E-01
	神奈川	162	4.99E-01	-8.26E-02	-7.70E-01	9.10E-01	-1.72E-01	-1.87E+00	-3.19E-01
	新潟	42	3.68E-01	-1.41E+00	-9.19E-01	3.30E-01	1.41E-01	-2.53E-01	-4.40E-01
	富山	19	1.70E+00	1.14E+00	8.43E-01	1.36E+00	1.12E+00	-8.17E-01	-3.36E-01
	石川	22	4.43E+00 ***	7.29E-01	-7.95E-01	-7.04E-01	5.15E-01	-1.05E+00	5.19E-01
	福井	13	1.42E+00	-8.28E-01	-2.21E-02	-1.73E+00	-1.26E+00	-1.89E+00	5.81E-01
	岐阜	30	6.98E-01	-5.81E-01	-8.75E-02	3.47E-01	-1.79E+00	-1.31E-02	-4.17E-01
	静岡	66	1.48E+00 +	-3.48E-01	-2.80E-03	5.31E-01	-2.73E+00 +	-9.11E-01	1.81E-01
	愛知	141	2.31E-01	-2.19E-01	-3.87E-01	-7.67E-01	-9.16E-01	-2.06E-01	-3.19E-02
	三重	32	2.38E+00 **	-7.07E-01	1.24E-02	2.72E-01	2.24E-01	-5.32E-01	9.52E-01 *
	滋賀	30	1.50E+00	-5.58E-01	3.37E-01	-8.71E-01	-7.31E-01	-3.36E-01	-4.01E-01
	京都	51	-2.82E-01	-5.96E-01	2.39E-02	-7.51E-01	-2.84E-01	-1.01E+00	-2.31E-01
	大阪	149	-6.43E-02	-4.28E-01	-3.47E-01	-1.10E-01	-1.06E+00 +	-1.46E-01	1.31E-01
	兵庫	100	1.20E+00 +	8.85E-01	2.83E-01	-2.77E-01	-3.06E-01	-1.03E+00	-4.66E-02
	奈良	25	9.58E-01	7.55E-02	-9.23E-01	-9.19E-01	-1.66E-01	3.72E-01	5.30E-02
	和歌山	13	1.85E-01	1.73E+00	-8.90E-01	3.72E-02	8.82E-01	1.50E-01	-1.74E-01
	鳥取	11	-6.14E-01	6.47E-01	1.12E+00	-3.41E-01	-1.90E-01	1.10E+00	-5.94E-02
	島根	4	3.03E+00	2.32E+00	2.74E+00 +	2.72E-01	-8.28E-05	-1.53E-01	3.61E-01
	岡山	34	1.51E+00	-3.06E-01	-1.04E+00	-9.92E-02	-1.63E-01	8.63E-01	8.84E-01 *
	広島	61	5.74E-01	-1.28E+00	1.90E-01	-1.68E+00	-9.80E-01	7.53E-01	1.14E-01
	山口	19	2.91E+00 **	2.91E-01	-1.77E+00	-4.56E-01	-7.46E-01	-8.37E-01	-1.08E+00
	徳島	13	2.33E+00	1.54E+00	1.47E+00	3.50E-01	-1.10E+00	-2.48E-01	5.53E-01
	香川	23	1.40E+00	-6.90E-04	-4.93E-01	-3.09E-02	-2.09E-02	1.72E-01	-7.00E-01
	愛媛	25	6.87E-01	1.08E+00	-6.09E-01	-1.37E+00	-1.36E+00	-4.44E-01	-5.91E-01
	高知	8	1.97E+00	2.47E+00	2.01E+00 +	2.61E-01	9.32E-01	9.65E-04	3.58E-01
	福岡	127	1.00E+00	-6.30E-01	-2.93E-01	-3.32E-01	-5.74E-01	2.74E-01	-1.60E-02
	佐賀	9	2.41E+00	1.43E+00	2.44E-01	5.39E-03	-1.10E-01	-4.24E-01	4.12E-02
	長崎	18	9.72E-01	2.21E+00 *	6.04E-01	4.01E-01	-1.15E+00	3.96E-01	-3.70E-01
	熊本	38	1.95E-01	-7.37E-01	-1.33E+00	-1.47E+00	-1.83E+00	-5.55E-01	2.64E-01
	大分	12	2.78E+00 *	1.40E+00	4.92E-01	-1.22E-01	-1.64E-01	-4.86E-01	4.99E-02
	宮崎	19	3.46E-01	1.55E+00	-3.71E-02	-6.20E-01	3.61E-02	-6.11E-01	4.15E-01
	鹿児島	21	1.59E+00	1.75E+00 +	9.25E-01	5.18E-01	9.81E-01	2.11E-01	1.15E-02
	沖縄	27	2.57E-01	-6.38E-01	8.05E-01	2.96E-01	-2.16E-02	-8.30E-02	3.51E-01
都市階級	大都市	745	1.09E+00 +	-4.30E-02	-8.41E-02	-7.02E-01 +	-3.31E-01	-6.44E-01 +	5.50E-02
	中都市(15万人以上)	669	6.98E-01	-9.43E-01 +	-4.07E-01	-4.64E-01	-5.96E-01	-3.70E-01	-1.58E-02
	小都市A(5万人以上)	590	7.13E-01	-4.07E-01	-3.06E-01	-6.10E-01	-1.81E-01	-3.54E-01	-2.95E-03

(令和4年度 直接鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	370	-5.00E-01	-5.03E-01	-8.51E-03	3.52E-02	-6.50E-01	6.29E-02	-3.58E-02
	自営業主・自由業	147	3.30E-01	7.52E-01	5.64E-01	-7.24E-02	6.18E-01	6.14E-02	1.03E-01
	家族従業者	8	1.07E+00	-1.07E+00	3.19E-01	9.84E-01	2.73E-01	1.22E-01	-4.75E-01
	主婦・主夫	366	1.46E-01	-4.82E-01	-1.95E-01	6.15E-01	2.34E-01	-2.66E-01	-3.44E-01 ⁺
	学生	63	-8.15E-01	-4.01E-02	-1.49E+00	-6.86E-01	5.67E-01	-1.82E-01	-8.16E-01 ⁺
	リタイア・無職	412	-2.53E+00 ^{**}	-4.58E-01	8.82E-02	2.35E-01	1.02E-01	5.00E-02	-2.22E-03
	その他	3	1.52E+00	1.89E+00	5.22E-01	6.73E-01	4.15E+00 [*]	1.27E+00	1.47E+00
家族状況	核家族	1,516	3.08E-01	2.96E-01	-3.19E-01	-2.37E-01	-1.01E-02	-1.45E-01	-2.11E-01
	三世代家族	106	-6.53E-01	-1.43E+00	-9.83E-01	-4.57E-01	1.52E-01	4.52E-01	-1.93E-01
	その他同居家族	132	-2.06E-01	-1.79E-02	-3.28E-01	-1.09E+00	4.93E-02	-7.21E-02	-3.24E-01
同居家族(未子)	未就学児	214	7.77E-01	9.38E-01	3.28E-01	-7.73E-02	-1.70E-01	-1.47E-01	-2.97E-01
	小学生	137	1.31E+00 [*]	1.92E-01	-2.62E-01	2.26E-01	-1.35E+00	-3.37E-01	3.26E-01
	中学生	54	-9.06E-02	2.15E+00 [*]	-7.15E-01	2.41E-01	-1.31E+00	1.05E-01	-7.90E-02
	高校生	71	1.17E+00	-6.88E-01	-2.15E-01	2.14E-01	2.65E-01	4.49E-01	-6.52E-02
	高校卒業者	375	-6.87E-01	-1.02E+00	1.71E-01	4.75E-02	3.62E-01	-1.03E-01	4.15E-01 [*]
	要介護・要介助者	148	-3.19E-01	-1.04E-01	-1.04E+00	1.55E-01	4.20E-01	2.77E-01	-2.17E-01
	健康状態								
年収	移動可能	522	5.15E-01	6.56E-01 ⁺	2.31E-01	8.81E-02	3.67E-01	2.86E-01	1.57E-01
	移動困難(通所含む)	30	2.54E+00 ^{***}	1.60E+00 [*]	1.21E+00 ⁺	1.01E+00	1.27E+00 [*]	9.11E-01	7.28E-01
	～100万円未満	98	8.37E-01	-4.54E-01	6.53E-01	-1.01E-01	-4.86E-01	3.83E-02	-2.30E-02
	～200万円未満	193	9.02E-02	-5.74E-01	-4.58E-01	-7.63E-01	-7.92E-01	-9.28E-01	-8.95E-01 ^{**}
	～300万円未満	298	-3.86E-01	-6.70E-01	8.45E-02	-2.80E-01	-4.73E-01	-5.36E-01	-5.31E-01 [*]
	～400万円未満	348	3.45E-01	-7.16E-01	7.22E-02	-1.67E-01	-2.11E-01	-2.28E-01	-3.42E-01
	～500万円未満	296	-3.21E-01	-6.64E-01	-5.89E-02	-1.76E-01	-6.51E-01	-6.78E-01 ⁺	-4.33E-01 [*]
	～600万円未満	219	1.46E-01	-1.85E+00 [*]	3.50E-02	-5.40E-01	-1.14E+00 [*]	-3.19E-01	-3.06E-01
	～700万円未満	185	2.70E-01	-1.18E+00 ⁺	1.30E-01	-6.29E-01	-9.12E-01 ⁺	-1.38E-01	-4.28E-01 ⁺
	～800万円未満	186	2.46E-01	-2.16E+00 [*]	-1.79E-02	-1.97E-01	-7.52E-01	-2.63E-01	-2.94E-01
学歴	～900万円未満	117	3.24E-01	-1.96E+00 ⁺	3.03E-01	-2.02E-01	-1.58E+00 [*]	-1.56E-01	6.07E-02
	～1,000万円未満	97	-1.86E-01	-7.23E-01	-2.57E-01	-3.57E-01	2.88E-01	-6.13E-02	-9.31E-01 ^{**}
	小・中学校	56	1.49E+00 [*]	6.88E-01	-3.01E-01	3.27E-01	-1.59E+00	-1.68E+00	-3.93E-01
	高校・旧制中学校	732	-3.42E-01	1.39E-01	5.83E-02	-5.12E-02	-4.13E-03	-5.41E-01 [*]	-1.77E-01
	短大・高専	447	1.94E-01	-4.33E-02	-1.57E-01	1.38E-01	3.01E-02	2.04E-01	-4.04E-02
習い事	大学院	104	-2.01E+00 [*]	3.14E-01	-8.50E-02	-4.09E-01	7.12E-01	1.11E+00 ^{***}	1.31E-01
	ピアノ等の楽器	612	1.80E-01	1.45E-01	1.83E-01	2.60E-01	-3.57E-01	-9.95E-02	-2.48E-02
	コーラス・声楽	58	6.67E-01	1.66E+00 ^{**}	3.25E-01	1.65E-01	1.11E+00 [*]	9.78E-01 [*]	2.51E-01
	ダンス	61	1.74E+00 ^{***}	2.22E+00 ^{***}	1.13E+00 [*]	8.94E-01 ⁺	7.18E-02	-1.20E-01	9.60E-02
	茶・華・書道の生活文化	790	1.87E-01	1.16E-01	3.42E-01	4.47E-01 [*]	8.60E-01 ^{***}	1.34E-01	1.50E-01
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	-3.86E-01	3.54E-01	8.29E-01 [*]	4.17E-01	1.19E-01	3.56E-01	6.17E-02
	学習塾・そろばん等	1,109	7.02E-01 [*]	6.64E-01 [*]	6.23E-01 ^{**}	2.61E-01	3.78E-01	7.09E-01 ^{***}	3.33E-01 ^{**}
到達可能	水泳・野球等のスポーツ	652	7.44E-01 [*]	-1.02E+00 [*]	3.53E-01	1.66E-01	-1.38E-01	2.02E-01	2.29E-01 ⁺
	その他	0							
	ホール・劇場	1,506	6.42E-01 ⁺	-3.17E-01	-3.65E-01	6.80E-01 [*]	4.05E-01	4.22E-01	1.80E-01
	美術館	1,357	1.86E-03	-1.57E+00 ^{***}	-1.60E-01	6.87E-01 [*]	4.61E-01	6.02E-01 [*]	-1.74E-01
	博物館	1,148	3.51E-01	1.20E+00 ^{**}	1.17E+00 ^{***}	6.10E-01 [*]	5.92E-01 [*]	2.65E-01	3.39E-01 [*]
同居家族女性×	映画館	1,853	-5.43E-01	4.37E-01	4.98E-02	-2.34E-02	-7.65E-02	1.29E-02	1.10E+00 ^{***}
	未就学児	102	-1.37E+00	-5.43E-01	-9.33E-02	-1.63E+00	-1.07E-01	-4.62E-01	-5.82E-02
	小学生	55	-1.73E-01	2.37E-01	4.28E-01	-7.24E-02	2.38E-01	3.88E-01	-3.80E-01
	中学生	20	2.15E+00	-1.04E+00	2.17E+00	-1.37E+00	-3.16E-01	-2.89E-01	-1.15E+00
	高校生	33	-7.16E-01	3.31E+00 ⁺	9.08E-01	-1.11E+00	6.25E-01	-7.48E-01	-1.15E-01
	高校卒業者	183	2.06E+00 [*]	1.39E+00	-6.08E-02	-4.32E-02	7.47E-02	9.29E-02	-3.01E-01
	要介護・要介助者	77	1.61E-01	3.21E-01	1.97E-01	-6.23E-01	-1.03E+00	-7.64E-01	-3.97E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 直接鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	20. 直接鑑賞
行動者率		2,267	14.34%	19.72%	13.63%	4.50%	55.40%
TjurのR ²		2,267	0.157	0.140	0.136	0.097	0.156
AIC		2,267	1730.1	2137.0	1729.9	883.8	2940.2
切片		2,267	8.06E-02	1.67E+00	6.24E-01	1.88E+00	6.22E+00 ***
性別	女性	1,090	-4.27E-02	2.60E-01	1.20E-01	4.22E-02	3.82E-01 **
年齢	年齢	2,267	-1.19E-01	-2.98E-01 *	-2.32E-01 +	-3.77E-01 +	-3.85E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	2,267	2.14E-03	5.80E-03 *	4.60E-03 +	6.90E-03	6.70E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	2,267	-1.84E-05	-3.41E-05 *	-2.70E-05 +	-3.86E-05	-3.75E-05 **
居住地	北海道	97	5.38E-02	5.32E-02	3.42E-01	7.33E-01	-3.13E-01
	青森	16	-8.64E-01	-1.12E+00	-1.66E+00	-1.47E+01	-4.64E-01
	岩手	17	-5.60E-01	-1.50E+00	3.03E-02	9.06E-01	-1.36E-02
	宮城	61	5.69E-01	-7.54E-02	-1.68E-01	8.17E-01	-7.41E-02
	秋田	11	2.80E-01	1.09E+00	-7.23E-01	2.21E+00 +	2.63E-02
	山形	19	-1.22E+00	5.20E-01	1.06E-01	7.23E-01	-4.21E-01
	福島	28	-2.84E-01	1.14E-01	7.75E-02	1.66E+00 +	-1.61E-01
	茨城	62	-4.89E-01	-1.53E-01	-3.53E-02	2.19E-01	-3.74E-01
	栃木	29	-1.46E+00	2.29E-01	-9.95E-02	2.76E-01	-4.42E-01
	群馬	28	4.66E-01	-5.33E-01	5.30E-01	-1.45E+01	-3.42E-03
	山梨	11	3.20E-02	1.48E-01	1.38E-01	-1.18E-01	-1.93E-01
	長野	40	4.69E-01	1.26E-01	3.46E-01	4.17E-01	1.74E-01
	埼玉	128	3.25E-01	5.62E-02	6.74E-02	5.49E-01	5.33E-02
	千葉	103	-6.42E-01	3.03E-02	4.75E-01	5.09E-01	-1.89E-01
	神奈川	162	1.10E-01	-4.40E-01	-2.89E-01	-1.50E+01	-1.23E-01
	新潟	42	-1.49E+00	9.61E-03	-7.79E-01	-1.85E-01	-5.35E-01
	富山	19	-1.39E+01	1.40E-01	7.05E-01	1.48E+00	-6.26E-01
	石川	22	2.21E-02	3.67E-01	6.97E-01	1.61E+00	9.72E-02
	福井	13	-5.81E-01	5.25E-01	1.23E-01	1.87E+00 **	1.79E-01
	岐阜	30	3.44E-01	-1.94E-01	-7.42E-01	-4.11E-02	-1.11E-01
	静岡	66	-2.70E-01	3.05E-01	6.23E-02	1.17E+00 +	8.94E-02
	愛知	141	-5.15E-02	8.53E-02	9.03E-02	-8.62E-02	-1.24E-01
	三重	32	-8.84E-02	5.02E-01	7.66E-01	-3.49E-01	-6.09E-02
	滋賀	30	1.11E-01	5.44E-01	1.18E+00 *	1.62E+00 *	3.21E-01
	京都	51	-2.50E-01	1.85E-01	3.42E-01	2.65E-01	-3.90E-01
	大阪	149	2.05E-01	1.77E-01	-1.66E-01	9.31E-01 +	-1.13E-02
	兵庫	100	4.40E-01	2.21E-01	2.85E-01	-4.34E-01	8.27E-02
	奈良	25	-1.07E-01	6.58E-01	-3.82E-01	1.95E-01	5.63E-02
	和歌山	13	4.56E-01	3.40E-01	2.70E-01	-3.49E-01	-1.02E+00
	鳥取	11	-8.20E-01	4.71E-02	-3.60E-01	-1.48E+01	-2.80E-01
	島根	4	-1.43E+01	-2.64E-01	-4.58E-01	-1.47E+01	5.81E-01
	岡山	34	5.63E-01	6.20E-01	-4.26E-02	2.87E-01	6.03E-02
	広島	61	2.07E-02	6.02E-01	4.00E-01	7.06E-01	-1.73E-01
	山口	19	-1.42E+00	-1.26E-01	7.94E-01	6.62E-01	2.63E-01
	徳島	13	-6.57E-01	-4.76E-01	2.30E-01	-1.41E+01	2.41E-01
	香川	23	-9.76E-01	-4.83E-01	-8.56E-01	1.64E+00 +	-6.81E-01
	愛媛	25	-1.53E+00	-6.49E-01	-1.24E+00	3.55E-01	-7.38E-01
	高知	8	-6.78E-01	-1.28E+01	-1.00E+00	-1.42E+01	-9.45E-01
	福岡	127	2.46E-01	1.11E-01	2.93E-01	9.80E-01 +	1.50E-01
	佐賀	9	-4.78E-01	-3.19E-01	1.51E+00 +	1.55E+00	4.15E-01
	長崎	18	7.86E-01	-4.53E-01	3.14E-02	6.94E-01	2.16E-01
	熊本	38	1.26E-01	1.33E-01	-9.93E-02	1.03E+00	2.77E-02
	大分	12	3.57E-01	-4.36E-01	5.23E-01	-1.44E+01	1.99E-01
	宮崎	19	1.75E-01	-3.07E-01	-5.11E-01	-1.49E+01	-3.13E-01
	鹿児島	21	-3.86E-01	1.49E-01	1.28E+00 *	2.96E+00 ***	4.00E-01
	沖縄	27	-1.55E-01	9.46E-01 +	4.29E-01	9.85E-01	1.06E+00 *
都市階級	大都市	745	-2.38E-01	-3.66E-01	-4.32E-01	-3.50E-01	-1.76E-01
	中都市(15万人以上)	669	-8.47E-02	-1.06E-01	-3.10E-01	-1.18E-01	-9.18E-02
	小都市A(5万人以上)	590	2.19E-01	-1.49E-01	-1.25E-01	8.03E-02	-3.31E-02

(令和4年度 直接鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など*	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	370	3.56E-01 ^	-1.03E-01	-1.26E-01	-6.84E-01 ^	-5.52E-02
	自営業主・自由業	147	6.09E-01 *	-8.56E-02	-1.80E-01	-2.77E-02	1.23E-01
	家族従業者	8	5.95E-01	-2.51E-01	-5.89E-01	1.94E+00	-2.63E-02
	主婦・主夫	366	1.28E-01	-1.18E-01	-8.18E-02	-3.40E-01	-5.14E-01 **
	学生	63	5.74E-01	-3.79E-01	5.59E-01	-1.98E+00 *	-1.19E-01
	リタイア・無職	412	1.80E-01	-3.32E-02	-6.31E-02	-2.20E-01	-3.50E-02
	その他	3	3.41E+00 *	1.54E+00	-3.44E-01	-1.54E+01	1.59E-02
家族状況	核家族	1,516	-2.62E-01	-1.16E-01	-4.57E-01 *	-4.10E-01	4.33E-03
	三世代家族	106	-8.34E-01 *	-3.68E-01	-5.61E-01	2.63E-01	-4.25E-01
	その他同居家族	132	-5.49E-01	1.18E-01	-2.65E-01	-1.21E+00	-1.52E-01
同居家族(来子)	未就学児	214	5.68E-01 *	-1.93E-01	1.29E-01	6.31E-01	2.24E-01
	小学生	137	6.80E-01 *	1.09E-01	2.66E-01	-7.08E-01	5.00E-01 ^
	中学生	54	-6.64E-01	-4.24E-01	4.33E-02	6.81E-01	-7.22E-01 ^
	高校生	71	1.53E-02	-1.56E-02	2.76E-02	1.19E-01	-1.98E-02
	高校卒業者	375	2.97E-01	2.31E-01	3.15E-01	1.51E-01	1.96E-01
	要介護・要介助者	148	-8.87E-02	-6.92E-02	2.82E-01	-1.48E+00	-7.20E-02
	移動可能	522	-1.29E-01	7.75E-02	1.63E-01	7.67E-02	-7.37E-02
健康状態	移動困難(通所含む)	30	-5.45E-01	3.95E-01	4.17E-01	4.28E-02	3.11E-01
年収	～100万円未満	98	2.95E-01	-7.08E-01 ^	-3.77E-01	5.08E-01	-3.87E-01
	～200万円未満	193	5.85E-03	-1.10E+00 ***	-6.91E-01 *	-6.87E-01	-8.96E-01 ***
	～300万円未満	298	-3.47E-01	-8.93E-01 **	-6.44E-01 *	-9.05E-01 ^	-4.69E-01 *
	～400万円未満	348	8.51E-02	-4.24E-01 ^	-5.28E-01 ^	-6.69E-01	-3.06E-01
	～500万円未満	296	7.84E-02	-3.55E-01	-5.21E-01 ^	-1.11E+00 *	-1.67E-01
	～600万円未満	219	2.58E-01	-4.83E-01 ^	-7.49E-01 *	-1.41E+00 **	-1.10E-01
	～700万円未満	185	1.10E-01	-3.89E-01	-4.75E-01	-1.16E+00 *	-1.75E-01
	～800万円未満	186	-2.79E-01	-2.43E-01	-1.36E-01	-6.85E-01	-3.21E-01
	～900万円未満	117	5.05E-02	-2.29E-01	1.50E-02	-2.53E-01	1.10E-01
	～1,000万円未満	97	-1.06E-01	-4.16E-01	-4.27E-01	-5.28E-01	-1.16E-01
学歴	小・中学校	56	1.83E-01	-8.26E-01	-1.78E+00 *	-4.15E-01	-7.79E-01 *
	高校・旧制中学校	732	8.34E-02	-2.56E-01 ^	-2.36E-01	-3.36E-01	-2.00E-01 ^
	短大・高専	447	-9.43E-02	-1.63E-01	-1.59E-01	-6.00E-01 ^	-8.04E-02
	大学院	104	1.64E-01	6.27E-01 *	5.07E-01 ^	3.39E-01	5.87E-02
習い事	ピアノ等の楽器	612	2.00E-02	-5.83E-02	5.16E-02	1.53E-01	2.07E-02
	コーラス・声楽	58	-4.00E-01	3.59E-01	3.18E-01	7.69E-01	5.96E-01 ^
	ダンス	61	-2.59E-01	-7.63E-02	1.71E-01	8.90E-02	1.02E+00 **
	茶・華・書道の生活文化	790	6.88E-02	2.25E-01 ^	4.04E-01 **	3.87E-01	2.22E-01 *
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	2.37E-01	1.82E-01	8.70E-03	2.64E-01	2.80E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	2.08E-01	3.67E-01 **	7.02E-02	3.35E-01	3.85E-01 ***
	水泳・野球等のスポーツ	652	2.40E-01	4.48E-01 **	3.73E-01 *	5.96E-01 *	2.53E-01 *
	その他	0					
到達施設可能	ホール・劇場	1,506	2.44E-02	4.43E-01 **	2.81E-01	2.77E-01	5.46E-01 ***
	美術館	1,357	2.51E-01	4.08E-01 *	3.84E-01 ^	-6.86E-02	1.46E-01
	博物館	1,148	1.08E-01	9.38E-01 ***	1.26E+00 ***	1.16E+00 ***	2.99E-01 *
	映画館	1,853	6.92E-01 **	4.33E-01 ^	1.65E-01	3.21E-01	4.74E-01 ***
同居家族女性×	未就学児	102	-2.14E-01	-5.46E-01	-2.20E-01	-3.75E-01	-5.83E-01 ^
	小学生	55	-4.50E-02	-3.55E-02	-5.48E-01	1.79E+00 ^	-1.36E-01
	中学生	20	1.45E+00 ^	-6.35E-02	-4.12E-01	5.82E-01	8.66E-01
	高校生	33	5.00E-01	2.57E-01	2.00E-01	-2.04E-01	3.23E-01
	高校卒業者	183	-1.35E+00 *	-2.94E-01	-2.55E-01	5.19E-01	-3.28E-01
	要介護・要介助者	77	2.79E-01	-5.72E-01	-1.64E-01	1.67E+00	-2.14E-02

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, ^は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

注3) 種別の「19. その他」は、行動者率が低く、Firthの手法でも推計できなかったもので表示していない。

付表 5.2 令和 4 年度調査 間接鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表

(令和 4 年度 間接鑑賞 6 の 1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
行動者率		2,267	18.39%	43.93%	14.38%	2.96%	2.87%	6.35%	3.22%
TjurのR ²		2,267	0.134	0.127	0.118	0.142	0.090	0.085	0.113
AIC		2,267	2073.4	3009.2	1822.7	653.2	678.5	1130.0	702.6
切片		2,267	-1.85E+00	-3.24E+00 *	1.36E+00	5.24E-01	-1.62E+00	1.22E+00	-1.23E+00
性別	女性	1,090	1.62E-01	-7.47E-02	3.01E-01	2.04E-01	3.45E-01	7.49E-01 **	7.72E-01 *
年齢	年齢	2,267	-4.26E-02	6.38E-02	-2.50E-01 *	-3.23E-01	-5.96E-02	-2.08E-01	-1.64E-01
	年齢の平方(2乗)	2,267	4.94E-04	-1.01E-04	4.26E-03 +	5.51E-03	-1.07E-05	3.37E-03	2.20E-03
	年齢の立方(3乗)	2,267	1.31E-06	-5.43E-06	-1.99E-05	-3.11E-05	4.19E-06	-1.91E-05	-8.04E-06
居住地	北海道	97	1.36E-01	6.60E-01 *	4.01E-01	1.31E+00 +	-3.41E-01	-1.12E-02	-2.51E-01
	青森	16	-1.54E+01	-4.27E-01	2.84E-01	6.72E-01	2.66E-01	9.10E-02	-5.11E-01
	岩手	17	6.04E-01	-1.64E-01	1.18E+00 *	2.26E+00 *	1.14E+00	-9.50E-02	-5.39E-01
	宮城	61	-6.05E-02	-6.28E-02	1.86E-01	1.52E+00 *	-5.31E-01	-2.93E-02	-5.15E-02
	秋田	11	-1.46E+01	-3.27E-01	-1.24E+00	1.04E+00	5.04E-01	6.24E-01	7.06E-01
	山形	19	-4.28E-01	-3.54E-01	-2.74E-01	8.63E-01	-7.62E-01	3.80E-02	1.00E+00
	福島	28	1.11E+00 *	-5.99E-02	6.03E-01	-2.26E-01	-1.26E+00	-1.46E-01	6.61E-02
	茨城	62	8.27E-01 *	1.53E-01	7.53E-01 +	9.29E-01	9.16E-02	2.22E-01	1.04E+00 +
	栃木	29	-1.78E-01	-2.17E-01	-4.04E-01	1.42E+00	9.76E-01	6.47E-01	4.84E-01
	群馬	28	2.77E-01	-3.03E-01	6.69E-01	1.41E+00	-9.91E-01	-1.55E+00	5.43E-01
	山梨	11	4.50E-01	3.36E-01	3.38E-01	1.80E+00 **	-5.84E-01	4.20E-02	2.76E-01
	長野	40	-1.59E-01	5.40E-02	-4.77E-02	6.44E-02	8.66E-01 +	3.36E-01	-7.07E-02
	埼玉	128	2.30E-01	1.27E-01	-1.53E-01	3.42E-01	-1.20E-01	6.63E-02	-3.20E-01
	千葉	103	-6.70E-01	6.95E-01 +	3.52E-01	2.22E+00 **	1.99E-01	-2.97E-01	7.34E-01
	神奈川	162	-5.31E-01	-8.41E-02	3.42E-01	1.12E+00	-9.86E-01	-7.76E-01	3.37E-01
	新潟	42	-5.85E-01	-3.69E-01	-3.59E-01	-5.68E-01	-3.96E-01	5.25E-01	4.15E-01
	富山	19	-8.68E-01	-4.49E-01	-1.46E+00	1.12E+00	-2.92E-01	-9.56E-01	1.54E-01
	石川	22	-9.60E-01	-8.87E-01	3.07E-01	2.47E+00 *	2.84E-01	-7.44E-01	2.13E+00 *
	福井	13	9.28E-02	4.22E-01	-1.26E-01	-2.89E-01	-5.49E-01	-2.01E+00	-9.07E-01
	岐阜	30	-6.90E-01	-2.17E-01	-3.57E-01	5.76E-01	-2.24E-03	-5.55E-01	-9.85E-01
	静岡	66	-7.24E-01	2.21E-01	9.56E-02	1.51E+00 *	-1.63E+00	-2.24E-01	-2.02E-02
	愛知	141	-3.61E-01	-3.66E-01	5.72E-02	1.51E+00 *	-3.70E-02	-1.38E-01	-2.68E-02
	三重	32	-2.23E-01	-3.25E-01	-2.57E-01	6.98E-01	-4.12E-01	3.19E-01	-7.51E-02
	滋賀	30	8.97E-02	3.94E-01	1.71E-03	3.23E-01	2.22E-01	-7.15E-02	6.98E-01
	京都	51	-2.00E-01	-9.90E-02	3.40E-01	1.97E+00 **	1.14E-01	4.17E-01	4.02E-01
	大阪	149	1.32E-01	1.99E-01	1.05E-02	7.59E-01	1.31E-03	1.81E-01	-1.64E-01
	兵庫	100	2.83E-03	-9.49E-02	-3.48E-02	8.39E-01	-1.05E+00	-3.49E-01	-5.22E-01
	奈良	25	-9.85E-01	-6.43E-01	6.26E-01	1.88E+00 +	4.33E-01	-1.74E+00	-1.98E-01
	和歌山	13	-9.53E-01	-1.41E+00 +	-9.87E-02	-1.17E-01	1.12E+00	5.30E-02	-6.12E-01
	鳥取	11	3.32E-01	-4.44E-01	1.26E-01	-1.65E-01	-1.09E+00	2.65E-01	4.25E-01
	島根	4	-1.55E+01	8.15E-02	-3.75E-01	1.48E+00	7.76E-01	6.41E-01	1.13E+00
	岡山	34	-6.40E-01	2.51E-01	2.45E-01	1.30E+00	4.96E-01	-3.78E-01	-2.58E-01
	広島	61	-1.17E+00 *	2.24E-01	2.86E-01	9.10E-01	-1.50E+00	-1.07E+00	-5.06E-01
	山口	19	-4.61E-01	-1.16E+00 +	-5.39E-01	4.37E-01	-5.39E-01	9.34E-01	1.18E+00
	徳島	13	-1.45E+01	-3.59E-01	4.93E-01	3.00E+00 **	5.96E-01	4.26E-01	8.21E-01
	香川	23	-3.57E-01	1.27E-01	-6.88E-01	1.22E-01	-8.76E-01	-1.44E+00	-6.94E-01
	愛媛	25	-3.79E-01	-3.70E-02	-1.87E-01	1.91E-01	-8.41E-01	-2.86E-01	-1.19E+00
	高知	8	-3.02E-01	-8.55E-01	-8.90E-01	1.67E+00	1.25E+00	7.93E-01	4.19E-01
	福岡	127	-5.71E-01 +	7.29E-02	2.34E-01	1.28E+00 +	-2.28E-01	-9.26E-01	-3.23E-01
	佐賀	9	-5.89E-01	-6.08E-01	1.64E+00 *	2.87E+00 *	1.79E+00 +	6.29E-01	6.04E-01
	長崎	18	5.00E-01	4.92E-01	2.77E-01	9.77E-01	-6.24E-01	2.43E-01	1.04E+00
	熊本	38	-2.65E-01	5.82E-01	-3.52E-01	1.24E+00	3.27E-01	1.18E-02	-1.37E-01
	大分	12	-4.79E-02	3.28E-02	-1.23E+00	1.01E+00	6.36E-01	2.33E-01	-3.24E-02
	宮崎	19	-1.47E+00	1.19E+00 *	-4.06E-01	1.09E+00	-5.35E-01	4.65E-02	-1.96E-01
	鹿児島	21	6.86E-01	-2.05E-01	4.63E-01	-9.69E-01	-3.51E-01	2.57E-01	-7.54E-01
	沖縄	27	-1.17E+00	4.05E-01	8.36E-01	9.87E-01	-1.32E+00	-1.82E+00	1.83E-01
都市階級	大都市	745	-1.80E-01	-1.06E-01	-4.59E-02	-3.19E-02	-6.58E-01	-4.06E-01	3.30E-01
	中都市(15万人以上)	669	-4.33E-02	3.60E-02	1.24E-01	7.15E-01 +	-2.70E-01	-1.10E-01	2.82E-01
	小都市A(5万人以上)	590	1.63E-01	5.24E-02	1.04E-01	2.22E-01	-2.15E-01	6.35E-02	-2.24E-02

(令和4年度 間接鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
職業	非正規職員・従業員	370	-9.38E-02	2.52E-01	4.04E-02	3.51E-01	2.10E-01	-4.47E-02	-1.80E+00 ***
	自営業主・自由業	147	1.38E-01	7.65E-02	3.53E-01	8.43E-01 +	1.17E+00 **	-3.08E-02	8.90E-01 *
	家族従業者	8	-4.82E-01	5.21E-01	-1.51E+00	1.77E+00	2.32E+00 *	2.44E-01	-6.24E-01
	主婦・主夫	366	-6.27E-02	1.04E-01	-1.61E-01	5.43E-01	-2.65E-01	-1.34E-01	1.37E-01
	学生	63	3.03E-01	8.58E-01 *	-7.27E-02	-4.43E-01	1.57E-01	-4.26E-01	-8.11E-01
	リタイア・無職	412	5.59E-02	6.49E-02	5.71E-02	7.61E-01 +	9.68E-02	1.62E-01	3.55E-01
	その他	3	1.21E+00	-1.31E+01	9.06E-01	1.33E+00	2.29E+00	1.29E+00	1.52E+00
家族状況	核家族	1,516	1.67E-02	-9.25E-02	1.71E-01	1.63E-01	-1.04E-02	-2.80E-01	-3.60E-01
	三世代家族	106	5.60E-02	1.07E-01	-9.21E-02	1.18E+00 *	-2.55E-01	-4.98E-01	-9.63E-01
	その他同居家族	132	-1.43E-01	-1.25E-01	7.19E-02	8.89E-01 +	-4.91E-01	-1.42E-01	-5.65E-02
同居家族(未子)	未就学児	214	1.27E-01	-4.76E-01 +	2.69E-01	-6.91E-02	1.43E-01	5.33E-01	3.98E-01
	小学生	137	-2.26E-02	-4.07E-01	1.95E-01	-9.63E-01	-2.27E-02	6.75E-01	8.95E-01
	中学生	54	-2.07E-01	-6.06E-01	-2.00E+00	-1.03E+00	-5.60E-01	9.24E-02	3.23E-02
	高校生	71	-1.73E-01	-4.14E-01	-2.17E+00	-1.80E+00	-9.22E-01	3.70E-01	-3.87E-01
	高校卒業者	375	4.20E-01 +	1.10E-01	2.52E-01	-6.06E-01	-4.52E-01	9.47E-02	5.06E-01
	要介護・要介助者	148	4.45E-01	6.37E-01 *	2.05E-01	8.14E-01	3.14E-01	9.31E-01 *	3.13E-01
健康状態	移動可能	522	-7.16E-02	1.23E-01	-8.89E-03	-5.34E-01 +	4.12E-01	5.23E-02	-1.77E-01
	移動困難(通所含む)	30	1.08E-01	2.53E-01	3.49E-01	1.13E+00 +	1.14E+00 +	1.02E+00 +	8.26E-01
年収	～100万円未満	98	5.33E-01	-3.81E-01	1.79E-01	6.09E-01	4.02E-01	2.53E-02	6.21E-01
	～200万円未満	193	-3.61E-01	-5.02E-01 *	-4.98E-01	7.03E-01	-7.66E-02	-1.58E-01	-3.49E-01
	～300万円未満	298	-9.44E-02	-1.46E-01	-2.27E-01	9.58E-02	-2.57E-01	-6.61E-01 +	5.36E-01
	～400万円未満	348	-2.23E-01	-1.65E-01	-2.09E-01	-1.02E-02	4.74E-01	-2.84E-02	1.90E-01
	～500万円未満	296	-3.36E-01	-3.05E-01	-2.39E-01	2.08E-01	3.47E-01	-4.95E-01	-3.92E-01
	～600万円未満	219	-4.71E-01 +	-4.75E-01 *	1.68E-02	2.67E-01	2.51E-01	7.13E-02	-5.28E-01
	～700万円未満	185	-1.48E-01	-8.09E-03	-2.24E-01	1.24E-01	3.81E-01	-2.15E-01	3.99E-02
	～800万円未満	186	-5.48E-01 +	-3.66E-01 +	-3.15E-01	-2.45E-01	6.94E-01	-9.32E-01 *	2.03E-01
	～900万円未満	117	-6.01E-01 +	-6.46E-01 *	-3.79E-02	2.13E-01	1.01E-01	-3.21E-01	6.76E-02
学歴	～1,000万円未満	97	-3.03E-01	1.10E-01	2.05E-01	4.31E-01	3.14E-01	-1.04E-01	-6.62E-01
	小・中学校	56	-2.31E-01	5.56E-01 +	-3.09E-01	-4.00E-02	1.82E-01	3.83E-01	-5.25E-01
	高校・旧制中学校	732	-3.34E-01 *	-1.09E-02	-2.47E-01	-6.88E-01 *	4.40E-01	1.09E-03	-1.64E-01
	短大・高専	447	-1.69E-01	-1.18E-02	-1.23E-01	-3.28E-01	-2.84E-02	7.31E-02	-3.64E-03
	大学院	104	3.27E-01	-1.08E-01	-1.30E-01	1.85E-01	-1.04E-01	1.93E-01	4.88E-01
	ピアノ等の楽器	612	7.98E-01 ***	1.48E-01	9.84E-02	1.38E-01	3.09E-01	4.03E-02	4.95E-01 *
	コーラス・声楽	58	6.76E-01 *	-2.01E-01	6.12E-01 +	1.33E+00 **	4.62E-01	1.33E-01	1.24E-01
	ダンス	61	7.53E-01 *	-2.87E-01	4.10E-01	-1.17E-01	1.86E-02	-3.22E-02	1.20E+00 **
	茶・華・書道の生活文化	790	3.17E-02	1.41E-01	3.22E-01 *	3.48E-01	3.24E-02	4.06E-01 *	2.73E-01
習い事	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	4.95E-01 *	2.91E-01	5.25E-01 *	-8.68E-01	2.45E-01	4.32E-01	-1.04E+00 *
	学習塾・そろばん等	1,109	1.66E-02	5.19E-01 ***	1.15E-01	2.98E-01	1.09E-01	1.74E-01	3.53E-02
	水泳・野球等のスポーツ	652	9.93E-02	1.70E-01	2.01E-01	4.17E-01	2.78E-02	1.55E-01	3.71E-01
	その他	0							
到達施設可能	ホール・劇場	1,506	7.11E-01 ***	7.02E-01 ***	2.03E-01	6.05E-01 +	3.93E-01	5.34E-01 *	5.67E-01 +
	美術館	1,357	3.62E-01 *	2.57E-01 +	6.74E-01 ***	6.84E-01 *	3.98E-01	1.85E-01	9.49E-01 **
	博物館	1,148	2.34E-01	-9.61E-02	4.47E-01 **	4.16E-01	4.43E-01	2.38E-01	2.28E-01
	映画館	1,853	-1.34E-01	2.81E-01 +	-6.16E-01 **	-1.16E+00 ***	-5.88E-01 +	-3.48E-01	-6.17E-01 +
同居家族女性×	未就学児	102	-6.32E-02	5.00E-01	-1.09E+00 *	-1.33E+00	-6.36E-01	-1.35E+00 *	-4.90E-01
	小学生	55	-6.60E-02	-4.87E-01	-4.18E-01	6.07E-01	2.54E-01	-1.06E+00	-1.70E-01
	中学生	20	3.77E-02	9.16E-01	1.92E+00	4.97E-01	-1.23E-01	1.87E-01	-5.46E-01
	高校生	33	-4.90E-01	-4.37E-01	2.01E+00	6.66E-01	1.35E+00	-1.98E-02	6.92E-01
	高校卒業者	183	-8.99E-01 **	-3.38E-01	-6.94E-01 *	2.65E-01	7.04E-01	3.24E-01	-1.42E-01
	要介護・要介助者	77	-5.59E-01	-4.71E-01	-1.37E-01	-6.90E-01	-8.24E-01	-1.36E+00 *	-4.44E-02

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 間接鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
行動者率		2,267	4.68%	1.10%	4.68%	13.59%	1.81%	3.97%	48.96%
TjurのR ²		2,267	0.126	0.248	0.104	0.111	0.182	0.108	0.094
AIC		2,267	887.0	349.8	892.7	1777.6	461.5	809.7	3125.0
切片		2,267	-2.68E+00	4.62E+00	-2.45E+00	7.01E-01	-9.30E+00 *	9.71E-01	-4.74E-01
性別	女性	1,090	3.41E-01	-3.51E-01	4.26E-01	-2.93E-01	3.53E-01	-2.16E-01	2.69E-01 *
年齢	年齢	2,267	-5.97E-02	-4.93E-01 *	-6.92E-02	-2.72E-01 *	3.02E-01	-1.91E-01	-8.39E-02
	年齢の平方(2乗)	2,267	6.95E-04	7.06E-03	4.81E-04	5.22E-03 *	-6.02E-03	2.57E-03	1.93E-03
	年齢の立方(3乗)	2,267	-2.29E-06	-2.71E-05	3.65E-06	-2.77E-05 +	3.96E-05	-7.66E-06	-1.32E-05
居住地	北海道	97	-2.24E+00 +	7.33E-01	2.24E-01	1.13E-02	-1.41E+00	-1.34E-01	2.61E-01
	青森	16	-6.55E-01	9.65E-01	-5.92E-01	2.80E-02	3.60E-01	-3.76E-01	1.13E+00 *
	岩手	17	-9.22E-01	1.74E+00	1.16E+00	8.84E-01	1.73E+00 +	6.22E-01	7.67E-01
	宮城	61	-2.74E-01	-2.00E-01	-9.86E-01	-9.23E-01	-1.16E-01	-3.56E-01	4.26E-01
	秋田	11	1.29E-01	1.90E+00	3.40E-01	-2.47E-01	7.89E-01	4.31E-01	4.34E-01
	山形	19	5.59E-01	6.46E-01	-6.26E-01	-1.69E-01	1.85E+00 +	6.49E-01	-2.66E-01
	福島	28	8.49E-01	4.37E-01	-1.76E-01	9.24E-01 +	-6.40E-01	8.20E-01	-2.32E-01
	茨城	62	-7.27E-01	1.44E+00 +	1.44E+00 **	4.64E-01	1.73E+00 *	-1.70E-01	8.58E-01 **
	栃木	29	9.69E-01	5.10E-01	6.16E-01	3.74E-01	-1.01E+00	6.09E-01	7.72E-01 +
	群馬	28	7.91E-02	-1.05E-01	1.19E+00	6.07E-01	1.40E+00	-8.63E-01	6.15E-02
	山梨	11	5.34E-01	4.04E-01	5.40E-01	5.32E-01	3.84E-01	-3.14E-01	3.78E-01
	長野	40	6.24E-01	-6.87E-01	-5.96E-01	2.50E-01	7.36E-01	-1.26E+00	6.13E-01 *
	埼玉	128	2.82E-01	1.50E-02	-1.19E-01	-6.14E-02	-5.62E-01	2.58E-01	5.75E-01 **
	千葉	103	6.99E-01	8.49E-01	1.07E-01	-7.74E-01	6.38E-01	1.10E+00 +	8.24E-01 *
	神奈川	162	6.90E-01	3.36E-01	2.79E-01	4.88E-01	-8.05E-03	-6.20E-01	-1.30E-02
	新潟	42	6.41E-01	9.80E-01	8.33E-01	2.51E-01	-4.23E-01	3.67E-01	-3.16E-02
	富山	19	2.93E-01	7.70E-01	1.86E+00 *	7.33E-01	3.49E-01	-1.73E-01	2.05E-01
	石川	22	1.30E+00	7.62E-01	1.16E+00	1.34E+00 +	5.34E-01	5.18E-01	4.67E-01
	福井	13	7.08E-01	-9.86E-02	2.88E-02	8.63E-01 +	2.02E-01	1.31E+00 *	7.55E-02
	岐阜	30	-5.11E-02	-2.96E-01	-1.26E+00	-4.25E-01	-6.91E-01	-1.59E-01	-7.92E-02
	静岡	66	-5.68E-01	-5.65E-01	4.10E-02	6.74E-01 +	-8.85E-01	-2.42E-01	5.11E-01 +
	愛知	141	-7.17E-01	-9.48E-02	1.48E-01	-6.18E-02	-4.42E-01	-1.66E-01	1.53E-01
	三重	32	2.47E-01	1.14E+00	6.98E-01	9.39E-01 +	7.32E-01	-6.93E-02	4.32E-01
	滋賀	30	-2.35E-02	1.45E+00	1.31E+00 +	1.36E-01	-2.76E-01	2.67E-01	5.19E-01
	京都	51	9.85E-01 +	6.42E-01	1.12E+00 *	4.66E-01	7.18E-01	1.15E-01	8.83E-02
	大阪	149	3.67E-01	-4.68E-01	-1.04E+00	1.80E-01	-2.20E-01	1.86E-01	3.11E-01
	兵庫	100	1.32E-02	7.01E-01	5.62E-03	-9.92E-02	-1.62E+00	-9.75E-02	3.62E-01
	奈良	25	-6.08E-01	1.01E+00	5.71E-01	2.13E-01	1.77E-01	1.01E-01	6.17E-01
	和歌山	13	1.43E-01	9.59E-01	8.85E-01	4.92E-01	2.26E+00 *	1.08E+00	2.72E-01
	鳥取	11	-2.08E+00	1.13E+00	6.90E-01	1.10E+00	7.61E-01	7.53E-01	-2.24E-01
	島根	4	2.40E-01	8.15E-01	-1.08E+00	-5.30E-01	-3.68E-02	1.52E-01	-6.04E-01
	岡山	34	6.70E-01	2.57E-01	-5.40E-01	1.32E-02	7.80E-01	8.49E-01	4.15E-01
	広島	61	8.28E-01	-6.51E-01	-1.32E-01	2.63E-01	-1.16E+00	1.65E-01	5.12E-01 +
	山口	19	-8.10E-01	4.60E-01	7.62E-01	-9.11E-01	2.46E-01	-6.07E-01	5.77E-01
	徳島	13	4.99E-02	1.39E+00	6.01E-01	-2.04E-01	3.79E-01	-1.07E-01	4.09E-01
	香川	23	-1.38E+00	-1.21E-01	1.07E+00	2.67E-01	5.05E-02	-8.64E-02	3.91E-01
	愛媛	25	8.32E-01	-6.43E-01	-8.87E-02	-5.02E-01	1.25E+00	-3.67E-02	2.40E-01
	高知	8	2.72E-01	1.62E+00	1.84E+00	-1.28E+01	1.39E+00	1.02E+00	-5.85E-01
	福岡	127	5.05E-01	7.85E-02	-2.08E-01	2.35E-01	4.63E-01	6.03E-01	7.40E-02
	佐賀	9	9.24E-02	1.76E+00	2.52E-01	5.29E-01	1.82E+00	3.65E-01	2.75E-01
	長崎	18	8.23E-01	9.43E-01	-4.31E-01	7.48E-02	-1.34E-01	1.91E+00 *	-6.39E-01
	熊本	38	-3.82E-01	1.81E-01	6.49E-02	-9.20E-01	-9.91E-01	3.06E-01	3.50E-01
	大分	12	-4.39E-02	1.67E+00	9.64E-01	-3.06E-01	1.50E+00	-1.78E-01	4.48E-01
	宮崎	19	6.53E-01	1.52E-01	-5.90E-01	-7.86E-01	8.94E-01	-5.03E-01	7.41E-01
	鹿児島	21	4.52E-02	2.16E+00 *	1.63E-01	-2.67E-01	1.09E+00	1.20E+00	7.59E-01
	沖縄	27	7.99E-01	-1.87E-01	1.70E+00 **	5.06E-01	1.45E+00	6.02E-01	1.09E+00 *
都市階級	大都市	745	-3.68E-01	-4.03E-01	4.80E-01	-1.52E-01	-2.10E-01	7.11E-02	5.16E-02
	中都市(15万人以上)	669	2.92E-01	-2.21E-01	3.92E-01	-8.50E-02	-3.02E-01	8.03E-01 +	4.61E-02
	小都市A(5万人以上)	590	4.86E-02	2.84E-01	1.69E-01	-3.27E-02	-3.98E-01	6.76E-01	1.62E-01

(令和4年度 間接鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	370	1.09E-01	-7.28E-01	-1.14E-01	1.36E-02	-6.15E-01	-3.61E-01	2.44E-01
	自営業主・自由業	147	1.27E+00 ***	7.58E-01	3.96E-01	3.65E-01	9.69E-01 *	3.32E-01	1.01E-01
	家族従業者	8	9.23E-02	5.75E-01	9.72E-02	-1.41E+01	2.42E+00	1.71E+00	2.15E-01
	主婦・主夫	366	3.24E-01	-4.00E-01	5.51E-02	8.92E-03	9.44E-01 +	-1.13E+00 *	-3.89E-02
	学生	63	1.86E-01	-3.63E-01	7.04E-02	-5.17E-01	1.85E+00	-2.92E-01	-1.76E-01
	リタイア・無職	412	-4.42E-01	-3.55E-01	3.72E-01	-2.06E-01	5.31E-01	2.01E-02	6.59E-03
	その他	3	1.67E+00	2.90E+00	2.80E+00 +	2.76E+00 +	2.66E+00	1.47E+00	-7.02E-01
家族状況	核家族	1,516	-4.30E-01	-3.11E-01	-1.28E-01	-1.22E-01	2.34E-01	-4.40E-01	-1.75E-01
	三世代家族	106	-2.09E-01	-4.43E-01	1.32E-03	-2.00E-01	-4.87E-01	-2.12E+00 **	-3.62E-01
	その他同居家族	132	-1.04E-01	3.77E-01	-6.64E-02	-2.72E-01	-1.12E-01	-1.52E+00 *	-3.16E-02
同居家族(未子)	未就学児	214	5.66E-01	2.21E-01	4.46E-01	-3.79E-02	9.55E-01	-1.33E-01	-7.73E-02
	小学生	137	-9.10E-01	-8.05E-01	-1.52E+00	-9.78E-02	-1.28E+00	-4.82E-01	-1.06E-01
	中学生	54	1.29E+00 *	2.42E-01	6.50E-01	5.48E-02	-3.61E-01	2.60E-01	-1.45E-01
	高校生	71	6.92E-01	7.55E-01	-4.87E-01	-8.90E-01	-4.83E-01	-1.34E+00	-3.75E-01
	高校卒業者	375	5.00E-01	2.44E-01	2.62E-01	4.05E-01 +	1.34E-01	5.27E-01	3.39E-01 +
	要介護・要介助者	148	5.95E-01	1.13E+00 +	6.94E-01	2.30E-01	1.32E+00 *	5.53E-01	2.24E-01
健康状態	移動可能	522	1.90E-02	-9.32E-01 *	2.29E-01	2.14E-01	6.66E-01 *	2.04E-02	-3.46E-02
	移動困難(通所含む)	30	7.16E-01	4.45E-01	-3.59E-01	3.11E-01	1.15E+00	-1.44E+00	2.55E-01
年収	～100万円未満	98	8.18E-01	-2.08E-01	-1.62E-01	2.06E-01	-1.25E+00 +	-1.50E+00 *	-2.69E-01
	～200万円未満	193	-2.93E-01	9.48E-01	-3.84E-01	-3.72E-01	-2.51E+00 ***	-1.00E+00 *	-5.66E-01 *
	～300万円未満	298	-1.32E-01	3.73E-01	2.63E-01	-3.66E-01	-2.54E+00 ***	-8.07E-01 *	-1.89E-01
	～400万円未満	348	3.71E-02	1.41E-01	-4.71E-01	-1.17E-01	-1.19E+00 *	-1.22E+00 **	-2.23E-01
	～500万円未満	296	3.06E-01	9.26E-02	-5.08E-01	-4.40E-01	-1.53E+00 **	-1.29E+00 **	-2.40E-01
	～600万円未満	219	7.43E-01 +	3.73E-02	-9.79E-01 +	-4.25E-01	-1.89E+00 **	-2.00E+00 ***	-1.30E-01
	～700万円未満	185	6.30E-01	1.17E+00 +	3.88E-01	-2.15E-01	-2.74E+00 **	-6.46E-01	-2.72E-01
	～800万円未満	186	6.93E-01 +	4.25E-01	-2.27E-01	1.99E-01	-1.23E+00 *	-7.47E-01 +	-1.86E-02
	～900万円未満	117	-6.24E-01	-8.07E-01	-9.54E-01	-9.25E-01 *	-5.88E-01	-1.80E-01	-4.58E-02
学歴	～1,000万円未満	97	1.57E-01	-2.55E-01	-6.01E-01	-4.61E-01	-4.16E-01	-4.22E-01	-3.26E-01
	小・中学校	56	6.92E-01	8.97E-01	-2.44E-01	5.56E-01	1.59E+00 *	-1.10E-01	6.45E-02
	高校・旧制中学校	732	7.61E-02	-1.19E-01	-2.91E-01	1.59E-01	6.74E-01 *	-4.01E-01	-4.95E-02
	短大・高専	447	-1.77E-01	2.35E-01	4.27E-02	1.81E-01	2.92E-01	-2.23E-01	-1.85E-02
習い事	大学院	104	2.29E-01	-4.10E-01	-7.96E-01	3.23E-01	9.65E-01 +	-3.12E-01	-2.30E-02
	ピアノ等の楽器	612	-1.45E-01	4.22E-01	4.93E-01 *	-1.52E-01	-3.40E-02	-6.49E-02	6.89E-02
	コーラス・声楽	58	6.73E-01	5.38E-01	1.70E-01	3.70E-01	1.13E+00 +	1.31E+00 **	-3.75E-01
	ダンス	61	1.36E+00 ***	2.44E-01	-1.21E-01	1.79E-01	4.61E-01	5.00E-01	-3.16E-01
	茶・華・書道の生活文化	790	2.63E-01	1.92E-01	2.92E-01	-3.83E-02	1.75E-01	1.73E-01	3.06E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	-8.00E-01	-4.80E-01	-2.12E-01	4.44E-01 +	-2.28E-02	1.77E-01	-7.08E-02
	学習塾・そろばん等	1,109	4.16E-01 *	4.43E-01	-1.84E-01	4.12E-01 **	2.55E-01	8.69E-02	1.99E-01 *
到達可能施設	水泳・野球等のスポーツ	652	4.16E-01 +	3.04E-01	1.77E-02	1.74E-01	-1.03E-01	1.65E-01	3.26E-01 **
	その他	0							
同居家族女性×	ホール・劇場	1,506	2.99E-01	2.55E-01	4.67E-01 +	5.43E-01 **	-3.62E-01	4.05E-01	1.45E-01
	美術館	1,357	3.99E-01	1.38E+00 **	7.28E-01 *	3.56E-01 +	6.39E-01	-1.64E-01	1.19E-01
	博物館	1,148	4.24E-01 +	-2.38E-01	2.04E-01	4.27E-01 *	8.19E-01 *	2.27E-01	1.14E-01
	映画館	1,853	-6.09E-01 *	-7.65E-01 +	-5.55E-01 +	9.84E-03	-6.32E-02	2.03E-01	1.04E+00 ***
同居家族	未就学児	102	-5.90E-01	-8.31E-01	-2.50E+00 +	2.14E-01	-1.62E+00 +	-2.82E-01	1.68E-01
	小学生	55	9.58E-01	1.73E+00	-3.25E-01	3.26E-01	8.01E-01	-4.40E-01	-4.62E-01
	中学生	20	-1.05E-01	1.86E+00	6.85E-02	7.03E-01	-1.46E+00	-4.80E-01	8.42E-02
	高校生	33	-5.70E-01	8.06E-01	8.25E-01	5.37E-01	1.29E+00	2.66E+00 +	1.09E-01
	高校卒業者	183	7.24E-02	3.08E-01	-4.40E-01	-6.80E-01 *	-1.32E+00 +	-1.18E-01	-6.31E-01 *
	要介護・要介助者	77	-1.75E+00 *	-1.95E+00	-1.57E+00 *	-1.91E-01	-2.59E+00 *	-1.59E-01	-1.56E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 間接鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	20. 直接鑑賞
行動者率		2,267	28.80%	16.76%	9.04%	5.16%	76.71%
TjurのR ²		2,267	0.156	0.172	0.123	0.119	0.131
AIC		2,267	2554.9	1889.3	1347.9	939.5	2375.1
切片		2,267	-4.08E+00 *	-4.88E-01	9.61E-01	-1.10E+00	-2.86E-02
性別	女性	1,090	-2.17E-01	-5.89E-02	-4.07E-01	-7.88E-01 **	2.49E-01
年齢	年齢	2,267	1.88E-01 *	-2.55E-01 *	-3.67E-01 *	-2.56E-01	-2.21E-02
	年齢の平方(2乗)	2,267	-3.71E-03 *	5.64E-03 *	7.80E-03 *	4.87E-03	6.19E-04
	年齢の立方(3乗)	2,267	1.88E-05	-3.23E-05 *	-4.55E-05 *	-2.40E-05	-3.80E-06
居住地	北海道	97	1.34E-01	1.45E-01	4.77E-01	3.97E-01	5.43E-01 +
	青森	16	-9.59E-01	-5.76E-01	3.76E-01	-3.83E-01	-3.26E-01
	岩手	17	4.85E-01	-6.19E-02	1.47E+00 *	2.19E+00 **	-3.29E-01
	宮城	61	2.77E-01	-3.07E-01	-1.04E-01	-1.80E-01	4.06E-01
	秋田	11	6.56E-01	2.29E-01	-1.58E+01	1.21E-01	1.90E-01
	山形	19	-3.93E-02	-6.01E-01	-1.04E+00	1.09E+00	4.30E-01
	福島	28	-3.28E-01	6.21E-01	1.21E+00 *	8.83E-01	-4.00E-02
	茨城	62	7.07E-01 *	3.72E-01	8.58E-01 +	1.18E+00 *	9.58E-01 *
	栃木	29	2.96E-01	6.28E-01	-1.05E+00	2.48E-01	-3.93E-01
	群馬	28	1.13E-01	-3.74E-01	-5.70E-01	1.63E-01	1.56E-01
	山梨	11	1.62E-01	-4.23E-02	6.88E-01 +	3.53E-01	4.17E-01
	長野	40	1.51E-01	2.63E-01	3.04E-01	-3.78E-01	5.03E-01 +
	埼玉	128	3.44E-01	1.73E-01	2.52E-01	4.72E-02	6.25E-01 *
	千葉	103	-2.66E-01	-8.45E-01	3.03E-01	-3.88E-01	1.42E+00 *
	神奈川	162	5.00E-01	-2.38E-01	3.93E-01	3.97E-01	-1.50E-01
	新潟	42	-1.14E+00 +	-5.53E-01	-1.02E+00	-4.77E-01	-2.94E-02
	富山	19	-1.72E+00	-4.84E-01	3.64E-01	2.11E+00 *	-4.87E-01
	石川	22	-2.90E-01	-1.13E+00	-2.07E-01	1.09E+00	2.12E-01
	福井	13	-4.67E-01	6.73E-01	3.60E-01	-2.79E-01	2.50E-01
	岐阜	30	-2.00E-01	-8.10E-01	-1.63E+01	-1.27E+00	4.38E-01
	静岡	66	3.34E-01	-5.94E-01	-1.26E-01	-2.03E-01	5.60E-01
	愛知	141	2.39E-01	2.17E-02	3.00E-01	1.37E-01	3.56E-01
	三重	32	-6.43E-02	1.77E-01	7.23E-01	-1.55E-01	3.73E-01
	滋賀	30	4.01E-01	-8.25E-01	1.10E-01	5.07E-01	4.80E-01
	京都	51	-1.22E-01	1.61E-01	2.75E-01	2.92E-01	-5.09E-01
	大阪	149	2.73E-01	1.07E-01	2.40E-01	8.25E-01 *	5.73E-01 *
	兵庫	100	3.01E-01	-2.30E-02	-1.06E-01	1.91E-02	7.49E-01 *
	奈良	25	1.69E-01	-9.18E-01	7.14E-01	1.14E+00	2.61E-01
	和歌山	13	6.37E-01	6.14E-01	1.29E+00	1.39E+00	-3.38E-01
	鳥取	11	-6.47E-01	-2.68E-01	-2.90E-03	8.72E-01	1.08E+00
	島根	4	1.85E-01	-5.61E-01	-1.76E+01	-1.97E-02	8.28E-01
	岡山	34	8.61E-02	-5.03E-01	2.85E-01	3.02E-01	3.98E-01
	広島	61	1.20E-01	-1.50E-01	4.26E-01	3.51E-01	6.66E-01 +
	山口	19	2.10E-01	-1.52E+01	-7.87E-01	-6.90E-01	7.43E-01
	徳島	13	-6.71E-01	2.75E-01	-1.58E+01	6.85E-02	6.08E-01
	香川	23	-1.11E+00	-5.25E-01	-1.65E+01	-1.36E-01	3.14E-01
	愛媛	25	1.04E-01	-1.28E+00	-8.14E-01	4.85E-01	6.25E-01
	高知	8	-1.40E+01	-1.40E+01	1.23E+00	1.68E+00	-8.46E-01
	福岡	127	-4.09E-01	-3.82E-01	-4.39E-01	-6.05E-01	2.44E-01
	佐賀	9	9.05E-01	-2.71E-01	8.59E-01	1.60E+00	2.40E-01
	長崎	18	-9.30E-02	1.57E-01	8.96E-01	-1.25E+00	1.45E+00 +
	熊本	38	6.32E-01	-1.24E+00	-1.21E+00	-2.08E-01	8.97E-01 +
	大分	12	1.20E+00 +	-6.31E-01	-1.53E+01	-1.12E-01	1.38E+01
	宮崎	19	3.47E-01	-1.29E+00	-1.61E+01	-4.40E-01	9.79E-01
	鹿児島	21	2.56E-01	-6.03E-01	-2.84E-03	1.09E+00	1.31E+00 +
	沖縄	27	-9.50E-01 +	-7.39E-02	2.21E-01	4.48E-01	1.26E+00 *
都市階級	大都市	745	-2.81E-01	-2.20E-01	-2.79E-01	-1.27E-01	-1.31E-01
	中都市(15万人以上)	669	-1.36E-01	-8.72E-02	-5.31E-02	1.41E-01	4.11E-02
	小都市A(5万人以上)	590	1.70E-02	-1.53E-01	-3.06E-01	-3.82E-02	9.05E-02

(令和4年度 間接鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	370	5.13E-01 **	-3.98E-01	-2.44E-01	-8.09E-01 *	3.21E-01 +
	自営業主・自由業	147	6.11E-01 **	2.78E-01	4.93E-01	1.01E-01	3.92E-01
	家族従業者	8	3.18E-02	-1.49E+01	-1.62E+01	4.41E-01	4.67E-02
	主婦・主夫	366	3.23E-01	8.60E-02	-9.55E-02	3.99E-02	-5.95E-02
	学生	63	9.06E-01 *	8.49E-01	7.09E-01	4.22E-01	1.01E+00 *
	リタイア・無職	412	2.95E-01	2.06E-01	-1.35E-01	-6.32E-01 +	2.57E-01
	その他	3	-1.23E+01	1.74E+00	1.72E+00	8.95E-01	-7.42E-01
家族状況	核家族	1,516	-4.01E-01 **	5.79E-02	-2.08E-01	1.08E-01	-2.49E-01
	三世代家族	106	-7.52E-01 *	-1.52E-02	-1.94E-01	3.59E-01	-7.22E-01 *
	その他同居家族	132	-4.67E-01 +	1.43E-01	1.96E-01	3.15E-01	-9.93E-02
同居家族 (未子)	未就学児	214	2.89E-01	-1.56E-01	3.22E-03	2.90E-01	2.22E-02
	小学生	137	5.27E-01 +	2.20E-01	2.67E-01	-8.97E-01	-1.53E-01
	中学生	54	-2.14E-01	-3.65E-01	-6.72E-02	-4.13E-01	-1.43E-01
	高校生	71	2.16E-01	-9.42E-01	-4.57E-01	-3.75E-01	-5.72E-01
	高校卒業者	375	1.97E-01	4.05E-01 +	-1.55E-01	4.09E-02	5.44E-01 *
	要介護・要介助者	148	5.29E-02	-7.82E-02	7.83E-01 *	4.45E-01	5.73E-01
	移動可能	522	1.91E-02	-5.32E-02	1.33E-01	2.08E-01	9.03E-02
健康状態	移動困難(通所含む)	30	-1.38E+00 +	-2.14E-01	-1.20E-01	2.18E-01	1.38E+00 *
年収	～100万円未満	98	4.82E-01	-9.72E-02	-3.09E-02	-2.52E-02	-9.06E-01 **
	～200万円未満	193	-9.96E-02	-3.11E-01	-4.09E-01	-1.66E-01	-1.06E+00 ***
	～300万円未満	298	-2.21E-01	-1.11E-01	-2.03E-01	-2.99E-01	-5.11E-01 +
	～400万円未満	348	-1.51E-02	1.47E-01	1.15E-01	2.50E-01	-4.09E-01
	～500万円未満	296	2.70E-02	2.49E-02	-9.46E-02	-7.36E-01 +	-5.43E-01 *
	～600万円未満	219	-3.33E-02	1.70E-01	4.66E-01	-2.90E-01	-3.19E-01
	～700万円未満	185	-6.68E-02	4.86E-02	-1.81E-01	-2.96E-01	-2.68E-01
	～800万円未満	186	-1.60E-01	-1.20E-01	9.64E-03	2.05E-01	-2.26E-01
	～900万円未満	117	-2.81E-01	-2.86E-01	-2.32E-01	-5.92E-01	-5.88E-01 *
	～1,000万円未満	97	-3.60E-02	-1.01E-01	1.08E-01	-5.07E-01	-5.02E-01
学歴	小・中学校	56	-9.07E-03	4.08E-01	-2.55E-01	5.82E-01	-1.04E-01
	高校・旧制中学校	732	1.91E-01	-4.18E-01 *	-2.71E-01	-4.73E-01 +	-2.17E-01
	短大・高専	447	1.03E-01	-1.63E-01	-1.09E-01	2.65E-01	-1.87E-01
	大学院	104	1.94E-01	2.24E-01	6.66E-01 *	7.88E-02	-7.00E-02
習い事	ピアノ等の楽器	612	1.67E-01	1.84E-01	3.18E-01	4.57E-01 *	8.99E-02
	コーラス・声楽	58	-2.50E-01	4.56E-01	4.89E-01	8.19E-01 +	5.35E-01
	ダンス	61	-3.68E-01	-3.96E-01	-6.14E-01	4.22E-01	-1.26E-02
	茶・華・書道の生活文化	790	4.28E-03	2.27E-01	-2.42E-01	1.04E-01	2.23E-01 +
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	-3.51E-02	1.09E-01	-9.55E-02	-1.34E-01	6.72E-01 *
	学習塾・そろばん等	1,109	1.35E-01	9.12E-02	-5.11E-02	1.12E-01	3.81E-01 **
	水泳・野球等のスポーツ	652	4.36E-01 ***	4.62E-01 *	5.12E-01 *	6.54E-01 **	5.27E-01 ***
	その他	0					
到達可能性	ホール・劇場	1,506	2.97E-02	4.78E-01 **	3.58E-01	9.11E-01 **	4.50E-01 ***
	美術館	1,357	1.98E-01	4.13E-01 *	4.34E-01 +	1.20E-01	3.34E-01 *
	博物館	1,148	1.44E-01	3.66E-01 *	7.82E-01 ***	3.18E-01	4.20E-02
	映画館	1,853	6.35E-01 ***	2.33E-01	-1.79E-01	4.08E-01	5.48E-01 ***
同居家族 女性×	未就学児	102	3.36E-01	-1.86E-01	2.00E-01	-8.89E-02	9.31E-02
	小学生	55	-5.65E-02	-4.28E-01	-8.65E-01	1.26E-01	-5.71E-01
	中学生	20	8.66E-01	-7.15E-01	4.86E-02	6.32E-01	7.86E-01
	高校生	33	-4.68E-01	7.39E-01	1.04E+00	5.68E-01	3.46E-01
	高校卒業者	183	-6.66E-02	-8.73E-01 **	2.41E-01	-1.81E-01	-1.17E+00 ***
	要介護・要介助者	77	-2.91E-01	-5.73E-01	-1.81E+00 *	-1.44E-01	-1.35E-01

注1)表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2)係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

注3)種別の「19. その他」は、行動者率が低く、Firthの手法でも推計できなかったもので表示していない。

付表 5.3 令和 4 年度調査 有料配信鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表
(令和 4 年度 有料配信鑑賞 6 の 1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術※	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル※	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
行動者率		2,267	2.16%	8.65%	2.21%	0.75%	1.15%	2.21%	0.93%
TjurのR ²		2,267	0.192	0.104	0.271	0.456	0.211	0.195	0.387
AIC		2,267	562.6	1353.3	545.3	342.6	444.0	560.1	363.9
切片		2,267	-2.18E-01	1.05E+00	-4.55E-01	2.53E+00	-3.57E+00	-2.88E+00	4.60E+00
性別	女性	1,090	3.39E-01	3.77E-01 ⁺	5.18E-04	-6.89E-01	4.50E-02	1.17E+00 ^{**}	1.91E-01
	年齢	2,267	-2.78E-01	-2.82E-01	-1.07E-01	-3.05E-01	-9.57E-02	9.07E-02	-5.67E-01 ⁺
	年齢の平方(2乗)	2,267	4.52E-03	7.47E-03 ⁺	1.08E-03	4.16E-03	9.62E-04	-3.67E-03	1.27E-02 ⁺
	年齢の立方(3乗)	2,267	-2.61E-05	-6.19E-05 [*]	-2.39E-06	-1.92E-05	-4.20E-06	2.73E-05	-9.64E-05 ⁺
居住地	北海道	97	-9.20E-01	3.83E-01	1.15E+00 ⁺	-4.48E-01	-5.54E-01	-5.24E-01	7.03E-01
	青森	16	-5.39E-01	-1.19E+00	-1.03E-01	5.71E-01	3.75E-01	1.07E+00	1.67E+00
	岩手	17	1.38E+00	5.20E-01	1.79E+00 ⁺	1.02E+00	4.39E-01	-4.29E-01	1.97E+00
	宮城	61	2.10E-01	-1.47E-01	-1.14E-03	-1.23E+00	-9.59E-01	5.22E-02	-7.88E-02
	秋田	11	1.48E-01	3.91E-01	1.86E+00	2.41E+00	9.94E-01	1.29E+00	2.00E+00
	山形	19	-2.24E-01	-9.38E-01	2.86E-01	1.05E+00	7.37E-01	1.29E-01	2.33E+00
	福島	28	-9.48E-01	-1.66E+00	3.46E-01	5.10E-01	1.52E+00	8.90E-01	1.77E+00
	茨城	62	-8.94E-02	2.98E-01	-6.90E-01	-7.94E-01	9.46E-01	-4.12E-01	-1.06E-01
	栃木	29	6.57E-01	7.98E-01	2.73E-01	-4.14E-01	1.57E+00 ⁺	9.39E-01	9.49E-01
	群馬	28	3.27E-01	3.20E-02	8.72E-01	7.69E-01	3.73E-01	-1.06E+00	1.41E+00
	山梨	11	-4.51E-02	-1.31E-01	-3.46E-01	-1.48E+00	-1.57E+00	-4.14E-01	8.05E-01
	長野	40	3.99E-01	2.58E-01	1.16E-01	-1.22E+00	-2.55E-01	6.10E-02	-2.41E-01
	埼玉	128	-1.25E+00	1.14E-01	-1.80E-01	1.87E-01	2.65E-01	-5.90E-01	9.93E-01
	千葉	103	9.12E-02	1.23E+00 ^{**}	-5.30E-01	-3.66E-01	-2.23E-01	1.33E+00 ⁺	3.64E+00 ^{***}
	神奈川	162	-2.29E+00	2.62E-01	1.07E+00	-3.25E-01	1.30E+00	-2.30E+00	8.43E-01
	新潟	42	4.69E-01	2.85E-01	1.58E+00	1.35E+00	-1.61E-01	5.26E-01	2.00E+00
	富山	19	8.91E-01	-1.17E+00	8.54E-01	8.27E-01	1.21E+00	1.73E-01	1.10E+00
	石川	22	7.72E-01	-9.03E-01	1.43E+00	6.30E-01	1.62E+00	1.67E+00	1.94E+00
	福井	13	-1.94E-01	6.74E-01	8.94E-02	-7.44E-02	-1.26E-01	-9.94E-01	1.28E+00
	岐阜	30	-9.97E-01	-1.09E-02	9.66E-01	2.92E-02	2.08E-01	2.35E-01	1.94E+00 ⁺
	静岡	66	-1.43E+00	-1.33E+00	1.27E-01	-6.47E-01	-7.00E-01	-1.38E+00	6.08E-01
	愛知	141	-1.57E+00 ⁺	8.09E-02	4.47E-01	-2.54E-01	-1.65E-01	-3.30E-01	4.88E-02
	三重	32	-8.10E-01	9.90E-02	2.64E-01	1.99E-01	3.08E-02	-1.02E-01	2.24E+00 [*]
	滋賀	30	7.97E-01	-9.98E-01	2.61E-01	-2.40E-01	7.91E-02	1.97E-01	9.56E-01
	京都	51	6.17E-01	1.03E-01	4.59E-01	1.35E+00	-4.78E-01	-5.25E-01	1.87E+00 ⁺
	大阪	149	-4.09E-01	1.36E-01	1.11E-01	-3.74E-01	-1.26E-01	-3.96E-01	1.26E+00
	兵庫	100	-9.38E-01	-3.45E-01	-3.90E-01	-1.34E+00	2.86E-01	-7.99E-01	3.10E-01
	奈良	25	-3.22E-01	-1.54E+00	3.17E-01	5.50E-01	6.44E-01	-1.11E+00	1.25E+00
	和歌山	13	1.02E+00	3.22E-01	1.64E+00	-1.68E+00	6.25E-03	1.76E+00 ⁺	3.96E+00 ^{**}
	鳥取	11	1.25E+00	-1.21E+00	1.52E+00	1.93E+00	-1.97E-01	1.73E+00	1.91E+00
	島根	4	1.08E+00	8.86E-01	1.15E+00	-2.73E+00	4.87E-01	1.85E+00	2.33E+00
	岡山	34	-1.04E+00	1.67E-01	-1.07E+00	-1.18E-01	-1.70E-01	-5.99E-01	1.11E+00
	広島	61	-1.54E+00	8.79E-01 ⁺	3.73E-01	5.55E-02	2.15E-01	-1.30E+00	8.65E-01
	山口	19	1.10E+00	7.31E-02	6.35E-01	1.06E-01	3.90E-01	1.91E+00 [*]	9.75E-01
	徳島	13	1.93E-02	-2.64E-01	1.92E+00 ⁺	7.01E-01	1.40E+00	1.35E-01	2.63E+00 ⁺
	香川	23	-1.15E+00	-2.17E-01	-2.70E-01	9.97E-01	1.57E+00	-3.40E-01	2.70E+00 ⁺
	愛媛	25	-4.63E-01	6.84E-01	1.14E+00	5.75E-01	2.87E-01	-1.58E+00	1.86E+00
	高知	8	1.64E+00	-9.56E-01	4.25E-01	1.93E+00	2.47E+00 [*]	1.56E-01	3.08E+00 ⁺
	福岡	127	-4.46E-01	2.45E-01	-1.10E+00	-1.22E+00	-2.73E-01	-1.50E-01	-9.16E-01
	佐賀	9	1.11E+00	4.74E-02	1.32E+00	1.88E+00	2.35E+00	3.04E-01	2.62E+00
	長崎	18	1.32E+00	4.20E-01	2.09E+00 [*]	7.39E-01	6.30E-01	1.25E+00	1.63E+00
	熊本	38	6.95E-02	5.99E-01	4.70E-01	1.22E+00	1.22E+00	-1.11E+00	5.09E-01
	大分	12	-9.29E-01	4.41E-01	8.46E-01	5.01E-01	1.24E+00	1.32E-01	1.55E+00
	宮崎	19	1.61E+00	3.18E-01	1.12E+00	1.49E-02	7.19E-01	-1.24E+00	1.99E+00
	鹿児島	21	7.88E-02	-3.10E-01	8.22E-01	-3.33E+00	1.92E+00 [*]	-2.42E+00	-2.24E+00
	沖縄	27	8.07E-01	-1.14E-01	1.27E+00	1.48E+00	7.12E-02	-6.59E-01	2.10E+00 ⁺
都市階級	大都市	745	7.76E-01	-1.21E-01	2.61E-01	6.48E-01	8.73E-01	-2.35E-01	1.00E+00
	中都市(15万人以上)	669	1.54E+00 ^{**}	1.36E-01	-3.44E-02	1.33E+00 ⁺	9.67E-01 ⁺	3.92E-01	1.32E+00 [*]
	小都市A(5万人以上)	590	1.28E+00 [*]	1.49E-01	-2.12E-01	1.29E+00 [*]	8.10E-01	7.04E-01	1.09E+00 ⁺

(令和4年度 有料配信鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など※	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など※	3. 美術※	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル※	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
職業	非正規職員・従業員	370	4.83E-01	2.39E-01	-7.44E-01	5.01E-02	3.06E-01	-3.25E-01	3.05E-01
	自営業主・自由業	147	9.83E-01 *	4.64E-01	-6.91E-01	-7.17E-01	8.15E-01	-1.67E-01	4.67E-01
	家族従業者	8	2.71E+00 *	9.70E-01	-4.77E-02	-1.66E+00	1.24E+00	1.21E+00	5.03E+00 ***
	主婦・主夫	366	7.27E-01	-2.47E-01	-1.02E-02	1.34E-01	-8.98E-01	-1.14E+00 *	1.52E+00 **
	学生	63	5.27E-01	8.35E-01	-4.84E-01	-2.66E+00 *	-1.53E+00	-1.03E+00	-1.23E+00
	リタイア・無職	412	5.36E-01	7.04E-01 *	7.63E-02	2.62E-01	7.17E-01	-7.44E-01	8.64E-01
	その他	3	2.80E+00	1.63E+00	2.90E+00	6.07E+00 **	3.07E+00	2.10E+00	3.94E+00
家族状況	核家族	1,516	-7.45E-02	-5.47E-01 *	-6.35E-01 *	-8.57E-01	2.78E-01	4.76E-01	-8.57E-01 *
	三世代家族	106	-2.16E-01	-7.16E-01 *	-1.20E+00 *	-3.84E-01	1.17E-01	-2.66E+00 *	7.33E-02
	その他同居家族	132	-5.61E-01	-9.93E-01 *	-8.37E-01	-2.55E-01	-2.24E-01	-2.82E-01	-4.54E-01
同居家族(未子)	未就学児	214	5.38E-01	-3.86E-01	4.32E-01	9.15E-01	-2.85E-01	-5.74E-01	-6.04E-01
	小学生	137	5.29E-01	-1.02E+00 *	7.81E-01	1.51E+00 *	9.19E-01	6.11E-01	-6.04E-01
	中学生	54	1.11E-01	-4.33E-01	7.11E-01	1.60E+00	-8.37E-01	9.13E-01	-1.65E-02
	高校生	71	1.51E-01	3.42E-01	-2.26E+00	2.95E-01	6.53E-01	5.26E-01	-1.49E+00
	高校卒業者	375	5.95E-01	4.49E-01	1.59E+00 ***	1.18E+00 *	-5.38E-02	1.60E+00 **	2.84E-01
	要介護・要介助者	148	9.62E-01 *	7.44E-01 *	1.52E+00 **	1.22E+00 *	8.12E-01	1.24E+00 *	3.10E-02
	その他	3	2.80E+00	1.63E+00	2.90E+00	6.07E+00 **	3.07E+00	2.10E+00	3.94E+00
健康状態	移動可能	522	1.90E-01	4.30E-01 *	2.67E-01	3.22E-01	7.10E-03	-5.03E-02	4.44E-01
	移動困難(通所含む)	30	8.95E-01	-2.00E-01	2.53E+00 ***	3.54E+00 ***	5.83E-01	1.57E+00 *	1.13E+00
年収	～100万円未満	98	5.97E-01	-1.58E+00 **	-1.19E+00	-1.46E+00	1.31E+00	1.50E-01	-2.60E+00 *
	～200万円未満	193	1.37E-01	-1.61E+00 ***	-1.83E-01	-4.68E-01	1.52E+00	-4.82E-01	-2.03E+00 *
	～300万円未満	298	1.51E+00 *	-6.67E-01 *	-4.91E-01	-7.40E-01	1.32E+00	-7.61E-01	-1.41E+00 *
	～400万円未満	348	1.26E+00 *	-6.18E-01 *	3.53E-01	-2.85E-01	1.83E+00 *	4.20E-01	-7.91E-01
	～500万円未満	296	-2.66E-01	-3.29E-01	1.55E-01	-4.29E-01	1.73E+00 *	-4.35E-01	-6.69E-01
	～600万円未満	219	-7.08E-01	-1.18E-01	3.76E-01	-1.68E+00 *	1.86E+00 *	-6.14E-01	-3.77E-01
	～700万円未満	185	7.83E-01	-1.29E-03	-2.72E-01	-7.54E-01	1.24E+00	-6.73E-01	-2.15E+00 *
	～800万円未満	186	1.30E-01	1.14E-02	-8.99E-01	-1.61E+00 *	2.89E+00 **	-5.81E-01	-7.05E-01
	～900万円未満	117	-6.53E-01	-5.28E-01	-1.38E+00	-1.14E+00	2.45E+00 *	-5.94E-01	-1.38E+00
	～1,000万円未満	97	1.61E+00 *	2.89E-02	-7.15E-01	-5.08E-01	1.12E+00	-2.44E-01	1.24E-01
学歴	小・中学校	56	-2.32E-01	2.40E-01	9.90E-02	7.05E-01	-2.97E-01	7.10E-01	3.09E-01
	高校・旧制中学校	732	-1.20E-01	2.22E-01	8.86E-02	5.00E-01	1.76E-01	4.31E-02	2.85E-01
	短大・高専	447	5.54E-02	-1.27E-02	-1.28E-01	2.72E-01	-1.52E-01	-8.58E-01 *	-6.51E-01
	大学院	104	-1.09E+00	3.32E-01	2.58E-01	1.92E-01	-1.18E+00	7.63E-01	3.94E-01
習い事	ピアノ等の楽器	612	2.33E-01	-6.43E-02	2.14E-01	-8.21E-02	9.81E-02	-2.66E-01	-2.87E-01
	コーラス・声楽	58	1.03E+00 *	4.48E-01	2.26E-01	1.51E-01	3.68E-01	7.48E-01	7.91E-01
	ダンス	61	6.43E-01	3.73E-01	1.69E+00 **	4.91E-01	1.72E+00 **	1.12E+00 *	2.05E+00 ***
	茶・華・書道の生活文化	790	-3.07E-01	-5.20E-02	5.36E-02	2.77E-01	-6.44E-01 *	-2.39E-01	9.83E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	7.88E-01 *	2.15E-01	1.14E+00 **	6.36E-01	6.10E-01	-1.65E-01	7.73E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	-3.71E-02	1.91E-01	-4.16E-01	-2.45E-02	1.06E-01	-1.50E-01	-5.85E-01 *
	水泳・野球等のスポーツ	652	4.89E-02	2.83E-01	3.18E-01	7.64E-01 *	-3.16E-01	1.79E-01	5.91E-02
到達可能施設	その他	0							
	ホール・劇場	1,506	9.72E-01 **	5.08E-01 *	-7.56E-01 *	-6.06E-01	3.28E-01	1.36E-01	-9.38E-01 *
	美術館	1,357	5.13E-01	-4.32E-02	1.41E+00 ***	3.49E-01	-6.51E-01 *	3.87E-01	2.74E-01
	博物館	1,148	-5.77E-02	1.37E-01	2.51E-01	6.17E-01	9.03E-01 *	5.10E-01	3.33E-01
同居家族女性×	映画館	1,853	-8.22E-01 *	-1.89E-01	-1.44E+00 ***	-1.13E+00 *	-7.12E-01 *	-7.69E-01 *	-6.01E-01
	未就学児	102	-2.32E+00 *	-3.03E-01	-1.44E+00	-3.42E-01	-3.83E-01	-8.77E-01	-1.50E+00
	小学生	55	-1.35E-01	1.38E+00 *	6.31E-02	-1.76E-01	-3.72E-01	-6.17E-01	4.89E-01
	中学生	20	-7.42E-01	-5.55E-02	1.30E+00	2.71E+00 *	7.20E-01	5.57E-02	-4.35E+00
	高校生	33	9.73E-02	8.29E-02	4.56E+00 *	3.43E+00 *	4.08E-03	-9.01E-01	1.31E+00
	高校卒業者	183	-1.22E+00	-3.22E-01	-7.88E-01	1.04E+00	-7.55E-01	-4.42E-01	-9.61E-02
	要介護・要介助者	77	-2.61E+00 *	-3.61E-01	-1.92E+00 *	-2.01E+00	-1.26E-01	-2.20E+00 *	-1.69E+00

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 有料配信鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
行動者率		2,267	1.10%	0.44%	0.75%	1.28%	0.31%	0.53%	16.45%
TjurのR ²		2,267	0.357	0.401	0.307	0.194	0.391	0.352	0.089
AIC		2,267	394.3	323.7	365.8	451.8	318.4	336.5	2031.7
切片		2,267	4.38E+00	3.90E-01	1.58E+00	4.71E+00	2.73E+00	1.22E+01 *	2.32E+00
性別	女性	1,090	-5.95E-01	-6.66E-01	5.28E-01	4.46E-01	1.41E-01	2.29E-01	5.38E-03
	年齢	2,267	-3.80E-01	-2.35E-01	-2.91E-01	-5.27E-01 +	-4.41E-01	-1.20E+00 **	-3.00E-01 *
	年齢の平方(2乗)	2,267	6.14E-03	2.81E-03	3.74E-03	1.17E-02 +	7.52E-03	2.48E-02 **	6.20E-03 *
	年齢の立方(3乗)	2,267	-3.37E-05	-7.09E-06	-1.42E-05	-8.27E-05 *	-3.86E-05	-1.65E-04 **	-4.17E-05 *
居住地	北海道	97	-1.66E+00	1.81E-01	-7.10E-01	-2.21E-01	2.83E-01	8.76E-01	-1.16E-02
	青森	16	-5.44E-01	1.44E+00	1.96E+00	6.01E-01	5.07E-01	2.83E+00 +	1.65E-02
	岩手	17	1.16E+00	1.23E+00	3.38E+00 **	-5.86E-02	1.19E+00	2.42E+00	4.07E-01
	宮城	61	8.18E-01	9.19E-01	9.17E-01	-8.75E-02	3.37E-01	2.01E+00 +	4.59E-01
	秋田	11	1.45E+00	2.26E+00	3.00E+00 +	1.11E+00	1.96E+00	3.13E+00 +	-1.43E+01
	山形	19	1.35E+00	1.04E+00	1.93E+00	3.46E-01	8.67E-01	3.27E+00 *	-1.45E+01
	福島	28	2.14E+00 *	1.55E+00	1.43E+00	1.39E+00	1.12E+00	2.43E+00 +	-2.36E-02
	茨城	62	-5.46E-01	-4.88E-01	2.15E+00 *	-8.97E-01	6.19E-03	8.09E-01	1.28E-01
	栃木	29	5.61E-01	1.09E+00	1.20E+00	-3.36E-01	5.45E-01	2.95E+00 *	9.65E-01 +
	群馬	28	1.06E+00	1.17E+00	2.02E+00	-1.40E-01	1.55E+00	2.04E+00	2.26E-01
	山梨	11	-1.36E+00	-5.56E-01	1.29E+00	-1.34E+00	-2.45E-01	1.43E+00	-2.67E-01
	長野	40	-2.91E-01	7.86E-02	1.64E-01	3.75E-01	1.18E+00	-1.90E-01	3.80E-01
	埼玉	128	-7.66E-02	-4.21E-01	-6.27E-04	-1.99E+00 +	-2.98E-01	9.49E-01	2.53E-01
	千葉	103	5.10E-01	6.17E-01	2.92E+00 **	-1.00E-01	5.07E-01	2.66E+00 *	7.78E-01 +
	神奈川	162	9.51E-01	-1.61E+00	-9.11E-01	-4.26E-01	9.03E-01	1.76E+00	-5.13E-01
	新潟	42	9.36E-02	1.64E+00	2.16E+00	1.12E+00	7.69E-01	1.81E+00	1.14E-01
	富山	19	-1.92E-01	9.26E-01	2.65E+00 +	2.49E-01	4.15E-01	2.90E+00 *	-1.12E-01
	石川	22	2.16E+00 +	8.68E-01	1.53E+00	-7.66E-02	2.95E-01	1.66E+00	-1.46E+01
	福井	13	1.73E-01	5.55E-01	2.02E+00	-1.22E+00	7.45E-01	1.61E+00	1.90E-01
	岐阜	30	6.91E-01	-1.42E-02	1.02E+00	-9.40E-02	3.04E-01	1.14E+00	-1.67E+00
	静岡	66	-5.43E-01	2.96E-01	7.73E-01	7.22E-01	2.99E-01	7.79E-01	4.15E-01
	愛知	141	-1.21E+00	9.53E-01	8.76E-01	-4.23E-01	4.22E-01	4.70E-01	5.49E-02
	三重	32	5.34E-01	2.24E+00 *	1.21E+00	4.18E-01	8.88E-01	2.60E+00 *	-1.22E-01
	滋賀	30	-2.84E-02	8.56E-01	1.51E+00	3.21E-02	7.18E-01	1.71E+00	-8.00E-02
	京都	51	1.16E+00	4.39E-01	1.75E+00 +	3.56E-01	1.69E+00 +	9.55E-01	-3.60E-01
	大阪	149	-1.41E+00	4.74E-01	1.56E+00 +	-1.66E+00	-2.63E-02	8.04E-01	8.32E-02
	兵庫	100	2.49E-01	-2.88E-01	1.64E+00 +	9.95E-01	9.44E-01	1.39E+00	1.58E-01
	奈良	25	7.75E-01	6.06E-01	1.08E+00	-1.67E-01	1.05E+00	1.72E+00	-6.49E-01
	和歌山	13	-1.21E+00	7.35E-01	2.05E+00	2.35E+00 *	-4.60E-01	3.46E+00 **	3.45E-01
	鳥取	11	9.47E-01	8.72E-01	2.57E+00	4.63E-01	7.83E-01	1.45E+00	1.60E-01
	島根	4	4.42E-01	1.70E+00	3.85E+00 +	7.11E-01	-1.88E-01	3.12E+00	6.32E-01
	岡山	34	1.54E-01	1.10E+00	1.34E+00	1.05E+00	9.19E-01	2.28E+00 +	1.06E+00 *
	広島	61	6.82E-02	5.94E-01	9.04E-01	8.03E-01	3.51E-01	1.11E+00	-3.04E-02
	山口	19	1.30E+00	1.38E+00	1.67E+00	3.87E-01	1.59E+00	1.53E+00	3.09E-01
	徳島	13	-1.22E-01	2.74E+00 *	2.68E+00 +	4.09E-01	1.38E+00	2.68E+00 +	-6.86E-01
	香川	23	1.88E+00 +	1.16E+00	1.80E+00	-8.72E-01	1.35E+00	1.76E+00	4.16E-01
	愛媛	25	1.71E+00 +	2.16E-01	5.23E-01	-2.18E-01	6.95E-01	2.27E+00	-9.01E-01
	高知	8	9.81E-01	2.42E+00	2.49E+00	-1.63E-01	1.31E+00	3.41E+00 *	7.19E-01
	福岡	127	1.98E-01	-4.62E-01	8.55E-01	-1.74E+00	-3.34E-01	-2.66E-01	2.71E-01
	佐賀	9	2.42E+00	1.80E+00	4.05E+00 *	9.19E-01	8.34E-01	4.35E+00 **	-1.49E+01
	長崎	18	1.37E+00	1.11E+00	2.10E+00	1.49E+00	4.53E-01	2.65E+00 *	9.89E-01 +
	熊本	38	-9.30E-01	7.61E-01	1.27E+00	7.17E-01	7.57E-01	1.38E+00	3.80E-01
	大分	12	1.40E+00	1.20E+00	2.11E+00	4.81E-01	1.72E+00	2.24E+00	7.55E-01
	宮崎	19	1.02E+00	-9.85E-03	1.58E+00	7.47E-02	5.70E-01	2.30E+00	2.36E-01
	鹿児島	21	6.43E-01	5.22E-01	2.07E+00	-3.88E-01	9.92E-01	3.40E+00 **	2.80E-01
	沖縄	27	2.09E-01	4.55E-01	3.65E+00 **	8.48E-01	3.69E-01	1.52E+00	4.77E-01
都市階級	大都市	745	3.39E-02	-4.77E-01	8.23E-01	-9.54E-01 +	-1.59E+00 **	4.13E-01	-1.51E-01
	中都市(15万人以上)	669	1.01E-01	1.67E-01	8.55E-01	-9.51E-01 *	-1.06E+00 *	5.37E-01	-2.31E-01
	小都市A(5万人以上)	590	-2.40E-01	3.65E-01	6.53E-01	-4.31E-01	-6.94E-01	1.89E-01	1.08E-01

(令和4年度 有料配信鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	370	6.17E-01	-6.34E-01	-3.42E-01	-3.80E-01	-4.86E-02	1.32E+00 **	5.76E-02
	自営業主・自由業	147	3.56E-01	-1.89E-01	-9.73E-01	3.40E-01	-6.82E-01	-5.89E-01	-4.98E-01 +
	家族従業者	8	1.52E+00	1.15E+00	1.37E+00	1.90E+00	1.17E+00	2.48E+00	-1.74E-02
	主婦・主夫	366	-1.45E-01	-3.10E-01	-4.38E-01	-8.33E-01	-2.59E-01	4.13E-01	-4.21E-01
	学生	63	-1.10E+00	-2.32E-01	-2.37E+00 *	2.69E-01	-1.36E+00	-1.35E+00	-1.07E+00 *
	リタイア・無職	412	4.64E-01	-5.40E-01	-1.57E-01	-3.47E-01	-6.89E-01	1.73E+00 **	-1.44E-01
	その他	3	3.95E+00 +	2.86E+00	-8.49E-02	1.34E+00	2.77E+00	3.37E+00	-1.52E+01
家族状況	核家族	1,516	-1.47E-01	-4.19E-01	-4.45E-02	2.68E-01	6.50E-01	-1.10E+00 *	-5.22E-02
	三世代家族	106	7.34E-01	-9.05E-01	-4.31E-01	8.11E-01	9.95E-01	-9.31E-01	-4.58E-01
	その他同居家族	132	-1.98E-01	5.17E-01	9.83E-01	3.10E-01	1.43E+00 *	-1.08E-01	1.36E-01
同居家族(未子)	未就学児	214	-5.95E-01	9.01E-01	-1.25E+00	-5.46E-01	1.05E+00	3.84E-01	-1.66E-02
	小学生	137	-3.13E-01	1.47E+00 +	2.28E-01	6.64E-02	5.89E-01	-1.95E-01	1.47E-01
	中学生	54	-1.19E+00	1.01E+00	9.83E-01	1.39E-01	1.63E+00	8.85E-01	4.93E-01
	高校生	71	-9.32E-01	1.43E+00	1.52E+00	-6.05E-01	8.44E-01	4.38E-01	-1.45E+00 +
	高校卒業者	375	1.13E+00 +	1.06E+00	1.17E+00 *	3.25E-01	1.53E-01	1.29E+00 *	6.08E-01 **
	要介護・要介助者	148	-4.05E-01	-9.46E-02	8.39E-01	-3.13E-01	9.71E-01	1.07E+00	4.46E-01
健康状態	移動可能	522	2.00E-01	6.23E-01	1.71E-01	4.14E-01	-1.54E-01	3.66E-02	8.50E-02
	移動困難(通所含む)	30	1.48E+00 +	1.21E+00	1.39E+00 +	-1.11E+00	1.73E+00 *	5.87E-01	3.51E-01
年収	～100万円未満	98	-6.54E-01	-7.44E-01	-7.39E-01	-1.45E+00	7.65E-01	-1.37E+00	1.59E-02
	～200万円未満	193	-1.89E+00 +	2.45E-01	-1.65E+00 +	-5.12E-01	-6.42E-01	-4.98E-01	-3.79E-01
	～300万円未満	298	-1.81E+00 *	-7.28E-02	-5.70E-01	-1.24E+00 +	5.24E-02	-5.10E-01	-3.28E-01
	～400万円未満	348	-9.94E-01 +	4.44E-01	-8.99E-01	6.61E-01	7.06E-02	1.03E+00	-2.55E-01
	～500万円未満	296	-6.13E-01	-7.31E-01	-1.43E+00 *	-5.72E-01	-8.46E-01	1.62E+00 *	-1.46E-01
	～600万円未満	219	-7.36E-01	-6.71E-01	-1.03E+00	-6.43E-01	-1.22E+00	-2.79E-01	-1.38E-01
	～700万円未満	185	2.09E-01	3.36E-01	-7.58E-01	-9.67E-01	-8.58E-01	1.47E+00 +	-2.75E-01
	～800万円未満	186	-5.47E-01	-5.63E-01	-1.33E+00 +	-6.46E-01	-1.04E+00	7.57E-01	-1.69E-01
	～900万円未満	117	-3.35E-01	-9.64E-01	-2.70E-01	-7.28E-01	-9.06E-01	2.81E-01	1.01E-01
	～1,000万円未満	97	-9.50E-01	5.67E-01	-9.70E-01	-8.47E-01	-6.81E-01	1.58E+00 +	-3.25E-01
学歴	小・中学校	56	5.95E-01	-1.69E-01	-4.24E-01	-4.93E-02	6.27E-01	8.06E-01	-4.30E-01
	高校・旧制中学校	732	-1.11E-01	-1.24E-01	3.57E-01	3.26E-02	3.90E-02	7.64E-02	-1.68E-01
	短大・高専	447	7.00E-01 +	-3.96E-01	-1.11E+00 +	-1.43E+00 *	1.46E-01	4.78E-01	1.13E-01
	大学院	104	-1.13E-01	4.54E-01	6.28E-01	7.85E-01	1.05E+00 +	9.11E-01	-3.05E-01
習い事	ピアノ等の楽器	612	3.22E-01	-7.05E-01	-3.55E-01	-2.74E-02	-4.59E-01	-1.12E-01	5.53E-02
	コーラス・声楽	58	1.27E+00 +	5.87E-01	3.32E-01	1.60E-02	3.98E-01	-1.34E+00	1.34E-01
	ダンス	61	1.47E+00 *	1.40E+00 *	1.47E+00 *	1.66E+00 **	8.75E-01	1.15E+00 +	3.41E-02
	茶・華・書道の生活文化	790	4.81E-01	7.01E-01 +	-4.13E-01	2.09E-03	6.61E-01 +	2.29E-01	6.42E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	8.90E-02	2.60E-01	1.03E+00 +	9.15E-01 +	-2.42E-01	4.17E-01	-1.63E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	-3.06E-01	-4.78E-01	-1.10E-01	-3.85E-01	1.55E-01	4.28E-01	2.12E-02
	水泳・野球等のスポーツ	652	5.26E-01	1.14E+00 **	-3.98E-01	5.65E-01 +	5.10E-01	5.84E-01	4.07E-01 **
到達可能施設	その他	0							
	ホール・劇場	1,506	-6.93E-01 +	-1.83E-01	-1.17E+00 **	1.10E-01	-4.70E-01	1.33E-01	-2.94E-01 +
	美術館	1,357	6.37E-01	-3.03E-01	1.70E+00 ***	6.11E-01	1.18E+00 *	-1.44E-01	1.85E-02
	博物館	1,148	2.22E-01	1.26E+00 **	-4.06E-01	8.61E-01 *	3.79E-01	3.21E-01	1.80E-01
同居家族女性×	映画館	1,853	-1.30E+00 **	-8.98E-01 *	-7.69E-01 +	-1.20E+00 **	-7.74E-01 +	-1.20E+00 **	1.10E+00 ***
	未就学児	102	-4.61E-02	3.03E-01	2.75E-01	-1.05E+00	-4.00E-01	-4.01E-01	1.60E-01
	小学生	55	1.37E+00	-1.30E-01	6.53E-01	-6.06E-01	1.01E+00	-3.24E-01	-1.41E-01
	中学生	20	2.73E+00	1.69E+00	8.67E-01	-2.79E+00	1.01E+00	1.07E-01	-1.73E-01
	高校生	33	2.35E+00	8.79E-01	9.32E-01	9.69E-01	6.53E-01	1.22E-01	6.93E-01
	高校卒業者	183	-4.28E-02	1.17E+00	6.56E-03	-6.16E-01	7.34E-01	-1.24E+00	-8.08E-01 *
	要介護・要介助者	77	1.07E+00	3.20E-01	-1.32E+00	-2.06E+00	-1.49E+00	-7.95E-01	-6.25E-01

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和4年度 有料配信鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡※	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り※	20. 直接鑑賞
行動者率		2,267	10.06%	1.19%	0.88%	0.40%	28.01%
TjurのR ²		2,267	0.107	0.130	0.183	0.293	0.131
AIC		2,267	1458.1	464.5	410.2	333.8	2591.7
切片		2,267	4.06E+00	5.48E+00	-2.30E-01	-1.18E+01 **	3.59E+00 *
性別	女性	1,090	-2.49E-01	-8.64E-01 +	-3.94E-01	-3.06E-01	2.60E-01 +
年齢	年齢	2,267	-3.71E-01 *	-6.08E-01 *	-2.51E-01	3.90E-01	-2.61E-01 *
	年齢の平方(2乗)	2,267	7.77E-03 +	1.24E-02 *	4.16E-03	-8.55E-03 +	5.17E-03 *
	年齢の立方(3乗)	2,267	-5.70E-05 *	-7.92E-05 *	-2.12E-05	5.51E-05 +	-3.57E-05 *
居住地	北海道	97	4.48E-01	1.41E+00 +	8.03E-01	1.59E+00	-2.06E-02
	青森	16	-1.50E+01	8.15E-01	6.23E-01	3.39E+00 *	-7.19E-01
	岩手	17	6.35E-01	2.56E+00 *	1.99E+00 +	4.40E+00 **	-2.37E-01
	宮城	61	5.49E-01	1.04E+00	1.15E+00	1.92E+00	1.33E-01
	秋田	11	-1.46E+01	1.60E+00	1.06E+00	3.05E+00	-1.10E+00
	山形	19	-4.03E-01	1.59E+00	1.49E+00	3.66E+00 *	-1.01E+00
	福島	28	-1.35E-01	7.08E-01	3.97E-01	2.39E+00	-1.08E+00
	茨城	62	4.51E-01	1.28E+00	8.79E-01	2.14E+00	3.68E-01
	栃木	29	1.93E-01	7.02E-01	4.00E-01	3.54E+00 *	3.99E-01
	群馬	28	4.23E-01	7.68E-01	1.11E+00	2.15E+00	5.36E-02
	山梨	11	2.10E-01	7.76E-01	-2.45E-02	2.16E+00 +	-1.66E-01
	長野	40	1.25E-02	-3.88E-01	-3.75E-01	1.37E+00	2.86E-01
	埼玉	128	4.14E-01	7.15E-01	9.69E-01	1.89E+00	3.81E-02
	千葉	103	6.38E-01	6.44E-01	2.98E-01	2.61E+00 +	8.29E-01 *
	神奈川	162	-1.55E+01	1.72E+00	1.11E+00	3.14E+00 +	-1.02E+00
	新潟	42	-8.93E-01	2.36E+00 *	5.56E-01	2.33E+00	4.82E-01
	富山	19	-4.60E-01	1.18E+00	-2.24E-02	3.42E+00 +	-5.14E-01
	石川	22	-1.50E+01	1.60E+00	7.38E-01	3.88E+00 *	-1.27E+00
	福井	13	-3.14E-01	1.16E+00	1.04E+00	3.69E+00 **	-1.86E-01
	岐阜	30	-1.30E+00	1.72E+00	5.83E-01	3.13E+00 *	-2.09E-01
	静岡	66	7.26E-02	1.95E-01	-1.16E-01	1.53E+00	-1.77E-01
	愛知	141	9.71E-02	1.21E+00	3.22E-01	1.11E+00	1.05E-01
	三重	32	-7.95E-01	1.71E+00	1.40E+00	4.25E+00 ***	-2.55E-01
	滋賀	30	-2.85E-01	2.03E+00 *	1.18E+00	2.50E+00	-6.51E-01
	京都	51	-3.60E-01	1.74E+00 +	1.20E+00	2.12E+00	-3.22E-01
	大阪	149	-9.66E-02	2.59E-01	2.33E-01	1.06E+00	2.29E-02
	兵庫	100	-6.00E-02	-2.36E-01	5.19E-01	1.36E+00	-4.03E-01
	奈良	25	-1.12E-01	1.16E+00	1.15E+00	2.89E+00 +	-1.54E+00 *
	和歌山	13	1.02E+00	2.15E+00 +	8.43E-01	2.56E+00	-6.32E-01
	鳥取	11	-3.28E-01	1.58E+00	1.65E+00	3.57E+00 *	-2.05E-01
	島根	4	8.00E-01	7.85E-01	1.27E+00	-8.18E-01	-3.82E-01
	岡山	34	8.84E-01	3.26E-01	1.50E-01	2.40E+00	2.34E-01
	広島	61	-2.40E-01	1.42E+00	1.40E+00	3.31E+00 **	7.19E-02
	山口	19	2.25E-01	9.13E-01	5.09E-01	2.81E+00 +	4.98E-01
	徳島	13	2.25E-02	1.82E+00	1.63E+00	3.61E+00 *	-3.58E-01
	香川	23	4.62E-01	7.93E-01	3.43E-01	3.05E+00 +	-3.56E-01
	愛媛	25	-5.16E-01	1.33E+00	-5.18E-03	3.78E+00 **	-6.50E-01
	高知	8	-1.54E+01	1.92E+00	2.94E+00 *	4.20E+00 *	7.52E-01
	福岡	127	2.93E-01	5.02E-01	7.31E-01	1.44E+00	1.12E-01
	佐賀	9	-1.50E+01	2.13E+00	2.87E+00 *	3.93E+00 *	-1.06E+00
	長崎	18	5.91E-01	2.01E+00 +	1.09E+00	3.55E+00 *	8.02E-01
	熊本	38	5.81E-01	9.10E-01	1.09E+00	2.71E+00 +	7.09E-02
	大分	12	3.26E-01	1.29E+00	1.45E+00	3.00E+00	2.06E-01
	宮崎	19	3.70E-01	1.21E+00	4.91E-01	3.14E+00 +	-1.13E-01
	鹿児島	21	5.95E-01	6.98E-01	1.26E+00	2.34E+00	3.38E-01
	沖縄	27	-4.43E-02	5.05E-01	1.70E-01	3.18E+00 *	4.66E-01
都市階級	大都市	745	-2.89E-01	-7.72E-01	-1.31E+00 *	6.28E-01	-1.34E-01
	中都市(15万人以上)	669	-7.78E-02	-2.87E-01	-5.59E-01	8.71E-01	2.56E-03
	小都市A(5万人以上)	590	-7.34E-02	-6.53E-01	-6.63E-01	7.05E-01	6.94E-02

(令和4年度 有料配信鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡※	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り※	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	370	3.92E-01 ⁺	-8.38E-01	-1.31E+00 ⁺	-1.10E+00 ⁺	1.37E-02
	自営業主・自由業	147	-2.05E-01	9.05E-02	1.54E-01	-5.64E-01	-3.52E-02
	家族従業者	8	-1.43E+01	1.19E+00	1.62E+00	3.05E+00 [*]	1.16E+00
	主婦・主夫	366	-1.83E-01	8.23E-01	2.62E-01	-4.33E-01	-4.91E-01 [*]
	学生	63	-9.35E-01 ⁺	-1.23E+00	-1.35E+00	-4.60E-01	-1.87E-01
	リタイア・無職	412	4.74E-01	1.51E-01	2.47E-01	-5.35E-01	3.84E-02
	その他	3	-1.43E+01	2.03E+00	1.24E+00	4.41E+00 [*]	-1.19E+01
家族状況	核家族	1,516	-4.98E-01 [*]	2.54E-01	2.02E-01	-2.71E-01	-1.02E-01
	三世代家族	106	-1.05E+00 [*]	7.73E-01	2.36E-01	8.89E-01	-8.52E-02
	その他同居家族	132	-3.84E-01	7.76E-01	-4.34E-01	3.39E-01	-1.54E-01
同居家族(末子)	未就学児	214	2.99E-01	-1.06E+00	-9.65E-01	-1.22E+00	-9.89E-02
	小学生	137	7.59E-01 [*]	-1.11E+00	-1.97E+00	-7.88E-01	-3.42E-02
	中学生	54	5.71E-01	-2.88E-01	-7.87E-01	6.82E-01	1.99E-01
	高校生	71	7.07E-02	-6.70E-01	-1.52E-01	5.38E-01	-4.69E-01
	高校卒業者	375	4.96E-01	5.07E-01	-3.78E-02	2.29E-01	5.11E-01 [*]
	要介護・要介助者	148	2.78E-01	7.64E-01	2.40E-01	6.04E-01	4.02E-01
健康状態	移動可能	522	-1.42E-02	-7.22E-01 ⁺	-8.13E-01 [*]	-4.01E-01	8.64E-02
	移動困難(通所含む)	30	2.20E-01	1.58E+00 [*]	1.20E+00 ⁺	-4.19E-02	1.48E+00 ^{**}
年収	～100万円未満	98	-3.23E-01	3.30E-01	1.47E+00	7.77E-01	-5.26E-01
	～200万円未満	193	-5.40E-01	-2.40E-01	9.78E-01	4.03E-01	-6.98E-01 [*]
	～300万円未満	298	-8.25E-01 [*]	3.04E-01	7.88E-01	4.32E-01	-4.53E-01 ⁺
	～400万円未満	348	-4.59E-01	1.61E-01	1.29E+00	4.10E-01	-2.75E-01
	～500万円未満	296	-1.11E-01	-8.29E-02	8.99E-01	-8.59E-01	-3.88E-01 ⁺
	～600万円未満	219	-5.20E-01	-4.33E-01	1.64E+00 [*]	7.18E-01	-1.05E-01
	～700万円未満	185	-3.86E-01	-3.19E-01	9.21E-01	-8.61E-01	-2.06E-01
	～800万円未満	186	-4.50E-03	3.80E-01	1.85E+00 [*]	4.51E-01	-4.30E-02
	～900万円未満	117	-8.92E-03	-6.20E-01	1.11E+00	-4.16E-01	-2.02E-01
学歴	～1,000万円未満	97	-3.12E-01	-1.99E-01	6.29E-01	1.72E-02	-2.59E-01
	小・中学校	56	-9.28E-02	-7.45E-01	-2.17E-01	2.62E-01	-7.56E-02
	高校・旧制中学校	732	1.25E-01	-1.03E+00 ^{**}	-9.55E-01 ^{**}	-8.00E-01 ⁺	-3.00E-02
	短大・高専	447	9.34E-02	-8.30E-01 ⁺	-7.32E-01 ⁺	-9.48E-01 ⁺	7.14E-02
	大学院	104	-4.54E-01	-6.19E-02	-1.15E+00	-4.09E-01	3.29E-02
	ピアノ等の楽器	612	1.65E-02	-7.12E-02	-3.72E-01	2.21E-01	-5.19E-02
	コーラス・声楽	58	7.87E-01 ⁺	1.15E+00 ⁺	9.98E-01	8.33E-01	4.71E-01
	ダンス	61	1.08E-01	4.52E-01	5.02E-01	7.94E-01	6.08E-01 [*]
	茶・華・書道の生活文化	790	-5.23E-03	6.40E-02	-1.75E-01	-1.53E-01	4.32E-02
習い事	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	-1.20E-01	-8.96E-01	-1.14E-01	7.78E-01	1.19E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	-1.71E-01	-2.65E-01	9.71E-02	-2.87E-01	9.93E-03
	水泳・野球等のスポーツ	652	4.64E-01 ^{**}	3.55E-01	1.70E-01	2.76E-01	3.97E-01 ^{**}
	その他	0					
到達可能施設	ホール・劇場	1,506	1.10E-01	5.17E-02	-4.31E-01	6.09E-01	-1.05E-02
	美術館	1,357	5.06E-02	2.92E-01	7.15E-01 ⁺	-2.68E-02	2.00E-01
	博物館	1,148	7.46E-02	3.40E-01	1.10E+00 ^{**}	-2.53E-01	1.14E-01
	映画館	1,853	5.03E-01 ⁺	-2.64E-01	-1.96E-01	4.61E-01	8.84E-02
同居家族女性×	未就学児	102	-3.08E-02	1.60E+00	-2.47E-01	9.42E-01	-4.59E-01
	小学生	55	-5.83E-01	1.33E+00	2.15E+00	1.57E+00	2.37E-01
	中学生	20	-3.91E-01	3.06E-01	1.97E+00	-2.80E-01	-6.40E-02
	高校生	33	-1.31E+00	1.27E+00	1.15E+00	5.39E-01	1.48E-01
	高校卒業者	183	-7.11E-01	-5.44E-01	1.05E-01	-3.92E-02	-5.52E-01 ⁺
	要介護・要介助者	77	-1.16E+00	-1.44E+00	-7.58E-01	-5.93E-01	-5.00E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, †は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

注3) 種別の「19. その他」は、行動者率が低く、Firthの手法でも推計できなかったため表示していない。

付表 5.4 令和 4 年度調査 実践・支援活動 ロジスティック回帰分析結果表
(令和 4 年度 実践・支援 4 の 1)

		サンプル・サイズ	1. 文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作※	2. マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作※	3. 音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など※	4. 音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事※	5. 茶道・華道・書道などの習い事※	6. 伝統的な食文化の継承活動への参加※	7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加※
行動者率		2,267	2.51%	1.85%	2.56%	2.73%	2.51%	1.28%	3.62%
TjurのR ²		2,267	0.146	0.196	0.171	0.213	0.182	0.327	0.174
AIC		2,267	638.6	526.4	616.7	615.0	608.8	411.0	751.5
切片		2,267	2.67E+00	-5.08E+00	4.09E+00	-5.58E+00	4.83E+00	1.00E+00	1.19E+00
性別	女性	1,090	2.01E-01	-1.37E-01	-6.44E-02	1.51E-01	5.72E-01	-3.33E-01	-4.43E-01
	年齢	2,267	-4.61E-01 *	1.66E-01	-4.66E-01 *	1.49E-01	-5.08E-01 *	-2.65E-01	-1.65E-01
	年齢の平方(2乗)	2,267	8.64E-03 *	-3.99E-03	8.48E-03 +	-3.85E-03	8.35E-03 *	3.03E-03	1.21E-03
	年齢の立方(3乗)	2,267	-5.08E-05 +	2.55E-05	-4.74E-05 +	2.59E-05	-4.18E-05 +	-8.74E-06	3.24E-06
居住地	北海道	97	-1.37E+00	-1.06E+00	-3.70E-01	-5.21E-01	6.51E-01	3.70E-01	8.24E-01
	青森	16	-3.31E-01	-1.92E-01	2.19E-01	-1.11E-01	9.42E-01	2.11E+00	-6.47E-01
	岩手	17	6.41E-01	1.21E+00	5.58E-01	-1.63E-01	1.51E+00	2.56E+00 +	3.96E-01
	宮城	61	-9.86E-01	-1.22E+00	-3.36E-01	-8.45E-01	3.31E-01	-2.44E-01	2.75E-02
	秋田	11	1.34E+00	-7.45E-02	1.33E+00	4.93E-02	1.22E+00	3.03E+00 +	7.59E-01
	山形	19	4.28E-01	8.88E-01	5.04E-01	3.09E-01	2.02E+00 +	2.38E+00 +	3.38E-01
	福島	28	1.18E+00	-2.85E-01	7.37E-01	-1.87E-01	1.72E+00 +	9.52E-01	3.14E-01
	茨城	62	7.41E-01	5.54E-01	4.08E-01	1.12E-01	-6.17E-02	2.22E+00 *	4.52E-01
	栃木	29	3.54E-01	-2.41E-01	-7.62E-01	-6.01E-01	3.93E-03	1.59E+00	2.46E-01
	群馬	28	1.37E+00	6.11E-01	2.16E-01	-8.00E-01	1.62E+00 +	9.91E-01	-8.69E-01
	山梨	11	1.04E+00	3.85E-01	6.36E-01	-2.41E+00 +	-1.39E+00	-5.53E-01	-1.76E-01
	長野	40	8.04E-01	-1.07E-01	-7.24E-03	-5.32E-01	1.27E+00 +	9.67E-01	-4.58E-01
	埼玉	128	6.81E-01	3.22E-01	7.72E-01	-1.91E-01	7.39E-01	1.21E-01	-8.06E-01
	千葉	103	1.22E-01	-1.67E-01	1.13E+00	1.52E-01	1.62E+00 *	2.45E+00 *	9.04E-01
	神奈川	162	-6.63E-01	1.51E-01	8.19E-01	-2.60E-01	-1.19E-01	-1.88E+00	-1.34E+00
	新潟	42	1.13E+00	-9.19E-01	1.27E+00	1.17E+00	1.16E+00	2.79E+00 *	7.77E-01
	富山	19	1.10E+00	5.40E-01	1.61E+00	6.24E-01	2.59E+00 **	1.23E+00	1.13E+00
	石川	22	2.22E+00 *	7.07E-01	8.34E-01	4.53E-01	2.18E+00 *	2.57E+00	1.55E+00 +
	福井	13	5.18E-01	-1.07E+00	1.13E+00	-1.27E+00	1.13E+00	1.99E+00 +	5.34E-01
	岐阜	30	2.40E-01	-7.74E-01	6.30E-01	3.14E-01	-4.78E-01	2.01E+00 +	-1.27E+00
	静岡	66	1.07E+00	3.08E-01	8.86E-01	-8.45E-01	-6.69E-01	-2.36E-01	-1.29E-01
	愛知	141	8.57E-01	-2.04E-01	1.10E+00	5.07E-02	-7.44E-02	1.10E+00	-9.04E-01
	三重	32	1.29E+00	6.46E-01	1.38E+00	-2.20E-01	6.91E-01	1.23E+00	5.05E-01
	滋賀	30	2.12E+00 **	-4.89E-01	1.24E+00	1.69E+00 *	1.55E+00 +	5.34E-01	1.08E+00
	京都	51	1.76E+00 **	2.13E-01	2.30E+00 ***	1.11E+00 +	4.57E-01	1.73E+00 +	-2.05E-01
	大阪	149	1.45E+00 **	9.67E-02	3.27E-01	2.91E-01	-2.49E-01	1.66E+00 *	4.04E-01
	兵庫	100	9.84E-01	1.99E-01	1.84E+00 **	-1.22E+00	1.04E+00	1.03E+00	-8.03E-01
	奈良	25	1.97E+00 *	-1.89E-01	5.97E-01	-7.01E-01	-1.26E-01	1.73E+00	1.09E-01
	和歌山	13	5.15E-01	4.56E-01	1.25E+00	2.71E-01	5.84E-01	1.54E+00	4.46E-01
	鳥取	11	1.37E+00	-5.27E-01	-2.60E-01	-6.62E-02	8.50E-01	3.01E+00 *	-1.60E+00
	島根	4	1.60E+00	1.51E+00	6.29E-01	7.87E-01	1.14E+00	-3.07E+00	4.31E-01
	岡山	34	1.21E+00	8.42E-01	1.33E+00	-4.70E-01	1.05E+00	1.52E+00	-1.15E+00
	広島	61	5.54E-01	3.65E-01	-7.33E-01	-1.28E+00	8.60E-01	2.08E+00 *	6.73E-02
	山口	19	9.71E-01	-5.46E-01	2.22E-01	1.23E+00	4.08E-01	1.01E+00	5.01E-01
	徳島	13	1.67E+00	1.28E+00	-1.56E+00	4.16E-01	2.41E+00 *	3.78E+00 **	8.74E-01
	香川	23	1.19E+00	6.45E-02	1.15E+00	9.14E-01	1.91E+00 *	1.24E+00	3.07E-01
	愛媛	25	1.31E+00	-8.13E-01	-3.59E-01	1.11E+00	1.77E+00 *	1.17E+00	-1.40E+00
	高知	8	2.97E+00 **	-3.80E-01	2.39E+00 *	3.05E+00 **	3.29E+00 **	3.04E+00 +	-3.53E-01
	福岡	127	8.63E-01	-8.61E-01	7.84E-01	-1.27E-01	-4.53E-01	8.33E-02	-4.69E-01
	佐賀	9	1.95E+00	8.02E-01	5.99E-01	3.44E-01	9.14E-01	3.35E+00 *	-5.42E-01
	長崎	18	5.21E-01	6.91E-01	3.02E+00 ***	1.16E+00	1.51E+00	2.58E+00 +	-5.06E-01
	熊本	38	5.14E-02	-1.69E+00	-2.01E-01	-1.19E+00	7.78E-01	1.32E+00	-4.11E-01
	大分	12	1.24E+00	1.34E+00	1.77E+00	1.27E+00	9.95E-01	1.07E+00	-6.67E-01
	宮崎	19	7.70E-01	-4.28E-02	8.31E-01	6.84E-02	5.68E-01	1.33E+00	-6.97E-01
	鹿児島	21	-3.09E-01	-3.22E-01	7.93E-01	-1.40E+00	6.24E-01	2.95E+00 **	1.24E+00
	沖縄	27	-1.91E+00	-8.13E-01	1.48E+00	-1.06E+00	-1.11E+00	2.89E+00 **	-9.08E-01
都市階級	大都市	745	-6.70E-01 +	-9.89E-02	-6.97E-01	-2.55E-01	2.50E-02	1.05E+00	-6.56E-01
	中都市(15万人以上)	669	-1.16E+00 **	2.43E-01	6.35E-02	2.71E-01	-1.30E-01	1.85E+00 **	2.71E-02
	小都市A(5万人以上)	590	-1.28E+00 ***	-5.87E-01	3.20E-02	5.89E-02	3.25E-01	1.02E+00	-3.51E-01

(令和4年度 実践・支援 4の2)

		サンプル・サイズ	1. 文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作※	2. マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作※	3. 音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など※	4. 音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事※	5. 茶道・華道・書道などの習い事※	6. 伝統的な食文化の継承活動への参加※	7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加※
職業	非正規職員・従業員	370	-7.17E-01 ⁺	4.00E-01	-1.92E-01	5.46E-02	-4.90E-01	-2.76E-01	7.86E-02
	自営業主・自由業	147	8.21E-01 ⁺	8.49E-01 ⁺	1.22E+00 ^{**}	7.64E-01	-1.50E-02	2.40E-02	2.32E-01
	家族従業者	8	8.51E-01	7.98E-01	2.16E-01	9.78E-01	1.22E-01	1.27E-01	-6.21E-01
	主婦・主夫	366	-1.08E-01	1.76E-01	5.72E-01	9.82E-01 [*]	4.47E-02	-2.02E-01	-3.61E-01
	学生	63	-5.66E-01	4.74E-01	-2.19E-01	-8.14E-01	-1.08E+00	-1.75E+00 ⁺	-1.26E+00
	リタイア・無職	412	-9.28E-01 ⁺	-1.75E+00 [*]	-7.65E-02	3.54E-01	-9.36E-01 ⁺	6.00E-01	-2.87E-01
	その他	3	1.46E+00	3.39E+00	3.74E+00 [*]	3.13E+00	1.76E+00	5.12E+00 [*]	2.92E+00 [*]
家族状況	核家族	1,516	-1.69E-01	7.28E-02	-3.38E-01	-8.11E-02	-1.68E-01	6.78E-02	1.08E-01
	三世代家族	106	-1.02E-01	-2.93E-01	-2.43E+00 [*]	5.30E-01	-6.85E-01	2.38E-01	-8.23E-02
	その他同居家族	132	-8.49E-01	-3.55E-01	-3.32E-01	-1.13E+00	-3.52E-01	-3.33E-01	3.34E-01
同居家族(末子)	未就学児	214	-6.65E-01	5.41E-01	9.81E-01 ⁺	3.81E-01	5.40E-01	1.78E-01	9.15E-01 [*]
	小学生	137	-1.71E+00	-1.03E-01	9.45E-01	3.92E-01	-8.56E-01	4.32E-04	4.45E-01
	中学生	54	-4.66E-01	-9.43E-01	-5.31E-01	-6.98E-01	3.27E-01	9.52E-01	3.06E-01
	高校生	71	1.13E-01	-3.50E-01	4.72E-01	6.40E-01	-9.96E-02	3.78E-01	4.52E-01
	高校卒業者	375	-8.46E-02	-3.69E-01	6.10E-01	-1.43E+00	-1.90E-01	4.31E-01	2.40E-01
	要介護・要介助者	148	8.21E-01	1.58E+00 ^{**}	5.45E-01	2.55E-01	5.59E-01	2.29E-01	5.02E-01
健康状態	移動可能	522	2.17E-01	2.15E-01	-7.88E-02	-6.29E-01 ⁺	-1.87E-01	-3.57E-01	4.84E-01 ⁺
	移動困難(通所含む)	30	1.65E+00 ^{**}	7.99E-01	9.56E-01	5.95E-01	1.55E+00 [*]	2.16E+00 ^{**}	1.29E+00 [*]
年収	～100万円未満	98	1.62E+00 [*]	1.13E+00	-1.77E+00 [*]	1.05E+00	-7.91E-01	-1.32E+00	-1.83E-01
	～200万円未満	193	1.04E+00	1.00E+00	-1.05E+00 ⁺	1.16E+00 ⁺	-8.23E-01	-8.98E-01	-4.13E-01
	～300万円未満	298	1.05E+00 ⁺	1.84E-01	-7.30E-01	5.13E-01	3.21E-01	-1.88E+00 [*]	-3.18E+00 ^{**}
	～400万円未満	348	7.84E-01	3.48E-01	-7.19E-01	2.54E-01	-5.15E-01	-1.40E-01	-7.49E-01 ⁺
	～500万円未満	296	6.17E-01	-8.69E-01	-1.79E+00 ^{***}	4.07E-01	1.64E-01	-2.43E-01	-4.41E-01
	～600万円未満	219	1.16E+00 ⁺	1.00E+00 ⁺	-1.48E+00 ^{**}	7.34E-01	-9.77E-01 ⁺	-9.75E-01	-7.49E-01 ⁺
	～700万円未満	185	7.98E-01	-2.78E-01	-1.31E+00 [*]	3.84E-01	-8.60E-01	-3.48E-01	3.32E-02
	～800万円未満	186	8.41E-01	3.72E-01	-1.35E+00 [*]	-4.10E-01	-5.77E-01	-1.40E+00 ⁺	-2.96E-01
	～900万円未満	117	1.22E+00 ⁺	4.14E-01	-4.87E-01	2.09E-01	-5.44E-01	2.10E-01	-6.03E-01
	～1,000万円未満	97	8.19E-01	-5.00E-02	-2.63E+00 [*]	9.55E-01	-8.53E-01	2.22E-01	5.01E-01
学歴	小・中学校	56	4.13E-01	-7.96E-01	-8.16E-01	5.31E-01	-2.03E-01	-9.96E-01	-2.00E+00
	高校・旧制中学校	732	-3.10E-01	4.71E-01	-2.55E-01	1.88E-01	2.56E-01	-1.99E-01	-1.87E-01
	短大・高専	447	-2.04E-01	7.48E-01 [*]	-2.67E-01	3.15E-01	-7.98E-02	-8.34E-01	-3.26E-02
	大学院	104	4.52E-01	-6.71E-03	6.69E-01	1.21E-01	4.40E-01	-9.50E-01	5.24E-01
習い事	ピアノ等の楽器	612	4.38E-01	2.95E-01	2.99E-01	2.98E-01	-1.12E-01	3.66E-01	-2.96E-01
	コーラス・声楽	58	2.23E-01	1.25E+00 [*]	2.15E+00 ^{***}	1.16E+00 [*]	9.25E-01 ⁺	2.54E+00 ^{***}	1.11E+00 [*]
	ダンス	61	1.17E+00 ^{**}	1.44E+00 ^{**}	7.00E-01	1.69E+00 ^{***}	1.50E+00 ^{**}	4.63E-01	8.16E-01 ⁺
	茶・華・書道の生活文化	790	2.83E-01	-2.12E-01	5.56E-01 [*]	7.11E-01 ^{**}	8.90E-01 ^{***}	-1.41E-01	5.18E-01 [*]
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	-1.37E-01	3.01E-01	-1.01E+00 ⁺	7.99E-01 [*]	-1.00E-01	1.19E+00 [*]	1.53E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	-3.93E-03	-2.28E-01	-7.61E-02	1.26E-01	4.25E-02	-7.44E-01 [*]	4.33E-01 ⁺
	水泳・野球等のスポーツ	652	2.13E-01	3.14E-01	2.85E-01	-2.18E-01	2.22E-01	7.07E-01 [*]	3.44E-01
	その他	0							
到達施設可能	ホール・劇場	1,506	2.41E-01	-2.72E-01	7.98E-01 [*]	7.22E-01 [*]	-1.57E-02	-8.00E-01 [*]	4.98E-02
	美術館	1,357	3.67E-01	-3.43E-01	1.02E+00 ^{**}	1.84E-01	2.61E-01	1.48E-01	7.29E-01 [*]
	博物館	1,148	1.18E-01	6.73E-01 [*]	-3.66E-01	2.55E-01	6.19E-01 [*]	2.65E-01	1.77E-01
	映画館	1,853	1.31E-01	-9.19E-01 ^{**}	-1.13E+00 ^{**}	-1.00E+00 ^{**}	-6.16E-01 ⁺	-3.25E-01	-6.63E-01 [*]
同居家族女性×	未就学児	102	1.89E-03	-2.20E+00 [*]	-1.12E+00	-2.66E+00 [*]	-1.79E+00 ⁺	-9.35E-01	-9.80E-01
	小学生	55	1.87E+00	5.71E-01	-4.20E-02	-2.54E+00 ⁺	1.38E+00	-1.94E-01	6.94E-01
	中学生	20	2.55E-01	9.08E-01	-2.69E-01	-8.58E-01	-7.13E-01	1.45E+00	1.27E+00
	高校生	33	-1.20E+00	-2.00E-01	1.14E+00	-7.46E-01	8.16E-01	1.74E+00	1.20E+00
	高校卒業者	183	6.33E-01	4.19E-01	-7.19E-01	1.98E+00 ⁺	7.47E-01	2.56E-02	8.42E-01
	要介護・要介助者	77	-4.50E-01	-1.96E+00 [*]	-2.73E-01	-7.27E-01	-2.05E+00 ⁺	-1.44E+00	-5.04E-01
注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。									
注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。									

(令和4年度 実践・支援 4の3)

		サンプル・サイズ	8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動※	9. 高齢者などの文化芸術鑑賞・体験の支援※	10. 美術館・博物館での案内などの支援※	11. 劇場・ホールなどでの案内などの支援※	12. 音楽祭・映画祭などの開催の支援※	13. 歴史的建物・遺跡などの保存などの支援※	15. 実践支援
行動者率		2,267	1.50%	1.54%	1.10%	1.06%	0.84%	0.62%	14.29%
TjurのR ²		2,267	0.212	0.149	0.191	0.289	0.365	0.199	0.138
AIC		2,267	485.7	517.3	431.4	405.9	361.4	376.7	1800.1
切片		2,267	2.09E+00	3.64E+00	4.22E+00	3.21E+00	-2.08E+00	-6.17E+00	3.40E+00 +
性別	女性	1,090	-4.69E-02	-8.83E-01 *	-1.02E-01	-4.24E-01	-8.38E-01 +	-7.28E-01	2.19E-01
	年齢	2,267	-3.42E-01	-4.32E-01 *	-5.09E-01 *	-4.84E-01 +	-1.60E-01	-2.90E-02	-3.21E-01 *
	年齢の平方(2乗)	2,267	5.22E-03	6.58E-03	8.10E-03 +	7.98E-03	2.36E-03	3.92E-05	5.47E-03 *
	年齢の立方(3乗)	2,267	-2.35E-05	-3.09E-05	-3.80E-05	-4.04E-05	-1.20E-05	4.57E-06	-2.91E-05 +
居住地	北海道	97	9.09E-01	1.32E+00	1.25E+00	-7.77E-01	1.09E+00	1.99E+00	7.94E-01 *
	青森	16	3.04E-01	1.48E+00	1.27E+00	1.40E+00	2.78E+00 +	2.46E+00	-1.47E+01
	岩手	17	-3.45E-01	2.86E+00 *	1.42E+00	3.34E+00 **	2.91E+00 *	3.05E+00 +	4.23E-01
	宮城	61	-8.81E-01	1.57E+00	-4.92E-02	3.25E-01	5.39E-01	1.44E+00	-8.37E-01
	秋田	11	1.06E+00	2.42E+00	3.01E+00 +	2.55E+00	2.72E+00 +	4.00E+00 *	-1.42E+01
	山形	19	1.97E-01	1.81E+00	1.24E+00	9.76E-01	2.04E+00	2.43E+00	5.76E-01
	福島	28	-3.21E-01	1.42E+00	1.13E+00	1.09E+00	1.47E+00	1.53E+00	9.95E-02
	茨城	62	3.19E-01	1.96E+00 *	1.62E+00 +	2.61E+00 **	6.37E-01	1.59E+00	7.84E-01 +
	栃木	29	-2.76E-02	1.28E+00	9.67E-01	1.75E+00	6.35E-01	2.03E+00	-6.51E-01
	群馬	28	1.13E-01	1.20E+00	1.15E+00	2.19E+00	1.17E+00	2.00E+00	1.17E-02
	山梨	11	1.08E-01	1.66E+00 *	1.10E+00	1.00E+00	-1.37E+00	2.07E+00 +	4.61E-01
	長野	40	-2.15E-01	1.45E+00 +	6.24E-01	8.52E-01	-6.85E-01	1.05E+00	3.63E-01
	埼玉	128	4.82E-01	3.68E-01	2.15E-01	-3.96E-01	1.60E-01	1.29E+00	1.81E-01
	千葉	103	1.31E+00	1.31E+00	-1.90E-01	1.74E+00 +	1.39E+00	2.65E+00 *	7.92E-01 +
	神奈川	162	-9.30E-01	1.62E+00	1.97E-02	-2.15E-01	1.51E+00	1.82E+00	-1.08E+00
	新潟	42	1.13E+00	1.12E+00	-4.61E-01	1.90E+00	1.91E+00 +	2.65E+00 +	3.53E-01
	富山	19	1.95E+00 +	2.30E+00	7.71E-01	1.88E+00	2.45E+00	3.28E+00 *	1.57E+00 *
	石川	22	2.71E+00 *	1.49E+00	2.69E+00 *	2.02E+00	2.28E+00	2.76E+00	1.56E+00 *
	福井	13	1.50E+00 +	2.15E+00 *	5.83E-01	9.46E-01	9.83E-01	1.92E+00	2.90E-01
	岐阜	30	-2.27E-01	7.28E-01	9.43E-01	1.17E-02	1.21E+00	2.05E+00	-7.31E-01
	静岡	66	2.79E-01	1.50E+00	-1.11E-01	5.70E-01	3.88E-01	2.29E+00 +	-6.88E-02
	愛知	141	-3.59E-01	1.50E+00 +	2.38E-01	1.82E+00 *	1.82E-01	2.32E+00 *	2.75E-01
	三重	32	1.08E+00	1.18E+00	2.55E+00 **	2.50E+00 *	6.24E-01	3.22E+00 *	6.02E-01
	滋賀	30	-6.19E-01	8.12E-01	6.76E-01	1.60E+00	4.91E-01	2.29E+00	8.31E-01
	京都	51	-9.94E-01	1.69E+00 +	9.77E-01	1.69E+00 +	2.42E+00 **	1.31E+00	8.01E-01 +
	大阪	149	2.87E-01	1.75E+00 *	1.01E+00	6.32E-01	-7.64E-01	2.24E+00 *	4.84E-01
	兵庫	100	7.32E-01	1.53E+00 +	1.61E+00 *	6.11E-01	8.63E-01	1.00E+00	5.56E-01
	奈良	25	4.93E-01	1.02E+00	2.80E-01	1.60E+00	7.77E-01	2.83E+00 +	1.71E-01
	和歌山	13	-2.45E-01	1.51E+00	1.29E+00	2.50E+00 *	2.72E-01	3.02E+00 +	6.65E-01
	鳥取	11	-2.80E+00	8.05E-01	3.99E+00 ***	-5.47E-01	-9.08E-02	2.89E+00	-7.07E-02
	島根	4	5.71E-01	2.30E+00	-1.43E-02	-1.66E+00	2.92E+00	2.35E+00	2.06E-01
	岡山	34	9.26E-01	2.45E+00 *	3.83E-01	1.07E+00	2.08E+00 *	2.18E+00	3.94E-01
	広島	61	-5.50E-01	6.55E-01	1.65E+00 *	7.37E-01	1.89E+00 *	2.35E+00 +	3.20E-01
	山口	19	1.59E+00	1.14E+00	5.82E-01	2.34E+00 +	1.25E+00	3.88E+00 **	3.12E-01
	徳島	13	1.05E+00	1.96E+00	2.38E+00 +	2.86E+00 *	6.96E-01	3.03E+00 +	1.69E+00 *
	香川	23	-3.04E-01	1.27E+00	8.31E-01	1.45E+00	3.08E+00 **	2.08E+00	9.65E-01 +
	愛媛	25	-4.37E-01	1.19E+00	-4.57E-01	1.16E+00	6.11E-01	1.45E+00	3.48E-01
	高知	8	1.16E+00	2.00E+00	1.26E+00	2.47E+00	3.44E+00 *	3.53E+00 *	2.05E+00 *
	福岡	127	4.40E-01	1.71E+00 *	-3.29E-01	7.44E-01	-3.36E-02	6.59E-01	3.30E-01
	佐賀	9	1.47E+00	2.90E+00 +	2.59E+00 +	3.32E+00 *	2.16E+00	3.27E+00 +	-1.45E+01
	長崎	18	1.17E+00	2.18E+00	1.27E+00	1.49E+00	2.88E+00 *	2.39E+00	1.35E+00 *
	熊本	38	2.39E-01	2.36E+00 *	8.76E-01	9.83E-01	9.87E-01	2.08E+00	-8.04E-01
	大分	12	3.29E-01	1.76E+00	1.15E+00	2.31E+00	1.30E+00	2.59E+00	1.07E+00
	宮崎	19	5.02E-01	1.61E+00	1.00E+00	1.13E+00	1.65E+00	2.85E+00 +	-1.40E+01
	鹿児島	21	4.20E-01	1.34E+00	-2.64E+00	1.94E+00	-3.35E-01	2.15E+00	7.24E-01
	沖縄	27	-3.96E-01	3.02E+00 **	7.90E-01	1.58E+00	1.88E+00 +	1.62E+00	5.70E-02
都市階級	大都市	745	-9.64E-02	-6.14E-02	8.95E-02	1.01E+00	6.49E-01	-1.55E-01	-3.41E-01
	中都市(15万人以上)	669	8.89E-01 +	2.71E-01	-2.12E-01	1.25E+00 *	1.32E+00 *	-3.50E-01	-1.46E-03
	小都市A(5万人以上)	590	5.16E-01	2.46E-01	1.19E-01	5.19E-01	1.48E+00 **	-3.36E-01	-1.90E-01

(令和4年度 実践・支援 4の4)

		サンプル・サイズ	8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動※	9. 高齢者などの文化芸術鑑賞・体験の支援※	10. 美術館・博物館での案内などの支援※	11. 劇場・ホールなどでの案内などの支援※	12. 音楽祭・映画祭などの開催の支援※	13. 歴史的建物・遺跡などの保存などの支援※	15. 実践支援
職業	非正規職員・従業員	370	-1.47E-01	-4.02E-01	-3.99E-01	-4.58E-01	-6.87E-01	1.21E-01	-3.65E-01
	自営業主・自由業	147	8.40E-01 ⁺	-5.36E-02	-4.36E-01	-4.77E-01	-8.38E-01	7.11E-01	4.78E-01 ⁺
	家族従業者	8	1.92E+00	8.29E-01	5.49E-01	9.38E-01	-1.05E+00	1.06E+00	-7.00E-01
	主婦・主夫	366	-9.30E-01	3.20E-01	-1.84E+00 ^{**}	-1.67E+00 [*]	-4.99E-01	-2.03E-01	-1.77E-01
	学生	63	-5.80E-01	-1.60E+00 ⁺	-2.11E+00 [*]	-1.74E+00 ⁺	-1.62E+00	1.96E-01	-2.47E-01
	リタイア・無職	412	-4.82E-01	-6.07E-01	-9.66E-01	-1.80E+00 [*]	-1.28E+00	-6.35E-01	-4.19E-01
	その他	3	2.18E+00	2.03E+00	2.09E+00	4.31E+00 ⁺	4.78E+00 [*]	2.85E+00	1.97E+00
家族状況	核家族	1,516	-3.48E-01	4.79E-01	3.92E-01	-3.68E-01	2.56E-01	6.62E-02	5.63E-02
	三世代家族	106	-4.37E-01	-1.85E-01	5.96E-01	4.51E-02	-9.56E-01	-8.09E-01	1.30E-01
	その他同居家族	132	-9.18E-01	9.48E-01 ⁺	3.62E-01	-8.75E-01	-4.17E-02	4.05E-01	-5.23E-01
同居家族(末子)	未就学児	214	1.66E+00 ^{**}	-5.26E-01	-3.99E-02	-6.29E-01	3.60E-01	8.02E-01	8.18E-01 ^{**}
	小学生	137	-4.22E-01	-9.53E-01	5.71E-01	1.09E+00 ⁺	-3.98E-02	-4.07E-01	-1.43E-01
	中学生	54	-1.17E+00	-5.77E-01	2.03E-01	-5.90E-02	-1.15E+00	2.04E-01	-1.03E+00
	高校生	71	1.07E+00	3.02E-01	2.81E-01	8.81E-01	-2.92E-01	7.13E-01	4.79E-01
	高校卒業者	375	-3.14E-01	2.53E-02	6.10E-01	5.19E-01	-1.36E+00	4.97E-01	-8.32E-02
	要介護・要介助者	148	1.04E+00	4.11E-01	-5.27E-01	1.13E+00 ⁺	7.29E-01	1.08E+00 ⁺	3.34E-01
健康状態	移動可能	522	-1.28E-01	4.48E-01	-1.07E+00 ⁺	4.67E-01	-1.18E+00 [*]	6.94E-02	-8.24E-02
	移動困難(通所含む)	30	1.42E+00 [*]	8.08E-01	1.72E+00 [*]	2.29E+00 ^{***}	2.58E+00 ^{***}	1.59E+00 [*]	1.21E+00 ^{**}
年収	～100万円未満	98	-4.92E-01	-6.66E-01	1.31E+00	1.39E-02	6.40E-01	8.19E-01	2.32E-01
	～200万円未満	193	1.81E-02	-4.90E-01	-8.62E-01	6.37E-01	-1.61E-01	3.60E-01	9.24E-02
	～300万円未満	298	-5.67E-02	-6.33E-01	1.43E-01	4.62E-01	-2.21E-01	5.11E-01	2.60E-01
	～400万円未満	348	-8.46E-01	-2.74E-01	2.14E-01	4.69E-01	-3.97E-01	1.62E-01	1.62E-02
	～500万円未満	296	-2.87E-01	-5.93E-01	3.73E-02	-8.83E-01	-1.18E+00 ⁺	-9.34E-01	-3.82E-02
	～600万円未満	219	6.43E-02	-4.13E-01	-2.39E-01	6.17E-01	-1.62E+00 [*]	-3.99E-01	2.82E-01
	～700万円未満	185	-6.76E-01	-6.28E-01	-2.61E-01	-1.21E-01	-1.92E+00 [*]	-6.72E-02	-3.04E-01
	～800万円未満	186	-2.66E-01	-6.56E-01	1.54E-01	3.22E-01	1.38E-04	4.98E-01	3.69E-01
	～900万円未満	117	8.89E-01	8.30E-02	1.92E-01	7.20E-01	-2.32E+00 [*]	2.96E-01	1.64E-01
	～1,000万円未満	97	-1.63E+00	-1.74E-01	1.14E+00 ⁺	4.97E-01	-3.53E-01	-6.56E-01	5.43E-01
学歴	小・中学校	56	-7.48E-01	9.68E-01	-3.77E-01	-6.07E-01	1.38E+00	-6.13E-02	-1.14E+00 ⁺
	高校・旧制中学校	732	-4.60E-02	-2.51E-01	-6.22E-01	4.30E-01	4.59E-01	-4.72E-01	-4.00E-01 [*]
	短大・高専	447	-4.17E-01	-3.47E-01	-1.23E-01	5.57E-02	9.16E-01 [*]	2.54E-01	-1.39E-01
	大学院	104	-2.01E+00 ⁺	6.31E-01	-1.99E-01	4.13E-02	-7.08E-01	2.86E-01	4.49E-01
習い事	ピアノ等の楽器	612	2.68E-02	3.92E-01	-1.40E-01	2.00E-01	-9.06E-02	5.38E-01	1.08E-01
	コーラス・声楽	58	6.11E-01	-3.03E-02	1.72E+00 ^{**}	9.59E-01	2.08E+00 ^{***}	1.41E+00 [*]	1.25E+00 ^{***}
	ダンス	61	1.29E+00 [*]	1.68E+00 ^{***}	-6.12E-01	1.35E+00 [*]	1.46E+00 [*]	-2.36E-02	1.25E+00 ^{***}
	茶・華・書道の生活文化	790	1.84E-02	-2.79E-02	4.60E-01	6.19E-01 ⁺	3.02E-01	2.15E-01	4.04E-01 ^{**}
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	120	3.97E-01	7.90E-01 ⁺	7.57E-01	-1.52E-01	4.16E-01	-5.08E-01	1.72E-01
	学習塾・そろばん等	1,109	4.42E-01	3.16E-01	-4.19E-01	-5.85E-02	5.35E-01	-4.25E-01	5.46E-02
	水泳・野球等のスポーツ	652	5.39E-03	-4.24E-01	3.65E-01	-1.12E-01	2.78E-01	7.56E-01 [*]	1.24E-01
	その他	0							
到達施設可能	ホール・劇場	1,506	-1.07E-01	-1.12E-01	-6.80E-01 ⁺	-2.07E-01	1.54E-01	-2.56E-01	3.97E-01 [*]
	美術館	1,357	7.04E-01 ⁺	4.15E-01	1.60E+00 ^{***}	4.41E-01	-6.15E-01	1.28E+00 ^{**}	1.47E-01
	博物館	1,148	-4.30E-02	-1.75E-01	-1.08E-02	8.06E-01 [*]	6.83E-01 ⁺	-1.88E-01	2.86E-01 ⁺
	映画館	1,853	-3.05E-01	-2.87E-01	-2.29E-01	-1.38E+00 ^{**}	-3.14E-01	1.17E-01	-7.89E-01 ^{***}
同居女性×家族	未就学児	102	-2.02E+00 ⁺	-1.08E+00	-5.99E-01	7.93E-01	1.29E-02	-3.88E-01	-2.05E+00 ^{***}
	小学生	55	1.96E+00	2.08E+00 ⁺	1.04E+00	8.38E-01	-4.11E-01	1.10E+00	3.67E-01
	中学生	20	3.92E+00 [*]	1.83E+00	2.21E+00	1.95E+00	3.86E+00 [*]	1.31E+00	7.38E-01
	高校生	33	1.02E+00	1.44E+00	6.48E-01	8.99E-01	2.76E+00 ⁺	-1.09E-01	-3.58E-01
	高校卒業者	183	1.57E+00 [*]	2.80E-01	5.49E-02	4.52E-01	2.20E+00 ⁺	6.29E-01	2.37E-01
	要介護・要介助者	77	-1.37E+00	5.22E-01	-1.11E-01	-2.58E+00 [*]	-6.03E-01	-4.59E-01	-2.65E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

注3) 種別の「14. その他」は、行動者率が低く、Firthの手法でも推計できなかったためで表示していない。

付表 5.5 令和 3 年度調査 直接鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表

(令和 3 年度 直接鑑賞 6 の 1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術	4. 現代美術	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど
行動者率		14,995	6.60%	9.55%	11.71%	2.45%	2.03%	2.81%	0.97%
TjurのR ²		14,995	0.078	0.037	0.090	0.056	0.028	0.045	0.076
AIC		14,995	6604.1	9184.0	9753.3	3170.6	2873.3	3596.7	1487.1
切片		14,995	2.73E+00 **	-9.78E-01	2.53E+00 **	-8.30E-01	-9.72E-01	-5.55E-01	4.84E-01
性別	女性	7,394	1.84E-01	2.62E-02	4.27E-01 ***	2.06E-01	8.23E-01 ***	1.15E+00 ***	1.01E+00 **
	年齢	14,995	-3.86E-01 ***	-9.31E-02 +	-3.29E-01 ***	-2.07E-01 *	-2.48E-01 *	-2.33E-01 *	-4.58E-01 **
	年齢の平方(2乗)	14,995	6.57E-03 ***	1.62E-03	5.70E-03 ***	3.48E-03 +	4.67E-03 *	4.01E-03 *	8.91E-03 **
	年齢の立方(3乗)	14,995	-3.17E-05 ***	-1.00E-05	-2.86E-05 ***	-1.84E-05	-2.83E-05 +	-2.22E-05 +	-5.31E-05 *
居住地	北海道	651	-1.17E-01	-2.00E-01	-3.44E-01 *	-4.02E-01	-8.06E-01 *	-4.87E-01	5.09E-01
	青森	146	-2.02E-01	-2.50E-01	-3.72E-01	1.08E-01	-1.49E+00	-8.39E-01	-1.68E+01
	岩手	146	-4.49E-01	-1.27E-03	-2.70E-01	-7.84E-01	-1.62E+00	-3.24E-01	-1.71E+01
	宮城	267	7.98E-02	2.36E-01	-1.83E-01	-2.34E-01	-7.12E-01	-2.20E-01	-1.19E+00
	秋田	114	9.05E-02	-1.66E-01	-2.67E-01	-1.07E+00	-1.22E+00	-6.99E-01	1.40E+00 *
	山形	132	-2.64E-01	-6.02E-01	-6.54E-01 +	-1.40E-01	-1.47E+00	-1.43E+01	1.16E-01
	福島	212	-2.00E-01	-3.88E-01	7.23E-02	-1.11E-01	-3.35E-01	-2.12E+00 *	6.72E-02
	茨城	348	-4.96E-01 +	-3.45E-01	7.97E-02	3.84E-01	-2.85E-01	-8.07E-01 +	-5.50E-01
	栃木	231	-1.55E-01	-4.52E-01	2.35E-02	-3.36E-01	-3.10E-01	-5.56E-01	3.37E-01
	群馬	217	3.89E-01	4.69E-02	-1.12E-01	1.64E-01	-4.35E-01	-9.22E-01	-1.02E+00
	山梨	91	-1.42E-01	9.98E-02	-1.30E-01	-1.15E+00	2.79E-01	-5.87E-01	-1.69E+01
	長野	231	2.54E-01	-2.14E-01	-1.74E-01	-1.68E-01	-1.24E+00 +	-4.98E-01	1.10E-01
	埼玉	878	-1.36E-01	1.22E-01	1.08E-02	-1.64E-01	-8.09E-02	-2.66E-01	-2.41E-01
	千葉	755	-1.19E-01	3.45E-04	-2.08E-01	-1.05E-01	7.95E-02	-3.04E-01	3.83E-02
	神奈川	1,092	-9.00E-02	-1.73E-01	-4.65E-02	2.91E-02	-1.70E-01	-3.47E-01	-3.80E-01
	新潟	246	-9.01E-02	-7.45E-01 *	-1.89E-02	-4.46E-01	-8.08E-01	-1.49E+00 *	-1.68E+01
	富山	116	-1.98E-01	-6.45E-01	-1.43E-01	-1.42E+00	-1.44E+00	-1.65E+00	-1.74E+01
	石川	136	3.98E-01	-4.05E-01	-2.17E-01	6.46E-01	-4.10E-01	-1.03E+00	-1.75E+01
	福井	92	-3.62E-01	-3.79E-01	-1.34E-01	5.51E-01	-1.48E+01	-2.89E-01	-1.69E+01
	岐阜	242	2.03E-01	7.21E-02	-9.32E-02	-8.57E-01	-5.35E-01	-2.60E-01	-3.96E-01
	静岡	432	-1.72E-01	-6.51E-02	-9.55E-02	-4.72E-01	-6.14E-02	-7.40E-01 *	-6.82E-01
	愛知	885	-1.75E-01	-2.14E-01	-2.84E-01 *	-7.24E-01 *	-5.87E-01 +	-1.63E-02	-2.02E-01
	三重	209	-2.15E-01	-1.81E-01	-5.61E-02	-2.21E-01	-2.73E-01	-5.37E-01	-4.66E-01
	滋賀	162	-1.16E-01	-2.12E-01	-3.01E-01	-1.62E+00	-1.58E+00	4.73E-02	7.60E-01
	京都	309	2.22E-01	3.21E-01 +	6.87E-02	-1.43E-01	-2.52E-02	-5.30E-01	-8.30E-03
	大阪	1,053	-3.99E-01 *	-9.83E-02	-1.72E-01	-2.10E-01	-3.49E-01	-2.28E-02	-3.81E-01
	兵庫	663	-1.14E-01	-3.34E-02	-1.55E-01	-4.79E-01	-5.20E-01	-2.63E-01	-5.06E-01
	奈良	155	2.10E-01	3.73E-01	-2.77E-01	-5.88E-01	-1.41E+00	-2.60E-01	-4.73E-01
	和歌山	119	-3.83E-01	-6.93E-01	-3.23E-01	4.36E-01	-1.70E-01	-1.32E-01	-6.35E-01
	鳥取	60	-8.30E-01	-7.92E-01	-8.47E-02	4.63E-01	-6.23E-01	-1.43E+01	-1.67E+01
	島根	78	-1.21E+00	3.08E-01	-1.28E+00 *	-1.42E+01	-1.52E+01	-1.26E+00	-1.73E+01
	岡山	211	-2.23E-01	3.10E-01	8.17E-02	-7.04E-01	3.54E-01	-5.44E-01	4.92E-01
	広島	339	-6.76E-01 *	-1.08E-02	-1.44E-01	1.88E-01	-1.16E+00 +	-8.55E-01 +	-1.68E+01
	山口	160	-1.85E+00 *	3.90E-02	-6.27E-01 +	-6.06E-01	-1.48E+01	-6.03E-01	2.03E-01
	徳島	93	2.27E-01	4.27E-01	-6.43E-01	-7.99E-01	-8.95E-01	-1.40E+01	-1.69E+01
	香川	111	-6.55E-01	-5.53E-01	-3.86E-01	-5.58E-01	-5.27E-01	-1.47E+00	-1.71E+01
	愛媛	159	-1.17E+00 *	-6.66E-01 +	-7.25E-01 *	-1.43E+00	-4.49E-01	-6.35E-01	-1.71E+01
	高知	90	-5.44E-01	-9.16E-03	1.58E-01	-1.91E-01	-9.98E-01	-1.41E+01	-1.68E+01
	福岡	596	-2.39E-01	1.29E-01	1.58E-01	2.11E-01	-3.95E-01	1.33E-01	-6.17E-01
	佐賀	88	-6.00E-01	1.74E-01	-1.35E-01	3.53E-02	-3.55E-01	-6.34E-01	-1.12E-01
	長崎	145	-6.10E-01	-1.47E-02	-1.81E-01	1.02E-01	-7.19E-01	-4.62E-01	8.01E-01
	熊本	203	-7.41E-01 *	-3.41E-01	-7.54E-01 **	-4.07E-01	-8.11E-01	-1.03E+00 +	-1.69E+01
	大分	144	-1.94E-02	-3.36E-01	-1.59E-01	1.92E-01	-1.43E+00	-1.26E-01	-1.70E+01
	宮崎	136	-1.37E-01	2.52E-01	-5.28E-01	-1.40E+01	-3.70E-01	-3.26E-02	-1.73E+01
	鹿児島	199	-1.15E+00 *	2.90E-03	-3.23E-01	-9.73E-01	-6.57E-01	3.47E-02	-1.70E+01
	沖縄	159	3.94E-01	-1.49E-01	-7.01E-01 *	-4.35E-01	-1.01E+00	-1.19E+00	-1.73E+01
都市階級	大都市	4,648	4.50E-02	4.75E-02	-7.16E-02	2.14E-01	-8.14E-02	3.95E-02	3.89E-01
	中都市(15万人以上)	4,325	1.64E-02	1.44E-01	5.38E-03	1.96E-01	6.25E-02	1.38E-03	9.25E-01 *
	小都市A(5万人以上)	4,011	-1.20E-01	3.12E-03	-3.77E-02	8.61E-02	-8.82E-02	1.91E-02	5.83E-01

(令和3度 直接鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術	4. 現代美術	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど
職業	非正規職員・従業員	2,114	-1.02E-01	-4.55E-02	9.52E-02	-4.10E-01 *	1.00E-01	6.34E-02	-2.55E-01
	自営業主・自由業	1,093	8.68E-02	-6.21E-02	3.01E-01 **	1.61E-01	1.04E-01	1.18E-02	-7.92E-02
	家族従業者	107	-5.63E-03	-3.42E-01	4.31E-01	6.48E-01	5.40E-01	-6.65E-01	-7.75E-01
	主婦・主夫	3,231	-8.68E-02	-5.63E-01 ***	-2.20E-01 *	-4.71E-01 *	-1.26E-01	-4.92E-01 **	-4.63E-01
	学生	348	-4.13E-01	-1.11E-01	-6.32E-02	2.40E-01	1.17E-01	2.66E-01	-1.48E+00 *
	リタイア・無職	3,097	-1.07E-01	-4.09E-01 ***	-2.23E-01 *	-4.76E-01 *	-2.74E-01	-3.04E-01	-2.93E-01
	その他	353	3.03E-01	-3.04E-01	-3.77E-01 +	-9.89E-01	-1.22E+00 +	-8.00E-02	-2.94E-01
家族状況	核家族	10,526	-6.20E-02	-1.20E-02	-5.48E-03	-3.35E-01 +	-1.20E-01	1.72E-01	-2.15E-01
	三世代家族	944	-3.45E-01 +	3.24E-02	8.20E-02	-1.57E-01	2.52E-01	1.37E-01	1.11E-01
	その他同居家族	856	-5.50E-02	4.65E-02	2.84E-01 *	2.21E-01	4.75E-01 +	8.62E-01 ***	3.20E-01
同居家族(未子)	未就学児	1,452	1.23E+00 ***	2.81E-01 *	5.62E-01 ***	8.22E-01 ***	8.33E-01 **	6.80E-01 **	1.90E+00 ***
	小学生	840	7.55E-01 ***	3.95E-01 *	1.52E-01	4.96E-01	8.77E-01 **	1.04E+00 ***	1.62E+00 ***
	中学生	420	8.06E-01 **	6.83E-01 ***	5.70E-01 **	5.06E-02	3.98E-01	1.54E-01	1.50E-01
	高校生	914	1.11E+00 ***	4.06E-01 **	3.05E-01 +	4.79E-01	7.74E-01 *	8.35E-01 **	5.93E-01
	高校卒業者	1,984	-1.43E-01	-1.37E-01	-3.14E-01 *	-2.01E-01	-2.98E-01	-1.11E-01	-4.12E-02
	要介護・要介助者	978	4.82E-01 **	2.50E-01 +	3.23E-01 *	6.00E-01 *	8.87E-01 ***	9.28E-01 ***	5.92E-01
健康状態	移動可能	3,760	-1.01E-01	-6.46E-02	-1.87E-02	1.52E-01	-3.83E-02	-1.35E-01	-1.86E-01
	移動困難(通所含む)	171	2.39E-01	5.91E-01 **	4.17E-01 +	8.83E-01 *	5.26E-01	6.89E-01 +	9.43E-01 +
年収	～100万円未満	662	-4.39E-02	-3.06E-02	-3.65E-01 *	-4.59E-02	-2.16E-01	-3.64E-01	3.36E-01
	～200万円未満	1,293	-1.31E-01	1.94E-01	-3.70E-01 *	4.81E-02	4.12E-01	1.38E-01	5.01E-01
	～300万円未満	2,007	6.66E-02	3.64E-01 **	-2.89E-01 *	-2.72E-01	1.72E-01	-5.03E-01 *	-5.64E-01
	～400万円未満	2,357	-8.07E-02	1.80E-01	-2.11E-01 +	-9.46E-02	2.61E-02	2.11E-03	2.72E-01
	～500万円未満	1,947	-2.57E-02	2.53E-01 *	-2.68E-01 *	-5.57E-02	2.61E-01	-1.83E-01	5.93E-02
	～600万円未満	1,662	-3.12E-02	5.27E-02	-9.11E-02	-1.92E-01	1.69E-01	-7.36E-02	-4.14E-01
	～700万円未満	1,274	5.86E-02	4.31E-02	-1.56E-01	-2.22E-01	1.30E-01	-9.78E-02	2.36E-01
	～800万円未満	1,034	-8.95E-02	8.95E-02	-2.45E-01 +	-3.86E-01	-1.04E-01	-1.21E-01	5.27E-01
	～900万円未満	713	-4.94E-03	-1.08E-02	-1.44E-01	6.93E-03	-3.90E-01	-1.56E-01	2.99E-01
学歴	～1,000万円未満	649	-8.86E-02	-7.76E-02	-4.78E-02	-1.43E-01	-3.47E-01	-7.00E-02	5.32E-02
	小・中学校	436	-1.98E-01	-1.84E-01	-8.97E-01 ***	-1.51E+00 *	-5.82E-01	-1.02E+00 *	-3.00E-01
	高校・旧制中学校	5,351	-4.01E-01 ***	-6.44E-04	-4.49E-01 ***	-4.08E-01 **	-5.96E-01 ***	-4.18E-01 **	-6.93E-01 **
	短大・高専	2,520	-3.26E-01 **	-2.17E-02	-3.26E-01 ***	-6.32E-01 ***	-3.48E-01 *	-5.83E-01 ***	-3.44E-01
	大学院	575	4.70E-01 **	1.70E-02	-2.26E-03	1.41E-01	-3.35E-01	-1.88E-01	4.88E-01
	ピアノ等の楽器	3,591	6.66E-01 ***	1.43E-01 *	2.04E-01 **	4.83E-01 ***	9.35E-03	3.55E-01 **	3.77E-01 +
	コーラス・声楽	267	7.56E-01 ***	5.28E-01 **	3.30E-01 *	5.88E-01 *	4.03E-01	4.30E-01 +	8.97E-01 **
	ダンス	345	6.54E-01 ***	6.51E-01 ***	2.59E-01 +	5.31E-01 *	2.55E-01	5.70E-01 **	1.33E+00 ***
	茶・華・書道の生活文化	3,394	-3.15E-02	1.29E-01 +	2.11E-01 ***	1.62E-01	7.41E-02	8.21E-03	5.17E-02
習い事	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	2.63E-01 +	1.97E-01	4.67E-01 ***	7.47E-01 ***	2.16E-02	3.16E-01	5.67E-01 *
	学習塾・そろばん等	6,018	7.16E-02	7.39E-02	1.14E-01 *	1.88E-01	1.89E-01	-6.28E-02	2.55E-01
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	-4.95E-02	-4.19E-02	-1.85E-01 *	-3.50E-01 *	-1.54E-01	1.86E-02	5.76E-02
	その他	634	-1.93E-01	-4.83E-02	-6.99E-02	2.22E-01	3.85E-02	3.82E-02	2.42E-02
到達可能施設	ホール・劇場	8,588	9.88E-01 ***	5.66E-01 ***	2.57E-01 ***	2.21E-01	1.02E+00 ***	6.34E-01 ***	5.57E-01 *
	美術館	8,027	3.34E-01 ***	1.97E-01 *	1.15E+00 ***	9.26E-01 ***	4.54E-01 *	2.61E-01 +	4.87E-01 *
	博物館	6,593	8.93E-02	-7.59E-02	3.58E-01 ***	6.64E-01 ***	2.19E-01	7.86E-02	5.94E-01 *
	映画館	11,323	-3.75E-01 ***	8.17E-03	-2.16E-01 *	-1.45E-01	2.69E-02	2.50E-01	-6.71E-01 *
同居家族女性×	未就学児	645	-6.53E-01 **	-4.71E-01 *	-8.94E-01 ***	-4.62E-01	-1.12E+00 **	-7.58E-01 *	-1.13E+00 *
	小学生	375	3.74E-01	-4.04E-01 +	-2.18E-03	-5.00E-02	-3.03E-01	-8.19E-01 *	-3.83E-01
	中学生	193	3.15E-02	-1.95E-01	-8.76E-01 *	-1.29E+00	2.48E-02	-4.81E-02	5.54E-01
	高校生	437	-6.75E-01 *	1.58E-02	-2.54E-01	1.82E-01	-3.93E-01	-5.70E-01	5.02E-02
	高校卒業者	1,051	-7.05E-02	4.51E-01 *	1.99E-01	6.30E-01 +	3.64E-01	4.46E-01	4.49E-01
	要介護・要介助者	459	-4.32E-01 +	-1.64E-01	-5.09E-01 *	-9.96E-01 *	-1.06E+00 *	-1.85E+00 ***	-9.04E-01

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 直接鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など	13. 食文化の展示・イベント	14. 映画
行動者率		14,995	1.37%	0.65%	2.19%	2.53%	2.18%	2.34%	18.93%
TjurのR ²		14,995	0.068	0.066	0.045	0.030	0.036	0.031	0.062
AIC		14,995	2014.0	1157.6	2958.2	3412.8	2988.5	3235.6	13802.2
切片		14,995	-9.42E-01	-1.47E+00	1.87E+00	-1.87E-01	5.12E-02	-3.62E+00 *	3.23E+00 ***
性別 年齢	女性	7,394	2.82E-01	5.41E-01 +	3.37E-01 +	-1.78E-02	8.66E-01 ***	-1.60E-02	6.56E-02
	年齢	14,995	-2.03E-01 +	-2.66E-01 *	-4.24E-01 ***	-3.02E-01 **	-3.65E-01 ***	-3.29E-02	-3.20E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	2.48E-03	3.62E-03	7.70E-03 ***	5.77E-03 **	6.52E-03 **	-5.47E-04	6.01E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	-6.22E-06	-1.04E-05	-4.03E-05 **	-3.05E-05 **	-3.17E-05 *	1.13E-05	-3.64E-05 ***
居住地	北海道	651	-1.37E-01	-6.76E-01	-2.56E-01	-2.41E-01	-5.79E-02	-5.14E-01	-8.36E-02
	青森	146	2.65E-02	-9.66E-01	-4.00E-01	-2.63E-01	-1.10E+00	1.63E-01	-3.83E-01
	岩手	146	-7.09E-01	9.77E-01	-3.31E-02	9.03E-02	3.19E-01	-2.28E-01	-5.57E-01 *
	宮城	267	3.74E-01	-1.80E+00	2.89E-01	-4.04E-01	-1.63E-01	-6.57E-01	9.98E-02
	秋田	114	1.35E+00 *	1.46E+00 *	-1.38E-01	-8.22E-01	3.77E-01	-7.08E-01	-3.33E-01
	山形	132	1.44E-01	-8.99E-01	-1.22E+00	-1.40E-01	-6.68E-01	7.03E-02	-5.26E-01 +
	福島	212	-5.22E-01	-1.32E+00	-6.81E-01	-2.85E-02	4.50E-01	2.50E-01	8.06E-02
	茨城	348	-1.84E-02	-4.12E-01	9.88E-02	7.60E-03	5.35E-01	1.49E-01	-1.31E-01
	栃木	231	6.85E-01	-5.08E-02	-3.57E-02	2.89E-01	4.67E-01	4.39E-01	-1.11E-01
	群馬	217	-3.23E-01	-1.21E+00	-7.62E-01	-1.35E+00 +	-1.64E-01	6.83E-02	-4.82E-01 *
	山梨	91	-2.17E-01	4.02E-01	7.78E-01	-2.58E-01	-1.04E+00	-1.26E+01	-1.68E-01
	長野	231	4.52E-01	-8.42E-02	-3.96E-01	-1.01E+00	-9.86E-03	-3.16E-02	-3.23E-01
	埼玉	878	-2.24E-01	8.89E-01 *	4.26E-01	3.91E-01	-1.96E-02	1.41E-01	-7.05E-02
	千葉	755	-3.37E-01	8.06E-02	5.03E-01 +	1.13E-01	6.58E-02	3.49E-01	1.98E-02
	神奈川	1,092	-3.53E-02	-2.37E-01	7.11E-02	-3.55E-02	-4.26E-01	-2.99E-02	-4.49E-02
	新潟	246	3.50E-01	-1.26E+00	-8.31E-01	1.94E-01	3.68E-01	3.30E-01	-3.67E-01 +
	富山	116	-6.04E-01	3.16E-01	5.61E-01	1.28E-01	6.56E-01	4.87E-01	-4.93E-01 +
	石川	136	-1.16E+00	-2.42E-01	-2.54E-01	-1.13E+00	2.91E-01	-4.15E-01	-4.09E-01
	福井	92	7.52E-01	-2.13E-01	5.03E-01	-2.60E-02	-6.89E-01	1.03E+00 +	-3.07E-01
	岐阜	242	-1.54E+01	4.43E-01	7.99E-02	3.14E-01	4.19E-01	2.64E-02	-1.58E-01
	静岡	432	1.04E-02	5.12E-02	4.04E-02	2.22E-01	-4.42E-01	1.89E-02	-9.07E-02
	愛知	885	-3.21E-01	-3.70E-01	-1.46E-01	1.17E-01	-1.98E-01	-4.46E-01	-1.52E-01
	三重	209	5.47E-01	-3.88E-02	3.37E-01	1.39E-01	-4.81E-01	4.37E-01	-4.06E-01 +
	滋賀	162	1.40E-01	-1.11E+00	7.41E-02	-6.10E-01	-7.83E-03	7.32E-01 +	5.83E-02
	京都	309	1.05E-01	7.74E-01	5.81E-01 +	2.51E-01	2.70E-02	4.38E-01	-9.15E-02
	大阪	1,053	-2.50E-01	5.60E-02	-1.14E-01	1.74E-01	-7.13E-01 *	7.33E-03	-4.22E-02
	兵庫	663	2.32E-01	-2.12E-01	2.16E-01	1.53E-01	-1.75E-01	-3.07E-01	-2.72E-01 *
	奈良	155	8.76E-01	8.86E-01	4.61E-01	1.51E-01	2.75E-01	7.39E-02	6.57E-02
	和歌山	119	-1.51E+01	4.13E-01	-3.82E-01	2.08E-01	6.25E-01	4.53E-01	-6.76E-02
	鳥取	60	-1.49E+01	2.65E-01	-1.46E+01	-5.39E-02	-1.27E+01	-1.29E-01	-7.29E-01 +
	島根	78	2.39E-01	6.60E-01	-6.76E-01	-1.64E+00	5.00E-01	1.59E-01	-4.09E-01
	岡山	211	2.66E-01	2.09E-01	2.31E-01	1.52E-01	9.73E-02	1.75E-01	-1.01E-01
	広島	339	-7.23E-01	-1.52E+00	-1.16E+00	-8.79E-01	-2.20E-01	3.20E-01	-2.16E-01
	山口	160	-7.67E-01	-7.77E-01	-1.46E+01	-4.82E-01	-2.64E-01	-4.45E-01	-1.85E-01
	徳島	93	7.27E-01	6.69E-01	4.34E-01	4.79E-01	7.66E-01	1.04E+00 +	-2.00E-02
	香川	111	-1.54E+01	7.15E-01	-1.14E+00	3.06E-01	-8.19E-02	5.22E-01	-8.57E-02
	愛媛	159	-8.01E-01	-8.45E-01	-1.46E+01	-2.27E+00	-6.95E-01	3.66E-01	-3.12E-01
	高知	90	-1.51E+01	6.55E-01	-4.45E-03	2.17E-01	-9.08E-01	9.79E-01 +	-4.77E-01
	福岡	596	2.29E-01	5.01E-01	3.96E-02	-2.96E-01	4.17E-01	1.18E-01	-8.51E-04
	佐賀	88	-1.13E-01	7.15E-01	-1.48E+01	3.47E-03	-7.07E-01	-5.38E-01	-4.86E-02
	長崎	145	9.84E-02	-8.28E-01	2.42E-01	-4.67E-01	5.70E-02	2.54E-01	-2.93E-02
	熊本	203	4.92E-01	-1.29E+00	-1.41E-01	-3.22E-01	3.41E-01	-1.88E-01	-1.82E-01
	大分	144	5.28E-01	-7.62E-01	-4.33E-01	1.85E-03	-4.34E-01	1.17E+00 **	-3.88E-01
	宮崎	136	9.36E-01	4.17E-01	6.37E-01	2.30E-03	-4.48E-01	-1.37E-01	-3.50E-01
	鹿児島	199	7.26E-01	1.32E-01	-7.51E-01	5.71E-01	1.41E-01	3.85E-01	2.19E-01
	沖縄	159	1.07E-01	1.09E+00 +	9.17E-01 *	1.74E-01	6.03E-01	4.26E-01	9.99E-02
都市階級	大都市	4,648	4.74E-02	-4.92E-01	-1.65E-01	-3.68E-01 +	-3.36E-01	2.96E-01	-8.11E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	2.02E-01	-5.35E-01 +	-7.90E-02	-2.21E-01	-1.63E-01	7.09E-03	-8.83E-02
	小都市A(5万人以上)	4,011	3.50E-01	-4.27E-01	-2.75E-02	-4.39E-01 *	-2.76E-01	1.04E-01	-7.68E-02

(令和3年度 直接鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能	11. 演芸※	12. 花展・盆栽展・茶会など	13. 食文化の展示・イベント	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	2,114	-6.85E-01 *	-1.29E-01	-1.53E-01	-6.08E-01 **	-3.91E-01	-1.20E-01	7.58E-02
	自営業主・自由業	1,093	-5.69E-02	6.29E-02	-2.63E-01	-4.33E-01 *	4.84E-02	-3.75E-01	-1.86E-02
	家族従業者	107	-5.92E-01	6.38E-01	-2.06E-01	4.60E-01	-2.73E-01	-5.40E-02	-8.20E-01 *
	主婦・主夫	3,231	-3.45E-01	-6.10E-01 †	-3.69E-01	-7.54E-01 ***	-3.40E-01	-5.21E-01 *	-3.09E-01 ***
	学生	348	-1.49E-01	2.50E-02	-6.33E-01	-7.34E-01	-7.67E-01	1.28E-01	-1.95E-01
	リタイア・無職	3,097	-5.29E-01 †	-2.66E-01	-1.22E-01	-3.88E-01 *	-1.53E-01	-5.92E-01 **	-1.25E-01
	その他	353	-1.65E+00	-2.09E+00	-5.26E-01	-4.72E-01	-6.89E-01	4.31E-01	-2.90E-01 †
家族状況	核家族	10,526	-4.69E-01 †	-2.08E-01	-3.87E-01 *	2.54E-01	3.77E-02	-1.10E-01	-7.30E-02
	三世代家族	944	-6.31E-01 †	-3.54E-01	-5.34E-01 †	-1.34E-01	2.17E-01	2.61E-01	-4.52E-02
	その他同居家族	856	-4.04E-02	5.06E-01	-6.24E-02	5.30E-01 *	2.47E-01	3.18E-01	1.06E-03
同居家族(未子)	未就学児	1,452	1.70E+00 ***	1.90E+00 ***	1.06E+00 ***	7.84E-01 ***	1.40E+00 ***	1.04E+00 ***	1.36E-01
	小学生	840	1.33E+00 ***	2.35E+00 ***	1.42E+00 ***	4.76E-01	8.55E-01 *	4.16E-01	3.05E-01 *
	中学生	420	1.15E+00 *	1.10E+00	2.70E-02	-2.22E+00 †	-7.04E-01	4.61E-01	4.28E-02
	高校生	914	9.63E-01 *	1.84E+00 ***	9.27E-01 **	4.96E-01 †	8.82E-01 **	7.05E-01 **	3.76E-01 **
	高校卒業者	1,984	-1.84E+00 †	8.82E-01 *	-9.92E-02	6.41E-03	3.39E-01	-2.84E-01	-2.68E-02
	要介護・要介助者	978	8.43E-01 **	2.97E-01	7.70E-01 **	3.45E-02	-2.77E-01	6.70E-01 **	2.79E-01 *
健康状態	移動可能	3,760	1.20E-01	2.34E-02	9.07E-02	-3.63E-02	1.70E-01	-1.04E-01	-7.85E-02
	移動困難(通所含む)	171	5.18E-01	9.38E-01 *	1.25E+00 ***	3.04E-01	7.24E-01 †	6.31E-02	-6.97E-02
年収	～100万円未満	662	-5.08E-01	-3.30E-01	-1.57E-01	-6.21E-01	6.41E-02	-4.51E-01	-3.76E-01 *
	～200万円未満	1,293	3.30E-02	5.70E-01	-4.00E-01	3.81E-01	-1.58E-01	-1.84E-01	-3.00E-01 *
	～300万円未満	2,007	6.45E-02	-1.53E-01	-3.47E-01	4.81E-01 *	-8.27E-02	-5.87E-02	-2.18E-01 *
	～400万円未満	2,357	-4.29E-01	2.99E-01	-1.68E-01	8.49E-02	-8.84E-02	-2.54E-01	-1.37E-01
	～500万円未満	1,947	-5.60E-02	2.48E-01	-1.22E-01	4.37E-01 †	7.78E-02	1.41E-01	-1.79E-01 †
	～600万円未満	1,662	1.26E-01	2.77E-01	2.37E-02	2.07E-01	2.37E-02	8.90E-02	-1.00E-01
	～700万円未満	1,274	-5.42E-01	-5.17E-02	-1.39E-01	4.17E-01 †	2.28E-01	8.83E-02	-8.12E-02
	～800万円未満	1,034	-3.29E-01	-2.27E-01	-4.63E-01	9.65E-02	-6.09E-01 †	-1.06E-03	-8.05E-02
	～900万円未満	713	-3.80E-01	-1.13E-01	-8.04E-01 *	-8.37E-02	-7.25E-02	-1.02E-01	-1.18E-01
学歴	～1,000万円未満	649	4.25E-02	6.95E-01 †	2.60E-01	7.05E-01 **	4.95E-01 †	2.10E-01	-1.30E-01
	小・中学校	436	-8.78E-02	3.11E-01	-9.86E-01 †	7.67E-02	-5.36E-01	-6.86E-01	-4.14E-01 **
	高校・旧制中学校	5,351	-4.60E-02	-3.11E-02	-4.00E-01 **	-2.95E-01 *	-1.89E-01	-4.04E-02	-2.00E-01 ***
	短大・高専	2,520	-1.80E-01	-7.07E-01 *	-3.80E-01 *	-3.98E-01 *	-1.26E-01	-1.36E-01	-4.97E-02
	大学院	575	-5.37E-01	4.61E-01	-2.38E-01	1.84E-02	6.90E-01 **	4.32E-01 †	-2.94E-01 *
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	1.02E-01	6.67E-01 **	4.75E-01 ***	2.68E-01 *	2.75E-01 †	1.28E-01	1.37E-01 *
	コーラス・声楽	267	8.12E-01 **	5.64E-01	6.80E-01 **	1.59E-01	6.45E-01 *	2.13E-01	-6.46E-02
	ダンス	345	1.53E+00 ***	1.24E+00 ***	7.23E-01 **	5.52E-01 *	4.47E-01 †	8.30E-01 ***	3.45E-01 **
	茶・華・書道の生活文化	3,394	1.46E-01	-1.23E-01	3.18E-01 *	1.14E-01	2.20E-01 †	1.23E-01	2.93E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	1.88E-01	8.47E-01 **	3.06E-01	2.47E-01	1.68E-01	2.94E-01	7.64E-02
	学習塾・そろばん等	6,018	4.81E-01 **	6.41E-01 ***	2.17E-01 †	3.53E-01 ***	3.81E-01 **	3.69E-01 **	1.79E-01 ***
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	6.02E-02	-5.91E-01 *	-1.39E-01	9.20E-02	2.03E-01	3.03E-01 *	8.93E-02
	その他	634	-3.92E-01	8.08E-01	4.28E-01	-1.45E-01	3.51E-01	5.75E-01	-1.67E-02
到達可能施設	ホール・劇場	8,588	5.14E-01 **	1.64E-01	3.64E-01 *	6.19E-01 ***	3.67E-01 *	5.84E-01 ***	1.44E-01 *
	美術館	8,027	6.18E-01 **	8.69E-01 ***	5.45E-01 **	2.36E-01	4.65E-01 **	3.96E-01 *	7.86E-02
	博物館	6,593	4.05E-02	2.51E-02	4.39E-01 **	2.87E-01 *	1.30E-01	6.61E-04	-3.52E-02
	映画館	11,323	-4.51E-01 *	3.44E-02	-2.02E-01	-2.82E-01 †	-1.10E-01	-3.37E-02	1.16E+00 ***
同居家族女性×	未就学児	645	-8.10E-01 *	-1.42E+00 *	-6.73E-01	-5.01E-01	-1.27E+00 **	-8.31E-01 *	-5.10E-01 **
	小学生	375	3.18E-02	-1.68E+00 *	-9.44E-01 †	-1.51E-01	-5.45E-01	2.55E-01	-1.55E-01
	中学生	193	-2.62E-01	-1.05E+00	-8.17E-02	1.72E+00	1.11E+00	-8.53E-01	-6.87E-02
	高校生	437	-6.03E-01	-5.83E-01	-2.49E-01	-1.09E-01	-6.75E-01	-6.86E-01	-3.92E-02
	高校卒業者	1,051	2.01E+00 †	-8.84E-01	2.70E-01	-5.07E-02	-5.61E-01 †	4.59E-01	1.85E-01
	要介護・要介助者	459	-3.96E-01	-2.23E-01	-1.00E+00 *	3.77E-01	-9.19E-02	-5.57E-01	-1.89E-01

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生している通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, †は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 直接鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	19. その他※	20. 直接鑑賞
行動者率		14,995	10.24%	13.03%	7.59%	2.31%	0.17%	42.15%
TjurのR ²		14,995	0.103	0.083	0.059	0.036	0.056	0.101
AIC		14,995	8698.7	10584.9	7458.4	3149.3	534.1	19024.4
切片		14,995	-1.11E+00	8.81E-02	-1.50E-01	-1.87E+00	1.92E-01	4.72E+00 ***
性別	女性	7,394	-4.02E-01 ***	-9.95E-02	-5.77E-02	-2.51E-01	1.37E+00 **	1.92E-01 ***
年齢	年齢	14,995	-5.84E-02	-2.05E-01 ***	-2.18E-01 ***	-2.00E-01 *	-6.87E-01 **	-3.14E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	8.41E-04	3.82E-03 ***	3.99E-03 **	2.97E-03	1.46E-02 **	5.25E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	-1.04E-05	-1.94E-05 **	-2.02E-05 **	-9.61E-06	-9.28E-05 **	-2.72E-05 ***
居住地	北海道	651	-2.84E-01	-4.62E-01 **	-6.44E-02	3.91E-01	-8.62E-01	-3.14E-01 **
	青森	146	-5.27E-02	-6.24E-01 +	-5.41E-01	3.53E-01	-1.62E-01	-6.20E-01 **
	岩手	146	-1.62E-01	-4.05E-01	-2.59E-01	2.93E-01	2.48E-01	-3.23E-01 +
	宮城	267	-2.36E-02	5.26E-03	-7.40E-02	2.84E-01	-1.18E-01	3.27E-02
	秋田	114	2.56E-01	-2.58E-01	1.20E-01	-6.71E-01	2.90E-01	-8.26E-03
	山形	132	1.49E-01	-4.02E-01	-8.34E-01 +	3.77E-01	4.59E-01	-5.75E-01 **
	福島	212	5.35E-02	2.26E-01	4.13E-01	6.14E-01	-1.24E-02	-1.05E-01
	茨城	348	3.83E-01 *	3.01E-01 +	5.01E-01 *	5.92E-01	-2.72E-01	-8.17E-02
	栃木	231	-2.23E-01	-1.79E-01	-8.02E-02	4.55E-01	2.04E-01	-3.10E-01 *
	群馬	217	-1.40E-01	-2.47E-01	3.34E-01	2.60E-01	-1.33E+00	-3.24E-01 *
	山梨	91	7.16E-01 *	1.60E-01	-4.96E-01	8.99E-01	3.15E-01	4.62E-02
	長野	231	-2.38E-01	-3.94E-02	-2.73E-01	5.23E-01	-2.62E-01	-2.04E-01
	埼玉	878	-2.40E-02	1.25E-01	3.36E-01 *	4.76E-01	1.73E-01	-5.36E-02
	千葉	755	5.25E-02	3.45E-03	2.18E-01	2.45E-01	6.07E-01	-1.03E-01
	神奈川	1,092	6.63E-02	1.10E-01	2.52E-01 +	3.64E-01	7.09E-01	-1.60E-01 +
	新潟	246	-1.45E-01	1.41E-01	1.12E-01	6.43E-01	1.38E-01	-2.71E-01 +
	富山	116	-7.77E-01	-2.30E-01	-3.72E-02	7.23E-01	3.91E-01	-2.29E-01
	石川	136	-5.49E-01	1.27E-01	-3.24E-01	9.07E-01 +	1.22E-01	-3.09E-01
	福井	92	-2.18E-04	-9.54E-02	5.00E-01	6.55E-01	8.33E-01	-5.36E-02
	岐阜	242	-6.46E-01 *	4.08E-01 *	1.81E-01	8.14E-01 +	9.18E-03	2.01E-02
	静岡	432	6.29E-02	3.70E-01 *	1.32E-01	2.53E-02	1.43E+00 *	1.34E-01
	愛知	885	-8.31E-02	-1.48E-01	-2.37E-01	-2.89E-02	-8.81E-02	-1.01E-01
	三重	209	-4.08E-01	7.84E-02	-3.02E-01	6.02E-01	1.14E+00	-1.27E-01
	滋賀	162	1.37E-01	5.29E-01 *	5.90E-02	6.26E-01	4.83E-02	-5.86E-02
	京都	309	1.67E-01	4.51E-01 **	2.60E-01	1.01E+00 **	7.05E-01	1.36E-01
	大阪	1,053	6.22E-02	1.67E-01	1.77E-01	2.31E-01	1.13E-01	-5.74E-02
	兵庫	663	7.00E-02	2.99E-01 *	2.44E-01	9.22E-01 **	1.13E-02	-1.38E-01
	奈良	155	3.26E-01	5.16E-01 *	4.46E-01	8.77E-01 +	1.29E+00	1.07E-01
	和歌山	119	-3.27E-01	2.39E-01	-7.07E-02	2.14E-01	-5.79E-02	-1.05E-01
	鳥取	60	1.65E-01	-9.23E-02	-7.77E-02	7.70E-01	8.73E-01	-7.02E-01 *
	島根	78	-2.91E-01	1.22E-02	3.38E-01	5.67E-01	2.74E-01	-4.14E-01
	岡山	211	2.41E-01	4.63E-01 *	2.32E-01	8.01E-02	-2.07E-01	1.45E-01
	広島	339	5.91E-02	-1.34E-01	1.37E-01	4.69E-01	-2.26E-01	-2.11E-01
	山口	160	-7.19E-01 +	3.56E-01	1.52E-01	8.23E-01	3.90E-01	-1.77E-01
	徳島	93	-3.07E-01	3.78E-01	1.39E-01	1.78E+00 ***	8.90E-01	3.27E-02
	香川	111	3.07E-01	4.12E-01	3.21E-01	7.75E-02	9.30E-01	-2.30E-01
	愛媛	159	-1.27E-01	1.21E-01	3.03E-01	9.82E-01 *	-4.93E-02	-2.96E-01
	高知	90	-2.27E-01	-4.59E-01	5.24E-01	1.29E+00 *	4.38E-01	-1.12E-01
	福岡	596	4.00E-02	1.10E-01	2.71E-01	6.59E-01 *	2.40E-01	5.11E-02
	佐賀	88	7.43E-02	2.93E-01	-9.23E-01	-1.24E+01	5.21E-01	-2.17E-01
	長崎	145	9.15E-03	-1.66E-01	2.38E-01	6.21E-01	1.25E+00	-1.54E-01
	熊本	203	-2.06E-01	-1.30E-01	-2.37E-01	5.18E-01	1.16E+00	-3.34E-01 *
	大分	144	-6.12E-01	-8.03E-02	2.00E-01	-5.89E-01	1.75E+00 *	-3.04E-01
	宮崎	136	-2.93E-01	-1.07E+00 *	-6.10E-01	7.40E-03	1.78E+00 *	-5.12E-01 *
	鹿児島	199	-4.98E-02	-1.41E-01	-3.62E-01	1.17E+00 **	1.00E-02	-2.73E-02
	沖縄	159	1.50E-01	-1.31E-01	-1.13E-01	1.35E+00 **	4.17E-01	-8.00E-02
都市階級	大都市	4,648	7.80E-02	-1.15E-01	-1.82E-01	-3.93E-01 +	-6.07E-01	-4.22E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	1.50E-01	6.68E-02	-4.53E-02	-8.25E-02	-3.98E-01	-8.04E-03
	小都市A(5万人以上)	4,011	2.47E-01 *	1.29E-01	7.45E-02	5.40E-04	-6.41E-01 +	3.34E-02

(令和3年度 直接鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	19. その他 [*]	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	4.61E-02	-8.93E-02	-4.66E-02	-5.99E-02	1.02E+00 ⁺	5.82E-02
	自営業主・自由業	1,093	1.23E-02	1.18E-01	7.33E-02	2.03E-01	1.71E+00 ^{**}	7.37E-02
	家族従業者	107	-6.10E-01	1.71E-01	-2.41E-01	-1.99E-01	1.32E+00	3.51E-02
	主婦・主夫	3,231	-4.99E-02	-1.84E-01 ⁺	-4.70E-01 ^{***}	-2.49E-01	6.40E-01	-3.04E-01 ^{***}
	学生	348	3.27E-01 ⁺	-9.33E-02	1.07E-01	-8.44E-01	1.23E+00	7.16E-02
	リタイア・無職	3,097	6.48E-02	-1.62E-01 ⁺	-2.50E-01 [*]	-1.67E-01	5.76E-01	-2.20E-01 ^{***}
	その他	353	-4.18E-01	9.54E-03	-1.81E-01	-5.17E-01	1.72E-01	-2.18E-01 ⁺
家族状況	核家族	10,526	-1.63E-01 ⁺	-2.73E-03	1.12E-01	1.15E-01	2.41E-01	-1.93E-02
	三世代家族	944	1.28E-01	-9.51E-02	1.05E-01	5.43E-01 ⁺	1.49E+00 ^{**}	1.02E-01
	その他同居家族	856	2.27E-01 ⁺	-1.19E-01	2.45E-02	7.37E-01 ^{**}	1.28E+00 ^{**}	1.31E-01
同居家族(末子)	未就学児	1,452	3.09E-01 ^{**}	1.59E-01	1.82E-01	6.98E-01 ^{**}	1.31E-01	5.66E-01 ^{***}
	小学生	840	6.26E-01 ^{***}	2.45E-01	1.73E-01	7.46E-01 [*]	7.99E-02	4.70E-01 ^{***}
	中学生	420	4.38E-01 [*]	-1.67E-01	2.78E-01	7.12E-01 ⁺	9.14E-01	2.56E-01 ⁺
	高校生	914	9.13E-02	6.93E-02	3.70E-01 [*]	8.32E-01 ^{***}	9.85E-01	5.47E-01 ^{***}
	高校卒業者	1,984	-1.69E-01	-1.20E-01	-1.67E-01	-2.25E-01	-4.78E-01	-1.51E-01 ⁺
	要介護・要介助者	978	1.70E-01	1.00E-02	2.11E-01	3.49E-01	-4.70E-01	1.92E-01 ⁺
	移動可能	3,760	9.33E-02	4.15E-02	5.10E-02	4.65E-02	-4.27E-01	2.05E-02
健康状態	移動困難(通所含む)	171	-1.88E-01	-4.08E-01	-9.99E-01 ⁺	-3.80E-01	1.28E+00 ⁺	7.43E-01 ^{***}
	～100万円未満	662	-1.93E-01	-5.12E-01 ^{**}	-5.92E-01 [*]	-3.65E-01	7.71E-01	-4.77E-01 ^{***}
年収	～200万円未満	1,293	-1.14E-01	-4.08E-01 ^{**}	-2.17E-01	3.00E-01	2.30E-01	-3.29E-01 ^{***}
	～300万円未満	2,007	1.29E-01	-4.47E-01 ^{***}	-3.94E-01 ^{**}	-1.81E-01	-1.71E-01	-2.05E-01 [*]
	～400万円未満	2,357	1.93E-01	-3.11E-01 ^{**}	-2.10E-01	-2.63E-01	-3.65E-01	-1.37E-01 ⁺
	～500万円未満	1,947	2.53E-01 [*]	-6.46E-02	-1.00E-03	-4.14E-02	-6.54E-01	-4.45E-02
	～600万円未満	1,662	2.48E-01 [*]	-1.36E-01	-1.76E-01	7.41E-02	-5.07E-01	-6.02E-02
	～700万円未満	1,274	1.14E-01	-1.24E-01	-2.36E-01	8.72E-02	-7.29E-02	-1.38E-01 ⁺
	～800万円未満	1,034	6.92E-02	-6.08E-02	-6.81E-02	1.95E-01	-8.86E-02	-7.04E-02
	～900万円未満	713	1.96E-01	-3.50E-02	-1.58E-01	2.21E-02	-1.07E+00	-1.26E-01
	～1,000万円未満	649	1.84E-01	2.20E-01 ⁺	1.05E-01	4.25E-01	-1.33E+00	-2.34E-02
学歴	小・中学校	436	-8.33E-02	-4.29E-01 [*]	-5.16E-01 [*]	-7.48E-01 ⁺	1.58E+00 ^{**}	-4.73E-01 ^{***}
	高校・旧制中学校	5,351	8.27E-02	-3.80E-01 ^{***}	-4.56E-01 ^{***}	-3.31E-01 [*]	5.30E-01	-2.68E-01 ^{***}
	短大・高専	2,520	-3.83E-02	-1.97E-01 [*]	-2.87E-01 ^{**}	-2.95E-01	-2.25E-01	-1.44E-01 ^{**}
	大学院	575	-2.24E-02	1.34E-01	-1.20E-01	-1.33E-02	1.80E+00 ^{***}	-5.35E-02
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	1.13E-01	1.46E-01 [*]	2.96E-01 ^{***}	1.02E-01	5.25E-01 ⁺	1.28E-01 ^{**}
	コーラス・声楽	267	8.37E-02	-9.27E-03	1.45E-01	-1.94E-01	2.44E-01	3.99E-01 ^{**}
	ダンス	345	1.38E-01	7.11E-02	-1.87E-02	5.63E-01 ⁺	-6.65E-02	5.16E-01 ^{***}
	茶・華・書道の生活文化	3,394	1.66E-01 [*]	1.79E-01 ^{**}	1.10E-01	1.19E-01	2.02E-01	1.52E-01 ^{***}
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	7.25E-02	9.00E-02	1.39E-02	6.74E-01 ^{***}	2.91E-01	1.02E-01
	学習塾・そろばん等	6,018	1.19E-01 ⁺	2.45E-01 ^{***}	2.19E-01 ^{**}	2.93E-01 [*]	2.14E-01	1.29E-01 ^{***}
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	1.23E-01 ⁺	2.61E-01 ^{***}	2.59E-01 ^{**}	4.08E-01 ^{**}	8.37E-01 [*]	6.77E-02
	その他	634	-8.00E-02	2.07E-01	3.28E-01	4.78E-01	1.04E+00	2.87E-02
到達施設可能	ホール・劇場	8,588	8.89E-02	2.24E-01 ^{**}	-6.51E-02	3.69E-01 [*]	7.55E-01 [*]	3.67E-01 ^{***}
	美術館	8,027	-5.93E-03	4.86E-01 ^{***}	3.21E-01 ^{**}	2.39E-01	6.26E-01 ⁺	3.22E-01 ^{***}
	博物館	6,593	1.50E-01 ⁺	6.09E-01 ^{***}	1.07E+00 ^{***}	6.06E-01 ^{***}	8.49E-02	1.22E-01 ^{**}
	映画館	11,323	8.45E-01 ^{***}	1.37E-01	1.64E-02	-2.20E-01	-4.38E-01	4.06E-01 ^{***}
同居家族女性×	未就学児	645	-4.46E-01 [*]	-9.71E-01 ^{***}	-5.78E-01 [*]	-3.12E-01	5.74E-01	-7.48E-01 ^{***}
	小学生	375	5.04E-02	-5.00E-01 [*]	-1.92E-01	1.44E-01	-4.20E-01	-2.41E-01
	中学生	193	-6.42E-01 ⁺	-1.60E-01	-6.37E-01	-4.33E-01	-1.51E+00	-1.19E-02
	高校生	437	9.66E-02	-1.50E-01	-6.35E-01 [*]	-2.74E-01	-6.36E-01	-1.52E-01
	高校卒業者	1,051	6.09E-01 ^{**}	1.30E-01	1.93E-01	3.06E-01	-4.87E-01	1.66E-01
	要介護・要介助者	459	-2.20E-01	-1.47E-01	-4.34E-01	-6.69E-01	2.15E-01	-2.85E-01 [*]

注1) 表頭の種別名に^{*}が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の^{***}, ^{**}, ^{*}は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

付表 5.6 令和 3 年度調査 間接鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表

(令和 3 年度 間接鑑賞 6 の 1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術	4. 現代美術	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど
行動者率		14,995	16.17%	35.81%	11.91%	2.22%	1.81%	4.07%	2.30%
TjurのR ²		14,995	0.128	0.090	0.098	0.042	0.026	0.042	0.062
AIC		14,995	11672.7	18356.6	9833.0	3008.7	2643.0	4821.8	2981.4
切片		14,995	-3.79E-01	-3.67E+00 ***	2.60E-01	-1.57E+00	-3.88E+00 *	-2.15E+00 *	-4.06E+00 *
性別	女性	7,394	-1.03E-01	-1.98E-01 ***	1.07E-01	-9.09E-02	-5.88E-02	8.13E-01 ***	1.27E+00 ***
年齢	年齢	14,995	-1.45E-01 **	1.05E-01 **	-2.24E-01 ***	-1.96E-01 *	-6.03E-02	-1.39E-01 *	-1.10E-01
	年齢の平方(2乗)	14,995	2.19E-03 *	-1.65E-03 *	3.78E-03 ***	3.94E-03 *	7.17E-04	1.75E-03	1.93E-03
	年齢の立方(3乗)	14,995	-6.41E-06	7.76E-06 *	-1.72E-05 **	-2.43E-05 *	-2.29E-06	-4.72E-06	-8.86E-06
居住地	北海道	651	-2.63E-02	1.21E-01	-2.04E-01	-6.97E-01 *	-1.24E+00 *	-6.13E-02	2.93E-01
	青森	146	-3.37E-01	-8.59E-02	-5.07E-01 *	-1.67E+00	4.86E-01	-1.99E-01	-9.23E-01
	岩手	146	-2.69E-01	-1.34E-01	-2.61E-01	-2.36E-01	3.65E-02	-3.56E-01	7.08E-01
	宮城	267	3.52E-01 *	1.16E-01	7.64E-02	-3.88E-01	3.73E-01	9.17E-02	3.31E-01
	秋田	114	1.99E-01	2.98E-01	1.89E-01	-2.39E-01	-1.55E+01	-6.05E-01	1.31E-01
	山形	132	1.20E-01	-2.73E-01	-2.73E-01	-8.51E-01	-1.05E+00	-6.19E-01	4.89E-01
	福島	212	9.82E-02	2.44E-01	-1.12E-01	2.24E-01	5.59E-01	-3.93E-01	6.65E-01
	茨城	348	-1.17E-02	-1.72E-02	2.52E-01	-2.11E-01	5.96E-01	1.22E-01	5.00E-01
	栃木	231	3.23E-02	-3.35E-02	-3.18E-02	-9.13E-01	-3.06E-01	-2.58E-01	-1.09E-01
	群馬	217	2.29E-01	1.37E-02	-1.55E-01	-8.42E-02	2.11E-01	-1.30E-01	6.96E-02
	山梨	91	-9.84E-03	2.10E-01	-4.63E-01	-1.34E+00	3.19E-01	-4.21E-01	-7.29E-01
	長野	231	2.20E-01	2.43E-01	9.18E-02	-6.25E-01	-1.55E+01	-6.99E-01	1.94E-01
	埼玉	878	-1.00E-01	-1.05E-01	-5.69E-02	-7.27E-01 *	1.14E-02	-9.32E-02	5.20E-02
	千葉	755	-1.63E-01	-1.10E-01	-8.01E-02	-4.94E-01	3.14E-01	-8.73E-02	2.31E-01
	神奈川	1,092	7.60E-02	-9.77E-02	1.10E-01	2.67E-02	3.48E-01	5.23E-02	2.18E-01
	新潟	246	-3.33E-01	-7.20E-02	-1.06E-01	-2.55E-01	1.92E-01	-8.82E-01 *	-2.61E-01
	富山	116	-3.68E-01	-6.10E-01 **	7.12E-02	-9.50E-01	-2.88E-01	-7.34E-01	-1.38E+01
	石川	136	-1.36E-01	-3.98E-01 *	-5.96E-01 *	-1.64E-01	-5.39E-01	-4.06E-01	-1.27E+00
	福井	92	2.74E-01	-2.35E-01	-1.51E-01	-5.35E-01	-5.73E-01	4.34E-01	-4.55E-01
	岐阜	242	-2.39E-02	1.26E-01	-1.59E-01	-8.10E-01	-2.14E-01	-2.68E-01	1.16E-01
	静岡	432	-1.43E-01	-3.70E-02	-2.22E-01	-3.21E-01	3.44E-01	-6.87E-03	4.11E-01
	愛知	885	-2.17E-01 *	-1.97E-01 *	-5.77E-01 ***	-6.58E-01 *	-4.39E-02	1.91E-01	1.16E-01
	三重	209	-2.84E-01	-1.93E-01	-2.12E-01	-7.04E-01	3.25E-01	-5.78E-01	-1.34E+00
	滋賀	162	-3.05E-01	1.73E-02	-1.51E-01	-6.55E-01	-1.58E+01	3.41E-01	4.00E-01
	京都	309	1.03E-01	1.52E-02	-1.28E-01	1.58E-01	4.49E-01	-5.30E-02	1.84E-01
	大阪	1,053	-3.68E-01 **	-2.61E-01 **	-3.13E-01 *	-3.10E-01	1.83E-01	-2.28E-01	-1.49E-01
	兵庫	663	-3.49E-01 *	-1.79E-01 *	-3.17E-01 *	-3.06E-01	-1.14E-01	-2.10E-01	2.14E-01
	奈良	155	-4.42E-01 *	-1.12E-02	-1.87E-01	-2.00E-01	-4.20E-01	-2.94E-01	3.09E-01
	和歌山	119	-1.50E-01	-7.27E-02	-2.08E-03	-4.51E-01	-9.53E-01	-1.94E-01	-1.15E+00
	鳥取	60	2.51E-01	1.26E-02	-1.40E-01	-1.39E+01	-1.56E+01	-3.43E-01	-2.71E-02
	島根	78	-4.56E-01	5.98E-02	-1.26E+00 *	-1.28E+00	-7.46E-02	-1.53E+00	-1.79E-02
	岡山	211	-8.64E-02	8.10E-02	-5.99E-02	-9.35E-01 *	-1.53E+00	-2.93E-01	3.80E-01
	広島	339	-2.65E-01	8.71E-02	-2.44E-01	-9.02E-01 *	-7.42E-01	-7.23E-01 *	-3.71E-01
	山口	160	-2.78E-01	-9.06E-02	-2.99E-01	-1.66E+00	-1.57E+01	-2.87E-01	2.18E-01
	徳島	93	-2.19E-01	2.98E-01	-7.88E-01 *	-1.21E+00	3.37E-02	1.18E-02	1.00E+00 *
	香川	111	-1.32E-01	5.81E-03	-1.52E-01	-4.46E-02	-9.53E-01	-1.11E+00	-1.40E+01
	愛媛	159	-2.62E-01	-3.51E-02	-4.45E-01	-1.09E+00	-1.26E+00	-1.00E+00 *	-1.28E-01
	高知	90	-1.07E-01	1.58E-02	1.45E-02	-2.16E-02	-1.56E+01	-7.26E-01	9.07E-01
	福岡	596	5.10E-02	-1.31E-01	-1.47E-01	-4.48E-01	4.16E-01	8.21E-02	-5.52E-02
	佐賀	88	-3.17E-01	-2.42E-03	-5.10E-01	-8.27E-02	-1.55E+01	-2.40E-01	-5.90E-01
	長崎	145	-5.23E-01 *	9.54E-02	-2.95E-01	-5.15E-02	-3.39E-01	-6.50E-01	-1.29E-01
	熊本	203	-4.11E-01 *	7.81E-03	-1.71E-01	-8.44E-01	3.82E-01	8.12E-02	2.31E-01
	大分	144	-3.34E-01	-2.93E-01	-1.84E-02	-3.47E-01	-1.09E+00	-1.64E-01	5.60E-01
	宮崎	136	1.14E-01	1.90E-01	2.14E-01	-7.61E-01	-2.57E-01	-1.58E-01	-9.44E-01
	鹿児島	199	-2.01E-01	4.32E-02	-2.52E-01	-4.71E-01	-1.50E-01	-4.32E-01	-7.05E-01
	沖縄	159	-8.59E-02	-1.34E-01	-4.71E-01	-1.22E+00	1.89E-01	-1.65E-02	-1.19E+00
都市階級	大都市	4,648	-6.08E-02	-2.48E-02	-1.95E-01 *	-3.78E-01	-3.06E-01	8.32E-03	6.44E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	5.31E-02	5.92E-02	-7.41E-02	-1.74E-01	-8.28E-02	2.67E-01	2.28E-01
	小都市A(5万人以上)	4,011	-1.28E-04	2.87E-02	-7.65E-02	-6.90E-02	2.36E-01	3.19E-01 *	3.33E-01

(令和3年度 間接鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術	4. 現代美術	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇	6. ミュージカル	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど
職業	非正規職員・従業員	2,114	4.24E-02	1.66E-01 **	2.27E-01 *	-2.25E-01	-3.24E-01	5.44E-03	2.59E-01
	自営業主・自由業	1,093	4.95E-01 ***	1.96E-01 *	7.11E-01 ***	7.65E-01 ***	5.96E-01 **	2.60E-02	1.00E+00 ***
	家族従業者	107	-1.14E-01	7.23E-01 ***	6.16E-01 *	-6.15E-01	5.66E-01	-5.43E-01	-3.93E-01
	主婦・主夫	3,231	2.15E-01 *	-4.84E-02	2.44E-01 *	-2.17E-02	2.44E-01	1.15E-01	2.85E-01
	学生	348	-2.07E-01	3.52E-01 *	1.26E-01	2.17E-01	9.34E-01 *	4.31E-01	6.93E-01
	リタイア・無職	3,097	1.93E-01 *	1.64E-01 *	4.30E-01 ***	8.24E-02	-6.78E-02	-1.61E-01	6.18E-01 **
	その他	353	4.53E-02	-1.21E-01	1.63E-01	-6.50E-01	1.55E-01	2.23E-01	1.07E+00 **
家族状況	核家族	10,526	-4.66E-02	5.36E-02	9.91E-02	-1.47E-01	-7.43E-02	-9.50E-02	-3.82E-01 *
	三世代家族	944	-2.55E-01 +	3.75E-02	1.22E-01	-2.68E-02	4.21E-02	7.89E-02	-5.69E-01 +
	その他同居家族	856	-7.27E-02	2.01E-02	3.41E-01 *	3.73E-01	4.59E-01	9.48E-02	-4.47E-01
同居家族(未子)	未就学児	1,452	2.83E-01 *	-4.80E-01 ***	5.95E-01 ***	9.46E-01 ***	4.23E-01	4.96E-01 *	1.56E+00 ***
	小学生	840	9.29E-02	-5.19E-01 ***	2.41E-01	7.67E-01 **	3.99E-01	7.44E-01 **	1.27E+00 ***
	中学生	420	2.46E-03	1.03E-01	-7.63E-02	8.82E-02	5.13E-01	6.10E-01 +	8.35E-01
	高校生	914	-4.11E-02	-3.32E-01 **	2.09E-01	2.01E-01	2.36E-01	1.88E-01	3.67E-01
	高校卒業者	1,984	-3.82E-01 ***	-4.63E-02	-2.33E-01 +	-6.50E-01 *	-2.69E-01	-1.73E-01	-1.44E-01
	要介護・要介助者	978	1.20E-01	2.00E-01 *	2.28E-01 +	7.28E-01 **	6.47E-01 *	1.01E+00 ***	6.99E-01 *
健康状態	移動可能	3,760	1.21E-01 *	2.13E-01 ***	1.27E-01 *	2.21E-01 +	2.06E-01	2.29E-01 *	-2.55E-02
	移動困難(通所含む)	171	2.15E-01	1.48E-01	6.59E-01 **	9.80E-01 **	4.62E-01	-8.89E-03	6.15E-01
年収	～100万円未満	662	-2.27E-02	5.41E-02	3.41E-02	4.24E-01	-9.71E-02	-2.14E-02	-1.41E+00 **
	～200万円未満	1,293	-5.52E-02	9.05E-02	1.40E-01	1.72E-01	1.70E-01	1.72E-01	-8.14E-01 **
	～300万円未満	2,007	-1.76E-01	1.27E-01	1.83E-01	2.77E-01	3.01E-01	-1.20E-01	-6.86E-01 **
	～400万円未満	2,357	-2.75E-01 **	2.20E-02	5.54E-02	1.33E-01	-3.54E-02	1.35E-01	-4.32E-01 +
	～500万円未満	1,947	-1.62E-01	1.26E-01	8.42E-02	-4.04E-02	2.87E-01	1.66E-01	-4.72E-01 *
	～600万円未満	1,662	-4.77E-02	-1.54E-02	4.00E-02	9.05E-02	5.15E-01 +	2.08E-01	-4.77E-01 *
	～700万円未満	1,274	-1.23E-01	1.19E-01	-2.67E-02	3.28E-02	5.59E-01 *	8.98E-02	-3.55E-01
	～800万円未満	1,034	-1.50E-01	3.62E-02	9.81E-02	-4.21E-01	3.33E-01	7.22E-02	-3.14E-01
	～900万円未満	713	1.51E-03	1.10E-01	-8.86E-02	8.31E-02	3.75E-01	3.88E-01 +	-2.00E-01
	～1,000万円未満	649	-1.29E-01	-9.27E-02	1.14E-01	-2.32E-01	3.46E-01	1.04E-01	-4.97E-01
学歴	小・中学校	436	-4.65E-01 **	1.69E-01	-5.67E-01 **	-1.04E+00 *	-1.11E+00 +	-6.50E-01 *	-1.48E-01
	高校・旧制中学校	5,351	-4.74E-01 ***	2.51E-02	-3.65E-01 ***	-5.79E-01 ***	-3.26E-01 *	-3.57E-01 **	-4.51E-01 **
	短大・高専	2,520	-2.43E-01 ***	-1.20E-02	-2.69E-01 **	-5.78E-01 **	-1.32E-01	-2.70E-01 *	-2.66E-01
	大学院	575	1.76E-01	-4.36E-02	1.73E-01	2.08E-01	5.90E-02	2.23E-01	2.17E-01
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	6.52E-01 ***	1.78E-01 ***	1.73E-01 *	2.51E-01 +	3.95E-01 **	1.07E-01	1.91E-01
	コーラス・声楽	267	1.17E+00 ***	4.60E-01 ***	6.64E-01 ***	7.26E-01 **	6.71E-01 *	5.83E-01 **	9.01E-01 ***
	ダンス	345	2.77E-01 *	2.55E-01 *	5.85E-01 ***	6.97E-01 **	3.18E-01	5.37E-01 **	1.36E+00 ***
	茶・華・書道の生活文化	3,394	1.78E-01 **	2.14E-01 ***	2.86E-01 ***	3.04E-01 *	-2.93E-02	1.28E-01	1.26E-01
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	2.11E-01 *	7.81E-02	6.85E-01 ***	6.06E-01 **	4.79E-01 *	6.27E-01 ***	5.30E-01 **
	学習塾・そろばん等	6,018	1.55E-01 **	2.44E-01 ***	1.33E-01 *	2.88E-01 *	4.21E-01 **	1.87E-01 *	1.52E-01
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	1.27E-01 +	8.53E-02 +	-2.52E-02	-2.76E-02	-7.37E-02	2.81E-01 *	1.15E-01
	その他	634	-9.92E-02	1.37E-02	1.47E-01	3.35E-01	1.83E-01	-2.25E-01	2.23E-02
到達施設可能	ホール・劇場	8,588	1.04E+00 ***	7.83E-01 ***	4.53E-01 ***	3.27E-01 +	7.67E-01 ***	6.73E-01 ***	8.15E-01 ***
	美術館	8,027	2.39E-01 ***	1.15E-01 *	7.25E-01 ***	9.44E-01 ***	6.83E-01 ***	3.81E-01 **	4.72E-01 **
	博物館	6,593	5.20E-02	8.41E-03	2.91E-01 ***	4.08E-01 **	-6.20E-02	1.50E-01	2.93E-01 *
	映画館	11,323	-1.25E-01 +	3.96E-01 ***	-1.73E-01 *	-3.86E-01 *	-3.42E-01 +	2.12E-01	-1.43E-01
同居家族女性×	未就学児	645	-2.54E-01	6.46E-02	-1.05E+00 ***	-5.62E-01	-7.85E-01 +	-7.33E-01 *	-1.89E+00 ***
	小学生	375	-4.11E-01 +	1.90E-01	-5.44E-01 +	-8.12E-01	-2.01E-01	-9.27E-01 *	-1.39E+00 **
	中学生	193	-1.39E-01	-6.70E-02	-3.32E-01	-1.32E+01	-6.70E-01	-1.28E+00 *	-2.51E+00 *
	高校生	437	-9.85E-02	-4.69E-02	-5.99E-01 *	4.30E-01	-1.45E-01	-3.59E-01	-8.60E-01
	高校卒業者	1,051	1.73E-01	-1.21E-02	1.22E-01	9.66E-01 *	3.24E-01	4.91E-02	-5.66E-02
	要介護・要介助者	459	2.24E-01	4.21E-02	1.30E-01	-4.80E-01	-2.12E-01	-8.13E-01 **	-3.81E-01

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生している通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 間接鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能	11. 演芸	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント	14. 映画
行動者率		14,995	3.19%	0.67%	4.40%	13.16%	1.39%	2.47%	41.87%
TjurのR ²		14,995	0.041	0.072	0.064	0.117	0.045	0.023	0.090
AIC		14,995	4055.5	1172.5	4881.9	10255.7	2098.6	3397.0	19146.3
切片		14,995	-4.03E+00 **	1.26E-01	-1.86E+00	-2.75E+00 **	-1.53E+00	-2.88E+00 *	1.21E+00 *
性別	女性	7,394	2.36E-01	-2.23E-02	2.67E-01 *	-4.71E-01 ***	6.37E-01 **	-5.74E-01 **	-1.88E-01 ***
年齢	年齢	14,995	1.15E-03	-3.30E-01 *	-2.16E-01 *	-1.01E-01 *	-2.45E-01 *	-3.22E-02	-1.81E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	-8.11E-04	4.74E-03 +	4.11E-03 *	2.30E-03 *	3.98E-03 +	-3.04E-04	3.91E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	9.07E-06	-1.56E-05	-1.98E-05 *	-1.13E-05 +	-1.48E-05	8.45E-06	-2.60E-05 ***
居住地	北海道	651	3.81E-01	-9.87E-02	6.43E-02	-1.80E-01	-8.80E-02	-1.35E-01	1.03E-01
	青森	146	-8.58E-01	-7.88E-01	1.78E-02	-1.14E-01	9.44E-01	-6.21E-01	-2.13E-01
	岩手	146	3.21E-01	3.71E-01	-2.86E-01	1.08E-01	1.09E+00 *	5.06E-01	2.30E-01
	宮城	267	2.96E-01	-1.72E+00	-4.88E-01	2.83E-01	4.93E-01	-6.29E-02	1.24E-01
	秋田	114	5.71E-01	2.42E-01	-3.80E-01	3.89E-01	-9.88E-01	6.43E-01	4.19E-01 *
	山形	132	2.87E-01	-1.06E+00	-3.40E-01	-7.03E-02	-2.87E-01	4.68E-01	-2.87E-01
	福島	212	-3.05E-01	1.55E-01	3.92E-01	6.31E-01 **	1.08E+00 *	5.30E-01	3.01E-01 +
	茨城	348	4.92E-01	8.55E-01	2.41E-01	1.27E-01	7.34E-01 +	-1.37E-01	1.70E-01
	栃木	231	-5.12E-01	-6.05E-02	1.67E-01	-4.14E-02	1.21E+00 **	-2.38E-01	9.05E-02
	群馬	217	4.11E-01	-9.59E-02	3.62E-01	1.17E-01	4.30E-01	-1.58E-02	-6.01E-02
	山梨	91	-1.42E+01	-7.52E-01	-6.71E-01	-3.66E-01	-9.63E-01	-4.51E-01	1.33E-01
	長野	231	3.71E-02	6.26E-01	4.41E-01	1.08E-01	3.55E-01	5.25E-01	7.22E-02
	埼玉	878	-2.21E-02	-1.37E-01	1.32E-01	1.40E-01	2.42E-01	6.38E-02	-1.52E-01 +
	千葉	755	-1.15E-01	4.41E-01	1.33E-01	1.80E-01	2.38E-01	-7.29E-03	-7.37E-02
	神奈川	1,092	-1.13E-01	1.78E-01	4.44E-02	1.06E-01	-1.05E-01	3.53E-01	8.06E-02
	新潟	246	-8.21E-01	-6.93E-02	-2.03E-02	2.57E-01	6.44E-01	-1.39E-01	-6.63E-02
	富山	116	-7.42E-01	6.44E-01	5.21E-01	-1.53E-01	8.73E-01	-1.19E-01	-5.47E-02
	石川	136	-5.55E-01	-1.37E+00	-4.36E-01	2.05E-01	5.18E-01	-7.19E-01	-1.34E-01
	福井	92	1.71E-01	1.34E+00 +	-1.22E-02	-2.93E-01	5.18E-01	-9.16E-01	-2.50E-01
	岐阜	242	-1.36E-01	-1.07E-01	3.38E-01	2.42E-01	-7.70E-01	-8.12E-01	1.48E-01
	静岡	432	3.99E-01	-1.82E+00	1.39E-01	2.38E-01	-3.51E-01	8.28E-02	1.63E-01
	愛知	885	-5.33E-01 +	1.28E-01	-2.32E-03	-1.30E-01	3.08E-01	-2.07E-01	-1.65E-01 +
	三重	209	-2.13E-01	2.67E-01	3.92E-01	-9.31E-02	3.80E-01	-7.84E-03	-2.18E-01
	滋賀	162	1.77E-01	-1.26E+00	-1.25E-01	2.90E-01	9.27E-01 +	1.91E-01	9.44E-02
	京都	309	1.99E-01	-8.96E-02	3.85E-01	2.30E-02	5.62E-01	1.31E-01	-5.69E-02
	大阪	1,053	1.71E-01	-5.97E-02	6.89E-02	1.69E-01	-8.95E-02	-1.53E-01	3.32E-02
	兵庫	663	1.16E-01	-1.38E+00 +	1.08E-02	-6.01E-02	-7.89E-02	-4.33E-02	-5.80E-02
	奈良	155	-7.41E-02	-8.69E-01	-2.34E-01	2.12E-01	5.83E-01	-3.08E-01	-1.84E-01
	和歌山	119	-8.40E-01	-1.12E+00	-1.83E-01	-5.59E-01	3.29E-01	-5.26E-01	2.94E-01
	鳥取	60	-1.39E+01	1.13E-01	-1.03E+00	1.14E-01	-2.28E-01	-5.04E-01	6.71E-02
	島根	78	-5.23E-01	-1.07E+00	-1.35E+00	1.89E-03	9.74E-01	9.47E-01 +	-7.96E-02
	岡山	211	-4.32E-01	7.96E-01	-4.00E-01	1.46E-01	-2.03E-01	1.78E-01	1.88E-01
	広島	339	3.27E-01	-1.42E+00	-2.72E-01	4.06E-02	2.61E-01	3.46E-01	-1.60E-01
	山口	160	-4.34E-01	-8.26E-01	-1.34E+01	1.24E-01	2.70E-01	-1.80E-01	-1.00E-01
	徳島	93	1.10E+00 *	8.05E-01	2.98E-01	-9.21E-02	1.68E+00 **	7.50E-01	-7.89E-02
	香川	111	-1.43E+01	6.64E-01	-6.91E-01	-1.90E-01	-1.69E+00	-5.07E-01	-1.42E-01
	愛媛	159	-4.75E-01	4.38E-02	8.46E-02	-4.23E-02	-2.76E-01	-2.40E-01	-3.58E-02
	高知	90	-1.03E+00	-7.31E-01	-9.75E-01	-4.19E-01	2.90E-01	-2.08E-01	2.52E-02
	福岡	596	2.23E-01	-1.99E-01	-3.39E-02	-6.18E-02	5.65E-01	-5.56E-01	-1.94E-02
	佐賀	88	3.81E-01	6.83E-01	-7.95E-01	-5.17E-01	1.26E+00 *	-1.29E+01	-2.26E-01
	長崎	145	-1.76E-02	-1.00E+00	3.86E-01	1.14E-02	2.94E-01	5.19E-01	2.15E-01
	熊本	203	5.48E-01	4.53E-01	-7.14E-01	6.67E-02	1.49E+00 ***	5.02E-01	1.57E-01
	大分	144	2.33E-01	1.54E-02	3.90E-01	3.04E-01	8.67E-01	-5.02E-01	-3.47E-01 +
	宮崎	136	2.44E-01	8.99E-01	-7.85E-01	1.53E-01	5.98E-01	-1.21E+00	2.65E-01
	鹿児島	199	5.32E-01	-1.41E+00	-4.86E-01	5.17E-01 *	1.10E-01	-4.77E-01	2.13E-01
	沖縄	159	7.28E-01 *	5.68E-01	1.07E-01	-2.77E-01	4.90E-01	-2.10E-03	3.56E-01 *
都市階級	大都市	4,648	-1.55E-01	-4.76E-01	-2.09E-01	-2.02E-01 *	-3.76E-01	-3.86E-01 +	-4.56E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	-4.89E-02	1.63E-02	-4.12E-02	-9.30E-02	-3.79E-01 +	-3.38E-01 +	-1.08E-01 +
	小都市A(5万人以上)	4,011	1.15E-01	-3.01E-01	-2.61E-02	-9.75E-03	-1.76E-01	-2.37E-01	5.19E-02

(令和3年度 間接鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能	11. 演芸	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	2,114	3.20E-01 ⁺	1.86E-02	2.79E-01	-2.73E-02	-4.63E-01 ⁺	1.71E-01	4.00E-02
	自営業主・自由業	1,093	4.29E-01 [*]	-5.46E-02	5.22E-01 ^{**}	2.45E-01 [*]	-5.69E-01 ⁺	2.81E-01	1.42E-01 ⁺
	家族従業者	107	-4.02E-01	6.96E-01	5.24E-01	3.00E-01	4.71E-01	1.40E+00 ^{***}	-2.72E-01
	主婦・主夫	3,231	1.42E-01	-7.62E-01 [*]	9.03E-02	2.34E-02	-4.05E-01	1.34E-01	1.55E-02
	学生	348	1.51E-01	-7.57E-01	3.41E-01	-2.50E-01	1.64E-01	-9.69E-02	-1.31E-01
	リタイア・無職	3,097	4.49E-01 [*]	-2.05E-01	2.76E-01	2.41E-01 [*]	-4.39E-01 ⁺	9.51E-02	2.46E-01 ^{***}
	その他	353	7.08E-01 [*]	-1.70E-01	-1.84E-02	-1.92E-02	8.69E-02	-7.39E-01	-1.60E-01
家族状況	核家族	10,526	-1.49E-01	-4.61E-01	-2.94E-01 [*]	1.43E-01 ⁺	-1.49E-01	-1.29E-01	2.30E-03
	三世代家族	944	-1.21E-01	-3.75E-01	-1.05E-01	6.06E-02	-6.62E-02	-7.86E-02	-1.22E-02
	その他同居家族	856	1.63E-01	-1.40E-01	-2.55E-01	1.23E-01	2.21E-01	2.09E-01	4.24E-02
同居家族(未子)	未就学児	1,452	9.10E-01 ^{***}	9.87E-01 [*]	6.35E-01 [*]	-1.86E-01	1.58E+00 ^{***}	3.67E-01	-4.94E-01 ^{***}
	小学生	840	6.80E-01 [*]	1.50E+00 ^{***}	4.74E-01	-5.35E-01 [*]	6.68E-01	1.03E-01	-1.61E-01
	中学生	420	6.25E-01 ⁺	1.12E+00 ⁺	1.47E-01	-3.80E-01	4.33E-01	-2.67E-01	-1.34E-01
	高校生	914	-3.45E-02	4.62E-01	2.19E-01	-3.71E-01 [*]	4.17E-01	4.24E-01	-1.92E-01 ⁺
	高校卒業者	1,984	-3.02E-01	1.37E-01	-5.08E-01 [*]	-1.10E-01	2.86E-01	-8.74E-02	-6.45E-03
	要介護・要介助者	978	3.20E-01	9.34E-01 ^{**}	3.30E-01	2.02E-01	7.05E-01 [*]	1.61E-01	2.36E-01 [*]
健康状態	移動可能	3,760	4.79E-02	-4.06E-01 ⁺	2.28E-01 [*]	2.12E-01 ^{***}	5.09E-02	-2.30E-02	1.20E-01 ^{**}
	移動困難(通所含む)	171	-2.62E-02	8.01E-01 ⁺	6.78E-01 [*]	6.71E-02	5.54E-01	5.47E-01	-4.57E-01 [*]
年収	～100万円未満	662	-1.01E+00 ^{**}	-5.93E-01	-5.08E-01 ⁺	-3.56E-01 ⁺	-8.00E-01 ⁺	-8.47E-01 [*]	-3.94E-01 ^{***}
	～200万円未満	1,293	-2.27E-01	3.17E-01	3.28E-02	5.43E-02	-6.23E-01 ⁺	-6.55E-01 [*]	-1.22E-01
	～300万円未満	2,007	-2.29E-01	-4.01E-01	-1.41E-02	2.54E-02	-3.92E-01	-7.26E-01 ^{**}	-8.54E-02
	～400万円未満	2,357	-2.85E-01	-1.12E-01	-3.61E-02	5.33E-02	-3.34E-01	-5.27E-01 [*]	-9.49E-04
	～500万円未満	1,947	-1.71E-01	-4.67E-01	-3.16E-02	1.96E-01 ⁺	-4.16E-01	-2.08E-01	-4.84E-03
	～600万円未満	1,662	-1.93E-01	-7.18E-01	1.36E-02	-4.92E-02	-3.23E-02	-2.88E-01	5.67E-02
	～700万円未満	1,274	-3.92E-01 ⁺	3.97E-01	9.98E-02	-1.37E-02	-4.77E-01	-2.17E-01	-3.00E-02
	～800万円未満	1,034	-1.17E-01	-5.18E-01	-3.83E-02	-2.83E-02	-4.84E-01	-5.18E-01 ⁺	5.53E-03
	～900万円未満	713	-2.13E-01	-8.71E-01	-5.67E-02	-8.46E-03	-5.09E-01	-2.05E-02	8.55E-02
学歴	～1,000万円未満	649	-3.13E-01	-3.26E-01	1.61E-01	-1.12E-01	-8.09E-02	-2.54E-01	-2.76E-02
	小・中学校	436	2.81E-01	5.56E-02	-4.72E-01	1.17E-01	-1.13E-01	4.87E-01	-1.72E-01
	高校・旧制中学校	5,351	2.43E-01 [*]	-6.03E-02	-2.39E-01 [*]	4.23E-02	-1.80E-02	-1.19E-02	-1.48E-01 ^{***}
	短大・高専	2,520	1.40E-02	-2.92E-01	-2.41E-01 ⁺	-1.19E-01	-1.32E-01	-2.11E-01	-4.66E-02
習い事	大学院	575	-2.45E-01	-2.02E-01	-4.87E-02	-2.36E-02	6.40E-01 [*]	1.04E-01	-1.74E-01 ⁺
	ピアノ等の楽器	3,591	-7.81E-02	4.90E-01 [*]	2.85E-01 ^{**}	9.32E-02	3.51E-03	1.87E-01	1.33E-01 ^{**}
	コーラス・声楽	267	6.12E-01 ^{**}	1.23E+00 ^{***}	6.90E-01 ^{***}	4.23E-01 [*]	8.69E-01 ^{**}	3.58E-01	9.30E-02
	ダンス	345	1.47E+00 ^{***}	6.12E-01 ⁺	9.99E-02	1.26E-01	8.89E-01 ^{**}	3.41E-01	3.47E-02
	茶・華・書道の生活文化	3,394	2.54E-01 [*]	8.97E-03	4.21E-01 ^{***}	2.72E-01 ^{***}	2.44E-01	6.53E-02	1.24E-01 ^{**}
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	3.05E-01	6.86E-01 [*]	3.99E-01 ^{**}	-4.88E-03	7.10E-01 ^{**}	4.22E-01 [*]	1.69E-01 ⁺
	学習塾・そろばん等	6,018	3.07E-01 ^{**}	7.82E-01 ^{***}	1.78E-01 [*]	2.66E-01 ^{***}	4.42E-01 ^{**}	3.39E-01 ^{**}	2.48E-01 ^{***}
	水泳・野球等のスポーツ その他	3,251 634	4.32E-01 ^{***} 2.27E-01	-6.99E-02 6.25E-01	1.33E-01 4.88E-01	2.28E-01 ^{**} 8.41E-02	5.13E-01 ^{**} 5.46E-01	2.12E-01 3.86E-02	2.26E-01 ^{***} 8.17E-02
到達可能施設	ホール・劇場	8,588	5.98E-01 ^{***}	2.68E-01	4.20E-01 ^{***}	5.65E-01 ^{***}	4.61E-01 ^{**}	5.34E-01 ^{***}	2.79E-01 ^{***}
	美術館	8,027	5.22E-01 ^{***}	8.30E-01 ^{**}	3.89E-01 ^{**}	7.22E-02	2.83E-01	3.71E-01 [*]	1.09E-01 [*]
	博物館	6,593	1.14E-01	4.71E-01 [*]	5.54E-01 ^{***}	3.91E-01 ^{***}	8.29E-02	2.64E-01 ⁺	2.59E-02
	映画館	11,323	-1.68E-01	-2.36E-01	-1.43E-01	2.40E-01 ^{**}	-3.65E-01 [*]	-5.27E-02	9.19E-01 ^{***}
同居家族女性×	未就学児	645	-1.09E+00 ^{***}	-5.23E-01	-6.31E-01	1.17E-01	-1.16E+00 [*]	-1.65E+00 ^{**}	2.69E-02
	小学生	375	-5.51E-01	-7.70E-01	-6.06E-01	-3.63E-02	-7.16E-01	2.33E-02	-1.17E-01
	中学生	193	-6.80E-01	-1.20E+00	-8.47E-01	3.14E-01	-1.73E+00	-3.10E-01	7.81E-02
	高校生	437	-7.10E-01	5.82E-01	-1.21E+00 ^{**}	-8.98E-02	9.92E-02	-2.10E-01	5.43E-02
	高校卒業者	1,051	5.01E-01	7.67E-01	5.24E-01 [*]	-4.45E-02	-6.21E-01	-9.63E-02	1.94E-03
	要介護・要介助者	459	-1.04E-01	-5.56E-01	1.55E-01	1.05E-01	-1.45E-01	7.29E-01 [*]	-2.56E-01 ⁺

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, ⁺は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 間接鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	19. その他*	20. 直接鑑賞
行動者率		14,995	24.25%	16.73%	6.89%	4.22%	0.29%	67.31%
TjurのR ²		14,995	0.113	0.154	0.076	0.060	0.033	0.133
AIC		14,995	15085.3	11542.5	6743.3	4786.9	724.0	17152.8
切片		14,995	-1.50E+00 *	-2.28E+00 *	-1.16E+00	-2.05E+00	-4.82E+00	2.06E+00 ***
性別	女性	7,394	-3.45E-01 ***	-4.58E-01 ***	-4.30E-01 ***	-4.67E-01 ***	2.80E-01	-1.54E-01 **
年齢	年齢	14,995	-1.58E-02	-9.86E-02 +	-2.16E-01 **	-1.85E-01 *	-2.84E-01	-1.68E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	5.41E-04	1.99E-03 *	4.26E-03 **	3.13E-03 +	5.42E-03	3.03E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	-9.51E-06	-7.45E-06	-2.18E-05 **	-1.24E-05	-3.25E-05	-1.62E-05 ***
居住地	北海道	651	2.38E-01 *	1.36E-01	3.67E-01 *	5.79E-01 *	8.11E-01	1.36E-01
	青森	146	-1.77E-01	-1.42E-01	7.60E-02	6.43E-01	-1.97E-01	-4.67E-01 *
	岩手	146	5.95E-01 **	-1.36E-01	1.66E-01	7.04E-01 +	2.03E-01	3.23E-01
	宮城	267	3.64E-01 *	2.29E-01	2.92E-02	4.32E-01	-3.62E-01	2.78E-01 +
	秋田	114	6.26E-01 **	8.16E-02	2.15E-01	5.92E-01	1.88E-01	3.82E-01
	山形	132	7.88E-03	-1.04E-01	-1.52E-01	7.44E-01 *	2.73E-01	-8.19E-02
	福島	212	3.73E-01 *	5.48E-01 **	9.07E-01 ***	8.71E-01 *	-9.00E-02	1.39E-01
	茨城	348	3.88E-01 **	4.08E-01 *	5.48E-01 *	7.04E-01 *	5.65E-01	1.79E-01
	栃木	231	2.78E-01	1.93E-01	-1.99E-01	5.39E-01	-1.89E-01	-1.22E-01
	群馬	217	-1.25E-01	2.38E-01	5.34E-01 +	4.63E-01	-3.30E-02	1.97E-02
	山梨	91	7.65E-01 **	-2.57E-01	-2.37E-01	6.97E-01	5.52E-01	2.60E-01
	長野	231	-2.20E-01	1.57E-01	4.55E-01 +	6.59E-01 *	-2.11E-01	1.96E-01
	埼玉	878	4.96E-02	2.51E-01 *	3.05E-01 +	2.63E-01	-1.48E+00	-5.17E-02
	千葉	755	4.86E-02	1.54E-01	2.73E-01	2.28E-01	-4.07E-01	-1.39E-01
	神奈川	1,092	1.51E-01	4.45E-01 ***	4.68E-01 **	5.08E-01 *	8.21E-01	-1.37E-02
	新潟	246	4.72E-02	2.93E-01	3.91E-01	6.36E-01 +	2.10E+00 ***	1.30E-01
	富山	116	-1.55E-01	-2.69E-01	-1.42E-01	7.04E-01 +	3.19E-01	-2.09E-01
	石川	136	-1.74E-01	1.99E-01	2.39E-01	4.59E-01	2.57E-01	-4.87E-01 *
	福井	92	2.36E-01	-3.86E-01	-2.44E-01	-5.38E-03	9.96E-01	1.64E-01
	岐阜	242	1.84E-01	2.36E-01	-5.99E-01 +	1.63E-01	1.02E+00	9.59E-02
	静岡	432	2.08E-01	1.68E-01	1.98E-02	1.94E-01	7.85E-01	2.00E-01
	愛知	885	-1.80E-02	-5.34E-02	-2.60E-01	-7.11E-03	1.48E-01	-1.68E-01 +
	三重	209	-2.09E-01	3.15E-02	-3.22E-02	6.35E-01 +	1.52E+00 *	-1.65E-01
	滋賀	162	2.70E-01	3.08E-01	2.03E-01	1.15E+00 ***	1.82E+00 *	-9.51E-02
	京都	309	9.41E-02	2.91E-01 +	3.21E-01	8.64E-01 **	8.84E-01	-9.55E-02
	大阪	1,053	1.65E-01 +	2.01E-01 +	6.04E-02	2.66E-01	1.24E-01	-8.31E-02
	兵庫	663	4.87E-02	4.30E-02	-2.15E-01	3.01E-01	-2.31E-01	-2.58E-01 *
	奈良	155	-3.93E-02	3.68E-02	-1.80E-01	7.55E-01 *	4.44E-02	-1.71E-01
	和歌山	119	4.32E-02	3.78E-02	2.09E-01	-1.48E+00	2.68E-01	-1.33E-01
	鳥取	60	4.28E-01	-2.68E-01	4.73E-02	1.01E+00 +	9.90E-01	-2.79E-02
	島根	78	-3.03E-02	4.86E-01	-1.67E+00	6.79E-01	9.95E-01	2.77E-01
	岡山	211	3.81E-01 *	5.63E-02	-6.65E-02	-5.70E-01	8.97E-01	1.31E-02
	広島	339	2.57E-01 +	2.49E-01	2.03E-01	4.49E-01	5.55E-01	-1.70E-01
	山口	160	-3.13E-01	-9.25E-02	-2.39E-01	3.27E-01	2.62E-01	6.24E-02
	徳島	93	-4.86E-02	2.15E-01	7.94E-02	8.26E-01 +	7.62E-01	2.22E-01
	香川	111	-4.21E-02	1.65E-01	3.26E-01	-6.92E-01	4.87E-01	-3.38E-01
	愛媛	159	1.94E-01	1.33E-01	-1.14E-02	-1.74E-01	1.44E+00 +	7.39E-03
	高知	90	-4.07E-02	1.41E-01	4.11E-01	6.84E-01	9.79E-01	-9.14E-02
	福岡	596	8.67E-02	1.07E-01	-2.25E-02	6.50E-01 **	4.14E-01	-2.82E-02
	佐賀	88	-1.96E-01	2.12E-01	-1.07E+00	-2.63E-01	8.31E-01	-2.46E-01
	長崎	145	2.78E-01	2.61E-01	1.97E-02	7.88E-01 *	1.02E+00	1.84E-01
	熊本	203	3.75E-01 *	-4.59E-02	-8.41E-02	7.88E-02	-9.81E-02	7.39E-04
	大分	144	-1.89E-01	2.72E-01	-1.18E-01	7.37E-01 +	1.52E+00 +	-2.89E-01
	宮崎	136	2.60E-01	3.92E-02	-5.08E-01	2.71E-01	1.22E+00	1.41E-01
	鹿児島	199	9.57E-02	9.19E-02	-5.43E-01	6.12E-01 +	-3.74E-01	3.65E-02
	沖縄	159	1.26E-01	-1.81E-02	-1.47E-01	1.24E+00 ***	1.46E+00 +	5.00E-02
都市階級	大都市	4,648	-1.79E-01 *	-2.26E-01 *	-2.07E-01	-6.10E-01 ***	-1.26E-01	-1.08E-01
	中都市(15万人以上)	4,325	-1.17E-01	-8.17E-02	-1.12E-01	-4.41E-01 **	-1.40E-01	-4.55E-02
	小都市A(5万人以上)	4,011	1.10E-01	-3.48E-02	-6.86E-02	-2.30E-01 +	-7.39E-02	4.93E-02

(令和3年度 間接鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など	18. 地域の伝統的な芸能や祭り	19. その他 [※]	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	2.05E-01 ^{**}	6.42E-02	-3.07E-03	-3.64E-02	2.11E+00 ^{***}	2.14E-01 ^{**}
	自営業主・自由業	1,093	1.58E-01 ⁺	2.48E-01 [*]	3.85E-01 ^{**}	5.06E-01 ^{**}	1.73E+00 ^{**}	3.92E-01 ^{***}
	家族従業者	107	-4.15E-02	5.68E-01 ⁺	-7.93E-01	4.62E-01	2.33E+00 [*]	8.20E-01 ^{**}
	主婦・主夫	3,231	1.33E-01 ⁺	1.98E-01 ⁺	-8.01E-02	2.15E-01	1.91E+00 ^{**}	6.18E-02
	学生	348	1.25E-01	-7.26E-02	-2.21E-01	-1.78E-01	1.88E+00 [*]	1.83E-01
	リタイア・無職	3,097	2.80E-01 ^{***}	2.83E-01 ^{**}	3.17E-02	3.09E-01 ⁺	1.47E+00 [*]	2.66E-01 ^{***}
	その他	353	-2.37E-01	1.28E-03	-6.16E-01 ⁺	3.11E-01	3.28E+00 ^{***}	-1.79E-01
家族状況	核家族	10,526	-5.64E-02	1.20E-01	1.91E-01 ⁺	1.95E-01	5.20E-02	8.17E-02
	三世代家族	944	1.66E-01	6.84E-02	-4.02E-02	2.72E-01	-1.51E-01	2.22E-01 [*]
	その他同居家族	856	2.14E-02	6.85E-02	-7.74E-02	2.48E-02	-1.80E+00 ⁺	-2.05E-02
同居家族 (未子)	未就学児	1,452	-9.31E-02	2.05E-02	2.24E-01	-2.76E-01	-7.76E-01	1.43E-01
	小学生	840	2.46E-01 [*]	-4.35E-01 [*]	-1.91E-01	-2.30E-01	-1.06E-01	1.04E-01
	中学生	420	1.15E-01	-5.86E-01 [*]	-3.94E-01	-8.83E-01 ⁺	5.24E-01	3.51E-01 [*]
	高校生	914	-7.19E-02	-4.43E-01 ^{**}	-1.76E-01	-3.58E-02	7.28E-01	9.49E-02
	高校卒業者	1,984	6.65E-02	-1.77E-01 ⁺	-1.84E-01	-2.53E-01	-2.12E-01	-1.39E-01
	要介護・要介助者	978	1.78E-01	-1.21E-02	1.68E-01	5.74E-02	4.84E-01	2.55E-01 [*]
健康状態	移動可能	3,760	1.26E-01 [*]	9.96E-02 ⁺	2.11E-03	1.52E-01 ⁺	4.41E-01 ⁺	2.12E-01 ^{***}
	移動困難(通所含む)	171	-5.64E-01 [*]	-3.98E-01	-4.50E-01	-1.92E-01	1.96E+00 ^{**}	6.02E-01 ^{**}
年収	～100万円未満	662	-1.87E-01	-3.15E-01 ⁺	-2.09E-01	-2.50E-01	7.04E-01	-1.10E-01
	～200万円未満	1,293	1.39E-01	-2.24E-01 ⁺	4.42E-02	-2.35E-01	7.23E-01	-5.35E-02
	～300万円未満	2,007	1.42E-01	-1.04E-01	-7.91E-02	-1.81E-01	2.78E-01	5.79E-02
	～400万円未満	2,357	9.45E-02	-3.27E-02	-1.44E-02	-1.23E-01	9.33E-01 ⁺	5.45E-02
	～500万円未満	1,947	2.09E-01 [*]	7.81E-02	1.58E-02	-1.52E-01	3.10E-01	1.15E-01
	～600万円未満	1,662	1.42E-01	-5.97E-02	-2.96E-02	-2.14E-03	9.22E-02	5.72E-02
	～700万円未満	1,274	7.12E-02	7.33E-02	4.86E-02	9.77E-02	-4.02E-02	5.63E-02
	～800万円未満	1,034	3.84E-02	3.92E-02	-7.74E-02	6.29E-02	-1.80E-01	8.62E-02
	～900万円未満	713	8.68E-02	5.25E-02	-7.01E-02	2.50E-01	1.17E-02	1.16E-01
	～1,000万円未満	649	1.22E-01	1.55E-01	-2.98E-02	3.12E-01	1.59E-01	6.54E-02
学歴	小・中学校	436	2.40E-01 ⁺	-6.97E-01 ^{***}	-8.18E-01 ^{**}	-5.76E-01 ⁺	-1.35E-01	-9.15E-02
	高校・旧制中学校	5,351	5.55E-03	-1.24E-01 [*]	-1.68E-01 [*]	-9.09E-02	1.81E-02	-1.38E-01 ^{**}
	短大・高専	2,520	-6.55E-02	-6.71E-02	-2.33E-01 [*]	-2.27E-01	-7.11E-01 ⁺	-5.87E-02
	大学院	575	-1.49E-02	-5.04E-02	2.65E-02	-1.67E-01	-7.77E-01	-1.64E-01
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	1.91E-02	1.89E-01 ^{**}	2.23E-01 [*]	1.50E-01	5.23E-01 [*]	2.65E-01 ^{***}
	コーラス・声楽	267	1.35E-01	3.62E-01 [*]	1.42E-01	5.03E-01 [*]	1.25E+00 ^{**}	9.19E-01 ^{***}
	ダンス	345	-6.65E-03	-1.07E-01	3.05E-01	-1.72E-02	-2.22E-01	4.03E-01 ^{**}
	茶・華・書道の生活文化	3,394	1.11E-01 [*]	2.38E-01 ^{***}	2.23E-01 ^{**}	1.74E-01 ⁺	1.77E-01	2.58E-01 ^{***}
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	2.01E-01 ⁺	2.77E-01 [*]	3.35E-01 [*]	2.86E-01	3.33E-01	4.07E-01 ^{***}
	学習塾・そろばん等	6,018	2.52E-01 ^{***}	2.13E-01 ^{***}	2.23E-01 ^{**}	1.58E-01 ⁺	-1.56E-01	3.44E-01 ^{***}
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	2.87E-01 ^{***}	2.31E-01 ^{**}	3.18E-01 ^{**}	5.38E-01 ^{***}	5.54E-01 ⁺	1.99E-01 ^{***}
	その他	634	1.31E-01	6.54E-02	-9.25E-05	2.98E-01	8.75E-01	9.69E-02
到達 設 可 能	ホール・劇場	8,588	3.09E-01 ^{***}	4.54E-01 ^{***}	3.48E-01 ^{***}	5.18E-01 ^{***}	3.45E-01	6.95E-01 ^{***}
	美術館	8,027	2.10E-02	3.28E-01 ^{***}	4.44E-01 ^{***}	2.87E-01 [*]	-6.58E-02	1.78E-01 ^{***}
	博物館	6,593	1.79E-01 ^{***}	4.58E-01 ^{***}	6.76E-01 ^{***}	5.02E-01 ^{***}	2.57E-01	7.15E-02
	映画館	11,323	7.78E-01 ^{***}	4.57E-02	-1.81E-01	5.48E-02	1.01E+00 [*]	6.30E-01 ^{***}
同居家族 女性×	未就学児	645	5.25E-02	-6.68E-01 ^{**}	-6.59E-01 ⁺	-2.47E-01	4.40E-01	-4.76E-01 ^{***}
	小学生	375	2.09E-01	-3.62E-01	-8.15E-02	7.09E-02	-9.35E-01	-1.83E-01
	中学生	193	-1.23E-01	-7.37E-02	-9.76E-01	8.74E-01	-1.06E+00	-1.61E-01
	高校生	437	-6.93E-04	-4.73E-01 ⁺	-5.13E-01	-3.06E-01	4.04E-02	-2.38E-01
	高校卒業者	1,051	2.03E-02	-4.67E-02	-7.39E-02	1.38E-01	2.79E-01	-3.12E-02
	要介護・要介助者	459	-2.50E-01	2.97E-01	3.74E-01	5.20E-01 ⁺	-1.56E-01	-2.73E-02

注1) 表頭の種別名に[※]が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の^{***}, ^{**}, ^{*}, ⁺は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

付表 5.7 令和 3 年度調査 有料配信鑑賞 ロジスティック回帰分析結果表
(令和 3 年度 有料配信鑑賞 6 の 1)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術※	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル※	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
行動者率		14,995	1.86%	7.33%	1.51%	0.53%	0.68%	1.17%	0.35%
TjurのR ²		14,995	0.114	0.053	0.193	0.211	0.070	0.049	0.129
AIC		14,995	2412.0	7362.5	1816.6	820.4	1204.6	1830.2	711.3
切片		14,995	-9.41E-01	-2.33E+00 *	-1.05E+00	-6.44E+00 **	-1.74E-01	1.07E-01	-3.37E+00
性別	女性	7,394	-1.53E-01	1.49E-01	-4.75E-01	-9.56E-01 †	9.07E-01 **	1.41E+00 ***	2.83E-01
年齢	年齢	14,995	-2.12E-01 *	4.88E-03	-1.66E-01	7.46E-02	-3.43E-01 *	-3.46E-01 **	-2.06E-01
	年齢の平方(2乗)	14,995	2.56E-03	-1.95E-04	1.19E-03	-3.50E-03	6.80E-03 †	6.17E-03 *	3.71E-03
	年齢の立方(3乗)	14,995	-6.27E-06	-2.35E-06	3.18E-06	3.15E-05	-4.60E-05 †	-3.71E-05 †	-2.11E-05
居住地	北海道	651	-2.90E-01	2.88E-01 †	-3.17E-01	4.84E-01	-1.14E+00 †	-4.87E-01	1.05E+00 †
	青森	146	-6.11E-01	2.11E-02	5.11E-01	2.00E-01	-7.51E-02	5.95E-01	1.42E-01
	岩手	146	-1.43E+01	-6.39E-01	-1.71E+00	-1.84E+00	-1.23E+00	-2.49E-01	8.28E-01
	宮城	267	6.02E-01	2.07E-01	4.47E-01	-4.02E-01	-2.49E-01	4.82E-01	1.11E+00
	秋田	114	-1.42E+01	-3.63E-01	7.45E-01	-4.21E-02	-6.83E-01	-9.59E-01	2.85E-01
	山形	132	7.07E-01	-6.17E-01	4.56E-01	1.03E+00	5.47E-01	-9.94E-01	1.05E+00
	福島	212	4.66E-01	-2.88E-01	3.82E-01	1.12E+00	-6.87E-01	1.04E-01	9.22E-01
	茨城	348	6.13E-01	7.35E-02	1.02E-01	7.01E-01	3.53E-02	2.79E-02	6.08E-01
	栃木	231	9.47E-01 *	-3.94E-01	6.58E-01	-1.42E+00	-1.03E-01	4.37E-01	1.54E+00 *
	群馬	217	3.64E-01	-4.81E-01	-6.57E-01	7.95E-02	2.26E-01	-1.66E+00	8.13E-01
	山梨	91	4.04E-01	-6.59E-01	-1.06E+00	4.21E-01	-4.49E-01	8.99E-01	4.50E-01
	長野	231	-5.36E-02	-3.06E-01	6.70E-01	8.44E-01	-1.48E+00	-4.32E-01	-5.43E-01
	埼玉	878	3.28E-01	-1.11E-02	1.20E-02	-4.95E-01	8.56E-02	1.56E-01	-7.43E-02
	千葉	755	1.71E-01	5.85E-02	-1.20E-01	-4.39E-02	-1.55E-01	3.87E-01	4.56E-01
	神奈川	1,092	2.62E-01	-1.56E-01	9.24E-02	5.40E-01	-5.54E-01	-6.57E-01 †	5.55E-01
	新潟	246	4.44E-01	2.70E-01	-9.70E-01	-8.12E-01	-2.29E-01	-1.78E+00	9.81E-01
	富山	116	-8.82E-01	-1.45E-01	3.98E-01	-9.27E-01	-1.68E+00	8.37E-01	9.97E-02
	石川	136	-6.85E-01	8.51E-03	3.60E-01	1.63E+00 *	2.06E-01	1.58E-01	7.16E-01
	福井	92	-2.98E-01	1.22E-01	2.88E-01	4.96E-02	-9.03E-01	1.13E+00 †	6.19E-01
	岐阜	242	1.46E-01	-8.39E-01 *	2.37E-01	-5.26E-01	-8.09E-01	-5.31E-01	-1.21E+00
	静岡	432	6.43E-02	-6.43E-01 *	-1.35E-01	6.55E-01	-1.25E+00	-5.80E-01	6.08E-01
	愛知	885	-6.94E-02	-3.76E-01 *	7.90E-02	-3.15E-01	-1.40E+00 *	5.07E-03	1.46E-01
	三重	209	3.36E-01	-3.58E-01	-7.02E-03	-1.40E+00	-4.89E-01	1.26E-01	1.01E+00
	滋賀	162	1.43E-01	8.49E-02	2.81E-01	1.27E+00	-5.92E-01	-1.19E+00	1.06E+00
	京都	309	5.05E-01	1.06E-01	8.70E-01 *	1.40E+00 *	6.75E-01	4.71E-01	1.18E+00 †
	大阪	1,053	-7.05E-01 †	-2.16E-01	-2.75E-01	-7.42E-01	-1.47E-01	-3.85E-01	-1.55E+00
	兵庫	663	9.65E-02	-4.80E-03	7.51E-01 *	1.59E-01	6.89E-03	-2.31E-01	-5.88E-01
	奈良	155	6.94E-01	5.02E-01 †	4.66E-01	1.61E+00 *	-1.23E+00	4.17E-01	8.75E-02
	和歌山	119	-4.94E-01	-5.90E-01	5.25E-01	1.68E+00 *	-1.21E+00	3.40E-02	3.44E-01
	鳥取	60	9.23E-01	2.48E-01	2.64E-02	1.08E+00	-2.66E-01	-3.90E-01	1.60E+00
	島根	78	6.31E-01	-4.92E-01	1.24E-01	-5.57E-02	-9.57E-01	5.19E-02	1.35E-01
	岡山	211	-4.24E-01	-2.44E-01	1.49E-01	-8.14E-01	-9.51E-01	-3.06E-01	-1.82E-01
	広島	339	-2.97E-02	1.06E-01	2.12E-01	1.92E-01	-8.65E-01	-5.58E-01	-5.56E-01
	山口	160	-2.88E-01	-1.72E-01	8.14E-01	-4.57E-01	-5.47E-01	-6.18E-02	1.31E+00
	徳島	93	-1.42E+01	3.25E-01	1.12E+00	1.03E+00	4.72E-01	4.45E-01	6.00E-01
	香川	111	-6.59E-01	-5.18E-01	-1.00E-01	1.42E+00	-9.48E-01	-1.79E-02	2.29E-01
	愛媛	159	6.05E-01	-6.47E-01	-6.96E-02	-3.08E-01	-1.50E-01	-4.07E-01	-1.89E-02
	高知	90	-4.05E-01	-1.36E+00 †	3.23E-01	3.53E-01	-5.13E-01	4.29E-01	7.12E-01
	福岡	596	1.25E-01	2.96E-02	3.85E-01	1.04E-01	-1.89E-01	1.64E-01	-9.98E-02
	佐賀	88	-1.41E+01	4.75E-01	-1.66E+00	-7.36E-01	-1.03E+00	2.57E-01	1.55E+00 †
	長崎	145	4.08E-02	2.73E-01	-2.48E-01	-1.55E-01	9.08E-02	-1.13E+00	2.15E-01
	熊本	203	-7.02E-01	-4.37E-01	-2.41E-01	1.06E-01	-3.08E-01	2.12E-01	7.46E-03
	大分	144	3.71E-01	-8.20E-02	-9.05E-02	-2.58E-02	-2.44E-01	5.42E-01	1.12E+00
	宮崎	136	-3.06E-01	-2.11E-01	5.02E-01	1.15E+00	-3.16E-01	-9.18E-02	-4.56E-01
	鹿児島	199	-5.06E-01	-6.70E-02	-4.91E-02	3.79E-01	-1.44E+00	4.33E-01	-2.22E-01
	沖縄	159	-4.45E-01	7.11E-02	-2.64E-01	-1.17E+00	-5.08E-01	4.20E-01	4.41E-01
都市階級	大都市	4,648	4.43E-01	3.09E-02	4.20E-01	5.95E-01	-6.25E-02	2.13E-01	-4.39E-01
	中都市(15万人以上)	4,325	4.00E-01	1.34E-01	3.63E-01	4.93E-01	-2.19E-01	7.41E-02	2.39E-01
	小都市A(5万人以上)	4,011	2.57E-01	-1.44E-02	4.61E-01 †	6.10E-01	4.52E-01	-8.61E-02	-7.00E-02

(令和3年度 有料配信鑑賞 6の2)

		サンプル・サイズ	1. オーケストラ・オペラ・吹奏楽など	2. ポップス・ロック・ジャズ・歌謡曲・演歌など	3. 美術※	4. 現代美術※	5. 現代演劇・児童演劇・人形劇※	6. ミュージカル※	7. バレエ・コンテンポラリーダンスなど※
職業	非正規職員・従業員	2,114	-4.06E-01 ⁺	-1.55E-02	-4.27E-01	-1.89E-01	-1.05E-01	-3.75E-01	-2.29E-01
	自営業主・自由業	1,093	4.60E-02	1.69E-02	2.23E-01	-6.47E-01	1.89E-01	-1.14E-01	8.50E-02
	家族従業者	107	-4.84E-01	2.88E-01	8.02E-02	-5.63E-01	-1.41E+00	-1.85E+00	-7.38E-01
	主婦・主夫	3,231	-7.25E-01 ^{**}	-5.08E-01 ^{***}	-2.36E-01	1.55E-02	2.26E-01	-2.01E-01	-4.09E-01
	学生	348	-1.58E+00 ^{**}	1.51E-01	-5.85E-01	-7.36E-01	-3.14E-01	-6.58E-01	-2.28E-01
	リタイア・無職	3,097	-6.45E-01 [*]	-2.30E-01 ⁺	-9.19E-02	-2.31E-01	-1.05E+00 [*]	-3.16E-01	-6.09E-01
	その他	353	2.89E-01	9.46E-02	-1.92E+00	-4.12E-01	-2.87E-01	-3.97E-01	-5.72E-01
家族状況	核家族	10,526	2.30E-01	-7.25E-02	-5.39E-01 ⁺	-2.51E-01	6.03E-02	3.52E-01	-2.41E-01
	三世代家族	944	3.99E-01	7.80E-02	-2.86E-01	9.49E-02	8.40E-01 [*]	3.56E-01	5.52E-01
	その他同居家族	856	8.75E-02	1.24E-01	1.68E-01	-2.59E-02	8.24E-01 [*]	9.86E-01 ^{**}	3.50E-01
同居家族(未子)	未就学児	1,452	1.28E+00 ^{***}	1.56E-01	2.71E+00 ^{***}	2.18E+00 ^{***}	1.58E+00 ^{***}	5.69E-01	1.64E+00 ^{***}
	小学生	840	1.63E+00 ^{***}	2.63E-01	2.58E+00 ^{***}	2.73E+00 ^{***}	1.46E+00 ^{**}	1.58E+00 ^{***}	1.94E+00 ^{***}
	中学生	420	1.60E+00 ^{***}	3.57E-01	2.76E+00 ^{***}	2.57E+00 ^{***}	9.05E-01	1.08E+00 [*]	9.04E-01
	高校生	914	1.27E+00 ^{***}	4.85E-01 ^{**}	2.27E+00 ^{***}	2.53E+00 ^{***}	1.16E+00 [*]	8.60E-01 [*]	1.10E+00 ⁺
	高校卒業者	1,984	4.46E-02	-1.57E-01	2.78E-01	-6.81E-01	5.64E-01	-9.37E-02	-1.15E+00
	要介護・要介助者	978	9.78E-01 ^{***}	1.95E-01	6.29E-01 [*]	1.17E+00 ^{***}	1.08E+00 ^{**}	8.91E-01 ^{**}	3.89E-01
	その他	978	9.78E-01 ^{***}	1.95E-01	6.29E-01 [*]	1.17E+00 ^{***}	1.08E+00 ^{**}	8.91E-01 ^{**}	3.89E-01
健康状態	移動可能	3,760	8.25E-02	2.81E-01 ^{***}	4.90E-01 ^{**}	1.43E-01	1.80E-02	2.20E-01	3.12E-01
	移動困難(通所含む)	171	3.19E-01	4.64E-01 ⁺	8.45E-01 [*]	1.59E+00 ^{***}	1.81E+00 ^{***}	9.32E-01 [*]	1.00E+00 ⁺
年収	～100万円未満	662	1.01E+00 ^{**}	-4.83E-01 [*]	-3.43E-01	1.01E-01	2.13E-01	4.62E-01	3.31E-01
	～200万円未満	1,293	5.28E-01	-4.52E-01 [*]	4.07E-01	1.04E+00 ⁺	1.17E-01	2.17E-01	7.93E-01
	～300万円未満	2,007	-3.10E-02	-3.29E-01 [*]	-2.27E-02	2.31E-01	-1.61E-01	-3.96E-01	-2.04E+00 ⁺
	～400万円未満	2,357	-1.08E-01	-2.31E-01 ⁺	-1.24E-01	7.15E-01	-6.89E-01 ⁺	-1.83E-01	8.78E-01 [*]
	～500万円未満	1,947	-1.03E-01	-6.21E-02	-9.79E-02	3.21E-01	1.09E-01	-2.88E-02	-1.09E+00 ⁺
	～600万円未満	1,662	-3.47E-02	-2.88E-01 [*]	-1.39E-01	7.52E-01 ⁺	-1.79E-02	2.35E-01	1.68E-01
	～700万円未満	1,274	-3.61E-03	-1.31E-01	-2.45E-01	-5.19E-01	-5.45E-01	-1.72E-01	-2.76E-01
	～800万円未満	1,034	-3.51E-01	-7.14E-02	-9.11E-01 [*]	-6.09E-01	-4.53E-01	3.44E-01	2.19E-01
	～900万円未満	713	-1.62E-01	6.39E-02	-1.05E-03	4.57E-01	-1.83E-01	1.62E-01	8.58E-01 ⁺
学歴	～1,000万円未満	649	-8.28E-02	-2.96E-01 ⁺	-7.49E-02	1.75E-02	-1.05E+00 ⁺	2.28E-02	3.41E-01
	小・中学校	436	-3.90E-01	-7.32E-02	-1.21E+00 [*]	-8.14E-01	-2.07E+00 ⁺	-1.12E+00 ⁺	-9.28E-02
	高校・旧制中学校	5,351	-6.26E-01 ^{***}	-1.05E-01	-1.29E-01	1.14E-01	-1.57E-01	-6.95E-01 ^{***}	-5.77E-01 ⁺
	短大・高専	2,520	-3.03E-01	-3.10E-02	-7.84E-02	-7.36E-01 ⁺	-4.66E-02	-3.95E-01 ⁺	-6.79E-01 ⁺
	大学院	575	3.21E-01	-1.29E-01	-1.69E-01	-2.08E-01	-2.77E-02	2.16E-01	3.16E-01
	ピアノ等の楽器	3,591	5.51E-01 ^{***}	1.46E-01 ⁺	-2.38E-01	-6.27E-01 [*]	3.65E-01 ⁺	5.35E-02	4.82E-01 ⁺
	コーラス・声楽	267	1.10E+00 ^{***}	5.97E-01 ^{**}	5.03E-01	5.12E-01	9.70E-01 ^{**}	8.32E-01 ^{**}	1.03E+00 ^{**}
	ダンス	345	3.10E-01	3.63E-01 [*]	9.19E-01 ^{***}	9.61E-01 ^{**}	7.16E-02	1.47E-01	1.31E+00 ^{***}
	茶・華・書道の生活文化	3,394	-5.69E-02	5.47E-02	2.87E-01 ⁺	-1.12E-01	5.67E-02	-1.27E-01	4.82E-01 [*]
習い事	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	7.09E-01 ^{**}	3.52E-01 [*]	9.73E-01 ^{***}	1.37E+00 ^{***}	9.42E-01 ^{***}	6.10E-01 [*]	1.04E+00 ^{**}
	学習塾・そろばん等	6,018	6.61E-02	1.11E-03	-1.19E-02	3.65E-01	2.56E-01	2.40E-01	2.96E-02
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	-1.24E-01	-1.17E-01	-1.94E-01	8.77E-01 ^{***}	-4.37E-02	1.31E-01	-1.34E-01
	その他	634	-3.67E-01	-2.81E-01	1.84E-01	5.00E-01	5.60E-01	1.30E-01	-6.20E-01
到達可能	ホール・劇場	8,588	1.54E+00 ^{***}	7.43E-01 ^{***}	1.93E-01	3.16E-01	4.85E-01 [*]	9.83E-01 ^{***}	2.57E-01
	美術館	8,027	3.56E-01 [*]	3.34E-01 ^{***}	7.95E-01 ^{***}	6.60E-01 ^{**}	3.92E-01 ⁺	3.49E-01 ⁺	3.68E-01
	博物館	6,593	-1.52E-01	-1.16E-01	1.87E-01	2.11E-01	8.91E-02	-2.92E-01	7.29E-01 ^{**}
	映画館	11,323	-9.71E-01 ^{***}	-2.44E-03	-7.62E-01 ^{***}	-1.34E+00 ^{***}	-2.06E-01	2.39E-02	-4.32E-01
同居家族女性×	未就学児	645	-1.13E-01	-2.56E-01	-3.68E-01	-3.19E-02	-2.18E+00 ^{***}	-6.76E-01	-4.41E-01
	小学生	375	-3.43E-01	-4.48E-01 ⁺	2.47E-01	2.72E-01	-1.11E+00 ⁺	-1.37E+00 ^{**}	-2.24E-01
	中学生	193	-3.90E-01	-1.46E-01	-1.21E+00	-3.95E-01	-5.67E-01	-1.70E+00 ⁺	-6.51E-01
	高校生	437	3.77E-01	1.35E-01	-1.58E-01	-1.31E+00	-1.10E+00	-4.10E-01	-6.67E-01
	高校卒業者	1,051	-4.13E-01	3.31E-01	1.26E-01	2.01E+00	-3.09E-01	-4.26E-01	9.49E-01
	要介護・要介助者	459	-1.51E-01	-7.22E-02	2.92E-01	-1.01E-01	-2.36E-01	-5.04E-01	1.07E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 有料配信鑑賞 6の3)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
行動者率		14,995	0.45%	0.15%	0.47%	0.84%	0.27%	0.37%	12.30%
TjurのR ²		14,995	0.121	0.241	0.072	0.036	0.156	0.135	0.042
AIC		14,995	808.9	430.2	936.9	1447.3	586.8	746.1	10777.2
切片		14,995	-1.01E+01 ***	-5.53E+00 +	-3.98E-01	-4.10E+00 +	-1.34E+01 ***	-7.83E+00 **	1.82E+00 *
生別 年齢	女性	7,394	-7.37E-01	-1.26E+00 +	4.99E-01	1.04E-02	1.08E+00	-5.96E-01	-3.73E-01 ***
	年齢	14,995	4.18E-01 **	6.86E-02	-4.44E-01 *	-5.55E-02	2.53E-01	1.85E-01	-2.71E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	-1.05E-02 ***	-5.27E-03	8.76E-03 *	1.69E-04	-7.23E-03 *	-5.18E-03 +	5.49E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	7.54E-05 ***	5.31E-05 *	-5.29E-05 *	3.23E-06	5.88E-05 **	4.17E-05 *	-3.61E-05 ***
居住地	北海道	651	-2.01E+00	6.94E-01	-3.58E-02	-4.54E-01	6.74E-01	4.78E-01	2.50E-01 +
	青森	146	-1.86E-01	8.04E-01	-2.88E-01	-4.84E-01	2.91E-01	4.63E-01	-1.47E-01
	岩手	146	-6.59E-02	-5.66E-01	7.27E-01	-1.61E+01	6.37E-01	1.63E+00 +	-1.59E-01
	宮城	267	1.98E-01	-5.84E-01	9.47E-02	-4.59E-01	-1.04E+00	8.66E-01	8.16E-03
	秋田	114	3.27E-01	1.65E+00	-2.22E-01	-1.58E+01	8.00E-01	2.46E+00 **	3.96E-01
	山形	132	2.13E-01	1.10E+00	-3.32E-01	1.21E-01	4.31E-01	1.67E-01	-4.20E-01
	福島	212	1.88E-01	1.69E+00 *	-8.55E-01	2.17E-01	-6.72E-01	1.37E+00 +	2.76E-01
	茨城	348	1.34E+00 *	3.48E-01	-1.13E-01	-3.93E-01	9.81E-01	1.19E+00	2.13E-01
	栃木	231	7.93E-01	-3.24E-01	8.13E-01	-5.24E-02	1.94E+00 *	7.62E-01	6.19E-01 **
	群馬	217	-7.49E-01	-2.87E-01	5.46E-01	-4.33E-02	-3.46E-01	8.35E-02	9.88E-04
	山梨	91	1.78E+00 *	1.60E+00	1.78E-01	-1.59E+01	1.55E+00	8.30E-01	-5.71E-01
	長野	231	-3.31E-01	4.95E-01	-6.68E-01	-1.59E+01	3.01E-01	-5.48E-02	2.09E-01
	埼玉	878	-2.43E-01	-1.03E+00	-1.21E-01	-1.10E-01	-1.55E+00	8.64E-02	8.40E-02
	千葉	755	2.93E-01	6.35E-01	7.69E-01 +	-3.59E-01	8.11E-01	6.28E-01	2.27E-01 +
	神奈川	1,092	-6.06E-01	-2.72E-01	-1.56E-01	2.17E-02	3.23E-01	-7.34E-01	1.98E-02
	新潟	246	6.15E-01	5.41E-01	8.43E-01	-2.28E-01	-1.75E-01	4.06E-02	-7.23E-02
	富山	116	2.64E-01	-1.43E-01	5.62E-01	-5.22E-01	1.78E+00 +	1.74E+00 +	2.08E-02
	石川	136	4.99E-02	-2.83E-01	5.51E-01	-1.61E+01	1.53E+00 +	8.91E-01	2.22E-01
	福井	92	1.58E+00 +	8.91E-01	1.16E-01	-1.61E+01	1.08E+00	1.70E+00 +	1.72E-01
	岐阜	242	-1.17E+00	-6.62E-01	-9.79E-01	-1.61E+01	-6.52E-01	2.85E-01	2.70E-02
	静岡	432	4.69E-01	-4.06E-01	-5.05E-01	3.80E-01	9.24E-01	2.61E-01	1.62E-01
	愛知	885	5.24E-02	-2.18E+00	-3.85E-02	-3.05E-01	2.94E-01	-6.50E-02	3.57E-02
	三重	209	-6.56E-01	1.25E+00	2.39E-01	5.74E-01	1.00E+00	-4.25E-01	5.34E-02
	滋賀	162	1.90E+00 *	8.21E-01	-5.80E-01	-4.76E-01	8.66E-01	1.10E+00	1.98E-01
	京都	309	7.67E-01	1.74E+00 *	1.28E+00 *	4.67E-01	6.56E-01	1.72E+00 **	2.35E-01
	大阪	1,053	4.47E-01	-1.12E-01	-1.99E-01	-9.07E-01 +	9.94E-01 +	7.90E-01	1.68E-02
	兵庫	663	4.40E-01	6.39E-01	5.52E-01	2.31E-01	8.04E-02	-5.08E-02	1.92E-01
	奈良	155	-1.91E-01	1.07E+00	-3.55E-01	-1.58E+01	7.44E-01	4.32E-01	-4.33E-02
	和歌山	119	1.06E-01	7.92E-01	-4.36E-01	-1.59E+01	9.96E-01	2.55E-01	1.95E-01
	鳥取	60	1.76E+00	2.01E+00	8.56E-01	-1.58E+01	1.63E+00	1.22E+00	-5.69E-01
	島根	78	-1.88E-02	1.45E+00	3.01E-02	-3.53E-01	1.24E+00	-6.64E-01	3.23E-01
	岡山	211	9.46E-02	3.01E-01	-1.31E-01	-3.51E-01	6.51E-01	9.44E-01	2.24E-01
	広島	339	4.63E-01	3.51E-01	-3.08E-02	-1.18E+00	9.03E-01	1.48E+00 *	-3.97E-01 +
	山口	160	-4.99E-02	8.79E-01	-7.20E-01	-1.58E+01	-5.51E-02	4.32E-01	5.25E-01 *
	徳島	93	1.06E+00	2.31E+00 *	1.18E+00	-1.57E+01	2.39E+00 *	1.84E+00 *	8.08E-02
	香川	111	2.29E-02	1.27E+00	-3.17E-01	-1.60E+01	5.84E-01	5.42E-01	2.09E-01
	愛媛	159	-4.72E-01	8.30E-01	-4.44E-01	2.10E-01	5.95E-01	3.72E-01	5.02E-01 *
	高知	90	4.99E-01	1.69E+00	1.81E-01	-1.60E+01	1.64E+00	2.04E+00 *	1.84E-02
	福岡	596	2.36E-01	-4.93E-01	7.19E-01	-4.08E-02	1.02E-01	9.52E-01	2.62E-01 +
	佐賀	88	-1.22E-01	2.73E+00 **	-4.79E-02	-1.60E+01	1.76E+00 +	5.10E-01	4.26E-01
	長崎	145	1.20E+00	1.20E+00	-2.80E-02	3.38E-01	5.24E-01	1.52E+00	5.23E-01 *
	熊本	203	5.31E-01	-8.51E-02	5.65E-01	-1.59E+01	-5.40E-01	5.73E-02	1.55E-02
	大分	144	1.28E+00	9.30E-01	1.46E+00 *	4.56E-01	9.74E-01	1.61E+00 +	2.30E-01
	宮崎	136	1.21E+00	1.45E-01	-8.16E-01	7.96E-02	8.60E-01	5.22E-01	3.88E-01
	鹿児島	199	1.28E+00 +	7.16E-01	7.19E-01	3.49E-01	-2.97E-01	1.51E+00 *	6.93E-02
	沖縄	159	1.60E+00 *	-2.99E-01	1.18E+00 +	-1.61E+01	1.62E+00 +	3.57E-01	3.33E-01
都市階級	大都市	4,648	4.14E-01	2.34E-01	1.69E-01	1.25E-02	7.07E-01	-3.85E-01	-1.51E-01
	中都市(15万人以上)	4,325	2.14E-01	6.87E-01	4.19E-01	4.37E-01	4.84E-01	-7.53E-01 *	-2.04E-01 *
	小都市A(5万人以上)	4,011	-5.23E-01	-2.75E-01	3.64E-01	8.45E-02	7.57E-01 +	-1.76E-01	-7.61E-02

(令和3年度 有料配信鑑賞 6の4)

		サンプル・サイズ	8. ストリートダンスなど※	9. 日本舞踊※	10. 伝統芸能※	11. 演芸	12. 花展・盆栽展・茶会など※	13. 食文化の展示・イベント※	14. 映画
職業	非正規職員・従業員	2,114	-1.07E+00 *	-6.07E-01	-2.00E-01	-2.40E-01	-2.08E-01	-4.76E-01	-1.44E-01
	自営業主・自由業	1,093	2.20E-02	-8.54E-01	-5.40E-01	2.32E-01	1.21E-01	-2.91E-03	1.88E-01 +
	家族従業者	107	-4.41E-01	-1.85E+00 +	-1.84E+00	-1.42E+00	6.64E-01	5.02E-01	-7.35E-01 +
	主婦・主夫	3,231	-7.18E-01 +	-9.27E-01 +	-8.68E-01 *	-8.95E-01 *	-3.51E-01	-9.40E-01 *	-9.24E-02
	学生	348	5.84E-01	-1.23E+00 +	-6.16E-01	-3.53E-02	5.55E-01	7.12E-01	-2.17E-01
	リタイア・無職	3,097	-9.38E-01	-9.71E-01	-8.98E-01 *	-1.18E-01	-3.48E-01	-6.99E-01	-2.27E-02
	その他	353	-7.95E-01	5.85E-01	-1.52E+00	-7.34E-01	-8.38E-02	4.50E-01	-1.99E-01
家族状況	核家族	10,526	-9.82E-01 *	9.48E-01	-5.11E-02	-1.43E-01	1.75E+00	-1.31E-01	-1.85E-01 *
	三世代家族	944	-7.49E-02	1.57E+00 +	6.31E-01	2.61E-01	2.30E+00 *	1.16E-01	-4.92E-02
	その他同居家族	856	-1.89E-01	1.21E+00	5.93E-01	8.83E-02	2.64E+00 *	3.60E-01	6.23E-02
同居家族(未子)	未就学児	1,452	2.53E+00 ***	6.58E-01	2.17E+00 ***	1.26E+00 ***	3.28E+00 ***	1.69E+00 ***	1.55E-01
	小学生	840	2.48E+00 ***	1.52E+00 **	1.16E+00 *	1.08E+00 **	3.25E+00 ***	2.15E+00 ***	1.85E-01
	中学生	420	2.36E+00 ***	2.18E+00 ***	1.95E+00 ***	7.42E-01	2.79E+00 **	2.52E+00 ***	9.25E-02
	高校生	914	1.98E+00 ***	1.57E+00 **	1.55E+00 **	8.48E-01 +	2.91E+00 ***	4.28E-01	2.34E-01 +
	高校卒業者	1,984	-2.08E-01	-3.32E-02	3.23E-01	-1.97E-02	1.93E+00 **	-2.71E-01	6.77E-03
	要介護・要介助者	978	6.37E-01 +	9.26E-01 *	-5.27E-01	7.25E-01 *	1.17E+00 **	1.39E+00 ***	2.90E-01 *
	健康状態								
年収	移動可能	3,760	3.85E-01	-9.06E-02	5.39E-02	3.06E-01	-2.00E-01	1.49E-01	2.44E-01 ***
	移動困難(通所含む)	171	-9.27E-02	9.13E-01	2.09E+00 ***	1.35E+00 **	1.05E+00 *	-6.95E-01	-4.34E-02
	～100万円未満	662	-2.95E-02	-4.85E-01	-5.85E-01	2.78E-01	6.61E-01	1.06E-01	-6.54E-01 ***
	～200万円未満	1,293	2.32E-01	-8.34E-02	6.75E-01	-2.57E-01	3.31E-01	6.47E-01	-4.43E-01 **
	～300万円未満	2,007	-2.14E-01	-1.38E+00	-5.17E-01	-2.83E-01	-1.67E+00 +	-7.27E-01	-2.39E-01 *
	～400万円未満	2,357	2.41E-01	1.50E-01	2.32E-01	2.94E-01	3.44E-01	1.43E-01	-2.88E-01 **
	～500万円未満	1,947	-2.13E-01	1.34E-01	-1.18E-02	2.65E-01	-5.02E-01	-4.71E-01	-1.15E-01
	～600万円未満	1,662	-8.00E-02	-1.38E-01	3.36E-01	3.48E-01	8.99E-01 *	-1.42E-01	-3.07E-01 **
	～700万円未満	1,274	-7.77E-01	2.81E-01	4.38E-01	5.79E-01	-6.17E-01	-2.37E-01	-1.14E-01
	～800万円未満	1,034	-1.02E-02	-1.50E+00 +	-7.02E-01	-4.58E-01	-4.09E-01	-1.08E+00 *	-3.86E-01 **
学歴	～900万円未満	713	-2.62E-01	-1.25E-02	3.24E-02	2.09E-01	-1.98E+00 +	-1.35E+00 +	-1.44E-01
	～1,000万円未満	649	4.51E-01	5.14E-01	6.38E-01	4.45E-01	1.16E+00 *	-2.62E+00 *	-2.11E-01
	小・中学校	436	3.58E-01	-2.02E-01	-1.13E+00	-7.45E-01	4.38E-02	-5.09E-01	3.31E-02
	高校・旧制中学校	5,351	-1.25E-01	1.07E-03	-1.34E-01	-3.83E-01	2.09E-01	-7.42E-01 *	-1.11E-01 +
習い事	短大・高専	2,520	1.93E-01	-5.65E-01	-4.79E-01	-9.43E-03	-4.69E-01	-5.41E-01	-8.39E-02
	大学院	575	2.07E-01	-5.39E-02	2.94E-01	-2.13E-01	-6.23E-01	2.61E-01	-6.75E-02
	ピアノ等の楽器	3,591	-1.38E-01	5.14E-01	6.57E-01 **	-3.32E-03	6.47E-01 *	9.13E-02	3.07E-02
	コーラス・声楽	267	-2.55E-01	6.19E-01	8.10E-01 *	2.31E-02	8.26E-01 +	9.32E-01 *	-6.00E-02
	ダンス	345	1.09E+00 **	8.66E-01 +	8.66E-01 *	4.99E-01	7.75E-01 +	1.68E+00 ***	4.19E-01 **
	茶・華・書道の生活文化	3,394	7.85E-01 ***	-5.26E-01	5.27E-01 *	3.12E-01	-1.67E-01	-1.82E-02	-1.40E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	1.25E+00 ***	8.79E-01 *	5.04E-01	7.03E-01 *	1.11E+00 **	1.27E+00 ***	1.28E-01
	学習塾・そろばん等	6,018	5.82E-01 **	9.51E-01 **	6.73E-01 **	4.88E-02	-8.39E-02	2.86E-01	1.58E-01 **
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	1.84E-01	4.42E-01	-1.01E-01	4.04E-03	3.68E-01	1.21E-01	2.47E-01 ***
	その他	634	-8.11E-01	-2.71E-01	4.91E-01	2.41E-01	3.51E-01	3.07E-01	1.15E-01
到達可能施設	ホール・劇場	8,588	4.44E-01 +	-4.80E-01	-2.14E-01	7.02E-01 **	-1.38E-01	4.88E-02	8.07E-02
	美術館	8,027	1.87E-01	5.21E-01	7.49E-01 **	2.84E-01	7.92E-01 **	-1.88E-01	8.85E-02
	博物館	6,593	-1.80E-01	2.78E-01	3.07E-03	5.36E-01 *	1.86E-01	7.80E-01 **	4.91E-02
	映画館	11,323	-9.96E-01 ***	-8.35E-01 *	-2.18E-01	-3.40E-01	-4.10E-01	-1.20E-01	9.16E-01 ***
同居家族女性×	未就学児	645	-2.53E-01	1.44E+00	-1.16E+00 *	-1.48E+00 *	-1.79E+00 *	1.22E-01	1.82E-02
	小学生	375	-3.26E-01	4.47E-01	6.92E-03	-2.06E-01	-2.42E+00 *	-9.04E-01	-5.14E-02
	中学生	193	3.85E-01	8.56E-01	-2.12E+00	1.59E-01	-1.74E+00	-1.96E-01	4.53E-01
	高校生	437	-8.63E-01	1.27E+00	-3.27E-01	-7.80E-01	-1.71E+00 +	7.34E-01	2.15E-01
	高校卒業者	1,051	2.48E+00 *	2.66E+00 *	5.14E-01	9.84E-01	-1.77E+00 +	1.46E+00 +	3.32E-01 *
	要介護・要介助者	459	-2.78E-01	-4.24E-02	6.65E-01	-9.37E-02	-4.78E-01	-9.32E-02	-2.81E-01

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 有料配信鑑賞 6の5)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡※	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り※	19. その他※	20. 直接鑑賞
行動者率		14,995	7.03%	0.92%	0.58%	0.26%	0.25%	21.92%
TjurのR ²		14,995	0.067	0.040	0.052	0.097	0.018	0.097
AIC		14,995	6936.5	1553.5	1092.8	628.2	702.9	14615.1
切片		14,995	1.20E-01	-3.21E+00	-3.14E+00	-7.01E-01	-2.30E+00	3.01E+00 ***
性別	女性	7,394	-6.44E-01 ***	-5.03E-01 +	-6.17E-01 +	-1.55E+00 **	1.73E-01	-8.98E-02
年齢	年齢	14,995	-1.92E-01 **	-1.35E-01	-1.15E-01	-3.22E-01 +	-3.59E-01 +	-2.54E-01 ***
	年齢の平方(2乗)	14,995	4.08E-03 *	2.06E-03	1.77E-03	4.96E-03	7.20E-03 +	4.52E-03 ***
	年齢の立方(3乗)	14,995	-3.28E-05 **	-6.29E-06	-6.62E-06	-2.01E-05	-4.48E-05 +	-2.79E-05 ***
	北海道	651	5.22E-01 **	-6.40E-01	-2.11E+00 +	-8.58E-01	4.68E-01	2.69E-01 *
居住地	青森	146	4.58E-01	7.24E-02	1.48E-01	1.19E+00	1.40E-02	-1.12E-01
	岩手	146	5.03E-01	-8.93E-01	-6.63E-01	1.70E-01	1.10E+00	-2.82E-01
	宮城	267	1.40E-01	-1.42E+00	-3.75E-01	-6.47E-01	5.41E-01	9.35E-02
	秋田	114	1.86E-01	1.10E+00	-3.86E-01	8.69E-01	1.82E-01	4.43E-02
	山形	132	-4.31E-01	4.98E-02	-7.44E-01	1.34E-01	1.14E-01	-4.64E-01 +
	福島	212	1.87E-01	2.79E-01	4.06E-01	1.20E+00	6.82E-01	-1.67E-01
	茨城	348	3.93E-01 +	-6.90E-02	-3.51E-01	-2.36E-01	7.77E-01	1.87E-01
	栃木	231	7.88E-01 **	7.88E-01	8.97E-01	1.86E+00 **	-2.49E-01	1.89E-01
	群馬	217	4.32E-01	-7.96E-02	1.26E-01	-1.30E-02	-3.13E-01	-2.61E-01
	山梨	91	3.14E-01	-5.64E-01	-6.16E-01	4.19E-01	7.07E-01	-5.71E-01 +
	長野	231	2.58E-01	-2.42E-01	4.78E-01	-7.60E-02	-4.67E-01	-1.84E-01
	埼玉	878	1.30E-01	3.76E-01	3.13E-01	5.85E-02	-2.58E-01	4.08E-02
	千葉	755	3.04E-02	5.34E-01	-1.36E-01	-4.51E-02	-1.73E+00	9.60E-02
	神奈川	1,092	3.13E-02	2.22E-01	1.13E-02	5.42E-01	-2.14E+00 +	-1.56E-01
	新潟	246	-2.32E-01	6.78E-01	5.60E-01	1.49E+00 *	1.42E+00 *	1.34E-01
	富山	116	-4.07E-01	-9.72E-01	-7.30E-01	6.62E-01	2.86E-01	-3.46E-02
	石川	136	2.72E-01	6.25E-01	7.47E-01	1.12E+00	2.00E-01	-5.99E-02
	福井	92	8.83E-01 *	-5.68E-01	-4.33E-01	7.16E-01	7.15E-01	2.34E-01
	岐阜	242	2.16E-01	3.95E-01	2.04E-02	7.96E-01	-2.79E-01	-9.30E-02
	静岡	432	2.03E-01	8.41E-01 *	-2.22E-01	1.20E+00 +	8.85E-03	-7.35E-02
	愛知	885	1.28E-01	-5.40E-01	-5.27E-01	-1.51E+00	-1.60E-01	-1.70E-01
	三重	209	3.40E-01	-2.53E-01	-7.91E-02	1.15E+00	-3.05E-01	-6.61E-02
	滋賀	162	-1.09E-01	-1.79E-02	2.50E-01	4.78E-01	1.45E+00 *	-9.54E-02
	京都	309	5.34E-01 *	2.31E-01	4.40E-01	1.14E+00	-9.01E-01	4.51E-03
	大阪	1,053	1.89E-01	-6.76E-02	-1.20E+00 +	3.68E-01	-5.08E-01	-1.16E-01
	兵庫	663	3.15E-01 +	4.32E-01	2.48E-01	7.53E-01	-5.03E-01	-4.90E-03
	奈良	155	7.55E-01 *	5.07E-02	2.56E-01	4.49E-01	1.06E+00	1.11E-01
	和歌山	119	8.16E-02	7.11E-01	4.04E-01	5.33E-01	-5.48E-02	-2.06E-01
	鳥取	60	-6.35E-02	1.16E-01	3.51E-01	1.37E+00	6.88E-01	-9.15E-02
	島根	78	-7.40E-02	1.20E+00 +	9.14E-01	2.28E+00 *	1.72E+00 *	-2.42E-02
	岡山	211	3.52E-01	3.13E-01	2.35E-01	2.45E-01	7.69E-01	-2.89E-02
	広島	339	2.62E-01	1.05E-01	4.91E-01	7.23E-01	-9.22E-01	-2.34E-01
	山口	160	7.57E-01 *	-9.17E-01	8.45E-01	2.03E-01	9.96E-02	2.40E-01
	徳島	93	4.67E-01	6.42E-01	1.56E+00 *	2.50E+00 **	5.84E-01	2.30E-01
	香川	111	3.70E-01	-1.08E+00	-6.67E-01	6.19E-01	4.89E-01	-2.94E-01
	愛媛	159	6.94E-01 *	6.56E-01	-8.30E-01	5.34E-01	-1.24E-01	2.60E-02
	高知	90	-9.55E-02	-4.00E-01	-3.46E-01	8.87E-01	7.35E-01	-4.79E-01
	福岡	596	2.94E-01	7.09E-01 +	-2.68E-01	-9.21E-02	5.99E-01	8.52E-02
	佐賀	88	2.31E-01	-6.60E-01	5.77E-01	5.74E-01	7.29E-01	2.25E-01
	長崎	145	7.05E-01 *	1.53E+00 **	1.07E+00	1.56E+00 +	1.12E+00	4.21E-01 *
	熊本	203	1.52E-01	3.70E-01	-1.11E+00	1.01E+00	-3.16E-01	-2.57E-01
	大分	144	2.90E-01	3.77E-01	2.61E-01	3.37E-01	1.40E+00 +	1.93E-01
	宮崎	136	8.63E-02	8.02E-01	3.40E-01	5.83E-01	1.40E+00 +	5.88E-02
	鹿児島	199	3.28E-01	-2.54E-01	-5.22E-02	9.50E-02	-2.20E-01	-1.15E-01
	沖縄	159	2.01E-01	-1.49E+00	-1.30E+00	2.90E-01	1.22E+00	8.08E-02
都市階級	大都市	4,648	-8.53E-02	-2.37E-01	1.55E-01	-3.17E-01	4.06E-01	-2.01E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	3.93E-03	2.30E-02	4.69E-01	-2.77E-01	5.55E-01	3.00E-02
	小都市A(5万人以上)	4,011	6.32E-02	-8.34E-02	2.56E-01	-1.23E+00 **	1.23E-01	-7.23E-03

(令和3年度 有料配信鑑賞 6の6)

		サンプル・サイズ	15. アニメーション映画	16. 歴史的な建物や遺跡※	17. 歴史系・民俗系の博物館・資料館など※	18. 地域の伝統的な芸能や祭り※	19. その他※	20. 直接鑑賞
職業	非正規職員・従業員	2,114	-9.87E-02	-5.45E-01 ⁺	-1.17E+00 ^{**}	-1.02E+00 [*]	9.87E-01 ^{**}	-4.79E-02
	自営業主・自由業	1,093	8.88E-02	1.86E-02	-5.18E-01	-1.72E-01	6.47E-01	3.10E-01 ^{***}
	家族従業者	107	-7.72E-01	-2.45E-01	1.94E-01	1.18E+00	8.70E-01	3.27E-01
	主婦・主夫	3,231	-9.52E-02	-2.26E-01	-1.16E+00 ^{**}	-1.39E-01	5.74E-01	-1.87E-01 [*]
	学生	348	-3.26E-01	-4.29E-01	-1.42E+00 ⁺	-8.90E-01	2.69E-01	-2.70E-01 ⁺
	リタイア・無職	3,097	6.42E-02	-4.98E-01 ⁺	-1.08E+00 ^{**}	-1.44E+00 ^{**}	4.71E-01	-9.69E-02
	その他	353	-5.32E-02	-1.24E-01	-6.06E-01	-9.88E-01	1.14E+00 ⁺	-6.61E-02
家族状況	核家族	10,526	-2.01E-01 ⁺	-1.49E-02	-3.52E-01	-5.55E-01	5.41E-02	-8.91E-02
	三世代家族	944	1.23E-01	3.30E-01	-1.11E-01	-2.07E-01	8.61E-01 ⁺	1.43E-01
	その他同居家族	856	7.01E-02	4.50E-01	3.66E-01	2.68E-01	4.94E-01	1.35E-01
同居家族(末子)	未就学児	1,452	3.84E-01 ^{**}	1.63E+00 ^{***}	1.84E+00 ^{***}	1.87E+00 ^{***}	-1.49E+00	7.64E-01 ^{***}
	小学生	840	4.61E-01 ^{**}	1.33E+00 ^{***}	1.53E+00 ^{***}	2.27E+00 ^{***}	-1.08E+00	5.79E-01 ^{***}
	中学生	420	1.11E-01	9.06E-01 ⁺	1.88E+00 ^{***}	2.39E+00 ^{***}	-6.25E-01	5.99E-01 ^{***}
	高校生	914	3.77E-02	7.27E-01 [*]	1.26E+00 ^{**}	2.17E+00 ^{***}	6.19E-02	7.28E-01 ^{***}
	高校卒業者	1,984	-3.22E-02	1.40E-01	8.56E-01 [*]	9.61E-01 [*]	-6.78E-01	-6.70E-02
	要介護・要介助者	978	2.02E-01	5.58E-01 [*]	1.91E-01	7.62E-01 [*]	3.61E-02	4.56E-01 ^{***}
	移動可能	3,760	3.91E-01 ^{***}	1.89E-01	-1.40E-01	3.79E-01	-4.74E-01	2.75E-01 ^{***}
健康状態	移動困難(通所含む)	171	-2.51E-01	5.72E-01	2.00E-01	-7.08E-01	1.69E+00 ^{**}	1.23E+00 ^{***}
年収	～100万円未満	662	-2.78E-01	-8.14E-01	4.65E-01	-8.60E-01	9.69E-01	-3.82E-01 ^{**}
	～200万円未満	1,293	-1.50E-01	5.30E-02	9.56E-01 [*]	1.20E+00 [*]	-5.29E-01	-2.72E-01 [*]
	～300万円未満	2,007	-3.09E-01 ⁺	-1.09E+00 ^{**}	7.99E-02	-6.20E-02	3.56E-01	-1.68E-01 ⁺
	～400万円未満	2,357	-7.07E-02	-1.79E-01	-1.44E-01	1.15E-01	4.38E-01	-1.86E-01 [*]
	～500万円未満	1,947	-7.49E-02	-1.75E-01	-5.00E-01	1.78E-01	4.66E-01	-4.30E-02
	～600万円未満	1,662	-5.11E-02	-3.95E-01	-3.92E-01	5.50E-02	-1.93E-01	-2.23E-01 [*]
	～700万円未満	1,274	-4.96E-02	-4.54E-01	-3.16E-01	-7.20E-01	8.21E-01	-5.75E-02
	～800万円未満	1,034	-1.84E-01	-1.43E+00 ^{**}	-8.11E-01 ⁺	-1.67E-01	4.48E-01	-2.47E-01 [*]
	～900万円未満	713	-7.07E-02	-2.34E-01	-8.78E-01 ⁺	-7.46E-01	6.11E-01	-2.25E-03
学歴	～1,000万円未満	649	-1.34E-01	-3.67E-01	-3.76E-01	-1.69E-01	5.85E-01	-1.56E-01
	小・中学校	436	-1.21E-01	-4.45E-02	-1.90E+00 ⁺	-1.36E+00	-8.46E-01	-1.90E-01
	高校・旧制中学校	5,351	-1.87E-02	-2.72E-01	-4.16E-01 ⁺	-1.12E-01	-1.44E-01	-1.96E-01 ^{***}
	短大・高専	2,520	-1.41E-01	6.58E-02	-1.28E-01	-6.67E-01	5.17E-02	-8.50E-02
	大学院	575	-1.14E-01	2.32E-01	-4.33E-01	5.07E-02	8.57E-01 ⁺	-6.77E-02
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	1.55E-01 ⁺	-9.98E-02	-4.82E-02	4.87E-01 ⁺	-1.47E-01	1.10E-01 [*]
	コーラス・声楽	267	2.65E-01	1.53E-01	-1.32E-01	-1.41E+00 ⁺	2.78E-01	4.95E-01 ^{***}
	ダンス	345	1.78E-01	9.67E-01 ^{**}	1.06E+00 ^{**}	1.23E+00 [*]	4.96E-01	5.48E-01 ^{***}
	茶・華・書道の生活文化	3,394	5.44E-02	2.83E-01	1.66E-01	-1.10E-01	-1.06E-02	2.09E-02
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	3.55E-01 [*]	4.12E-01	3.78E-01	1.24E+00 ^{***}	6.30E-01	2.95E-01 ^{**}
	学習塾・そろばん等	6,018	1.66E-01 [*]	3.99E-01 [*]	3.31E-01 ⁺	7.05E-01 ^{**}	9.22E-02	9.44E-02 [*]
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	3.84E-01 ^{***}	6.10E-01 ^{**}	1.69E-01	-2.91E-01	6.92E-01 [*]	7.70E-02
	その他	634	2.13E-02	-1.93E-02	-4.38E-02	1.27E+00	6.35E-01	-1.20E-01
到達可能施設	ホール・劇場	8,588	4.10E-02	-1.76E-01	-7.34E-02	-1.39E-02	9.36E-01 ^{**}	3.54E-01 ^{***}
	美術館	8,027	7.81E-02	5.83E-01 ^{**}	7.92E-01 ^{**}	4.87E-01	-1.96E-01	2.00E-01 ^{***}
	博物館	6,593	1.93E-01 [*]	6.37E-01 ^{**}	6.28E-01 ^{**}	3.50E-01	-1.77E-01	6.97E-03
	映画館	11,323	7.43E-01 ^{***}	-2.40E-01	-5.36E-01 [*]	7.16E-02	4.21E-01	2.55E-01 ^{***}
同居家族女性×	未就学児	645	-2.26E-02	-8.80E-01 ⁺	-1.33E+00 ⁺	3.63E-01	1.60E+00	-5.26E-01 ^{***}
	小学生	375	2.43E-02	-6.50E-03	7.46E-01	8.76E-01	8.72E-01	-3.49E-01 [*]
	中学生	193	-4.26E-02	-1.15E+00	-9.32E-01	1.39E-01	2.27E-01	-1.74E-01
	高校生	437	-1.23E-01	-1.39E-01	2.20E-01	-2.55E-01	3.21E-01	-5.33E-03
	高校卒業者	1,051	5.03E-01 [*]	-1.72E-01	-7.12E-01	-8.41E-01	4.88E-01	2.95E-01 [*]
	要介護・要介助者	459	8.11E-02	-4.98E-01	-3.90E-01	2.41E-01	3.63E-01	-3.35E-01 [*]

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, ⁺は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

付表 5.8 令和 3 年度調査 実践・支援活動 ロジスティック回帰分析結果表

(令和 3 年度 実践・支援 4 の 1)

		サンプル・サイズ	1. 文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作	2. マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作	3. 音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など	4. 音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事	5. 茶道・華道・書道などの習い事	6. 伝統的な食文化の継承活動への参加	7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
行動者率		14,995	2.61%	2.25%	2.29%	2.07%	1.15%	0.83%	1.10%
TjurのR ²		14,995	0.086	0.147	0.075	0.075	0.046	0.064	0.040
AIC		14,995	3197.9	2540.7	2943.3	2943.3	1767.0	1354.5	1724.7
切片		14,995	-2.93E+00 *	-6.54E+00 ***	-4.30E-01	-4.30E-01	6.76E-01	-8.67E-01	-3.08E+00
性別	女性	7,394	3.56E-01 *	-6.30E-02	-3.90E-02	-3.90E-02	1.68E+00 ***	1.88E-01	-9.43E-01 **
年齢	年齢	14,995	-8.22E-02	2.07E-01 +	-2.35E-01 *	-2.35E-01 *	-4.39E-01 ***	-2.35E-01	-1.71E-01
	年齢の平方(2乗)	14,995	-2.42E-04	-5.90E-03 *	2.99E-03	2.99E-03	7.54E-03 **	3.08E-03	2.69E-03
	年齢の立方(3乗)	14,995	1.09E-05	3.87E-05 *	-9.08E-06	-9.08E-06	-3.71E-05 *	-9.52E-06	-9.26E-06
居住地	北海道	651	-7.96E-02	-2.14E-01	-2.94E-01	-2.94E-01	-9.54E-02	1.15E-01	3.45E-01
	青森	146	-6.74E-01	-7.59E-02	-6.57E-01	-6.57E-01	-4.06E-01	-1.45E-01	-5.09E-01
	岩手	146	2.91E-01	4.77E-01	-2.89E-01	-2.89E-01	-5.97E-01	8.91E-02	-4.33E-01
	宮城	267	-1.59E-01	4.30E-01	3.68E-01	3.68E-01	3.72E-01	-4.44E-01	9.15E-01 +
	秋田	114	-1.46E+01	6.06E-02	-2.05E-01	-2.05E-01	-1.50E+01	1.73E-01	-1.51E+01
	山形	132	4.90E-01	-3.19E-01	3.28E-01	3.28E-01	1.87E-01	1.10E+00	4.84E-01
	福島	212	2.28E-01	2.55E-02	-4.67E-01	-4.67E-01	4.30E-01	8.61E-01	2.56E-01
	茨城	348	3.90E-01	-6.68E-01	3.92E-02	3.92E-02	-1.63E-01	2.35E-01	1.93E-01
	栃木	231	6.77E-01 +	-6.32E-01	4.65E-01	4.65E-01	7.59E-01	-1.56E+01	-1.49E+01
	群馬	217	-9.97E-01	6.53E-01	2.85E-01	2.85E-01	-8.58E-01	1.86E-01	-1.56E-01
	山梨	91	5.21E-01	-1.44E+01	9.77E-01 *	9.77E-01 *	-1.53E+01	-1.58E+01	-1.43E-01
	長野	231	2.88E-01	-9.50E-01	-1.43E-01	-1.43E-01	3.54E-01	2.17E-01	1.21E+00 *
	埼玉	878	2.29E-01	-2.19E-01	-6.88E-02	-6.88E-02	-4.75E-01	6.45E-01	-9.80E-01
	千葉	755	3.56E-01	1.10E-01	-5.55E-01	-5.55E-01	-5.62E-01	-2.22E-01	-9.85E-01
	神奈川	1,092	3.28E-01	-4.07E-02	-1.78E-01	-1.78E-01	2.30E-01	6.65E-02	-3.62E-01
	新潟	246	-3.92E-01	-2.78E-01	-6.13E-01	-6.13E-01	-3.09E-01	4.04E-01	2.30E-01
	富山	116	-4.95E-01	-1.46E+01	-1.02E-01	-1.02E-01	-6.84E-01	6.26E-01	3.81E-01
	石川	136	-1.59E-01	4.90E-01	-1.14E-01	-1.14E-01	-1.58E-01	2.65E-01	-7.55E-01
	福井	92	7.34E-01	8.12E-01	-4.01E-02	-4.01E-02	-1.48E+01	4.68E-01	-1.50E+01
	岐阜	242	4.25E-02	-9.56E-01	-1.19E+00	-1.19E+00	1.84E-01	-1.56E+01	2.04E-01
	静岡	432	1.34E-02	7.72E-02	-3.59E-02	-3.59E-02	3.71E-01	5.13E-01	3.47E-01
	愛知	885	-5.39E-01 +	-3.38E-01	-2.13E-01	-2.13E-01	2.11E-01	2.30E-01	2.29E-01
	三重	209	6.15E-02	-4.33E-01	-5.96E-02	-5.96E-02	8.56E-01 +	1.98E-01	9.14E-02
	滋賀	162	-1.49E+01	3.85E-01	-3.71E-01	-3.71E-01	2.87E-01	6.62E-01	4.99E-01
	京都	309	1.27E-01	5.41E-01	-3.62E-01	-3.62E-01	3.35E-01	1.24E+00 *	9.68E-01 *
	大阪	1,053	-2.59E-01	-7.58E-02	-7.49E-02	-7.49E-02	-7.88E-01	-6.98E-01	-2.55E-01
	兵庫	663	-5.27E-01	5.89E-02	3.41E-01	3.41E-01	-6.49E-01	-1.35E-01	-3.80E-01
	奈良	155	-1.46E+01	7.00E-01	6.63E-01	6.63E-01	9.41E-02	1.27E+00 +	-6.05E-01
	和歌山	119	-9.24E-01	-7.35E-01	3.77E-01	3.77E-01	-1.50E+01	-1.58E+01	-1.54E+01
	鳥取	60	-2.59E-01	-1.43E+01	-3.44E-01	-3.44E-01	4.79E-01	-1.51E+01	-1.48E+01
	島根	78	5.74E-01	9.37E-01	-9.13E-01	-9.13E-01	5.15E-01	-1.57E-01	-1.53E+01
	岡山	211	-1.06E+00	-3.03E-01	2.48E-01	2.48E-01	2.13E-01	-3.58E-01	-1.13E+00
	広島	339	-7.60E-01	1.56E-01	-9.04E-01	-9.04E-01	3.51E-01	-7.17E-01	-1.13E+00
	山口	160	-1.24E+00	5.04E-01	-5.39E-01	-5.39E-01	-6.24E-01	-1.54E+01	2.75E-01
	徳島	93	4.39E-01	2.41E-01	6.80E-01	6.80E-01	5.47E-01	4.65E-01	6.90E-01
	香川	111	4.11E-01	-1.02E+00	-1.33E+00	-1.33E+00	-4.25E-01	-1.57E+01	-3.57E-01
	愛媛	159	-4.53E-01	-9.17E-01	1.61E-01	1.61E-01	-1.53E-01	5.64E-01	1.21E+00 *
	高知	90	6.29E-01	8.40E-01	-1.39E+01	-1.39E+01	-1.50E+01	1.22E+00	-1.49E+01
	福岡	596	3.75E-01	-2.95E-02	-3.57E-01	-3.57E-01	-5.94E-02	7.89E-01 +	4.49E-01
	佐賀	88	9.87E-01 +	-3.24E-01	6.22E-01	6.22E-01	9.84E-01	1.60E-01	-1.67E-01
	長崎	145	-2.41E-01	-6.10E-01	-6.38E-01	-6.38E-01	5.67E-01	-1.54E+01	7.57E-01
	熊本	203	-7.88E-01	-3.48E-01	-6.70E-01	-6.70E-01	4.53E-01	-1.60E+01	-3.53E-02
	大分	144	-1.26E-01	-1.49E+01	-2.52E-02	-2.52E-02	-8.85E-01	-1.44E-01	-7.70E-01
	宮崎	136	1.90E-01	-4.33E-01	-1.40E+01	-1.40E+01	-1.52E+01	-1.56E+01	8.01E-01
	鹿児島	199	-2.76E-01	1.13E-01	-2.08E-01	-2.08E-01	-8.41E-01	8.51E-01	-6.07E-02
	沖縄	159	-1.75E+00 +	-1.11E+00	8.30E-02	8.30E-02	3.74E-01	2.09E-01	9.45E-01 +
都市階級	大都市	4,648	4.13E-01 +	3.01E-01	-2.54E-01	-2.54E-01	-2.66E-01	-6.19E-01 +	-4.91E-01
	中都市(15万人以上)	4,325	2.65E-01	3.31E-01	-1.81E-01	-1.81E-01	-2.68E-01	-2.58E-01	-1.66E-02
	小都市A(5万人以上)	4,011	2.60E-01	1.36E-01	-2.85E-01	-2.85E-01	-1.90E-01	-7.79E-01 *	-4.02E-01

(令和3年度 実践・支援 4の2)

		サンプル・サイズ	1. 文学・音楽・美術・演劇・舞踊などの創作	2. マンガなどの映像作品・ゲームなどの創作	3. 音楽の演奏や演劇・舞踊への出演など	4. 音楽・バレエ・ダンス・美術などの習い事	5. 茶道・華道・書道などの習い事	6. 伝統的な食文化の継承活動への参加	7. 地域の伝統的な芸能や祭りへの参加
職業	非正規職員・従業員	2,114	-9.84E-02	7.82E-02	7.27E-02	7.27E-02	-8.01E-01 *	-2.08E-01	-6.08E-01 +
	自営業主・自由業	1,093	8.10E-01 ***	9.07E-01 ***	6.61E-01 ***	6.61E-01 ***	-3.46E-01	2.50E-01	-1.34E-01
	家族従業者	107	-6.65E-01	1.96E-01	2.14E-01	2.14E-01	3.13E-02	4.38E-01	6.53E-01
	主婦・主夫	3,231	-3.80E-01 +	-7.56E-01 **	-2.96E-01	-2.96E-01	-2.51E-01	-1.26E+00 **	-7.48E-01 *
	学生	348	-3.01E-01	7.85E-02	-1.50E-01	-1.50E-01	-3.43E-01	-9.13E-01	-5.12E-01
	リタイア・無職	3,097	-2.87E-01	1.25E-01	-6.70E-01 **	-6.70E-01 **	-2.05E-01	-3.67E-01	-6.71E-01 *
	その他	353	-5.11E-01	-1.15E-01	-1.83E-01	-1.83E-01	-5.06E-02	-9.35E-01	-6.85E-01
家族状況	核家族	10,526	4.06E-01 *	4.66E-01 +	2.68E-01	2.68E-01	-2.74E-01	-1.18E-01	3.78E-01
	三世代家族	944	7.67E-01 **	8.33E-01 **	5.80E-01 *	5.80E-01 *	-4.16E-01	5.21E-02	7.63E-01 +
	その他同居家族	856	1.06E+00 ***	5.97E-01 +	5.57E-01 +	5.57E-01 +	3.63E-01	3.67E-01	9.11E-01 *
同居家族(未子)	未就学児	1,452	9.15E-01 ***	1.68E+00 ***	1.31E+00 ***	1.31E+00 ***	2.15E+00 ***	1.82E+00 ***	1.07E+00 **
	小学生	840	9.79E-01 ***	1.60E+00 ***	9.22E-01 **	9.22E-01 **	2.48E+00 ***	2.01E+00 ***	1.38E+00 ***
	中学生	420	1.13E+00 **	2.01E+00 ***	1.19E+00 **	1.19E+00 **	2.45E+00 ***	1.28E+00 *	4.80E-01
	高校生	914	1.07E+00 ***	2.12E+00 ***	1.02E+00 ***	1.02E+00 ***	1.75E+00 ***	1.65E+00 ***	8.70E-01 *
	高校卒業者	1,984	-1.29E+00 *	-2.15E-01	-7.96E-02	-7.96E-02	-1.10E-03	-7.17E-01	3.66E-01
	要介護・要介助者	978	6.71E-01 **	8.81E-01 ***	3.51E-01	3.51E-01	1.34E+00 ***	1.15E-02	4.02E-01
	移動可能	3,760	1.60E-01	3.12E-01 *	2.67E-01 +	2.67E-01 +	-7.87E-02	-1.65E-01	5.84E-02
健康状態	移動困難(通所含む)	171	1.58E-01	5.17E-01	4.82E-01	4.82E-01	1.31E+00 **	2.57E-01	6.90E-01
	～100万円未満	662	1.01E+00 **	5.64E-01	1.11E-01	1.11E-01	-1.33E-01	1.53E-01	1.16E+00 *
年収	～200万円未満	1,293	1.32E+00 ***	3.54E-01	2.64E-01	2.64E-01	-3.10E-02	-1.56E-01	8.99E-02
	～300万円未満	2,007	7.69E-01 **	2.79E-01	6.62E-01 *	6.62E-01 *	-2.76E-01	-4.42E-02	3.14E-01
	～400万円未満	2,357	6.55E-01 *	8.57E-01 ***	2.14E-01	2.14E-01	-1.54E-02	-3.92E-01	1.26E-01
	～500万円未満	1,947	7.02E-01 **	3.91E-01	7.52E-01 **	7.52E-01 **	3.15E-01	-8.50E-02	3.88E-01
	～600万円未満	1,662	5.80E-01 *	1.77E-01	4.89E-01 +	4.89E-01 +	8.02E-02	1.74E-01	-2.40E-01
	～700万円未満	1,274	2.66E-01	-3.52E-02	1.61E-01	1.61E-01	-3.03E-01	1.07E-01	3.91E-01
	～800万円未満	1,034	2.37E-01	-2.51E-01	3.77E-01	3.77E-01	-4.48E-01	-7.68E-01	1.02E-01
	～900万円未満	713	4.27E-01	1.80E-01	4.86E-01 +	4.86E-01 +	-5.70E-02	-1.22E-01	9.02E-02
	～1,000万円未満	649	6.33E-01 *	-4.75E-03	1.96E-01	1.96E-01	-1.66E-01	4.46E-01	-1.75E-01
学歴	小・中学校	436	-2.09E-01	-1.39E+00 **	-6.43E-01	-6.43E-01	-9.61E-01	-1.01E+00	-1.88E+00 +
	高校・旧制中学校	5,351	-1.81E-01	-9.75E-02	-2.09E-01	-2.09E-01	-1.23E-01	-1.68E-01	-1.17E-01
	短大・高専	2,520	-4.40E-01 *	-5.25E-01 *	-6.15E-01 **	-6.15E-01 **	-9.75E-02	7.26E-02	-2.28E-01
	大学院	575	2.95E-01	-1.95E-01	9.77E-02	9.77E-02	4.18E-01	2.36E-01	7.04E-03
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	7.41E-01 ***	4.86E-01 ***	7.39E-01 ***	7.39E-01 ***	1.42E-01	9.81E-02	-1.68E-01
	コーラス・声楽	267	9.26E-01 ***	5.90E-01 *	1.28E+00 ***	1.28E+00 ***	8.14E-01 **	8.70E-01 *	5.96E-01
	ダンス	345	2.80E-01	7.71E-01 ***	5.33E-01 *	5.33E-01 *	3.63E-01	1.16E+00 ***	5.24E-01
	茶・華・書道の生活文化	3,394	1.04E-01	1.40E-01	1.61E-01	1.61E-01	8.06E-01 ***	3.02E-02	1.72E-01
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	5.70E-01 **	7.49E-01 **	6.30E-01 **	6.30E-01 **	-3.24E-01	1.12E+00 ***	7.25E-01 *
	学習塾・そろばん等	6,018	-1.61E-01	-3.35E-02	-7.97E-02	-7.97E-02	2.29E-01	4.87E-01 *	7.29E-01 ***
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	-1.96E-02	2.34E-02	5.38E-03	5.38E-03	2.44E-01	1.03E-01	6.53E-01 **
	その他	634	-1.37E-01	2.72E-01	-9.77E-02	-9.77E-02	-2.40E-01	1.81E-01	3.04E-01
到達施設可能	ホール・劇場	8,588	6.21E-01 ***	-9.57E-02	6.18E-01 ***	6.18E-01 ***	7.61E-01 ***	-1.16E-01	6.06E-01 **
	美術館	8,027	7.11E-01 ***	1.03E-01	4.34E-01 **	4.34E-01 **	2.09E-01	9.30E-01 ***	1.59E-01
	博物館	6,593	2.41E-01 +	1.23E-01	1.52E-01	1.52E-01	2.46E-01	1.60E-01	2.39E-01
	映画館	11,323	-8.12E-01 ***	-7.01E-02	-6.47E-02	-6.47E-02	-4.27E-01 +	-3.20E-01	-4.71E-01 *
同居家族女性×	未就学児	645	-9.15E-01 **	-1.34E+00 ***	-1.07E+00 **	-1.07E+00 **	-2.16E+00 ***	-1.36E+00 *	-6.44E-02
	小学生	375	-7.07E-01 +	-8.46E-01 *	-3.90E-01	-3.90E-01	-8.60E-01	-1.32E+00 +	-1.31E-01
	中学生	193	-1.11E+00 +	-1.10E+00 +	-1.51E+00 +	-1.51E+00 +	-1.24E+00	4.46E-01	9.54E-01
	高校生	437	-9.62E-01 *	-8.91E-01 *	-7.51E-01 +	-7.51E-01 +	-1.06E+00 +	-8.70E-01	4.31E-01
	高校卒業者	1,051	8.06E-01	3.66E-01	-1.63E-01	-1.63E-01	1.09E-02	1.09E+00	5.58E-01
	要介護・要介助者	459	-2.05E-01	1.62E-01	-2.52E-02	-2.52E-02	-7.73E-01 +	1.46E-01	-1.25E-02

注1) 表頭の種別名に*が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生して通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

(令和3年度 実践・支援 4の3)

		サンプル・サイズ	8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動	9. 高齢者などの文化芸術鑑賞・体験の支援※	10. 美術館・博物館での案内などの支援※	11. 劇場・ホールなどでの案内などの支援※	12. 音楽祭・映画祭などの開催の支援	13. 歴史的建物・遺跡などの保存などの支援	15. 実践支援
行動者率		14,995	0.85%	0.95%	0.61%	0.59%	0.79%	0.61%	10.46%
TjurのR ²		14,995	0.072	0.048	0.086	0.101	0.057	0.042	0.140
AIC		14,995	1342.6	1574.5	1073.0	1019.4	1299.9	1095.0	8774.6
切片		14,995	-4.01E+00 ⁺	-4.02E+00 [*]	-6.68E+00 ^{**}	-1.40E+00	-3.68E+00	-3.70E-01	2.66E+00 ^{***}
性別	女性	7,394	-1.52E-01	8.65E-02	1.03E-01	3.53E-01	-1.83E-01	-4.01E-01	4.72E-01 ^{***}
年齢	年齢	14,995	-9.12E-02	-1.45E-01	3.51E-02	-3.62E-01 [*]	-1.49E-01	-2.97E-01 ⁺	-3.31E-01 ^{***}
	年齢の平方(2乗)	14,995	9.33E-04	1.79E-03	-1.96E-03	6.91E-03 [*]	1.42E-03	4.63E-03	4.95E-03 ^{***}
	年齢の立方(3乗)	14,995	1.10E-06	-2.27E-06	2.07E-05	-3.94E-05 ⁺	-4.63E-07	-1.91E-05	-2.12E-05 ^{***}
居住地	北海道	651	6.25E-01	-4.81E-01	-7.34E-02	-5.27E-02	1.12E-01	2.93E-01	-1.51E-01
	青森	146	-7.16E-02	8.25E-01	-3.21E-01	3.80E-01	-1.57E+01	9.45E-01	-2.30E-01
	岩手	146	8.10E-01	8.48E-01	1.15E+00	-3.52E-01	-8.76E-02	-1.46E+01	2.26E-01
	宮城	267	8.46E-01	1.07E+00 [*]	-1.22E+00	5.96E-01	-2.58E-01	1.10E+00	2.88E-01
	秋田	114	6.31E-01	-3.88E-01	3.81E-01	1.79E-01	1.08E+00	-1.44E+01	-1.91E-01
	山形	132	1.71E+00 ^{**}	1.09E+00 ⁺	1.08E+00	1.18E+00 ⁺	-8.38E-02	5.23E-01	1.36E-01
	福島	212	3.38E-01	-1.33E+00	1.05E+00	7.03E-01	3.02E-01	1.32E+00	5.80E-02
	茨城	348	4.73E-01	4.47E-01	-8.54E-01	-6.22E-02	-6.52E-01	7.95E-01	-3.47E-02
	栃木	231	6.13E-01	7.77E-01	5.45E-01	1.21E-01	-8.78E-02	2.25E-01	3.94E-02
	群馬	217	-1.52E+01	5.62E-04	-3.39E-01	-7.34E-01	-1.59E+01	-1.46E+01	-7.45E-02
	山梨	91	-1.56E+01	7.50E-01	1.01E+00	-4.14E-02	2.23E-01	-1.48E+01	-5.42E-02
	長野	231	-4.92E-01	8.58E-01	1.40E+00 [*]	2.29E-01	4.25E-01	1.08E+00	4.64E-01 [*]
	埼玉	878	6.20E-02	-4.69E-01	4.41E-01	-2.90E-01	-1.29E+00 ⁺	5.64E-01	-3.56E-02
	千葉	755	2.47E-01	6.74E-01	1.03E+00 [*]	4.02E-01	1.50E-01	8.17E-01	-2.25E-01
	神奈川	1,092	2.69E-01	6.13E-01	-7.21E-02	-8.90E-01	-4.93E-01	1.60E+00 ^{**}	5.44E-02
	新潟	246	-4.21E-01	7.95E-01	3.55E-01	-1.05E+00	-9.63E-02	5.29E-01	-2.73E-01
	富山	116	-1.58E+01	1.26E+00 [*]	-1.12E-01	-8.10E-01	2.75E-02	1.88E+00 [*]	-3.24E-01
	石川	136	2.36E-01	-2.79E-01	1.06E+00	7.84E-01	-2.39E-02	1.45E+00	-2.26E-01
	福井	92	6.81E-01	-2.49E-01	1.37E+00	-8.08E-02	3.02E-01	-1.49E+01	-2.26E-01
	岐阜	242	-4.92E-01	7.17E-01	-9.69E-01	-9.60E-01	-1.59E+01	3.65E-01	3.08E-02
	静岡	432	5.80E-01	5.69E-01	1.00E+00 ⁺	-9.45E-01	-1.49E+00	9.37E-01	3.10E-01 ⁺
	愛知	885	2.71E-02	2.00E-01	4.41E-01	-2.91E-01	-1.16E-01	-1.79E-01	-1.43E-01
	三重	209	-5.59E-01	7.21E-01	9.04E-01	7.03E-01	-6.51E-01	1.01E+00	1.90E-01
	滋賀	162	-2.48E-01	1.22E+00 [*]	1.29E+00 ⁺	-3.78E-01	-7.27E-01	7.43E-01	1.01E-01
	京都	309	1.17E+00 [*]	9.88E-01 ⁺	2.09E+00 ^{***}	5.78E-01	8.66E-01 ⁺	2.22E+00 ^{***}	2.53E-01
	大阪	1,053	-7.32E-01	2.86E-01	5.50E-01	-2.77E-01	-2.75E-01	3.69E-01	-1.53E-01
	兵庫	663	7.52E-01	4.84E-01	3.53E-01	-3.38E-01	-2.32E-01	-4.77E-01	-1.64E-01
	奈良	155	1.59E+00 [*]	7.73E-01	-2.99E-02	5.85E-01	3.85E-01	-1.47E+01	4.91E-02
	和歌山	119	-1.55E+01	-6.88E-01	2.57E-01	7.98E-01	-1.57E+01	7.60E-01	-6.01E-01
	鳥取	60	-1.52E+01	1.43E-01	1.02E+00	6.05E-01	8.14E-01	-1.46E+01	-1.25E-01
	島根	78	2.17E-01	-3.37E-01	3.37E-02	6.33E-01	9.66E-01	1.53E+00	-1.23E-01
	岡山	211	-1.86E-01	1.41E-01	7.69E-01	4.28E-01	-1.07E+00	9.30E-01	-2.71E-01
	広島	339	9.10E-01	7.09E-02	6.05E-01	-4.03E-01	-3.84E-01	1.22E+00	-3.00E-01
	山口	160	-1.53E+01	2.46E-01	1.38E+00 ⁺	1.07E+00	3.28E-01	-1.47E+01	1.55E-01
	徳島	93	7.36E-01	1.34E+00 ⁺	6.06E-01	1.35E-01	-1.56E+01	2.12E+00 [*]	5.21E-01
	香川	111	-1.56E+01	2.74E-01	-1.51E-01	-4.63E-01	-2.18E-01	-1.45E+01	-3.93E-01
	愛媛	159	4.34E-02	1.88E-01	8.51E-01	-5.79E-01	-6.45E-01	1.63E+00 ⁺	1.48E-01
	高知	90	7.05E-01	8.38E-01	3.88E-01	2.33E-01	3.07E-01	-1.47E+01	1.73E-01
	福岡	596	2.93E-01	3.22E-01	1.21E+00 ^{**}	-1.88E-01	1.38E-01	1.43E+00 [*]	1.94E-01
	佐賀	88	9.90E-01	1.43E+00 [*]	-2.29E-01	9.79E-01	1.24E-01	-1.47E+01	4.87E-01
	長崎	145	-1.52E+01	-7.84E-01	1.26E+00	1.26E+00 ⁺	5.61E-01	1.02E+00	-3.70E-02
	熊本	203	-4.24E-01	6.19E-01	-6.31E-01	-1.23E+00	1.83E-01	1.24E+00	-3.31E-01
	大分	144	-1.57E+01	8.96E-01	9.60E-01	-6.72E-01	-3.64E-01	1.17E+00	-7.11E-02
	宮崎	136	-1.56E+01	4.96E-01	1.52E+00 [*]	5.59E-01	-1.59E+01	-1.45E+01	-1.78E-01
	鹿児島	199	1.32E+00 [*]	6.00E-01	-3.80E-01	9.09E-01	5.03E-02	5.63E-01	6.59E-02
	沖縄	159	-1.58E+01	9.69E-01	5.34E-01	-9.64E-02	-6.31E-01	1.96E+00 ^{**}	-2.79E-01
都市階級	大都市	4,648	-5.91E-01	-3.97E-01	1.73E-01	5.74E-01	1.24E-01	-6.64E-01	-8.64E-02
	中都市(15万人以上)	4,325	-3.02E-01	-1.08E-01	-1.13E-01	1.79E-02	4.98E-01	-5.32E-01	3.61E-02
	小都市A(5万人以上)	4,011	-5.04E-01	-1.63E-01	1.30E-01	5.89E-02	3.80E-01	6.75E-02	-1.31E-01

(令和3年度 実践・支援 4の4)

		サンプル・サイズ	8. 子どもの文化芸術体験のための支援活動	9. 高齢者などの文化芸術鑑賞・体験の支援※	10. 美術館・博物館での案内などの支援※	11. 劇場・ホールなどでの案内などの支援※	12. 音楽祭・映画祭などの開催の支援	13. 歴史的建物・遺跡などの保存などの支援	15. 実践支援
職業	正社員・従業員	2,114	-1.02E-01	-2.94E-01	-2.30E-01	-7.83E-01 ⁺	-8.98E-01 [*]	-5.63E-01	1.29E-01
	営業主・自由業	1,093	-9.36E-02	-7.87E-02	2.94E-02	2.28E-01	5.63E-01 ⁺	-4.26E-01	8.78E-01 ^{***}
	家族従業者	107	3.21E-01	-6.24E-01	-2.42E-01	-1.27E+00	-1.02E+00	-4.19E-01	1.03E+00 ^{***}
	主婦	3,231	-3.12E-01	1.21E-02	-6.49E-01 ⁺	-3.19E-01	-7.44E-01 ⁺	-1.08E+00 [*]	-3.13E-02
	学生	348	2.89E-01	3.32E-01	1.79E-01	-2.62E+00 [*]	2.80E-01	-2.38E+00 [*]	-1.08E-01
	タイア・無職	3,097	-1.16E+00 [*]	-1.01E-01	-6.05E-01	-6.52E-01	-1.23E+00 [*]	-4.31E-01	-5.84E-02
	その他	353	-7.46E-01	-4.44E-01	2.96E-01	-3.71E-01	-1.20E+00	-6.67E-01	5.74E-02
家族状況	家族	10,526	-4.96E-02	4.24E-01	6.84E-02	-8.08E-01 [*]	3.39E-01	5.33E-03	1.97E-01 ⁺
	世代家族	944	7.53E-02	8.52E-01 [*]	7.10E-01	-8.28E-01	3.06E-01	3.79E-01	5.94E-01 ^{***}
	その他同居家族	856	4.65E-02	6.24E-01	1.12E+00 [*]	2.25E-01	1.54E+00 ^{**}	5.08E-01	5.11E-01 ^{***}
同居家族(未子)	就学児	1,452	2.12E+00 ^{***}	2.22E+00 ^{***}	2.51E+00 ^{***}	3.17E+00 ^{***}	1.69E+00 ^{***}	9.64E-01 [*]	1.90E+00 ^{***}
	小学生	840	1.95E+00 ^{***}	1.80E+00 ^{***}	1.93E+00 ^{***}	3.20E+00 ^{***}	2.17E+00 ^{***}	1.33E+00 ^{**}	1.41E+00 ^{***}
	中学生	420	1.70E+00 ^{**}	1.61E+00 ^{**}	1.93E+00 ^{***}	2.59E+00 ^{***}	1.78E+00 ^{**}	1.17E+00 ⁺	1.65E+00 ^{***}
	高校生	914	1.93E+00 ^{***}	1.30E+00 ^{***}	1.56E+00 ^{***}	2.29E+00 ^{***}	8.40E-01	1.56E+00 ^{***}	1.33E+00 ^{***}
	高校卒業者	1,984	1.75E-01	1.72E-01	2.96E-01	1.12E-01	8.00E-01	4.02E-01	-1.42E-01
	介護・要介助者	978	8.50E-01 [*]	6.42E-01 [*]	1.01E-01	8.57E-01 ^{**}	4.76E-01	2.84E-01	5.12E-01 ^{***}
	健康状態	3,760	-6.44E-02	-1.18E-02	1.97E-01	-8.24E-02	-2.28E-01	-3.07E-01	1.10E-01
年収	勤労困難(通所含む)	171	8.11E-01	5.74E-01	7.89E-01 ⁺	1.27E+00 ^{**}	2.01E-01	-5.31E-01	1.19E+00 ^{***}
	～100万円未満	662	2.56E-01	7.81E-01 ⁺	4.91E-01	1.06E+00 ⁺	3.65E-01	-2.25E-01	2.59E-01
	～200万円未満	1,293	5.17E-01	3.50E-01	5.61E-01	4.88E-01	1.16E+00 [*]	-3.03E-01	2.99E-01 ⁺
	～300万円未満	2,007	-4.85E-01	6.90E-02	-1.56E-01	3.88E-01	1.27E+00 ^{**}	-3.77E-01	3.71E-01 ^{**}
	～400万円未満	2,357	-9.37E-01 [*]	1.39E-01	4.29E-01	8.55E-01 [*]	1.12E+00 [*]	-8.16E-01 ⁺	1.64E-01
	～500万円未満	1,947	-3.04E-02	1.53E-01	3.41E-01	9.71E-01 [*]	6.38E-01	-2.89E-01	4.49E-01 ^{***}
	～600万円未満	1,662	-3.97E-01	3.25E-01	2.61E-01	4.76E-01	9.29E-01 [*]	-6.50E-01	1.46E-01
	～700万円未満	1,274	-1.41E-01	-5.67E-02	6.07E-02	3.54E-01	3.94E-01	-1.65E-01	1.08E-01
	～800万円未満	1,034	-8.56E-01 ⁺	-1.82E-01	-2.64E-01	3.08E-01	8.73E-01 [*]	-1.98E-01	7.67E-02
	～900万円未満	713	-6.36E-01	-6.14E-01	-1.09E-01	6.65E-01	5.37E-01	1.47E-01	1.45E-01
	～1,000万円未満	649	-2.99E-01	4.79E-01	7.68E-01 ⁺	4.45E-01	-5.08E-02	-6.66E-01	2.33E-01
学歴	小・中学校	436	-1.72E+00	-1.34E+00 ⁺	-2.30E+00 ⁺	-8.65E-01	-7.51E-01	-5.40E-01	-8.07E-01 ^{***}
	高校・旧制中学校	5,351	-2.76E-02	-2.00E-01	-2.75E-01	-4.29E-01 ⁺	-2.77E-01	-4.25E-01	-2.89E-01 ^{***}
	短大・高専	2,520	-4.14E-02	-5.73E-01 [*]	-3.75E-01	-3.15E-01	-6.22E-01 ⁺	-4.09E-01	-2.85E-01 ^{**}
	大学	575	1.43E-01	-4.96E-01	-1.49E-01	1.79E-01	5.35E-01	-1.05E+00 ⁺	1.53E-01
習い事	ピアノ等の楽器	3,591	4.69E-01 [*]	2.28E-01	3.61E-01	4.47E-01 [*]	8.06E-01 ^{***}	1.55E-01	3.64E-01 ^{***}
	ダンス・音楽	267	7.13E-01 ⁺	1.07E+00 ^{***}	4.34E-01	3.80E-01	4.08E-01	-3.80E-01	9.20E-01 ^{***}
	ダンス	345	1.07E+00 ^{***}	6.36E-01 [*]	7.25E-01 [*]	8.99E-01 ^{**}	2.62E-01	1.52E+00 ^{***}	7.22E-01 ^{***}
	文芸・書道の生活文化	3,394	2.42E-01	1.72E-01	5.86E-02	9.45E-02	-3.49E-01	-1.11E-03	1.68E-01 [*]
	絵画・彫刻・陶芸・工芸	602	6.99E-01 [*]	4.34E-01	7.09E-01 [*]	2.16E-01	5.23E-01	8.11E-01 [*]	4.79E-01 ^{***}
	習塾・そろばん等	6,018	-3.12E-02	5.94E-01 ^{***}	1.49E-01	4.59E-01 [*]	1.21E-02	2.48E-01	1.25E-01 [*]
	水泳・野球等のスポーツ	3,251	3.77E-01 ⁺	1.30E-01	-1.91E-01	9.73E-02	4.37E-01 [*]	4.58E-01 ⁺	-9.73E-03
	その他	634	1.01E-01	-3.53E-01	-4.63E-01	-9.20E-01	5.98E-01	-4.60E-01	-1.20E-01
到達可能	ホール・劇場	8,588	5.74E-01 [*]	2.94E-01	-4.20E-02	-1.47E-01	1.81E-01	2.45E-01	3.79E-01 ^{***}
	美術館	8,027	4.17E-01	5.21E-01 [*]	8.67E-01 ^{***}	7.88E-01 ^{**}	4.57E-01 ⁺	5.05E-01	5.30E-01 ^{***}
	博物館	6,593	4.00E-01 ⁺	8.52E-02	5.52E-01 [*]	2.72E-01	-2.76E-01	9.05E-01 ^{**}	1.14E-01
	美術館	11,323	-6.95E-01 ^{**}	-2.08E-01	-6.92E-01 ^{**}	-1.39E-01	9.54E-02	-1.15E+00 ^{***}	-5.38E-01 ^{***}
同居家族女性×	就学児	645	-6.72E-01	-1.28E+00 ^{**}	-1.71E+00 ^{**}	-2.16E+00 ^{**}	-8.56E-01	-1.48E+00	-1.69E+00 ^{***}
	小学生	375	2.09E-01	-9.51E-01	-2.26E-01	-1.03E+00 ⁺	-1.68E-01	-4.64E-01	-8.05E-01 ^{***}
	中学生	193	-9.99E-01	-2.15E+00	-5.58E-01	-6.13E-01	-1.64E-01	-5.34E-02	-1.40E+00 ^{***}
	高校生	437	-7.71E-01	-4.87E-01	-2.47E+00 [*]	-7.26E-01	1.34E+00 ⁺	-1.71E+00	-9.86E-01 ^{***}
	高校卒業者	1,051	5.26E-02	1.62E-01	1.72E-02	-3.52E-01	1.21E-02	-6.56E-01	3.54E-02
	介護・要介助者	459	1.00E-01	1.61E-01	-8.26E-02	-3.59E-01	1.31E-02	-1.12E-01	-2.60E-01

注1) 表頭の種別名に※が付与されている種別は、行動者率等が低く、完全分離等が発生していて通常のロジスティック回帰モデルでは収束しなかったため、Firthの手法で求めており、推定結果と有意性については信頼できない。

注2) 係数の推定結果の右肩の***, **, *, +は、それぞれ、0.1%, 1%, 5%, 10%の水準で有意であることを示す。

注3) 種別の「14.その他」(行動者率0.49%)のFirthの手法による推計結果は、スペースの関係から表示していない。

おわりに

「令和5年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業」における「文化統計の体系化に関する調査・研究」の研究成果としての本報告書は、文化庁「文化に関する世論調査」のマイクロデータを用いた詳細分析に加えて、公表データに基づいて文化的活動への参加に対するコロナ禍の影響を実証的に明らかにするとともに、総務省「就業構造基本調査」や「社会生活基本調査」の公表データ・マイクロデータを用いた文化の供給・需要の分析を行い、さらに、文化統計の体系化に避けて通ることのできない統計分類の問題に対する方向性を示すなど、従来にはない分析を行うことによって、新たな知見を提供することができた。本事業の採択から報告書の取り纏めまで、実質的な研究期間は1年に満たないものであったにもかかわらず、短期間のうちに研究を積極的に推し進めてくれた「文化統計の体系化に関する調査・研究」推進委員会のメンバー（荒木孝治氏、有馬昌宏氏、西郷浩氏、高良佑樹氏、橋本紀子氏）に、心より感謝申し上げたい。メンバーは、首都圏、中京圏、関西圏に散らばっているが、開催したすべての委員会に全員が参加し、研究の進捗状況を報告するとともに、熱い議論が交わされた。そうした議論を通じて、本報告書で提示する研究成果を練り上げ、こうして世に問うことができたのである。

昨年度に実施した共同研究事業では、文化統計を体系化・分析することに関して、公的統計の利用可能性や国際比較など、比較的広い観点から研究を行った。今年度は、昨年度の成果を踏まえて、焦点を絞ってより深い考察を行っている。本報告書をきっかけに文化統計の整備と分析が進み、文化政策に役立つような有益なインプリケーションがエビデンス・ベースで得られ、最終的にはわが国の文化振興につながることを期待している。

本報告書によって我々の研究成果が公表できたのは、執筆者以外にも、多くの方々に協力して頂いたおかげである。とりわけ、文化庁政策課の皆様からは、「文化に関する世論調査」のマイクロデータの提供をはじめとして、本事業の予算面、報告書の内容へのコメントをはじめ多岐にわたるサポートを頂戴した。また、本報告書で行ったオーダーメイド集計やオンサイト施設での集計に関しては、（独）統計センターの新沼千佳氏、阿部穂日氏、伊藤直人氏らに、申請や諸手続き等で短期間のうちに対応して下さるなどご協力を頂き、限られた研究期間内で成果を出すことができた。また、同志社大学の八木匡教授には、推進委員会に参加して頂き、ご自身が参加された国際共同研究プログラムにおいて実施した「文化と文化政策に関する価値観調査」の結果について、ご講演頂いた。さらに、名城大学学術研究支援センターには、本事業の事務局として、的確な事務作業を行って頂いた。とりわけ同センターの河村有香氏には、本事業の担当として多くの有用な助言を頂いた。この報告書を通じて研究成果を世に問うことができたのは、こうした方々のおかげである。記して心よりの謝意を表したい。もちろん、あり得べき誤りは執筆者らに属するものである。

令和6年3月

共同研究事業責任者 勝浦 正樹

令和5年度 文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業

文化統計の体系化に関する調査・研究 報告書

令和6年3月

発行 文化庁政策課文化政策調査研究室
〒602-8959 京都府京都市上京区下長者町通新町
西入藪之内町85番4
電話 075-451-4111

名城大学
〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1丁目501
電話 052-832-1151

編集 勝浦 正樹